



N. B. Gejker 氏  
(Ниэсулта Борисовна Гейкер)



L. T. Kile 氏  
(Лидиа Тимофеевна Киле)

文部省特定領域研究（A）

**環太平洋の「消滅に瀕した言語」  
にかんする緊急調査研究**

風間伸次郎 採録・訳注

ツングース言語文化論集15

**ナーナイの民話と伝説6**







Publications on Tungus Languages and Cultures 15

NANAY FOLK TALES AND LEGENDS 6

translated and annotated

by

Shinjiro KAZAMA

2001

ツングース言語文化論集 15

ナーナイの民話と伝説 6

風間 伸次郎 採録・訳注

2001年3月



## 目次

まえがき 接辞一覧表	
あらすじ (和文・英文)	1
テキスト本文 (ラテン文字に基づく音韻表記とその日本語訳)	7
1. 犬怪人 (inda xočiani)	27
2. 毛皮外套の切れ端 (əruə pasini)	63
3. 姉と妹が暮らしていた (əikə nəu baljixani)	101
4. 二人のムルグンが暮らしていた (juə mærgən baljixani)	130
5. 二人の少年が暮らしていた (juə naonjokaan baljixači)	157
6. あるプジンが住んでいた (əm pujin baljixani)	178
7. 一人のムルグンが一人きりで暮らしていた (əm mærgən əmučkəən baljixani)	205
8. 人形で遊ぶ娘 (akoačii arčokaan)	234
9. 一匹のカエルと一人のプジンが暮らしていた (əm xəɾəjkəji əm pujinji baljixači)	266
10. ユルギームルグン (jurgii murgən)	274
11. 一人のムルグンが暮らしていた (əm mærgən baljixani)	309
12. 一人のプジンと女奴隷とが暮らしていた (əm pujinji kəkəji baljixani)	335

テキスト本文 (キリル文字に基づく音韻表記)

1. инда хочиани	..... 357
2. эруэ пасини	..... 375
3. эикэ нэу балзихани	..... 394
4. зүэ мэргэн балзихани	..... 408
5. зүэ наонзокаан балзихачи	..... 421
6. эм пузін балзихани	..... 431
7. эм мэргэн эмучкээн балзихани	..... 443
8. акоачи арчокаан	..... 456
9. эм хэрээкэзи, эм пузінзи балзихачи	..... 470
10. јурги мэргэн	..... 474
11. эм мэргэн балзихани	..... 490
12. эм пузінзи кэкэзи балзихани	..... 502

## まえがき

### [テキストに関するデータ]

本書に収録したテキストは全てダエルガ村（ハバロフスク州ナーナイ自治区ナイヒン村に隣接する小村）にて、N. P. Gejker（ゲイケル）氏（女性、1920年 Targon 村生まれ）より録音したものである。録音年月日は各テキストの冒頭の部分に記した。またテキストのテープからの書き起こし及び意味の解釈に際して L. T. Kile（キレ）氏（女性、1942年 Najkhin 村生まれ）の協力を得た。

テキスト3と5を除く10編のテキストは、ジャンルとしてはnijnmaanで、3と5はsioxorである。ジャンル名は語り手の判断による。なおナーナイの民話のジャンルについては風間（1991、あとづけの「既刊」参照、なお1991はツングース言語文化論集1に所収）を参照されたい。

### [各テキストに関するコメント]

以下では特にテキスト1、3、9、12の四つについて、これまで採集した他のテキストなどとの類似点など若干のコメントを述べる。なお他のテキストとの部分的な類似点は他にもたくさんあるが、重要と思われるもののみ取り上げた。

テキスト1では、魔物に追われたブジンが鉄の柱のてっぺんに逃げ、この柱を魔物が次々に齧り倒していく、というくだりがある。これと同様のくだりを持つ話を筆者はウデへ族の語り手からも録音した（現在整理中である）。逃げるときに櫛を投げると森に変わるくだりは風間（1998）の2のテキストに似たくだりがある。

テキスト3に関して、これとそっくりな話を白田・酒井（1980）に見つけた。それを要約するとおおよそ以下のようである。

父と母と娘が暮らしていた。母親は後妻だった。母親は畑の柿を食べたことを口実に娘の両手を切り落とした。家を出た娘は大きな家の若旦那に好かれ、嫁になった。若旦那は江戸へ修業に行った。その間に男の子が生まれた。またも母親が「癩病の子供が生まれた」と偽りの手紙を江戸に送った。「暇を出せ」という返事が来て、娘は追い出された。喉が乾き、手がないので田に直接口をつけて飲もうとしたときに、背負っていた子供が水に落ちた。その瞬間両手ができた。その後歩いていると一人の侍が通りかかり、その嫁になって暮らしていた。若旦那は江戸から戻り、事情を知ると巡礼姿になって妻を探しに旅に出た。やがて妻に出会い、二人で家に帰って幸せに暮らした。

後半が少し違うが、細かい点まで実に良く似ていることがわかると思う。山陰の隠岐諸島の知夫里島という小さな島で採集されたというこの民話が、遠くナーナイのものと同様だというのは全く驚きだが、両者が偶然別個に生まれたものとはどう考えても考えられないので、話の筋が伝播したものと考えざるを得ないだろう。ここでこの話は先述したようにsioxorであって、ナーナイにとって本来「他の民族の話」である、と考えられていることも参考になる。たとえば漢民族や満州族のもので、日本へは朝鮮半島経由で

伝わってきた、という可能性も考えられよう。今後地理的に間を占める所に類話がないかなどを調べる必要があるだろう。

近年筆者資料もその一つの根拠として「稲葉の素兎」を北方との関連で捉え直す研究が行なわれた(稲田 1996)。もとより筆者はこの分野の専門ではなく、調査や検討を尽くしたわけではないので他にも似た話が多くあるのかもしれない。また今後も日本の民話や神話、ひいては他の東北アジアの民話や神話の系譜や関係の解明にナーナイの民話資料が役立つ可能性があるだろう。

テキスト9にはカエルが登場するが、カエルのセリフは文の後ろから2拍目だけを高く発音する独特のイントネーションで発話される。これは風間(1993)のテキスト8で観察されたものと同様である。

テキスト12に関して、風間(1993)のテキスト6も主人公が棺桶に乗って行く話である。しかしこちらは男性であり、川の流れに逆らって上流へ進んで行く。その後の話の展開も大きく異なる。

#### [表記と分析]

本書は風間(1991, 93, 95, 96, 97, 98, 2000)の続編である。風間(2000)で述べたようにナーナイの人々にも利用してもらえよう、本書にも後半にキリル文字ベースの表記によるテキストを付した。後述するように、両表記は1対1に対応する。なお表記に関して詳しくは風間(1991, 1993, 2000)を参照されたい。

基本的に記号の使い方は前編の風間(2000)と同じである。明確な発音がなされないが、文法的にその形が推定されるものについて、キリル文字のテキストでは( )で囲って示した。「~」は伸ばした発音を示す。原語や訳にアンダーラインがついているものはその訳が不明であるか、十分に確認できていないことを示す。ロシア語の単語の臨時的な使用は、ラテン文字ベースの表記の中でもキリル文字を用いた。

以下に全音素とその両表記の対応を示しておく。

#### ・子音

無声破裂・破擦音 p(п) t(т) č(ч) k(к)

有声破裂・破擦音 b(б) d(д) j(ж) g(г)

鼻音 m(м) n(н) ñ(нь) ŋ(нг)

無声摩擦音 s(с) x(х)

接近音 w(в) j(й)

流音 l(л) r(р)



・ 母音

女性母音 ə(ə) u(y)

i(i) \_\_\_\_\_

男性母音 a(a) o(o)

č, j は破擦音であり、IPA では通常 tʃ, dʒ であるが、一音素一文字の原則から、補助記号による文字とした。

ñ が示している音声は、IPA では ɲ を用いるのが一般的だが、それが体系上で占める位置 (č, j と同一調音点である) からこのような表記をとることにした。これと対応するキリル文字ベースの表記はフォントの都合上、前著とは別のものを用いた。

ə~ŋ 及び undiisi の二語は意味のない語調を整える要素であり、訳は付していない。xai- 「何する、ああする」の諸活用形も同様の理由で基本的に訳を付していない。

[音声CDとあらすじについて]

なんといってもナーナイの民話の良さは口承文芸の例にもれず、その音的な諸形式の美しさにある。具体的には毎ページのように現れるきわめて豊富な擬音語・擬態語であり、また一つは頭韻を多く踏んだたたみかけるような表現であろう。日本語では考えられないようなものも多く擬音語・擬態語で表現される (例えば「カエルが二本足で立っているさま」、など)。また特に物語りのはじめや終りには頭韻を踏んだ美しい表現が多く現れている。今回は付属のCDがあるので、これらを音声表記の上からだけでなく、実際の音声で聞いていただけることと思う。

他方利用の便宜を考え、今回はじめて和文と英文によるあらすじを付した。訳では上に述べたような音声面での美しさが全てとんでしまう上に、あらすじではさらに多くのものが失われてしまう。たとえば、活き活きした会話のやりとりの面白さや、翻訳でもなお味わえる技巧をこらした表現 (たとえば美人であることを述べるにも「夏には靴の回りの草が乾き、冬には靴の回りの雪が融けるというような美人」というような) などである。したがってあらすじはすでにもののナーナイの民話からほど遠いものになってしまった感がするが、やはり便利ではあるので、上記のような点を留意しつつ利用されることを望む。

[近況]

ソ連の1989年度の統計によればナーナイ族の人口は約1万2千人、そのうち母語話者は44.1%の5292人とされているが、筆者のこれまでの感じからではその大部分を占めているのは60代以上の (つまり現在は70代以上の) 老人であると考えられる。

筆者も以前は何人かの語り手の物語をまとめて1冊の本にまとめていたが、相次いで語り手を喪い、前著と本著採録のテキストは全て村にただ一人残る「語りべ」である N. P. Gejker 氏によるものだけとなってしまっている。氏も80を越す高齢となり、心臓を患

っていて最近では体調を崩されていることも多くなってきている。今回採録のものの中にも、実は病院で録音したものがいくつかある。しかし記憶は正確かつ強力で、なおたくさんのお話を御存知である。意味も含め 1 語 1 語正確に書き起こすことは多大な時間を必要とするが、現在他の何を措いても行なうべき急務であると考えている。

[参考文献]

稲田浩二 1996 「『稲葉の素兎』試論」 『梅花児童文学』第4号、 梅花女子大学  
大学院児童文学会  
臼田甚五郎監修・酒井薫美編 1980 『魚屋と山姥 隠岐・島前の昔話』 桜楓社

[謝辞]

最後になるが本書の発行にあたり、上記のコンサルタント及び協力者の方々に心よりお礼申しあげたい。上記の L. T. Kile 氏とその家族の皆さんには、ナイヒン村での滞在でもお世話になった。記して感謝の意を表したい。

## 接尾辞一覧表

以下にあげる接尾辞は、もともと頻度の高い代表的なもので、無論全部をあげたわけではない。なお n で終わる接辞は次にくる音に調音点に関して部分逆行同化する。さらに n で始まる接辞がつく場合には、片方の n は落ちる。[]は、ある接辞の後に固定的に現れる接辞がある場合、及びその連続が固定的である場合、これを[]に入れて示した。

### I 接辞

[1] 名詞及び形容詞類につく接辞（格-人称の順序で接辞がつく）

#### (1) 格

主格（～が）	-φ
対格（～を）	-wa/-wə/-ba/-bə
与格（～に）	-do/-du
造格（～で、～と）	-ji
処格（～に沿って、～の部分を）	-dola/-dulə
方向格（～へ）	-či
奪格（～から）	-jiaji/-jiaji
指定格（～のためのものとして）	-go/-gu

(2) 斜格表示（二、三人称では格と人称の間の位置に、一人称では格と人称の後に現れる）

-a/-ə/-wa/-wə/-ja/-jə

#### (3) 人称

一人称単数	-ji/-bi	一人称複数	-po/-pu
二人称単数	-si	二人称複数	-so/-su
三人称単数	-ni	三人称複数	-či
再帰単数	-ji/-bi	再帰複数	-ari/-əri/-wari/-wəri

（名詞の所属を示すだけでなく、述語として使われた形動詞の主語も示す）

#### (4) その他

-anaa 「～のない、～なしの」、-doi/-dui比較「～より」、-jia/-jia 「～の側」、

-jima/-jima 「～の方」、-kaan/-kaən指小辞「小さな～」、-ko/-ku所有「～持ちの」、

-la/-lə動詞形成接辞、-ma/-mə「～でできた」、-molia/-mulia 「～と二人で」、

-naa/-nəə「～たち」、-nii 「～の人、～な人」、-ngi 「～のもの」、

-ngo/-ngu譲渡可能、-sal/-səl複数

[2] 動詞につく接辞（派生接辞-屈折接辞の順序をとる、屈折接辞は必須）

#### A. 屈折接辞

##### (1) 形動詞

＜動詞語幹の種類＞ (他に不規則動詞 bi-「ある」, o-「なる」, ji-「来る」, bur-「死ぬ」がある)			
	単母音語幹	二重母音・長母音語幹	子音語幹
現在	-i	-rii	-dii
過去	-xan/-xən		-kin
非人称現在	-ori/-uri	-wori/-wəri	-bori/-buri
非人称過去	-oxan/-uxən	-woxan/-wuxən	-boxan/-buxən
否定現在	-asi/-əsi	-rasi/-rəsi	-dasi/-dəsi
否定過去	-ači/-əči	-rači/-rəči	-dači/-dəči

## (2) 副動詞

同時副動詞単数「～して」	-mi
同時副動詞複数	-maari/-mæəri
条件副動詞単数「～すると」	-pi
条件副動詞複数	-paari/-pæəri
先行副動詞「～してから」	-raa/-rəə/ -daa/-dəə
限界副動詞「～するまで」	-dala/-dələ
＜以下の2つは後ろに人称をとる＞	
条件副動詞「～すれば」	-očia/-učia-
目的副動詞「～するため」	-go/-gu-
瞬間副動詞「～するとすぐ」	[-i-ji-ji gəsə]

## (3) 定動詞

直説法現在	-a/-ə/-ra/-rə/-da/-də
直説法過去	-ka/-kə/-ča/-čə
直説法過去複数	-xaal/-xəəl
直説法未来	-jaan/-jəən/-jaraa/-jərəə
命令法近未来単数	-raa/-rəə
命令法近未来複数	-oo/-uu
命令法遠未来	-xaari/-xæəri
放任法	-gi
勧誘法	-go/-gu
仮定法	-mča/-mčə
希求法	[-ŋa-si=tanii] [-ŋə-si=tənnii]

## (4) 定動詞 (直説法) の人称

一人称単数	-i/-bi/-ji	一人称複数	-po/-pu
二人称単数	-či	二人称複数	-so/-su
三人称単数	-φ	三人称複数	-l

## B. 派生接辞

(1) ヴォイス (使役態はしばしばなって語幹と融合し、意味的にも分かれ難くなっていることがある。) 使役態 -waan/-wəən 相互態 -maači/-mæəči

## (2) アスペクト

反動・反復体	-go/-gu	周期体	-lsi
多回体	-nasi/-nəsi	始動体	-psin
開始体	-lo/-lu	継続動作体	-či

## (3) その他

-iča/-ičə/-kiča/-kičə 希望「～したい」, -kaači/-kəəči 擬態「～のふりをする、～して遊ぶ」

-mosi/-musi 生理的欲求「～したい」, -nda/-ndə 移動の目的「～しに行く」

## 1. 犬怪人

二人の姉妹が暮らしていた。ある日森から姉が帰ってきたが、顔色が悪い。その理由を尋ねると、彼女は言った。「一人の少年が言った、犬怪人が来ている、と。それで恐れて帰ってきた。」次の日妹が森へ行った。妹は姉が止めたにもかかわらず、昨日姉が行った場所へ行った。少年が現れて、「犬怪人が来る、」と警告した。犬怪人が現れた。人間の姿をしているが、犬の尻尾がついている。犬怪人はその女の頭のシラミを探した。犬怪人はシラミをどこに置くか、と聞いた。彼は「舌の上に置くので、舌を出せ、」と言った。舌を出すと、犬怪人は彼女の舌を引き抜いた。妹は家に逃げ帰った。姉は子犬を殺して、その舌を引き抜き、妹の口にくっつけた。事情を話して、姉妹は泣いた。そこへ老婆が一人家に入ってきた。老婆は三つの鉄製の矢じりと馬をくれた。そしてどうすればよいのかを教えた。妹は二本の櫛と、小さな袋と、ナイフと、砥石を持った。馬に乗ると馬は空を飛んで行った。大きな家に着いた。それは犬怪人たちの家だった。プジンは老婆の指示通りに行った。料理を作り、全員に配った。それから彼女は掃除をしようと行って、全員を家の外へ出した。棚の上の皿の中に彼女の舌があった。彼女は再び全員を家の中に入れてから、馬に乗って逃げ出した。犬怪人は馬の尻尾をつかんだが、プジンはナイフで尻尾を切った。一軒の家に着いた。一組の老夫婦とその息子が住んでいた。プジンはその息子と結婚した。プジンは妊娠した。夫は彼女の馬を借りて狩りに出かけた。子供が生まれた。義父は夫に手紙を書いた。犬怪人が現れて、手紙をすりかえた。犬の子供を産んだ、と書いた。犬怪人は夫からの返事の手紙もすりかえた。妻を追い出せ、と書いた。妻子は家を出てさまよった。犬怪人が現れた。プジンは走って逃げ出した。犬怪人は追いかけてくる。彼女が櫛を投げるとそれは森になった。三つの矢じりを投げると、鉄製の三本の大きな柱になった。彼女はその上に跳び上がった。犬怪人は柱の根元をかじり始めた。一本目が倒れそうになると、彼女は二本目に飛び移った。三本目が倒れそうになった時、馬が現れた。プジンは馬に乗って飛んで逃げた。馬は死んだ。馬の遺言に従い、プジンは馬の骨や皮で家を作った。家には二匹の小熊がいた。子供は成長した。犬怪人が再び現れた。二匹の小熊が犬怪人を噛み殺した。夫がやって来た。プジンは家の戸が開かないように紐で縛ってしまった。夫が呼ぶのを聞いて、子供が紐を切って戸を開けた。話し合っただけで誤解が解け、夫婦は仲直りした。二匹の小熊はその正体であるスウンに戻り、空へ飛び上がって帰って行った。夫婦は舟に乗って家に帰った。家に帰ると、夫の両親は死んでいたが（妻子を追い出したことに怒ったムルグンが殺した）、夫が生き返らせた。プジンは自分の姉のことを思い出して泣いた。姉に会いに行った。姉妹は再会して喜んで泣いた。姉は夫の二人目の妻となった。家へ帰って幸せに暮らした。終わり。

## 2. 毛皮外套の切れ端

ある家に毛皮外套の切れ端が一人で暮らしていた。彼は人々の住むところへ行くことにした。家の外へ出た。風に飛ばされながら、行った。一軒の家があった。その家の蔵のひさしのところに刺さった。家の娘が家から出てきて、切れ端を見つけた。娘は喜んでそれを拾って家に戻った。娘は家の中にそれを投げておいて、そのことを忘れてしまっていた。娘はそこに一人で暮らしていた。しばらくして娘は妊娠した。子供が生まれた。目には見えないが、家の中で何物かが木を削って揺りかごを作っている音がする。木の削りかすも出る。実は切れ端が子供の父親で、揺りかごを作っていたも彼だった。彼は手に傷を負って、その正体を名乗った。プジンは事情を知って泣いた。家の外へ出ると、空の上を夫が死者の国へ旅立って行くのが見えた。プジンは森に行き、一本のモミの木を切って、人間の姿にした。自分の服を着せて、頭越しに投げた。一人の人間の良い女になった。モミの木の女は子供の良い遊び相手になった。プジンはモミの木の女に子供の世話をまかせて、夫を探す旅に出た。行くと一軒の家があり、男が一人住んでいた。男は妻をなくしたばかりだった。プジンがさらに行くとまた一軒の家があり、老夫婦が住んでいた。彼らは子供を二人なくしたばかりだった。子供たちは夏に水遊びをしていて、弟の方が川に落ち、助けようとした姉も溺れて死んだのだという。プジンはさらに行くと山があり、そのふもとにスウンが立っていた。その足のところに穴が開いていた。その穴に頭を置くと、気を失って、気がついたら冥界にいた。冥界を行くと小屋があり、そこに夫がいた。夫の頭のシラミを探すふりをして、夫の魂を探した。それを見つけて、ひきちぎって走り出した。逃げる途中で姉と弟の二人連れに会った。姉の耳飾りと、弟の指輪をもらってからさらに走り続けた。男の妻に会った。その耳飾りももらった。さらに走って行くと、気を失った。目が覚めると、スウンの足のところに寝ていた。夫も生き返ってその隣りに寝ていた。山を下りると老夫婦の家に着いた。おじいさんは息子の指輪を、おばあさんは娘の耳飾りを胸の上に抱いて寝た。夜中に子供たちが生き返った。翌日さらに行くと男の家に着いた。男に妻の耳飾りを渡し、男はそれを胸の上に抱いて寝た。夜中にその男の妻は生き返った。プジンたちは家に帰った。息子は成長し、強くなっていた。プジンはモミの木の女を、森の元いた切り株のところへ返した。女はモミの木に戻った。夏になった。妻が生き返った男は自分の村を率いて彼らのところへやって来た。プジンたちは舟に乗って老夫婦のところを訪ねた。息子の嫁にその家の娘ももらった。さらにその村の半分ももらって帰ってきた。その後は幸せに暮らした。終わり。

### 3. 姉と妹が暮らしていた（妹は姉の手を切った）

ある家に姉妹が暮らしていた。姉はとても美しい女だった。姉は妹の世話をして暮らしていたが、妹が成長したので旅に出ることにした。妹は嫌がったが、姉は結局行くことにした。薪をたくさん準備して出発しようとした時、妹が手首のところから姉の両手を切り落とした。姉は泣きながら行った。人の家の庭で木の実を食べているところを人に見つかった。その家の主人は娘がとても美しいので自分の息子の嫁にした。娘は妊娠した。夫は別の土地へ仕事で出かけた。夫の継母は妻が犬の子供を産んだという嘘の手紙を書いた。夫からはその妻と子供を追い出せという返事が来たが、それも継母が書いたものだった。娘は籠に子供と服や食べ物を背負って追い出された。泣きながら行った。水が飲みたくなり、小川に直接口をつけて飲もうとすると、子供が籠から川に落ちた。子供をつかもうとしたその瞬間に両手が生えた。それから行くで一軒の家があった。一人の女がいた。それは夫の一番上の姉だった。さらに行くともた家があり、二番目の姉が住んでいた。そこからさらに行くとも海があり、海岸に三番目の姉が住んでいた。夫は海の向こうにいるという。三番目の姉はどうやって海の向こうに行くかを教えた。大きな袋に入って海岸で待っていると大鷲が現れた。鷲は袋をつかんで海を渡った。海の向こうに着いて、先へ行くで一軒の家があり、老夫婦が住んでいた。その夫婦に訊いて、夫が人を教えているところへ行った。夫は妻を見たが、手があるので自分の妻なのか自信が持てない。妻はこれまでのことを語り、夫の手紙についての誤解も解けた。夫は仕事を終え、一家は夫の実家へ帰ってきた。妻は自分の妹のことを案じ、会いに行くことになった。妹を連れて帰ってきた。妹もその村の者と結婚して、皆幸せに暮らした。終わり。

### 4. 二人のムルグンが暮らしていた

二人の兄弟が暮らしていた。兄には妻がおり、弟は独身だった。ある日、妻は悪い夢を見たので獵を休むよう兄に言う。夫は怒り、妻の言うことを聞かずに狩りに出かけた。弟はその後を追って狩りに出た。夜になって兄弟は家へ下りてきたが、家には灯りがついていなかった。兄の妻は何者かによって連れさらわれていた。天窓が壊れていて、鳥が連れ去ったようであった。兄弟は探しに出かけた。弟は下流へ、兄は上流へ向かった。弟が行くと、山の頂上に一軒の家があった。シャーマンのブジンが一人住んでいた。ブジンはシャーマンをして、占った。そのブジンと結婚した。翌日さらに下流へ行くととても太い木があった。木の下には人骨がたくさん転がっていた。隠れていると、鳥が義姉をつかんで飛んで帰ってくる。真ん中の枝に着陸した。鳥は鋼鉄の体をしていて、眉間にだけ柔らかい部分があった。ムルグンはそこを矢で射た。落ちてきたのを槍でとどめを刺した。鳥は消えて無くなった。ムルグンは義姉を矢の上に乗せ、射ると矢は自

分の妻のところへと義姉を運んで飛んで行った。ムルグンが大河をさらに下流に行くと、大きな村があった。その村の長は重病で寝ていた。ムルグンが見ると矢が刺さっていて、その男が鳥の正体だった。ムルグンが矢を引き抜くと、その男は死んだ。その妻がムルグンを襲おうとしたが、ムルグンはこれも殺した。その隣にもう一軒の家があり、男の娘が住んでいた。たいへん美しい娘だった。その女を妻に娶った。翌日その村を全部率いて帰る。山の頂上の妻のところに着いた。その山の中には村があり、その村も率いてさらに戻る。自分の元いた家に着いた。兄はいなかった。大きな家を作り、大きな村を作って人々をそこに落ち着かせた。それから兄を探しに上流へ向かった。兄は上流で人と戦っていた。戦いを止めさせて、そこからその村を率いて帰ってきた。それからは幸せに豊かに暮らした。終わり。

#### 5. 二人の少年が暮らしていた

二人の少年が暮らしていた。両親はなく、ひどく貧しく暮らしていた。ある時食べ物が全く得られず、兄は弟に言った。「俺を殺して食べろ。おまえが俺を殺さないなら、俺がおまえを殺す、」と言った。弟はどうすることもできず、夜中に逃げ出した。川に飛び込んだ。溺れて気を失った。気がつくとき岸に寝ていた。無事だった。山の方に一軒の家があるのを見つけてそこへ入った。家具などは何もなく、机が一つと椅子が二つあるだけだった。机の下に隠れていると、夕方一匹の猿と一匹のクマが帰ってきた。クマと猿は、下流に水不足の村があることや、上流に難病の娘がいることを話し、その解決法も語った。少年はそれを聞いていた。クマと猿は酒を飲み、少し寝て、夜明けに出て行った。少年は下流の村に行った。彼らの言ったとおり、川は干上がっていた。川の源流に行くとカラマツの木があった。その根元に酒と杯を供えてそこを掘った。根元の部分が消えて無くなった。水が流れ出した。村長をはじめ皆とても感謝した。少年は上流の村に行った。村長の娘が病気で寝ていた。村長のところにいたまだらで、毛が前半身と後ろ半身とで逆向きに生えている犬を連れて来させた。誰も入って来ないようにして犬の首を切り落とした。首は消えて無くなった。犬の肉を食べさせ、血を体に塗ると、娘はすっかり健康になった。少年は娘と結婚することになり、乞食のような姿から、すっかり立派な姿になった。しかし妻に、ボロボロの服を取っておくよう命じた。歩き回っているうちに兄を見つけた。兄は最初弟であることを信じなかったが、ボロボロの服を見て納得した。兄は弟の話聞いて、自分も同じようにした。猿とクマの家に行ったが、酒を飲んで座っていた。クマと猿が兄を殺そうとした時、弟が助けに来た。殺さないよう頼んで許してもらった。その家には消えて無くなった木の根と犬の首があった。下流の村に行った。兄はそこの村長の娘と結婚した。弟は上流の自分の村に帰って、幸せに暮らした。終わり。



## 6. あるブジンが住んでいた

姉と弟が二人で暮らしていた。ある日二人で遊んで、日が暮れてから帰ってきた。家の戸を開けた時、何者かが暗い家の中から姉をつかんで引きずり込んだ。家の中には魔物の女がいた。小さい子供である弟は泣いていた。魔物の女は姉の指を串焼きにしていた。その小指が動いているのを少年は見た。魔物が居眠りしている間に少年はその小指を盗んで逃げた。川の源流にある木のうろに姉の小指を隠してから家に戻ってきた。家には魔物の夫も来ていた。三人は魔物の夫の村へ行った。魔物の女は妊娠した。弟が人のいないところへ行くと水鳥が飛んで来て、姉の姿になった。姉は小指から生き返ったのだ。やがて魔物の夫がそのことを知った。魔物の女は女の子を産んだ。魔物の夫は斧で木を割って子供の道具を作ることになった。魔物の夫は魔物の女に手伝わせた。そこで斧で首を切って女を殺した。姉はその男の妻になって一緒に暮らすようになった。姉は男の子を産んだ。男の子はどんどん育った。山にある魔物の墓では、魔物の女が傷を治し、生き返ろうとしていた。魔物の女の娘がそこに通うのを男の子は知って、父に教えた。父は墓である丸太小屋ごと、女を焼き殺した。魔物の娘は村人の斧を盗み、山へ行き、石を彫って自分の母親を作って、復活させようとした。男の子はそれを知って父に教えた。父は村民と山へ行き、大きな火を焚いて、石も娘も焼き殺した。それからは平和に暮らした。終わり。

## 7. 一人のムルグンが一人きりで暮らしていた

ムルグンが一人きりで暮らしていた。ある日思い立って旅に出た。ある村に着いて、村長の家に入った。三人のブジンがいた。その夫たちもいた。何日かそこに滞在した。ブジンは客のムルグンのことを、貧乏人ではないか、と陰口を言った。怒ったムルグンは翌日山へ行って獣をたくさん獲ってきた。家中に毛皮を吊るし、村中に肉を振る舞った。翌日、ムルグンは一番年長の年寄りだけ残して、その家の者を全員殺して干し棚に吊るした。それから旅を続けた。ある村に着いて、村長の家に入った。三人のブジンとその夫たちがいた。彼らは挨拶もせず、食事さえも出さなかった。ムルグンはひもじい思いで夜を過ごした。翌日その夫たちと腕比べをすることになった。三本足のノロジカを追いかけた。ムルグンは先にこれに追いつき、これを叩くとシカは消えてなくなった。帰ってから、ムルグンは一番年長の年寄りだけ残して、その家の者を全員殺して干し棚に吊るした。それからさらに旅を続けた。山の頂上に一軒の家があった。美しいシャーマンの娘がいた。ムルグンはこの女と結婚した。それからさらに行くと大きな村があった。村長はムルグンの先祖の仇である。村長はまず奴隷を派遣したが、簡単にやられる。それからムルグンと村長は長いこと戦って、ムルグンは村長を殺し、その後襲っ

てきたその妻も殺した。村長の家の隣の家には、その娘が一人住んでいた。その娘と村全体を率いてムルグンは来た道に戻る。妻を拾い、さらに戻る。皆殺しにして吊るしておいた者たちを焼いた。その村も率いてさらに戻る。最初の村に着いた。再び殺して吊るしておいた者たちを焼いた。三本足のシカがいて、プジンに変身するが、それも殺してしまう。自分の家に着いた。家を大きくして、連れてきた者たちを皆落ち着かせた。それからそこで豊かに暮らした。終わり。

#### 8. 人形で遊ぶ娘

一人の女の子が一人きりで暮らしていた。朝から晩まで毎日人形で遊んでいる。ある日小舟に乗って一人の男がやって来た。娘は隠れたが、男は見つけ出した。男は娘を連れて自分の家に戻って来た。男は娘を養女に引き取った。男はその村の村長だった。娘は自分の人形を全部持って来た。男の妻は娘に布を与え、自分の服を作るように言った。しかし娘はその布を全部人形の服にしてしまった。男の妻は怒ったが、仕方なく自分で娘の服を縫った。彼らの家から山の方へ行ったところに、彼らの実の息子と、その兄夫婦の家があった。村長の男は自分の息子の嫁とするために、この娘を連れて来たのだった。男の妻は息子の家へその娘を連れて行った。兄夫婦は娘をバカにして悪口を言った。娘は村長の家へ逃げ帰ってきてしまった。今度は息子の少年が村長の家にお客に来た。夜中にその息子は娘の布団に忍び込んで来て、添い寝をした。朝には自分の布団に戻った。少年はその後も毎晩のように通って来るようになったが、両親は気がつかなかった。娘は妊娠した。娘は未婚の子であるために、親に隠れてこっそり子供を産んだ。子供はすぐに成長し、這い這いし始めた。両親はそれを発見して、怒った。息子がわけを話した。今自分の妻と子供をきれいに着飾らせて、兄夫婦のところに三人でお客に行った。兄はこの美しい女が以前バカにした娘であるとも気がつかなかった。自分の家に帰り、三人で暮らし始めた。娘が作った人形の服は、全て人間の服に変わった。それから豊かに幸せに暮らした。終わり。

#### 9. 一匹のカエルと一人のプジンが暮らしていた

ある家に一匹のカエルと一人のプジンが暮らしていた。カエルは女の子を産み、プジンは男の子を産んだ。プジンが薪を集めに行ったすきに、カエルは男の子を盗んで逃げて行ってしまった。プジンはカエルの娘を育てた。カエルのところの男の子も大きく成長した。ある日少年は球遊びをしていて、偶然プジンの家にたどり着き、実の母親に出会った。少年はいったんカエルのもとに帰り、母に出会ったことは黙っていた。狩りに行ってヘラジカを獲り、山に置いて戻って来た。翌日ヘラジカを運びに籠を持ってカエルの母親と二人で出かける。ヘラジカの腸で籠に縛る紐と、籠の引き綱を作った。籠を

カエルに引かせた。少年は肉を背負って先を行き、隠れていた。カエルは紐や引き綱が切れるので文句を言っていた。「他人の息子はやはり他人だ、」と嘆いた。それを聞いて少年は自分の実の母親のもとへ戻り、いっしょに肉を食べた。カエルの娘をカエルのもとへ届けた。カエルの親子は将来を悲観して川に飛び込んだ。終わり。

#### 10. ユルギームルグン

兄と妹が二人で暮らしていた。兄は優秀な狩人だった。ある時獲物が少なくなり、兄は西の方へ行くと言い出した。妹は西へ向かった先祖たちが帰らなかったことを言って、それに反対した。妹は懸命に引きとめたが、兄は振り切って出かけた。妹は待っていたが、いつになっても兄は戻らなかった。妹は完全に男の衣装に着替えて、スキーを履いて出発した。山の沼にたどり着き、そこで瀕死の兄を発見したが、兄はそこで死んだ。小屋を作って兄を葬ると先へ進んだ。兄が狩猟用に使った小屋があった。そこで寝ていると夜中に二匹の狼が戸から入って来た。ブジンは用意していた弓矢で射た。さらに槍で突き刺すと消えて無くなった。来た道に戻って、兄を担いで自分の家へ帰った。兄を自分の家の床の下に埋めて葬った。ブジンは女性の姿に戻って美しく着飾って再び家を出た。上流へ行くと崖の上の一軒の小さな家があった。一人の老婆と一人のブジンとが住んでいた。そこに泊まった。夜中にもものすごい風が吹き、何者かが大きな荷物を運んで来た。灯りをつけて見ると、それは兄の死体だった。兄を生き返らせるために、その家の娘がシャーマンを始めた。ブジンも真似をしてシャーマンを始めた。最後におばあさんが立ちあがってシャーマンを始めた。そして兄は生き返り、その家の娘と結婚した。ブジンはスウンを一体もらって自分の家へ帰った。スウンを友として暮らした。ブジンは山へ行き、ヘラジカを一頭獲った。そこへ鈴をたくさんスキーにつけた、ユルギームルグンがやって来た。ムルグンは「オレのヘラジカをなぜ殺した、」と文句を言った。ブジンはつかむやいなや、そのムルグンを投げ飛ばした。ムルグンは老婆の家の庭のシャーマンの柱まで飛んで行ってそこに引っ掛かった。兄は妹の夫にふさわしい男を探して旅に出た。たくさんの者を倒して進んだが、ある強い男と出会って勝負がつかず、長い戦いになった。そこへ水鳥の姿に変身したブジンが駆けつけた。ブジンはその相手の男に一目惚れして、結婚した。全員で元いたところに大きな村を作っていっしょに幸せに暮らした。終わり。

#### 11. 一人のムルグンが暮らしていた（女奴隷に騙されたブジン）

一人のムルグンが暮らしていた。彼には妹がいて、山側の隣りの家に女奴隷と共に暮らしていた。ある時ブジンは兄のところにお客が来ているのに気がついた。女奴隷に様子を見に行かせた。女奴隷は酔っ払って戻って来て言った。「ムルグンは客人をあなたの

夫にしようと思ったが、その男はとても醜い男だ、」と言った。女奴隷は自分がプジンの身代わりになることを提案し、プジンも同意して、服を交換した。プジンは蜂に変身し、天窓のところで見ていた。兄と家に入って来た客人のムルグンはすばらしい美男子で、プジンは一目惚れした。兄が去ると、女奴隷は客に食事も出さずに布団を敷いて添い寝した。翌朝女奴隷はプジンの家財を積んでムルグンの馬車でいっしょにムルグンの家へ出発した。プジンは蜂の姿で後を追った。プジンは彫刻用ナイフに変身してムルグンの目の前に落ちた。ムルグンはそれを拾って喜んだ。女奴隷はそれを見せてくれとせがみ、奪い取ると投げ捨ててしまった。次にプジンは刺繍入りの煙草入れに変身してムルグンの目の前に落ちた。ムルグンはそれを拾って喜んだ。女奴隷は再びそれを見せてくれとせがみ、奪い取ると投げ捨ててしまった。ムルグンの村に着いた。大きな村だった。ムルグンの家はその村の村長の家である。プジンは黒くて美しい雌犬に変身して家に入ったが、女奴隷に追い出された。女奴隷はたくさんの奴隷をアゴで使うようになった。プジンは村のはずれの小さな家に行った。そこには老夫婦が住んでいた。老夫婦は犬をとても気に入って人の食事を与えて大切にしていた。夜中に犬はプジンの姿に返った。老夫婦は天からの授かりものだと大喜びした。プジンが手を叩くと老夫婦の家は金銀で飾られた美しい家になった。老夫婦は村長の家で働いていたが、女奴隷を自分たちの家にお客に招いた。女奴隷はやって来てそこにかつての主人を発見し、ひどく動揺する。二人は競争を始めた。女奴隷が唾を吐くと、それは鉛や錫になった。プジンが唾を吐くとそれは金や銀になった。女奴隷が髪を梳かすと、ネズミやアナグマが落ちてきた。プジンが髪を梳かすと、クロテンやウサギが落ちてきた。女奴隷は走って逃げ出した。プジンは凍った川の上で女奴隷を捕まえ、氷の穴に頭を突っ込んでそれを殺した。プジンは自分の家へ帰って、兄に事の真相を語った。そこへムルグンが追いかけて来て、あらためて結婚し直すことになった。大量の家財道具を船に積んで、あらためてムルグンの村に嫁入りした。老夫婦を家に引き取って、以後幸せに暮らした。終わり。

## 12. 一人のプジンと女奴隷とが暮らしていた

ある家に一人のプジンと女奴隷とが暮らしていた。女奴隷はたいへん良い働き者で、主人のプジンは長いこと病に臥せていた。プジンは自分の棺桶を作るよう女奴隷に指示した。女奴隷は水が入らないように板で棺桶を作り、表面には彫刻も彫った。プジンの布団を川岸に運び下ろして、棺桶の中に敷いた。プジンを選び下ろし、棺桶に乗せた。女奴隷は泣いたが、プジンの言うとおりに棺桶の蓋を閉めて、川の中のほうへ押した。棺桶は川を流れて行った。一羽のカッコウがその上に舞い降りて、「カッコウ、カッコウ、」と鳴いた。カッコウは、また立ち寄ってくれ、と言いつつ飛び去った。男の声だった。さらに流れて行くと、一羽のカササギがその上に舞い降りて、「サーク、サーク、」

と鳴いた。カササギは、また立ち寄ってくれ、と言い残して飛び去った。男の声だった。さらに流れて行くと、ある川岸のところに接岸した。まるで何者かが舟を引き寄せたかのようにだった。そして何者かが棺桶の蓋を開けたが、外には誰もいなかった。丘の上に一軒の小さな家があった。家の窓からは一匹のヘビが顔を出していた。丘は山火事で全て燃えてしまって真っ黒だった。ブジンは這ってその家の方へ上った。家の戸口のところには子犬がいた。子犬はブジンを呼んだ。そこには小さな穴が開いていて、犬はそこに入った。ブジンは言われるとおりにその穴に頭を置くと、気を失った。気がつくと一軒の家があった。中に入ると、一人の女がいて、ブジンの体を洗ってくれた。そしてそこで休んでいるとブジンの病気は治りすっかり元気になった。そこは地下の世界だった。ヘビはその女の父の化身で、それが歩き回ると地上の物を全て焼き尽くしてしまうという。そして子犬は実はその女の弟だった。女はブジンと二人で地上のブジンの故郷へ行くことに決めた。地上に出て、小舟に乗って二人で川を遡った。川の合流地点に着いた。赤い水と白い水が合流している。白い水の方を遡った。カササギのシャーマンの村に着いた。そこでもてなしを受け、しばらく留まった後、さらに上流へと進んだ。カッコウのムルグンの村に着いた。そこにはブジンの弟である少年がいた。男の子が生まれては死に、生まれては死ぬ、ということが続いたので、両親がカッコウのムルグンにあずけ、ここで育ったのであるという。さらに上流へ行くと、ついに自分の家を発見した。女奴隷と再会し、抱き合って泣いて喜び合った。女奴隷は抱き合った瞬間に美しいブジンに変身した。ブジンはいっしょに帰って来た女と、カッコウのムルグンのところで育った自分の弟を結婚させた。その後父の化身が動き回り、あたりを燃やして進んで来たが、ブジンたちを見つけることはできず、去った。しかし子犬だった女の弟は、その時に焼け死んだ。女は弟の骨を拾い集めて帰って来た。その骨と小麦粉で人間の形を作り、女はシャーマンを始めた。女奴隷だったブジンと、主人公のブジンもシャーマンをした。ついに弟は生き返った。その弟は女奴隷だったブジンと結婚した。カッコウのシャーマンが自分の村を率いてやって来て、主人公のブジンと結婚した。そこで以後幸せに暮らした。終わり。

Pujin — A heroine in Nanay folktales.

Mergen — A hero in Nanay folktales.

Sewen — The wooden icon of sharmans.

#### 1. The dog monster.

Once there lived two sisters. One day the elder sister returned from the woods, and her complexion was bad. When the younger sister asked her why, the elder sister replied. She said, "A boy appeared and he said that the dog monster had come. Fearing it, I have returned. Next day the younger sister went to the woods. In spite of the elder sister's dissuasion, the younger sister went to the place where the elder sister had been the day before. The boy appeared, and he warned her, saying that "the dog monster is coming". The dog monster appeared. His figure was that of a human, but he had the tail of a dog. The dog monster searched for lice on her head. The dog monster asked where he should put the lice. He said, "I'll put it on your tongue, so put out your tongue." The dog monster ripped out her tongue when she put it out. The younger sister escaped to the house. The elder sister killed a puppy, pulled out the puppy's tongue, and joined it to the mouth of her younger sister. The younger sister told the course of events, and they cried. One old woman entered the house. She gave three iron arrows and a horse to the sisters. Then, she taught them what they should do. The younger sister carried two combs, a small bag, a knife, and a grinding stone. When she rode the horse, it flew to the sky. She reached a large house. The house belonged to the dog monsters. The Pujin acted according to the instruction of the old woman. She did the cooking, and she gave it out to all of the dog monsters. Then, she said "I'll do the cleaning now", and she drove all of them outside the house. She found her tongue on a tray on the shelf. After she let all of them in the house again, she rode the horse and flew away. The dog monster grasped the horse by the tail, but the Pujin cut off the tail of the horse by her knife. She reached a house. An old couple and their son lived there. She married their son. The Pujin got pregnant. Her husband went hunting, riding her horse. A child was born. The father-in-law wrote a letter to her husband. The dog monster appeared and changed the letter. He wrote that she gave birth to a dog baby. The dog monster also changed the reply letter from her husband. He wrote, "Kick my wife out." Kicked out from the house, she and her child wandered about. The dog monster appeared. The Pujin ran away. The dog monster chased them. When she threw out her comb, it became woods. When she threw the three arrows, they became three large columns made of iron. She jumped on the top of a column. The dog monster began to gnaw at the root of the column. She jumped to the second column when the first column was about to fall. Her horse appeared when the third column was

about to fall. The Pujin escaped flying on the horse. Then the horse died. Following the will of the horse, the Pujin made a house with the bone and skin of the horse. There were two small bears in the house. The child grew. The dog monster appeared again. The bears bit and killed the dog monster. After that her husband returned. The Pujin tied up the door of the house with a string so that it may not open. The child opened the door by cutting the string when his father shouted from outside. The husband and wife talked, cleared up their misunderstanding, and were reconciled. The two bears turned into the Sewens, flew to the sky, and went home. The husband and wife returned home on a ship. The parents of the husband had died, when they returned home (The Mergen got angry at the expulsion of the wife and child, and at that time he killed them ). The husband brought them back to life. The Pujin began to cry, remembering her sister. She went to meet her sister. They met again, and cried with pleasure. The elder sister became the second wife of the husband of the younger sister. They returned home, and lived happily ever after. The end.

## 2. The scrap of fur mantle.

A scrap of fur mantle lived alone in a house. He decided to go to the place where people lived. He went outside of the house. He went, carried by the wind. He found a house. He stuck himself in the place of the eaves of the storehouse near the house. A girl came out from the house, and she found the scrap. She picked it up in pleasure, and returned to her house. She threw it in the house, and forgot about it. She lived there alone. After a while, she got pregnant. A child was born. She heard the sound of someone whittling a piece of wood to make a cradle for the baby. But this someone couldn't be seen. Only the wood shavings appeared. In fact, the scrap was the father of the child, and it was he who also made the cradle. When he got injured in the hand, he unveiled himself. Finding out about the circumstances, the Pujin started crying. When she went out from the house, she saw her husband fly away to the world of the dead. The Pujin went to woods, cut down a fir tree, and whittled it into a human figure. Putting her own dress on it, she threw it behind over her head. It turned into a good woman. The woman of the fir tree became a good playmate for her child. The Pujin made the woman of the fir tree look after her child and went on a journey to search for her husband. She found a house and in it lived a man. He had just lost his wife at that time. She went further and found a house again. There lived a couple. They had just lost their two children. They said that that summer their children played in the water, and the younger boy drowned. His sister wanted to help him, but she also drowned. The Pujin went further and found a mountain. There stood a Sewen at the foot of the mountain. A hole opened near the foot of that Sewen. She put her

head in the hole and lost her consciousness. When she came to herself, she was in the world of the dead. She went further and found a house. She found her husband there. She searched for the soul of her husband, pretending to search for lice on his head. She found the soul and pulled it out, then ran away. As she ran away, she met the elder sister and the younger brother. She got the earring of the elder sister and the ring of the younger brother, and kept running. She met the wife of the man. She got her earring. She lost her consciousness when she ran further. She woke to find herself lying at the foot of the Sewen. Her husband revived and slept next to her. When she got off the mountain, she reached the house of the old couple. The grandmother lay holding the earring of her daughter on his breast, and the grandfather lay holding the ring of his son on his breast. The children revived in the night. The next day she and her husband went further and reached the house of the man. She handed the man the earring of his wife, and he lay holding it on his breast. The wife of the man revived in the night. The Pujin and her husband returned to their house. The son grew and became strong. The Pujin returned the woman of the fir tree to the place in the woods where she had been. The woman turned back into a fir tree. It became summer. The man whose wife revived led his fellow villagers and came to their place. The Pujin and her family went on a ship and visited the old couple. They chose the daughter of the couple for their son's marriage. In addition, they brought back half of the couple's village and went home. They lived happily ever after. The end.

### 3. There lived two sisters.

There lived two sisters in a house. The elder sister was a very beautiful girl. The elder sister had been taking care of her younger sister, but she decided to go to on a journey because the younger sister had grown. The younger sister didn't agree with that, but the elder sister decided to go after all. The elder sister prepared enough firewood, and when she was about to go, the younger sister cut off both of the elder sister's hands. The elder sister went crying. When she was eating berries in someone's garden, she was found by other people. The host of the house took her in marriage to his son because the girl was very beautiful. The girl got pregnant. Her husband went out to work in a different land. The stepmother of the husband wrote a false letter saying that the girl had given birth to a pup. The husband wrote back to expel his wife and the pup, but the letter was also rewritten by the stepmother. They made the girl shoulder her child and food in a basket, and expelled her. She went crying. She wanted a drink of water, and when she went to drink directly from a river, the child fell into the river. Both her hands grew when she reached out to grasp her child. She went further and found a house. There was a woman. She was the eldest sister of her husband. When she went further, there was a house



again, and the second sister of her husband lived there. She went further and reached the sea. There lived the third sister of her husband on the coast, who said that the girl's husband was on the opposite side of the sea. The third sister told her how to go over to the opposite side of the sea. When she waited inside a large bag with her child, there appeared a big eagle. The eagle crossed the sea grasping the bag. When she reached the opposite side of the sea and went further, there was a house and there lived an old couple. They told her where her husband was, and she went to the place where her husband was teaching a class. Her husband looked at his wife, but he wasn't certain that she was indeed his wife or not, because she had her hands. She told him the whole story, and they cleared up the misunderstanding. Her husband finished his work, and the family returned home. She worried about her younger sister, and decided to go and see her. She brought her sister back home. The younger sister married a man of that village, and they all lived happily ever after. The end.

#### 4. There lived two brothers.

Once there lived two brothers. The elder brother was married, and the younger brother was single. One day, the wife of the elder brother dreamed a bad dream, and told her husband not to go hunting that day. The husband got angry, and he went hunting without minding what his wife said. The younger brother followed him and also went hunting. In the evening the brothers came back to their house, but the light was off. The wife of the elder brother had been taken away by someone. The skylight of the house was broken, so it seemed that a bird had taken her away. The brothers went searching for her. The younger brother headed downstream, and the elder brother headed upstream. The younger brother went and found a house on the crest. A shaman called a Pujin lived there. He married her. She performed shamanism and divined the future and where his sister-in-law was. Next day he went further downstream and found a very thick tree. Many human bones lay scattered under the tree. While he was hiding, a big bird flew back to the tree clasping his sister-in-law. It landed on a middle branch. The bird had a steel body, but there was a soft part only in the forehead. The Mergen shot that part with an arrow. The bird fell and he pierced it with a spear. The bird disappeared. When he made his sister-in-law sit on an arrow and shot it off, the arrow took her back to his wife. There was a large village when he went further downstream. The chief of the village was ill in bed. The Mergen saw his arrow stuck in the chief, and he realized the chief was really the bird. The man died when the Mergen pulled out his arrow. The wife of the man intended to attack the Mergen, but the Mergen killed her at once. There was another house next door, and there lived the man's daughter. She was a very beautiful girl. The Mergen married her. He started going back

home, leading the people of the village. He reached the place of his first wife on the crest. There was a village on that mountain, and he led that village too, returning to his original home. His brother wasn't there. He built many large houses, made a large village, and made people settle down there. Then he went upstream, searching for his brother. His brother was fighting an enemy upstream. He made them stop the fight, and returned home leading that village. Then they lived happily ever after. The end.

5. There lived two boys.

There lived two boys. They were orphans and led very poor lives. One day, they couldn't get any food, and the elder brother said, "Kill me and eat my flesh. If you won't kill me, I'll kill you." The younger brother didn't know what to do, and ran away in the night. He dived into a river. Drowning, he fainted. Then he found himself lying on the shore. He was safe. He found a house on the hill, and went into the house. There was no furniture in that house but a table and two chairs. When he was hiding under the table, a monkey and a bear returned to the house in the evening. The bear and the monkey talked about the drought and the water shortage in a village downstream, and about a girl with an intractable disease upstream. They talked about the solution of these problems. The boy listened to them. The bear and the monkey drank, slept a little, and then went out at dawn. The boy went to the village downstream. The river has dried up, as they had said. When he went to the headwaters of the river, he found a big larch tree there. After putting a bottle of alcoholic drink and a cup at the root of the tree, he dug there. Part of the root disappeared. Water flowed out. The people of the village were very pleased and gave thanks to him. The boy went to the village upstream. The daughter of the chief of the village was ill in bed. There was a dappled dog kept in their house. He cut off the head of the dog. The head disappeared. When he applied the blood of the dog to her body and made her eat the meat of the dog, she recovered completely. The boy married the girl. He washed himself and was dressed a good costume. However, he ordered his wife to keep his ragged gear. When he walked around, he found his elder brother. At first his brother didn't believe he was his own younger brother, but he finally believed when he saw the ragged gear. The elder brother heard the story of his younger brother, and he wanted to do the same things. He went to the house of the monkey and the bear, but he drank and sat there. When the bear and the monkey were about to kill him, his younger brother came to help him. The younger brother begged them for the life of his brother, and they forgave him. In the house there were the root of the tree and the head of the dog which had disappeared. They went to the village downstream. The elder brother married the daughter of the chief of that village. The younger brother returned

to his home upstream and lived happily ever after. The end.

6. There lived a Pujin.

There lived a girl and her younger brother. One day, they played long and returned home late in the evening. When she opened the door, someone pulled her from inside into the darkness of the house. There was a witch in the house. The younger brother cried. The witch skewered and burned the fingers of the elder sister. The boy saw that the little finger was moving. He stole the little finger while the demon drowsed, and ran off. He returned home after he had hidden the little finger of his elder sister in the hollow of a tree at the headwaters. The husband of the witch had also come to the house. The three went to the village of the husband of the witch. The witch got pregnant. When the younger brother went to a place where there were no people, a bird came flying, and it turned into his sister. She had revived from her little finger. Soon the husband of the witch found out. The witch bore a girl. The husband of the witch began to make a cradle breaking timber by the axe. He made the witch help. There he killed the witch by cutting off her head by the axe. The elder sister married the man and they started to live together. The elder sister bore a boy. The boy grew fast. In the grave of the witch on the hill, she was healed of her wounds and was about to be revived. The boy noticed that the daughter of the witch had gone to the grave, and he told his father. His father burned the grave (a log cabin) and killed the witch. The daughter of the witch stole the axes of the village people, and she went to the hill. And by carving a stone image of her mother, she intended to revive her mother again. The boy noticed this again, and told his father. His father went to the hill with the village people. Then they made a big fire and burned the stone of the witch and her daughter. After this, they lived peacefully. The end.

7. There lived a Mergen alone.

There lived a Mergen alone. One day he decided to go on a journey. He reached a village, and entered the house of the chief of the village. There were three Pujin and their husbands. He stayed there for some days. One of these Pujin spoke ill of him. She said that he must be a poor man. The Mergen got angry. Next day he went to the woods and hunted many beasts. He hung the furs all around the room, and served the meats to everyone in the village. Next day the Mergen killed all the members of that house but the oldest man, and hung them on the shelf outside. Then he continued his travels. He reached a village, and entered the house of the chief of the village. There were three Pujin and their husbands. They did not serve him any meals and didn't even greet him. The Mergen spent the night in hunger. Next day he competed with

them in hunting. They began to chase a deer with three legs. The Mergen caught up with the deer first, and when he hit it, it disappeared. When he returned, he killed all the members of that house but the oldest man, and hung them on the shelf outside. Then he continued his travels. There was a house on the top of a hill. There was a beautiful girl and she was a shaman. He married this girl. When he went further, there was a large village. The chief of the village was the enemy of his ancestors. At first the chief of the village sent a slave, but he was so weak that the Mergen killed him with a single blow. Then they fought for a long time, and at last the Mergen killed the chief. After that the wife of the chief also attacked him but he killed her too. Next door to the house of the chief, his daughter lived. He began to go back the way he had come, taking her and her village. On the way home he picked up his wife, and returned further. He burned all that he had killed and hung. He returned further leading their village. He reached the first village which he had stopped by. Again he burned all that he had killed and hung. There was the deer with three legs, and it turned into a woman. But he killed her too. He returned to his home. He built big houses, and made all the people settle down there. Then, they led a rich life. The end.

#### 8. The daughter who plays with the dolls.

There lived a young girl alone. She plays with the dolls from morning to night every day. One day, a man came to her by boat. The girl hid, but he found her. He took her to his house. He adopted her and brought her up. The man was the chief of that village. The girl brought all of her dolls. The wife of the man gave a piece of cloth to the girl and ordered her to make her own dress. However, the girl made dresses with the cloth for all the dolls. The wife got angry, but there was no other way, so she sewed the girl's dresses by herself. The house of their own sons was next door to their house. The elder son was married, and the younger was single. The chief brought the girl so as to let his younger son take her in marriage. The wife of the chief brought the girl to the house of her sons. The elder son and his wife insulted the girl, speaking evil of her when they saw her. The girl ran away from there to the house of the chief. After that the younger son visited them. In the night he climbed into the bed of the girl, and lay by her side. In the morning he returned to his own bed. Afterwards he came to her almost every night, but his parents didn't notice it. The girl got pregnant. She bore stealthily because she was unmarried. The child grew fast, and began to creep. Her parents got angry when they found it. The son explained the reasons. Now he dressed up his wife and child, and visited his brother. His brother didn't even notice who she was. They returned home, and began to live together. All of the dresses of the dolls which the girl had made turned into human dresses. Afterwards

they lived happily and richly. The end.

9. There lived a Pujin and a frog in a house.

There lived a Pujin and a frog in a house. The frog bore a girl, and the Pujin bore a boy. While the Pujin went to gather firewood, the frog stole the boy and ran away. The Pujin fostered the daughter of the frog. The boy also grew big with the frog mother. One day, while the boy was playing with a ball, he accidentally got to the house of the Pujin, and met his own mother. The boy returned to the frog for a while, and kept quiet about meeting his own mother. He went to the woods and caught an elk. He left it in the woods and returned home. Next day he departed with the frog mother carrying a sleigh to bring the elk. From the bowels of the elk he made the rope to draw the sleigh. And he made the frog draw the sleigh. The boy shouldered the meat, and went ahead, and hid behind a tree. The frog complained because the rope snapped again and again. She complained, "the child of an unrelated person is an unrelated person after all." The boy heard what she said, returned to his own mother, and ate the meat together. He sent the daughter of the frog to her own mother. The frog and her daughter dived into the river. The end.

10. Yurgi Mergen

There lived an elder brother and a younger sister. The elder brother was an excellent hunter. One day he said, "Tomorrow I'll go hunting to the west, because recently I haven't been hunting well." The younger sister opposed it because their ancestors who went westward did not return. She tried hard to keep her brother back, but he shook her off and left. Although the younger sister waited, the elder brother did not return. She changed into male clothes, wore skis, and departed. She reached a swamp in the mountain, and she found her brother there. But he was dead. She made a cabin, and went further to bury him. There was a hut which the elder brother had used for the hunting. When she slept, Two wolves came into the hut. She shot them by the arrow. Then they disappeared when she pierced them by the spear. She returned home shouldering her brother. Then she buried her brother under the floor of her house. The Pujin dressed up beautifully as a woman again, and left home once more. When she went upstream, there was a small house on the cliff. There lived an old woman and her daughter. She stayed there. An awesome wind blew in the midnight, and someone came carrying a large piece of luggage. When she looked at it under the light, it was the dead body of her elder brother. The daughter of the house started a shaman performance in order to revive him. The Pujin also started a shaman performance in imitation of her. Finally, the old woman stood up and started a

shaman performance. Then, her brother revived, and married the daughter. They gave the Pujin a Sewen, and she returned home. She lived with the Sewen as a good friend. She went to woods, and hunted an elk. Yurgi Mergen, who had set many bells on his ski, came along. The Mergen said, "Why did you kill my elk?" The Pujin grasped him and threw him away. He flew away to the column of the shaman in the garden of the old woman, and got caught on it. Her brother started to travel to search for a suitable person for her to marry. He went ahead striking down many people, and then met a very strong man. They were well matched and started a long fight. The Pujin came flying as a water bird. The Pujin fell in love with him at first sight, and married him. They built a large village in their homeland, and lived happily all together. The end.

#### 11. There lived a Mergen.

There lived a Mergen. He had a younger sister, and she lived with a female slave next door to him. One day the sister noticed a guest visiting her brother. She made her slave go and see the situation. The slave came back. She was drunk and said, "Your brother decided to get the guest to marry you, but the guest is a very ugly man." The slave proposed that she herself go in place of the Pujin. The Pujin agreed to her proposal and they exchanged their clothes. The Pujin transformed herself into a bee. Then she landed on the skylight and watched the course of events. Her brother and the guest entered the Pujin's house. The guest was so handsome that she fell in love with him at first sight. After her brother left, the slave didn't even serve any meals to the guest. And immediately she made a bed and lay by the side of him. Next morning the slave loaded the luggage of the Pujin into the carriage of the guest the Mergen, and departed to the house of the Mergen on the carriage. The Pujin followed them in the shape of a bee. She transformed herself into a wood chisel, and fell under the Mergen's eyes. The Mergen picked it up and was pleased with it. The slave pestered the Mergen to show it to her, then took it away from him and threw it away. Next, the Pujin transformed herself into an embroidered cigarette case, and fell under the Mergen's eyes. The Mergen picked it up and was pleased with it. The slave pestered the Mergen again to show it to her, then took it away from him and threw it away. They reached the village of the Mergen. That was a very large village. The house of the Mergen was the house of the chief of the village. She transformed herself into a beautiful black dog and entered the house, but was driven away by the slave. The slave began to boss many slaves about. The Pujin went to a small house at the edge of the village. There lived an old couple. They liked the dog very much, and cherished it feeding it human foods. The dog turned back into the Pujin in the night. The old couple were very pleased and regarded her as a

gift from heaven. When the Pujin clapped her hands, the house of the old couple changed into a beautiful house decorated with gold and silver. The old couple had worked as servants in the house of the chief of the village. They invited the slave to their house. The slave came to their house, and was shocked on finding her former master. They started a competition. When the slave spat, the spit changed into lead and tin. When the Pujin spat, the spit changed into gold and silver. When the slave combed her head, some rats and badgers fell. When the Pujin combed her head, some hares and sables fell. The slave began to run away. The Pujin caught her on a frozen river, and killed her sticking her head into an ice hole. The Pujin came back to her village, and told the truth to her brother. The Mergen chased her and came to her village. They decided to "re-marry." They loaded a lot of household effects on a ship, and the Pujin settled herself in the Mergen's village. She took the old couple into their care, and afterwards they lived happily altogether. The end.

12. There lived a Pujin with her female slave.

There lived a Pujin with her female slave. The female slave was a very good worker. And the Pujin had been ill in bed for a long time. The Pujin instructed the slave to make her coffin. The slave made the coffin from boards so that the water may not come in, and she carved some sculpture on the surface of it. Then she carried the mattress and the blankets of the Pujin down to the riverbank, and laid them in the coffin. Next, she carried the Pujin to the bank, and laid her in the coffin. The slave cried. Then she closed the top of the coffin and pushed it into the river. The coffin began to flow on the river like a boat. A cuckoo came down on it, and sang "cuckoo, cuckoo." The cuckoo said, "Please drop by my place again," and flew away. It was the voice of a man. When the coffin drifted further, a magpie came down on the coffin and sang, "sak, sak." The magpie said, "Please drop by my place again," and flew away. It was the voice of a man too. When the coffin flowed further, it came alongside a bank as if someone had pulled it up. Then someone opened the top of the coffin. The Pujin found nobody there. She found a small house on the hill. There was a snake putting his head out of the window of the house. The hill was entirely black because of a forest fire. The Pujin crept up to the house. There was a puppy at the entrance of the house. The puppy called her. A small hole had opened there, and the dog entered. When the Pujin put her head on that hole according to the puppy's instruction, she fainted. When she became conscious, she found a small house. She went into that house. There was a girl and the girl washed the Pujin. After she rested for a while, the disease of the Pujin was completely healed. It was the underground world. The girl said that the snake was her father, and if the snake goes around, he will burn everything on the ground. And the puppy

was a younger brother of the girl. The girl and the Pujin decided to go away from here to the homeland of the Pujin. They got out on the ground, and began to ascend against the stream on a boat. They reached a confluence of the river. The red water joined the white water there. They ascended along the white water. They reached the village of the magpie shaman. After that they ascended further. They reached the village of the cuckoo shaman. There was a boy who was the younger brother of the Pujin there. They said that their parents left him in charge of the cuckoo the Mergen because their sons had died one after another. They ascended against the stream further, and at last the Pujin found her own house. She met her slave again. They hugged each other and cried with gladness. The slave was transformed into a beautiful Pujin when the Pujin embraced her. The Pujin joined in marriage her own brother who grew up at the cuckoo shaman and the girl with whom she returned home. After a while, the father of the girl walked around, came along and burned everything on the ground. But he couldn't find them, and left. However, the younger brother of that girl who was a puppy was burned and died at the time. The girl picked up the bones of her younger brother and came back. They made a human figure from his bones and flour, and the girl began to do a shaman performance. The Pujin and the Pujin who was a slave also began to do a shaman performance. The younger brother revived at last. He married the Pujin who was the slave. The cuckoo shaman came, leading his own village, and married the Pujin. They lived happily ever after. The end.



1996年8月19日 ダエルガ村にて録音

N. B. Gejker 氏 口述

1. inda xočiani

犬 怪人

ə~ŋ undiisi əikə nəu~ baljixači, tui taraa-la tui biəl undə,  
姉と妹が暮らしていた、そうしてからそうしているという、

tui baljimaari-a~ tui bimi, bimæri undiisi, ini ini gaaktawa,  
そうして暮らしていて、そうして、 日に日に ツルコケモモを、

əm nai tookoi əm nai tookoi tami tamaal undə.  
一人が上り、別の一人が上り、して、集めているという。

tui tami-a~ əm modan-gola undiisi əikəni əuguxəni.  
そうして ある時、 姉が 下りてきた、

əikəni tamandagoxan, nəuni indəxən.  
姉が 集めに行った、妹は 残っていた。

əikəni-lə siksə əuguxən xərə~ kiarbar bisə ŋəələ...  
姉が 夕方 下りてきたが、ああなんとも (顔が) 真っ白になっている、恐れて、

”xaiji ŋələxəsi əgəə, xaiji oloxasi,” undii, ”xooni taxasi.”  
「何に驚いたの、姉さん、何で身震いしているの、」と言う、「どうしたの。」

”aja~, ” undiisi, ”gusururuu”-dəə ”gusururuu.”  
「大丈夫。」 「話して、 話してよ。」

”abaa~ mii-təni siariidoji-dəə gusurujəə-mə, apsingoidoji-daa gusurujəə-mə.”  
「いいえ、私は 食べる時にでも話すでしょう、寝る時にでも話すでしょう。」

”abaa~, gusururuu”-dəə ”gusururuu,” undii, ə~ŋ tui taraa undiisi pūjin-gulə undiisi,  
「だめよ、今話して、 今話してよ、」と言う、 そうしてから プジンは、

əŋ nəuni-təni gusuruuriwə gələi-dəə gələi əikəni-təni osisiini gusuruuriwə nəə-dəə.  
妹は 話すことを 求めに、求める、姉は 嫌がる、話すことを、今すぐに、だ。

ə~ŋ tui taraa-la undiisi xaixani, siaxan xaixan xōjixan  
そうしてから どうした、食べた、そうした、終わった、

”gəə, əgəə gusururuu,” undii, əŋ ulpimi tæguxən xaisi, ”əgəə gusururuu,” undii,  
「さあ、姉さん話せ、」と言う、縫い物をして座っていた、再び、「姉さん話せ、」と言う、

”əpangoa~ əsi mimbə gusuruxən-dəə ələə sii taosi ənəjəəči-mə,” undiini.  
「妹よ、今私が話したら今にもあなたはそこへ行こうとするでしょう、」と言う。

”ə~ŋ undiisi mii-tənii tul tu~l tamaori ŋarokaamba, dujəəčiəni tooxambi,” undiini,  
「私は いつもいつも集めている小さな沼を、山の方へ上った、」と言う、

”xəjinaxani,” undii, ”təi tamaori ŋarokaan... dujəəčiəni tooxambi-tanii  
「少なくなっていた、」と言う、「その集めていた沼には、それで山の方へ上ったならば、

jəə bii-nuu~, ” undii, ”gaakta daaini, uləəni,  
それがもう並みのすごさだろうか、」と言う、「ツルコケモモの大きく、良いことときたら、

čado tamaidoja-tanii, əm takaan, taso~ tuuxəni,” undii,  
そこで集めている時に、一本の先の丸い矢が タスッ、と落ちてきた、」と言う、

”kiralajji, təi-tənii əm naonjokaan agbiŋkini,  
「私の側に、そしたら一人の少年が 現れた、

”əgəə ənuu”-dəə ”ənuu, inda xočiani poktoni əi duələni isindai,  
「姉さん帰れ、ここから去れ、犬怪人の足跡がこの端の所にまで来ている、

turgən ənuu, turgən ənuu,” gəə čado əbə saba čočagoxambi-a~, ” undiini-goani.  
早く 去れ、早く 去れ、」と。さあそこであたふたと逃げて来たのよ、」と言うのだ。

təjə-dəə əikəni tamaxan gaaktəŋgoni-la daaisal, uləəsəl bičini.  
本当に、姉が 集めてきた ツルコケモモときたら大きく、良いのばかりだった。

”ə~ŋ əji~ əji~ ənərə~, əji toora”-m, ”sii taosi.”  
「決して、決して 行くな、決して 上るな、あんたは、あそこへ。」

”aja~ ŋəələuri jəkala, xai ənəjəəmbi,” undiini.  
「大丈夫よ、恐ろしい物へ、どうして 行ったりするでしょうか、」と言う。

ə~ŋ tui taraa əikəni-təni, uikəwə niədələ ʃia čimaña, uikəwə niədələ kəkčəini-goani,  
そうしてから姉は、 戸口を出る所まで次の日、 戸口を出るまで論ずのだ、

”əji ənərə~,” undii, ”taosi əji ənərə”-m-də.  
「決して行くな、」と言う、「そこへ決して行くな、」と。

”sii ərdəŋgəsimi ənəini osijaaci-ma,” undiini.  
「あなたはすぐに面白がって行くことになっちゃうんだから、」と言う。

”abaa~, əgəə xai-daa ənəjəmbi,” undii, ”orkin ʃaka, ŋələn ʃakawa doolʃixandoji.”  
「いいえ、姉さん、どうして行くでしょう、」と言う、「悪い物へ、恐ろしい物と聞いていて。」

ə~ŋ undiisi tui taraa-la undiisi tawaŋki-la, uikəwə niədələ~ ənə...  
そうしてから そこから、戸口を出るまで、

uikəwə dasigodala kəkčəxəni əikəni-lə tui taraa ənəxən, puʃin.  
戸を 閉めるまで教え諭していた、姉は。 そうしてから行った、プジン。

tooxa~n təjə-dəə bičin ŋəanči tul tul tamai ŋarokaangodoači  
上った、本当 だった、彼らがいつもいつも集める 小さな沼の所には、

gaakta-daa aso~ baawasi, nuučikəəsəlɲi osiogoxani.  
ツルコケモモも わずかしか 見当たらない、小さなものばかりになっていた。

ə~ŋ əikəni poktoani-la duisi siur ənəxəni bičin.  
姉の 足跡は 山の方へそこを通りすぎて先へ向かっていた。

čawa əikəji poktowani toomi tooxani, amdami, daxami tooxani.  
それを、自分の姉の足跡を 上って、上って行った、真似して、ついて 上って行った。

təjə-dəə bičin goro-daa anaa tajaǰia, əm ŋaron bičin daai ŋaron.  
本当 だった、遠くも ない、そこから、一つの沼が あった、大きな 沼が。

təi-təni gaaktani əǰjini, daaini, bičini.  
そこには ツルコケモモが とても多く、大きい、のであった。

čado-la~ puʃin-gulə xooptaŋka tamaini-la tui tamaidoani-la undiisi,  
そこで プジンは 根気よく 集める、 そうして集めている時に、

taso~ jīcə undə tǝjə-dəə bičīn, əm takaan tuuriini, osiini,  
タスッと飛んで来たという、本当 だった、一本の先の丸い矢が落ちて来た、そうだった、

əm naonjokaan agbiŋgoxani paka paka bii naonjokaan.  
一人の少年が 現れた、黒々とした少年が。

”ə~ŋ əgəə ənuu”-dəə ”əgəə ənuu, ələə isii-dəə, inda xočiani ələə isii”-dəə,  
「姉さん 帰れ、 姉さん 去れ、今にも 着く、 犬怪人が、今にも やって来る、

”əi inda xočia poktoni”-daa undiini, ”gəə, ənuruu”-m.  
これが 犬怪人の足跡だ、と 言う、「さあ、帰れ、」と。

tui-lə patarii tui morai doolani-tol aba-gdal osiogoini undiisi  
そうして震えて、そう叫ぶ うちに パッと消えてしまった。

ə~ŋ isika undə, nai-kaa nai, ičəurini, nai.  
到着したという、人間といえば人間とも見える、人が（しかし犬の尻尾がついている）。

undiini, ”anda~ puŋin,” undii, ”xai, jiliasi gələgite,” undiini.  
言う、「ああ、 プジンよ、」と言う、「おまえの頭を私に探させよ、」と言う。

”abaa~, ” undii, ”mii jilidoji čiktə-dəə anaa xuuktu-dəə abaa,” undiini.  
「いいえ、 私の頭にはシラミも いないし、シラミの卵もないわ、」と言う。

”aja~, ” undii əsi-təni puŋin jiliani-tanii japaraa jigdaini-goani,  
「いいから、」と言う、今 プジンの頭を つかんで 押さえつけるのだ、

jiliani nəə gələini osini.  
頭を すぐに 求める ならば。

ə~ŋ undiisi əsi-təni, tui suilimi suilimi laapoo~ japaini osika undə,  
今、 そうしてシラミを探して探して パッと つかむこととなったという、

tui taraa undii, ”gəə, abaa~ undəsi-kəə, xamačaa-daa anaa”-m-daa.  
そうしてから言う、「さあ、 いないと言っていたじゃないか、 何にも ない、」と。

”čiktə-dəə anaa xuuktu anaa təi xooŋaa daai čiktə,” undiini,  
「シラミも いないし、シラミの卵もないと、それがほれ、 なんて大きなシラミだ、」と言う、

”naado... xorođoja næruu,” undiini, ”xoro-daa~ xətəəsi,” undiini,  
「(握って逃げないようにする) 掌に置け、」と言う、「掌じゃ 入りきらない、」と言う、

”xai, naado næmi xairiini, tēi moodo,” ”moo-daa xətəəsi,” undii,  
「地面に置いてあしろ、その木の上に。」「木にも のらない、」と言う、

”gəə xamačaa čiktə osixani-a,” undiini. ”siŋmuji, siŋmuji agbimboroo,” undiini.  
「まあ、いったいどんな シラミが出たのか、」と言う。「自分の舌を 出せ、」と言う。

undiini, puŋin undiini, ”ədədə xoro-daa xətəəsi xaido naa-daa xətəəsi,  
言う、プジンと言う、「あたら、掌も 場所がない、 地面にも 場所がないのに、

siŋmu-mət xooni xətəini,” undiini-goani, ”xamačaa čiktə osixani-a”-m-da.  
舌なんかに どうやってのるといふの、」と言うのだ、「どんな シラミが見つかったのか、」と。

siŋmuji ŋaŋga iin taxani. tēi-tēni ”abaa,” undii,  
自分の舌を ちよつとだけ イ〜ンと出した。そいつは「だめだ、」と言う、

”masitaa~da,” undiini. əŋ tui masitaa siŋmu osiini tēi-tēni,  
「もっと強く、」と言う。 そうして思いきり舌を 出した、そいつは、

čopkoalaŋji gəsə... ʒapaŋji gəsə lopto tataxani puŋimbə-lə, siŋmuwəni.  
二本の指でつまむやいなや、つかむやいなや、ブツツと引き抜いた、プジンの 舌を。

əsi puŋin-tēni əbəə osii-goani, nasalni-maŋa kialoŋ kialoŋ-da.  
今 プジンは 唾に なってしまったのだ、目ばかりを キョロ キョロさせている。

tui tami abanagoka undə tēi, siŋmuwə tataŋji gəsə abanagoxani.  
そうして 消えてしまったという、そいつは、舌を 引き抜くやいなやいなくなった。

əsi-tēni puŋin-tēni~ tawaŋki əuŋui-goani, əuŋuxə~n, ʒoo, tuliəwə isigoini əikəni niəxəni.  
今 プジンは そこから 下りるのだ、下りた、家の中庭に 着くと 姉が 出て来た。

”xooni taxasi xooni taxasi,” undii, nəuni baar boiko-daa anaani-goani kiarbar bii,  
「どう したの、どう したの、」と言う、妹の 顔色はその色を失っているのだ、真っ白だ、

ʒaralipočin-daa ʒaraliadaasi, aŋma nixəlixəni, a siŋmu čuŋnurəm abaa. luŋturəm bii.  
話そうとしても 話せもしない、口を開いた、 が、舌が さっぱりとない。 ガランとしている。

tui taraa-la əsi kəŋjəmbə                      waaraa undiisi, siŋmuni ačoraa,  
そうしてから今生まれて数ヶ月の子犬を殺して、                      舌を 取って、

xaixani, nəu, aŋmačiani gidalaxani.  
妹の口へ                      刺した。

təi siŋmuni bəunduəni tərək      osixani      xisaŋgoi talogoxani.  
その彼女の舌の所に                      きちんとおさまった、話を                      し始めた。

”ərdəŋgə~ xai-daa,” undiini əikəni, ”mii xooŋaa uŋkəjə,                      uikə niədələ-də.  
「不思議だわ、何とも、」と言う、姉は、「私が どのように言ったことかしら、戸を出るまで。」

uikə dasigodala kəkčəəčiji-kəə,” undii, ”əji ənərə-m, undəčisi-kəə,” undii,  
戸を閉めるまで諭したじゃないの、」と言う、「決して行くなと言ったじゃないの、」と言う、

”ənəəsimbi, ənəəsimbi,                      xamačaa tami ənəxəsi,” undiini,  
「行かない、行かない（と言っておいて）、                      どうして 行ったのか、」と言う、

”sindu ərdəŋgəni-goani,” undii, ”əsi tui osigo... osixan bijerə,” undiini,  
「あなたには 興味がわいたんだわ、」と言う、「今 こうなってしまったんでしょう、」と言う、

”xainaa-da, mii murumbi ənəəsiji osimi, ačaasi-m murčimi,”  
「たぶんね、私の心が                      行かなくては だめだ、と思ってしまうて、」

əsi-təni, ”gəə xooŋaa,      xooni ambaaŋgogoji baaxambi,”                      soŋgoini əikəni.  
今、                      「ああ、どんなにか、どんな 魔物に                      出会ってしまったことか。」泣く、姉は。

əsi-təni ŋoani-daa soŋgoi-goani,  
今                      彼女も                      泣くのだ、

tui soŋgoidoači-a-la undiisi ə~ŋ əm      mama                      iixəni.  
そうして泣く時に                      一人のおばあさんが 入って来た。

kolian suaksəni,                      koondaa~                      iikə                      undə      saŋjio~      mamaačan,  
ヘビの靴ヒモをしているのを、のたうち回らせて~入って来た という、大き~なおばあさん、

xooriandola xontaxa                      waalaani~, xəŋjəni-lə      xəsi waalaani  
眉間には                      ヘラジカの腱の糸の 太さで、                      脇の下には 縄の 太さで、

omolgiča-la oja waalaani bičini.  
腰には 綱の太さで帯としているのであった。

xaini, kolian suaksəni lundəə~ iirə undə, siɣmur tuŋəpuŋku-də.  
ヘビの靴ヒモをブラ〜リと入って来るという、さらに大きいヘビで杖ともしている。

ə~ŋ təi-lə mama-la undiisi-ə, iixəni-ə~ təi,  
その おばあさんが 入って来た、彼女は、

pūjimbə ʃuətuɣə əsi əiwə čawa xəm oʃoktaxani undiini-goani,  
プジンと二人とも今 こっちを あっちを 両方とも キスした、言うのだ、

”ərdəŋgə~ xai-daa undiisi əpaŋgo, təi nai-mat,  
「不思議だ、なんとも、 姉の、 その お人のように、

tui patariidoani undiidoəni, ənuxən osini xai tui omča-m-da.  
ああして 恐れた時に、人が言った時に、帰っていたなら どうしてこんなことになろうか。

əsi ənəəsisu ačaasini-goani,” undii, ”xai-daa maŋga baapi ənuuri-ə”-m.  
今 立ち去らなければならないのだ、」と言う、「何でも 困難に 遭ったら 去るべきだ、」と。

”mii iraxambi,” undiini, ilaan ʃabdomba buuxəni.  
「私は 運んで来た、」と言う、 三つの 自動弓の鉄の矢じりを くれた。

ilaan ʃabdomba buuxəni təi mama,  
三つの 自動弓の鉄の矢じりを くれた、その おばあさんは、

”əiwə, maŋgawa baariidoji ʃočowa baariidoji əiwə, xaixaari-a,” undii,  
「これを、困難に 出遭った時には、 災難に 出会った時にはこれを、 ああしろ、」と言う、

”naŋgalaxaari,” undii, ”ilaan tooro osɣaraa,” undiini.  
「投げろ、」と言う、「三本の 聖なる柱と なるだろう、」と言う。

”təə boakiala bii,” undii, ”tuliədu nəəxəmbi,” undii,  
「ほうれその外に いる、」と言う、「中庭に 置いておいた、」と言う、

”morimba. təi morimba-tanii, soaktači pajaktači uixəəri,”  
「馬を。 あの馬を、 ニガヨモギだか、 草だかに 繫いでおけ、」と

undiini, "təi morin simbiə mənəə olbindii," undiini, "təi-təni xaxaari-a," undii,  
言う、「あの馬が お前を勝手に運んで行く、」と言う、「それをああしろ、」と言う、

"isipi-tanii, təi nai biiləni, isipi xaxaari," undii,  
「着いたら、その人がいる所に、着いたならああしろ、」と言う、

"indaji... xai morimbi tui pajaktači soaktači uirə iixəəri," undii,  
「馬を そうして草か ニガヨモギに繋いでから入れ、」と言う、

"tui taraa unxəəri-ə," undii, "ənpənə aŋpanaa xəm boači niəruusu mii,  
「そうしてから言え、」と言う、「お義母様方 お義父様方、皆 外へ 出て下さい、私は、

xaigoija, oosigoija palamba, boŋgodo siagoači pujuuxəəri," undii,  
掃除しますから、床を、 最初には彼らの食べ物を 煮ろ、」と言う、

"čado bii-ja," undii, "mūji, čawa-tanii nuučixəəri," undii,  
「そこにある、」と言う、「カラス麦、そいつを 潰して粉にせよ、」と言う、

"nuučijji gəsə, pujuuxəəri," undii, "əñuəčiəči iirə-dəə.  
「粉にしたらすぐに、煮ろ、」と言う、「鍋に 入れてから、だ。

xaosi-daa pujuurii-dəə ajani," undii, "turgən pujuuruu,  
どんな風に煮ても 良い、」と言う、「すばやく煮ろ、

kitaalo osixan-daa aja," undii,  
生煮えになったとて 良い、」と言う、

"kotambači gələrəə, xəm, soosiraa-tanii palamba axiriini osixaari," undii,  
「彼らの皿を求めて、全部、盛ってから、床の 掃除にとりかかれ、」と言う、

"noambači xəm boači puŋnəruu," undiini, "jookči-tanii jəə bii-nuu," undii,  
「彼らを 皆 外へ 追い出せ、」と言う、「彼らの家は並みの良さだろうか、」と言う、

"nai jooŋni. tui taraa xaxaari," undii, "malodo bijə," undii,  
「彼らの家は。 そうしてからああしろ、」と言う、「真ん中の席にある、」と言う、

"təŋ gusiə tooro badodoani, uilə taxi, ilaan taxi,  
「ちょうど中心の柱の 側に、 上に棚、三段の棚、



xaido ilaan silia xumsəčəku, tokondo bii siliado sii siɣmusi,” undii,  
そこに三枚の皿のひっくり返したのがある、真ん中にある皿に おまえの舌が、」と言う、

”turgəgūjieni čawa ʔapagoraa luɣbəguxəəri,” undiini,  
「すばやく そいつをつかんで 呑み込め、」と言う、

”məəŋgi, inda siɣmuwəni taosi nəəkurəə-də.  
「自分のを、犬の舌を あっちへ置いといて、だ。」

tui taraa-tanii əilə tala nai kukpumbəni putulərəə boaci niəxəəri,” undiini,  
そうしてから あちらこちらの人のゴミを 服の裾にのせてから外へ 出ろ、」と言う、

”gəə iiguusu-ə-m xəm niə... xai naŋgalaidoja  
「さあ (家に) 入って下さいと (言え)、皆さん、 私がゴミを投げる時に

xai iirii kotančiasi kukpun iiriiə”-m-də.  
あなたの茶碗に ゴミが 入りますから、と (言え)、」と。

”gəə čado iiguiduəni təi əjijətusi-ə, unjəə-mə,” undii,  
「さあそこで入るときにそのおまえの未来の夫が、言うだろう、」と言う、

”təi, čuu~ xamiala iigui-ja,” undii,  
「その人が一番 最後に 家に入る、」と言う、

”təi uikəni, dasiini turgəgūjieni morinči, oogoraa čočaroo,” undiini, ”xanɣisi.”  
「そいつが戸を、閉めたらすばやく 馬へ、 乗ってから逃げろ、」と言う、「逆の方向へ。」

gəə əsi-tənii puʔjin-tənii, songoi-goani~, əikəjieni təi mama tui aloosiraa abanaxoxan.  
さあ今 プジンは 泣くのだ、 姉と、 そのおばあさんはそう 教えてから 消えた。

tui taraa təi-tənii~ tui naamansimaari songoraa~ təi,  
そうしてから 彼女たちはそうして抱き合って 泣いてから、その

mərxəwə~ siɣjipumbə ʔapaini-goani puʔjin, xukuəkəəmbi, girsookaambi  
歯の細かい櫛と、歯の粗い櫛を つかんだのだ、プジンは、小さな袋と、裁断用ナイフを

tungələxən. tui taraa-tanii undiisi ə~ŋ tawanʔki-la undiisi piirwəjɣi ʔapai,  
懐に入れた。そうしてから それから 砥石をつかみ、

tui xaixa~n tui taraa əsi-təni,  
そうしてどうした、そうしてから今、

əsi-təni, pūjin morindo təriini morin uisi xor dəgdəguxəni.  
今、プジンが馬に 座ると、馬は 上へ フワリと 飛び上がった。

tui taraa~ tawaŋki-la tui ənərə undə tui ənəmi~ uipə ənəmi,  
そうしてからそこから そうして 行く という、そうして行って~ 空の上を行って、

”əjən pūji~n undiisi,” naja, xarġiawani-kaa ənə...  
「主たる プジン様、」(と言って)、人間の住んでいるのとは 反対の方角へ 行く、

xai-a tui ənəmi ənəmi əciə-də nai xarġia...  
そうして行って行ってまだ 人の いない方へ向かって、

ənəmi ənəmi poosii~ poosii tuuxəni əm, əm joo tuliəciəni.  
行って 行くうちに 下へ 下へと 下り始めた、一つの、一軒の家の 中庭へ。

tuliəciəni tuuxən pūjin-gulə undiisi-ə,  
その中庭に 下りた、プジンが、

ə~ŋ ičəini-lə xamačaa gooko gurun tuliəni-m ičəxəni.  
見るに、なんとも きちんとした 人々の 中庭であると 見た。

təi-təni soaktači pajaktači, morimbi, kočiraa iixəni.  
彼女は ニガヨモギへ、草へ 自分の馬を、繋いでから 入った。

iixən-təni xailaraa əjji gurun biə undə təi, inda xočiani gursəl.  
入ったらば、なんとも たくさんの人々が いる という、その 犬怪人である 人々。

nai-kaa nai, xuiġuni inda, oŋbodoani. inda, xuiġuku. təi-təni undiini-goani,  
人といえば 人、その尻尾は 犬、お尻の所に。犬の、尻尾がある。そいつは 言うのだ、

”gəə gəə gəə gəə gəə gəə buə orompu jičini.”  
「さあさあさあさあ、我らの 花嫁が 来たぞ。」

pūjin-gulə iimi nai čado biə undə dalian xaido muji  
プジンは 入って 人はそこに 置いてある という、袋の 中に、カラス麦、

čawa-tanii nuučie unde nuučirə-tanii xaosi-daa bigini nuučirə, xaidoani,  
それを 粉にする という、潰してから どんなのでもいいから 粉にしてから、

əñuəduəci iirə pujuuxəni. pujuurə-tanii, undiini-goani, "kotambari buuruusu," undii,  
鍋に 入れてから 煮た。 煮てから、 言うのだ、「茶碗を 下さいな、」と言う、

pilaaroo osixan-os xaosi osixan-os.  
生煮え だったんだか、 どんなものになったんだか。

əsi-tanii nai taoni, "gəə gəə gəə buə orompo jičin tui-goani-a," undii,  
今 人々は 口々に、「さあ さあ さあ 我らが 花嫁が 来た、このようなのだ、」と言う、

"xooñaa uləən nii əsi nai siagoani mənəə pujuuxən."  
「どんなにか 良いことか、人は今 皆の 食べ物 を自ら 煮て 作ってくれた。」

əsi-tanii təi daai gursəl təi, malo, guusie toradoani bii  
今 その 年輩の 者たちは その、真ん中の 席の、中心の 柱の 所に いる、

badodoani bii nai-tanii čuu xamiala iraxan təi ñoani siqmuwə tataxan nai bičini.  
側の 所に いる 人は 一番 最後に 茶碗を 運んで 来た それは 彼女の 舌を 引き 抜いた 奴 だった。

təi, asigoji saixan tui-də, nai siqmuwəni tatami.  
その、自分の 妻とする 人に 印をつけた、あのようにして、人は 舌を 引き 抜いて。

"əsi-tanii buə orompo," undii, "tui-goani," agdanasimaari tui kotaangoači soosixani,  
「さあ 今 我らが 花嫁は、」と言う、「このようだ、」と 喜んで そうして 茶碗に 盛った、

nuuči nii-daa bii, daai nai-daa bii  
小さい 者も いる、大きい 者も いる、

daai nai daai kotoan, nuuči nii nuuči kotoan bičin.  
大きい 者は 大きな 茶碗、小さい 者は 小さい 茶碗 だった。

nai taondoani xəm soosixani, təi nai-la čuu xamiala, xaixani, iraxani.  
人 毎に 皆 盛った、その 人は 一番 最後に、 茶碗を 持って 来た。

čado soosini boači niəriini ukəwə niəriini turgəngüjəni ənəərə təi, taxido bii,  
そこで 盛ると、外に 出る、戸を 出ると、すばやく 行って あのと、棚に ある、

tokondo bii siliawa ʒaparaa nixəlixəni ʃoani siɟmuni bičɪn  
真ん中にある皿を つかんで 開けた、彼女の舌が あった、

čawa ʒapagoʃiji gəsə aɟmalaji tatami tɔi, inda siɟmuwə,  
それをつかむや いなや口に、 引き抜いてあの、犬の 舌を、

bəunduəni nəəkurə, mən siɟmuji luɟbəɟuxəni.  
その本来の場所に置いてから、自らの舌を 呑み込んだ。

tui taraa-tanii boəci, əilə čala naidu tɔɟ onomi bičɪn nai, palani kukpuni.  
そうしてから 外へ、あちらこちらの、人はただ避けて歩いていた、人は、床の ゴミを。

čawa-tanii əilə čala tui kupumbə-lə tui təučiʃiji gəsə, niəgui-goani,  
そいつを あちらからこちらからそうしてゴミを そうして のせるやいなや外へ出るのだ、

”əɟpənə, aɟpanaa xəm iiguəsə,” undii,  
「お義母様方、お義父様方、皆 お入り下さいませ、」と言う、

”əi mii kukpumbə naŋgalai suə kotalaŋciaso xuəduuri-jə”-m.  
「この私がゴミを 投げると、皆様の茶碗に 風で飛んでいって入ってしまいます、」と。

”gəə gəə gəə gəə gəə gəə, buə orompo tui-goani”-m iigukəl undə,  
「さあさあさあさあ、我らが嫁が そのように言うのだ、」と彼らは入って行ったという、

təi-lə čuu~ xamiala iiguini uikəwə xairimi-la puʃin-gulə naŋgalaiʃiji  
その 最も 最後が 入ると、戸を 閉めると プジンは 投げるやいなや、

kukpumbə naŋgalaiʃiji gəsə čuu~ boɟgo morinčiji čəɟgəl puikurə undiisi morimbi,  
ゴミを 投げ出すやいなやまっすぐまず 馬の所へパッと飛び乗ってから、馬は、

uisi xor dəɟdəini kirim ənəkə undə morin-gola təi-təni undiisi-ə,  
上へフワリと飛び上がったが、ガクン、となったという、馬は、 そいつが、

təi-lə inda xočiani-la dəɟ dəɟ ʒapaxani bičini, xuiguuduəni.  
その 犬怪人が ガッチリとつかんだの だった、馬の尻尾のところ。

kučəəŋji, xaini, gisooji aɟbimboʃiji gəsə čiiir čaalixani, tiəs tuugui-goani  
ナイフで、 裁断用ナイフを 取り出すやいなや、スパッと切った、ドスンと落ちるのだ、

naači. tawaŋki xorgigda uisi dəgdəxəni.  
地面に。そこから ビューンと 上へ 飛び立った。

”saktaini-a~ xooŋaa dəgdəxən-dəə, xooŋaa xaixan-daa-kaa mii,  
「バカヤロー、どんなに 飛んだって、どんなに 逃げたって オレから、

xaŋgiačia-kaa xaosi-daa~ ənəəsisii,” uŋkini,  
違う方向の遠くへになんぞ、どこへも おまえは行けやしないさ、」と言った、

təi-lə tui olgaligda morami dərujiguxən, naado dərəjiguxən, təi pujiŋbə.  
そいつはそうして ワイワイ 喚いて、遅れを取った、地上に取り残された、そのプジンに。

tui ənəə undə tui goro ənəxə~n jija ənəi tui uipə ənəə undə,  
そうして行くという、そうして遠く 行った、近く 行く、そうして空の上に行くという、

čado undiini-goani inda... morini, ”əjən puji~n, undiisi,  
そこで言うのだ、 馬は、 「主たる プジン様、

naila-kaa ənəuri-nuu~, nai bičəəsini boala-kaa ənəuri-nuu,” undii,  
人のいる所に行くべきでしょうか、人のいない 地を 行くべきでしょうか、」と言う、

”ə~ŋ nai udəwəni ənəi-dəə ajani-goani,” undiini pujiŋ.  
「人のいる 場所を 行くのもいいんだわ、」と言う、 プジンは。

tui goro ənəkə~ jija ənəkə əsi əm irgəndulə~ tuuxəni.  
そうして遠く 行った、近く 行った、今 ある 村に 下りた。

ə~ŋ morimbi-la undiisi ə~ŋ nai pajaktači soaktači, xairaa iixəni.  
馬を 人は草へ、 ニガヨモギへ 繋いでから 入った。

əm mapa~ mama bičini təi joo doolani-la əjən xaandoani.  
一人のおじいさんと おばあさんがいた、その家の中に、 主たる 長の家の所に。

xai, malodoači-tanii xusə nii jəpəini xəjən-maŋa tawaŋki əktə nii-kəə abaa.  
真ん中の席には 男の 人が 使う 道具ばかりで そこには 女の 人は なかった。

gəə maməji mapəji-tanii pujiŋbə-lə, xaali-daa ičəjəxən-kəəči-ə ojektamaari-la uləəsiluxəči.  
さあ、おばあさんとおじいさんは プジンを、ずっと 見てきたかのように キスして 可愛がった。

”gəə, am ičəguruu~ undiisi əji-dəə ənurə aongami aja  
「さあ、ブジンよ、 決して去るな 泊まれば良い、

xaosi ənəjjiji xaosi pulsijiji taisi-a,” undii, ”kiirixasi-a”-m.  
どこへ行こうと、どこを歩き回ろうとしているのか、」と言う、「立ち寄ったのか、」と。

”ə~ŋ xaosi ənəi ənəmbi-ə-m unjəmbi,  
「どこへ行って!? 行くと 言えるでしょうか、

xaosi pulsii pulsəmbi-ə-m unjəmbi,” undii,  
どこを 回ると、歩き回っていると 言えるでしょうか、」と言う、

”ə~ŋ ambaan xasowaandoani pulsijə,” undiini.  
「魔物に 追われて 歩き回っているんです、」と言う。

”aja~,” undiini-goani, ”aongaroo,” undiini,  
「大丈夫、」と言うのだ、「泊まっていけ、」と言う、

əŋ siksə~lə undiisi jəpurrr əsi j̄j̄jukə undə.  
夕方 シュルシュルとスキーの音をたてて今 戻って来た という。

ə~ŋ iiguxən tiak tiak mərgəmbə bič̄in p̄j̄in ič̄əini-lə.  
入って来た、がっしりとした体格の ムルゲンであった、ブジンが見るに。

”ə~ŋ anda~ p̄j̄in baačigoapo~,” unkin, ”baačigoapo,” unkin p̄j̄in-gulə.  
「ああ、ブジンよ こんにちは、」と言った、「こんにちは、」と言った、ブジンは。

ə~ŋ amini ənini-təni t̄əi-t̄əni piktəč̄iji-lə taa undə,  
父親と母親は その 息子へ 言うという、

”am ičəguruu”-m, ”t̄əi-lə p̄j̄imbə-lə xooni uikələ niəguwəəmburi,” undii,  
「息子よ、 この ブジンを どうして戸から出してしまうべきだろうか、」と言う、

ənini-dəə tui undii, amini-daa tui undii t̄əi p̄j̄imbə. ič̄əməəri uləəsiluxəči.  
母親も そう言う、父親も そう言う、そのブジンのことを。見て 気に入ってしまった。

ə~ŋ nəə aongawaandii-goani mapaanaa-la undiisi  
すかさず 泊まらせるのだ、 おじいさんたちは、

təi puʃimbə-lə məən ʃakpadoari apsimbowaŋkiçi.  
そのプジン を 自分たちの そばに 横にならせた。

əŋ dolboa~la təi mərgən ʃnoančiani apsimdaxani.  
夜中に その ムルグン は 彼らのところへ 寝にやっ て 来た。

”ə~ŋ anda~ puʃin,” undii, ”aja~,” undii,  
「ああ プジンよ、」と 言う、「大丈夫だよ、」と 言う、

”ə~ŋ gəsə osiraa bipuguəri-ə~,” undii,  
「一緒になって 暮らそうじゃないか、」と 言う、

”ambaangoji isičiani biruu,” undii, ”aja”-m-daa.  
「魔物が 着くまで 居ろ、」と 言う、「大丈夫だよ、」と。

ə~ŋ təi əsi-tənii, təi mərgənʃi əʃilərə taxan təi puʃin tui taraa~ tado biə undə.  
今 その ムルグン で 夫 と した、その プジン は そう して から そこ に いる と いう。

əŋ tui bii~ bii puʃin-gulə undiisi-ə, əŋ bəjədu osixani.  
そう して いる、暮ら して いる と、プジン は、 身 ごと った。

ə~ŋ ələ ələ biini-goani, piktəguji ələ ələ baarii əsi-tənii əʃini-tənii undiisi,  
今 にも 生まれる 状態 なのだ、子供 が 今 にも 生まれる、今 夫 は

nimorsiasi tui təəsiisi,  
『座り心地が悪くないか、そんなふうに座っていて (語り手の聞き手に対する言葉)、』

tui taraa-la təi, ələ ələ piktəguji baariini-goani  
そう して から その、今 にも 子供 が 生まれる の だが、

təi-tənii undiisi əsi-tənii undiisi xaandamaari ənəxə~l,  
夫 は 今 狩り を しに 仲間 と で かけた、

goroči axootalandaiči-goani, undiini, ”anda~ puʃin morimbi buuruu,” undii,  
遠くへ 狩り を しに 行く の だ、 言う、「ああ、プジンよ、馬を 貸して くれ、」と 言う、

”anda puʃin morimbi buuruu,” undii.  
「プジンよ、馬を 貸して くれ、」と 言う。

”ācaasi-a~,” undii, ”mii ŋəələəm̄bi, morimbi buumi acaasi,” undii,  
「ダメよ、」と言う、「私は 恐いわ、馬を 貸すことはできないわ、」と言う、

”əŋ mii morimbi buurəə... əŋ mii məən̄jji məən dəŋsisiəm̄bi,” undii,  
「私の馬を 貸したら、私は自分で自分の身が心配だわ、」と言う、

”buə xooni saaori-a”-m-da.  
「私たちにはどうやって知り得ましょうか（どうなるかを）。」

”əŋ aja~,” undii, ”mii orkin boado-daa nəərəsimbi,” undiini.  
「大丈夫だよ、」と言う、「オレは悪い場所でだって恐れないさ、」と言う。

”əŋ mii morimbi buumi acaasi,” undiini-goani,  
「私の馬を 貸すのはだめだわ、」と言うのだ、

”əŋ sii daai mooči ujjučiəsi xooni xooni,” undiini,  
「あなたが大きな木へ 繋いでしまったら、どうなるの、どうなるの、」と言う、

”əŋ pajaktači~ soaktači kočiori,” undii, ”təi morimba.”  
「草へ ニガヨモギへ 繋ぐものなのよ、」と言う、「この馬は。」

əŋ əsi-tənii pūjin-gulə undiisi, əŋ tui naambičaini čixalaxani, olbimpogowani.  
今 ブジンは そう説得するがダメだった、夫が持って行こうとするのを。

əŋ tui taraa təi-lə pūjin-gulə tui ənəxəni xamialani tui bii-goani  
そうしてからそのブジンは そうして夫がでかけた後、 そうしているのだ、

tui tami undiisi əŋ pūjin-gulə, əŋ piktəguji baaxani, xusəwə.  
そうして ブジンは、 子供を 産んだ、男の子を。

əsi-tənii xusəwə baaxan tui xairii, goroči ənəxəči-tənii əjini xainaa-da.  
今 男の子を産んだ、そうしてどうする、遠くへ行ってしまっていた、夫は、たぶん。

əŋ tui bii~ piktəni xailoo gučkulikəəni-goani xusə,  
そうしている、子供はなんとも可愛いのだ、 男の子、

niŋmaan piktəni-kəə xai goidami urəgiləi.  
民話の 子供だもの、 どうして長いことかかって 育つはずがあろうか。



ə~ŋ undiisi əsi-tənii mapaačan-tanii,  
今 おじいさんは、

ə~ŋ əsi-tənii əlčiwə uləəmbəni, toŋdowani sonjoxa~n əsi-tənii  
今 奴隷を 良いのを、正直なのを選んだ、 今

əjčičəni ənəwəəndiini-goani bičxə, irawaandiini piktəguji baaxambi.  
彼女の夫の所へ 行かせるのだ、 手紙を 運ばせる、 子供が 生まれたことを。

ə~ŋ undiisi əsi-tənii undiisi-ə, təi-lə əlči-lə bičxə iraini  
今 その 奴隷が 手紙を 運ぶ、

ənəi ənəi bičxə otoliwari jaaroani niručiel-tənii.  
行く 行く、手紙を書くことが できたの だろうねえ、 書いたのだから。

əŋ tui taraa undiisi ənəmi~  
そうしてから 行って、

ənəmi undiisi-ə, təi əlči-lə ənəmi ənəmi-ə-lə undiisi xairii-goani,  
行って、 その 奴隷は 行って 行って、 どうするのだ、

irgən duəwəni isiini gokčoa~n gokčoaan əurə undə əm mərgen-gulə.  
村の 端に 着くと ぴっこをひいて 下りて来る という、 一人の ムルグンが。

”ə~ŋ əlči-ə, xaosi ənəisi,” undii, ”xaosi ənəi, mii əjənčiji ənəi.  
「奴隷よ、どこへ行くのか、」と 言う、「どこへ行くって、私の主人のところへ行く。」

əjəmbi-tənii, undiisi ə~ŋ piktəguji baaxani,” undii,  
御主人様には、 子供が 生まれた、」と 言う、

”əŋ xai, əjən mapə-tanii piktəguji xusəwə baaxambani aɣdaraa, xaixani,” undii,  
「主人の 旦那様は 子供が 言葉を 話し出したのを 喜んで、 ああした、」と 言う、

”bičxə niru... ənəwəəndiini-ə”-m. ”xaido,” undii, ”mii ičəgujə.”  
「手紙を 書き、 行かせる、」と。 「どれどれ、」と 言う、「オレが見てやる。」

gəə əsi-tənii, ”əjənsi goidai asigoji baaxani,” ”goidami, ambaan goidai-a,” undii,  
さあ今、「おまえの主人は 長いこと 結婚しているか。」 「ああ長い、 まあまあ長い、」と 言う、

ə~ŋ undiisi mədəwə gələini-goani tui taraa tɔi bičxəwəni ʒapaxani.  
情報を求めるのだ、そうしてからその手紙をつかんだ。

əŋ bičxəwəni ʒaparaa-la xolaraa gudəčixəni, "ərdəŋgə xaigoji gudəliisi," undiini,  
手紙をつかんで読んでから破った、「不思議なことを、何のために破るのか、」と言う、

"mii əjən baaroni ənəguji-təni." ʒ  
「私が御主人様の方へ（手紙を持って）行こうというのに。」

"abaa~," undiini, "sii... mii turimbi buurəmbi," undiini,  
「いや、」と言う、「おまえには、オレの給料をやるから、」と言う、

"əjən mapəči ənəxəəri, xamasi močogoroo," undii, "əji ənərə," undiini.  
「主人のじいさんの所へ行け、後ろへ戻れ、」と言う、「行くな、」と言う。

"ə~ŋ undiisi, ala boala baljixani, baaxambi asisi... asiji,  
「人のいない世界に生まれた、生まれたおまえの妻、

ə~ŋ xai, ala boado baaxasi asisi inda piktəni baaxan"-m niruxəni, tɔi, inda xočiani.  
人のいない世界に生まれたおまえの妻が犬の子供を産んだ、」と書いた、その、犬怪人は、

tui taraa "ənəruu," undiini, gəə, ənəxə~ŋ tɔi-təni əlči-təni ənəxən, əjəmbi isixan.  
そうしてから「行け、」と言う、さあ行つた、その奴隷は行つた、主人の所へ着いた。

əjəni-təni niruguxəni-goani,  
主人は書いたのだ、

"inda bimi-o~ xamačaa bimi-o~ xooni-daa taaso, mii isiasi... isigoošilajiwā-da.  
「犬であろうと、何であらうと、何もするな、私が帰るまでは、

ə~ŋ xooni-daa taiwari osini mii isigoočiajiwā  
ちょっとでも何か変なことをしたならば私が着く時には

saxarin səəksə təəs, naa təəp ənəəsijjəni bujəəs-u-ə"-m-də.  
黒い血がポタリと、地面にポタリとなるようにして死ぬだろう、」と。

ə~ŋ əlči jjiui-ə, tui jjiumi~ jjiumi xaisi jjiuiduəni  
奴隷は戻つて来る、そうして戻つて~戻つて再び戻つて来る時に、

xaisi gokčoa~n gokčoaŋ əguə undə,  
再び びっこをひきひき、下りて来る という、

”ə~ŋ undiisi əsi-təni gə əlciwə tookogoari,” undii,  
「今 さあ 奴隷を上らせよう、」と言う、

əsi-təni ”xai mədə, xai mədə,” undii,  
今 「どんな知らせだ、何の知らせだ、」と言う (犬怪人は)、

gə, əsi-təni undiisi-ə, ”əjən unkin,” undiini, ”əjən niruguxəni,” undii,  
さあ、今、 「御主人様は言った、」と言う、「御主人様は書いた、」と言う、

əsi-təni undiisi ə~ŋ jəparaa xolaxani.  
今 つかんで 読んだ。

tui taraa mənə təi bičxəni gudəciərə niruguxəni.  
そうしてから 自ら その 手紙を 破いてから 書き直した。

”xai, əsi nəə puŋnəguəsə-ə-m, mii jjuəsi, mii jjuəi jjuələni puŋnəguəsi osini,  
「今 すぐに 追い出せ、 私が 戻る 前に 追い出していないなら、

saxarin səəkə naado təp ənəəsijjəni bujəəsə”-m-də.  
黒い 血が 地面に ポタリと 垂れるようになって 死ぬぞ、」と。

ənənə təi-təni tawarŋki-təni təi əlci jjujuxən, mapado buuri-goani,  
あれあれ それは そこから その 奴隷が 戻った、おじいさんに 渡すのだ、

mapa-ma~ təi bičxəwə baaraa xolami songoini-goani.  
おじいさんは、その 手紙を もらってから 読んで 泣くのだ。

”ərdəŋgə xai-daa, xai murumbəni baapi tui niruxəni”-m,  
「不思議だ 何とも、いったい何の 気持ちに とりつかれて こんなふう に 書いたのか、」と、

”mii jjuəi jjuələni budə... isigoidala nəučə... əji nəučəusu,  
「私が 戻る 前に、 着くまで 引き留めて (いたら)、決して かくまってはならない、

mii isigoočiajiwa saxarin səəkə təp, naado təp ənəəsijjəni bujəəsə’-m,  
私が 着く時には 黒い 血が ポタリと、地に ポタリとも 落ちることなく 死ぬぞ、』と

'boači anagooso, boači bodogooso'-m, əjisi tui niruxəni," undii,  
『外へ押し出せ、外へ追い出せ、』と、おまえの夫はそう書いてきた、』と言う、

ə~si-tənii mapa-daa songoi mama-daa songoi, pūjin-tənii undii,  
今 おじいさんも泣く、おばあさんも泣く、プジンは言う、

"ərdəngə xai-daa tui tagoji mii morimbiwə olbiŋkini-noo," undiini.  
「不思議だわ何とも、こんな風にするために私の馬を連れて行ったのかしら、』と言う。

ə~ŋ əsi-tənii undiisi xaixan, songomi-la pūjin-gulə piktəji bargigoi-goani,  
今 どうした、泣いて プジンは自分の子供の身支度をさせるのだ、

xukučigui-dəə tawaŋki-la undiisi, pinalagoraa piktəji tui ənui-goani,  
くるんだりして、それから 負ぶって 子供を、そうして 出発するのだ、

xaosi ənuuri, tooiči əurəə mapa mama tui ɔjoktamaari songočiimaari  
どこへ去るべき、岸辺へ下りて、おじいさんおばあさんはそうしてキスして 泣いて、

dərəjiguəni xuiŋəsəguəni nəərii-dəə pūjin-gulə japaasi, xaiwa-daada gələəsi,  
居残れるように弁当を 置くのだが、プジンは取らない、何も 求めない、

ə~ŋ tɔi xukuənduji bii jəbdombi, xai-kaa nangalaasi tui ənəə undə.  
その自分の袋にはある、自動弓の鉄の矢じり、それこそは捨てずにそうして行くという。

xaiwa-la isiini-la əsi-tənii undiisi-ə, tɔi, xaiwa~, irgən duəwəni isiini-la undiisi,  
どこに 着いたか、今 その、 村の 端に 着く、

gokčoə~n gokčoan əuguə undə tɔi-lə xaini, inda xočiəngoni-la,  
ギックリヒョッコリ (びっこをひいて) 下りて来る という、あの、 犬怪人が、

"gəə~ əsi-kəə xaosi ənəjəəči," undii,  
「さあて、今こそ どこへ行くのかね、』と言う、

piktəji uuturəə tui pačjialaini pūjin-tənii undisi,  
子供を 背負ってそうして 駆け出した、プジンは、

ičəni tutumi ənəini-goani tui-dəə ələə burmulə.  
見て 走って行くのだ、 そうして もう今にも 死にそうである。

əŋ xai tutuisi, nai... ŋoani piktəji pinasii, nai, giagdaa ənei-dəə xai, xaspoalaini.  
どうして走れよう、彼女は子供を背負っている、歩きで行くのも、さあ追い駆けて来る。

ə~ŋ ələə ʔapai ələə ʔapai təi, mərxiji nangalaini čičičip sio osii,  
今にもつかむ、もうつかもうとする時にあの、歯の細かい櫛を投げると、濃い茂みとなる、

xaisi pačjalai xurməwə nangalai xaisi, nangalai,  
再び走り出すと針を 投げる、再び、投げる、

tui nangaáčii-goani tui tami-a tui tami puŋjin-gulə ʔoongoxani,  
そうして投げるのだ、 そうして、 そうして プジン は 思い出した、

xərə~ təi, pinur biini-goani, təi ilaan pinurbi-lə ʔapaŋjiji gəsə nangalai,  
ああ~ あの、自動弓の矢じりがあるのだ、 あの 三本の 矢じりを つかむやいなや 投げる、

''əə pinu~r, xaila, əŋən, ərgəŋguji gələi osini-la baljiroo''-m, ''xai osiroo''-m-da,  
「さあ矢じりよ、 主人が、生命の無事を欲するならば、 育て、 あれになれ、」と、

təi-tənii nangalaxan-tanii ilaan tooro ilixani, sələmə.  
彼女は 投げた、 三本の 柱が 立った、 鉄製の。

təi-tənii puŋjin-tənii ənai doolani-tol tutuiduəni təi porončiani puikuxəni,  
その プジンは 行く 中で 走っている時に、 そのてっぺんへ 跳び上がった、

əsi-tənii porončiani-tanii, ''ičəisi ičəisi təi əktə,  
今 そのてっぺんへ (見上げて)、 「それ見ろ、 ほら見ろ、 あの 女、

əktə nii ərdəŋgəni, asini argəŋgani, ʔočoani-goani,'' undii,  
あの女の 不思議な力よ、 この女性の ずるいことよ、 なんて厄介なんだ、」 と言う、

''xaiji-gda ərdələini-us, xaiji-gda əruləi-us,''  
「何によって あんな不思議な行いをするのか、 何を使って こんなに苦しめるのか、」と

əsi-tənii təi, tooroni modančiani isixan  
今 その、 柱の 縁の所へ 到着した、

əsi-tənii xərčimi dəruuxən, sələ, kərkərkəə~r, kərkər xərčəi undə.  
今 噛み砕き 始めた、 鉄を、 カリカリカリ、 カリカリと 齧る という。

ə~ŋ piktəji songoiwani-la kuuičəxəni ačaasi,  
子供が泣いているのに 乳をやることもかなわず、

ələə kinđaarii tuurii puŋin-təni morinčiji siggoi-daa boa naawa,  
今にも折れる、倒れる、プジン は 自分の馬へ泣きながら 天よ 地よと

xəəsimi tui songoa undə~ tui songoi tui taraa ʃuəjəčie,  
呼んで、そうして泣く という、そうして泣く、そうしてから 二本目へ、

ələə pəngəliiduji ʃuəjəčie porončiani puikuguxəni.  
今にもダメになるという時に 二本目へ そのてっぺんへと 飛び跳ねた。

ə~ŋ təi-təni jaoligda tuuriiduəni-lə undiisi-ə, suənčəni ənəxəni abaa,  
それ（一本目）がバリバリスシ〜と倒れる時に、 先端へ 行ったがいない、

tui tami ičəguxəni murumbə... uilə bimi-ə biə undə,  
そうして 再び見た、 上に いる という、

”ii ii ii təi argansi~, təi xaini, xooŋaa xairii-daa  
「ほれほれほれ、このずるいことよ、 しかしどんなに どうこうしたところで、

mii xuktəjijə ilximbijə xangjačiani-kaa ənəəsisisi,  
オレの 歯の 歯茎から 別の所へ 逃げることなどできやしないさ、

ə~ŋ ələə duəku osigojəa-ma duəjəə-mə təi, porončiani ənəxən-dəədə.”  
今に 終りとなるだろう、終るだろう、その、てっぺんへ 行ったところで、だ。」

əsi-təni guči xərčie undə tui xərčii xərčii təi-təni  
今 また 齧る という。そうして 齧る 齧る そいつは、

xuktələni səəksə xəjəmi tui xərčie undə təi-lə, sələlə təi,  
歯から 血を 流して そうして 齧る という、そいつは、鉄の所から、そいつは、

ə~ŋ morinčiji songoi-daa songoi, piktəji songoiwani kuurii tui təəsiini-goani,  
馬がいればと泣きに泣く、自分の子が泣くのを 乳を与えて そうして座っているのだ、

təi porondoani-tol-da. kuurii xukugui tuxiləgui,  
そのてっぺんに、だ。 乳を与える、またくるむ、また胸に抱きかかえる、

tui songoidoani-la undiisi xailani siasini nirgii-us  
そうして泣いている時に、どこかから音が響いてくるのか、

xai siasin nirgii-dæ dooljiwadaasini-goani tui songoa undæ pūjin-gulæ,  
何の音が するのも 聞こえやしないのだ、そんなにも泣いているという、プジンとは、

morinǰji-maňa xəsəji, morinǰji-maňa arǰmǰji morami songoa undæ, tui tai,  
馬のことばかりで言葉とし、馬のことばかりを口で 叫んで泣く という、そうする、

əlæ tuiŋkuluxən tæi xai, tæsiini əsi-təni iilačia ələ.  
今やもう揺れ始めた、その、座っているその、今 二本目も今やもう。

əsi-təni iilačia baaroni puikuguxəni.  
今 三本目の方へ 飛び跳ねた。

tui taraa tæi, puikuguini jamoligda ənəiduəni-lə, xaiči, suənčəni ənəxəni abaa,  
そうしてから、飛び跳ねる、ズシーンと倒れる時に、先端へ 行ったが、いない、

pūjin. əsi-təni undiisi ə~ŋ pūjin-gulæ tawaŋki-la undiisi tui, songoi-goani undiisi-ə,  
プジンは。今 プジンは それから そうして、泣くのだ、

əlæ burbuxən, tæi, tuuxən osini-tol xaosi ənəni pūjin  
今にももう死ぬこととなった、これが倒れた ならば、どこへ行くか、プジンは

xaosi-daa ənəguji-dæ poktogoji-daa baarasi tæi-təni nai,  
どこへも 行こうにも 道も 見つからない、そいつは、人は、

xuktələni səəksə xəjəmi tui xərciə undæ  
歯から 血を 流して そうして齧っている という、

əsi-kəə mangalaxani bǰjərəə  
今こそは さすがにつらくなってきた のだろう、

xooni-daa bii-dæ təimpi-ə~ xərcirəə təimpi-ə xərcirəə taa undæ.  
どうにも こうにも、しばらく休んでは齧ったり、休んでは齧ったりしている という。

tui taraa-tanii xaixani, ələ-kəə dolimbani isixan tui tami-a~  
そうしてから どうした、今こそ 真ん中へんまで 到達した、そうして、

tui nirgiwəni ičəjəmi ičəjəmi ičəguxəni-lə xərə~ morini-la undiisi  
そうして音が轟く方を見て、見て、見た、 ああ～、馬が

xai-daa daailaani patawa-la kutučimi jijuə undə,  
何ほどかの大きさの水没した倒木をひきずって やって来る という、

əŋ čala nirgiini čala inguriini pujin-təni əsi-təni morinjiji-maŋa jilganji,  
あつちで音を響かせ、こつちで轟かせて、プジンは今 馬のことばかりを声として、

morinjiji-maŋa xələəŋji songomi tado təəsiə undə  
馬のことばかりを声として泣いて そこに座っている という、

tui taidoani undiisi ələə xətəuri ələə kirdaarii,  
そうしている時に 今にもなんとかなる、今にも折れそうになっていたのだが、

tui tami isindagoidoani pujin-gulə undiisi  
そうして ついに馬がやって来た時に、プジンは

ə~ŋ morimba-la undiisi-ə, isigojjiani gəsə təi-dəə, xaiwani-la čir čaalixani.  
馬が、 着くや いなやその、あれを スパッと切った。

təi toptongoani uixən toptongoani čir čaaliini undii  
その紐を 縛った紐を スパッと切る という、

tias tuugui-goani təi pujin-təni təi,  
ドシンと落ちるのだ、そのプジンは その、

xaiči, morimbi ojaáčiani puikuguxəni, puikugumi-tul čaalii xooŋaa-daa sampar əktəni.  
馬の 上へ 飛び乗った、跳んで 切る、なんとまあ俊敏な 女であることか。

ə~ŋ morin uisi xor dəgdəgui-goani təi xai osini, tooroni tuuxən naači.  
馬は 上へフワリと飛びあがるのだ、そのあれは、柱は 倒れた、大地に。

”ə~ŋ ii~ xooŋaa~ xairii-daa, mii xuktəji, ilximbi xarǵiačiani-kaa ənəəsisii,”  
「う～む、どんなにあがいても、オレの歯と、歯茎からどこへも逃げられはしないぞ、」と

undii, əŋ pujin-təni undiisi tawanǵi-la, ijəmsəkte ənəi-goani,  
言う、 プジンは そこから、 行くのだ、



xaosi ənəxən-u~s xaosi ənəxən-us tui ənəə undə goro ənəkə  
どこへ行ったことか、どこへ行ったことか、そうして行くという、遠く行った、

ʃjja ənəkə əsi, əŋ poosii~ poosii~ moola xai, morini-la tuuguxəni.  
近く行った、今、下へ 下へと 馬は 降りた。

ə~ŋ undiisi, "əjə~n, əjən puʃi~n undiisi, mii-təni mangalaxambi," uŋkin,  
「主たる ブジンさま、 私は しんどくなりました、」と言った、

əm onikaanči tuuxəni bičini, oni, əŋ ŋulbu~ ŋulbu xai bičini, naani.  
一つの小川へ 降りた のだった、小川の、低い柔らかい草が生えていた、大地に。

"gəə ələə," undii, "mii əiləə simbiə silaan olbiŋkimbi," undii,  
「さあ、ここまでです、」と言う、「私はここまであなたを何とか運んできました、」と言う、

"ə~ŋ xai, təi əjisi, xaiwani,  
「その あなたの、声を、

songoisi ʃilgambani balanaa~ dooljixambi, nai ʃoolani susuguisi-də.  
あなたの泣いている 声をとくに 聞いていました、人の家から あなたが出發したことも。

ə~ŋ mii-təni undiisi, xooni xoo~ni čilaxambi," undii, "tadorami.  
私は、 どうにも こうにもやってみても だめだったんです、」と言う、「引つ張っても。

ə~ŋ undiisi balanaa, xai osini, naa boa duəčieni irančaja," undii,  
ずっと前に 大地と空の果てへ 運びたかったのですが、」と言う、

"simbiə. ə~ŋ undiisi əsi-təni əidu aldaksilaori-goani-a," undii,  
「あなたを。 今 ここで 疲れきってしまったのです、」と言う、

"mimbiə buikin-dəə əji~ songora," undii, "mii-təni əsi budəmbi," undii,  
「私が 死んでも 決して泣かないで下さい、」と言う、「私は 今 死にます、」と言う、

"əŋ mii burbučijəwə-təni nantaji ačoraa kuməlixəəri," undii,  
「私が 死んだら 私の皮を剥いで 頭から被って下さい、」と言う、

"waami waami girmaksajiwa-tanii ʃoo torani, əidu osii, əidu osii nəəxəəri,"  
「太い 太い 私の骨を 家の柱に、ここに立て、そこに立てして、置きなさい、」

undii, "nasalbia-tanii əi, əñuə tui-ə~ biə-təni osiija"-m, "nəəxəəri," undii,  
と言う、「目を この、鍋に、そのよう、 そうなるから、置きなさい、」と言う、

"tui taraa kuməlirəə apsinxaari," undii, "nəkūjiji gəsə-də."  
「そうしてから頭から被って横になれ、」と言う、「子供も いっしょに、だ。」

ə~ŋ pūjin-gulə tui umi~ morin budiini naamandaa~ ələdələ songoxani.  
ブジンは そう言っ、て馬が 死んでしまうのを抱きしめて~ 十分に泣いた。

ə~ŋ songoidoani piktəni-dəə gəsə-kəə songoini-goani.  
泣く時に 子供も いっしょに泣くのだ。

ə~ŋ tui taraa morini urkini-məə undiisi, xaixani-a~ puixəni undiisi, girmaksa,  
そうしてから馬が 言っ、たとおりに、 どうした、 皮を剥いだ、 骨を、

daai daai girmaksasalbani ə~ŋ joo torani əidu tui oda-tanii-m nəəktəxəni undiisi-ə~  
大きい大きい骨を 家の柱に そこにそうしてなるように置いた、

təi xaisalbani, nasalbani osini tui əidu-dəə əñuə oda-tanii-m nəəxəni undiisi-ə~  
その、 目を そうしてそこに 鍋と なるようにと置いた、

tui taraa undiisi-ə, xaixani. əŋ təi undiini-mət kuməlirəə apsiŋgoxani.  
そうしてから、 どうした。 その馬の言うように 皮を頭から被って横になった。

ə~ŋ tui tapi-o~ sənəguxəni pəku-ə-m-də.  
そうしてしばらくすると目が覚めた、暑いなあ、と。

əŋ xailoo uləən joo doolani aoriini bičini. ə~ŋ tawa-jas... jasiŋkaači bii.  
なんとも良い 家の中に 寝ている のだった。 火が 竈には勢いよく燃えている。

ə~ŋ jooŋdoani-tanii malodo-tanii undiisi-ə, juə mapakaan piktəni biə undə.  
家には 真ん中の席には、 二匹の小熊の 子供が いる という。

kupiləənduməəri-ə biə undə, əŋ uičəku.  
遊び回って いる という、 繋いである。

əŋ əsi-təni undiisi ə~ŋ pūjin-gulə undiisi təi-lə,  
今 ブジンの その、

piktəni-gdə~l təi mapakaan puriŋjəni-lə tui kupiə undə.  
子供は その 小熊の 子供たちと そうして遊ぶ という。

ə~ŋ xamačaaji-daa sinəjiədəəsi təi-lə puŋin-gulə tui biə undə,  
何にも 不自由することもなく その プジンは そうして暮らすという、

siaori jaka-ji-daa sinəjiəsi tui bii~ tui baljial undiisi  
食べる 物にも 困らない、そうしている～、そうして暮らしている という、

tui tami-a tui tami piktəni boapa kupii, niəčəkəəmbə waarii taloxani.  
そうして、そうして 子供は 外で 遊び、小鳥を 獲ったりもし始めた。

əŋ niəčəkəəmbə waaxambani-daa xəm bolačimi tui siarii piktəji waaxamba,  
小鳥を 獲ったのも 全部 焼いて そうして食べる、子供が獲ったのを、

əmbə-dəə naŋgalaadaasi.  
一つも 捨てはしない。

əŋ tui tami undiisi əm modan iikə, ”əni əni ambaan jidii”-də,  
そうして ある時 入って来た、「お母さん、お母さん、魔物が来るよ、」と、

”əni əni ambaan jidii”-də, əŋ waliaxa-goani ambaan jidii, əŋ paawa,  
「お母さん、お母さん、魔物が来るよ、」と、さあ災難なのだ、魔物が来る、窓を

əŋ xurməji gidalaraa ičəxən təjə-dəə bičini ambaanŋoni-la gokčoa~l gokčoa  
針で 刺して 見た、本当 だった、魔物が ギックリヒョッコリびっこひいて

toora undə. ə~ŋ uikəwə nixəlixəni undiisi, ə~ŋ xaixani,  
上って来るという。 戸を開いた、

”əidu~ biisu, mimbiə gələguwəəndiisu.”  
「こんな所におまえたちはいたのか、オレを ずいぶん探させてくれたじゃあないか。」

ə~ŋ undiisi əsi-təni undiisi-ə, əŋ ŋəələmi-lə giləŋjiala~ təxəni.  
今 恐れて 左側の席に 座っていた。

ə~si-təni təi mapakaan puriŋni-təni siasisii-daa siasisii taa undə,  
今 あの 小熊の 子供たちは 襲いかかろうとしてもがきにもがきするという、

pūjin-gulə ŋəələi dabami-la ənəmi čir čir čaasoxani uičəwəni.  
ブジンは 恐ろしいが、渡って 行ってスパツ スパツと切った、繫いでおいた紐を。

təi-lə ənəjjəri gəsə gudəčiməri waaxəči.  
彼らは行くや いなや 噛み千切って殺した。

ə~ŋ čaa-la undiisi, əm boəči niəwurə~, waaxambači-la undiisi-ə,  
それを ひとところに出してから、殺したのを

sialtaka puniktə osigojji xəm iwačimi ʒəjjičixəni pūjin-gulə undiisi  
炭と 灰に なるように 全て 火を焚いて 燃やした、ブジンは

əsi tui taraa~ tui bii-goani əsi-tənii tui biəl undə.  
今 そう してから そうしているのだ、今 そうしている という。

əŋ təi-lə undiisi tui biiduəni undiisi ə~ŋ kupiə undə piktə  
彼女は そうして暮らしている時に 遊んでいる という、子供は、

tui tami-a-la undiisi-ə, əŋ iiguxəni, "əni əni amaa ʒidii-jə," undii,  
そうして また入って来た、「お母さん、お母さん、お父さんが来る、」と言う、

"amaa isindaxani isii-jə"-m. "xaido biini," undii,  
「お父さんが やって来た、着く、」と。 「どこに いるというの、」と言う、

"amisi. amijkoji tui biurini buə, tui-də.  
「あなたの父さんが。父親がいたなら こんな風な 暮らしだろうか、私たちは、こんな風な。

tui mæpi əruləuri-nuu," undii.  
こんな風に 自らを 貧しくして 悪く暮らしていようか、」と言う。

"abaa~ amaa," undii, "mii amimbi," undiini, "ʒidiini," undii,  
「いや、父さんだよ、」と言う、「ボクのお父さんだ、」と言う、「来る、」と言う、

"ələ isii-jə," undii, "ələ iirii-jə," undii, "točila xaaxan," undiini.  
「もう着く、」と言う、「もう 家に入って来る、」と言う、「川岸に 着岸した、」と言う。

pūjin-gulə ičəxəni əjini bičini, ʒaido bičini.  
ブジンは 見た、夫であった、小舟にのっていた。

ə~ŋ undiisi tui taraa-la undiisi-ə, pūjin-gulə undiisi piktəji-lə undiisi  
そうしてから ブジンは 自分の子を

tuxilərəə dəŋ dəŋ uikəji katararaa apsiŋkini.  
胸に抱きかかえて しっかりと 戸を 縛りつけて 横になった。

ə~ŋ təi-təni, "anda~ pūjin, uikəwə nixəliruu minči-lə xooni taiči aksaisi,"  
夫は、「ああ、ブジン、戸を開けよ、私に、何をしたことか、腹を立てているのか、」と

undii, "mii-lə xaiwa-daa saarasimbi"-m-da,  
言う、「私は何も 知らないんだよ、」と、

"ə~ŋ amaanaa-maŋa ačindaxan-tanii-a"-m-da.  
「父さんたちばかりが何か悪いことをしたんだろう、」と。

ə~ŋ tui naambičaa undə əsi-təni təi piktəni-təni  
そう説得する という、今 その子供は

"am ičəguruu uikəwə nixəliruu," undii, naonjokaamba, naonjokaan-tanii,  
「息子よ、戸を開けてくれ、」と言う、少年に、少年は、

siasisii-daa siasisii-tanii ambaan daai naonjokaan osixani,  
行こうともがきに もがく、 けっこう 大きい少年に なっていた、

xooni galiisi ŋaalaji multurəm ənəxəni.  
どうしてそれにかなうだろうか、母の手を振り切ってしまった。

umuruduəni ʒapačixan-tanii umuruni xəturəm ənəxən təi naonjokaan.  
帯を つかんだらば、帯は 引き千切ってしまった、その少年は。

əŋ tui taraa-tanii naonjokaan-tanii kučəmbə gələgumi baogoraa undiisi kučəŋji,  
そうしてから 少年は ナイフを探して 見つけてから ナイフで、

čiiir čaalimi ačoxani, ənimbi girsočjani-tol-da.  
スパッと 切っては ずした、母親の 裁断用の女性用ナイフで、だ。

ə~ŋ tui taraa iiguxəni undii iigumi naonjokaamba, xairii-goani ojektai-goani,  
そうしてから 入った という、入って少年を、 どうするのだ、キスするのだ、

”gəə~ mii piktəji biəsini, mimbə tui tailaji-noo,” undiini,  
「ああ、私の息子でなかったなら、私を こんな風に助けられたらどうか、」と言う、

”ə~ŋ amaa mimbə xai taisi-a”-m-da, ”əniwə-kəə ulələguruu,” undii naorjokaan.  
「父さん、ボクになぜこうするのか、」と、「お母さんとこそ仲直りしてよ、」と言う、少年は

gəə~ əsi-tənii, ”anda pūjin,” undii, ”minči xaiči, aksaisi,” undii,  
さあ、今、 「ああ、プジンよ、」と言う、「私に何の事で腹を立てているのか、」と言う、

əŋ pūjin undiini, ”xai tagoji, mimbə tui ərdələxəsi-ə~,”  
プジンは言う、「何のために、私に あんな 不思議な行ないをしたんですか、」と

undiini, ”mii simbiə xai ŋkjəjə, mii məərjiji ŋələəmbi”-m-dəə.  
言う、「私はあなたに何て言いましたか、私は自分の身を恐れていると言ったでしょ、」と。

”ə~ŋ mii piktəji inda piktəni-goani, undii,  
「私の 子供を 犬の 子だと 言って、

xai tami mimbə gələguisi-ə”-m-də, ”niruxəsi biəsi-kəə,” undiini.  
どうして じゃあ私を 求めたのか、」と、「手紙を書いてきた じゃあないの、」と言う。

”ənəə puŋnəguusu, puŋnəguusu, ala boala baaxambi asiji,  
「追い出せ、 追い出せ、 人のいない世界から 見つけてきた 妻だ、

gələsimbi xəmə puŋnəguusu-m, piktəjiji kamor-da.”  
要らない、みんな 追い出せ、 子供も いっしょに、だ、と。」

”anda~ pūjin undiisi, ambaŋgosi-maŋa ərdələxən-tənii,” undii,  
「ああ、プジンよ、 おまえのあの魔物ばかりが やったことなんだ、」と言う、

”əlči, əlčiwə-dəə waakai, amaawa əñəwə-dəə xəmə waakai,” undiini.  
「奴隷も 殺した、父も 母も 皆 オレは殺した、」と言う。

ə~ŋ undiisi əsi-tənii undiisi-ə, əsi-tənii tui naambiçai~ tui naambiçai tui tamaari,  
今 今 そう説得する、そう説得する、そうして、

”amaa, əñəə amaaji ulələgu”-dəə, ”amaa xai-daa saarasini”-daa,  
「母さん、父さんと仲直りしてよ、父さんは何も 知らなかったんだから、」と、

”undəsi-kəə”-dəə            naonjokaan-tanii amimbi kaarijoiini-goani, xusə piktə, xusəni-goani.  
「そう言ったじゃないか、」と少年は            父親を かばうのだ、 男の子、 男の子なのだ。

əŋ tui taraa-la undiisi uləələguxə~n əsi-təni undiisi tado tui    bii-goani,  
そうしてから            仲直りした、 今            そこでそうしているのだ、

əŋ tui    biiduəni,            tui tami~ təi-lə bujukəsəl,  
そうして暮らしている時に、そう して、 あの 獣たち、

kupiikəəni-lə ui-dəədə uləən-dəə siaradaasi-a~            orkilaa~    biəl    undə.  
遊び相手たちは誰も    良く    食事しなくなってしまった、 具合悪そうにしている という。

”xaimaari osixaso,”    undii, ə~ŋ pūjin    undiini-goani,  
「どう    したの、」と 言う、    プジンは 言うのだ、

”əŋ xaimaari tui            osixaso,”            undiini-goani mapakaasal piktəŋgučiji,  
「どうして こんなふうになってしまったの、」と 言うのだ、 小熊たち、 子供たちに、

”əŋ xaira~,”            undii, ”aja~,”            undəsi-kəə,  
「どうしたかって、」と 言う、「大丈夫です、」と 言うではないか、

”əŋ əjji-dəə baogoxan    amimbari-daa baogoxan,  
「夫とも 再会した、 父親とも 再会した、

ə~ŋ ambaangoasi-daa    buə    waakapo,”    undii,  
あなたのあの魔物も 私たちが やっつけた、」と 言う、

”əsi, ə~ŋ uləən baljiooso,”    undii, ”buə,    bai    səwəəni,  
「今、    良く 暮らせ、」と 言う、「私たちは、 ただのスウんだ、

amjiani xooni    baljiori-a,”            undii,  
ここに どうして 暮らしていられようか、」と 言う、

”sundu.            ə~ŋ mii... bumbiə-təni ənuguəri    taapo,”    undii, ”buə.”  
「あなたたちの所に。            私たちを、 去ることに します、」と 言う、「私たちは。」

”əŋ aja~ čimana ənugəsi-təni,”    undii, əsi-təni čimana ənugəsi-təni, tui    biə    undə.  
「いいわ、 明日    出発しておくれ、」と 言う、 今    明日 去ってくれと、 そうしている という。

əŋ tui tamaari undiisi-ə, gəə əsi-dəə čimana ənəŋəsi-təni puŋin-təni  
そうして さあ今 次の日 出発してくれとプジン

uləə~n siagoani pujuučixən undiisi amimbari-daa baoxan, piktə,  
良い 食べ物煮た、 自分たちの父親にも再会した、子供は、

əŋ ambaaŋgoni-daa abanaxan. əsi-təni undiisi-ə, ʃia čimania-la undiisi-ə,  
魔物も いなくなった。今 次の日に

ələdələ siawaandaa susuučigumi niəxəči.  
十分に食べさせてから見送るために外へ出た。

ə~ŋ ʃakpadoani ilisimaari čurŋu xuədəxəči, xaosi-daa ičəičəi-dəə,  
そばに 立っていて突然その姿をすっかり見失った、どこを探しても、

tui tami uisi ičəguxəči.  
そうして上を見上げた。

əŋ təwəksə ojalani tookomaari-o~ biəl undə təi, mapakaasal-gola.  
雲の上 上って~ いるという、その、小熊たちは。

gəə~ tui taraa puŋin-gulə ŋoxoraáčii-goani,  
さあ、そうしてからプジンは お祈りするのだ、

”gəə ajəji baljiwaandoo, buə piktəjiwə, bumbiəwə tui.”  
「さあ、良く生活させて下さい、私たちの子供を、私たちを そのように。」

ə~ŋ əsi-təni tui taraa tui bii-goani čado.  
今 そうしてから そうして暮らしているのだ、そこに。

əsi-təni tui bimi~ mərgən undii, ”anda~ puŋin,” undii,  
今 そうして、ムルグンは言う、「ああ、プジンよ、」と言う、

”jookčiji ənuguuri,” undii,  
「自分の家へ帰ろう、」と言う、

”ə~ŋ əsi-lə xai, xai waandagoraa əsi-kəə, ambaaŋgoari-daa waakaso.”  
「今、誰が殺しにやってくるだろうか(来ない)、今や、魔物も やっつけた。」



ə~ŋ undiisi əsi-təni undiisi tawaŋki-la, ”xooni ənuuri.”  
今 それから、「どうやって帰るべきか。」

ə~ŋ mərgən-gulə undiisi, xaido baaxan, xai, mərgən-dəə moxogilai,  
ムルグンは、どこで見つけたのだろうか、ムルグンだもの、何ができなからう、

ə~ŋ ogdagoari baaxaci tui taraa tawaŋki-la ənəpsindii-goani,  
舟を 見つけた、そうしてから そこから 出発したのだ、

waisi əuguxən undiini-goani pūjin,  
川岸へ 下りた、言うのだ、プジンとは、

ə~ŋ tui, tooiči əguŋji gəsə, xamasi kəčəriguxən  
そうして、岸へ 下りるやいなや、後ろへ 振り返った、

pūjin-gulə paiŋaji taas paačilaxani.  
プジンは 手のひらをパチンと叩いた。

ə~ŋ joo-daa abaa xai-daada abaa purəən naa očogoxani.  
家も ない、何も ない、自然のままの大地になった。

gadarak bii gaōnaakaan kumurəp bii kumčičəkəən tawaŋki-la,  
まっすぐな木々が並ぶ ゆるやかな細長い丘に、でこぼこな 丘に (なった)、そこから

tui ənəxə~n ənəməri~ ənəməri-ə, ənəməri,  
そうして行った、行って 行って、 行って、

goro-daa anaa bičcin təi-lə, maŋboči niəguxəəl ənəiči-lə təi, irgenči.  
遠くも なかった、その、大河へ 出た、行く、その、村へ。

ə~ŋ undiisi tui taraa jooji isigoxa~n, mapa mama-la undiisi-ə,  
そうしてから 自分の家に 着いた、おじいさんと おばあさんは

baalana buikin nii-lə iirinəməri bii-goani, kučundu.  
ずっと前に 死んでいた、その人たちは ウジがわいているのだ、ゴミ捨て場の所に。

”ə~ŋ xaigoji waaktaxasi-a,” undiini-goani,  
「何のために あなたは殺したのか、」と 言うのだ、

”gujilægbečə, mənə xooni-daa taisi taroo,” undiini-goani, əjjiči.  
「かわいそうに、自分で なんとか して、なんとかしなさいよ、」と言うのだ、自分の夫へ。

təi-lə mærgən-gulə undiisi amimbi ənimbi bæjjuuəni jəpami nanggaačigoxani,  
その ムルグンは 自分の父親と 母親の 足を つかんで 投げた、

mapa~ mama xəm xoragoxači.  
おじいさんも おばあさんも みな 生き返った。

əsi-tənii čiak-daa anaa xai-daa anaa iiguxəəl, jookči.  
今 騒音も なく、何も なく 入った、家へ。

gəə piktəwəri-tənii xailaraa təi piktəčieri təi,  
さあ 自分たちの子供を どんなにか可愛がる、その 自分たちの子供へ、その、

aŋaakaanŋoari-tənii ojektai-daa bəəlgesii-dəə tai-goani,  
赤ん坊を キスもするし、ひざの上へのせたりもするのだ、

təi aŋaakaanŋoči-daa daai osixani, piktəčiji-dəədə. tui taraa tui baljii-goani  
その 赤ん坊も 大きくなった、子供も、だ。 そうしてから そうして暮らすのだ、

tui bimi~ tui baljimi-a-la undiisi əsi-tənii pujin-tənii songoi-goani.  
そうしていて、そうして 暮らして、今 プジンは 泣くのだ。

siksə~ əjji abaado songoi, jjuučəni xəjji, tui biə undə.  
夕方 夫がいない時に泣く、戻って来ると やめる、そうしている という。

əj tui tami undiini-goani mærgən, ”anda~ pujin,” undii, ”xaimi songoisi tui-də.”  
そうして言うのだ、ムルグンは、「ああ、プジンよ、」と言う、「なぜ 泣くのか、そんなに。」

”ə~ŋ anda~ mærgən,” undii, ”mii-dəə əikəku bičəi,” undii,  
「ああ、ムルグンよ、」と言う、「私も 姉がいたんです、」と言う、

”əgəə-tənii buikin-u~s, ujun-us,” undii, ”mimbə gasami-maŋa.”  
「姉さんは 死んでしまったらどうか、生きてるだろうか、」と言う、「私のことを 嘆いて。」

ə~ŋ undiisi-ə, ”gəə ənəmi xairini,” undii,  
「じゃあ 行ってみたら どうだ、」と言う、

”əikəciəsi-də, əwəŋki goro anaa biǰərəə,” undiini.  
「おまえの姉の所へ、ここから遠くもないようだ、」と言う。

əŋ tawaŋki-la tui, əlciusəlji xaisəlji giolimǰǰiari ənəi-goani irgəŋku nai.  
それから そうして、奴隷たちで彼らで 漕ぎ手として 行くのだ、村を持つ 人々だもの。

əŋ tui ənəməri~ ənəməri, goro ənəkə ǰǰa ənəkə əikəwəni baogoi-goani.  
そうして行って、 行って、 遠く 行った、 近く 行った、 姉に 再会するのだ。

ə~ŋ əikəni-lə tooila xaariči-la undiisi təi-təni,  
姉は、 岸に 彼らが着岸してみると、 姉の家は、

bipi-ə poiŋar bipi-ə poiŋar taa undə.  
しばらく間があって煙がモクモクと出ては、またしばらくしてモクモク、としているという。

iixəči-təni təi-təni, ǰilgan-daa anaa~ songomi-maŋa osixani əikəni-təni-də.  
彼らは入った、 姉は、 声も なく~、ただ泣くばかりになっていた、 姉は、 だ。

”ənənə~,” puǰin-gulə əikəji-lə xə~p naaməngomi agdai-goani-a,  
「ああ、」と プジンは 自分の姉を ガバツと 抱きしめて 喜ぶのだ、

”ə~ŋ əpəŋgoa~.” ”əgəə mii taambi”-m, ”ǰičimbi,” undii,  
「ああ、妹よ。」 「姉さん、私よ、」と、 「やって来たわ、」と言う、

”buikimbəsi-gdəl tai-noo, paŋaambasi-gdəl tai-noo,” undiini əikəni.  
「死んじゃったんじゃないのかい、 幽霊なんじゃないのかい、」と言う、 姉は、

”uǰumbi-ə piktəkuǰi, əǰikuǰi,” undiini-goani,  
「生きているわ、 子供も、 夫もいるわ、」と言うのだ、

”əŋ kətələə-dəə burbuxən,” undiini.  
「あやうく 死ぬところだったわ、」と言う。

əŋ tui taraa~ təi-təni baogoxan-daa songoxəči-la,  
そうしてから 彼らは 出会って、 泣いた、

əikəni songoxan daai bira~, nəuni songoxan nuuči bira osixan  
姉が 泣いたのは大きな川に、 妹が 泣いたのは小さな 川となった、

tuliədu paogigda xəjəi-goani.  
中庭からサラサラと流れ出して行くのだ。

ə~ŋ əsi-lə əikəji-lə xoriangoji                      ʃapagoi-goani.  
今 姉を 自分の夫の二人目の妻として娶るのだ。

tui taraa~ čado-la xəjokaambani xəm təučiguxə~n ogdačari tawaŋki-la tui ənui-goani,  
そうしてからそこで家財や衣服を全部積み込んだ、舟へ、そこからそうして去るのだ、

tooiči əugurəə, xaisi pairəji paačilaxan              ʃoo-daa abaa xai-daa abaa  
岸边に下りてから、再び掌をパチンと叩いた、家もなく何もなく、

bai gaõnaakaan              osiogoi-goani. tui taraa ənurəə~ tui baʃji-goani ələə.  
ただゆるやかな細長い丘となるのだ。そうしてから去ってからそうして暮らすのだ、終り。

kətu goro biəsi.  
あまり長くないね。

1996年3月10日 ダエルガ村にて録音  
N. B. Gejker 氏 口述

2. əruə pasini  
毛皮外套の切れ端

ə~ŋ undiisi əm ʒoo doolani, əm əruə pasini əmučkəə~n baljixani.  
ある家の中に、一つの毛皮外套の切れ端が一人きりで暮らしていた。

tui bii~ tui bii tui tami-a murčiini-goani,  
そうしている、そうしている、そうして考えるのだ、

”mii-kəə~ nai aldambani naisambori.”  
「私こそは、人の間に 客に行くべきだ。」

əsi-tənii boāci niəxəni. boāci niəxən-tənii xədun xədundiini-goani, əsi-tənii,  
今 外へ 出た。外へ 出た、 風が 吹いているのだ、今、

boāci niəxən-kəə niəxən, xədun xədukpiləiduəni-tənii pukčəəriu~ uipə xuəduuri,  
外へ 出たことは出たが、風が ちょっと吹いた時に、ヒラヒラと 上を 飛ばされて行く、

xəduni toroŋkiariidoani-tanii saaksa aldandoani ənərəə~ tui xədumbuuri  
風が ちょっと落ちついた時に霜の 間を 行ったり、そうして風に舞い上がったり

taa undə. xədun puujələguiduəni xaisi pukčəəriu~ uipə xuəduuri.  
する という。風が 吹く時には 再び ヒラヒラと 上を 飛ばされて行く。

toroŋkiariidoani xaisi tuugurə saaksa aldandoani  
風が静まった時には 再び 下りてから、霜の 間を

tui laptaa laptaa xədumbuuriini-goani.  
そうして ピラピラパタパタ 風に飛ばされて行くのだ。

tui ənəmi-ə~ ənəmi-ə-lə, əm ʒoo bičini, tuliəduəni-tənii, taktoko-da.  
そうして行って 行って、一軒の家があった、中庭には、 蔵があるのだ。

təi nai taktoni ərčənčəni ʒəs xuəduuxəni.  
その人の 蔵の 庇の所にズボッと 風に吹かれて突き刺さった。

tui taraa~ čado tui xədumbuumi biə undə.  
そうしてからそこにそうして風に吹かれているという。

tui biiduəni-ə~lə əm pūjin-gulə urəktəmiku~ jičini.  
そうしている時に、一人のプジンが葦の籠を持ってやって来た。

taktoji tookpombani nəerəə tooxani. ičəxəni, təi əruə pasiwani tərək-də,  
蔵の梯子をかけて上った。見た、その毛皮の外套の切れ端をパツタリと、だ。

”wakāji-a~ xai-daa,” uŋkini, ”əi-dəməə,” undii,  
「あら、うれしいわ、なんとも、」と言った、「これはこれは、」と言う、

”əi uləən pasiwā-daa, ui uləən pasini tugbuxəni~,  
「こんな良い切れ端を、誰が素敵な切れ端を落としたのかしら、

kačamagoji baaoxan wakaĵia.”  
手袋にするのに見つけたわ、ラッキーだわ。」

əsi-təni undiisi xaixani, urəktəmiduji nəerəə, taktočiji iixəni,  
今 どうした、葦の籠に入れて、自分の蔵へ入った。

taktočiji iixənduji-təni ogasamba ĵaparaa təi ojaalani nəəkurəə iiwuguxəni.  
蔵へ入った時に 干し魚をつかんでその上に置いてからまた家に入って来た。

ĵookčiji iiwuguxən. xaiji, puku kərkičəduəni xaňančiji naŋgalaxani.  
家へ 入った。 右側の席の側のかまどの横の場所に、壁の下の所へ投げておいた。

tui taraa oŋboxan tui biə undə pūjin-gulə əmučkəə~n tui bii-goani,  
そうしてから忘れていた、そうしているという、プジンは一人っきりでそうしているのだ、

tui bimi~ tui bimi-ə-təni, bəjədu osixani.  
そうして、そうして、体に身ごもった。

bəjədu osixan-mat saagoxani-goani, ərdəŋgəsini-goani,  
妊娠となってそこで気がついたのだ、不思議に思うのだ、

”əi mii balĵixanĵija naiwa əčie ičəəi, xaimi bəjədu osixambi əi.”  
「これは、私は生まれてこの方人を見たこともない、どうして妊娠となったのか、これは。」

tui ərdəŋgəsii tui tami tui tami-a-tanii,  
そうして不思議に思う、そうしてそうしたらば、

piktəguji baaxani xərə~ uləəmbə xusə piktəkəən bičini, tɔi-təni undiisi,  
子供が生まれた、ああなんともすてきな男の子供だった、それは、

soirakta nasəŋgaa, xaiji, subəxəji nuktəŋgəə jərgəjiəni, tɔi piktəni.  
ビーズの目をしていて、絹の糸で髪の手としているかのようだ、その子供は。

čawa-tanii~ ətəxiə undə tɔi piktəji-təni-də piktəguji baaxan-daa  
それを、見守って育てるという、その子を、子供が生まれたけれども

xaiji əəwuri əmuə-dəə anaa duri-dəə anaa.  
何で歌ってあやしたらいいだろうか、揺りかごもなく、夜用の白樺製揺りかごもない。

əsi-təni bəəlgəji, əmuəji, bəəlgəji durji tui piktəji ūjiə undə.  
今 膝の上で揺りかごとし膝の上で夜の揺りかごとしてそうして子供を育てるという。

təi-təni piktəguji baaxanjiəni-a-tanii, nai-la tul tul soar soar soar-daa pooria,  
その子供が生まれてから、人がいつもいつもギーコギーコギーコと鋸をひき、

soar soar soar soar, toibandii, siasin biə undə malodo.  
シュルシュルシュルと鉋をかけている、音がするという、真ん中の席の所で。

təi-təni, toibansa purtuni agbindii, moo pasisalni agbindii taa undə.  
そこからは、鉋の削りかすのゴミが現れたり、木のかけらが現れたりするという。

tul tul ini ini oosia undə čaa-la xəmə~də.  
いつもいつも日に日に片付けているという、それを黙々と、だ。

tui tami-a-la əm modan-gola axiria undə,  
そうして、ある時、箒で掃いていたという、

”ərdəŋgə~ xai-daa, əi xai nii bimi kukpumbə angoini,” undii,  
「不思議だわ、なんとも、これはいったい何の人がいてゴミを作っているのか、」と言う、

”bafjixanjiə~ xusə nii~, əčie ičəmi bafjiraja.  
「生まれてこのかた、男の人を見ることなく暮らしてきたわ、

nəu-dəə anaji aagbi-daa anaji xusəji uiwə, kukpumbə angogilai nai.”  
弟も いない、兄さんも いない、男では 誰も、ゴミを 作るべき人なんか。」

əsi modan axirigoidoji-la ”dəregbəčə əi udəwəni duktəuri,” unkin moowa ʔaparaa-da.  
今 この時 掃く時に、「ちくしょう、この場所を叩いてやる、」と言った、棒を つかんで、だ。

ə~ŋ tui soimi axirigoxani. tui taraa ʔia čimania-la abaa, təi, čado bičini.  
そうして 罵って 掃いた。 そうしてから 次の日、 じゃない、その、そこにいた。

ujələni-lə soar soar-daa tai. čoir čoir-daa nai, toibanndiini, anosii siasin biə undə.  
上では ギーコギーコとする。 シュルシュルと人が 鉋をかける、鉋を押す音が するという。

tui~ biə undə tui tami~ əm modan-gola, piktəji-lə tuxiləgurəə aolikaáčimi,  
そうしている という、そうして、ある時、 子供を 抱きかかえて ごろごろしていて、

dooči kəčərigurəə aolikaáčidoani-la undiisi,  
家の中の方へ 寝返りを打ってから ごろごろしている時に、

ə~ŋ malo, nakani ujələni əriə~x taka undə,  
真ん中の席の、オンドルの 上の所から あいててと 声が出た という、

tui tajji gəsə undə səksə-lə təŋ, čičikələmi xəjəə undə  
そうするや いなや、 血が ひどく、吹き出して 流れる という。

uisiləə təi nakan ojaáčiani sakta ojaáčiani-la puʔjin-gulə,  
上へ、そのオンドルの 上へ、 ござの 上へ、 プジンにさあ、

tui tami ʔaralixani, ”anda~ puʔjin,” unkin, ”sii-məə əədən nii abaani-a”-m-da.  
そうして 話し出した、「ああ、プジンよ、」と言った、「おまえの様な 馬鹿 者はいないね」と。

”ə~ŋ əmučkəən bimi, čiko osini-daa puŋtumi piktəguji baʔjaáčimat,”  
「一人きりでいて、ニワトリ ならば 足で地面をきれいに して卵を 産むけれども、」と

undiini, ”əŋ naini-la ʔia anaa xai baara”-m-da. ”xooni oŋboxasi-a~,”  
言う、「人間が 仲間も なくて なんで 産むだろうか、」と。「なんで 忘れるんだ、」と

undiini, ”əruə pasiwani ətəxixəmbi, əruə pasini əʔisi taambi-ə”-m-də.  
言う、「外套の 切れ端を とって おいた事を、外套の 切れ端が おまえの 夫 なのだよ、」と。



”ə~ŋ mii-tənii əsi-tənii ambaa~n səwəən xojaadoani  
「私は 今 魔物と スウンが 運ぶその間に

ʒooji isigoori-noo abaa-noo,” undii,  
自分の家に 着けるだろうか、着けないだろうか、」と言う、

”ə~ŋ piktəguji xusəwə baaraa~ čaa-tanii undiisi-ə,  
「自分の子供に 男の子を 授かって、その子のために、

xotoa ilgājiani ilgalami-tanii, əmuəguəni kəəndəli čuktulixəmbi-ə,” undii,  
街ふうの 模様で 模様をつけて、揺りかごを ぐるりと 彫っていたんだが、」と言う、

”əsi-tənii əi, bəǰǰijələni əm pairəəo osiogoxani”-m,  
「今、 この、揺りかごの脚の部分が 手のひら一つ分を残すという所になったのだが、

”əi, čawa čuktuliguđi pəkčii biini, pəkčiiwa lias čuktulimi-tənii,  
「この、それを彫っている時に 暗くって、 暗い中を えいっと 彫っていたらば、

kooroawa baaxan mangani,” undiini, ”ambaan səwəən xoron...  
うっかり傷を負ってしまった、ひどく、」と言う、 「魔物と スウンが

xojaadoani ʒoo isigoori-noo abaa-noo aldalaji-gda aldaksilaori-noo,” uŋkini.  
運ぶその間に 家まで 着けるだろうか ダメだろうか、途中で 力尽きるだろうか、」と言った。

ə~ŋ tui taijji gəsə təi-lə, təi səəksə ojaačiani kingirigdə əmuə tuuguxəni.  
そう する やいなや その、その 血の 上へ ゴトンゴロリと 揺りかごが 落ちてきた。

təi-tənii čək torjmaako~ čək bičin ʒapami apsimbowaambori piktəwə.  
それは きちんと 弓状の形であり、きちんと できていた、つかんで 寝かせるべき、 子供を。

təi-tənii xaiwa, təjə-dəə bičini  
それは、 本当 だった、

əmuə ʒərimbəni-tənii kəəndəli nai xotoa ilgājiani čuktulimi ilgalaxani bičini.  
揺りかごの 縁を ぐるりと 人は 街ふうの 模様で 彫って 模様をつけて あった。

bəǰjə kaltaājiani-tanii əi əm pairə daralaājiani əčičə xōjiani.  
足の 部分が この 手のひら一つ分の 広さで まだ 終って いなかった。

ə~ŋ əsi-tənii pūjin-tənii songgomi-la tɔi səəksəwə-lə xaixani-a~ puniktəni pɪrpəlɪxəni-ə  
今 プジンは泣いて その血を どうした、灰を 振りかけた、

tɔi saktani səəksəwəni-tənii muəʒi tui piʃiçimi xaoçigoxani,  
そのごごの血を 水で そうして水を口に含んで吹きかけて拭った、

tui songgomi-la əjɪduji-də əjɪjɪ songgoa undə.  
そうして泣いて 夫に、 自分の夫のことで泣く という。

songgoini, piktəji songgoi-daa songgoi tɔi,  
泣く、 子供も泣きに 泣く、その子は、

əsi-tənii undiisi piktəji-lə oowogoxani, tɔi ənuəwə ʒapagoraa-da.  
今 自分の子供を揺りかごに寝かしつけた、その揺りかごを取って、だ。

əsi-tənii tui bii-goani, tui songgomi tui bii-goani,  
今 そうしているのだ、そうして泣いて そうしているのだ、

əm modan-gola undiisi tui bimi undiisi-ə,  
ある 時に そうしていて

ə~ŋ çimii kukpumbə axirigoraa boaçi naŋgalandaxani kukpumbə kupçuuçiji.  
朝 ゴミを 掃いてから外へ 捨てた、 ゴミを ゴミ捨て場へ。

kupçuuçiji, kukpuŋguji naŋgalaraa-la çioçixəni,  
ゴミ捨て場へ、 ゴミを 捨ててから 小便をした、

kupçuunduji təəsimi dosəjiiini-la, xajala-noo xajala-noo nai songgoa undə,  
ゴミ捨て場に座って 聞いているに、どこからかどこからか人が泣く声がする という、

”kairakaan asiji piktəji, poiŋaoo~ taini-a,” undiini,  
「いとおしい我が妻と我が子よ、モクモクと煙を出して暮らしていることよ、」と言う、

”ə~ŋ kairakaan asiji piktəji,” songgoa undə, xusəni ʒilgani.  
「いとおしい我が妻と我が子よ、」と泣く という、男の人の 声が。

tui tami-la taax taax taidoani-la içəguxəni,  
そうして バタバタと 歩いている時に見た、

kændæli ičæičæini-goani xaido-daa abaa nai, nai xaido-daa abaa,  
ぐるりと見回して探すのだが、どこにも いない、人は、人はどこにも いない、

soliäjjia-daa abaa xäjjäjjia-dæ abaa.  
上流の側にも いない、下流の側にも いない。

xooni-daa tui-tänii ulæn dosöjii uilæ bii siasin..  
どうにも、そうして良く 聞くに上にいる 物音がする、

nai songoini jilgan tui taraa ičöguxæni uisi, ælæ badowani isixani bičini,  
人が泣く 声は、そうしてから見た、上を、もう 向こう側に 着いていたのだった、

tai sisima jŷælini, amini-tänii, xaiči, iraini bičini buni baaroani äjjiwæni.  
その シシマ ジュウリ、彼の父は、 運んで行くのだった、冥界の方へ、彼女の夫を。

æsi-mææ ičæxæni, äjji, tai-tänii ulæn nai bičini  
今になってはじめて見た、自分の夫を、それは すてきな人であった、

tai-tänii tui darapsingoraa tæsimi songoa undæ,  
彼は そうして 寄りかかって座って 泣く という、

”kairakaan asiji piktäji, poiŷaoo dæŷjiiči-æ”-æ-m-dæ.  
「いとおいしい我が妻と 我が子よ、モクモクと煙を出して 居残っていることよ、」と。

æ~si-tänii puŷjin-tänii kupčũundulæ puæsæmi songoi-goani äjji-dæ äjji.  
今 ブジンは ゴミ捨て場に 這いつくばって泣くのだ、夫よ 夫よ、と。

æ~ŷ æsi-mææ ičæxæn nai, nai baljixambani, tai mapaji baljixambani.  
今になってやっと見た、人を、人の 生きている姿を、その 自分の夫の 生きている姿を。

kupčũundu puæsæmi songoa undæ tui songoidoani-a piktæni-tänii  
ゴミ捨て場に 転げ回って泣く という、そうして泣いている時に、彼女の子供が

jooŷdoji so~ŷgoi-daa songoi, iiguxæn-tänii piktæni-tänii  
家の中で泣きに 泣く、家の中に入った、子供は

walii walii jadami songoxani, songoini.  
ひどくくたくたに 疲れるまで泣いていた、泣いている。

ʃapagoraa kuumbə gidalagoraa songočiini-goani, songoini-goani,  
つかんで 乳を 啜えさせてから 泣いているのだ、泣いているのだ、

”əni ičəguruu, əji songora,” undii, ”əwəŋki amimba xaali-daa baogoasisi-a”-m,  
「ああ 息子よ、泣くな、」と言う、「これからは父親と 永遠に 再会することはない、」と

”ə~ŋ sisima ʃuəli buniči iraxan,” undiini, ”amimbasi.” tui songoi-goani.  
「シシマジュウリが 冥界へ 運んで行った、」と言う、「おまえの父を、」そう泣くのだ。

tui taraa tui piktəji xaigomi xōjixan, songoi tui taraa kuučiguxən, oosičigoxan,  
そうしてから そうして 子供に 乳を与え 終った、泣く、そうしてから 乳を与えた、片付けた、

tui taraa tui biiči-goani. ə~ŋ tui bimi-ə~ tui bimi pujin-gulə duisi tooxani.  
そうしてから そうして 暮らすのだ。そうしていて そうしていて、プジン は 山の方へ 上った。

ə~ŋ dujəəči-ə tooxani undiisi əsi-təni pəŋdawa-tanii čapčiloxani.  
山の方へ 上った、 今 モミの木を 切り始めた。

ə~ŋ purəən tətuəji, purəən xəjombi xəm tooboxani-goani, goropči tətuəsəlbi.  
山用の 自分の服を、山用の 道具を 全て 持って 上ったのだ、古い 服を。

otawa, garon, xai-daa xəm təsičəuri ʃakasal tooboraa  
靴を、すねあてを、何でも 全て 身に 着ける さまざまな物を 持って 上ってから

pəŋdawa čapčiini-goani naiwa aŋgomi.  
モミの木を 切るのだ、 人を 作るのに。

əsi-təni pəŋda, təi nai osixa~n yke čapčimi-tol aŋgoxani tui taraa-tanii,  
今 モミは、それは 人の姿 となった、もう 切り倒したばかりで 作った、そうしてから、

tətuəji-lə xəm tətuwəŋkini. tui taraa undiini-goani,  
自分の服を 全部 着せた。 そうしてから 言うのだ、

”ə~ pəŋda~, undiisi, nai osigilai, nai osii osini  
「さあ、モミの木よ、 人と なるはずであるなら、人と なる なら、

mii baaroji inəktəmi kəčərigujəəči-ə”-m,  
私の方を 笑いながら 振り向くだろう、」と、

”ambaan osigoi osini kolo kolo čiasi kəčərijəəci”-m.  
「魔物となる なら 黙ったまま後ろへ振り返るだろう、」と。

əsi-tənii pūjin-gulə undiisi, tēi poŋdawa tətuwəəŋkimbi-lə, ʃaparaa,  
今 プジンは そのモミの木に服を着せた、 つかんでから、

naiwa-la aŋgoxambi tətuwəəŋkimbi ʃaparaa poron dabal naŋgalaxani xamasi.  
人間を 作ったのを 服を着せたのを つかんでから 頭のでっぺん 越しに 投げた、 後ろへ。

tui taraa ičəguxən tēi-tənii xiə xiə xiə xiə xiə inəktəmi-la  
そうしてから見た、 それは ヒヒヒヒヒ、と 笑って

ñoani baaroani kəčəriguxəni, xailoo uləən pūjin bičini.  
彼女の方へ 振り向いた、 何とも 良い プジンであった。

”əgəə~ mimibiə xaigoji gələxəsi”-dəə ”mimibiə xaigoji gələxəsi”-dəə undii.  
「姉さん、私を 何のために求めたのですか、私を 何のために欲したか、」と言う。

”gəə nəku ʃiagoani gələi-goani,” undiini.  
「ええ、子供の仲間として求めたのよ、」と言う。

əsi-tənii inəktəməri tui əugui-goani tēi, nai xai, naiŋoŋji,  
今 笑って そうして下りるのだ、その、人、 その人といっしょに、

ə~ŋ tui taraa tui bičin, əuguxən-tənii gəə tēi piktəkəəŋjəni-tənii kupiini-tənii,  
そうしてから そうしていた、 下りた、 さあその 小さな子供と 遊べば、

ə~si-tənii piktəni-tənii soŋgoadaasi osixani-goani əikəguji baaxan.  
今や 子供は 泣きもしなくなったのだ、お姉さんを見つけた。

əsi-tənii tui bii~ tui bimi-ə undiini-goani əsi-tənii pūjin-tənii,  
今 そうしている、 そうして 言うのだ、 今 プジンは

moowa-la ə~ŋji moo čapčimi-la ʃookčiji aksomba ti~as iiwuxəni.  
薪を たくさん、薪を切って、 家へ 戸口の入った所にぎっしりと 運び入れた。

gilonʃia kaltaa nakandoji-daa tias iiwuxəni, moowa.  
左側の席の 側の オンドルにもぎっしりと 運び入れた、薪を。

ə~si-tənii siaori-a ʒakawa-tanii ə~gjiwə angoxani-goani,  
今 食べる物を たくさん作ったのだ、

əm dujəni-dəə taxido-daa tias osiijiani busərədu-dəə nəəktəmi.  
一つの山の側の 棚にも ぎっしりとなるように、机の上にも 置いて。

əsi-tənii xaido, aksondoji-tanii jaama xuləluxəni.  
今 どこに、戸口の入った所に 穴を 掘り始めた。

xuləxən čado-tanii təi, undiini-goani,  
掘った、そこに、彼女は言うのだ、

”əəpangoa~ undiisi, mii anaadoji əji~ əji boaci-daa niəwəəčiasu,  
「妹よ、 私が いない時に 決して決して 外へ 出てはならない、

kaoka ʒoogdo əi jaama doočiani čičičii amočičii tamaari biusu,” undiini.  
じつと 家に、この穴の 中へ 小便をしたり大便をししたりして いろ、」と言う。

”nəkuwə-dəə əji boapa pulsii... olbiačira”-m-da.  
「子供も 決して外を 歩かせたり、連れ出してはならない、」と。

”əi mii pujuuxəmbi ʒaka-daa isii,” undii, ”mii ʒjjuičijəwə-də.”  
「この 私が 煮た 物でも 足りる、」と言う、「私が 戻って来るまで。」

ə~ŋ əsi-tənii piktəji xəəsiguxəni undiisi undiisi očkətaini-goani,  
今 自分の子供を呼んだ、 キスするのだ、

”əni ičəguruu~, undiisi, mii-tənii amimbasi gələndəguji taambi,” undii,  
「息子よ、 私は お前の父さんを探しに行くことにする、」と言う、

”sii kaoka, əji songora,” undii, ”əikəsi simbiə mənə-dəə ətəxii-je”-m,  
「お前は 静かに、泣かずにいろ、」と言う、「お前の姉さんがお前を自分で 見守ってくれる、

”mənə ətəxii-je”-m-də. əsi-tənii pujin-tənii tui taraa,  
「ちゃんと自分で見守ってくれる、」と。今 プジンは そうしてから

ə~ŋ xaixani, baarəjigoxani čimii ʒia čimani-a təəxəni undiisi ərdə,  
身支度をした、朝、 次の日の朝 起きた、 早く、

tui taraa baarājigoraa undiisi boači niərii-goani.  
そうしてから身支度をしてから 外へ 出るのだ。

ə~ŋ boači niəmi paǰjalami ənəxəni.  
外へ 出て 駆け出して 行った。

xəjje xooŋkoŋgoji isigomi bəərumi-dəə iligoxani undiini,  
下流の側の 崖の所に 着いて ぱったりと 立ち止まった、言う、

”əədə~n xai-daa piktəji, poŋdado naŋgalaraa ənəi,  
「バカだわ、なんて私は、自分の子供を、モミの木に 投げ預けておいて 行くなんで、

ə~ŋ xooni murčimi ənəini, xooni tai-xai saawasi.”  
何を 思っ て 行こうだなんて、どうして こんなことしたんだかわからないわ、」と。

əsi-tənii puǰin-tənii undiisi xaixani. paǰjalagoxani xamasi.  
今 プジンは どうした。駆け出したのだ、後ろへ。

xamasi paǰjalapi siin kiraačiani isigoraa undiisi-ə  
後ろへ 走ると 氷の穴の 縁に所へ 着いてから

ə~ŋ xai, tawaŋki-la bəičimi tookoxani ʒookčiji.  
そこから 這って忍んで 上った、自分の家へ。

paawala-la akson paawalani, ə~ŋ siŋmūji golkaliraa ičəxəni,  
窓を、 戸口の近くの窓の所から、 舌で 突き破って 見た、

piktəni sənəguxəni bičini.  
子供は 目を覚ましていた のだった。

təi-tənii bəə bəə bəə bəə bəə bəə argasia undə, ”əǰi songgora,” undii,  
モミの木は よしよしよしよしと 工夫してあやしている という、「泣かないで、」と言う、

”ənisi-tənii, undiisi amimbasi gələndəguxəni”-dəə,  
「お前の母さんは、 お前の父さんを探しに行ったんだよ、」と、

”əǰi songgora”-daa, xamačaa-kaa-daa ʒaŋgiara undə,  
「泣くな、」とも、 なんだかんだと たくさん話して言い聞かせている という、

ə~ŋ piktəni-təni xəmə~ oçogoxani bičini.  
子供は 静か~になった のだった。

əsi tui tai nii-kaa xooni tara murčiini-goani  
今 そのようにしている人こそ なんと良く やってくれていることかと 考えるのだ、

pūjin-gulə tui taraa tawaŋki-la undiisi-ə,  
ブジン は そうしてから そこから

ə~ŋ əlkəəji əugurəə, siin kirawa isigomi pağjalagomi ənəi-goani  
静かに下りて、氷の穴の縁に 着くと 駆け出して 行くのだ、

tawaŋki-la tui ənəi~ ənəi, əŋ siksə~ aorii ərinduəni əm ʔookči~ isixani.  
そこから そうして行く~行く、 夕方 眠る 時間になって一軒の家へ 着いた。

ə~ŋ tuliələni, tuliəduəni siku~n kaltaa bičin naiwa nəuxən.  
中庭の所には、中庭には 新しい 死者を乗せる台があった、人を 乗せてあった。

ə~ŋ tui taraa undiisi iixəni ui-dəədə abaa.  
そうしてから 入った、誰も いない。

xusə nii ʔapaini xəjon-ragdal biə undə.  
男の人が手に取る 道具だけが ある という。

əsi-təni undii xuməčəwəni dəgbəlirəə~ damxiwa omimi təəsə undə.  
今 燃えさしの薪を埋めた物を ほじくり起こしてタバコを吸って座っている という。

əsi-təni tui təəsiiduəni-lə lələ~ lələ~ nai ʔilgani biə undə.  
今 そうして座っている時にぼそぼそと 人の声 するという (家の外から)。

təi-təni undiini-goani xai, "xamačaa ʔaka," undii,  
その者は言うのだ、 「何 者だろう、」と 言う、

"mii əi-lə~ bimi xuməčəji əčə dəgbərə," undii,  
「私が ここに いて 燃えさしを まだほじくり起こしていないのに、」と 言う、

"ambaan osini nəə dəəmbisu~, nai osini əji orkisira," undiini,  
「魔物 ならばすぐに 静まってくれ、人 ならば悪く思わないでくれ、」と 言う、



"əsi~ tui orkiáčioxan jaka." əsi-təni tui pakparimi əguə,  
「今 こんな突然の悪い事よ。」今 そう文句を言いながら下りて来る、

pūjin-gulə undiisi, kačamaji ĵapagoraa niəguxəni boāči.  
プジン は 手袋を つかんで 出た、 外へ。

əŋ tuliələ isigoxani. "anda~ mərgən undiisi, mii-kəə əsiəni-kəə, nai taambi-a," undii,  
中庭に着いた。「ああ~ ムルゲンよ、 私は 人間です、」と 言う、

"ambaan-kaa biəsi-mə."  
「魔物では ありません。」

"anda pūjin iiguu, anda pūjin iiguu,  
「友たる プジンよ、 入れ、 友たる プジンよ 入れ、

əmučkəən biuri xuməčəji dəgbəxəmbəni ərdəŋgəsii-goani," undii,  
一人きりでいるのだもの、 燃えさしが 起こしてあるのを 不審に思うんだよ、」と 言う、

"xaali-daa əčiə tui biə." ə~ŋ tui mərgən taini iiguxəni.  
「いつだって こんなことはなかったから。」 そう ムルゲンは 言うと 家に入った。

ə~ŋ əsi-təni undiisi-ə təi-lə mərgən-gulə xai,  
今 その ムルゲンは

uliksəwə iiwuguxən pūjin-təni čawa-tanii čaasomi pujuurii-goani.  
肉を 家に運び入れた、 プジンは それを 切って 煮るのだ。

ə~ŋ pujuuxəni undiisi əsi-təni undiisi-ə,  
煮た、 今

ə~ŋ xaabogoxani kotaambani ĵapaxani undiisi kərčixəni.  
すくいあげた、 彼の皿を 取った、 肉を細かく切って盛った。

tias čokčolimi kərčirəə buuxəni. təi-lə mərgən-gulə undiisi,  
たっぷりと 山盛りに 細く切って盛ってから 渡した。 その ムルゲンは

əŋ tui jəjəm-kəəči soŋgomi bii-dəə, pūjin kərčixəmbəni-lə xəm siaxani.  
そうして さめざめと 泣いて いたが、 プジンが 細く切ってくれた肉を 全部 食べた。

ə~ŋ tui taraa puǰinči ičəǰei, kotoanči ičəǰei taa undə.  
そうしてからプジンの方を見たり、皿の方を見たりするという。

əŋ puǰin-gulə kotaamba ʒapagoraa əsi dolindola kərcixəni.  
プジンは 皿を 再びつかんで 今 真ん中の所まで 肉を細く切って盛った。

ə~ŋ čawa siariidoji undiini-goani, "mii-tənii ədə~n xai-daa," unĵini,  
それを食べる時に言うのだ、 「私は バカだ、なんとも、」 と言った、

"andaxaŋgoji mədəwəni-xəi gələə... mədəwə xaosi-daa ənəmi pulsimi xəikuiwəni-kəə  
「自分の友のことを、 その情報を、どこへ行って歩き回って立ち寄ったのかを

mədəsəsələji, siaoriči-maŋa, xookpaamboxani," undiini,  
聞きもしないで、食べることにばかり 夢中になってしまった、」 と言う、

"ədəmbi-ə"-m-də. ə~ŋ puǰin-gulə undiini-goani,  
「私はバカだ、」と。 プジンは 言うのだ、

"xaosi ənəi ənəmbi unĵəmbi~,  
「どこへ行って、行くと 言えるでしょうか、

xaosi pulsii pulsiəmbi unĵəmbi," undii,  
どこを歩き回って、歩き回ると言えるでしょうか、」 と言う、

"əŋ əjji-tənii undiisi, koorowa baaraa buikini-ə," undii,  
「自分の夫が、 深い傷を負ってから 死んでしまったんです、」 と言う、

"piktəguji baaraa əmuəguəni aŋgomi, əŋ čawa ŋaanigoja"-m,  
「自分の子を授かって 揺りかごを作っていて、 その夫を連れ戻しに行くんです、

"paŋaambani buniči." əsi-tənii mərgən-gulə kuŋgiligdə~ songoloka undə,  
その魂を 冥界へ。」 今 ムルグンは ワアワアと 泣き出したという、

"əŋ buə-dəə naijaanĵaači bii osini asiji gələndəguuri-goani," undii,  
「私たちも 本当に心ある人であるならば、自分の妻を求めて行くべきなんだ、」 と言う、

əsi-tənii tui songoidoani puǰin undiini-goani, "gəə xooni tami buikini,"  
今 そうして泣いている時にプジンは言うのだ、「ああ、どうして亡くなったのか、」と

undii, "asisi." "ə~ŋ xooni tami budə~, " undii, "xai, piktəguji xaiwa~,  
言う、「あなたの妻は。」 「どうして死んだか、」と言う、「私の妻は

əm modan-tanii mənə bii mənə, gəuxədəi~,  
ある時に、自ら自分にそう、自分で勝手にものすごく腹をたてていて

mənə bii mənə puksindii~ ərdələini," undiini,  
自分で自分に怒っていて、変な振る舞いをしていた、」と言う、

"čawa-tanii xaiwa-noo ʒapaidoji-tanii, ələləni təs tongalaxani," undiini,  
「あれを、何かを取ろうとした時に服の裾がガッと何かにひっかかった、」と言う、

"əsi-tanii boāci niərəə məəpi taktodo, pasixani," undiini,  
「それだけで即座に外へ出てから自らを蔵に吊るして、首を吊ってしまった、」と言う、

"ə~ŋ təi kaltaani," undii, "təə tuliədu." tui songgoa undə,  
「その死者用の台なんだ、」と言う、「ほうれあの中庭に(あるのは)。」そう泣くという、

"buə najjaŋkaāci bii osini buə-dəə gələndəguuri-goani asiji.  
「私たちも本当に心ある人であるならば、私たちも求めて行くべきなんだ、自分の妻を。

anda~ puʒin asijija gaəʒoxaari-a, xooni~-daa gaəʒoxaari-a," undiini.  
友たるプジンよ、私の妻を連れて来てくれ、なんとかして連れてきてくれ、」と言う。

ə~ŋ tui songgoxa~n, tui, təi mərəŋ tui songgoini-goani.  
そうして泣いた、そうして、そのムルグンはそうして泣くのだ。

əŋ tui taraa-la undiisi-ə, ʒia čimani susui-goani čimii.  
そうしてから 次の日 出発するのだ、朝に。

əsi-tanii uikəwə niəguidu luktuulə~ tui mərəŋ,  
今 戸を出る時にギューッと(開く時に) そのようにムルグンは、

kəkčəmi tui dərəʒiguxən, əŋ puʒin-gulə undiisi  
頼んで そうして居残った、 プジンは

tawaŋki-la tui ənəi-goani tui tutui duərəi tami tui ənəi-goani,  
そこから そうして行くのだ、そうして走ったり歩いたりしてそうして行くのだ、

tui ənəmi~ xooni ənəxən siksə~ əm irgəmbə isixani.  
そうして行って~どのくらい行ったのか 夕方 ある 村に 着いた。

ə~ŋ irgə~n tokondolani-la undiisi əjən xaandolani tooxani.  
村の 真ん中に、 主たる 長の所に 上った。

tooraa uikəduəni ʒaparaa iixəni.  
上ってから 戸を つかんで 入った。

čado-la undiisi əm mapa~ mama biə undə.  
そこには 一人のおじいさんと おばあさんがいる という。

puksūjə kaltaājjala, mapado-daa əm paŋoo,  
右の席の側には、 おじいさんにも 一つの死者の霊の枕、

mamado-daa əm paŋoo biə undə.  
おばあさんにも 一つの枕が ある という。

ə~ŋ ʒoogdo kərkičə puksūji... xaido giləŋjala-tanii kəkənə əlčiusəl biini.  
家の かまどの側の、 左側の席の側には 女奴隷たち、男奴隷たちがいる。

ə~ŋ mamado bii paŋoodo-tanii undiisi,  
おばあさんの所にある 枕の所には、

əktə nii ʒapaini ʒaka~maŋa biə undə ʒakpadoani nəučiiini.  
女の人が手にする物ばかりが ある という、そばに とっておいてある。

əŋ naonʒokaan xai, xusə nii ʒapaini ʒaka-tanii  
若者が、 男の 人が手にするような 物は

təi mapado bii paŋoodo biini, ʒakpadoani bii paŋoodo.  
そのおじいさんの所にある 枕の所にある、そのそばにある、枕の所に。

əsi-təni~ čawa-tanii tui xaixan, mapa-tanii undiini,  
今 それを そうしてどうした、おじいさんは 言う、

xaido puʒin-gulə undiisi mamači, mamači mapači ŋoxoraáčii-goani.  
プジン は おばあさんへ、おばあさんへ おじいさんへ お辞儀するのだ。

”ə~ŋ xaini-gdal purini bimæri-ə, ñoxoraaciiso,” undii,  
「誰のとこの子供であって、お辞儀するのかな、」と言う、

”əni ičəguruu,” mamāji mapāji ōjoktaxan pūjimbo-lə undiisi,  
「娘さんよ、」とおばあさんも おじいさんも キスした、プジンに、

”ə~ŋ xai baitadoani-la kændəlimi bundulə kiiriiso,” undii, ”buə.”  
「何の用事で 歩き回って 私たちの所に立ち寄ったのか、」と言う、「私たちの。」

ə~ŋ pūjin-gulə tui tui baitadoji ənəmi xəikuxəmbi.  
プジンは かくかくしかじかの事情で 行って立ち寄ったんです (と言った)。

əsi-tənii, ”xai songoi-goani, buə-dəə naijaan̄kaači bii osini,  
今、 「何でただ泣いているものか、私たちだって心ある人間 であるならば、

piktəji gələndəguurini-goani”-m, ə~ŋ čado-tanii gusəriini-goani, mapaačan,  
自分の子供を 求めて行くべきなのだ、」と そこで 語るのだ、 おじいさんは、

”am ičəguruu,” undii, ”əi ʒoa-tanii kupixəči maŋgani,” undii,  
「娘さんよ、」と言う、「この夏には 子供たちの遊んだことはすごかった、」と言う、

”muəji, ogdāji, əŋ təi-tənii undiisi əikə nəu~dəə ənəi-goani,” undii,  
「水で、舟で、 彼らは 姉 弟いっしょに出かけていたのだ、」と言う、

”əlčiusəl puriŋjəni tui kupimæri-tənii, nəŋjimə okaliŋkini,” undii,  
「奴隷たちの子供たちと そうして遊んでいて、 弟の方が 頭から水に落ちた、」と言う、

”muəči, ogdājiaci, čawa-tanii əikəni ʒapagomi-tanii, nəŋjiji gəsə,  
「水へ、舟から、それを 姉は つかもうとして、弟と いっしょに、

okalindaa ʒəstunə buikiči-ə,” undiini, təŋ xaimaari songoi-goani,  
水に落ちて二人とも 死んでしまった、」と言う、 ひどく感極まって泣くのだ、

”ə~ŋ buə-dəə naijaan̄kaači osini piktəji gələndəguuri-goani,”  
「私たちだって心ある人間ならば、自分の子供を 求めて行くべきなのだ、」と

undə, songoal undə.  
言う、泣く という。

”əŋ am ičəguruu buə purigpuwə gaəjoxaari-a”-m songoini-goani mapaačan.  
「娘さんよ、私たちの子供たちを連れてきてくれ、」と泣くのだ、おじいさんは。

əŋ əsi-tənii xairiini-goani, tui taraa-la undiisi  
今 どうするのだ、そうしてから、

əsi-tənii čimii təəxən-dəə songoi~ tui mapa~ mama-tanii, ”am ičəguruu,  
今 朝 起きたが 泣く、 そのおじいさん、おばあさんは、「娘さんよ、

buə purigpuwə-dəə xooni-daa gaəjoxaari-a,” undiini-goani.  
私たちの子供たちも どうにかして連れて来て、」と言うのだ、

əŋ puŋin-tənii əŋəjə-dəə əčia undəni, gəə-dəə əčia undəni tui-tənii undiisi-ə,  
プジンはいエとも 言わなかった、ハイとも言わなかった、彼女は

əŋəŋ jia čimania təəxən tawaŋki-la undiisi-ə əŋ susugui-goani, tawaŋki.  
次の日に 起きた、それから 出発するのだ、そこから。

əsi-tənii tui irgəndulə-tənii po~s duisi tooxani.  
今 その村から まっすぐに突き抜けて山の方へ上った。

tui ənəmi toomi~ toomi-a-tanii undiisi-ə, xurəən təəčəni~ isixani əm xurəənči.  
そうして行って、上って~上って、 山の ふもとに 着いた、ある山に。

tui xurəən, təəduəni-tənii əm sisima juəli ilisia undə.  
その山の ふもとに 一つのシシマジュウリが立っているという。

əŋ tui sisima juəli bəŋjiduəni-tənii singərə omoni dailaājiani sangar.  
そのシシマジュウリの足の所に ネズミの巣の 大きさに 穴が開いていた。

əŋəŋ puŋin-gulə isijiji gəə undiisi, xaido-gdal baaxani-os  
プジンは 着くやいなや どこで 見つけたんだか、

niəptəŋgiwə sianto dailaawani undiisi tuŋgənduləji agbimbogoŋiji gəə undiisi-ə  
クマの内臓の脂を 握り拳の 大きさのを 胸の所から 取り出すや いなや

əŋəŋ tui sisima juəli arŋmawani mododaxani.  
そのシシマジュウリの口に 塗りつけた。

təi-lə əusi tam tami-a~ taosi tam tami-a luɾbəkə undə,  
それをこっちへモグモグとして あっちへモグモグと口の中で転がして呑み込んだという、

”ə~ŋ am ičəguruu~ undiisi,  
「おお娘よ、

əməčəə ʒakawa buə siaxariji-tanii xooŋaa goidaorini,” undiini,  
このような物を 我々は以前食べてから どんなにか久しいことか、”と言う、

”ə~ŋ xai ʒalapçi siaxambi ʒaka əsi-məə amtalagoorini”-m-da.  
ず~っと前に食べた物を 今になってやっとな久しぶりに味わったことだ、”と言う。

ə~ŋ puʒin ɲoxoraaciini-goani.  
プジンはお辞儀をするのだ。

”am ičəguruu undiisi, ɲoxoraaciinwasi xooni tajaambi,” undii.  
「娘よ、 お前がお辞儀をするのに対して何をどうしてやるべきか、”と言う。

”ə~ŋ xai, kətu-dəə ʒaa osini sii əʒisi, əninduji amindoji osiogoxan,” undiini.  
「(死んだのが) ごく 最近なら、お前の夫は 母と 父の所に着いただろう、”と言う。

”ənəʒəəči-mə,” undii, ”poktowa čuul-da.  
「行くがよい、”と言う、「この道をまっすぐに、だ。

ə~ŋ əʒiji əriwəni ʒapago... tatagoraa ʒiʒuxəəri,” undii,  
夫の魂を 取り返して、ひきちぎって戻って来い、”と言う、

”turgəŋgūʒiəni močogoxaari,” undiini.  
「すばやく 戻って来い、”と言う。

ə~ŋ puʒin-gulə tawaŋki-la undiisi, ”əi, əi sangardo ʒiliji nəəruu,” uŋkini,  
プジンは そこから、 「この、この穴に 頭を 置け、”と言った (ので)、

ə~ŋ təi xurəən sangardoani ʒiliji nəəriʒiji gəəə xaončok ənəxəni puʒin-gulə.  
その山の 穴に 自分の頭を置くや いなや気を失ってしまった、プジンは。

əŋ buni doowani tutuileji-ə~ saagoxani. tawaŋki-la tui ənəə undə.  
冥界の中を 走っているところで、気がついた。そこから そうして行く という。

tutumi-ə~ ənəə undə, tui ənəmi ənəmi-ə-lə,  
走って 行く という、そうして行って行って、

əm pūjimbə baaxani tɔi-tənii kəər kaar kəər kaar ərsiə undə,  
一人のプジンを見つけた、その人は ヒーヒーフワーフワー 息をしている という、

takto irčiini bičini, ə~ŋ undiisi, "anaki-a~ xai-daa," ŋkin,  
蔵を引きずっているのだった、 「うらやましいわ、なんとも、」 と言った、

"nai-la tutumi-ə ənəini-ə"-m,  
「あの人は走って 行くわ、」と、

"mii əjji-tənii minči čuursiini baigoaçimi-tənii  
「私の夫は 私を 嫌っているんだわ、 敵意を持っていて、

əi taktowa-daa əciə ačoani-tanii," undiini.  
こんな 蔵も はずしてくれなかったんだわ、」 と言う。

"ə~ŋ buə-tənii xaali, isiorini-m ənəi boawa."  
「私たちは いつになったら 着くのかしら、 行くべき所に。」

ə~ŋ pūjin undii, "anda~, undiisi, paŋaan tui osixan-tanii"-m,  
プジンは言う、「友よ、 魂が そうなってしまったのよ、」と、

"tɔi taktōji pasixasi. əŋ əjisi-lə simbiə xai tui nəučərə"-m-də.  
「その蔵で 首を吊ったのよ。あなたの夫が あなたを 何でそのまま 放っておくでしょう、」と。

"baalana taktowasi-daa xəm jəjjičiguxən"-m-də.  
「とくにあなたの蔵も 全部 焼いてしまったわよ (あなたの夫は、)」と。

ə~ŋ undiisi tawaŋki-la tui tutumi ənəi-goani, jʉləsi ənəi-goani,  
そこから そうして 走って 行くのだ、 前へ 行くのだ、

tui tutumi ənəmi-ə ənəmi baaxani, əm arčokaan bičini əm naonjokaanji-da.  
そうして 走って 行って 行って 見つけた、 一人の女の子がいた、 一人の男の子と一緒に。

əelələci-lə təp təp təp təp muə sabdaa undə.  
その服の裾の所から ポタポタ、ポタポタと 水が 滴っている という。



təi-təni duriwə əmuəwə tuxisiə undə, təi arčokaan-gola.  
その子は夜用揺りかごと揺りかごを胸に抱えているという、その女の子は。

təi duriwə əmuəwə tootaiči iraxan, təi naonjokaan nəuji ŋaaniraa  
その夜用揺りかごと揺りかごをずっと向こうへ運んだら、その男の子の弟を連れて行って

tui ənə undə. naonjokaan ʒuləsi irai,  
そうして行くという。男の子を先に前へ運ぶと、

əmuəwə duriwə ŋaanigoi tui, songoa undə.  
揺りかごと夜用揺りかごを後から持ってゆく、そうして、泣くという。

”ərdəŋgə~ undiisi, anaki xai-daa tutumi-ə~ ənəini,” undii, təi arčokaan.  
「不思議だわ、うらやましいわなんとも、走って行くわ、」と言う、その女の子は。

”amaaji əñəji-təni buə xaali isigopo,  
「お父さんとお母さんったら、私たちはいつになったら着くのかしら、

əi əmuəwə duriwə nəxəči-ə,” undiini, songoini-goani təi arčokaan.  
こんな揺りかごと夜用揺りかごを押しつけて、」と言う、泣くのだ、その女の子は。

əsi-təni pūjin-təni ənəi noljinjiani-la təi əmuəwəni duriwəni  
今 プジンは行くやいなや、その揺りかごと夜用揺りかごを

kap tuxiləiji gəsə tawaŋki tui kapčiraa tui tutumi  
ガバッと胸に抱えるやいなやそこからそうして脇に抱えてからそうして走って

ənə undə. əŋ tui ənəpi duəduəni,  
行くという。そうして行くとその末に、

”xai əčigbəni, xai tami tuxisiwəəndiini,” goroči ənəxən-təni,  
「何をこの邪魔な物を、どうして抱えて運ぶはめになってしまったのか、」遠くへ来たならば、

naŋgalaxani xaosi xaariaŋkin-os tawaŋki tui ənə undə.  
投げてしまった、どこへ投げ捨てたんだか、そこからそうして行くという。

tui ənəmi-ə~ ənəmi əm boāči~ isixan, əm ŋulbu~ ŋulbu boā bīcin.  
そうして行って~ 行ってある場所へ着いた、ある柔らかい草の生えた場所だった。

ə~ŋ xomaraan-os xaija-os biə undə.  
夏の仮小屋だか何だかが ある という。

čala isixan-tanii təi-lə xomaran tuliəduəni-lə undiisi əjini-lə təsimi-ə~ biə undə,  
そこに着いたらば、その 仮小屋の中庭に 夫が 座って いるという、

ə~ŋ pūjimbə-lə ičəjiji gəsə atarigda~ ʒaralika undə,  
ブジンを 見るやいなや怒って 話し出したという、

”anda~ puʒin, undiisi, əŋ xaandami ʒičisi,” undii,  
「ああ、ブジンよ、 何しに やって来たのか、」という、

”ə~ŋ simbiə-lə tui ʒjʒurə-m əčičə murčiaja,” undii,  
「お前が こうしてやって来るとは 思わなかったよ、」という、

”əŋ nəku xooni balʒii-ja,” undiini, ”sii anaadoasi.”  
「子供はいったいどうやって暮らしているんだ、」という、「お前がいない間。」

”anda~ mærgən,” undii, ”mii-dəə bukimbi-təni,” undii,  
「ああ、ムルグンよ、」という、「私も 死んだんです、」という、

”əŋ sisima ʒuəli-m amisi ʒjʒumi mimbiə kərkiləxəni,” undiini-goani.  
「シシマジュウリのあなたのお父さんが 戻って来て私を 斧で打った、」というのだ。

”abaa,” undii, ”sii ujunsi,” undii, ”xandaxasi,” undii,  
「いいや、」という、「お前は生きている、」という、「何しに来たのか、」という、

”ə~ŋ piktə xooni balʒigoani.” əsi-təni undiisi-ə xisəŋgoi doolani-tol,  
「子供が どうやって生きられようか。」今 話す 中で、

”anda mærgən ʒiliwasi gələquiwə,” undii.  
「ああムルグンよ、あなたの頭を さがしましょう (シラミを)、」という。

”mii ʒilidoʒi čiktə-dəə anaa xuktə-dəə anaa,” undii,  
「私の頭にはシラミも いないし、シラミの卵もない、」という、

”sisima ʒuəli amimbi xəm mii ʒilija siqʒiguxə~n,” undii,  
「シシマジュウリの父さんが 全部私の頭を 梳ってくれた、」という、

”ulænggūjieni, əsi ʃilidojiwa čiktə-dəə abaa xuktə-dəə abaa,” undiini.  
「良く、今私の頭にはシラミもいないし、シラミの卵もない、」と言う。

”aja~ mii pərgəmi gələgūjəwə,” undiini.  
「いいから、私が試しにさがしてみるわ、」と言う。

əsi-təni undiisi-ə, xaira undə, nəə ʃigdaʃiji gəsə ʃiliwani gələini osixani.  
今 どうする という、すぐに押さえつけるやいなや頭をさがすこととなった。

dujələni-lə undiisi-ə əŋ moraa undə, ”əni ičəguruu~ siandagoroo,” undii,  
山の方から 叫ぶ という、「息子よ~ 御飯を食べにおいで、」と言う、

”xamačaa əktəwəni baaraa gusərənduisu,” umbuwəndii, undiici.  
「どんな女を見つけて話し込んでいるのかい、」と言われる、彼らは言う。

ə~ŋ əsi ”baala siandagoroo”-m mama ʃilgani xəəsə undə.  
今 「はやく食べにおいで、」とおばあさんの声が呼んでいるという。

əsi-təni undiisi pūjin-gulə əilə čala sulimi-lə undiisi,  
今 プジンはあっちこっちを引っ掻き回して、

təi əriwəni ičəičəini-təni, xaido-daa biwəni.  
その魂（ビーズを糸に結んだもの）を探している、どこにあるのかを。

ə~ŋ tui tami ičəguxəni, əriwəni ičəgūjiji gəsə lopto tatagomi paččjalagoxani.  
そうして見た、魂を見るやいなやブツンとひきちぎって駆け出した。

tui tutugumi ʃjuini-goani, təi-təni xamialani-tanii əjini-təni,  
そうして走って戻るのだ、その後ろから夫は、

xasasigoini-goani ʃilgani tul tul siandoani bii  
追ってくるのだ、その声がずっとずっと耳にある、

xamasi-daa ičəguəsini-goani pūjin ʃuləsi-gdəl tutui,  
後ろも見ないのだ、プジンはただ前へ走る、

”anda pūjin ərijiwə buuguu, anda pūjin ərijiwə buuguu,” undii,  
「ああプジンよ私の魂を返せ、ああプジンよ私の魂を返せ、」と言う、

”ərdəŋgə~ xai-daa undiisi-ə, ə~ŋ xooni,  
「不思議だ、何とも、 どうして、

sisima juəli amaa ʃəŋʃiidiuəni xaiʃi, saormasiori-a,”  
シシマジュウリの父さんが焼いた時に ビーズを食べ物につけて食事を供した物なのに、」と

undii, ”əriwə ʃapagoxambasi. ə~ŋ ərdəŋgə xai-daa xaigoji ʃapaxasi-a”-m.  
言う、「魂を お前が取った物は。 不思議だ 何とも、何のために取ったのか、」と。

asi-təni xaciŋgōjiani puʃimbə soini argani argana... əktəni ərdəŋgəkuni,  
今 あらゆる言葉でプジンを叱る、ずるいぞ、ずるい、女は 不思議な力を持ってやがる、

asini argatoni tui biini-təni undii,  
女性は ずる賢い、そのようであると 言う、

ə~ŋ tui, siandoani lur ŋoani ʃilgani-maŋa  
そうして、耳に どんどん彼の 声ばかりが

soini ʃilgani-maŋa biə undə puʃin-təni, tui tutugumi ʃiʃuxəni.  
叱る 声ばかりが する という、プジンは、そうして走って 戻った。

ʃiʃumi ʃiʃumi təi arçokaamba baogoxan naonjokaamba tuxisii... pinasiiwani,  
戻って戻ってあの女の子を 見つけた、男の子を 抱えて、、、 背負っているのを、

uutuəçiiwəni. ”əgəə-kəə anaki-a~ xai-daa,” undii,  
背負っているのを。「姉さんこそは うらやましい、何とも、」と言う、

”xamasi moçogomi-a bii ələə.” ə~ŋ puʃin-gulə tutuileʃi bærum-dəə iligoxani.  
「後ろへ戻って いるわ、もう。」 プジンは 走っている途中で、立ち止まった。

”ə~ŋ əəpaŋgoə~, undiisi, xoipokaambi buuruu,” undii.  
「ああ、妹よ、 おまえの耳飾りをおくれ、」と言う。

”gəə,” undiini-goani, ”aminaadoasi mii buugugujə.”  
「さあ、」と言うのだ、「おまえの父さんに私が 返してあげるから。」

piktəkəəmbə, nəuduəni içəxəni, xaikaani,  
小さな子供を、弟の方を見た、

əi gaikoandoani-tanii nai xaikaamba nəəxəni bičin xai xoŋakakaamba.  
この小指の所に 人は 小さなあれを はめて いた、 小さな指輪を。

čawa ʒapagoxan. təi-təni xaiwani, mənə ačoktaxani.  
それを 取った。 その あれを、 自ら 取った。

siandoani bii xoipokaambani əjə tajawani.  
その耳に ある 耳飾りを こっちの (耳の) と あっちの (耳の) とを。

tui taraa čawa-tanii ʒapagoʒiji gəsə tuŋgələgumi paʒjialagoxani.  
そうしてから それを 取るや いなや 懐に入れて、 駆け出した。

tawaŋki tui ʒjui~ tui tutugui tui tutugui tui tami-a, baogoini-goani təi əktə.  
そこから そうして 戻る、 そう 走る、 そう 走る、 そうして、 見つけるのだ、 あの 女を。

takto iričii əktəwə. undiini-goani, "anaki-a~ xai-daa," undii,  
蔵を 引きずっている 女を。 言うのだ、 「うらやましいわ、 何とも、」 と言う、

"nai ələə močogomi biini," undii, "əŋ mii-təni xali-a~ isiori," undii,  
「人は もう 帰り道に戻っている、」 と言う、 「私は いつ 着くことやら、」 と言う、

"əi-təni modambi, mii-lə mapaji-la əədəni~," undiini,  
「これは、 私の場合には、 私の 夫が バカなんだわ、」 と言う、

"ələəjəni čuursiambi-dəə, baigoačiambi-daa," undiisi-ə.  
「もう十分 嫌いもしたことだろう、 敵意も持ったことだろう、」 と言う。

"xaiwani, ačomi-daa aja, taktowa."  
「それを、 取っても 良い、 蔵を。」

ə~ŋ tui xisəngoidoji, "anda~ undiisi əi čuu~ uwuji xoipokaambi buuruu," undii,  
そう 話している 時に、 「友よ、 この一番 上の 耳飾りを 下さいな、」 と言う、

"əjiduəsi mii buugugujəwə, əmbə əčikəəmbə,  
「あなたの夫に 私が 返しませう、 一人の 奴隷が、

əmbə kəkəkəəmbə asiyoji baapi təsičiguəni.  
一人の 女奴隷を 妻に 得る時にでも 身につけるように。」

ə~ŋ tui taraa-tanii əsi-tənii undiisi, "gəə," undii,  
そうしてから 今、 「さあ、」と言う、

"gəə," undiiduəni ənəmi ačoxani, siandoani biiwəni, xoipombani,  
「さあ、」と言う時に 行って取った、耳に あるのを、耳飾りを、

əjə tajalani biini. əsi-tənii tawaŋki-la tui ʒapagomi čala tutuguini-goani,  
こっちの耳とあっちにある。今 そこから そうして取って そこからまた走るのだ、

tui ənəmi~ ənəmi-ə-lə, xaončok ənəxənduləji xaončok ənəi-goani.  
そうして行って~行って、 気を失ってしまったところから、気を失ってしまうのだ。

təi sisima ʒuəli xaidoani, bəʒjiduəni aoriiləji sənəguxəni.  
あの シシマジユウリの、 足の所に 寝ているところで目が覚めた。

təi-tənii, əjini-dəə ʒakpadoani aomi~ biə undə.  
彼女の、夫も その側に 眠っているという。

tui taraa əugui-goani ʒuəjəri gusəxənduməəri-ə~ əuguiči-goani.  
そうしてから 下りるのだ、二人で 話をしながら 下りるのだ。

əuguxən, təi irgəndulə isigoi-goani əuguməəri.  
下りた、あの村に 着くのだ、下りて。

əsi-tanii mapəji maməji songoi-goani, "nai-kaa anaki-a~," undii,  
今 おじいさんとおばあさんは泣くのだ、「人のことこそうらやましいことよ、」と言う、

"əjji gaəjo... baogoi, xorigoi-goani"-mal songoa undii,  
「自分の夫を連れて、見つけて、救っているのだ、」と泣く という、

"buə-tənii naijaanakaəči piktəji gələndəguuri-goani"-m.  
「私たちが 心ある人間ならば、自分の子供を 求めて行くべきなのだ、」と。

əsi-tənii asoo-daa ʒaralimosiasial, siawaanʒkil, tui taraa siksə apsiŋgoidoači-tanii,  
今 少しも 話したがりがりもせず、食べさせてくれて、そうしてから 夜 横になる時に、

pūjin, mapado-tanii təi xoŋakakaamba buurii-goani,  
プジン、おじいさんに その 指輪を あげるのだ、

”əpəə daaka, əiwə turgənduji nəərəə apsingoroo,” undii, ”piktəsi uiguguxəni-ə”-m.  
「おじいさん、これを胸の上に置いて眠れ、」と 言う、「あなたの子供が送ってきた、」と。

əŋ pūjin xəsəwəni daxorsimi turgənduji nəəkuxəni mapa,  
プジンの言葉に したがって胸の上に置いた、おじいさんは、

piktəji xoŋakakaambani, xusə piktəŋgiji.  
自分の子供の指輪を、 男の子供のものを。

mamado-tanii təi xoipokaambani buuxəni,  
おばあさんにもあの耳飾りを あげた、

”əpəə daaka əiwə turgənduji nəərəə apsingoroo, nəku uiguguxəmbəni.”  
「おばあさん、これを胸の上に置いて眠れ、 子供が送ってきたものよ。」

əsi-tanii təi, tui taraa~ apsiŋkīci... malodo səkčixəči-goani aogoāci.  
今 その、そうしてから横になった、真ん中の席に布団を敷いたのだ、彼らが寝るように。

tui taraa čado apsingoraa~ dosōjiici-goani, gusərəənduməəri,  
そうしてからそこで横になってから、彼らは耳をすましているのだ、話をしながら。

əsi-tanii ŋanga aomaari əñəələji piktəji-dəə, amaala piktəji-dəə,  
今 ほんのいつとき寝ていると、母ちゃん、我が子よ、だの、父ちゃん、我が子よ、と、

soŋgomaari-la ixərəwə taawogoxa~, piktəci-lə xəm xoragoxani bičini,  
泣きながら 灯りを点けた、 彼らの子供は皆 生き返っていたのだった、

təi juə piktəkəən. gəə əsi-tanii dolbo-tol piirəpir osii-goani təi nai.  
その二人の子供は。 さあ今 夜だけれど宴会となるのだ、その人たちは。

mapaačan-tanii nəə, xaixa~n, agdaxan undiini-goani, arki ominasii-goani,  
おじいさんは すぐに、どうした、喜んだ、言うのだ、 酒を飲むのだ、

jaoxii piktəji baoxandoji, undiini-goani,  
客を暖かくもてなす、自分の子供に再会した時に、言うのだ、

”am ičəguruu~, undiisi, agdaxan-gola maŋgani-goani,” undii,  
「お客人方よ、 我々のうれしいことといたらものすごいのだよ、」と 言う、

”piktəji tui baogoori-m əčičə murčičə”-m.  
「我が子に こうして 再会できるとは 思っていなかった、

”xai, aisimba gələisi məngumbə gələisi osini polgon polgonjiani baarambi,” undii,  
金を 求め、銀を 求める なら、布で包んだ大きな塊で 得るであろう、”と 言う、

maŋga bajan mapa. ”polgon polgonjiani baarambi,” undii,  
すごく お金持ちのおじいさんだ。「布で包んだ大きな塊で 得るであろう、”と 言う、

”təwə siaori jəkawa gələisi osini, maimando-daa baarambi,” undiini,  
「物や 食べる 物を 求める なら、帆船一杯にでも 得るだろう、”と 言う、

”siaori jəka, buurii osini.” pujin-tənii xəmə~ birəə, undiini-goani, ”əpəə daaka,”  
「食べる 物を、あげる なら。」 プジン は 黙~って いてから、言うのだ、「おじいさん、」と

undii, ”aisimba məngumbə-dəə buə xai takorami otolii gurun gələə,”  
言う、「金も 銀も 私達 なんて 扱いても 分からない者が 要るでしょうか、」と

undiini. ”siaori jəkawa baaxan-daa, duəkuni maŋaajaa-ma”-m.  
言う。「食べる 物を 得たとて、終りがある物、いつかは 尽きる こと でしょう、」と。

”asi piktəsi, ui-dəə əčičə pərgəčičə-nuu,” undiini,  
「女の あなたの お子さん は、誰かが 求めて 来ましたか、」と 言う、

”əčičə nai pərgəčičə osini čawa-kaa nəučəruu,” undiini-goani.  
「まだ 人が 打診 していない なら、あの子を とって おいて 下さい、」と 言うのだ。

”təi-lə aja-goani,” undii, ”əčičə nai pərgəčičə,” undiini, ”piktəjijə.”  
「それは 良い、」と 言う、「まだ 人は 試しに 来て いない、」と 言う、「私の子供を。」

gəə mapa-tanii agdaxa~n, gəə nəə piktəji, asi piktəji nəučəurijiji-də.  
さあ おじいさん は 喜んだ、 さあ すぐ 自分の子を、女の子を とって おく こと で (同意した)。

əsi-tənii tui arkiwa omixaal tui taraa apsiŋgoi, čimii təməəri tui ənəpsinjin.  
今 そうして 酒を 飲んだ、 そうして から 横になる、朝 起きて そうして 出発した。

tui ənəməəri~ ənəməəri xaisi siksə~ isigoxaci, təi mərgən baaroani.  
そうして 行って~、 行って 再び 夕方に 着いた、 あ の ムルグン の 方に。



əsi-tənii tēi mǝrgən pūjimbə ičǝguxən, tēi mǝrgən gaǝjo... ǝjji gaǝjoini.  
今 そのムルグンはプジンを見た、そのムルグンを連れて、自分の夫を連れてる。

əsi-tənii kuingiligdǝ~ songoa undǝ.  
今 ワッと 泣き出すという。

”buǝ-dǝ naijaanƙaači bii osini, mamaji ŋaanigoori-goani”-m-da.  
「私たちも心ある人間であるならば、自分の妻を連れ戻しに行くべきなんだ、」と。

əsi-tənii xaixa~n, čado xajal xajal siawaanƙi~n mǝrgən, buuxən.  
今 そこで何だかかんたかを食べさせてくれた、ムルグンは、くれた。

tui taraa čado apsingoxaal yƙe, apsingoidoani-tanii  
そうしてからそこで横になった、もう寝る時に、

pūjin-tənii mǝrgən baaroani, iragoini-goani, tēi xoipombani.  
プジンはムルグンの方へ、持って行くのだ、あの耳飾りを。

”anda~ mǝrgən undiisi ǝi, mamaji xoipokaambani, buuguxəni-ǝ,” undiini,  
「ああムルグンよ、この、あなたの妻は(彼女の)耳飾りを、くれた、」と言う、

”uiguguxəni-ǝ”-m,  
「送ってよこした、」と、

”xai, uijen-dǝ kǝkəŋguəni ulčingwəni baapi, tǝsičiguəni... tətuwənduu”-m.  
「誰でも女奴隷でも男の奴隷でも見つけたら、身につけるように、つけさせよ、」と。

”əsi-tənii mǝepi ičǝjəi-kǝəči ičǝjəruu”-m, ”tətuguwəndǝ-dǝ.”  
「今自分(妻)を見ているかのように見ろ、」と、「身につけさせてから、だ。」

əsi-tənii mǝrgən-tənii, songočiimi~,  
今 ムルグンは泣いて、

”tuŋgənduji nəərəǝ apsingoro,” uŋkin-goani tēi xoipokaamba.  
「胸の上に置いてから眠れ、」と言ったのだ、その耳飾りを。

əsi-tənii pūjin xəsəwəni daxorasimi-la, tuŋgənduji nəərəǝ apsingoxani mǝrgən.  
今 プジンの言葉にしたがって、胸の上に置いてから横になった、ムルグンは。

əsi-tənii čil čil aorii-goani xəmə~ apsiŋgoxači.  
今 静かに寝ているのだ、黙~って彼らは横になった。

ňanga aoriiĵi gəsə, gəə, ə~si-tənii songomaari tægukəl undə-dəə, "asiji"-daa "asiji,"  
ちょっと寝ているとすぐに、さあ、今こそ泣いて起きあがったという、「妻よ、妻よ、」と、

"əĵi"-dəə "əĵi," songoal undə asini xoragoxan.  
「夫よ、夫よ、」と泣く という、妻が生き返った。

gəə, tui taraa-tənii əsi-tənii, nəə dolbo-tol guči piirə angoxaal,  
さあ、そうしてから 今、 すぐに夜だけれどもまた 大宴会を行なった、

əsi-tənii undiini, "anda~ puĵin," undii,  
今 言う、「ああ、プジンよ、」と言う、

"mii-tənii undiisi, sinči-tənii undiisi, bəĵĵi ənuĵəmbi-ə," undiini,  
「私は あなたの所へ 自らの身で引っ越ししよう、」と言う、

"budələ gəsə balĵigoĵi, gəsə, gəsə~ bipuguĵi~"-də.  
「死ぬまで一緒に生きるために、一緒に、一緒に 暮らすために、」と。

"mii-tənii xai-daada anaaja," undii,  
「私は 誰も親族がいない、」と言う、

"nəu anaadoĵi nəulərəə, pondəĵoo anaala pondəĵoolaraa tagoi,  
「妹がいなければ妹としたり、女の親族がいなければ 女の親族としたり するために、

tami bipugui ənuĵəmbi," undii, "sinĵi, gəsə bipuguĵi.  
そうして暮らすために引っ越すことにします、」と言う、「あなたと、共に 暮らすために。

mii-tənii xamačaawa-daa baarasimbi"-m, "sindu buuguĵi-dəə aqɔdaxan-daada.  
私は 何も 見つけられない、あなたにあげるような物も、喜ぶような物も。

bəĵĵi ənurəə gəsə balĵjaambi"-m, "joagoočiani." "sii-lə murunsi-ə," undii,  
自分の身でここを去って共に暮らそう、 夏になったら。「あなたの心次第だね、」と言う、

"mimbə ənuxən-dəə nai xətəxəni dalixani-dəə undəsi-ə," undiini.  
「私が 去っても 人は征服しただの 率いていったのと言わない、」と言う。

"boawani ulæsimi boaroxan-kaači-a-da bĵjæ-mæ"-m                      tæi mærgæn.  
「別の土地を気に入って引っ越したようだとも見えるだろう、」と（言う）、そのムルグンは、

gæ puĵin undii, "sii murunsi,"                      undiini-goani,  
さあプジンと言う、「あなたの気持ち次第だわ、」と言うのだ、

"mii simbiæ gælædæsimbi,                      ĵiduu-dæ undædæsimbi,"                      undiini-goani.  
「私はあなたを求めて来たわけでもないし、来いとも言ったわけでもないわ、」と言うのだ。

"sii murunsi, mænæ čixalaisi                      ĵĵjæči-æ"-m-dæ.  
「あなたの心次第だわ、自分で同意するのなら来るでしょうね、」と。

æsi-tænii næ ĵiwurĵi tui xaixan, čimii tæxæn xailaa                      jaoxiini-goani  
今                      すぐに来ることでそうして同意した、朝                      起きた、なんとも良く客をもてなすのだ、

æsi-tænii-dæ, čimii tæxæn-dæ undii, næ ĵiwurĵi...                      ænuurĵi,  
今、                      朝                      起きたが、言う、                      すぐ来ることで、引っ越すことで、

ĵoagoočiani ænuiči,                      nuktægüiči.  
夏になったら彼らはその地を去る、彼らはその地から引っ越す、と。

æ~ŋ tui taraa tawaŋki ĵĵuxæn ĵĵuxæn ĵoowari                      isigoxan.  
                      そうしてからそこから戻った、戻った、自分たちの家に着いた。

xaiwa, xĵĵiæ                      xooŋkoŋgoari isigoxäči.  
どこに、下流の側の崖の所に                      着いた。

čala xooŋkogomba isigomi ičæičæi-goani, xææ~ tæi, poŋdama                      æktæŋguni-tænii tæi,  
そこに崖の所に                      着いて、探すのだ、                      ああ~ ああ、モミの木製の女は                      その、

xaiĵi, pikŋtæĵiæni-læ tokikaarĵi                      susuækæäčæi undæ pakaario~ pakaario susuækæäčæi undæ.  
                      子供と                      小さな櫓で、滑っているという、雪に黒々とその姿が滑っている                      という。

æsi-tænii puĵin-tænii tæi xooŋkoŋgoari isigoĵĵi gææ apiji                      tas                      paačilaxani.  
今                      プジンは                      その                      崖に                      着くや                      いなや                      首の後ろを                      パチンと                      叩いた。

mapa, purææn mapani osiĵĵi gææ xooŋmorami                      ænæi-goani.  
クマに、森の                      クマになるや                      いなや                      四つ足で走って行くのだ。

əjini-tənii undii, "anda~ pujin," undii,  
夫は 言う、「ああ、プジンよ、」と言う、

"təi-lə piktəwə-lə xooni-daa tai osini  
「あの子供を どうか したならば、

saxarin səəksə naado təəp ənəəsijjəni bujəəci," undiini.  
黒い 血が 地面に ポタリと 落ちるようにして死ぬぞ (おまえを殺すぞ)、」と言う。

əsi-tənii pujin-gulə undiisi-ə~ tui xorjmorami ənəi-goani,  
今 プジンは そうして 四つ足で走って行くのだ、

piktəni-tənii, susuəkəəçixən-dəə ənimbi, ələə isiidoani-tanii,  
子供は 滑って遊んでいたのだが、自分の母が、今にももう 着くという時に、

mapa isiidoani-tanii iligoxani, susuəŋkinjji.  
クマが そこまで迫って来た時に 立ち上がった、滑っていたところから。

tui taijji gəsə undiisi, kool kool ilisia undə  
そう するやいなや 黙ってしっかりと 立っている という、

pujin-gulə tap tap ənəini-goani piktəçiji.  
プジンは タッタツと 行くのだ、 自分の子供へ。

əsi-tənii juer siani aldambani ičəjəkəp siantolaxani, ənimbi.  
今 二つの 耳の 間を 見つめるやいなや 拳で殴った、自分の母親を。

təi-xəi undiini-goani, "ii," undii, "masini osixani," undii.  
彼女は 言うのだ、「ええ、」と言う、「強く なったわね、」と言う。

"mii daai osipi-a mənəə əniə, amaawa ŋaanigogilaxambi-a,  
「僕が 大きかったら 自分で 母さん、父さんを 連れ戻しに行ったんだけどなあ、

ənərəə masini osiraa ənduəçini," undii, "ənimbi."  
行ってから 強く なってから ふざけてくれたら良かったんだ、」と言う、「母さんは。」

təi-tənii ənini-tənii inəktəmi pujinduji osiogo-i-goani, təi siantowa baaraa-da.  
その 母親は 笑って 元のプジンの姿になるのだ、 そのゲンコツを くらってから、だ。



pūjin undiini-goani, "əpəŋgo~ xaimi songgoisi," undii,  
ブジンと言うのだ、「妹よ、どうして泣くのか、」と言う、

"xai, buə-kəə xai-kaa unḱisi-nuu, ə~ŋ ui-dəə, ui-dəə xai-daa unḱimbəni  
「私たちが何か(悪口でも)言ったのか、誰だかが誰だか何でも言ったのを

orkisiisi-noo," undii, əŋ songgoa undə, tui.  
聞いて気を悪くしているのか、」と言う、泣いているという、そのように。

tui tami undiini, "abaa~," undii, "mimbə ui-dəə xai-daa əciə undə," undii,  
そうして言う、「いいえ、」と言う、「私の事を誰も何も言ってなんかいません、」と言う、

"nəku-dəə, tul tul əgəliiləi mimbə xai undə"-m,  
「あの子だって、いつもいつも姉さんと呼んで、私の事をなんで悪く言いましょ、」と、

"ə~ŋ mii-tənii ʒukə, tooboxambi-daa xəm uundiijə~,  
「私が氷を、持って上ったのもみな融けました、

ʒiasilbi-dəə poŋda, urəktasəl-dəə xəm,  
自分の仲間達も、モミヤ、ヤナギもみな、

ələə nai, jaogigda xədulugujə," undiini,  
もう人々は大きく楽しげに風に揺れています、」と言う、

"mii bai poŋdani, simbiə gujjesimi osiraa xooni biiri-ə"-m.  
「私はただのモミの木です、あなたを憐れんで来ましたがどうしてこのまま居れましょ、

"mimbə iragoroo," undii, "mii baaro... təxəciijə.  
私を運んで行って下さい、」と言う、「私の方へ、私の根がある所へ。

mii, mimbə čapčixan təxəci."   
私、私を切った根へ。」

"ə~ŋ gəə aja ənu i osini ənujəəci-mə, xooni taori,  
「ええいいわ、去るなら去るのでしょう、どうすることができるでしょう、

biruu uni-dəə ačaasi, bai mimbə gujjesimi tui osixambasi  
居ろと言ってもダメだし、ただ私のことを憐れんでこうなっていてくれたのを、

xooni taori.” əsi-tənii nəə~ puĵin-tənii, ”ĉimana~ iragoambi,  
どう することができよう、」と。今 すぐにプジン、 「明日 運びましょう、」

”ĉimana~ iragoambi,” tui, xadolta xadolta biĉin t̄ai,  
「明日は 運びましょう、」とそうして、数日 数日が 経った、その、

ponĉangoni-tanii buduriini-goani ənuĉəmi songoĉii.  
モミは 急ぐのだ、 帰りたくて泣く。

”aja, əəpango ĉimana iragoambi,” undii, tui taraa əm, ĉimani-la t̄əxəni-ə~  
「大丈夫、妹よ、 明日 運ぶわ、」と言う、そうしてから 次の日 起きた、

xaĉin ĵakawa puĵuuxəni puĵin-tənii undiisi, ”gəə əiniə-kəə nəə iragoori aja.”  
様々な物を 煮た、 プジンは、 「さあ 今日こそはすかさず 運ぶと 良い、」と。

əsi-tənii undiisi-ə t̄ai, xaiwa-la, ələdələ~ ponĉangoĵi siawaap̄kini tawap̄ki-la,  
今 その、料理を 十分に モミに 食べさせた、それから、

ponĉangoni-lə, piktəwəni tuxisii-dəə, ərgə, uutəĉii-dəə,  
モミは、 その子供を抱きかかえもしたり、 おんぶもしたり、

oĵoktai-daa tami tui toorii-goani. gəə duisi tookoĵĵi-goani, ilaanĵiari.  
キスもしたりしてそうして 上るのだ。 さあ山の方へ上るのだ、 三人で。

ə~ŋ t̄ai, ponĉangoni-la t̄ai məən t̄əxəduĵi-lə t̄əək iligoxani.  
その、モミは その自分の根の所に 正しく立った。

”əgəə~ undiisi-ə, əi suəmbiə ĉaalixamba-tanii porondoĵa nəəkuruu,” undii.  
「姉さん、 この先端を 切り取ったのを 私の頭の上に 置け、」と 言う。

əsi-tənii, porondoani nəəkuĵĵi gəə t̄ai-lə undiisi ə~ŋ jaogigda~ xəduluguxəni.  
今、 頭の上に 置くや いなやそれは (モミの姿に戻って) 楽しげに 風に揺れた。

əŋ tui taraa undiini-goani, pi~ktəni-tənii songoloxan  
そうしてから 言うのだ、 子供は 泣き出した、

simata oĵawa naa oĵawa puəsəmi-lə,  
雪の 上を 地面の上を 転げ回って、

”ponḡa əgəə”-dəə ”ponḡa əgəə”-dəə songoa undə.  
「モミのねえさん、モミのねえさん」と泣く という。

”əgəə~, undiisi nəku, ənuluwəəndəci-ə,” undii,  
「姉さん、子供の、具合を悪くさせるな、」と言う、

”əji songowaanda”-m, ”čuu~ pəgiə garakaambi-a čaaliraa, nəkudu buuruu,” undii,  
「泣かせるな、一番下の小枝を切ってから、子供に与えよ、」と言う、

”əi əikəsi-ə”-m-də.  
「これがお前のモミ姉さんだよ、」と。

ə~ŋ əsi-təni tui taraa pūjin-gulə ponḡangoni xəsələni  
今 そうしてから ブジンは モミの 言葉の通りに

čuu pəgui garakaambani čaalixan, tui taraa buuriini təi-təni,  
一番下の小さな枝を切った、そうしてから与える、それは、

ponḡangoni-tanii ponḡa xanḡiaktolani ponḡa,  
そのモミの木は、確かにモミだが ちょっと普通ではないモミの木だ、

xabdata xanḡiaktolani xabdata, osiogoxani-goani təi-təni,  
葉っぱも ちょっと普通じゃない葉っぱになっていたのだ、それは

tolji xabdatanga~ xaiji koŋgoktəji čimčiktəngə~  
シャーマンが胸の前に掛ける鏡で その葉っぱとし、まるで鈴で その芽として

ʒərgjiəni nai jaogigda~ xədumi tui dərəjiguxən,  
いるかのように、人は大きく楽しげに風に揺れて そうしてそこに残ったのであった、

pūjin, ”gəə əi əikəsi,” unkin, əsi-təni čawa-la,  
ブジンは、「さあ、これが お前の姉さんだよ、」と言った、今 それを、

piktəni-lə tu~l tui tui ətəxiə undə təi moo...  
子供は いつもいつも そうして 大事に見守っている という、その 木を、

garakaambani-la ”əgəə əgəə, əgəə əgəə,” tui ətəxiə undə,  
小さな枝を、 「姉さん 姉さん、姉さん 姉さん、」と そうして 大事に持っている という、



əŋ tui bimi-ə~ piktə-dəə daai osii-goani, ə~ŋ nai, ambaan daai osixani.  
そうして暮らしていて、子供も 大きくなるのだ、 人は、かなり大きくなった。

gəə əsi ənəuri-goani. təi ŋoanči, ŋoančiani j̄jui gurun-dəə isigoxa~n,  
さあ今 行くべきなのだ。その 彼らの所へ来る 者たちも 到着した、

təə j̄julilə, uikəči, toin̄koasi-gdal... toin̄koasi-gdal j̄ərgəj̄jəni j̄ookaangoari angogoxāci.  
ほうれその前に、彼らの戸が、ぶつからないぐらいの所に 自分たちの家を作った。

ə~ŋ tawaŋki-la undiisi tui, giolimaari-o~ ənəi-goani  
それから そうして、船を漕いで 行くのだ、

mapanaa baaroani j̄oagoxan j̄aaroani.  
おじいさんたちの 方へ、夏になっていたのだろう。

tui taraa isixa~n irgənduləni undiisi-ə isixandoani-tanii undiini-goani, xai, xaiwa,  
そうしてから 着いた、村に、 着いた時に 言うのだ、

ə~ŋ mapa mama-la xailaraa-goani jaoxiiči təi,  
おじいさんと、おばあさんは なんととも喜んだのだ、客を暖かく迎える、その、

pūjiunəə isixambači piktəwəri olbimaari.  
プジンたちが 到着したのを、自分たちの子供を連れて。

əsi-təni~ undiisi piktəji-təni xaixani, nəə, buurii-goani~,  
今 自分の子供を どうした、すぐに、くれるのだ、

irgəmbi-dəə undiisi, tokon kaltaa, xairii, piktəduji polai,  
村も、 真ん中から 半分を、 自分の子供に分ける、

ə~ŋ undiini-goani, "mii xai-daa bii-dəə, buə, xaijaambi-a," undiini,  
言うのだ、 「私が どうしているかも、私たちが どうするかも、」と言う、

"suə saajaaso-ma budiijə, əm budiiduji uləən undəxən̄ji budəə,  
「おまえたちは 知ることだろう、 死ぬ時に 良い 板の棺桶で 死ねれば、

uləən əsəl̄imi baaxan osini ələə," undiini,  
良く 葬って もらえたならば それで十分だ、」と言う、

”xaiwa-daa gələəsımbi, toriwa-daa gələəsımbi xaiwa-daa gələəsımbi,  
「何も 要らない、婚資金も 要らない、何も 要らない、

xooŋaa bii agdapsiini,” undii, ”purigbiwə xorigoxasi.”  
どんなにか 喜ばしいことか、」と言う、「我が子をおまえは救ってくれた。」

ə~ŋ əsi-tənii nəə, piktəwəri asigoani gaājomi... gaājoi-goani, ʃia čimania ʃiʃui-goani.  
今 すぐに、子供の妻を連れて、連れて行くのだ、次の日に帰って来るのだ。

xadolta xadolta bii-goani čado, ʃia čimani ʃiʃuəsi, xadolta xadolta bipəri ʃiʃuini-goani.  
いや、数日数日いるのだ、そこに、次の日には戻らない、数日数日 いると帰って来るのだ。

ə~ŋ piktəni, irgəmbəni kaltaawani nai piktəduji polaxa~n,  
子供は、村を その半分を 人は自分の子供に分けた、

čawa gaājomaari tui ʃookčari ʃiʃuxən undiisi,  
それを引き連れてそうして自分たちの家へ戻った、

ə~ŋ əusi taosi təwəəŋkin kaltaa irgəŋji piktəwəri.  
あっち こっちへ落ちつかせた、半分の村で、自分たちの子供を。

ə~ŋ tui taraa~ tui balʃii-goani goro biča ʃiʃa biča,  
そうしてからそうして暮らすのだ、長いこといた、短いこといた、

siksə siaxambi siŋgərəəʃi, čimii siaxambi čičooŋji, ini siaxambi isələəŋji,  
夕方 食べたものはネズミで、朝 食べたものはセキレイで、昼に食べたものはトカゲで、

mapanaa baaroani irasomaari balʃilogoxači, ələə.  
おじいさんたちの方へ 運んで 暮らし始めた、終り。

1999年3月23日 ダエルガ村にて録音

N.B. Gejker 氏 口述

3. əikə nəu baljixani

姉と妹が暮らしていた。

ə~ŋ undiisi əm joo doolani əikə nəu~ baljixani.

ある家の中に 姉と妹が 暮らしていた。

tui taraa~ tui baljial undə. nəuni nučikuukəæni-goani,

そうしてから そうして暮らしている という。妹は 小さいのだ、

əikəni-təni jəə uləən əktə-nuu,

姉は 並みの良さの 女だろうか (並みではない)、

xaido-daa tət-məə bii uləən arčokaan... əktə.

いったいどこに そのような 良い 娘がいるだろうか、というような 女だった。

ə~ŋ tui baljial undə. mənəə nəuji xəməə ətəxiini-goani, tui biini-ə~

そうして暮らしている という。自分で 妹を 黙って世話するのだ、そうしている、

tui baljimi-a-la, əŋ nəuni ambaan daaikaan osixan.

そうして暮らしていて、 妹は けっこう やや大きくなった。

undiini-goani, əikəni, "mii ənəəmbi-ə~" undiini,

言うのだ、 姉は、「私は 行くわ。」と 言う、

"nai baljiwani ičəndəmi. gulialaini-tanii."

「人が 暮らしているさまを見に。 あちこち歩いてみるわ。」

nəuni undiini, "əgəə~," undii,

妹は 言う、「姉さん、」と 言う、

"mii daai urəučəjjiwə niə... əsi mutəəsĩmbi-təni," undii,

「私が 大きく 育ったら 出で行って、今は 私は何もできないんだから、」と 言う、

"xaiwa-daa tami xooni biuri, mii ənəxəsi xamialani əmučkəən-dəə.

「何を するにも、どうやって 暮らせましょう、私は あなたが行った後、一人きりで。」

əŋ mii daai osini masitaa urəučiajiwə ənəŋəsi-tənii”-m-da.  
私が大きくなったら、しっかりと育ったら、行って下さい。」と。

əsi-tənii nəuji tui umbuwəəndəə xōjixani.  
今 妹に そう言われて やめた。

tui bii~ tui bii əm modan-gola, jōŋgoxani,  
そうしている、そうして暮らしている、ある時に、 再び思い立った、

”ənəmbi,” undii xaisi čado-daa nəuni undiini-goani, ”nangga biruu,” undiini,  
「行くわ、」と言う、再び そこでも 妹は 言うのだ、「もうちょっといろ、」と言う、

”aja,” undiini, ”mii daai osiočiajiwə ənəŋəsi-tənii.”  
「いいでしょ、」と言う、「私が大きくなったら 行って下さいな。」

əsi-tənii, tui taraa-la əsi-tənii undiisi-ə, əŋ nəuni-lə undiisi xaixani,  
今、 そうしてから 今、 妹は どうした、

tui bii~ tui bii, nəuni əsi daai əktə osixan, uləən.  
そうしている、そうしている、妹は 今 大きい 女になった、良い。

ičəini əikəni koli anaa uləən, əktəni-goani, ui-dəədə nai ičəmi uləəsiini əktə.  
見る、姉は ものすごく良い 女なのだ、誰だって人は見れば 惚れてしまうような女。

əŋ tui taraa əsi-tənii undiini-goani, ”gəə əgəə, ənəŋəsi.  
そうしてから 今度は 言うのだ、「さあ、姉さん、行っていいわ、

ənəŋəsi, moowa tandagoari,” undii,  
あなたが行くのなら、薪を 集めに行きましょう、」と言う、

”mii, ənəučiasī əmučkəən moowa, xooni taori”-m-da.  
「私は、あなたが行ってしまえば 一人っきりで薪を、 どう したらいいでしょう、」と。

əsi-tənii undiisi gəə, tooxa~n undiisi əsi-tənii moŋgoji moolsii-goani,  
今 さあ、 上った、 今 薪を 集めるのだ、

moowa poorii-daa, kampii-daa kaltalai-daa taiči-goani əjjiwə.  
薪を 鋸で切りも、 積みもし、 割りも するのだ、 たくさんを。

əgjiwə tui bəliixə～n, xəm moonɡoji xəm ʧapʧigoxan,  
たくさんを そうして 準備した、全ての 薪を 全部 割った、

nəəkuxən əsi-tənii undiisi təj əm ʧurka soloogoxani.  
積んで置いた、今 ほんの 一つの 木切れが 余るだけとなった。

ə～ŋ tui taraa undiini-goani əikəʧiji, ”əgəə,” undii,  
そうしてから 言うのだ、 姉へ、 「姉さん、」と 言う、

”sii əi ŋaalaji, juə ŋaalaji nəəruu,” undii, təi ʧurka ojalani gəsə～də.  
「あなたは その手を、二つの手を 置け、」と 言う、 その 木切れの 上に 一緒に、だ。

əikəni-tənii nəəxəni xəsəwəni daxorsimi.  
姉は 置いた、 妹の ことばの とおりに。

təi-tənii nəəriini-tənii surəə nəəxəmbəni əʧiə iʧəguəni-tənii ʧapaxambani nəuji.  
彼女は 手を置いている、 斧を 置いてあったのを、 見なかった、 つかんだのを、 妹が。

təi-tənii juə ŋaalani-la kombiondolani mokteram ənəijiəni ʧapʧilaxani nəuni.  
妹は 二つの 手を 手首のところから ちぎれて しまうように 切った、 妹は。

ə～si-tənii təi əktə-tənii əi nəuni-tənii... tui taraa ənuxən,  
今 その女は、 この妹は、 そうしてから 去った、

surəəji pinalagoraa waisi əuguxəni ŋoani-tanii, əsi ”ənuruu,” undiini-goani,  
斧を 担いで、 川岸の方へ 下りた、 彼女は、 今、 「去れ、」と 言うのだ、

”xaosi ʧixalami xaosi,” əikəʧiji.  
「どこへでも 自分の好きな方へ、 どうかへ、」と 自分の姉へ。

ə～si-tənii songgomi ənəi-goani tawanʧi-tanii undiisi, əikəni-tənii tui ənəi～,  
今 泣いて 行くのだ、 そこから 姉は そうして 行く、

tui songgomi ənəi, xaosi-daa ənəi-dəə saarasi.  
そうして 泣いて 行く、 どこへ 行けばいいのかも わからない。

tui songgomi ənəmi ənəmi-tənii undiisi, əm boala～ isixani.  
そうして 泣いて 行って 行って、 ある 所に 着いた。

nai amtaka tarixani əgji, xoton boakiani.  
人が ベリーを植えてあった、たくさん、街の 近くに。

əsi-tənii~ jəmusiini-goani, ɲaala anaa. tɔi amtaka-tanii undiisi, pəgja...  
今、 お腹を空かしているのだ、手が なくて。その ベリーは、 低い所にも、

suŋguraə biə undə pəisi... lokčaa lokčaa nai amtakaŋgoni baljixan.  
ずうっとある という、 重さで枝が垂れるほどに人の ベリーが 生えていた。

čawa-tanii tɔi-tənii, aɲmaji aandiiwani tui xərčimi siariini-goani uisi,  
それを 彼女は、自分の口が届く所のを そうしてかぶりついて食べるのだ、上へ、

tɔi-tənii amtaka-tanii əŋjiə kaltaani əŋjiə kaltaani osiini-goani.  
その ベリーは 片方の側ばかり、片方の側ばかりに残っているようになるのだ。

tui tami-a~ undiisi tɔi-tənii čawa, jɔboi nii jjiuxən, ərdəŋgəsimi,  
そうして、 その、 そのベリー畑で働いている人が戻って来た、不審に思い、

”əi xai jaka siariini tui-də.” əsi-tənii əjənči ənəxəni-goani.  
「これはいったい何者が 食べるとこうなるんだ!？」と、今 主人の所へ 行くのだ。

əjənči ənərəə gusərəini-goani əjən, əjən saadaani bijərəə xainaa-da.  
主人の所へ 行ってから、話すのだ、 主人、その主人の庭園 なのだろう、たぶん。

əjənči ənərəə undiini-goani,  
主人の所へ 行ってから 言うのだ、

tui tui bijə-m xamačaa jaka siariini-os xai jaka siariini-os, amtaka.  
これこれですと、 何者が 食べるのか、何者が 食べるのか、ベリーを。

əŋjiə kaltaawani, čuɲnu xərčiktə-m-də.  
片一方の側ばかりが、すっかり無くなって、かみついた痕ばかりになっている、と。

əsi-tənii, ”gəə indawa čindooso,” undii, əjən-də jjiči ičəndəmi.  
今、 「うむ、では 犬を 放て、」と 言う、主人も 来た、見にやって来て。

əjən jjiči ičəini təjə, tɔi arčokaan-tanii sirixani-goani, ɲaala anaa.  
主人は来た、見ると本当だ、その 女の子は 隠れていたのだ、手が ない。

əsi-tənii indako baogoi-goani, əsi-tənii, tət arčokaan-tanii songoini-goani.  
今や 犬がいれば見つかるのだ、今、 その女の子は 泣くのだ。

əjən ičəxən, ŋoanči xotondoani xaido-daa abaa tət-məə gučkuli patalaakaan.  
主人は見た、彼らの街には どこにも いない、そのように美しい女の子は。

ičəini ŋaalani əjə tajani abaa. əsi-tənii mədəsiini-goani,  
見るに手が あっちも こっちもない。今 訊くのだ、

tət-kəə songomi gusərəini-goani. əjən-tənii ičəmi uləəsiini-goani tət arčokaamba.  
彼女は 泣きながら話すのだ。 主人は 見て 気に入るのだ、その女の子を。

undiini-goani, məənčiji gaəjoxan tət arčokaamba əjən.  
言うのだ、 自分の所へ連れて帰った、その女の子を、 主人は。

əsi-tənii piktəji asigoani, jəpaxani. ə~ŋ undiisi tui taraa-tanii undiisi,  
今 自分の子供の妻に、 娶った。 そうしてから、

əsi-tənii piktəni-dəə čixalaxan, uləən gučkuli arčokaani-goani, nai mənə laəjŋkoni xai.  
今 子供は 同意した。良い 可愛い女の子なのだ、人は自身の 奴隷がいる。

əsi-tənii ŋoambani tui nai mənəə laəjin ətəxəini tət arčokaan.  
今 彼女を そうして人はすすんで、 奴隷は 世話をする、その女の子を。

nai siawaandii mənəə. silkočii, xailawaadaas əjən, piktəjəni əjiguji baaxan.  
人は食べさせる、自ら進んで。 体を洗う、何とも良い、主人の子供で 夫を 得たのだから。

ə~ŋ tət asini, əjini ənini-tənii noančiani aso uləəsiəsi.  
その妻、 夫の 母親は 彼女を あまり気に入らない。

ŋaala anaa nai xai nai uləəsigiłəi.  
手の ない 人なぞ どうして人は気に入るはずがあるうか。

əsi-tənii tui bii-goani čəji əjilərəə tui nai məgdə...  
今 そうしているのだ、その人で夫として、そうして 奴隷たちが 皆

məən dərsiijjəni. tət anpani əjəni-dəə uləəsii ŋoambani.  
すすんで 仕事をしてきて。その 義父の 主人も 気に入っている、彼女を。

ə~ŋ tui tami-a-la undiisi əjini-lə undiisi-ə, ə~ŋ tul tul xai bigiləi ʒoogdo,  
そうして 夫は 常になぞ どうしていられようか、家に。

ənəini osixan nai-a tačiočindami goi boači, əŋ ʒangian osigogači.  
出かけることになった、人を 教えに行つて、別の土地へ、 そのの長と なるために。

ə~ŋ təi xamialani-la undiisi-ə ə~ŋ bəjədu bii osixani-goani təi arčokaan.  
その後、 身ごもっている事に 気づいたのだ、その女の子は。

ə~ŋ tui taraa-la undiisi-ə, əjini-lə ənəxən,  
そうしてから 夫は でかけた、

ənəxəni xamialani-la piktəguji baaxani xusəkəəmbə,  
出かけた後で 子供を 産んだ、男の子を、

tui taraa~ təi piktəni-tənii gučkulini naonʒokaan.  
そうしてから その子は かわいい 少年だ。

əsi-tənii anpani-tanii tu~l tul, təi piktəji balʒii-goani uləəsimi.  
今 義父は いつもいつも、その子供と 暮らすのだ、かわいがつて。

təi ənəkəən-tənii uləəsiedəəsi, tui tami bičxə niruxəni,  
その母親は かわいがりもしない、そう して うその手紙を書いた、

bičxə niruini osixani əjicəni.  
手紙を書くことに した、彼女の夫へ。

əsi-tənii tui tapi-o undiisi əŋ bičxə, baogoxa~n.  
今 そうしてしばらくすると、 返事の手紙を受け取つた。

əsi-tənii niruxən-tənii, "mii gələəsimbi"-m,  
今 そこに書いて来たことは、「オレには 要らない、」と、

"asigoji ŋaala anaa naija, inda piktəwəni baaxan-daa,  
「自分の妻に 手の ない者なぞ、犬の 子供を 産んだ者なぞ、

xaja~ nangaloo... puŋnəguusu"-m-də.  
捨てろ、 追い出せ、」と。



”əji nəučuus”-m, ”joogdo.” tɔi, əktə-tul niruxəni.  
「決してひき留めておくな、家に、」とその、(それも実は) その女が書いた。

tui taraa, tɔi mapaačaambə ičəwəəndiini-goani əjəmbə,  
そうしてから、そのおじいさんに 見せるのだ、 主人に、

”mii j̄jui j̄juləni puŋnəguusu”-m-də. ”əji nəučuus”-m ”joogdo.”  
「私が戻る 前に 追い出せ、」と。 「決してひき留めておくな、家に。」

ə-si-tənii tɔi, gəə əsi-tənii songoi-goani arčokaan.  
今 さあ 今 泣くのだ、 女の子は。

xooni taori piktəji, əsi-tənii anpani-tanii songoi~ xuiɡəsəɡuəni bargixaal.  
どう すべき、自分の子を、今 義父も 泣く、 路食の弁当を用意した。

əsi-tənii pinagoani bargiini-goani daa~i, koaŋsa, anɡoxači.  
今 背負子を 用意するのだ、大きな、籠を 作った。

əsi-tənii tɔi koaŋsa doolani-tanii, xuiɡəsəwəni, piktəni xājokaambani, təučixəči.  
今 その籠の 中には、 弁当を、 子供の用品を、 詰めた。

tui taraa tɔi əktəwə, pinalagowaan̄kiči, pinagoani bargixači.  
そうしてから その女に、 背負わせた、 背負子を 用意した。

ə~ŋ undiisi əsi-tənii undiisi-ə, pinaloaŋkin əsi-tənii tɔi,  
今 背負わせた、今 その、

əktəkəən-kəə songoi-goani xaosi ənəurini, ŋaala anaa.  
女の子は 泣くのだ、 どこへ行けばいいのだろう、手も ないのに。

əsi-tənii nai puŋnəguini ənəi-goani nai, əjini niruxəni.  
今 人が 追いたてるので、行くのだ、人が、彼女の夫が書いてきた (ために)。

j̄juini aldandoani puŋnəguusu-m-də. əsi-tənii tui songomi,  
戻って来るまでの 間に 追い出せ、と。 今 そうして泣きながら、

piktəni pinaloaŋkin, anpani. anpani-as gəsə gəsə songoini-goani.  
子供を 背負わせた、義父は。義父も 一緒に一緒に泣くのだ。

tai əktəkæən songgoidoani, piktəji oĵoktaxa~n əsi-təni,  
その女が 泣く時に、 自分の子供にキスをした、今、

xaiči, xoton duəčiani iračagoxani.  
どこへ、街の はずれへ 連れて行った。

ənimbəni uləən pinaloanĵin, tai, koanſawa, piktəwəni doola nəərəə-də.  
母親に 良く 背負わせた、その、籠を、 子供を 中に 入れてから、だ。

ə~ŋ tai koanſawa pinasimi tui ənəi-goani tai əktə-təni undiisi  
その 籠を 背負って そうして 行くのだ、その 女は

tui songgomi ənəi-goani piktəni-də, tui ənəmi-ə~  
そうして泣いて 行くのだ、子供も、 そうして行って、

ənəmi piktəni-də, oŋasaxariĵi sənəguxən  
行って、子供も、 眠り込んでいたのから 目を覚ました、

əsi-təni tui pinasii-goani piktəni-də songoi ŋoani-daa songoi tui ənəəl undə.  
今 そうして背負うのだ、子供も 泣く、彼女も 泣く、そうして行くという。

ŋoani-daa maŋgalaxan tui pinasimi ənəmi, xooni,  
彼女も つらくなってきた、そうして背負って 行って、どうにも、

ačomi ačaasi ŋaala anaa xooni taini.  
はずそうにも できない、手が なくてはどう しようか。

tui songgomi ənəi-goani, tui ənəmi-ə~ ənəmi-ə-lə undiisi-ə,  
そうして泣きながら行くのだ、そうして 行って、 行って、

piktəni-təni jadapi-a oŋasagoraa tui taraa sənəgupi tui songoa undə  
子供は 疲れると 眠り込んで、 そうしてから 目が覚めると そうして泣く という、

tui ənəmi ənəmi, əm birakaamba baaxani. birani xəjəguiwəni.  
そうして 行って 行って、一つの 小川を 見つけた。川が 流れているのを。

xailoo xolgomo osixani-goani maŋgalaxani-goani.  
なんともひどく 喉が乾いて しまっていたのだ、 つかったのだ。

təi-tənii čado-tanii, xooni-daa poos osini-daa ačaasi.  
彼女は、そこで、 どうにも 前かがみになろうとするのだが、だめだ。

pəiŋəpsimi-daa ačaasi muə omigoi.  
膝について膝立ちになろうとするのも できない、水を 飲むのに。

tui pərgəkəəčimi-ə~ undiisi, omiasi ačasini-goani muədu.  
そうしてなんとかしようと試していて、飲まなくてはもう耐えられないのだ、水の所で。

murčiini, tui taraa təi əm boado xai-daa uləən ičəini.  
考える、そうしてから その ある 場所でなんとか 良い場所だと見た。

čado-la undiisi-ə, xuməsi. ə~ŋ undiisi  
そこで うつぶせになった。

tui taraa-la təi-lə, xuməsi-tənii osiicaxani omii... muə omigoi.  
そうしてから 彼女は、 うつぶせに なろうとした、 水を 飲もうとして。

xərə~ piktəni-lə muə baaroani ta~psiak tuuxəni.  
ああ~ 子供が 水の方へ ポッチャンと落ちた。

ə~si-tənii xə~i morami-la piktəji tuuxəmbəni ʒapagomi songomi  
今 キャーッと叫んで 子供が 落ちたのを つかもうと泣いて

tui ʒapaidoani-la, lapatak ʒapaxani ŋaalani əjə tajaani očogoxani.  
そうしてつかむ時に、しっかとかかんだ、手が あっちとこっちに現れた。

əsi-tənii pūjin... təi əktə-tənii əsi-mət agdaxa~n songoini-goani piktəji ʒapagoxan.  
今 その女は 今こそ 喜んだ、泣くのだ、 自分の子をつかんだ。

tui taraa-tanii undiisi-ə, piktəji ʒapagoraa xəjombani xəm ačoktagoxan  
そう してから 子供をつかんでから その服やおしめを 全部 脱がせた、

nai nəxəmbəni xaigoxan, xukuguxən.  
人が入れておいてくれた物で くるみ直した。

tui taraa kuučiwəndii-goani, aŋaaka niywa.  
そう してから 乳を飲ませるのだ、赤ん坊の者を。

tui taraa-tanii undiisi čado-daa ŋoani-daa tɔindii-goani,  
そうしてから　　そこで 彼女も 休むのだ、

əsi ŋaalani osio... ŋaalako očogoxan nai agdaxan.  
今 手が 現れて、手があるようになった、人は喜んだ。

ə~ŋ tui taraa tɔi pɯjin, tɔi əktə-tɔnii undiisi tɔi, xaiwa,  
そうしてから その プジン、その女は　　その、何を、

piktəji ələdələ~ tui xaixani, kupiwəŋkini, tui taraa ʒapačixani,  
自分の子供を十分に　　そうして　　遊ばせた、　　そうしてからつかまえた。

tui taraa undiisi xukugurə pinalagoxani. əsi-tɔnii tui ənəi-goani,  
そうしてから　　くるみ直してから背負った。　　今　　そうして行くのだ、

tui ənəmi~ənəmi-ə-lə undiisi, əm, ʒoo tuliələni~ənəmi  
そうして行って 行って、　　ある家の中庭に　　行った、

təŋŋərku ʒoo bičini. ə~ŋ xailoo uləen ʒoo.  
何階もの階がある家 だった。　　なんとも 良い 家。

čado-la undiisi, tuliələni ənəiduəni əm əktə, pɯjin... niəkə undə.  
そこに、　　中庭に 行くと 一人の女、 プジンが出てきたという。

ičəji gəsə undə-tɔnii, ə~ŋ ʒidiiji tɔi əktəwə-lə undiisi  
見るやいなや言う、　　来るや (いなや) その女に、

tɔi arčokaamba-la undiini-goani,  
その女の子に　　言うのだ、

”xəikuu-də xəikuu, iiguwəri-də nəku maŋgalaxan-daa,”  
「立ち寄り、立ち寄り、お入りなさいな、あなた、疲れたでしょう、」と

əsi-tɔnii ʒookči iiwuguxəni undiisi ə~ŋ əsi-tɔnii piktəwəni-tɔnii,  
今　　家へ 入らせた、　　今　　子供を

mənə bəjəji xəm ačoktagoxani əsi-tɔnii, nə əlbəsiwəŋkini.  
自ら 自分で全部 服を脱がせた、今、　　すぐに行水させた。

əsi-tənii tui taraa undiisi-ə,  
今 そうしてから

ñoambani-daa nəə xəjombani xəm ačoktaxan təmbuwəndiini-goani,  
彼女も すぐに 道具やら衣服を 全部 脱がせた、休ませるのだ、

”uləən tənduu,” undii, ”mangalakasi,” undiini.  
「良く 休め、」と言う、「つらかったでしょう、」と言う。

”xaosi ənəguji taisi,” undiini. undiini,  
「どこへ行こうと しているの、」と言う。 言う、

”xaosi ənərə～,” undiini, ”əjiči ənəəi,” undiini.  
「どこへ行くって、」と言う、「自分の夫の所へ 行きます、」と言う。

”ənənə xooni ənəguji taisi,” undiini, ”əjiči.  
「あらまあ、どうやって 行こうというの、」と言う、「あなたの夫の所へ。

əjisi baljiini goi boa, goro～,” undiini,  
あなたの夫が 暮らしているのは 別の 土地よ、遠いわよ、」と言う、

”goro～,” undiini, ”namowa daomi ənəuri,” undiini,  
「遠い、」と言う、「海を 渡って 行くところよ、」と言う、

”sii xooni-daa ənəmi mutəəsi.” ”budii-dəə ənəi, baljii-daa ənəi,”  
「あなたは どうやっても 行けは しないわ。」「死んでも 行きます、生きてれば 行きます、」

undiini-goani, ”xaido bipuguji biurini,” undii.  
と言うのだ、「どこに いられる 場所など ありますか、」と言う。

”ə～ŋ əsi-tənii aongaroo,” undiini, ”ačaasi, ələə siun tuugui.”  
「今は 泊まれ、」と言う、「だめよ、もう 日が 沈むわ。」

əsi-tənii piktəwəni-tənii, mənəə ətəximi dəruuxə～n, piktə, ñoani-daa əlbəsixə～n tado.  
今 子供を、 自分で 世話し 始めた、 子供を、彼女も 水浴びした、そこで。

uləən siaxan, əsi-tənii, goi, gialako-daa apsindii-goani,  
良く 食べた、今、 別の 部屋もある、(そこに) 横になるのだ、

apsimbowaan̄kin undiisi əsi-tənīi t̄ai əktə-lə piktəwəni-lə mənəə ətəximi,  
寝かせた、 今 その女は 子供を 自分で 世話して、

”əjisi čuu daai əikəni taambi,” undiini.  
「(私は) あなたの夫の一番上の姉 ですよ、」と 言う。

”ə~ŋ əjisi xai-daa boadoani biini, xooni niručəini,” undiini,  
「あなたの夫は あんな 所に 住んでいて、 どうして手紙なぞよこすでしょう、」と 言う、

”tui-də. ə~ŋ t̄ai, buə ənikəpu,” undiini.  
「あんな内容の。 あれは、 私たちの 継母の仕業よ、」と 言う、

”əjisi xaiwa-daa saarasi,” undii,  
「あなたの夫は 何も 知らないの、」と 言う、

”goro~, ” undii, ”namowa daomi ənəuri-ə”-m-də.  
「遠い、」と 言う、 「海を 渡って 行くべきような所よ、」と。

”buə ənipu osini xaali-daa tui taasi-a,” undiini.  
「私たちの 本当の母さんなら、 いかなる時にも そんなことは しないわ、」と 言う。

”amaa, xaixani,” undii, ŋoančiani,  
「父さんが 知らせてくれたのよ、」と 言う、 娘たち (夫の姉たち) へ、

xai ərdəŋgəji saawaan̄kini-os tui ənuxəmbəči, ŋoanči.  
どんな 方法で 知らせたのか、 そのように 彼ら母子が 出発したことを、 娘たちに。

ə~ŋ undiisi tui taraa undiisi ”amaa saawaan̄kini,” undii,  
そうしてから 「父さんが 知らせてくれた、」と 言う、

”simbiə tui ənəxə-m nəku, piktəji pinasimi.”  
「あなたが こうして 出かけた、 と、 自分の子供を 背負って。」

ə~ŋ undiisi tui taraa t̄ai-tənīi undiisi, ənəi-goani,  
そうしてから 彼女は、 行くのだ、

”budii-dəə ənəi baljii-daa ənəi,” undii, ”əwəŋki ənəmi-ə~ ənəmi  
「死んでも 行く、 生きていれば 行く、」と 言う、 「ここから 行って~ 行くと

baājaaci," undii, "əi-məə bii ʃoo, mii, xai pəgiələjə bii, əktə.  
見つけるだろう、"と言う、「このような家を、私の 下にも いる、女(妹)が。

bue ilaan əktəpu," undiini. "čuū nəupu-təni təi, əjisi," undiini.  
私たちは三人 姉妹なの、"と言う。「一番下の弟が その、あなたの夫よ、"と言う。

xailoo uləni-goani əjən piktəni sargančokaan ʃəə uləən əktə-nuu.  
なんとも 良い人なのだ、主人の子供の、お姫様だもの、並みの良さの女性だろうか。

ə~ŋ tawanʃi tui susuūčiguxən təi əktə-də, əŋ tawanʃi-la tui ənəi-goani.  
そこから そうして見送ってくれた、その女も、 そこから そうして行くのだ。

tui ənəmi~ tui ənəmi-ə-lə undiisi, tui ənəə siksə~ xai siun morigoxan.  
そうして行って、そうして行って、 そうして 行くと夕方になり、日は傾いた。

tui ənəə undə, tui ənəiduəni-ə~ təjə-dəə baaxan  
そうして行くという、そうして 行く時に、 本当に 見つけた、

təi-məə bii ʃoo bičini, daai ʃoo.  
あれと同じような家があった、大きな家。

ə~ŋ təi-lə undiisi, čala-la undiisi, xaisi əktənii agbiŋgoxan,  
その、 そこから 再び 女の人が 現れた、

təi-məə bii əktə bičini. xailoo uləən sargančoo-goani, nai.  
先と同じような女性が いた。なんとも 良い お姫様なのだ、 人は。

ə~ŋ undiisi čado-tanii undiisi, ə~ŋ undiisi təi-təni undiisi,  
そこで その人は

ʃimi~ xəəp naamanʃin təi-lə əktəwə-lə undiisi ə~ŋ undiini-goani,  
やって来て ガバツと抱きしめた、その 女を、 言うのだ、

"nəku manʃalaxa~ŋ"-daa, piktəwəni ʃapaxan,  
「あなた、つかったでしょう、"と子供を 受け取った、

koanʃawani tui taraa iiwuguxən ʃookči undiisi, əsi-təni undiisi, undiini-goani, xai,  
籠を、 そうしてから 入らせた、家に、 今 言うのだ、

xaisi t̄ai-d̄əə undiisi pikt̄əw̄əni m̄ənəə ət̄əxii-goani,  
再び その人も 子供を 自分で 世話してくれるのだ、

siagoani x̄ač̄in ʃakawa aq̄bimboxa~n, pujuurii,  
食事も いろいろな物を 取り出して来た、煮る、

č̄ado-tanii "ñaar tui aongaroo," undiini, "xooni ənəgui taisi-a~,"  
そこで、「ゆったりとそうして泊まっていけ、」と言う、「どうやって行こうというのか、」

undiini, "əʃisi gorola bii-ʃə"-m-d̄ə, "naija tač̄ioč̄imi.  
と言う、「あなたの夫は遠くに いる、」と、「人を 教えていて。

sii xooni-daa ənəmi mut̄əəsis̄i," undiini, "namowa daomi x̄aiji ənəisi-ə"-m-d̄ə.  
あなたは どうにも 行けはしないわ、」と言う、「海を 渡るのに 何で行く気なの、」と。

ə~ŋ undiisi, "budii-d̄ə ənəi balʃii-daa ənəi," undiini-goani,  
「死んでも 行きます、生きていれば行きます、」と言うのだ、

"xaido biuri"-m, "ənəəsi osini  
「どこに いられるでしょうか、」と、「もし行かなかったなら、

ñoanč̄iani ənuəsi osini buə, nai puŋnuguxəmb̄əni."  
彼の所へ 行かないなら 私たちは、人に 追い出されたというのに。」

ə~ŋ undiisi əsi-t̄əni undiisi, t̄ai-l̄ə, ə~ŋ tui taraa-la undiisi  
今 彼女は、 そうしてから

t̄ai-l̄ə puʃin-gul̄ə undiisi, t̄ai əkt̄ələ č̄ado aongaxa~n t̄ai dolboni-a-daa,  
その プジンは、 その女の所で、そこで泊まった、その晩を、

pikt̄ə anaa-kaa aorii-goani-a-m xaiwa-daa saarasi, nai m̄ənəə ət̄əxii.  
子供 なしで 眠り込むのだ、何も わからずに、人が 自分で 世話してくれた。

ə~ŋ kuuč̄iguəni, pikt̄əni kuuč̄iguəni iragoi,  
お乳は、 子供の 乳とするものも 運んで来る、

kuuč̄imi x̄oʃjini m̄ənə ʃapagoi tami, tui ət̄əxix̄ən  
乳を与え 終わると 自ら 取り上げたりして、そうして 世話を する、



tai-lə əktə-lə, dolbo inədələ-də.  
その 女は、夜、夜が明けるまで。

ə~ŋ tui taraa-la undiisi, čado-la undiisi, ĵia čimani tæxən,  
そうしてから、そこで 次の日 起きた、

”budii balĵii ənəĵəə-mə,” undiini.  
「死んでも生きても行くというのでしょうか、」と言う、

”əwəŋki ənəmi-ə~ ənəmi namo kiraawani isiĵaaci,” undii,  
「ここから行って~ 行って海の 岸に 着くでしょう、」と言う、

”čado mii nəuji biĵe,” undii, ”namo kiraadoani.  
「ここに私の 妹が います、」と言う、「海の岸の所に。

ə~ŋ tai ņoani gusəĵəə-mə,” undii, ”xooni-daa ənəuriwə. əŋ tawaŋki-la.”  
その彼女が話してくれるでしょう、」と言う、「どうやって行くべきかを、そこから。」

ə~ŋ undiisi tai-təni, tai əktə-lə undiisi xairii-goani, namo kiraadoani,  
その 女は どうするのだ、海の 岸に、

ənəi-dəə ənəini-goani, susugurəə čimii tæguxən-də.  
行く、行くのだ、出発する、朝 起きてから、だ。

tui ənəmi xaixan, ənəmi~ ənəmi ələə, ələə siurguni tuugui-goani,  
そうして行ってどうした、行って~ 行ってもう、今やもう太陽は 沈むのだ、

tui pinalagoraa piktəĵi tui ənəi, tui tami isiini-goani, namo kiraa...  
そうして背負って、子供を、そうして行く、そうして 着くのだ、海の 岸に、

namo ičəini-goani ənəmi ənəmi, namo kiraawani isixan.  
海を 見るのだ、行って行って、海の 岸に 着いた。

ə~ŋ undiisi tai-təni, xaisi tai-məə~ bii ĵoo bičini.  
それは、再び あのような 家が あった。

xaisi tai əktə ĵičin tai-kəə nuučii əktə, ņoani tərən-nuu xai-noo-daa.  
再び その女が来た、それこそは小さな女、彼女の 同年代か 何かぐらい、だ。

təi-tənii undiisi gəə əsi-tənii xaisi təi piktəwəni nəə xukčui-goani  
その人は さあ今 再びその子供に すぐに向かつて行って愛情を注ぐのだ。

nai piktəwəni-məə uləəsiini.  
人の 子供を 気に入ってかわいがる。

ə~ŋ tui taraa-la undiisi, təi piktəji-lə undiisi-ə,  
そうしてから その子供を、

təi piktəni-lə undiisi tado aongii-goani-a~  
その子供は そこに泊まるのだ、

təi-dəə piktəwəni tui uləəsii mənəə ətəxiini-goani təi əktə-dəəda.  
その 子供を そうしてかわいがる、自ら 世話をするのだ、その女も、だ。

təi ŋoani-tanii piktə anaa-mat tui aoriini-goani čado.  
その 彼女は 子供がいらないかのようにそうして 安心して良く眠るのだ、そこで。

əŋ tui taraa-la undiisi-ə, čimii təəxə~n, təi əktə undiini,  
そうしてから 朝 起きた、その女は言う、

”xooni ənəgui taisi-a,” undii, ”budii-dəə ənəi baljii-daa ənəi,” undiini.  
「どうやって行こうと言うの、」と言う、「死んでも行くわ、生きてれば行くわ、」と言う。

əsi-tənii undiini, ”əm airanido təŋ modan ənəjə,” undii,  
今 言う、「一年に ただ一度きりだけ行くのよ、」と言う、

”пароход taosi daorii-ja”-m-da, ”ŋoanči baaroani.  
「汽船が 向こうへ渡る、」と、「彼らの方へ。」

əi namowa daorasi, ačaasi,” undiini. ”əsi-tənii kəsikuwəri osini isijaaso,” undiini.  
この海は 渡れない、だめだ、」と言う。「今は もし幸運なら 着くだろう、」と言う。

”təja kaltaajjājia, gusi daawačii,” undii,  
「向こうの側から、 鷺が 渡って行ったり来たりしている、」と言う、

”daai gusi. xaigoji, siagoji gələndəsui,” undii,  
「大きな 鷺が。 食べ物 を 求めにやって来る、」と言う、

”əusi. siun tokon ələə~ isiidoani daogoi... daorii,” undiini.  
「こっちへ。太陽が正午にもう さしかかる頃に渡ってくる、」と言う。

”təi-təni siagoji xaiwa-daa xəm ʒaparaa daogoini,” undii,  
「それは食べ物は何でも 全て ひっつかんで渡って行く、」と言う、

”nai taosi. daai gusi-ə~,” undiini-goani.  
「そいつは向こうへ。大きな鷺だ、」と言うのだ。

”təi čāji, nəku-dəə iin taxan osini-tanii waliaxa~,” undiini,  
「それで(渡る時に)、子供が オギャと言ったなら 災難だ、」と言う、

”namo tokondo sumbiə, nangalaini osini-tanii xooni isigoari taiso,  
「海の真ん中であなたたちを、投げ捨ててしまったら どうやって着けようか、向こうへ、

xooni ənəguəri taiso, budiisu-rəgdəni-goani.”  
どうやって行こうと言うの、ただ無駄死にするだけなのよ。」

ə~ŋ undiisi əsi-təni undiisi, əm matraasawa buuxən, təi əktə.  
今 一つのマットレスをくれた、その女は。

ə~ŋ təi matraasa-maa bii somalaani-goani daai.  
それはマットレスのような袋なのだ、大きな。

ə~ŋ təi koŋsa čikiini. əŋ təi-təni undiisi əsi-təni undiisi-ə, xaixani, undiini-goani,  
あの籠に入る。彼女は 今 言うのだ、

”kəsi-dəə ʒaa-daa,” undii, ”təi, nəku əm sənəəmi biini osini  
「幸運も近づくだらう、」と言う、「その、子供がもし目を覚まさずにいる なら、

təi doolani. uləən nəkuwə kuuwəərəə apsiŋgowaandaa mənə,  
この中で。良く 子供に 乳を与えてから 寝かshつけておいてから、自分は

təi koŋsaji doolani gəsə təəgurəə, xairoo,” undiini,  
この自分の籠の中に 一緒に 座って、渡れ、」と言う、

”kuumbə gidalaraa daoxaari,” undiini, ”təsixəəri,” undiini,  
「おっぱいを口に刺し込んで渡れ、」と言う、「座っている、」と言う、

”təi gusi-təni, siun tokon isiidoani daopi-tanii,  
「その鷺は、太陽が正午になる時に渡って来ると、

sumbiə ʔapagoraa ənuʔərəə,” undiini. ə~ŋ undiisi təi-təni undiisi, xairii-goani,  
お前達をつかんで 去るだろう、”と言う。 彼女は どうするのだ、

namo kiraani-goani, sia~n-maŋaani-goani, mungən, daramji.  
海の岸なので、砂ばかりなのだ、低い石のある海岸も、広く。

ə~ŋ undiisi, əsi-təni undiisi təi, puʔjin-təni undiisi-ə, əuxə~n undiisi pikətəji,  
今 その、プジン は 岸に下りた、 自分の子供を

xairii tui təəsiwəəndii, ʔapačai taxani goidami.  
そうして座らせる、つかまえていたりする、長いこと。

”ələə~ siun tokon isiija, ələə isiija,” undiiduji-lə undiisi ə~ŋ  
「もう太陽が正午になるわ、もう今なるわ、”と言う時に

pikətəji-lə undiisi, uləənguʔjieni xaixani, uləənguʔjieni təimbuwəəŋkini-ə~  
自分の子を きちんと、 良く 休ませた、

ʔapačami-la undiisi əsi-təni undiisi, tui taraa-la undiisi xaixani,  
つかまえていて 今、 そうしてから どうした、

ə~ŋ undiisi, tui taraa-la undiisi, təi matraasa koaŋsa doolani,  
そうしてから、 そのマットレスを籠の中に、

koaŋsado nəəkuxə~n pikətəji uləən təəguxən, mənə-dəə təi doolani təərəə,  
籠に 入れた、 子供を良く座らせた、自らも その中に 座ってから、

matraasa təi koaŋsa doočiani iirə undiisi ə~ŋ tui taraa, xaixani.  
マットレスの、その籠の中へ 入ってから そうしてから、

təi iixəmbi sangarba... xai matraas, arɲawani-tanii,  
その入った穴を、 マットレスの袋の口を、

tiak tiak dookiəjia uixəni, bombimi.  
しっかりと中側から 結わえた、解けないようにガッチリと結び目を作って。

ə~ŋ tui taraa-la undiisi xairii-goani, tægurəə~ tæsio undə,  
そうしてから どうするのだ、座ってから、座っている という、

tui tæsiiduəni, xuur xuur xuur daai gasa siasin bičin.  
そうして 座っている時に、バサバサバサと 大きな鳥の 物音がした。

ə~ŋ tui tami, tæ~ jəkpađoani dooxani siasini.  
そうして、ほうれすぐそばの所に 舞い降りた音がする。

ə~ŋ tui taraa-la undiisi-ə, əsi-təni tui udəwəni soar soar soar soar pulsio undə.  
そうしてから、 今 そのあたりをヒタヒタ 歩き回る という。

əŋ tui tami undiisi jičə undə.  
そうして 来たという。

ə~ŋ jidiŋjiji gəsə undiisi ŋoambači-la,  
来るや いなや 彼らを、

čawaktalagoraa-o~ daogopsiŋkin tui, namowa daogoa undə,  
爪で引っ掴んでから、渡って戻って行き出した、そうして、海を 渡る という、

tui əktə-təni kuumbi gidalaraa tæsiini-goani tui-də.  
その女は 乳を (赤ん坊の口に) 刺し込んで 座っているのだ、そのように。

ə~ŋ piktəni əsi xailoo uləən aorii, əməjivəəndiini.  
子供は 今 どんなにか 良く 寝ている、(母の胸で) 暖かく保たれている。

əsi-təni undiisi, tui taraa~la undiisi,  
今 そうしてから

ičəini-lə tui matraas səjə-dəədə biini jəaroani ičə-təni.  
見る、 そのマットレスは細かい目から外が見えているのだろう、見ると、

tui namoni daramini~ waatani-daa jəə bii-nuu,  
その海は 広く、 その波も 並みのものではない、

əsi-təni undiisi tui tæsio undə, ərisii-nuu abaa-no o jərgəjəni ŋələčimi.  
今 そうして 座っている という、 息もしているのかいないのか、ぐらいに恐れて。

əŋ tui tami-a-la undiisi əŋ pəgilə~ osimi ənəmi dəruukə undə.  
そうして (高度が) 低く なって行き 始めた という

əŋ tui tami undiisi, naawa ičəxəni, moosalba ičəxəni.  
そうして 大地を見た、木々を見た。

əŋ tui tui naa badowani isiini-lə, pūjin-gulə, xaixani, jilgaŋkini,  
その大地のそばまで 来ると、ブジンは 声を出した、

təi-təni olomi-tanii naŋgalagoxani, naači təəs tuugujiəni.  
そいつはびくっとして投げ落とした、地面にドスンと落ちるように。

təə naa jəkpalani ənəxən-təni, jījakookaan naala osixani.  
ほうれすぐ地面の近くにまで来ていた、ほんの近くに、地面まで、なっていた。

əŋ tui taraa, gasaŋgoni xaŋgisi ənəxən.  
そうしてから 鷺は どこか別の方角へと去って行った。

təi əktə-təni tawaŋki-tanii undiisi niəguxən.  
その女は そこから 出た。

”əi xaosi ənəuri,” xooni-daa murčiini-dəə, maŋbowa bodomi,  
「これはどっちへ行くべきか、」とどうにか 考えて、 大河を見て考えて、

soli ənəuri bijəŋəə, murčiini. tui taraa ənəuri, pəŋgəçikə~p ənəxəni.  
上流へ行くべきだろう、と考える。そうしてから行くべし、ちょっと試したりして行った。

əŋ nai, poktombani baaxani. piktəji pinalagoraa ənəi-goani.  
人の足跡を 見つけた。自分の子を 背負って 行くのだ。

təi xoton duəwəni isixa~n əsi-təni undiisi-ə,  
その街の 端に 着いた、今

əŋ təŋ duəduəni bičini əm, jookaan, poktonči ambaan goro.  
一番 端の所にあった、一軒の小さな家があった、そこへの道はまあまあ遠かった。

isixan-tanii undiisi əŋ čuu, duəduəni bii joola iixəni.  
着いた、 一番、端に ある その家に入った。

əm mapa~ mama~ bičini. ə~ŋ tɔi-tɔnii undiisi, undiini-goani,  
一人のおじさんと、おばあさんがいた。 彼女は 言うのだ、

”mii, bai baŋ bipugujəwə,” undiini-goani, tɔi əktə.  
「私は、ただ単に置いてもらえませんか、」と言うのだ、その女は、

”bai baŋ biəmbi-ə,” undii, ”əm xadolta... aongami.” gəə čixalaxan undiisi,  
「ただ単に いるだけです、」と言う、 「数日 泊まって。」さあ同意した、

əsi-tɔnii tɔi mapa mama-tanii tɔi piktəkəəmbəni uləəsimeəri dəruuxən.  
今 そのおじさんと おばあさんは その小さな子供を かわいがり 始めた。

”ə~ŋ təinduu-dəə, xajəji jičisi-dəə, xooni isindexasi-daa,” mədəsiini-goani,  
「休め、 どこから来たのか、 どうやって到着したのか、」と訊くのだ、

”buə, buə boŋkampo-kaa biəsis,” undii.  
「我らが 土地の者では ないね (あなた方は)、」と言う。

ə~ŋ undiisi tui taraa tɔi əktəni mədəwə gələini-goani,  
そうしてから その女は 情報を 求めるのだ、

”əidu nai tačiočii nai bii-nuu əi xotondoaso.”  
「ここに人を 教えている 者がいますか、 この あなた方の街に。」

”bii-jə,” undiiči, ”nai jaŋgian osigoani tačiočii-ja,  
「いるよ、」と彼らは言う、「人の長と なるために 教えている、

əŋ siksə~ siksə nai tačiočii-ja,” undiini.  
夕方 夕方毎に人は 教えているよ、」と言う。

ə~ŋ əsi-tɔnii čixalaxan. arčokaan murčiini-goani ənəuri əi, siksə.  
今 同意した。娘は 考えているのだ、行くべきか、この夕方に。

siksəguxə~n undiisi, xai goidami siksəgugiləi.  
日が暮れた、 どうして長いこと夕暮れているはずがあるうか。

əsi-tɔnii, biəji ilgako-maňa tətəuji tətuxəni.  
今、 月の模様ばかりが ついた服を 着た。

ə~ŋ tui taraa-la ənəxəni. ənəxəni.  
そうしてから 行った、行った。

xotonči iixə~n xoton dujələni biini-goani nai,  
街へ 入った、街の 山の側の方にあるのだ、人が

tačiočiini əjini jilgani læ~igən təi udəwəni, xisaŋgoa undə,  
教えている 夫の 声が 大きく、その 場所から、話をしている という、

ə~ŋ undiisi, tui taraa-la undiisi isixani.  
そうしてから 着いた。

iiri-goani xai-daa largian-daa anaa, naija tačiočičiani iirəə,  
入るのだ、何も 咎められることもなく、人を 教えている所へ入ってから、

uikə daadoani ilixani. ə~jini-lə ičəjəə undə,  
戸の 入り口の所に 立った。夫が 見ている という、

”ərdəŋgə xai əktəni jičini, biāji-maņa tətəuku.”  
「不思議だ、何の女が 来たのか、月の模様ばかりで服を身につけて。」

ə~ŋ xaal xaal osini, ŋoarijiani nasalji biini, ičəjəini,  
どうしたらよいか途方にくれてしまった、彼女の方ばかりに視線が いく、見ている、

ŋoani asini, duruŋni baljixani ТОЧ(НО) biini-goani nasani... asini,  
彼の 妻の、顔と同じに産まれた、そっくり であるのだ、その目は、妻に、

tui tami ŋaalako, əjə tajalani, ŋoani asini ŋaala anaa.  
それにしても 手がある、あっちと こっちに、彼の 妻は 手がない。

ə~ŋ tui ərdəŋgəsimi ičəjəini xəmə xəmə-də.  
そうして 不思議に思っ て 見ている、黙って 黙って、だ。

ə~ŋ təi-lə nai tačiočiiwani tui ičəjəpi-ə, xəməəŋgūjji ilisiini-goani, iixən nii.  
その、人が 教えているのを そう 見ている、黙って 立っているのだ、入ってきた人は

əŋ tui taraa ənuxəni. ənuxə~n tui taraa ənuxəni xamialani-tanii undiisi-ə,  
そうしてから 去った。去った、そうしてから 去った 後で、



ənuxən ʃookçi tui taraa, "piktəni əçiə songora," undii, "aja~,," undiini.  
去った、家へ、そうしてから「子供は泣かなかった、」と言う、「大丈夫、」と言う。

tui taraa-la təi arçokaan-gola čado, aongaxa~n ʃia čimania undiisi  
そうしてからその娘は　　そこで、泊まった、次の日に

xaisi siksə~ ənəi-goani.  
再び 夕方に 行くのだ。

undiini-goani, "guçi gulialandagoambi," undiini-goani təi əktə siksə.  
言うのだ、 「また ちょっと散歩してきます、」と言うのだ、 その女は、夕方に。

"ənəruu," undii, "aja," undiini, "nəku, songoasi," undiini.  
「行ってらっしゃい、」と言う、「大丈夫よ、」と言う、「子供は、泣かないわ、」と言う。

əsi-təni ənəxə~n piktəji kuurə-də.  
今 出かけた、自分の子供に乳をやってから、だ。

əŋ əsi-təni siurji ilgako~maña tətəwə tətuguxən təi pūjin.  
今 太陽の 模様ばかりがついた服を 着た、 そのブジンは。

ə~ŋ isixan undiisi-ə, təi ʃoola iiri-goani, iimi uikə daadoani ilixani.  
着いた、 その家に 入るのだ、入って戸の 入り口の所に 立った。

uikə daadoani iliraa ilisiini-goani.  
戸の 入り口の所に 立って、立っているのだ。

ə~ŋ əʃini əsi xaisi ŋoanʃiani-maña nasaʃiji bii.  
夫は 今 再び 彼女の方ばかりに 目がいく。

ərdəŋgə əmutu ŋoani asini-maa bii. tui tami goi goi tətəwəgə,  
不思議だ、まるで彼の 妻そのものようだ。それにしても 様々な 服を着ている、

a xai, ŋoani asini ŋaala anaa.  
(それに) 彼女の妻なら 手が ないはずだ。

əsi-təni undiisi ə~ŋ undiini-goani,  
今 言うのだ、

əsi-tənii tačiočimi xōjixa~n, xisaŋgoxan, tui taraa undiini-goani əjini,  
今 教え 終った、話をした、そうしてから言うのだ、夫は、

”čimana, əidu bii gurun,  
「明日、ここにいる者たちは、

xə~m bałjixanǰijjə əi iničie bičimbi xəmə gusəreuri,” undiini.  
全て 生まれてから今日まであったことを全部 語ることにする、」と言う。

ə~ŋ tui taraa ənuxəni. tui taraa xōjixači.  
そうしてから去った。そうしてから終えた。

tui taraa-tanii undiisi ə~ŋ čawa dosijaraa ənuxəni.  
そうしてから それを聞いてから 去った。

ǰia čimania-tanii, ǰia čimani siksə-tənii tēi əktə-tənii,  
次の日、 次の日の 夕方 その女は、

məən tətəuji məən tətugurəə ənəxəni.  
自分の服を、自ら 身につけて 行った。

ənəxə~n čado, iixə~n nai, tačiočii nii tačiočii-goani xajal xajal-da.  
行った、そこに、入った、人は、教えている、人は教えているのだ、なんやかんやらと。

əjini iiriiduəni xisaŋgoxambi duəduəni, ”gəə təpčuruusu,” undii,  
夫は 彼女が入る時に、話し終えた その末に、「さあ、始めなさい、」と言う、

ənumbə mədəsiini, tēi əmun gusəre~n, bałjixanǰiji xaosi-daa bičimbi,  
一人に 訊ねる、その 一人が 語った、 生まれてから どのようであったか、と、

əsi-tənii tawaŋki, tēi tajaalani tēi tajaalani gusəreiči-goani,  
今 そこから、その 向こうへ そのまた向こうへ、と 語って行くのだ、

nai ambaan əǰji, nai tačiočii nai.  
人は けっこう多い、人が 教えている人は、

ə~ŋ nai xəmə gusəre~n, əsi tēi əktə очередь-ni osixan.  
人は全員 語った、今 その女の 順番に なった。

əsi-tənii tēi əktəkəən gusəṛəini-goani, məən baļjixambi.  
今 その女の子は語るのだ、 自分の 生い立ちを。

xəm gusəṛəxən duəduəni undiini-goani, xaosi-daa baļjixambi,  
全て 語った、 その末に 言うのだ、 どのように生きてきたかを。

tui ŋaala anaa bičimbi, əusi xooni-daa ərdəŋji isixambi, xəm gusəṛəini-goani.  
その様に手 なしだった事、 ここへ どんな 方法で たどり着いたか、 全て 語るのだ。

xōjii duəduəni-tənii undiini-goani, xai, "inda piktəwəni olbimi isindaxambi-ə"-m,  
終える その末に 言うのだ、 「犬の 子を 連れてやってきました、」と、

"ičəndəruu"-m-də. tui undiijji gəsə, pağjialagoxan.  
「見に来て下さい、」と。 そう 言うや いなや、 駆け出した。

pağjialagomi ənəxən əjini-tənii xamialani xasipoalagoxan.  
駆け出して 行った、 夫は その後ろから 追いかけた。

tui taraa xamialani xasisii xusə nii xatan-goani tutuini,  
そうしてから その後ろから 追いかける、 男の人は 速いのだ、 走るのが、

tui taraa isigoxan. xamialani-goani čuul iixəni-goani undiisi.  
そうしてから 着いた。 そのすぐ後ろなのだ、 まっすぐに 入ったのだ、

gə əsi-tənii undiisi piktəji ičəxən xailaraa agdaxani,  
さあ今 自分の子供を見た、 なんと 喜んだ、

təi-tənii piktəji-tənii ojektai-daa ojektai, tēi mapaanaa-tanii, xaal xaal osixan.  
彼は 子供を キスも キスする、 そのおじいさんたちは、 途方にくれた。

xailawaadaas ŋəngian čuul iixəni ŋəančiači,  
なんと すごい偉い人が まっすぐ 入って来た、 彼らの所へ、

tēi piktəji ojektai, tuxisii-dəə tai. ə~ŋ tui taraa undiini-goani,  
その子供を キスしたり、 抱き上げたりも する。 そうしてから 言うのだ、

"ə~ŋ inda piktəni, puŋnuquusu-m niruxəsi biəči-kəə," undiini-goani,  
「犬の 子供は、 追い出せ、 と 書いたんじゃなかったかしら、」と 言うのだ、

”amisi bumbiə puŋnuguxəni-goani”-m, ”sii j̄j̄j̄upi aminaaji waarii.”  
「お父様が私達を 追い出したのよ、と、 「あなたは戻ったら、お父様たちを殺す、と。」

”mii əciə tui niruəjə~, ” undii, ”minči xamačaa-daa bičxəni-dəə j̄idəsi,” undiini,  
「私は そんな事は 書いてない、」と言う、「私に いかなる 手紙も 来ない、」と言う、

”əidu, əusi, mii xaiwa-daa saarasimbi”-m, ”təi ənikəjə-maŋa taxani-a,” undiini-goani,  
「ここへ、私は何も 知らない、 あの 継母が全て やった事だ、」と言うのだ、

”xoralsimi, čado simbiə nai ətəxiwəni galomi.  
「嫉妬して、あそこでおまえを人が可愛がって世話ををするのを嫌がって、

xai sorixambi, aksagilai.”  
いったい何を私が叱ったり、怒る必要があるだろうか。」

ə~ŋ əjini-lə undiisi, piktəji asiji j̄apagoraa, mənə bii boaci gaajoi-goani.  
夫は 自分の子供と妻をつかんで、自分のいる所へ連れて行くのだ。

əsi-tənii čado bii~, tui bii~ j̄oagoxan, tuəguxən,  
今 そこにいる、そうして暮らしている、夏になった、冬になった、

tamaari, piktəni-dəə ambaan daaikaan osixan.  
そうして、子供も けっこう大きく なった。

ə~ŋ əsi-tənii undiini, ”gəə ələə, əsi xəj̄j̄j̄ori-a,” undii,  
今 「さあ十分だ、もう終えよう、」と言う、

”tačiočimi. əsi mənənciji ənuuri,” undiini, ”j̄ookčiji.”  
「教えるのも。今 自分たちの所へ去ろう、」と言う、「自分たちの家へ。」

təi əktə undiini, ”əidu baljimi xairiini,” undii,  
その女は言う、「ここで暮らしたらどうかしら、」と言う、

”ənuxən-dəə xooni baljori,” undii,  
「帰っても どうやって暮らすの、」と言う、

”təi xaiči, nai puŋnuxənci xooni ənuuri,” undiini, ”ilamogbani.”  
「あの、人が追い出した所へ どうやって帰れるというの、」と言う、「恥ずかしいわ。」

ənuxæci-tənii tɔi-tənii undiisi, isigoxan, пароход daogomaari.  
去った、 着いた、汽船で 渡って。

isigoxa~n əsi-tənii undiisi, əikənəəji-dəə xəm baogoxa~n, tɔi naonjokaan.  
着いた、 今 姉たちにも 皆 再会した、 その 若者は。

əsi-tənii undiisi tɔi-tənii ənuxəni duəduəni-tənii undiisi, əŋ ʒoowa isigoxan, aminaani.  
今 その 去った 末に、 家に 着いた、 父たちの所に。

amini-daa songomi agdai-goani, tɔi piktəji baogoxandoji.  
父も 泣いて 喜ぶのだ、 その 自分の子供に 再会した時に。

ə~ŋ tɔi ənəkəən-tənii undiisi, xaosi ənəxən-us, xaosi ənəxən-us, xəməə-də.  
その 継母は、 どこへ行ったのか、 どこへ行ったのか、 黙っている。

ə~ŋ məəpi waaxani-os, xooni taxani-os, əŋ tui.  
自殺したんだか、 どう したんだか、 そのようだ。

əsi-tənii tui taraa-la undiisi tɔi-lə undiisi-ə, tui bii-goani.  
今 そうしてから そうして暮らしているのだ。

tui baljii~ tui bii tui tami, əjici undii-goani,  
そう暮らしている、 そうしている、 そうして、 夫へ 言うのだ、

”mii-dəə nəukujə~,” undiini, ”buə ʒuərkəən bii...  
「私も 妹がいるんです、」と 言う、 「私たちは二人っきりでいて、

baljioxan, xooni mimbəə ŋoani,  
暮らしていました、 どうしてか私を 彼女は、

moxoolimi ŋaalaji čapčilaxan-daa mii ŋoambani ʒoongoorini-goani,” undii,  
憎んで 手を 切ったけれども 私は彼女の事を 思い出すんです、」と 言う、

”ičəndəmi-məə aja,” undiini. əjini undiini,  
「見に行けば 良い、」と 言う、 夫は 言う、

”gəə ənəguuri. sii kol kol biisi, mii, xai saara,” undiini-goani.  
「さあ行こう。 おまえが黙っていたならば、 私が どうして 知り得ようか、」と 言うのだ。

gəə əsi-təni, xaixa~n, səjəmbə bargixan undiisi əsi-təni, piktəku~, əjji ənəi-goani.  
さあ今、馬車を用意した、今、子供連れで、夫と行くのだ。

tui ənəmi-ə ənəmi-ə-lə undiisi isigoxani, jooakaambi. ə~ŋ jooŋni-kaa bii,  
そうして行って行って着いた、小さな家へ。その家ではあるが、

ə~ŋ tulieni udəni-dəə xailoo uləən.  
その中庭の所も なんと良い家だ。

isigoxan... uikəduəni jəparaa iixəni. nəuni-lə undiisi, songoçimi-a~ təəsi-goani.  
着いた、戸をつかんで入った。妹は泣きながら座っているのだ。

ə~ŋ gəə əikəji ičəguxənduji-təni agdaxan, nəuni-dəə songoi,  
さあ自分の姉を見た時に喜んだ、妹も泣く、

əikəni-dəə songoi tamaari agdaxəci. əŋ baogoxambari жив здоров.  
姉も泣く、そうして喜んだ。再会したことを、生きて、健康で。

tui taraa-təni, "əgəə~," undiini-goani,  
そうしてから、「姉さん、」と言うのだ、

"əi-məə bii murun osini, xooni mii tui ərdələəmbi," undiini,  
「この様な気持ちなら、どうして私はあんな風な異常な事をするでしょうか、」と言う、

"xaosi osiowaan̄kimbi," undiini. "boa tui osiowaan̄kin-təni," undii,  
「どうなっちゃってたんだけ、」と言う、「天があんな風にさせたんです、」と言う、

"mimbiə, tui taasi ačasji."  
「私を、ああしないではられないように。」

ə~ŋ undiisi, ičəini əikəji baogoini əikəji ŋaalako osiogoxani-goani.  
見ると姉は再会すると姉は手があるようになっていたのだ。

ə~ŋ tui taraa undii, əikəni undiisi "xooni, əjiguji-dəə əciə baarani,  
そうしてから言う、姉は、「どうするの、夫もまだ見つけていないのね、

sii xooni tui bipugui taisi-a," undiini, "ənuguuri,"  
あなたは どうやって そうして暮らそうというの、」と言う、「去るべきだわ、」と

undiini-goani, "bunči." əjini-dəə undii, "gaājoori," undii.  
言うのだ、「私たちの所へ。」夫も 言う、「連れて行こう、」と言う。

əsi-tənii undiisi gaājomi j̄juxə~n, tui taraa-la j̄juxəə undiisi-ə, xai,  
今 連れて戻った、そうしてから戻ってから

təi pəgiələji bii j̄ngian asigoani buuxən, təi nəuwəni, asilagowaan̄kin,  
その下の方にいる長の 妻に 与えた、その妹を、結婚させた、

tui goro bičə j̄jja bičə ələə. xurmikuukəən.  
そうして長いこといた、短いこといた、終り。短い話だ。

1999年8月23日 ダエルガ村にて録音

N. B. Gejker 氏 口述

4. ʃuə mærgən balʃixani  
二人の ムルグンが 暮らしていた

ə~ŋ undiisi-ə, əm ʃoo doolani-la ʃuə mærgən balʃixani.  
ある 家の中に 二人の ムルグンが 暮らしていた。

aaŋni-tanii asiko~, nəʃjimə-tanii asi-daa anaa tui balʃjal undə.  
兄は 妻がいて、弟の方は 妻も なく、そうして暮らしている という。

dolbo-gdal tookoraa~ dolbo-gdal əgureə~ undiisi, waaičamaari balʃjal undə.  
夜に 森に上って夜に 下りてきて、 狩りをして 暮らしている という。

əŋ tui pulsimæri~ tui pulsimæri undiisi əm modan-gola undiisi-ə,  
そうして 歩き回っていて、そうして 狩りして回っていて、ある 時、

ə~ŋ čimii tæxəči. əukəni-tanii siagoji-daa pujuuredæsi...  
朝 起きた。兄嫁が 食事さえも 煮ない、

xuljuuredæsi-ə pəksədæsi biə undə, tui tami undiini-goani,  
温め直しもしない、注意を向けもしないでいる という、そうして 言うのだ、

ʔanda~ mærgən undiisi,  
「ああ~ ムルグンよ、

mii əi dolbonia orkimba tolkičikaja~, undii, ʔindəusu, undiini.  
私はこの 晩に 悪い夢を見た、」と 言う、「獵を休め、」と言う。

ʔabaa~, undii, ʔindəwəsi, undii əjini.  
「いいや、」と言う、「休むべきじゃない、」と言う、夫は

undiini, ʔxai təʃəku, undii, ʔəktəni tolkiini.  
言う、「何の 真実があるのか、」と言う、「女が 夢に見たことになって、

orkimba tolkičipi orkimba... orkimba siapi orkimba tolkičiori,  
悪い物を 食うと 悪い夢を見るし、



uləmbə siapi uləmbə tolkičiori," undiini, əjini.  
良い物を食うと、良い夢を見るっていうもんさ、" と言う、夫は。

"açaasi," undii, "indəmi." nəə tookoini osixa~n,  
「だめだ、" と言う、「休んでは。」 すぐに 山へ上ることとなった、

baarəjigoi, pujin-təni siagoi xuljuuriini osixan kombōji.  
支度をする、ブジン は 食事を 温めることとなった、柄杓で。

əsi-təni tui xuljuumi təəsiə~ goljon kiraadoani əsi-təni tui-lə undiisi-ə,  
今 そうして 温めながら 座っている、かまどの縁で 今 そうして、

əŋ nəuni-təni ŋaar ŋaar biə undə.  
弟は のんびりとくつろいでいる という。

əsi-təni tui mərəŋ-təni baarəjigomi xōjixambi duəduəni undiisi  
今 そうして ムルグン は 支度をし 終った その末に、

ə~ŋ niərə undə, ajaktalaxani asičiji, əsi-təni ičəini təŋ juə moōji,  
外に出る という、怒っていた、自分の妻に、今 見るに、ただ 二本の薪で、

əusi poipogoi taosi poipogoi tami xuljuuriini bičin təi, kombokaambi.  
こっちへ火をいじくり、あっちへひっくり返して 温めて いた、その柄杓の食べ物。

əsi-təni, niərii noljinjiani təi-lə,  
今、 出て行く その瞬間に、その、

kombowani-la baŋsalaxani, goljon doočiani čuul iiriŋjiani.  
柄杓を 蹴っ飛ばした、かまどの中へ まっすぐに 入るように。

ə~ŋ tui tami niəriiduji-lə undiisi, xamasi kəčərigui aakčiji undii,  
そうして 出て行く時に、 後ろへ 振り返って 弟へ 言う、

"gəə sii, dəŋjiruu," undiini, "kaoka tənduu," undiini,  
「さあ、おまえは 残れ、" と言う、「じっと 休んでいろ、" と言う、

"əktə nii xəsəwəni daxorasimi." ə~ŋ tui umi dasigoxani.  
「女の人の言葉を 信じて。」 そう 言って 戸を閉めた。

ə~ŋ nəŋjima mərgən-gulə,  
弟の方のムルグンは、

paatoa baarājigoŋiji gəsə aagbi xamialani ənəxəni, tookoxan.  
大急ぎで身支度をするやいなや、兄の後を追って行った、上った。

əsi-təni tui tookoxa~n tui duipə pulsii təi-təni, ənuxəci xamialani-tanii  
今 そうして上った、そうして森を歩き回る、その、去った後で、

undiisi, ə~ŋ xairii-goani, iniə tiap pulsii-goani,  
どうするのだ、丸一日中歩き回るのだ、

təi-təni undiisi puŋin-təni undiisi-ə, xooni taxa-os, xooni taxa-os təi ʒoogdo,  
その ブジンは どうしたか、どうなったか、その家で。

xaiwa-daa saaradaasi təi gursəl, tui waaicamaari pulsii-goani  
何も 知りはない、その者たちは、そうして狩りをして歩き回るのだ、

tui taraa undiisi, ə~ŋ əugui-goani, nəuni-kəə waaxan bəjumbe,  
そうしてから 下りて来るのだ、弟は 獲った、ヘラジカを、

tui taraa čawa pinasigomi əugumi-lə, poktoji ʒakparbani isi...  
そうしてからそれを背負って下りて来て、自分の道のそばまで、

ʒaaworbani isigoxani, aarŋni əciə ʒiŋuəni.  
端の所まで到着した、兄は まだ戻っていなかった。

xamasi abaa poktoni, ʒuləsi tooxani-ragda-la.  
後ろへ向かっているのがない、兄の足跡は、先へ上った足跡だけだ。

ə~ŋ čaala~ damxiwa omimi təəsiə undə pinaji nəərəə təəsiiduəni,  
そこでタバコを吸って座っているという、背負子を置いて座っている時に、

aarŋni isindagoxani. ə~ŋ ičəini-lə aarŋni jadaxan bičini.  
兄が到着した。見るに兄は疲れていた。

ə~ŋ undiisi čado damxiraa ʒuəjieri gusərəəndui-goani,  
そこでタバコを吸ってから二人で話をするのだ、

”aapango~, undiisi, əukənsi bai, indəučiiduəni  
「兄さん、 義姉さんがただ、休めと言った時に

indəxən osini aja biči-a,” undiini,  
休んでいたら良かったんじゃないか、」と言う、

”mii-təni əiniə pulsixəmbi-təni, ə~m siŋgərə poktowani-daa əčiə baaraja,  
「私は 今日 歩き回ったけれど、一匹のネズミの足跡さえも 見つけなかった、

əm xulu, xuəl puikuxəmbəni-dəə əčiə baaraja,” undiini,  
一匹のリスが ピョンと 飛び跳ねるのさえも 見つけなかった、」と言う、

”əm čoolčoikaan čormoak ənəxəmbəni-dəə əčiə baaraja,  
「一匹のイタチが チョロリと 行ったのも 見つけなかった、

əm gormaxon goporoaŋkimbani-daa əčiə baaraja”-m-da.  
一匹のウサギが 大またで行くのも 見つけなかった、」と。

”xamačaa poktoni-daa abaa,” undii, ”əi dolbo xamačaa-daa əčiə pulsəni”-m-də.  
「いかなる 獣の足跡も ない、」と言う、 「この晩には 何の獣も 歩き回らなかった、」と。

”ə~ŋ undiisi indəxən-dəə aja biči~,” undiini,  
「休んだ方が 良かったようだよ、」と言う、

ə~ŋ nəuni-kəə waaxan, uliksə pinasigoini.  
弟は 獲った、肉を 背負っている。

ə~ŋ tawaŋki-la undiisi-ə, xairii-goani, əuguxə~n, iigui... tookoi...  
そこから どうするのだ、下りた、

əuguməəri ičəiči-lə moo, mooloačii močarba isigomaari ičəxəči,  
下りて 見ようとする、 いつも薪を集める所の 一番奥の所に 着いて 見た、

ʒookči-la undiisi, əŋ pakči~ pakči biə undə.  
彼らの家が 暗く 暗く なっているという。

”ii ičəisi ičəuu, təi əədəmbəni əukənsi.  
「ほれ、見えるか、見ろ、あのバカものが、おまえの姉さんときたら。

ə~ŋ əmi-dəə, ixərəwə-dəə taawogoami biini," undiini.  
まだ 灯りも 点けずに いるぞ、」と言う。

ə~ŋ əsi-təni tui ʃuəjəri əugui.  
今 そうして 二人で 下りる。

əsi-təni tuliəči isigomi golorkolaji-la undiisi,  
今 中庭へ 着いて 薪の山から

əm moowa-la undiisi, masiŋpočimi-a~ ʃapaxani. tui taraa iiguxəni.  
一本の薪を、 頑丈なやつを選んで つかんだ。 そうしてから 家に入った。

"əidu~ aora-tanii-a"-m paačilaxani.  
「ここに寝ているんだろう、」と 叩いた。

ə~ŋ undiisi təi-lə undiisi aarŋni-la undiisi, təi moonŋgōjiani paačilaxani.  
その 兄は その棒で 叩いた。

təi-təni ənədəə-dəə abaa xai-daa təkpuə~s ənəxəni-goani paačilaidoani.  
それは 痛いとも 言わない何も無くてゴチンと 床を打ったのだ、叩いた時に。

tui taraa-tanii xaixani, ixərəwə nəuni iigurəə taawogoxani.  
そうしてから どうした、灯りを 弟が 入ってから 灯した。

əukəni-lə čuŋnu abaa bičini. ixərə...  
義姉は 影も形もどこにもいなかった。

xai-daa ulpixəni ʃoptonji biə undə, tərənji-dəə.  
縫い物をしていたのが そのまんま ある という、そのまんま、だ。

ə~ŋ aarŋni-tanii undiisi paačilaxan-tanii,  
兄が 叩いたのは、

pədəuskəwə moktoram ənəjjiəni paačilaxani moonŋgōjiji.  
枕を 砕け散る ように 叩いていた、その棒で。

ə~ŋ aarŋni-la undiisi, logloigan tægwi-goani. asini čuŋnu abaa.  
兄は がっかりとうなだれて 座りこむのだ。妻が どこにも影も形もない。

əsi-tənii ixərə taawogoxači tɔi-tənii, gəpčəlll gəpčəl taa undə.  
今 灯りを点けた、その火は、風にユラユラユラユラとするという。

tui tamaari ičəguxəči tɔi-tənii undiisi ə~ŋ xaiči, čooŋkoči,  
そうしてから見た、その、天窓の方を、

pišoani tui biini-goani tui-dəə, əi tui, tui biini-goani pišoani.  
天窓の所の壁とはこのようであるのだ、このようなのだ、天窓の所の壁は。

əi, əini, əiduəni bii xaini, čuŋnurəm luŋturəm abaa bičini.  
それが、そこに あるべきはずの壁が すっかり影も形も 無くなっていた。

ə~ŋ gəə ələə. ə~ pərgəčiči xai-daa gaājoi-daa gasa gaājoxani.  
さあもうわかった。石占いで試しても連れ去ったのも鳥が連れさらった。

əsi gələndəgumi aja-goani xasipoalamaari xaosi ənəuri-us xaosi ənəuri-us.  
今 探しに行けば良いのだが、追いかけるにしろ、どっちへ行くべきか、どっちへ行くか。

ə~ŋ tui gusərəənduməəri aarŋni-tanii undiisi, uləən-dəə siarasi.  
そう話していて 兄は、あまり 食事も喉に通らない。

ə~ŋ tui taraa undiisi, ĵia čimania təəxə~n, siagoari xaixa~n,  
そうしてから、次の日に 起きた、食事を作った、

siaxa~n tawaŋki-la undiisi pujuurəə-də.  
食べた、それから 煮てから、だ。

əsi-tənii undiisi-ə, tooiči əuxəči siin kiraačiani.  
今、川岸へ下りた、氷の穴の縁の所へ。

ə~ŋ nəuni undiini-goani siin kiraala isixan ĵuəĵiəri kaōjaraxači  
弟は 言うのだ、氷の縁の所に着いた、二人で 立ち止まっていた、

xaosi-daa susuuri-ə murčiməəri. nəuni undii,  
どっちへ 進むべきか 考えて。弟は 言う、

”aqaa~ undiisi-ə, buə əsi ĵuəĵiəri gəə əmĵiəči-maŋa ənəmi ačaasi,” undii,  
「兄さん、私達は今二人で 共に 同じ方向へばかり 行ってはだめだ、」と言う、

”əmu nii xəji~, əmu nii solii ənəmi aja,” undiini,  
「一人が下流へ、一人が上流へ行けばいい、」と言う、

”buə jʊə nii xəji, xəji ənəpi, soliajiala əgəə... əukəwə waaɟaraa~,” undii,  
「私達二人が下流へ行けば、上流の側で義姉を殺すだろう、」と言う、

”ə~ŋ undiisi jʊə nii soli ənəpi xəjiəjələ waarii”-a undiini,  
「二人が上流へ行けば下流で殺すかもしれない、」と言う、

”əsi mii xəji ənəəmbi,” undii, ”sii soli ənəruu”-m-də.  
「今私が下流へ行く、」と言う、「あなたは上流へ行け、」と。

ə~ŋ tawaŋki-la undiisi-ə, susuxən nəuni xəji~ aapni soli-da.  
そこから 出発した、弟は下流へ兄は上流へ、だ。

tui ənəə undə tui ənəmi~ təi nəŋjimə mərgən-gulə  
そうして行くという、そうして行って、その弟の方のムルグンは

tui ənəmi goro ənəkə~ jija ənəkə undiisi-ə,  
そうして行って、遠く行った、近く行った、

əŋ siksə~-lə əm xaiwa, əm xurəən porondoani jookaamba baaxani.  
夕方 ある山の頂上に小さな家を見つけた。

əŋ təi jookaanči-la~ undiisi, tooxani.  
その小さな家へ 上った。

ə~ŋ juŋgum ɟərgomi indani-la wəi~ jəu~ waačia undə,  
狼と赤狼の犬が ワオ~ガウ~と吠えるという、

əusi taas taosi taas taa undə dookiājiala  
こちをパンツとあちをパンツと叩くという、家の中から(犬を叱る声が)

taa taa moraa undə. uikəduəni ɟaparaa iixəni əm puŋjin bičin,  
ターターと叫ぶという。戸を つかんで 入った、一人のプジンがいた、

ojaani ičəmi sama~m gəjə-m ičəuri puŋjin bičini.  
その姿を見るとシャーマン、いかにもシャーマンと見るべきプジンであった。

ə~ŋ čado-la mærgən-gulə undiisi-ə,  
そこで ムルグンは

əŋ aongii-goani            ñaar ñaar    əsi tɔi pūjin-tənii undiisi, ə~ŋ əsi-tənii undii,  
泊まることになるのだ、ゆったりと、今 そのプジンは今、

əñuəji-lə    ʒoan muəji silkoxani-a~ ʒoan xačimba,  
自分の鍋を十の水で洗った、十の種類(の料理の材料)を

iixəni            əñuəçiji ʒoan xačimba    xaaboxani    pujuučixəni  
持って入った、鍋から十種類の食材をすくいあげた、煮た、

əm    dərədu~            tami pujuuxəni. əŋ tɔi    pujuugui,            dai,  
一つの机をいっぱいにして煮た。            彼女が煮ている時には、キセルを、

damxiwa    koŋgororaa buurii-ʒə-m    čawa    dabadala            ənəxən.  
タバコの葉を巻いて    与えるという、キセルに その縁を越えるまで葉を詰めた。

ə~ŋ undii mærgən-gulə, dai,    manami-xəi    əçie omia  
ムルグンは キセルを吸い尽くしは、まだしないうちに、

pūjin    ələə xəmə xəjixan pujuurii, ”ətətə    xatamba pūjimbə,”    murčiiini mærgən.  
プジンはもう全て終えた、煮るのを、「あれれ、何と速いプジンか、」と思う ムルグンは。

ə~ŋ undiisi tui    taraa-la,    xairii-goani.  
そうしてから、どうするのだ。

əsi-tənii siagoi    dərədu~    nəəxəni  
今    食べ物を机に    置いた。

əsi-tənii badosaldo    təəgujjiəri gəsə    siariini-goani undiisi  
今    机の両側に座るや    いなや食べるのだ、

ə~ŋ mærgən aŋmalani pūjin gidalai,    pūjin    aŋmalani mærgən gidalai    tamaari siaxəçi.  
ムルグンの口に    プジンが差し込み、プジンの口に    ムルグンが差し込んだりして食べた。

ə~ŋ tui taraa    undiisi-ə~    pūjin    xairii-goani, pūjin-gulə, mærgən    undiini-goani,  
そうしてから            プジンはどうするのだ、            ムルグンは言うのだ、

”anda~ puĵin undiisi, samam ĵaaroani~ undiisi,  
「ああ、プジンよ、あなたはシャーマンなのだろう、

tooroko tuigaku biäsi-kæ,” undii,  
シャーマンの柱もあるし、生贄を捧げる太い木もある ではないか、」と言う、

”əŋ saman-gola xai saman,  
「シャーマンといっても何が シャーマンなものでしょうか、

gəjən-gulə xai gəjən,” undiini,  
巫者といっても何が 巫者なものでしょうか、」と言う、

”əŋ tulä udəni-kæ duġsiəmbi,” undiini puĵin.  
「中庭の 場所ですぞ 少しタイコを叩くくらいです、」と言う、 プジンは、

”əŋ tæi pərgəruu,” undii, ”mii, ənəjəwə gooja.”  
「それを試してみてください、」と言う、「私が 行く 道のようにすを。」

əŋ undiisi əsi-təni undiisi-ə, ”uŋcuxəmbi ĵapandaroo,” undiini,  
今 「タイコを 取りに行け、」と言う、

”taatakan kurəəndu bii-jə”-m.  
「ほうれその 家の外の壁から煙突までの間の地下の煙道の所にある、」と。

əsi-təni mərgən-təni ənəxəni xaido-daa uŋcuxən-dəə abaa gisil-daa abaa.  
今 ムルグンは 行った、どこにも タイコも なければバチも ない。

”əŋ xaido biini,” undiini.  
「どこに あるんだ!？」と言う。

”əŋ čado biijə,” undii, əm muru muru bii ĵolo,  
「そこに あるわ、」と言う、一つの まん丸な 石が、

əm onimpaali bii ĵolo-daa.  
一つの やや長い形の 石もある。

əŋ tæi-təni kurəəmbəni kuəp kuəp ənəjəni ĵolowa taodaa...  
その 地下に煙道のある所の (土を) バラリと 掘り起こして石を



tadorami ičəičəini-goani uŋčuxumbə.  
引き抜いて 探そうとするのだ、シャーマンのタイコを

ə~ŋ pūjin-gulə undiisi, ənərəə uŋkini,  
プジン は 行ってから 言った、

”əijəm čawa gofjon baaroani nangaáčiroo”-m-da.  
「そう、これよ、これを かまどの方へ 投げろ、」と (言う)。

ə~ŋ əsi-təni undiisi, pūjin-gulə xaiwa taxan-noo kərkičəduji  
今 プジン は 何を したか、 かまどの横の場所で、

əsi-təni tui taijiji gəsə, ”anda mərgən, uŋ, uŋčuxun kaltaaxan,”  
今 そう 言うやいなや、「ああ、ムルグンよ、タイコが石が割れて現れたわ、」と

undii əsi čaŋsop iligoŋiji gəsə ənəmi tatagoxani uŋčuxumbə, əm uŋčuxun bičin.  
言う、今 ガバツと 立つや いなや 行って 引き出した、タイコを、一つのタイコ だった。

təi-təni taŋ toa~n ələə kaltaamula silixəni, əŋ gisilbi-də.  
それは タントア〜と 今にも 割れそうなくらいに 暖められて張っていた、バチも、だ。

gəə pərgəi-goani, əsi-təni təi-lə, pūjin-gulə undiisi  
さあ 試しに 占ってみるのだ、今 その、プジンは、

uŋčuxumbə paačilaini-la undiisi kiadar nərəə~ nərəə taa undə,  
タイコを 叩く、 屋根が ヒラヒラと羽根のように 動く という、

xəəi morapsindii undiisi, kujur boota tuurə undə.  
フ〜イと 叫び出すと、 壁が ボロボロと 崩れ落ちる という。

ə~ŋ mərgən-gulə murčiini, ”ətətə daai samamba, təi, pūjin.”  
ムルグンは 思う、「あれあれ、なんと偉大な シャーマンか、この プジンは。」

ə~ŋ əsi-təni tui jaai~ joowani tui  
今 そうして シャーマンのカムラーニエをする、家を (揺らして) そうして

jaaxan, ”ə~ŋ aaksi-kaa garxianga~,”  
祈った、「ああ、あなたのお兄さんこそは 逆らう者を皆殺しにしてしまうような人だ、」

undii, "soli duačiani ənəxəni aaqjima mərgən,"  
と言う、「上流の末端まで行った、お兄さんの方の ムルグンは、」

ə~ŋ ŋoančiani xaigoi xojiidoji jaaigoini-goani,  
彼(弟のムルグン)については 終える頃に祈って占うのだ、

"əukəmbəsi-tənii~, əi maŋbo xəjələni baljii səlkii saman,  
「あなたの兄嫁は、この大河の下流に 住んでいる スルキーサマン(鳥の様な者)が

pukčuuxəni," undiini.  
さらって行った、」と言う。

"ə~ŋ čimana siun tokon əərduəni~kəə isigoi bǰərəə," undii,  
「明日 太陽が 正午の時刻にはもう 到着する だろう、」と言う、

"moongoji əwəŋki goro anaa," undii, təi ŋoani moongoni.  
「その鳥の住む木はここから 遠くない、」と言う、その彼の 住む木は。

"ə~ŋ ǰapami ǰakpon təilə~, naamami nadan təilə," undii,  
「つかめば 8人 抱えの、抱けば 7人 抱えもの太さだ、」と言う、

"waami moo, biiǰə," undiini,  
「太い 木がある、」と言う、

"əŋ təi moan... moongoji isigoǰjiji gəsə čado siarini," undii,  
「その 木に 着くや いなやそこで 食べてしまう、」と言う、

"tui naja, jaŋkomi.  
「そのようにして人を、引きずって行って。

ə~ŋ undiisi xatan ənəi osini isǰaači-a, əlkəə ənəi osini dobdaasisi,"  
すばやく行くなら 着くでしょう、ゆっくり行くなら 間に合わないわ、」と

undiini, "təi isigoiwani." ə~ŋ tui taraa~ uŋčuxumbi xairaa  
言う、「その鳥が(家の木に) 着くのには。」 そうしてから タイコを

kurəən baaroani naŋgaačigoxani. ə~ŋ ǰolodoji osigoxani uŋčuxuni gisilni-dəə.  
外の煙道の方へ ぶん投げておいた。 また石になってしまった、タイコも バチも、だ。

asi-tənii čado-la aorii aongii-goani, tɔi puʒimbə asigoʒi baaxan.  
今　　そこに 寝る、泊まるのだ、そのプジンに妻として 得た。

ə~ŋ undiisi tui taraa ʒia čimania-tanii təxə~n mərgən ənəi-goani,  
　　そうしてから 次の日に　　起きた、ムルグンは行くのだ、

xai siagoi, siaxan susui-goani, čimii.  
　　食事する、食べた、出発するのだ、朝。

əŋ susuiduəni-tənii əm əʒəkəkəmbə añaalawaŋkini.  
　　出発する時に　一つの お守りの金属製のスウンを　首に掛けさせた。

”əŋ xaigoʒi buuriisi, xaigoʒi-daa añaalaori-a”-m-da.”  
　　「何のためにくれるのか、何のために　首に掛けておくべきなのか、」と（言う）。

”aja~,” undii, ”əi simbiə mənəə bəlčiiʒə,” undii puʒin.  
　　「いいの、」と 言う、「これはあなたを勝手に 助けてくれるわ、」と 言う、プジンは。

ə~ŋ undiisi tawaŋki-la mərgən-gulə tui ənəə undə undiisi-ə,  
　　そこから　ムルグンは　そうして行く　という、

əŋ tui ənəmi~ənəmi undiisi əčie doo... tui ənəə undə,  
　　そうして 行って　行って　　そうして行く　という、

xaido-gdal baaxaci-os soktagoʒi tui ənəmi ənəmi undiisi ə~ŋ xaiwa,  
　　どこで　見つけたのか、スキーを、そうして 行って行って、

təʒə-dəə bičini, daa~i moo bičini, ičəini siunguni əčie toko~a əer undiisi-ə,  
　　本当　　だった、大きな木があった、見るに太陽は　まだ正午の　時になっていない、

əŋ tɔi-tənii undiisi daai moo bičin, waa~mi mooni-goani  
　　それは　　大きな木　　だった、太い　　木なのだ。

təʒə-dəə bičin naamami nadan təile~, ʒakpon... ʒapami ʒakpon təile undii moo.  
　　本当　　だった、抱けば　　七人　抱えの、　　つかめば八人　抱え　　という木だ。

tɔi moo təxəduəni-tənii undiisi, tias nai biəsi-kəə,  
　　その木のふもとには　　ぎっしりと人間があるではないか、

nai nuktəni təgəjum təgəjum bii~,  
人の 髪 の 毛 が ぐによぐによとたくさんあり、

nai girmaksani, nii nai jilini jəggar bii taa undə,  
人の 骨 が、 人の 頭蓋骨 が ゴロゴロとたくさんあつたりする という、

təi-təni nai girmaksani-maŋa sijoarom bii.  
そこは 人間の 骨ばかりで 骨がたくさんころがっている。

”əŋ xaido siriori təi,” xaidoani sirixani.  
「どこに 隠れるべきか、これは、」どこかに 隠れた。

xaidoani baaxani sirigoji čado. ə~ŋ tui taraa~ čado biə undə,  
どこかに 見つけた、隠れる場所を、そこに。 そうしてからそこにいる という、

ələə siun tokon isiidoani-a~ dooljiini əukən jilgani  
もう 太陽が 正午の位置に 着こうという時に、 聞いた、兄嫁の 声が、

songoraa~ moraraa taa undə.  
泣いたり、叫んだり している という。

əŋ aagjiani təpčiuğurə~ mərgən... nəuləni xəjiraa,  
兄さんに 始まって、 ムルグン、弟に 終り、

nəuləni təpčiuğurə aaglani xəjiraa tami songoa undə.  
弟に 始まって 兄に 終つたりして、泣く という。

ə~ŋ tui xəəsimi songoxambi duələni təi-təni undiisi təi,  
そうして 助けを呼んで 泣く そのあげくに、彼女は、

”ərdəŋgə~ waariisi waaroo, siariisi siaroo,” undiini,  
「不思議だわ、殺すなら殺せ、 食べるなら 食べろ、」という、

ə~ŋ ənimbəni amimbani itərimi soia undə... soia undə itəriini-goani,  
鳥の母親と父親の 悪口を言つて罵る という、罵る という、悪口を言うのだ、

xaciŋgəjiani. ə~ŋ undiisi təi-təni undii, ”sinori-a~ xai-daa,” unkin,  
あらゆる罵詈雑言で。 そいつは言う、「うるさいな、何とも、」と言つた、

”əŋ mii-lə, xai nii... xamačaa nii-daa xəm jaakoambi,” undii,  
「オレは、いかなる者でも皆 さらって来たが、」と言う、

”mimbə nai əciə tui soira,” undii, ”simbə-məə~ baaoxan,”  
「オレを 人が こんなに罵った事はなかった、」と言う、「おまえでこそ初めて見つけた、」

undii, ”məəpi tui itərii naiwa, xačingōjiani. ə~ŋ ələ isigoambi,”  
と言う、「我が身を こんなに罵る 者を、ありとあらゆる罵詈雑言で。もう 十分だろう、」

undii, ”mooggoji. əjiane,” undii, ”ələ isigoambi”-m.  
と言う、「我が巢の木に、ちょっと待っておれ、」と言う、「今にも着くから、」と。

əsi-tənii təi əukəni-tənii jilgan-tanii tas xaixa~n, morai-daa morai,  
今 その 兄嫁の 声は ワツと 強くなった、叫びに 叫ぶ、

songoi-daa songoi, ŋoambači xəəsii-də xəəsii əsi-tənii undii təi,  
泣きに 泣く、彼ら(夫と義弟)を 呼びに 呼ぶ、今 言う その、

gasangoji soii-daa soii, ”nimoriloxan... mangalaxambi, nimoriloxambi,” undii,  
鳥を 罵りに 罵る、「居心地が悪い、もう疲れた、もう嫌になった、」と言う、

”siarii osini siaroo, waarii osini waaroo,” undiini.  
「食べるなら 食べろ、殺す なら 殺せ、」と言う。

”ələ~ mooggoji isigoambi,” undiini, ”əjiane-ə”-m-də.  
「もうすぐオレの木に着くからよ、」と言う、「ちょっと待て、」と。

ə~ŋ undiisi tui tami undiisi isigoxani undiisi təi-lə undiisi,  
そうして 着いた、 そいつは

əŋ čuu~ xaido, dolindo bii garadola doogoxani.  
一番 真ん中の所にある 枝に とまった。

ə~ŋ təi-tənii kumbirčə~ taxani.  
そいつは バツ身を ひるがえした。

əukəni-lə kiraado bii, garači-la oonji tərək tui təxən jəs-də.  
兄嫁は 縁に ある、枝へ 仰向けにきっちりとそうして座った、ピツタリと、だ。

ə~ŋ undiisi əsi-təni, əukəni baaroani ŋoŋol ŋoŋol taxani.  
今、 兄嫁の 方へ 首を振り動かしながら迫って来た。

xərə~ undiisi, əukəni toxoni-la boor tuuriwəni  
ああ~, 兄嫁の 服のボタンが ちぎれて落ちて来るのを、

xoroji alixani xəm xoročiani tuuxəni.  
(そこへ) 手のひらを 差し出した、全部 掬う形にすぼめた手のひらの中へ 落ちた。

ə~ŋ murčiini-goani, əi tui ičəjəi... tui ərdəŋgəsimi ičəjəmi undiisi,  
考えているのだ、 そうして面白がって 見ていながら、

əukəmbi waadala~ ərdəŋgəsimi, xai ərdəŋgəni baaxani əədən.  
兄嫁が 殺されそうになるまで面白がって、何に面白さを 見つけたんだか、バカだねえ。

ə~ŋ mərəŋ mərəpsinikini, "ə səlkii sama~n undiisi,  
ムルグンは 叫び出した、「おおい、スルキーサマンよ、

əukəmbiə siagoi tami-daa, uləŋ ičəguruu," undii, "əusi.  
私の兄嫁を 食べようとしているようだが、良く 見ろ、」 と言う、「こっちを。

əŋ mimbə, saarasijji dolbalaxani unjəəči-mə"-m-də.  
私を、 知らずにいたら 不意打ちを食らったなどと 後で言うだろうからな、と、

"ələ-dəə~ isixaso," undiini.  
「もう 到着したんだからな、」 と言う。

"ə~ŋ undiisi əjənə," undii, "mii tətuksəgugujə"-m-də.  
「ちょっと待て、」 と言う、「ワシは 着替えるから、」 と。

təi-təni, muggii muggii muggii muggii bəjəji tui gasa-la tui tuiŋkuə undii  
そいつは、 体を左右に揺すって着替える、自分の体を、 そうして鳥は そう動く という。

təi-təni undiisi-ə, ə~ŋ mərəŋ ičəini-lə čilu~ čilu sələ-maŋa,  
そいつは ムルグンが 見るに、ツルツルの 鉄ばかりの体になった、

"gəə, ičəguruu." "ičəguəmbi," undii, əsi uləŋgugijəni,  
「さあ、見ろ。」 「よし、見てやるぞ、」 と言う、今 良く (見る)、

ñoani baaroani-tanii nasaji ñooigan... sooigan ičəguxən təi gasa-tanii-da.  
彼の 方を、 その目は 黄色く、睨んでいた、その 鳥は、だ。

əlæ pukčui-nuu xai-noo-da. ”ə~ŋ ičəguruu,” undiini,  
今にも 襲いかかってくるだろうか、 どうだろうか。 「見ろ、」と 言う、

ə~ŋ ičəguxən təi-təni undiisi-ə xai, mərgən ičəini-təni əi xooriando...  
見た、 そいつは、 ムルグンが見るに、

əi xooriandolani-tanii, təŋ toŋgilianda undə, tui taraa uŋkini,  
その 眉間の所だけは、 ただ ゆらめいて柔らかかそうに見える という、 そうして 言った、

”ə ʒabdoə~n undiisi sii, mii amimbi ʒabdon-daa biəsi-ə~,  
「さあ 矢じりよ (大型獣用の)、 おまえは、 私の 父の 矢じりでもない、

ənimbi-təni, ʒab... olbiŋkin-daa biəsi,” undii,  
母親が 持ってきた物でもない、」と 言う、

”amimbi ənini-təni, ɟiamata ʒiɟuido olbiŋkini-a,” undii,  
「父の 母が、 嫁に 来た時に 持ってきた物だ、」と 言う、

”mii-lə, olbiŋkin ʒabdon taači-a”-m-da.  
「私が、 持ってきた 矢じり なのだ (おまえは、)」と 言う。

”təi toŋgiliandolani, tap iirə, oŋbolani agbiŋgoraa ʒuə xaini,  
「あの 眉間の柔らかい所へ、 ブスッと 刺さって、 奴の尻の所から 現れて、 二つの、

əini əini tui, tui ačəgoidoani xoigoroo”-m-da.  
(矢の) こっちの端と こっちの端が こうして、 くつつくように 折れ曲がれ、」と 言う。

ə~ŋ tui urni ñoočaalaxani, xai-tanii... ñoočaalaxani... ləkələxəni.  
そう 言って 矢を撃った、 撃った、 射た。

təi-təni tas~ ɟarpaini təi-lə undiisi, poŋgaliəciɟ tuukə undə,  
それは ビシッと 射抜く、 そいつは 折り曲げられてコロリと 落ちた という、

ə~ŋ undiisi-ə, naači tuuxənduəni-təni ənəɟiɟi ɟəsə undiisi  
地面に 落ちた時に そこへ行くやいなや

ə~ŋ gidəji-la gidačixani, əŋ gəl abanaxan, tui taraa əsi xaigoka undə,  
槍で 突き刺した、フツと 消えてなくなった、そうしてから今 どうしたという、

dorkinǰjala-o~ ǰaraligoxani, ”ə~ŋ mii-lə~ undiisi-ə,  
冥界の側から 話し出した、 「ワシは、

simbiə-lə tui mæpi dolbalǰaraa~m əčiə murčiaja,” undii,  
おまえが こうも ワシを 一気にやっつけてしまうとは思わなかった、」 という、

”ə~ŋ ambaa~n səwəən xojoodoani ǰooji~ tæji  
「魔物と スウンの 力で運んでもらって 我が家へ 自分の村へ

isigoori-noo abaa-noo,” uŋkin, ə~ŋ undiisi, tui taraa  
着けるだろうか、ダメだろうか、」 と言った、 そうしてから

”burmi-o~ balǰimi-o ui daalǰikoso,” tui uŋkin, tui uŋkinduəni,  
「死のうが 生きようが 誰に 関係があろう、」 と そう言った、 そう 言った時に、

əsi-təni əukəni xooni tugbuguuri toomi kətu-dəə waami,  
今 兄嫁を どうやって 下ろすべきだろうか、 登るには あまりに 太い、

xooni tugbuguuri taosi toopi.  
また どうやって 下ろしたらいいだろうか、 あそこに 登れたとしても。

ə~ŋ xaila, ǰabdombi nəučəi-dəə ǰaasigoxani aliokaambani čado-tanii  
矢じりを しまつてあるのを よく見た、 革製の 小さな袋の中を、 そこに、

undiisi, ə~ŋ əm biaktaakaamba baaxani.  
一本の 先の部分だけ 樹皮を残した 柳の 細枝製の 矢を 見つけた。

ə~ŋ tui taraa buriduji tui nəəkuxən ləkəkəəmbə-lə undiisi,  
そうしてから 弓に そうして つがえた、 その 小さな 矢を、

”əə biaktaa~ undiisi, əukəmbi čurǰnu~ əusi tugbuguruu,” umi xaixani, ləkəələxəni.  
「さあ、 柳の 矢よ、 兄嫁を 完全に ここへ 下ろせ、」 と 言って、 どうした、 射た。

əukən-təni undiisi, tui xooni biǰi xooni biǰi~ tui gaǰo... tuuguxəni,  
兄嫁は、 そうして そのように いた、 その まんまで、 そうして 下りて来た、



jakpačiji, gə əsi-tənii əukən-tənii naamarjka~p songgoi-goani əsi-tənii,  
自分の側へ、さあ今 兄嫁は 抱きつくやいなや 泣くのだ、今、

ə~ŋ undiisi-ə, əsi-tənii xooni, əukəni,  
今 どんなだったか、兄嫁は、

tətuəni osini xəm toxon anaa nəre nəre osixa~n,  
その服ときたら、全部 ボタンもなく、ヒラヒラとなっていた、

ə~ŋ undiisi xai, læmikəəŋji otaŋji, čarakon-maa biini-goani bai,  
スリッパを 靴としていて、ほとんど素足の 状態であるのだ、ただの、

joogdo tasičai læmikəəni otani.  
家で 身につけているスリッパを靴としている。

ə~ŋ undiisi, təi biaktaadoji-tanii,  
その 柳の矢に、

”əukən, əi biaktaakaan ojalani təəruu,” undii, ”xooni təəuri,” undii,  
「兄嫁よ、この柳の矢の 上に 座れ、」と言う、「どうやって座るの、」と言う、

”tui nəmdə.” ”aja~, təerii-mət osiroo,” undii,  
「こんなに細いの。」 「いいから、座るような格好に なれ、」と言う、

”mənə əi əə biakta~ undiisi, mii asičijja əukən, əukəmbi iragoroo,”  
「勝手にこれが、さあ柳の矢よ、 私の妻の所へ 兄嫁を 運べ、」と

uŋkin, ”ə~ŋ əm purumsə purumsə-də əji goxoloanda,  
言った、 「一つのゴミ、 ゴミさえも うっかり触れたりしないようにせよ、

əm urəktəkəəmbə-də əji dapsikaaloanda,” uŋkin,  
一本の小さな柳の枝でさえも 決して ひっかからせないようにしろ、」と 言った、

”əŋ tərənŋi uləŋji iragoroo”-m, ”əukən, asičijja.”  
「そのまま良く 運べ、」と、「兄嫁を、私の妻の所へ。」

əŋ tui umi ləkəələxəni. ə~ŋ əsi-tənii undiisi ənəi-goani ŋuləsi.  
そう 言って 射た。 今 行くのだ、さらに先へ。

asi-tənii tawaŋki-la ənəpsiqkini-ə~ maŋboči əugupi tui ənəmi ənəmi undiisi  
今　そこから　行き始めた、大河へ　下りると　そうして　行って行って、

maŋboči isigoxani undiisi, tawaŋki-la tui　ənəmi~ ənəmi,  
大河へ　着いたら、　そこから　そうして　行って~ 行って、

xailoo daai irgən bičün modambi xoolimi　　biə undə undiisi  
なんとも　大きな村が　あった、その村の端は川に沿って曲がって伸びている　という、

ə~ŋ təi-lə, əjə~n xaandoani-la　　undiisi,  
その、主たる長（の家）には、

əŋ joan nii iigui~, joan nii niəgui taa　　undə　　mərgən-gulə tooxani, mədəsiini,  
十人　入ったり、十人　出たりしている　という、ムルグンは　上った、訊ねる、

”ə~ŋ əjən mapa　　manga, əjən mapa ələə　　budijə,” undii, ”maŋgani-a”-m-da.  
「主人の　じいさんが　重症だ、主人の　爺が　今にも　死ぬ、」　と言う、「危篤だ、」と。

ə~ŋ uikədu xai-daa taŋto anaa iixəni, nixəlirəə... tataraa-da.  
戸口を　何も　挨拶も　なしに　入った、　　引っ張って開けてから、だ。

nai palambani taktočimi　　iirri-goani lur-da.  
人の　床を　　土足で踏みつけて　入るのだ、まっすぐに、だ。

əŋ əriə~x əriəx　　miŋgučiə　　undə,  
ウン　ウンと　唸っている　という、

puksun　　nakan　　tokondoani-la undiisi jaŋpamba čiaxači.  
右側の席の　オンドルの　真ん中に　　蚊帳を　　吊ってあった。

əŋ mərgən-gulə iirijiji gasə　　undiisi ə~ŋ jaŋpanči iirii,  
ムルグンは　入るやいなや　　蚊帳へ　入る、

iimi undiisi ə~ŋ təi ləkəji　　tui　　očogoxandoani-tanii jaŋagojiji gasə,  
入って　　あの　自分の矢を　あのようになっていたのを　　つかむや　いなや、

tui tui tui jəujəumi-lə, loap　　tatagoxani. ə~ŋ səlkii saman budəə xəjixani.  
こうして　揺り動かして、ズバツと　引き抜いた。スルキーサマンは　死んで　終りとなった。

ə~ŋ əsi-tənii asini-la songoi-goani.

今 妻は 泣くのだ。

ə~ŋ mǝrgəmbə-lə, "əni ɔjogoija, əni ɔjogoija," undii,

ムルグンに、「キスしてあげよう、キスしてあげよう、」と言う、

təi-tənii səlēmə moljiiwa-tanii əi əələji doolani ʒajakaačiini bičini.

そいつは 鉄製の 真皮を擦り取る時の支えにする棒を この 裾の 下に 隠しているのだった。

əŋ mǝrgən-gulə undii, ŋaalani loap tatajiji gəsə

ムルグンは その手を ガツと 引き寄せるやいなや

ñoambani paačilaini čado-baki ənəjjəni.

彼女を 叩く、 その場で 息絶えてしまうように。

ə~ŋ tui taraa undiisi tawaŋki niəguxəni undiisi təə dujələni-lə əm ʒoo bičini.

そうしてから そこから 出た、 ほうれその 山の方に 一軒の 家があった。

əŋ daaija~ ʒoo undiisi-ə, əŋ taosi tooxani uikəduəni ʒaparaa iixəni.

大きな 家だ、 そっちへ 上った、 戸を つかんで 入った。

təi səlki samān puʒjini-lə undiisi ə~ŋ xailoo uləən puʒin bičini undiisi,

その スルキーサマンの プジンは 何とも 良い プジン だった、

əŋ nai kaarmaajin nəučəini tui-goani, təi-tənii undiisi-ə, xai, xai,

人の すごい 別嬪を とって いたのは その ようであるのだ、

təi-tənii mǝrgəmbə ičəjjiji gəsə undiisi, sələ~ ñoolo ənəxəni songoçixani,

彼女は ムルグンを見るやいなや、 赤くなったり 青く なって、 泣いた、

doola boala biə undə songoxani-la. əŋ mǝrgən-gulə ajaktalaxani,

心の中も 外見も そうである という、 泣いた。 ムルグンは 怒った。

"anda~ mǝrgən undiisi, ajaktalai osini ajaktalaroo~,

「ああ、ムルグンよ、 怒る なら 怒れ、

čigjii osini čigjiruu," unkin, "poloandoji busəsigujəwə."

腹を立てる なら、 腹を立てろ、」と言った、「まだ体温があるうちは なんとかしますわ。」

əŋ tɔi-lə puʃin gursul, əŋ tui xaaraa osiogoʃiji gəsə əsi-təniɪ undiisi-ə,  
その プジンは、 そうしてちょっと 落ちつくやいなや、 今

xai-daa, gogdalaʃjiani-la xaiwa, koŋgoroa koŋgorolaxani-a~  
やや高く、 タバコの 葉を 巻いた、

dargoan onilani daidoji-la  
チジャン網を干すのに使う長い竿ほどの長さに (タバコの葉を) キセルに、

undiisi-ə, ə~ŋ gogdāji koŋgorolaraa buuxəni undiisi, iraini-goani.  
高く 葉を巻いてから 渡した、 運んで行くのだ。

ʃapaadaasi, tɔi mɛrgən-təniɪ pakaa~ pakaa ajaktalaxani bičɪn tɔi puʃin baaroani.  
手に取りもしない、 その ムルグンは真っ赤になって怒っていた、 その プジンの方へ。

əŋ puʃin ičəini pakaa pakaa biini-goani.  
プジンが見るに、 真っ赤になっているのだ。

ə~ŋ ʃapaadaasi koloo koloo go... guəptəini guči taawogoraa guči iragoi,  
つかみもしない、 黙っている、 火が消えると、 また 火を点けてまた 運んで来る、

ə~ŋ ilaačiji modan iragoočiani mɛrgən-gulə lapoa~ ʃapaxan daiwani.  
三 度目に 運んで来ると ムルグンは バツと つかんだ、 キセルを。

əŋ ʃapaʃjiani gəsə puʃin-gulə undiisi ənuəčiji ənəmi əsi kotarigda ʃoboi-goani,  
彼がつかむと すぐ プジンは 自分の鍋の所へ 行って 今 ガタガタと 立ち働くのだ、

əŋ silkočigoi-daa, əŋ ʃoan muə silkoxani, ʃoan muəʃi, xai,  
洗うのも、 十の 水で洗った、 十の 水で、

silkoaxani tɔi-təniɪ undiisi əm, ʃoan xačimba xaaboi... iigui,  
洗った、 彼女は、 十 種類の料理を すくいあげ、

ʃoan xačimba xaabogoi tami dərədu~ xaixani.  
十 種類の料理を すくいあげたりして、 机いっぱい に 料理を並べた。

əŋ puʃin ičəini tɔi mɛrgən ajaktalaxan-taniɪ tɔi damxija,  
プジンが見るに その ムルグンが 怒っていたのは、 その タバコを

omiini-tanii, əm modan tataini xaaraa~,  
吸ううちに、一回 吸うと少し落ちつき、

ʃia modan tataini xaaraa~ osiogoxani.  
二度目に吸うともっと落ちつき、という具合になってきた。

əsi-tənii mæn murun, mæn boikōjji očogoxani,  
今 いつもの自分の心に、いつもの自分の顔の色になった、

paka paka biini xəm abanaxoxan bičini.  
真っ赤で あったのは全て 無くなったのだった。

ə~ŋ tui taraa təi puʃin-tənii undiisi təi mærgəmbə, siagoani xairii-goani,  
そうしてからそのプジン、そのムルグンに、その食事をすすめるのだ、

əsi-tənii xaigoi, "anda~ mærgən undiisi, əji miŋji ajaktalara," undiini-goani,  
今、 「ああ、ムルグンよ、私に腹を立てるな、」と 言うのだ、

"əji orkisira"-m-da, "ə~ŋ amaa əñə buikimbəni,  
「悪く思うな、」と、 「父さんと母さんが死んだのを、

guʃjəsimi soŋgočixambi-tanii," undii,  
衰れに思っ泣いたんです、」と 言う、

"amaa-la mənə orkinduji mənə budəi-goani," undiini,  
「父さんは自らの悪行のせいで勝手に死んだんです、」と 言う、

"əŋ naiji uliksəŋguʃi, naiji xaŋgōji bəjuŋguʃi balʃiori,  
「人間で食べる肉として、人間で 食べる獣として暮らしていたのですから、

əmbəə nii bundui masi-daa oʃaa-ma"-m-da.  
一人くらい 私たちより 強い人だって 現れるでしょう、」と。

"ə~ŋ əñə guʃjələni-tənii," undiini.  
「母さんが かわいそうなんです、」と 言う。

ə~ŋ əsi-tənii undiisi badosal tægukəp siarii-goani,  
今 机の両側に 座って 食べるのだ、

siami xõjijiji gəsə, əŋ mærgən undiini-goani, "gəsə daligoro," undii,  
食べ 終えるやいなや、ムルグンは言うのだ、「さあ、人々を連れて来い、」と言う、

"naija, gəsə siandagoro-m ənuguuri."  
「人々、さあ 食べに来い、と。 この地を去ろう、」と。

əŋ puĵin-gulə undiisi ə~ŋ sələmə urəktə ĵapagoĵiji gəsə boaci paĵjalaxan.  
プジン は 鉄製の 細枝をつかむや いなや 外へ 駆け出した。

əsi-tənii undiisi-ə, puĵin-gulə xəjiji soliji sələmə urəktəji tutuxəni-ə~  
今 プジンは 下流と 上流を 鉄製の 細枝を持って 走り回った、

siksə~ isigoxani iiguxəni.  
夕方、 到着した、 家に入って来た。

iiguĵiji gəsə xaisi siagoi puĵuuxə~n, əsi-tənii undiisi-ə,  
入るや いなや、 再び 食べ物を 煮た、 今

"əŋ ċimana, sĵun tokondo xəm nai əumi xõjii-ja," undii,  
「明日、 太陽が 南中する時には 全ての 人々が 岸に下り 終わります、」と言う、

ə~ŋ tajaala əsi əsi-lə undiisi  
そこで 今、 今、

siagoi puĵuuxə~n ələə siksəguxən undiisi ixərə taawogoxan,  
食べ物を 煮た、 もう 日が暮れた、 灯りを 点けた、

əsi-tənii siaxaal undiisi, badosal tægupəəri siarii-goani,  
今 食べた、 机の両側に 座ると 食べるのだ、

mærgən, aŋmalani puĵin gidalai,  
ムルグンの 口に プジンが さじを入れて 食べさせてやり、

puĵin aŋmalani mærgən gidalai tamaari siaxāci.  
プジンの 口に ムルグンが 差し込んだりして 食べた。

ə~ŋ siksəguxən tæi-mət puĵin-gulə xaali-daa əĵiləəċixəmbi-əċiə,  
日が暮れた、 その プジンは 今までずっといつも 夫婦であったかのように、

aogoani səkčiuguijiji gəə čimi čimia ʔakpači apsindagoxani.  
寝具を敷くや いなや 毛布を頭から引っ被って 側へ 横になりに来た。

ə~ŋ ʔia čimani ɳaa~r aoxaal, tui taraa nai, siaxa~n xaixan,  
次の日は ゆっくりと寝た、そうしてから人は、食べた、どうした、

siun tokon ələə isii, əsi-tənii undiisi tawaŋki-la undiisi ʔjui-goani xamasi.  
太陽は正午にもう着く、今 そこから 戻って行くのだ、後ろへ。

təi irgəmbə daligomaari tui gaəʔoi-goani~, tui ʔjɯməri ʔjɯməri undiisi,  
その村を 率いて そうして引き連れて行くのだ、そうして戻って 戻って、

əŋ təi xurəən porondoani bii asiji baogoxa~n undiisi  
あの山の 頂上に ある自分の妻に再会した、

tawaŋki-la undiisi təi puʔin, təi-dəə puʔin-dəə undiisi  
そこから そのプジン、そのプジンにも

ə~ təi xurəən bičin-tənii irgən bičini.  
その山の中にあった。村があった。

irgəmbə ʔaičaxani. irgəmbi agbiŋgoxani undiisi tawaŋki-la undiisi-ə,  
村を 隠していた。その村を外に現した、 それから

əŋ čawa tui daligomaari ʔjui-goani.  
それをも そうして率いて 戻るのだ。

ə~ŋ tui ʔjɯmi~ ʔjɯmi ʔooji isigoxani. aarɳi-la abaa.  
そうして戻って~戻って 自分の家に着いた。兄は いなかった

əsi-tənii undiisi ʔooji-tanii baŋsalaxan ʔoan daa ʔoo xujun daa xulbu osiogoʔjiani.  
今 自分の家を蹴っ飛ばした、十尋の家、九尋の土小屋となるように。

ə~ŋ xəji soli naawa-la baŋsačixan-tanii,  
下流と上流の大地を 蹴っ飛ばした、

ʔiakta-tanii tui əmutu tui turɳur-mə ənəxəni  
草の根っ子が そうしてまるで そうして 雪だるまが転がって大きくなるようになった、

xəjji soliji-daa modamba xoolimi.

下流も上流も その端は 大河を迂回して。

əsi-tənii mǝrgən-tənii tutui-goani daaŋji giraŋkin daai ʒoo~,  
今 ムルグンは 走るのだ、大きく 跨いならば大きな 家が、

nuučji giraŋkin nuuči ʒoo osixan.  
小さく 跨いならば小さな 家が できた。

tui taraa undiisi tooči əgureə undii... moraini-goani,  
そうしてから 川岸へ 下りてから 叫ぶのだ、

”gəə~ gərən gursəl undiisi, toorooso,” uŋkin,  
「さあ、人々、者どもよ、 上れ、」と 言った、

”əŋji nii~ daai ʒookči, oi nii nuuči ʒookči toorooso,” undiini.  
「たくさんの 者は 大きな 家へ、 少ない 者たちは 小さな 家へ 上れ、」と 言う。

ə~si-tənii əlčiūsəl-tənii aɡdaxači ʒəə-nuu,  
今 奴隷たちが 喜んだことと いったら 並みだろうか、

”əi-tənii əjən mǝrgən-tənii əjə~n undiisi, buə-tənii ʒimæri gasaxapo,” undii,  
「この 主人の ムルグンこそ、 真の 主人だ、 我々は やって来て 嘆いていた、」と 言う、

”xaali ʒoogoji arɡoori-a, ələə bologoi.”  
「いつになったら 自分たちの 家を作ることができるだろうか、 もう 秋になるというのに。」

ə~ŋ əsi-tənii, čado əm xadolta ʒoogdoji bičin. əsi-tənii aarŋni xaisi abaa.  
今 そこで 数日 家に いた。今 兄は なおも 帰らない。

”aagbi gələndəgumi aja,” undii, ”xai udəwə naiji sorimi pulsiini-u~s,  
「兄さんを探しに行かなければ、」と 言う、「どこら 辺を 人と 戦って 歩き回っているのか、

xaido nai udəwə nai sorimi pulsiini-us.”  
どこで 人の 場所を 人と 戦って 歩き回っているのだろうか。」

əsi-tənii tawaŋki-la marbo soli ənəpsinkini mǝrgən-gulə.  
今 そこから 大河を 上流へ 出発した、 ムルグンは。



tui ənəmi~ənəmi boa boadoi irgəmbə xətəmi ənəxəni bičini  
そうして行って 行って、いろんな場所で村を 打ち負かして先へ行っていったのだった、

xado xado irgəmbə aapni-la undiisi naija waami garalami-la, asiji gələgumi.  
いくつもの村を 兄は 人を殺して 制裁して、妻を捜し求めながら。

əŋ tui ənəmi~ənəmi-lə baariini əsi aapni nai sorimi~biə undə,  
そうして行って~行って 見つける、今 兄は 人と戦って いるという、

isixa~n undiisi-ə, ə~ŋ tətənii undiisi-ə, tətəi naija waariini-goani,  
到着した、 彼は その人を殺しているのだ、

ələə waariini, nai sorii nii.  
今にも殺そうとしている、人を、戦っている人を。

”agaa~ undiisi əukəwə baogokaja,” undii, ”joogdo bii-jə”-m-də.  
「兄さん、 兄嫁を見つけました、」と言う、「家に います、」と。

”gəə, ələə, ənuguuri,” undii, ”xai najjani mafjalaorini,”  
「さあ、もう十分です、帰りましょう、」と言う、「どうして人を 全滅させるべきか、」と

undiini-goani. əsi-tənii tawaŋki xamasi j̄j̄j̄ui-goani xai,  
言うのだ。 今 そこから 後ろへ 戻るのだ、

j̄j̄okčiji-a tətəi irgəmbə daligomaari tui j̄j̄j̄ui~tui j̄j̄j̄ui undiisi,  
家へ、 その村を 率いて そうして戻る、そうして戻る、

j̄j̄ooji boarbani isigoxa~n əsi-tənii undiisi-ə,  
自分の家の 地域に 着いた、 今

əŋ tətəi gaəj̄oxambani irgəmbi-tənii duj̄ə j̄j̄ərgidu osiowaaŋkin undiisi  
その率いて来たのを、その村を 山の方の通りに 落ちつかせた、

tado-daa tui, barsačii-goani tətəi nəuni tui, naawa.  
そこでも ああして、何度も蹴つ飛ばすのだ、その弟は そうして、大地を。

tui taraa tutuxənduəni j̄j̄oo osixan. əsi-tənii xaisi, tui bafj̄ii~,  
そうしてから 走った時には 家が出来た。今 再び、そうして暮らす、

”əǰji gurun ʒoo, daai ʒookçi toorooso~,  
「たくさんの人たちは、大きな家へ上れ、

oi gurun nuuci ʒookçi toorooso”-m moraxani-goani.  
少ない者たちは小さな家へ上れ。」と叫んだのだ。

xəm tooxan, əsi-tənii tui balʒii-goani,  
皆上った、今そうして暮らしているのだ、

əsi-tənii tui waaičamaari balʒii~ tət-tənii, xai,  
今そうして狩りをして暮らす、それは、

tui balʒiidoani undiisi ə~ŋ aarɲi-daa bəjumbə waarii,  
そうして暮らす時に兄も獣を獲る、

əlçiusəl-tənii tuəguučiani undiisi, para, piaxani mañaarijiani~,  
奴隷たちは冬になると、橈が、その足の部分が磨り減ってしまうほどに、

ʒoagoočiani sogdatawa waaxambači osini,  
また夏になって魚を捕ったなら、

tətuəwəri xəm aaliijiani  
服(の肩の部分)が全部擦り切れてしまうほどに(それほどにたくさん獲った)、

tui tooboiči-goani, gərə~n əlçiusəl,  
そうして岸から持って上がるのだ、人々、奴隷たちは、

siagoani tui waamaari tui balʒiloxan  
食べる物をそのように獲ってそうして暮らし始めた、

goro~ bičə~ jija~ bičə~ ələə. ələə-goani.  
長いこといた、短いこといた、終り。終わりなのだ。

2000年4月3日 ダエルガ村にて録音  
N. B. Gejker 氏 口述

5. ʒuə naonʒokaan balʒixači  
二人の少年が 暮らしていた

ə~ŋ undiisi əm ʒoo doolani ʒuə naonʒokaan balʒixači.  
ある家の中に 二人の少年が 暮らしていた。

si~nəjiči-goani amini-daa anaa ənini-dəə anaa aŋga ʒaka.  
貧乏しているのだ、父親も なく、母親も いない、孤児だ。

tui taraa~ tui biəl undə. siagoari-daa baarasi-a~,  
そうしてから、そうしているという。食べ物も 見つけられない、

tui əruuləməri biči-goani.  
そのように悪い暮らしをしているのだ。

tui biməri-ə ambaan daaikaanči-goani urəxəči.  
そうして、 やや 大きく 育った。

əsi-tənii, aŋni undiini nəučji, "mimbə waaraa siaroo," undiini-goani.  
今、 兄は 言う、弟へ、「オレを 殺して 食べろ、」と言うのだ。

nəuni undiini, "xooni siaori," undiini,  
弟は 言う、「どうやって 食べるというの、」と言う、

"aagbi. mii-kəə waarasimbi," undii, undiini,  
「自分の兄を。僕は 殺さないよ、」と言う、言う、

"sii mimbə waarasisi, mii simbə waəjaambi," undiini aŋni.  
「おまえが オレを 殺さないなら、オレがおまえを 殺すぞ、」と言う、兄は

əsi-tənii tui taraa siksə apsiŋgoidoji undii, "waaxaari," undiini-goani,  
今 そうしてから 夕方 寝る時に 言う、「殺せ、」と言うのだ、

"mimbə, əsi-tənii mii oŋsaočijja."  
「オレを、今 オレが 眠り込んだら。」

naonjokaan-tanii, čimii tæxæn, xaisi ujuukææn tæguxæči-goani,  
少年は 朝 起きた、まだ 生きている、起きたのだ、

tui æruulæči-goani, xaiwa-daa siagoari-daa baarasi,  
そうして 悪い暮らしをしているのだ、何も 食べる物も 見つからず、

xaiwa siamaari biiči-us.  
何を 食べて いるのか。

æŋ əsi-tənii tui, juæ modan uŋkin, yʒe tui  
今 そうして、二回 言った、もう そうして

xaisi ujuukææn čimii tæguxæn. əsi ilaačii siksə aarŋi undiini-goani,  
再び 生きていて 朝 起きた。今 三日目の夕方 兄は 言うのだ、

”əsi čimii tægumi ujuun osini, mii simbiə waājaambi,” undiini.  
「今朝 起きて 生きている なら、オレはおまえを 殺す、」と 言う。

əsi-tənii tɔi waagoji xaigoji-daa kučæŋguji-dæ čæk næxæn, aarŋi.  
今 その 殺すために、 そのためのナイフも きちんと 置いた、兄は。

čæk næxæni-goani, ”uliksəwə, ŋaala bəgjiwə čaasora, uliksəwə siaori-a,”  
きちんと 置いたのだ、「肉を、 手と 足を 切ってから、肉を 食べるのだ、」と

undiini, ”aja”-m-da. nəuni undii, ”xooni waaori,” undii,  
言う、「良いか、」と。弟は 言う、「どうして 殺せようか、」と 言う、

”mææn aagbi. xooni uliksəwə siaori,” undiini-goani,  
「自分の 兄を。どうして 肉を 食べたりなどできようか、」と 言うのだ、

”waraa-da. mii-kæ ačaasi,” undiini-goani,  
「殺してから、だ。僕は だめだ、できない、」と 言うのだ、

”mii simbiə waami mutæsimbi, aagbi xooni waaori.”  
「僕はあなたを 殺すことなどできない、自分の兄を どうして 殺せよう、」と。

əsi-tənii tui spoopi-laxan, tui taraa apsiŋgoxæči-goani.  
今 そうして 言い争った、 そうしてから 横になったのだ。

naoŋjokaan-tanii aagbi oŋasaini-tanii əsi-təni  
少年は 兄が 眠り込んでしまうと今、

wa~isi paŋjalaxani-goani muə baaroani.  
川岸へと 駆け出したのだ、川の方へ。

tui tutumi ənəxən, muəci taporigda too... iixən, əsi-təni əlbusimi,  
そうして 走って行った、水の中へ ボチャリと 入った、今 水を被って、

paorimi otoliasi УТОНУЛ, xooni taxani-os xooni taxani, xaončok ənəxəni.  
泳ぐこともできない、溺れた、どう したのか、どう なったのか、気を 失った。

tui tapi-o~ saagoxani-goani naoŋjokaan, əm, boado~ sapsi kiraado aoriilaji-a-da.  
そうすると、気がついたのだ、少年は、ある、場所に、岸べに 寝ている所であった。

bəjəji xəm tuiŋkuini xəm aja, нормальный.  
体は 全部 動く、全部 いい、大丈夫だ。

ʃilini-daa aja, ŋaalani-daa aja, bəjʃini-dəə aja.  
頭も 大丈夫、手も 大丈夫、足も 大丈夫だ。

təəgureə ičəini təə dujələ əm ʃoo biini. təi ʃookci iixəni.  
起きて 見るに ほうれあの 山の方に 一軒の家がある。その家へ 入った。

giŋdə giŋdə biini xai-daada abaa. palan tokondoani-tanii,  
家具などがさっぱりとない、何も ない。床の 真ん中に、

əm dərə, ʃuə bandaan.  
一つの机、二つの椅子。

čado-tanii ʃuə koči, əm tukuru-us, xai araki, xoo arakini-da.  
そこには 二つの盃、一本の徳利だか、酒だか、一瓶の酒、だ。

”xaido siriori,” murčiini-goani təi naoŋjokaan, xai-daada baawasi,  
「どこに隠れよう、」と考えるのだ、その少年は、何も 見つからない、

чистый-ni-goani nai ʃoondoani xamačaa-daa abaa  
きれいに何も ないのだ、人の家には 何も ない、

xaido siriguji-dæ baawasi.  
どこにも隠れる場所も見つからない。

æsi-tænii dære pægiælani apsiŋkin naonjokaan xumæsikæ~n aoriigoji,  
今 机の下に 横になった、少年は うつ伏せに 寝るように、

”bii osini-tænii mædæwæ dooljiori-a,” murčiini.  
「何かあるなら、情報を 聞くべきだ、」と 考えた。

tui aoriidoani-a~la siksæ~lə, æm moŋoo jījuxæn.  
そうして 寝ている時に 夕方、 一匹の猿が 戻って来た。

tui aoriidoani~ æm xai jījuxæni, æm mapa, puræen mapani.  
そうして 寝ている時に、一匹の何が 戻って来た、一匹のクマ、森の クマが。

æsi-tænii tui xairii~, gusæreændui gæse undiini, puŋgičiči, ”nai puuni,” undiini.  
今 そうして、話を する、共に 言う、匂いを 嗅ぐ、「人間の 匂いだ、」と 言う。

”xai nii jičini puuni,” guči ičæguxæn. ”xaido-daa abaa,” undiči.  
「何者が 来た 匂いか、」と また 見た、 「どこにも いないぞ、」と 彼らは 言う。

”xai-daa abaa.” tui taraa tæi mædæsiini-goani, tæi aakčiji næu,  
「何にも いない。」そうして してから そいつは 訊くのだ、 その 兄へ 弟が、

tæi juæ nii, ”anda~,” undii, ”sii æiniæ pulsimi xai-daa dooljiačisi-noo,”  
その 二人は、「おい、」と 言う、「おまえは 今日 歩き回って、何か 聞いたか、」

undii, ”tæi, mii dooljixa~n,” tæi ænjijæ undii,  
と 言う、「オレは 聞いたぞ、」と その 片方が 言う、

tæi ænjijæ-tænii, ”mii-dæ dooljixa~n.” ”æi maŋbo xæjælæni bii-jæ,” undii,  
その もう片方は、「オレも 聞いたぞ、」と。「この 大河の 下流に いる、」と 言う、

”æm xoton, naini. æləæ muæji, xakomaari budii-jæ,” undii,  
「ある 街の、人々。今にも 水で、 渴きで 死ぬ、」と 言う、

”muæ xaso~ xaso abaani, undii, xaido-daa muæ abaani-a”-m-da.  
「水が たった一滴も ない、 言う、どこにも 水がない、」と。

”nai-tanii muəwə gələməəri pulsiiči-ə~,” undii,  
「人々は 水を 求めて 歩き回っているが、」と言う、

”čawa baaori xai mangga,” undiini.  
「それを 得るのに 何の 困難があるのか、」と言う。

”təi xoton duəduəni bii-jə,” undii,  
「その 街の はずれにある、」と言う、

”əm biran, xolgoxani. čawa čuul toomi-tanii, bii,” undii,  
「一つの 川が、 乾いてしまった。それを 真っすぐに 上ったらば、 ある、」と言う、

”əm daai sisi ilisiini,” undii, ”təj təi biran tokondoani.  
「一本の 大きな カラマツが 立っている、」と言う、「ちょうど その 川の 真ん中に、

ujə duəduəni.” ”čawa xooni taori-a,” undiini-goani, ”čado.”  
上の 末に。」 「そいつを どう するのか、」と言うのだ、「そこで。」

təi undiini-goani, ”əm xoo arakini, xaiwa nəəuri,” undiini,  
そいつは 言うのだ、「一本の 銅製の 徳利の 酒と、 あれを 置くことだ、」と言う、

”ilaan koči nəəuri,” undii, ”tui taraa čado nəəərə, čawa-tanii xuluuri,”  
「三つの 盃を 置くのだ、」と言う、「そうしてから そこに 置いて、それを 撒く、」

undiini. ”təi, kaila bii-goani. tui, naa xuluuri jaka.  
と言う。「あの、 つるはし (中国の物だという) があるのだ。 ああして 地面を 掘る 物。

tamačaāji xuluuri,” undiini. ”bai jāa,” undiini, ”čawa xuluuri-dəəde.  
あんな物で 掘ることだ、」と言う。「ただの 易しいことだ、」と言う、「それを 掘るのも。

təi-təni xuluiduəni-təni təi xəm muiktəni xəm,  
その 掘っている時に、その 全ての ひげ根が 全部、

loptoariijiani gəse, təi moo-tanii xuədeptəi-ə,” undiini.  
ちぎれるや いなや、その 木は 消えて 無くなる、」と言う。

tui taraa undiini-goani təi xaidoani-tanii xairiini, undii,  
そうしてから 言うのだ、 そいつは どこで どうするかを、 言う、

”xuədeptəxən, čala-tanii muə-təni tui poskami  
「消えて無くなったら、そこから水が そうして噴き出して

agbimi-tanii tias muə osiogui,” undii, ”maŋbo.”  
現れ出て来て、たつぷりと水が満ちる、」と言う、「大河に。」

gəə dosijaxan naonjokaan. ”təi-dəə tui bigini,” undii, təi əmjiŋə.  
さあ聞いた、少年は。「そいつもそのままにして放っておけ、」と言う、その片方は。

”əsi-təni mii doofjixambi-tanii əi soliala bii,” undii,  
「さて オレが聞いたのは この上流にある、」と言う、

”uwui xotondo, əjən piktəni, ələə budii-jə,” undii,  
「上の街に、長の子供が、今にも死ぬところだ、」と言う、

”əktə. təi-təni xamačaa doŋmor doŋmordaasi,  
「女の子が。それはどんな 呪い師もわからない、

xamačaa paŋga paŋgaasi,” undii,  
どんな 占い師も占えない(石を吊るして占う)、」と言う、

”xamačaa oktowa otolii nii okčiasi,” undii, ”čiilaxači,” undii,  
「いかなる薬に 理解の深い人も治せない、」と言う、「だめだった、」と言う、

”təi piktə, sargančoo ələə budii,” undii, ”čawa xoriori xai maŋga,”  
「その子供、美しい姫がもうすぐ死ぬ、」と言う、「それを救うのも何が難しいか、」と

undiini. təi jiani undiini, ”xooni xoriori jəkani,” undiini.  
言う。その仲間が言う、「どうやって救う ものかね、」と言う。

”čawa-tanii, amindoani bii,” undii,  
「それをか、その父親の所にいる、」と言う、

”alxa inda. doliŋjiani, xai, jʉləsi tui siŋakta,  
「まだらの犬。胴の真ん中の所から、前へはこう前へ毛が生えていて、

xamasi tui siŋakta,” undiini-goani,  
後ろへはこう後ろへ毛が生えている、」と言う、



”əusi taosi tui. gujəru, inda gərbuni.  
「あっちと こっちへ そのように。グユルという、その犬の名前は。

čawa-tanii, mongombani čaalimi, təi indəji-lə xuədəptəi,” undiini.  
それを 首を 切り落として、その犬で 消える、”と言う。

”čawa-tanii təi səəksəji mododai~,  
「そいつを その 血で 塗ったり、

təi uliksəwə siawaandii taori osini turgən uləən osigoj-ja,” undiini.  
その肉を 食べさせたりする なら すばやく 良く なるさ、”と言う。

”čawa-tanii tui tagoi, paajikaan əm, KOMHATA-do nəəuri,” undiini,  
「それを そうするには、別に仕切って、一つの 部屋に 置くべし、”と言う、

”noambači. ui-dəə tonggalaasi... ui-dəə iirəsijjəni, čado osiraa təi,  
「彼らを。 誰も 邪魔にしないように、誰も 入らないように、そこに入ってから その、

čawa tui ərdələini čawa siawaandii, təi səəksəjiəni mododačii taini-goani,  
それを そう 魔法の力を使う、それを 食べさせる、その 血で 塗ったり するのだ、

xərəktəwəni okčičiini. tui tami uləən xoragoi,” undiini-goani,  
人間の皮膚を 薬で治す。そうして 良く 治る、”と言うのだ、

”təi tui tui xoragoj-ja, uləən osigoj-ja,” undii,  
「彼女は そうして そうして 助かる、 良く なる、”と言う、

”ajanagoj-ja”-m-da. əsi-təni naonjokaan-tanii xəmə~ tui dosəjaini-goani čawa.  
「良くなる、”と。 今 少年は 黙って そうして 聞いているのだ、それを。

tui tajjiji gəsə təi gurun, ələə inəiduəni-ə~  
そうするやいなや その 者どもは、もう 夜が明けるといふ時に、

tui gusərəənduxəmbəri bəundəni, təi dəreduəni kəŋkələreə təi arakia,  
そうして 話をしていた 場所に、 その 机の上に 突っ伏して寝たり、その 酒を、

xoowa čičiraa əusi taosi tui buuməəri ominasii taiči-goani.  
銅製の徳利を 注いだり、あっち こっちへ そうして 注ぎ合って 飲んだり しているのだ。

təi juŋɡurɕi... xai-ja~ moŋoonji, xaiji-daa mapəji-daa.  
その 猿と、 クマとは、だ。

tui taraa kəŋkələrəə xoor xoor taijiji gəsə iligomaari xəm paɕjialagoxan.  
そうしてから突っ伏してから、フーフー 吼えるやいなや立ち上がり 両方 駆け出した。

gəə naonjokaan-tanii agdaxani-goani, əsi-tanii-də əsi-tanii, tui taraa, xairiini-goani.  
さあ少年は 喜んだのだ、今、 今、 そうしてからどうするのだ。

iligoxan, niəɡuxən. əsi-tanii maŋbo xəjə ənəini-goani,  
立ち上がった、外に出た。今 大河を下流へ行くのだ、

təi muəji xolgoi gurumbə, boŋɡodo xorindaori gələi-goani.  
その水で 濁っている人々を、 まず最初に 救いに行くことを 欲するのだ。

taosi ənəxə~n, təjə-dəə bič'in nai-tanii, muə abaa,  
そっちへ 行った、 本当だった、人々は、水がなく、

uŋjin-dəə pəkčərək muəji xolgomi budii,  
家畜も ぱったりと倒れて水で 濁いて 死ぬ、

nai-daa maŋgalamaari tui xairii təi,  
人も 苦しんで そうして どうする その、

muə xasoo~ xasoo abaa xaido-daa abaa.  
水はもうほんの少しさえも 無く、どこにも 無い。

tui taraa əjən, pəgə... xotondo tui osixani.  
そうしてから 街では そんなふうになった。

təi udə pulsiini~ təŋ əjən,  
そのあたりを歩き回っているに、 ちょうど街の長は、

tuliəwəni~ ənəiduəni əjən səruusiiduji tərək ičəxən təi naonjokaamba.  
その中庭を 行く時に、 長は 涼んでいる時に、 ちょうど見た、 その少年を。

”ə~ŋ naonjokaan,” undii, ”jiduu,” undii,  
「ああ、少年よ、」と 言う、「来い、」と 言う、

”əusi. suniəçi bii gurundulə xaiwa-daa xəm saari,” undiini-goani.  
「こっちへ。おまえ達のような者なら 何でも 全て知っているであろう、」と言うのだ。

əsi-tənii, xəsixən naonjokaan iixən.  
今、呼んだ、少年は 家に入った。

ñoxoraanjkini-goani naonjokaan tēi əjən baaroani.  
お辞儀をするのだ、少年は その長の方へ。

”əji ñoxoraacıra,” undii, ”sii xaiwa-daa saarasisi-noo,” undii,  
「お辞儀をするな、」と言う、「おまえは何でも 知っているのか、」と言う、

”tui tui bii, buə muəji moxoxan,” undii, ”nai xəm, ičəəçi-tənii,”  
「これこれ、我らは水で 困ってしまった、」と言う、「人々皆が、見なかったか、」と

undii, ”tulie udəni pəkčərək bii,  
言う、「中庭の所で バツタリと倒れている、

nai-daa muəji mangalaxan, ūjini-dəə xəm budii-jə,” undii,  
人も 水で 難儀しているし、家畜も 皆 死ぬ、」と言う、

”muəji mangalami-maňa.” əsi-tənii naonjokaan-tanii,  
「水で 苦しむばかりに。」今 少年は、

”mii saarambi...,” xəmə~ birəə, undii,  
「僕は知っている・・・、」しばらく黙って いてから、言う、

”gəə,” undii, ”čaa-kaa, taori,” undiini-goani.  
「さあ、」と言う、「あのように、すべきです、」と言うのだ。

”xaiwa gələisi,” undii, ”čado tagoi.” naonjokaan undiini,  
「何が 要るか、」と言う、「そこで それをするのに。」少年は 言う、

”əm kaila, ilaan koči, əm xoo arakini-da.”  
「一本の つるはしと、三つの 盃と、一本の 銅製徳利ぶんのお酒も。」

əsi-tənii siagoani-daa buurii-goani-a nai siawaandii-goani,  
今 食事も 与えるのだ、人は 食べさせるのだ、

tui bii mædæwə doofjixandoji, tui taraa-tanii tæi əjən buuxən,  
そのような情報を聞いた時に、そうしてから、その長は与えた、

čawa xəm-də, naonjokaan-tanii čawa japaraa-o~ ənəini-goani.  
それら全てを、少年は それをつかんで 行くのだ。

təjə-dəə bičín tæi, xoton solia duəduəni-təni,  
本当だった、その、街の上流のはずれに、

əm xai bičini, biran, soŋta-o~ biran bičín, kota kota xolgoxani,  
一つの何があったか、川が、深〜い 川だったが、カラカラに乾いてしまっていた、

xamačaa-daa maŋbonggoči-daa xəm kota kota xolgokto, muə anaa.  
いかなる 大河も 全てカラカラに乾いている、水が無い。

čala duisi pos tooxani-goani, tæi biramba.  
そこから山の方へまっすぐに上ったのだ、その川を。

təjə-dəə bičín biran təj xójigoidoani-tanii tui əm, daai sisi  
本当だった、川がちょうど終っている所に そうして一本の、大きなカラマツが

biə undə ilisiini. čawa isixan, tæi sisi tæxəduəni koči nəəxən,  
あるという、立っている。そこに着いた、そのカラマツの根元の所に盃を置いた、

arkikaamba nəəxən, suŋjixəni-goani.  
酒を少し 置いた、供え物をしたのだ。

tui taraa tæi udəwəni tæi kailəji xuləini-goani tæi, xaiwani,  
そうしてからその場所を その つるはしで 掘るのだ、その、

tæi-təni bai jaa bičín, tui taini, əpər əpər əpər taini-goani.  
それは ほんのすぐだった、そうすると、コポコポコポと水の音がするのだ、

tui tami tæi-təni loptoram ənəxəni-goani, karčaandolaji,  
そうしてそれが ボロリと ちぎれたのだ、幹の下の部分の所から、

čurŋu xuədəxən tæi moowa, xaosi-daa ənəxəmbəni-dəə əčia-dəə ičəəni-ə.  
パッと消えてしまった、その木を、どこへ 行ったのかも 見えなかった。

xaosi-daa ənəxəmbəni-dəə saarasi naonjokaan.  
どこへ 行ってしまったのかもわからない、少年は。

čala-tanii muə-təni posokpimi-tanii,  
そこから 水が 突然激しく流れ出して、

пока тәи naonjokaan xairiidoani-maṅa yʒe birando tias osixan  
まだ その少年が そうこうしているうちにもう 川に たつぷりと水が生じた、

taosi maṅboči xəjəini-goani.  
あっちへ大河へ 流れて行くのだ。

tawaŋki xoton baaroani əuguiduəni-təni yʒe xotoŋkan  
そこから街の方へ 下りて行く時にはもう 街の人々が

tooido tias muənəxən.  
岸辺にぎっしり水を求めて下りて来ていた。

ə~si-təni təi-təni nai-təni xəm muəči-maṅa əuxən nai.  
今や その人々は、皆 水の所へばかり下りて来ていた人々は。

uʒin-dəə xəm muədu bii~, naisal-daa xəm muəči-maṅa əuxən.  
家畜も 全て水の所にいる、人々も 皆 水辺にばかり下りて来ていた。

əjən isigoxan tuliəči xailaraa aqɔaxan, əjən undiini, "xaiwa gələisi-ə," undii,  
長の所に着いた、中庭へ、どんなに喜んだことか、長は言う、「何を望むか、」と言う、

"xai, simbiə pəgiələji bii ʒəŋgian osigowaandambi-a"-daa undiini-goani naonjokaanči.  
「おまえを下の方にいる長に したい、」と 言うのだ、少年に。

"xai, aisin məŋgumbə gələi osini-daa buurəmbi," undii,  
「金 銀を 望む なら、 あげよう、」と言う、

"xooṅaa čixalaisi xooṅaa-da." naonjokaan-tanii,  
「どれぐらい欲しいと同意するなら 好きなだけ、だ、」と。少年は、

"xaiwa-daa gələesimbi," undiini-goani, "ʒəŋgian-daa osiasimbi," undiini,  
「何も 欲しくない、」と言うのだ、「長にも ならない、」と言う、

”əneguji, mii, korpiasimbi,” undiini-goani, ”xəngisi əneguji taambi”-m.  
「行かなければ、僕は、時間がない、」と言うのだ、「逆の方向へ行く ところなんだ、」と。

”aja,” undiini, ”mii j̄j̄j̄j̄əmbi,” undii, ”totapi-a-da.”  
「いいです、」と言う、「僕は戻って来ます、」と言う、「しばらくしてから、だ。」

”gəə nəə, j̄j̄j̄uxəəri, bumbiə xooŋaa xorixan,”  
「じゃあ すぐに、戻って来い、我々を どんなにか 救ってくれたことか、」と

ʃəŋgjan osigoambor̄j̄i xairiini-goani, t̄əi ʃəŋgjan.  
長に なるべからうということに納得した、 その長は。

əsi-təni, tawaŋki ənəps̄ŋkini uwui xoton baaroani t̄əi, sargančoo,  
今 そこから 出発した、 上流の 街の 方へ あの、 姫が、

budiiwəni xorimi aja-goani.  
死に そうなのを 救わなければならぬのだ。

taosi isixa~n t̄əi, xotomba, t̄əj̄ə-dəə b̄ičin əj̄ən uikəni daadoani...  
そこへ 着いた、 その街に、 本当 だった、 長の 戸口の 所には、

dokani daadoani-tanii nai ti~as biə undə,  
門の 入り口の 所には、 人が ぎっしり といふ という、

xamačaa doŋmor anaa xamačaa lekar̄b̄ anaa tado,  
いかなる 呪い師も いない ことがあろうか、 いかなる 医師も いない だろうか、 そこには、

xamačaa okčičii gurun anaa xamačaa nii-daa xəm,  
いかなる 治療する 人々も いない だろうか、 どんな 人も 皆いる、

гадаа-lai gursəl čuŋnu biini-goani.  
占いで 言い当てる 人々も すっかり 揃っているのだ。

əsi-təni naon̄jokaamba-daa əj̄ən xaisi lak ičəguxəni, t̄əi udəwə pulsiiwəni.  
今 少年を 長は 今度も ばったり と 見た、 その あたりを 歩いている のを。

”naon̄jokaan j̄j̄j̄uruu,” undii, ”gioxatokaan əusi j̄j̄j̄uruu,” undii,  
「少年よ、 来い、」と言う、「乞食の子よ、 こっちへ 来い、」と言う、

”suniədu bii gurundulə-məə~ xaiwa-daa xəm doofjiori,” undiini, t̄ai.  
「お前達のような者達の中にこそ、何でも 全て聞いてみるものだ、」と言う、彼は。

iixə~n, xaisi ñoxoraandiini-goani naonjokaan. undiini,  
家に入った、再び お辞儀をするのだ、少年は。 言う、

”mii piktəji ənusiini-ə~,” undii, ”xa~mačaa nai-daa xəm okčii-jə-dəə,  
「私の子供が病んでいる、」と言う、「いかなる 人も 皆 治療にあたったが、

xamačaa nii-dəə xəm pangai,” undii, ”ui-dəə mutəəsiči,” undiini.  
いかなる人も 皆 占うが、」と言う、「誰も どうにもできない、」と言う。

”ələə budii,” undiini. naonjokaan-tanii xəməə birəə undiini-goani,  
「今にももう死ぬ、」と言う。 少年は しばらく黙っていてから言うのだ、

”sindu bii-nuu,” undii, ”gujəru inda. tui tui bii inda.” ”bii.”  
「あなたの所にいるか、」と言う、「グユルという犬。これこれしかじかの犬。」「いる。」

”gəə bii osini, piktəji-təni paajikaan əm komnatado nəəruu,” undii,  
「さあいるなら、子供を 別に仕切られた一つの部屋に 入れろ、」と言う、

”ui-dəədə čala ənəəsijieni.” əŋ ”gəə,” undii,  
「誰も そこに入らないように。」 「よし、」と言う、

tui taraa daogoxan t̄ai, taosi t̄ai indawa olbirkin.  
そうしてから渡って行った、その、そこへその犬を 運んできた。

čado-tanii t̄ai doolani t̄ai naonjokaanji, t̄ai patalanji osiogoxači-goani.  
そこに、その 中に その少年と、 その女の子とを入れたのだ。

əsi-tanii t̄ai naonjokaan-tanii t̄ai, indawa waaxan, jilia čaaliijieni gəsə,  
今 その少年は その、犬を 殺した、頭を切り落とすやいなや、

jili čuŋnu xuədeptəxən xaisi.  
頭はパッと消えてしまった、またも。

tui taraa~ t̄ai səəksəjieni t̄ai arčokaan bejəwəni morkolai tai, mododai,  
そうしてからその血で その娘の 体を、 ひっくり返したりして、塗る、

и      tõi uliksəwəni pujuučimi siawaandii      taa undə.  
そしてその肉を      煮て      食べさせたりするという。

tõi-təni ičəjəni-təni, jia, xangisi~      xangisi~ uləən osiogoini-goani, uləənəgui.  
彼女は、見るまに、      悪かった顔色が逆に逆に      良くなるのだ、      回復する。

tui tami gjaŋ gjaŋ      aja      osiogoxan.  
そうしてすっかり健康に、大丈夫になった。

ulikə maŋaxan, ŋoani-daa ajanagoxan, tõi əktə, iligoxani-goani.  
肉は 尽きた、彼女も 良くなった、その女は、立ち上がったのだ。

tui tami amini ičəndəguxəni.  
そうして父親が見に来た。

amimbi      uikələ iiriwəni      ičəjji gəsə,      xairiini-goani, undiini-goani,  
自分の父親が 戸を 入って来るのを見るやいなや、      言うのだ、

ičəmi amimbi ičəjji gəsə,      tõi amimbi loxombani ičəxəni-goani,  
見て、父親を見るやいなや、その父親の 刀を      見たのだ、

tõi uilə tõi naonjokaan nəəkuxəmbəni.      čawa japaŋjji gəsə,      iligoxani.  
それを上に、その少年が      置いておいたのを。それをつかむやいなや、立ち上がった。

aminčiji      tui      paačilagoi,      aminčiji undiini-goani,  
自分の父親へ そうして 打ち掛かろうとする、父親へ 言うのだ、

”sii      mimbə xooŋaa,      okčičixasi,      xooŋaa,      xaixasi,”      undii,  
「あなたは私を      どんなにか、治そうとした、どんなにか、ああした、」と言う、

”ičəruu,”      undii, ”tõi naonjokaan gioxatoni biəsi,”      undiini.  
「見よ、」と言う、「この少年は      乞食ではない、」と言う。

”gioxatoni biəsini,”      undii, ”əndu~i,”      undiini.  
「乞食で      ないどころか、」と言う、「神様だわ、」と言う。

”tõi mimbə xooŋaa      uləən masi osigowaanċini,”      undiini-goani,  
「この私を      どんなにか良く 強く してくれたことか、」と言うのだ、



”bongodo bičinduijə-dəə uləənji, mii əjiləguui taambi,” undii,  
「最初に 元気だった時よりも 良いほどに、私は 結婚することにするわ、」と言う、

”noanĵiani. sii osisii osini simbiə waĵaambi”-m, ”əi, loxonji čapčilaori-a”-m.  
「彼と。 あなたが 嫌がる なら、あなたを 殺す、 この 刀で 切るわ、」と。

amini undiini, ”abaa~,” undii,  
父は 言う、 「いや、」と 言う、

”mimbiə əji waara, sii muruŋsi-goani,” undiini-goani,  
「私を 殺すな、 おまえの 心次第だよ、」と 言うのだ、

”əjiləguui-dəə aja-goani”-m-da, ”osisiasimbi,” undii,  
「夫とするのも 良いのだ、 私は嫌がらないよ、」と 言う、

”a-paə simbiə nai xorixan,  
「ひとたび おまえを 人が 救ってくれたのだ、

sii əjiləguəsi mii xai osisĵaambi-a”-m-da.  
おまえが 結婚するのに 私が どうして 嫌がる ことがあろうか、」と。

əsi-tənii, əsi-tənii əĵən piktəni xoragoxa~n ajanagoxan,  
今、 今 長の子供が 助かった、 よくなった、

əsi-tənii aŋaa odii-goani, təi naonĵokaamba-tanii,  
今 お祭りとなるのだ、その 少年を、

təi sargančoo-tanii bəĵĵiji təi ŋoambani ətəxii əktəkəənĵi ĵuəĵiəri xaido,  
その 姫は 自ら その 彼を 世話する、女奴隷と 二人で、

əlbusiwəəndiiči-goani-a~ sidokōji sidogoi ĵərgəĵiəri.  
水浴びをさせるのだ、 真皮をはがす鈍いナイフで 擦り落とすかのように (垢を落とす)。

təi-tənii ĵangĵian osiogoxan-goani,  
彼は 長に なったのだ、

tətuguxən nai xamačaa ĵioxatoni-daa biəsi xai-daa biəsi ĵangĵian nai osixani.  
服を着た、人はもういかなる 乞食でも ない、他でも ない、長に 人は なった。

tui taraa t̄ai gioxatokaan x̄ajomba-tanii, əm boado xukurə nəxəni,  
そうしてからその乞食の 衣服を、 ある場所に包んで置いておいた、

asičiji undiini-goani t̄ai sargančooči, "əiwə əji naŋgalara," undiini-goani,  
妻へ 言うのだ、 その 姫へ、 「これを決して捨てるな、」と 言うのだ、

"mii tət̄uəji." "xai tagoji ətəxiisi-ə"-m-də. "gələuri," undiini-goani.  
「私の服を。」 「何をするためにとっておくのですか。」 「必要なんだ、」と 言うのだ。

"gələguuri," undiini-goani, "xaali bič̄in-dəədə.  
「必要なんだ、」と 言うのだ、 「いつになるかはわからないけれども。」

пригадиться," undiini-goani, tui taraa t̄ai, asini əsəlixən čawa tət̄uəwə nəxən.  
役に立つ、」と 言うのだ、 そうしてからその、妻は箱にしまった、それを服を 入れた。

tui taraa tui biini-goani. ʃaŋgian osigoxan xailoo-goani, əjən, əjən x̄ojoo,  
そうしてから そうしているのだ。 長官と なった、 何とも良いのだ、 長の 娘婿、

pikt̄əjiəni asilagoxan, əjən-məə biini-goani ʃoani.  
長の子供で 妻を娶った、 長のようなのであるのだ、 彼は。

əjən undiini-goani, "mii sagdaŋgokaja," undii,  
長は 言うのだ、 「私は老いた、」と 言う、

"mii orondolaji ʃoani mənəə əjən biʃəə-mə"-m-də.  
「私の代わりに 彼は 自ずから長と なることだろう、」と。

əsi-təni ʃ uliца-wə pulsiini-goani, tui tami ičəguini-goani naonjokaan aagbi ičəguxəni.  
今 道を 歩き回るのだ、 そうして 見るのだ、 彼の 兄を見た。

"ənənə~," t̄ai-təni lər lə~r pulsiini-goani əruu~n əruun osixanʃiani,  
「ああ、」 兄は ボロボロな姿で歩いているのだ、 悪く、 ひどく悲惨になって、

əsi-təni baačixa~n undiini, naonjokaan tui xairiini-goani,  
今 出会った、 少年は そうして どうするのだ、

"sii nəusi taambi," undiini-goani. "abaa~," undii,  
「あなたの弟 です、私は、」と 言うのだ、 「いいや、」と 言う、

"mii nəuji xai tui birə," undii,  
「私の弟が なんてこんな風であるはずがあろうか、」と言う、

"xai odooliisi," undii, "mii nəuji baala xuədəkəje," undiini-goani,  
「何をバカなことを、」と言う、「私は弟を ずっと前に失いました、」と言うのだ、

"xai jəngjan birə, əjən birə," undiini-goani.  
「どうして長官なんかであろうか、長であろうか、」と言うのだ、

"əjənə," undiini-goani, "kaoka biruu"-m-də, naonjokaan.  
「ちょっと待って、」と言うのだ、「じつとどこへも行かないで、」と(言う)、少年は。

agdaasi, "nəuji biəsis," undiini-goani, "əjən piktə... əjən taāci-a"-m-da.  
信じない、「私の弟 じゃない、」と言うのだ、「長の子供、長じゃないか、あなたは、」と。

əsi-tənii naonjokaan-tanii ənuxə~n jookčiji, asičiji gələguini-goani,  
今 少年は 去った、自分の家へ、妻へ 求めるのだ、

"təi mii gioxato tətəuji buuguruu"-m-da.  
「あの私の乞食の服を くれ、」と。

čawa tətuguxən, mookaəngōji tuñəpulegurəə əuguxəni.  
それを着た、木の棒を 杖について 下りて行った。

gəə aəpni čado-mat taakogoxani nəuji-tənii.  
さあ 兄は そこでやっと判った、自分の弟を。

ə~si-tənii naamansii tas songoini-goani, "agaa~," undiini,  
今 抱く、ワッと泣くのだ、「兄さん、」と言うのだ、

"mii-tənii simbiə... sii mimbə nəə waaori taxasi-goani," undii,  
「あなたは 私を 今にも殺そうとしたんです、」と言う、

"məəpi waawaəpkičami čilaraa-da. mii-tənii tui ənəxəmbi,  
「自分を 殺させようとして、失敗してから。私は そうして逃げました、

tui tui taxambi," xəm gusərəini-goani.  
そうして ああして こうなりました、」と 全て 話すのだ。

asi-tanii aarņi undiini, "gæ mii-dæ ənəuri," undii tæi-dæ.  
今 兄は 言う、「そうか、では私も 行くべきだ、」と言う、兄は。

ʒookči gaājoxa~n tæi aarņi,  
家へ 連れて行った、その兄を、

"asigoji-daa baaxambi," undiini-goani, "əjən piktəwəni xorixambi"-m-da.  
「嫁も もらいました、」と言うのだ、「長の子供を 救ったんです、」と。

asi-tanii, ʒookči ʒijuxən mæən ʒookči, tui taraa aarņi-tanii,  
今 家へ 戻った、自分の家へ、そうしてから 兄は、

asoo-daa xairasini-goani, əjənʒi ilaājiini-goani, nai ʒangian, ʒookčiani. iuri,  
少しも 落ちつかないのだ、長に対して 恥ずかしいのだ、人の 長官の、家へ 入るのに、

əruurjiji. tui taraa~ čado siawaanķin, aagbi ələdələ-dæ,  
ひどい姿で。そうしてから そこで 食べさせた、自分の兄を 腹一杯十分に、だ。

tui taraa-tanii, aarņi, "ənəgui taambi," undii,  
そうしてから、兄は、「行くことにするよ、」と言う、

"mii-dæ pərgəgui taambi-a"-m-da.  
「オレも 試してみることにする、」と。

əsi-tanii naorjokaan-tanii ʒookči ənuxən, tæi aagjima.  
今 少年は 家へ 去った、その兄の方は。

tui taraa nəuji gusəxəni-mət muəči pağjalaxan,  
そうしてから 自分の弟が 語ったように 水の方へ 駆け出した、

əlbisimi otoliasini budii-goani, yтoнyл,  
泳ぐことも できない、死ぬのだ、溺れ死んだ、

tui taraa totapi-o~ saagoxani, toido aorilaji-a-da.  
そうしてから しばらくすると 気がついた、岸辺に 横になっているのだった。

tui taraa tookoxani-goani taosi. təjə-dæ bičin tæi ʒoo, dujələni.  
そうしてから 上ったのだ、 そっちへ。 本当だった、その家がある、山の方に。

təi ʒoo, duʒələni biwəni-təni, tooxan, iixən.  
その家、山の方にあるのを、上った、入った。

təi koçi-daa arakiwa xaiwa, xəm omixani.  
その盃も 酒も 何も、全部 飲んだ。

tui taraa čado təəsiiduəni siksə ʒiʒiçi-goani, təi gursəl.  
そうしてからそこに座っている時に 夕方 戻って来るのだ、その者たちが。

undiini-goani xai, "xamačaa naini bimi buə buəndupuə təəsiisi,"  
言うのだ、 「いかなる人間であって私たちのいつもの場所に座っているんだ、」と

undiini-goani təi, moŋooŋji, xaiji-da, mapaji-da.  
言うのだ、 その、猿と、 クマとが、だ。

əsi-təni, "ələə waarii-noo xai-noo suə mii nəujjə tui tui osigowaŋkiso,"  
今、 「もう 殺すか、 どうするか、 お前たちは私の弟を あれこれしただろう、」と

undii, "mimbə-dəə tui taooso"-m. təi gurun undiini, "abaa," undiini.  
言う、「私も そうしろ、」と。 その者たちは言う、「いや、」と言う。

"buə, təŋ əm naija bəlcijəpu," undiini-goani.  
「我々は、ただ 一人だけ 助けるのだ、」と言うのだ。

"guçi guçi naija bəlciəsipu"-m, "buə. buə giampo tui bii-je"-m-da.  
「何度も何度も人を助けない、 我々は。我々の決まりはそうになっておる、」と。

əsi tui cпopи-laidoaçi naŋjokaan agbingoxani xaijajia ʒiʒuxəni-us  
今 そうして言い争っている時に 少年が 現れた、 どこから やって来たんだか、

nəuni, təi əjəni, əjən tətuəjəni isigoxani-goani. tui taraa-tanii, undiini,  
その弟が、その長が、長の 衣服で 到着したのだ、そうしてから、言う、

"mii aagbi əji waaraso," undiini-goani. "aja"-m-da.  
「私の兄を 殺さないで下さい、」と言うのだ、 「大丈夫だ、」と（言う）。

"mii mənə noaŋjiani gusərəənduəmbi," undiini-goani.  
「私は自分で 彼らと 話をつけているんだから、」と言うのだ。

əsi-tənii əciə waara čado naonjokaan čado-mat ičəguini-goani tēi,  
今 殺さなかった、そこで少年は その時になって見るのだ、 あの、

sisia xuədəxən-dəə tēi joo doolani bii~,  
カラマツを見失ったのも その家の中に あるし、

tēi inda jiliani xuədəxən-dəə xaisi čado bii, bičini.  
あの 犬の頭を見失ったのも、これもそこに ある、あった。

ərdəngani-goani tēi, xaal xaal ičəjəxəni, naonjokaan.  
不思議なのだ、彼は、 どうしたらよいかわからなくなって見ていた、少年は。

tui taraa naambičaxa~n tado tēi gursəl aagbani čindagoxan.  
そうしてから説得した、 そこでその者たちは兄を 放してくれた。

kətələ waaxəči-goani.  
今にも殺すというところだったのだ。

tui taraa aagbi jəpagoraa tawanjki ənəini-goani, tēi, muə xorixambi gurunči.  
そうしてから兄をつかんで そこから行くのだ、あの、水の危機から救った 人達の所へ。

taosi ənəxən-tənii tēi əjən, buikini. tēi piktəni sargančoo-ragda biini-goani.  
そこへ 行ったらば、そのの長は、死んでいた。その子供の 姫だけが いるのだ。

tēi undiini, "mii, bumbiə xorixan gioxatokaamba gələguipu, xalačiipo~," undii,  
彼女は言う、「私は、私達を 救ってくれた 乞食を探しています、待っています、」と言う、

"jijuiwəni. amaa-daa buikin, amaa orondolani očogoo-goani. tēi xoton jəngianggoani."  
「戻って来るのを。父さんも 亡くなった、父さんの 代わりになって下さい。この街の長に。」

əsi-tənii naonjokaan-tanii, aagbi, čado, nəəxən,  
今 少年は、 自分の兄を、 そこに 置いた、

dərəjiguwəəŋkin tēi, əjən piktəjəni aagbi asilagoxan.  
残した、 その、長の 子供と 兄は 結婚した。

əjən buikini orondolani očogoxa~n tēi naonjokaan-tanii  
長が 死んだ その代わりとなった、 その兄の方の少年は。

tui taraa mænči ənərəə ənəini-goani. tui taraa tui baljiči-goani, ələə.  
そうしてから自分の所へ行って、行くのだ。そうしてからそうして暮らすのだ、終り。

2000年4月2日 ダエルガ村にて録音  
N. B. Gejker 氏 口述

6. əm puʃin balʃixani  
あるプジンが住んでいた

əm ʃoo doolani-la əm puʃin balʃixani, nəuni əm naonʃokaan, tui biəl undə.  
ある家の中に あるプジンが住んでいた、弟は一人の少年、 そうしている という。

tui bii~ tui balʃii, tui bimi~ əm modan-gola  
そうしている、そうして暮らす、そうしていて、ある時に、

naonʃokaan-gola songgomi dəruuxəni boado kupirəə iigurəə,  
少年は 泣き 始めた、外で 遊んでいてから 家に入って来て、

”əgəə~ kupindəguəri, əgəə~ susuəkəəčindəguəri,” undiini-goani.  
「姉さん、遊びに行こうよ、姉さん、橇滑りを遊びに行こうよ、」 というのだ。

ə~si-tənii tui songgoini-goani, nakando puəsəmi songgoini-goani,  
今 そうして 泣くのだ、 オンドルの上を 転げ回って 泣くのだ、

susuəkəəčindəguji əikəji ʃjalsimi.  
橇滑りを遊びに行くように、自分の姉を 仲間にして。

əsi-tənii puʃin-tənii alisami-a-daa baarəʃigoraa~ niəxəni.  
今 プジンは ひどく疲れてはいたが、身支度をして 外に出た。

tokʃi susuəkəəčii-ə~ tooido boalpa.  
橇で 滑って遊ぶ、 岸辺の崖で、その場所に沿って。

susuəngui tookoi susuəngui tookoi tookoi tami tui tami-a puʃin-gulə ičəguxəni,  
滑っては 上り、滑っては 上り 上り してそうして プジンは 見た、

xəsəranʃisua, uisi ičəguxən-tənii xai, uilə-lə xosikta jaam bičini.  
あらいけないわ、上を見上げたならば、 上には星が 輝いていた。

”ə~nənə dolbogoxan, xooni iigurə ʃjookči.”  
「あら、夜になってしまったわ、どうやって入ろうか、家へ。」



əsi-tənii, tui taraa-tanii tookoxa~n.

今、 そうしてから 上った、

ʒookči uikə daawani isigopi undiini-goani nəuji,

家へ、 戸口の所に 着くと言うのだ、 自分の弟に、

ʒoan ačiamba,

tui ʒapoŋkini nəuji.

十の、 自分の服の裾に付いている金属の飾りを、そうして つかませた、 弟に。

naonʒokaan-tanii əikəni, uikəwə xaixan,

少年は (つかんだ)、 姉が、 戸を どうした、

nixəliɡuini dookiaʒiaʒi xur uikəni dookiaʒia tatagoxan, tataxani.

開けると、 中側から ガツと 戸の 中側から 引っ張られた、 引き込まれた。

naonʒokaan ɲaaladoani... əikəni ačiani loptoram ənəxəni dərəʒiɡuxən.

少年の 手には、 姉の 服の飾りが ひきちぎれてしまったのが、 残った。

ə~si-tənii soŋɡoini-goani "əɡə~ əɡə," soŋɡoini-tanii,

今 泣くのだ、 「お姉ちゃん、お姉ちゃん、」と泣くのだ、

tui soŋɡoini-daa bəktən bipi-ə-lə,

そうして泣くのだが、 しばらくすると、

ɲəəm ixərə taawoka undə ʒoogdoani tui taijiji ɡəsə undiisi,

明るく灯りを 点けた という、 家に、 そうするやいなや

uikəwə nixəlixəni undə,

戸を 開いた という、

"ə ičəjəmi, ə ə soŋɡoasi, xaimi iiguəsisi," darsia undə,

「こっちを見て、 ほれほれ泣かないで、 どうして入らないの、」と叱る という、

ičəini-lə undiisi, xərə~ əm ambaaria pūjin bičin təi-tənii,

見るに ああ、 一人の 魔物の プジンがいた、 その、

nuktəni osini sadaa sadaa bii,

髪の毛と きたら、 バサ バサ である、

tui taraa-la naonjokaan rjælərəə xəmə iiguxəni.  
そうしてから 少年は 恐れながらも 黙って 家の中に入った。

iigurəə, apsindagoxani bəunčiji.  
入ってから、横になりに行った、自分のいつもの場所へ。

təi pūjin-təni, goljon kiraadoani~ tæsiə undə, tui tami ičəguxəni,  
そのプジン、かまどの縁に 座っているという、そうして見た、

naonjokaan tui aomi~ soŋgomi ičəguxəni-goani təi pūjin baaroani.  
少年は そうして寝ていて泣きながら見たのだ、 そのプジンの方を。

əikəni-lə jōa~n čumčuəmbəni siloxani bičini əilə tui gidalaraa təi-təni,  
姉の 十本の 指を 焼き串で焼いていた、ここから こうして刺して、そいつは、

čumčuən-təni təi əm gaikokaan-tanii, tui gadar gadar gadar taa undə.  
指は、 その一本の小指が、 そうして カタカタ、カタカタと 動いているという。

čawa-tanii, naonjokaan-tanii čumčuəmbə tui~ taxan təi,  
それを(見て)、少年は 自分の指を このようにした、その、

ambaaria pūjin baaroani, muujuu taxani.  
魔物の プジンの方へ、 かざしてくねくねと 動かした

təi-təni undiisi gəpčielu~ gəpčielu xəikučimi dəruuxən,  
そいつは コックリ、コックリとうとうとし始めた、

''ərdəŋgə~, xaimi xəikučiwəəndiini. xaimi-kaa aamasiori-noo.''   
「変だわ、 どうして居眠りしてしまったんだか。 どうして 眠いのかしら。」

əsi-təni, goljombi jərinčəni tui kəŋkələ  
今 かまどの 端の所へ こうして 体を丸めて頭を突っ伏して、

soor soor soor soor oŋasami xorčiraloxani.  
スースースースーと 眠り込んで いびきをかき始めた。

əsi-təni naonjokaan-tanii əlkə~ əuxəni, tui taraa-tanii,  
今 少年は ゆっくりと 下りて行った、そう してから

təŋkuwə ʃaparaa əikəji čumčuəmbəni-mət ʃapagoxani ənəŋji gəsə  
椅子を つかんでから 姉の 指を 取り返した、行くや いなや、

təi-tul tui čumčuəŋkəəmbə tui taraa-tanii, xaixani.  
彼は そうして 指を そう してから、 どうした。

təŋkuwə ʃaparaa, wajaa taxii baaroani kaantačimi aarŋkini,  
椅子を つかんでから、下流の側の 棚の方へ 上へ手を伸ばして取ろうとして届いた、

təi taloma uikəwəni ʃapagoxani čado-tanii undiisi-ə,  
その 白樺樹皮製の 大きな箱を つかんだ、そこで、

əŋ ʃəurəkəsəl bosokaasal pasisalni ʃapagoxan undiisi-ə,  
絹糸やら 布やらの 切れ端をつかんだ、

əŋ tui taraa-la undiisi, xaixani.  
そう してから どうした。

xamasi anagoidoji-la, əŋ təi-təni, kaantačimi kaantačimi təi-təni xaini,  
元へ 押し返す時に、 彼は やっと手を伸ばして 彼は、

uikəmbə taosi anagoi bəŋjiləni, təŋku loptoram palanči koas taa ənəxəni,  
白樺の箱を 奥へ押し戻す 足もとの所で、椅子が グラリとして 床へ ドッターンと 落ちた、

”xaiwa taisi, xaiwa taisi xaiwa taisi.”  
「何を したの、何を したの 何を したの。」

”čičindəsūrəə iiɡuiduji baŋsalaxambi,” undiini-goani, ”təŋkuwə.”  
「オシッコをしに行つて 入る時に 蹴つ飛ばしたんだ、」と 言うのだ、 「椅子を。」

əsi-təni undiisi təguxəni, təi ambaaria puŋin, naonjokaan songoi-daa xōjixan.  
今 座り直した、その 魔物の ブジンは、少年は 泣くのも やめた。

təi əikəji xukuxən, xai, xaiwani-tanii uləən xukurəə turŋənduji nəəkuxəni,  
その 自分の姉を くるんだ、 そのあれを 良く くるんでから 胸の所に 入れた、

əi čumčuəkəəmbəni. tui taraa~ tui ičəjəmi təi tui tami, oŋasaxani.  
その 指を。 そう してから そうして 見ていて、 そいつは そうして、 眠り込んだ。

čimii ərdə~ sənəxəni, naonjoaan-gola čimii ərdə~ sənəxəni undiisi baarəjigoxani-a~  
朝 早く 目覚めた、少年は 朝 早く 目覚めてから 身支度をした、

tui taraa undiisi, ənupsinkini, maŋbo xai, naaji soli ənəini-goani.  
そう してから 出発した、大河の、 自分の土地を 上流へ 行くのだ。

too~ dərəənçi ənəxəni soliala dərəənčiani.  
ほうれその川の源流へ行った、上流にある水源へ。

ənəxəni ičəičəini čado-la undiisi əm, oŋgolo moo biə undə too~ uilə.  
行ってから見るに、そこには 一本のうろのある木がある というほうれその上の方に。

čala-la mokčaxani. mokčaraa təi,  
そこによじ登った。よじ登ってからあの、

əikəji čumčəkəkəmbəni xukučəwəni təi doočiani gidalaraa,  
自分の姉の指を くるんでおいたのをその中へ 突っ込んでおいてから、

tawaŋki əugurə~ soŋgočimi soŋgomi ənəi-goani tui-də.  
そこから下りてきてから泣き続けて泣いて 行くのだ、そうして、だ。

ənəxəni jooji isigoini, aosini jičini-ə~də bičin ŋaanigoxani.  
行った、自分の家へ着く、 義兄(魔物の夫)が来た、 来ていた、連れて来ていた。

ə~ŋ undiisi təi-təni undiisi iiguxəni.  
彼(少年)は 家に入った。

”ədədə xaosi pulsixəsi,” soini-goani təi naonjokaamba.  
「あれれ、どこへ行ってたのか、」と叱るのだ、その少年を。

”xaido bičisi,” undiini. ”məne pulsijə-mə,” undiini-goani naonjokaan.  
「どこにいたのか、」と言う。「勝手に歩き回るさ、」と言うのだ、少年は。

”ə~ŋ bala,” undii, ”ənuguuri,” undii,  
「急げ、」と言う、「ここを立ち去るぞ、」と言う、

”aosisi gələndəguxən-təni,” undii, ”ənuguuri,” undii,  
「あなたの義兄さんは探しに行ったのよ、」と言う、「立ち去るわよ、」と言う、

əsi naonjokaan... aosi... t̄ai-t̄anii, əikəni aorii x̄ajombani,  
今 義兄とそいつは、姉の 寝 具と、

ulpii xukuəmbəni, tuxilərəə čək nəəxəni,  
縫う 糸や針を入れておく袋を、抱えて来てきちっと置いた、

xuə kiraadoani, gaājogoi.  
オンドルの側面壁の縁に、 持って行くために。

əsi-t̄anii undiisi naonjokaan, "əŋəjə~," undii, "ənəəsĩmbi," undiini-goani.  
今 少年は、「イヤだ〜、」と言う、「行かないよ、」と言うのだ。

aosini-tanii əjələ osigoi tajala osigoi tami naambičaini-goani,  
義兄は こっちに 来たり あっちに 来たりして、説得するのだ、

"ənəguuri-ə," undii, "xooni bipugui taisi-a, əmučkəən əmu j̄oogdo."  
「行こう、」と言う、「どうやって留まろうというのか、たった一人で同じ場所に。」

t̄ai ambaaria puĵin-t̄anii, "xai tami osisiisi, xailawani ŋuərəə,  
その 魔物の プジンは、「どうして 嫌がるの、なんともたくさん 怪物がいて、

xailawani ambaaroo j̄oogdo dəŋĵiicəisi-nuu," undii,  
ひどくたくさん 魔物がいる この家に 残りたいというの、」と言う、

"ənəguuri," undii, "gəsə-də." xailoo naonjokaamba dəŋsiini, dəŋsiini-goani.  
「行くのよ、」と言う、「一緒に。」 ひどく 少年を 叱りつける、叱りつけるのだ。

əsi-t̄anii tui aosini naambičaini-a~ naonjokaan-daa čixalaxan daoriini osixani-goani,  
今 そうして 義兄は 説得する、 少年も 同意した、渡ることになったのだ、

ñoančiani ənəini osixani. t̄ai-lə t̄ə-kəə j̄jja bičini, aosinaani biini.  
彼らの所へ行くこととなった。それは ほうれその すぐ近く だった、義兄達の いる所は。

ə~ŋ tui taraa~ bagia kaltaajjala tado-la,  
そうしてから 向こう岸の 側で、 そこで、

čado tui bii-goani naonjokaan-tanii tui bii~ tui bii, t̄ai-t̄anii  
そこで そうしているのだ、少年は そうしている、そうしている、彼の

undiisi, tətüeni-dəə xəm lə~r biini-goani.  
服も 全てボロボロになってしまっているのだ、

aosini tətüeni-dəə lə~r ənəxəni bičin pəgiə kaltaani-la.  
義兄の服も ボロボロになってしまっていた、下の 部分が。

təi ambaaria pūjin-tənii bəjədu bii, osixani ələ-dəədə.  
その魔物の プジンは 身ごもった、生まれそうになった、今にも、だ。

ə~ŋ undiisi čəəl čəəl biini-goani. əŋ tui tami tui tami baaxan piktəguji.  
パンパンに 膨れているのだ。 そうして そうして 生まれた 子供が。

əsi-tənii naorŋjokaan-tanii undiisi tui, lər biini-goani,  
今 少年は そうして、ボロボロの身なりでいるのだ、

nukta-dəə nukta-nuu~ tətüə-dəə tətüə-nuu osixan tui taraa-tanii,  
髪の毛も 髪の毛なんだか、服も 服だかなんだか、という様になった、そうしてから

tōo~ nai doofjiasičiani ənərəə puəsəmi songgoini-goani,  
ずっと人に聞かれないような所へ 行ってから 転がって 泣くのだ、

”əgəə~ əgəə,” puəsəmi songgoa undə  
「お姉ちゃん、お姉ちゃん、」と 転げまわって 泣く という、

tui walii walii jadami tui naa puəsəmi songgoidoani undiisi  
そうして ぐたぐたに 泣き疲れて そうして 地の上を 転げまわって 泣いている時に、

ŋičini-la undiisi-ə, əŋ ŋoančiani, naaŋjiani-la undiisi-ə,  
やって来た、 彼の所へ、大地から、

əm gasakaan-gola boŋgaari-o~ uipə dəgdəmi ŋidə undə,  
一羽の水鳥が ボワ〜と 上へ 飛び上がって やって来る という、

ə~ŋ ŋakpadoani dooxani. ə~ŋ moŋgombi-la ŋoŋol ŋoŋol taxani əikəni osiogoxani.  
彼の側に とまった。 首を クイクイと 振ったら、姉に 変身した。

ə~nəə əsi-tənii bəji-daa aqđai-goani əikəni-dəə songgoi nəuni-dəə songgoi-da.  
ああ、今 びどく 喜ぶのだ、姉も 泣く、弟も 泣いて、だ。

”ə~ŋ əpaŋgoa~,” undii, ”xaido baaxasi,” undii,  
「ああ、弟よ、」と 言う、「どこに見つけたのか、」と 言う、

”tui murunguji, tɔi mii, gaikoan čumčuəmbəni ʒapaəčisi osini-tanii,  
「ああした 思いつきを、あの、私の、小指の 指を 取らなかったならば、

mii-təni bɔrtii burburimča,” undiini.  
私は 完全に 死んでしまっていたら、」と 言う。

”ə~ŋ tɔi gaikoan čumčuəmbəni,  
「あの 小指の 指を、

gaikoambia ʒapagoxasi ʒaaroani xoragoxambi-a”-m-da.  
私の小指をおまえが取った そのおかげだろう、私が生き返れたのは、」と (言う)。

əsi-təni~ nəuji-təni ʒilini xəm siʒjixəni undiisi-ə~ tui taraa undiisi  
今 自分の弟の 頭を 全て 櫛でとかした、 そうしてから

ələdələ siawaŋkini xaiwa-gdal olbiŋkini-os puʒin,  
十分に 食べさせた、 いったい何を持って来たんだか、 プジンは、

əŋ ələdələ nəuji siawaŋkini-a~ tui taraa-tanii xaixani,  
十分に 弟を 食べさせた、 そうしてから どうした、

tətuəni lər biə undə xə~m moli moli osigoʒjiani pisačigoxani.  
服が ポロポロである という、 (それを) 全て きちんときれいになるよう つぎを当てた。

”ə~ŋ əpaŋgoa~ undiisi tul tul əʒi songondasora,” undii,  
「ああ 弟よ、 しよっちゅう 泣きにやっ来てはいけないよ、」と 言う、

”ə~ŋ tɔi ambaaria puʒin saarii osini xailaraa,” undii, ”xaʒjaa-ma”-m-da.  
「あの 魔物の プジンが 知ったなら えらいことよ、」と 言う、「ああするだろう、」と。

”waandagoi,” undiini-goani. əsi-təni ”xai pulsijəmbi,” undii,  
「殺そうとする、」と 言うのだ。 今、 「どうして 通ったりするだろうか、」と 言う、

”tul tul-da.” əsi-təni tui taraa undiisi naonʒokaan-gola,  
「しよっちゅうなんかも。」 今 そうしてから 少年は

əuguxə~n undiisi tui        biə, əsi-təniī aosini j̄juxəni-ə~        bičini.  
下りた、                    そうしている、今        義兄は戻って来ていた、いた。

ə~si-təniī naon̄jokaamba-taniī xasasimi dəruuxəni,  
今                    少年を                    追いかけて始めた、

”ui j̄aka ulpixəni,        ui j̄aka siġjixəni                    j̄iliwasi,”                    undii.  
「誰だ、縫ったのは、誰が        櫛でとかしたのか、おまえの頭を、」と言う。

undiini-goani naon̄jokaan undiini,  
言うのだ、        少年は        言う、

”j̄əsio                    j̄angiasal purini                    guj̄iasiməəri ulpixəči,”                    undiini,  
「ジュシウの長たちの 子供たちが 哀れに思って 縫ってくれたんだ、」と言う、

”tətuəji xəm pisačixəči-a”-m.  
「服を 全部 つぎを当ててくれた、」と。

”xai, j̄iliji osini, guučən                    xuktəj̄iəni, siġjipun̄j̄iəni siġjixəči,”                    undiini-goani,  
「頭 は、 カワカマスの 歯で、        櫛として        とかしてくれた、」と言うのだ、

”guj̄iasiməəri.”        tui undiini naon̄jokaan.  
「哀れに思って。」そう言う、少年は。

”abaa~,”        undiini, tui                    xasasimi tui tami boāči čočaxambani-la, aosini,  
「いや、」と言う、        そうして追いかけてそうして 外へ 逃げたのを、        義兄は、

tui                    boāči čočaxambani-la tui                    xamialani xasipoalaxani.  
そうして外へ 逃げたのを        そうして後ろから 追いついた。

tui        tami-a-la undiini-goani, xai-taniī,  
そうして        言うのだ、

j̄apagoini-goani xai j̄apaxani-goani naon̄jokaamba  
つかまえるのだ、        つかまえたのだ、少年を、

tui        taraa        mədəsiini ”gusəərəuu,” undii,  
そうしてから 訊く、        「話せ、」と言う、



”əikəsi xoragoxani biəsi-nuu,” undii,  
「おまえの姉さんが生き返ったんじゃないのか、」と言う、

”sua buikinji xoragoisi-noo,” songoini-goani, naonjokaan.  
「あなたたちは 死んで 生き返るのか、」と泣くのだ、 少年は。

”buikin nii xooni xoragoi-ja,” undiini, ”nai siaxan jaka.”  
「死んだ人が どうやって 生き返るのか、」と言う、「人が 食べてしまったのに。」

”ə~ŋ əji argalara,” undii, xaolia... ”gusərəruu,” undii,  
「騙すな、」と言う、「話せ、」と言う、

əsi-təni tui xairii-ja undiini-goani, tēi-təni, xaixani,  
今 そうして 言うのだ、 少年は

gusəri-goani naonjokaan tərj ačaičaini-mat taini,  
話すのだ、 少年は、 ひどく 無理に言わせようと するので、

”əgəə xoragoxani-a~,” undii, ”əgəə ulpixonē, əgəə sigjixonē,” undii.  
「姉さんが 生き返った、」と言う、「姉さんが 縫った、姉さんが とかした、」と言う。

”əji pulsirə, uŋki~n,” undii, ”əsi tēi pūjin j̄j̄jurəə,  
「通って来るな、と言った、」と言う、「今 あの プジンが 戻って来てから、

waarii osini xaali-daa xoragoasimbi-ə”-m.  
殺す なら、 もう永遠に 生き返ることはできない、」と。

”mii-təni ŋoani čumčuekəəmbəni,  
「僕は 姉さんの 指を

gadal gadal taiwani ičərəə, j̄aixambi,” undiini-goani,  
カタカタ動いているのを見てから、隠した、」と言うのだ、

”čala xoragoxambi, uŋkin”-m-də.  
「そこから 生き返ったのよ、と言った、」と（言う）。

ə~ŋ əsi-təni tui, tui umbuwəəndəə xōjixan.  
今 そうして、 そう 言わせて 終えた。

ə~ŋ undiisi "əsi-tənii čimana ənuuri," undiini, aosini,  
「今 明日 去ろう、」と言う、義兄は、

"čimana ənuuri," undiini-goani.  
「明日 去るべきだ、」と言うのだ。

təi ambaaria puĵin-tənii piktəkuni, arčokaamba baaxani.  
あの魔物の プジンは 子供がいる、娘を 産んだ。

ə~ŋ əsi-tənii undiisi-ə, mərgən-tənii undiini-goani xai,  
今 ムルグンは 言うのだ、

"čimii ənui-goani." naonĵokaamba-daa "tui tui gəsə ənuruu," undii,  
「朝 去るのだ。」少年にも 「ああしてこうして共に 去れ、」と言う、

naonĵokaan-daa ənuxən. təi songoxambi boači.  
少年も 去った。あの 泣いた 場所へ。

ə~ŋ tui taraa naonĵokaan-gola songoi-goani  
そうしてから少年は 泣くのだ、

tado songoidoani guči əikəni-lə daogoxani.  
そこで泣いている時にまた 姉は 渡って来た。

ə~ŋ daogoxa~n puĵinduji osiogoxan gasa.  
渡って来た、元のプジンの姿になった、水鳥は、

"əpangoa~ undiisi, xai tami pulsiisi," undii,  
「弟よ、 どうして通って来るのか、」と言う、

"əsi-tənii ini ini pulsiluxəsi-ə"-m-də.  
「今 毎日 通い始めたじゃないの(あなたは、)」と。

"nai saarii osini mimbə bortii waājaraa," undiini-goani.  
「人が知ったなら、私を 完全に殺してしまうわ、」と言うのだ。

ə~ŋ undiisi-ə, "əĵi ĵidə əĵi ĵidə undəsimbi-kəə naija saawaandači-a"-m-da.  
「来るな、来るな、と言ったじゃないの、人に 知られるな、」と。

ə~ŋ naŋjokaan-tanii xəmə~ biini-goani  
少年は 黙っているのだ。

siagoani olbiŋkimbani asoo-daa siaradaasi-a naŋjokaan.  
食べ物を運んできたのを 少しも 食べもしない、少年は。

əŋ tui taraa undiisi əsi-təni undiisi "ə~əgəə~ jiliasi gələguje," undii,  
そうしてから 今、 「姉さん、頭 (のシラミ) を 探させて、」 と言う、

"əgəə jiliasi gələguje." ə~ŋ undiisi təi-lə,  
「姉さん、あなたの頭 (のシラミ) を 探させて。」

"mii jiliduji čiktə-dəə anaa xuktu-dəə anaa," undii, "xai-daa abaa," undii,  
「私の頭にはシラミも いないし、シラミの卵もないわ、」 と言う、「何も ない、」 と言う、

əsi-təni naŋjokaan-tanii tui əikəji osisiwani-tanii jilidoani jəparaa jigdaxani.  
今 少年は そうして姉が 嫌がるのを その頭をつかんで押さえつけた。

əilə suilii, čala suilii tami-la, təi əikəji tango daa nuktəjəni...  
こつちを掻き回し、そつちを掻き回して、 その自分の姉の百 尋の髪の毛で、

nuktəwəni-lə bəjə kəəndəli xərkəxəni.  
その髪の毛を体の周りにぐると巻きつけた。

tui taraa-la dəŋ dəŋ kataraxani əikəji jiliwani tui juər ŋaaləji jəparaa,  
そうしてからガッチリと縛った、 姉の頭を そうして二本の手で つかんでから、

"gəə aosi," uŋkini, xərə~ aosini-la agbiŋgoi-goani siričixanji.  
「さあ、義兄さん、」 と言った、さあ、義兄が 現れるのだ、 隠れていた所から。

ə~ŋ tui taraa-tanii əsi-təni pujiŋbə naambičagoi-goani,  
そうしてから 今 プジンを抱きしめるのだ、

"anda~ pujiŋ undiisi, miŋji-lə xairiŋjja aksiisi-a," undii,  
「友たるプジンよ、 私が いったい何をしたと腹を立てているのか、」 と言う、

"mii xaiwa-daa saarasimbi," undiini-goani.  
「私は何も 知らないんだ、」 と言うのだ。

ə~ŋ pūjin undiini, "xai tami mimbə xairiso," undiini-goani,  
プジンと言う、「どうして私を ああしたのよ、」と言うのだ、

"əsi asisi jidii osini mimbə bortii waājaa-ma"-m,  
「今 あなたの妻が来る なら、私を 完全に殺してしまうでしょう、」と。

"saarasi," undiini. "xai saawaanda," undiini, "noambani."  
「知らないよ、」と言う。「どうして知られようか、」と言う、「彼女に。」

əsi-təni əjji jiliwani-daa sigjiguxən.  
今 自分の夫の頭も 櫛でとかした。

tətua-də əčia-də ulpirə. ə~ŋ lər biə undə.  
服だって 縫わなかったはずもあろうか (勿論縫った)。 ボロボロなのだという。

tui taraa undiisi ə~ŋ ənui-goani.  
そう してから 去るのだ。

əsi-təni tawanji ənəməri-lə undiisi-ə~ xaigoani,  
今 そこから 行って、

naonjokaan ənai-ə kupimi xai boala xooligomi.  
少年は 行く、遊びながら (遊んで来たふりをして)、 外を 回り道をして。

əŋ təi-lə mərgən-gulə ənəuri noljinjiani-la undiisi  
その ムルグンは 行くとすぐに

ə~ŋ moowa gərbəxəni undiisi ə~ŋ gaājoxani,  
木を 集めた、 持って来た、

piktəji otongowani angoini osixani.  
子供の小さなたらい風呂を作ることになった。

ə~ŋ piktəji otongoni angoini osixan təi jījuxəni undiisi  
自分の子供のたらいを作ることになった、彼は戻って来た、

təi-lə undiisi naonjokaan-daa jījuxəni aosini jījuxəni~ bičini.  
その、 少年も 戻って来た、義兄も 戻って来た、いた。

ə~ŋ aosini-la piktəji otongoani, surəji-lə təŋ pia pia,  
義兄は 子供のたらいを、自分の斧をひどく鋭くピッカピカに、

piarii-daa piiwəi-dəə tami, xosaktəji, daapowaarəjiini-mat tui,  
砥石もかけ、磨きも して、自分の爪で、切れ味を試してみたりして、そうして、

siručigurəə tui taraa niəguxəni boəči.  
研いでから そうしてから 出た、 外へ。

əsi-təni tuliedulə toa~x toax čapčia undə.  
今 中庭の所で コーンコーンと 木を切る という。

”anda~ mərgən xaiwa čapčiisi,” undii,  
「ああ、ムルグンよ、何を 木なんか切っているんです、」と言う、

”nəku otongoani angoi-tanii,” undiini.  
「我が子のたらいを 作っているんだよ、」と言う。

ə~ŋ əilə čala čapčia undə, ”anda pujin j̄j̄urəə,” undii,  
こちら側や あちら側の 枝を切り落とす という、「ああ、プジンよ、来い、」と言う、

”moča moňaan,” undiini-goani,  
「えらく やりにくいんだ、」と言うのだ、

”əm, gaksidaan ŋaaləji j̄apačami čapčiori sii, xairoo,” undiini-goani,  
「片一方の 手で つかんでいて 切るのが、おまえ、来い、」と言うのだ、

”j̄apandagoroo”-m-da. ”abaa~,” undii,  
「こっちへ来て押さえろ、」と。「いいえ、」と言う、

”naonjokaamba xəəsiguruu,” undii, ”naonjokaan mənə j̄apačj̄aa-ma,” undiini.  
「少年を 呼びなさいよ、」と言う、「少年が すすんで押さえてくれるわ、」と言う。

”ə~ŋ moňaan,” undii, ”naiwa nai murunduləni j̄apaasi-a”-m-da.  
「う～ん、面倒だ、」と言う、「人は 私の思うようには 押さえてくれないよ、」と。

”əlčiusəl-dəə biəsi-kəə,” undii,  
「奴隷たちがいるじゃないの、」と言う、

”təi pulsii puriŋni-dəə tutuəsi-kəə,” undii,  
「あのいつも歩き回っている子供たちも 走っているじゃないの、」と言う、

”cawa-daa xəəsiruu,” undiini.  
「あれでも 呼びなさいよ、」と言う。

ə~ŋ təi-tənii uiwə-dəə xəəsii-dəə xəm aosini aliasi-a,  
それを、誰を 呼んでも 皆 義兄は賛成しない、

”nai murunduləni naamboasi-a,” undiini.  
「私の心には 気に入らない、」と言う。

”jijuruu”-m, ”sii japačaisi-mat nam biini-goani-a”-m-da.  
「こっちへ来い、おまえがつかんでいてこそ うまい具合に いくのだ、」と。

ə~ŋ əsi-tənii mərgən-tənii, ”xiə xiə xiə xiə,” təi pūjin baaroani..  
今 ムルグンは、 「フッフッフッフ、」とそのプジンの方へ (笑いかける)、

pūjin-gulə ənuə undə ambaaria pūjin,  
プジンは 行く という、魔物の プジンは、

”xai mii japai-maa~ tərək murunduləsi osii-noo,” undii,  
「何よ、あたしがつかんでいたら、ちゃんとあなたの気に入るというの、」と言う、

”xiə xiə xiə xiə,” inəktəə undə, əŋ undiini-goani,  
「フッフッフッフ、」と笑う という、 言うのだ、

”gəə sii japaisi-mat tərək osini-goani, gəə nam nam japo, uləəŋgūjieni.”  
「ああ、おまえがつかんでこそ ちゃんとなるのだ、さあ いい具合につかめ、良く。」

ə~ŋ tui mərgən xaljii-ja tui xaljiiidoani,  
そうして ムルグンは 斧で木を削る、そうして 木を削っている時に、

”anda~ mərgən xai, boči-a~ anda mərgən boči-a,” undii,  
「ああ、ムルグンよ、何か気分が悪いわ、ああ ムルグン、何かクラクラするわ、」と言う、

”ə~ŋ xai boči osira,” undiini,  
「何がクラクラするんだ、」と言う、

"nam ʃaparoo," undii, "tui ʃaparoo," undiini-goani mærgən.  
「しっかり押さえている、」と言う、「そうしてつかんでいる、」と言うのだ、ムルグンは。

ə~ŋ əsi-təni tɔi mærgən-gulə undiisi, tui,  
今 そのムルグンの そうした、

xəsələni tɔi asini-la kiak ʃaparaa tui ʃapačaini-goani moowa.  
言葉にしたがってその妻は しっかどつかんでそうして押さえているのだ、木を。

tui taidoani-la əilə čala čapčilaijiji gəsə  
そうしている時に こっち側を、あっち側をと削っているやいなや、

boči boči undiini doolani-tol mongomba pəngəgəram moljoram čapčilaxani.  
クラクラすると言う その間に 首を ボロりと、ズバツと 切り落とした。

ə~ŋ tui taraa əsi-təni čawa-la undiisi too~ duisi tooboxani undiisi  
そうしてから今 それを ずうつと山の方へ 運び上げた、

moowa korixani undiisi, piktəni aŋaaka dərəjii-goani,  
木を 切って埋葬用の丸太小屋を作って安置した、その子供は 孤兒として 残るのだ、

ambaan... xai, tənii bəgjiquji baaxan.  
たった今体が できあがったというところの子供だ。

əsi-təni undiisi čawa-la undiisi xaigoxa~n, korixani  
今 死体を どうした、丸太小屋を作った、

xai-daa daaliasjiani xai-daa iirəsijjəni mooji, asi, ambaama asiji.  
何も もぐり込まないように何も 入らないように 木で、妻、魔物の 妻を。

ə~ŋ tui taraa undiisi ə~ŋ čado tɔi doolani nəxəni. tui taraa  
そうしてから そこにその中に 安置した。そうしてから

əkəni ŋaanigoi-goani, pūjimbə. əŋ pūjin jījuxən əsi-təni tui bi-i-goani.  
姉を 連れて来るのだ、プジン。 プジンは戻って来た、今 そうしているのだ。

ə~ŋ jījumi pūjin-gulə bai čəgdəəluu bəjədu osixani,  
戻って来てプジンは ほんのすぐの間に 懐妊となった。

xai goidami, niŋmaaria piktəni balfjilai.  
どうして長いことかかって、民話の中の子供が生まれるはずがある(すぐ生まれる)。

ə~ŋ undiisi əsi-təni piktəni-təni palan paaliakta kupii  
今 子供は 床を パタパタ走り回って遊ぶ、

xailoo ʒangian osixan.  
なんともたくさんしゃべるようになった。

əsi-təni təi ambaaria piktəni arčokaan ŋoambani ətəxii-ə~ uutəčii  
今 その魔物の 子供である娘は 彼を 世話したり、おんぶしたり、

kupii taa undə, ʒə uləsii-nuu, təi nəŋguji baaxambi-tanii-da.  
遊んだりする という、どんなに可愛がることか、その弟が 生まれたのを、だ。

ə~ŋ undiisi tui taraa-la, duisi tooxan, xairiini-goani,  
そうしてから、山の方へ 上った、

əm modan-gola təi-lə ambaaria arčokaan-gola  
ある時、 その魔物の 娘は

naoŋjokaamba kupimi uutəčiməəri olbiačimi-la duisi toopsiŋkini.  
少年を 遊びながら おんぶして 連れて 山の方へ 上り始めた。

tui toomi toomi ənimbi koriani baaxani.  
そうして上って上って自分の母親の丸太小屋を見つけた。

ə~ŋ naoŋjokaamba-la gorola iliwaanŋkini, "kaoka əidu ilisiroo," undii.  
少年を 遠くに立たせた、「じっとここに立っている、」と言う。

"minči əji ʒidə," undii, təi-lə arčokaan-gola undiisi  
「私の方へ来るな、」と言う、その娘は、

ə~ŋ təi ənimbi koriačiani ənəɾəə soŋgoa undə,  
その母親の丸太小屋へ行ってから泣く という、

"əñə~ xorago, əñə xorago,  
「お母さん、生き返って、お母さん、生き返って、



nai-daa xoragoxani biəsi-kəə, əñəə~ xorago,” songoa undə.  
人だって、生き返ったじゃないの、お母さん、生き返って、」と泣く という。

əŋ tui songoidoani-la təi-lə ənini-lə lərguə~ ʃaralixani.  
そうして 泣く時に その 母親は 突然はっきりとした声で話し出した。

ə~ŋ undiisi, ”əni ičəguruu~ undiisi, əŋ naija saawaandači-a,” undii,  
「娘よ、 人に 知られるな、」と言う、

”mii nuuci pujači xəm xoogoxan, daai daai pujači-rəgdə osigoxan,” undii,  
「私は小さい傷は 全部 乾いた、 大きな大きな 傷だけに なった、」と言う、

”nai saarii osini mimbə əsi waagoočiani-tanii,  
「人が 知ったなら、私を 今 殺すならば、

əŋ bortii bujəmbi-məə~,” undii, ”əji naija saawaanda,” undiini,  
完全に 死んでしまうだろう、」と言う、「決して人に 知られるな、」と言う、

ənini moraini-goani tajaǰia,  
母親が 叫ぶのだ、 向こう側から、

naonjokaan-tanii xəmə~ dosojaini-goani təi nai xəsə angoiwači.  
少年は 黙って 聞いているのだ、その 人が 言葉を 話しているのを。

”əji songondasora,” undiini-goani,  
「決して 泣きに通って来るな、」と言うのだ、

”naija saawaandači-a mimbə əsi nai waagoočiani bortii bujəmbi”-m undii,  
「人に 知られないように、私を 今 人が 殺せば 永遠に 死んでしまう、」と言う、

”ələə, ələə xoogoi-a,” undiini-goani.  
「もうすぐ、もうすぐ 生き返るから、」と言うのだ。

ə~ŋ undiisi tui taraa naonjokaamba tuxiləgurə~ əugui-goani,  
そうしてから 少年を 抱き上げてから 下りるのだ、

pinalagoraa təi, arčokaan.  
背負ってから、その、娘は。

əsi-tənii j̄ookçi j̄ijuxə~n, t̄ai gilōnj̄ia nakando tui kupii, al̄coakaačii-daa,  
今 家へ 戻った、その左側の席のオンドルでそうして遊ぶ、鹿の骨を投げたり、

soirakaačii-daa tami kupiə undə, t̄ai al̄coambi-la undiisi  
ビーズで遊んだりもして、遊ぶ という、その鹿の骨を、

xaosi-daa xəm ərđən̄ji kupiə undə t̄ai ar̄cokaan-gola naon̄jokaan.  
ありとあらゆる全ての方法で遊ぶ という、その鹿の骨で、少年は。

əj t̄ai naon̄jokaan-tanii, "əñə əñə," daogoa undə.  
その少年は、 「お母ちゃん、お母ちゃん、」と渡る という。

"j̄ijuu j̄ijuu j̄ijuu, kupiguəri j̄ijuu j̄ijuu,"  
「こっちおいで、おいで、おいで、遊びましょう、おいで、おいで、」と

xəəsii-goani-da naon̄jokaan ñoan̄čiani ənəi.  
呼ぶのだ、少年は 彼女の所へ 行く。

ñoan̄čiani ənərəə, kupiini-goani.  
彼女の所へ行ってから、遊ぶのだ。

amini-daa j̄ijuxən, amin̄čiji, "amaa amaa," daorii-goani,  
父も 戻って来た、父の所へ(行って)、 「お父ちゃん、お父ちゃん、」と渡るのだ、

palan tokombani isigoi, "j̄ijuu, j̄ijuu," xəəsiguə undə,  
床の 真ん中の所に着くと、「こっち来て、来て、」と呼ぶ という、

"kupiguəri j̄ijuruu," undiini.  
「遊ぼうよ、来て、」と言う。

xado-daa modan tui taiwani pujin-gulə j̄aralixani,  
何 度か そうするのを(聞いていて) プジンは 話し出した、

"xaimi osisiisi," undii, "daogoiwani."  
「(お父さん、) どうしていやがるの、」と言う、「渡って来るのを。」

"ini tiap biini kuumusiə-tənii j̄əmusiə-tənii," undii,  
「一日中 いるんだ、お乳が欲しいんだよ、おなかが空いているんだよ、」と言う、

”jəmulukə-tənii-ə”-m-də.

「おなかが空き始めたんだよ、」と（言う）。

ə~ŋ tui tapi-maa~ naonjokaan-gola, naonjokaamba daogoi... daogoxani.  
そう してからやっと 少年の方へ 渡った。

daogoxan-daa-tanii əsi-tənii, ənimbi kuumbəni kuučixə~n,  
渡ってから 今、 母親のおっぱいを吸った、

tui taraa amimbi ənimbi aldando təəguxəni undiisi undiini-goani,  
そうしてから父親と母親の間に 座った、 言うのだ、

”amaa~ əñəə undiisi-ə, əgəkəən-tənii mimbiə-tənii  
「父さん、母さん、 お義姉ちゃんが僕を

too~ duisi tooboxani,” undii, ”nai kori angoxandoani-tanii,  
ずっと 山の方へ連れて上った、」と（言う）、 「人が丸太小屋を作った所に、

mimbiə xəŋjalaa ilgamoraa-tanii soŋgoxa~n,” undii,  
僕を 別の方に 立たせてから 泣いていた、」と（言う）、

”əñəə~ xorago, əñəə~ xorago, əŋ čado-tanii undiisi ənini-tənii uŋkin,”  
「母さん生き返って、母さん生き返って、 そこで その母さんは言った、」と

undii, ”ələə xoragoambi-m-da. nuuči pujeji xəm xooxan,  
言う、「もうすぐ 生き返るわ、と。 小さい 傷は 全部 乾いた、

əŋ daai pujeji-rəgdə osiogoxan, mii xoragoočija-tanii, əm nii xəjjeji,  
大きな 傷だけに なった、 私は 生きかえったならば、 一人は 下流から、

əm nii soliaji naija xəm luŋbulsiguuri-ə-m-də.  
一人は 上流から、人を 全部 呑み尽くしてしまおうね、と。

ənini tui uŋkin,” undiini-goani.  
その母さんは そう 言った、」と（言う）のだ。

ə~ŋ əsi-tənii amini-tanii čəŋsop iligojiji gəəə undiisi  
今 父は ガバッと 立ち上がるやいなや

əlčiusəlbə bosiarijiji gəsə tɔi, dui si tooxani.  
奴隷達を集めるや いなや彼は、山の方へ上った。

əŋ tooxani-la undiisi əŋ koriani-la xəm ačogoi-goani əlčiusəl tias tooxan.  
上った、丸太小屋を全部取り除くのだ、奴隷達はたくさん上った。

tui taraa-la undiisi, tooxandoani-tanii,  
そうしてから、上った時に、

ačoktagoxači tǎj-dəə bičɪn tɔi-lə undiisi, daai pujəni-maŋa ooŋo očogoxani.  
取り除いた、本当だった、それは、大きな傷ばかり開いているだけになっていた。

ələə xəm xoogoxani toli poli, koli pali-da.  
今にも全て乾いて治るところだった、パリパリ、カリカリ、と。

əŋ nasal potaŋ potaŋ tawa ičǎjəə undə.  
目にはふつつつと火が燃えているのが見えるという。

əsi-tanii undiisi mǎrgən-gulə undiisi ʒapagojjiani gəsə undiisi  
今 ムルグンは つかむや いなや

tɔi koriamba-la tias, iwandiijari gəsə, čaa-la undiisi xaixači.  
その丸太小屋をどっさりと、火をつけるやいなや、そいつを どうした。

tɔi tǎj tomaxindolani nargalaxači. čaa-tanii puniktə~ sialta osijjiani ʒəjjixəči.  
そのちょうど火の真ん中へ投げた。それを灰と炭になるように焼いた。

əŋ tui taraa~ tui bii-goani, piktəni uju~n bii.  
そうしてからそうして暮らしているのだ、その子供は生きている。

ambaan daaikaan osixan tɔi naorjokaanji kupimi pulsii.  
魔物の子供はやや大きくなった、その少年と遊んで歩き回っている。

əŋ tui tami undiisi piktəni-dəə daai patalan osixa~n,  
そうして その子供は大きな娘になった、

xaiwa-daa xəm mutəi, moo, moolsimi-dəə mutəi,  
何でも全部できる、薪を集めて来ることもできるし、

muəwə muəlsimi-dəə mutəi osixani.  
水を 汲んでくることも できるようになった。

tui tamaari undiisi tēi arčokaamba-la čop čop xuədəluxəči.  
そうして その 娘を しばしばその姿を見失うようになった。

ə~ŋ xaosi pulsiini-ə~s xaosi ənəini-us tui tamaari undiisi,  
どこを歩き回っているんだか、どこへ 行っているんだか、そうして、

ixonkasal-tanii čuŋnu, surəwəri xuədəməəri dəruuxən.  
村の人々は すっかり、自分たちの斧を 失くし 始めた。

irgəndu bii gurun, əsi-tənii xə~m nai xuədəxən surəwə,  
村に いる人々は、今 み~んな人は失った、斧を、

nai uidu surə anaa osiogoxan.  
人々は誰の所にも 斧が 無く なった。

əsi-tənii amini takoraini surəkəəni, ʒoogdo bičini,  
今 父親が 普段持ち歩いている 小さな斧が 家に あったのだが、

amini surəəni-rəgdəl osiogoxan, ʒoogdo takoraori surə-dəə xuədəxən,  
父の 斧だけに なったいた、家に (あった) 携帯用の 斧さえも見失った、

amini boawa pulsiini surəkəən, čuŋnu xuədəxən əm čimii.  
父が 外を 歩き回る 小さな斧、すっかりそれも 見失ってしまった、ある 朝に。

ə~ŋ tui taraa naonʒokaan-gola ərdəŋgəsīčii-goani əi arčokaan xaosi  
そうしてから 少年は 興味を持った、その 娘は どこへ

pulsiini, əlkə~ ərdəŋgəsimi poktowani asamasia undə tui taraa,  
通っているのか、静か~に 不審に思っ て 足跡を 追跡する という、そうしてから、

ənəpsinʒini maŋbo dərəənčəni.  
出発した、大河の 源流へと。

təi-tənii ənəmi-ə~ ənəmi doolʒiini-goani,  
彼は 行って~ 行って 聞くのだ、

əŋ čaa~s čaas čapčia undə təi arčokaan čapčiini-la,  
カーンカーンと何かを切っているという、その娘は 何かを斧で切っている、

ə~ŋ laŋ osixani, xərə~ ənimbi-təni sisāji angoxani bičini.  
近くまで来た、 ああ~、自分の母親を大理石で作っていたのだった。

təi-təni tui čapčiidoani-la ələə xōjixani,  
それは そうして 彫っている時に、もうすぐ 終わろうとしていた、

əm, ənjiə ŋaala-noo xai-noo, əčiə xōjiani.  
片一方の手だか、何だかが、まだ 終わっていなかった。

”əni ičəguusu~, turgəŋji,” undii,  
「娘よ、 急げ、」と言う、

”turgəŋ xatan taroo”-m, ”naija saawaandači-a”-m,  
「速く、すばやく やれ、」と、「人に知られるな、」と、

”ə~ŋ əsi mii xōjiŋji gəsə, xōjiisi, xaiori,” undii,  
「今 私は 終わったら すぐに、おまえが 終らせたなら ああする、」と言う、

”xəjiəji soliaji xəm nai luŋbulsiguuri,” undiini.  
「下流から 上流から 悉く 人を 呑み込んでしまうのよ、」と言う。

”ə~ŋ pədə,” undiini, ”pədə,” pikpuə undə.  
「さあ 急げ、」と言う、「早く、」と 励ますという。

əŋ dosijaraa ənuxəni naonjokaan jookči. aosini jijuxəni-ə bičini.  
聞いてから 去った、少年は 家へ。 義兄は 戻って来ていた。

”aosi-a~, piktəsi-təni əninguji sisāji angoxan,” uŋkini.  
「義兄よ、あなたの子供は 自分の母親を 大理石で 作っていた、」と言った。

”ələə xōjii-ja”-m-da. ”ənini-təni lə~r jaralixani,” undii,  
「今にも 終わるところだ、」と。「その母親は 流暢に 話し出した、」と言う、

”tui tui uŋkini”-m gusəŋini-goani təi.  
「このように このように 言った、」と 語るのだ、 彼は。

əsi-tənii ixon naiwa xairii, t̄ai ̄čap̄čiidoani-tanii  
今 村の人を どうする、彼女が 彫っていた所には、

surəə-dəə ̄čo~k̄čoigan biini-goani naon̄jokaan īčəxəni.  
斧も うず高く小山をなしてあるのだ、少年は 見た。

əŋ ̄čawa gusərēguini-goani, aosīčiji.  
そのことを 語った、 義兄へ。

əsi-tənii t̄ai-tənii, gərən ixon najja xəm xai bosiami-tanii mər̄gən-tənii tui,  
今 彼は、 人々を、村の人を 全て、 集めて、 ムルグンは そうして、

tui naadamaari ənə̄iči-goani xaiwa,  
そうして 森の中を道なき道を行くのだ、

gormaxomba saadai-maa tui-də, gərən nii tui-də.  
ウサギを 大勢の人で網で追いつめていくように、そうして、人々は そうした。

ə~ŋ tui ənəməri dool̄jīči-goani, ̄čaa~s ̄čaaš ̄čap̄čia undə,  
そうして行って、彼らは聞くのだ、コーンコーンと 彫っている という、

əŋ t̄ai-tənii undiisi ə~ŋ tui ̄čap̄čii doolani-tanii ənini undiini,  
彼女が そうして 彫っている 最中に 母親は 言う、

”pədə, əni paŋgoa pədə, nai ələə isindai-a,  
「早く、娘よ、 急げ、人がもう やって来るわ、

ələə bumbiə wājaraa,” xairiini-goani, xəsə... moraini, piktə̄čiji.  
今にも 我らを 殺すだろう、」 と言うのだ、 叫ぶ、 自分の娘へ。

ə~ŋ tui tamaari isindaxan undiisi  
そうして 到着した、

ə~ŋ ar̄čokaamba ̄japamaari bokixan.  
娘を 捕まえて 縛り上げた。

əl̄čiusəl-tənii əsi-tənii, ”əi mii surə̄əji,”  
奴隷達は 今、 「こいつはオレの 斧だ、」 とか、

”əi mii surəəji,” tɔi-tənii, səŋ səŋ səŋdæ~  
「こいつはオレの斧だ、」と（口々に言う）、それは、柄が折れていたり、

kərmə kərmə~ biə undə,  
刃が欠けていたり している という、

əŋ tɔi aosini, takorai surəkəəmbəni ʃapagoxani-ragdəl,  
その義兄が、常用している 小さな斧を 使っていた（娘は）、

tɔi-rəgdəl osiogoxani bičɪn čapčiini čəji.  
それだけが最後の一本の斧となっていたのだった、彫っていた、それで。

ə-si-tənii əlčiusəl-tənii xamačaəji kərkiči-i-us xəji kərkiči-i-us,  
今 奴隷たちは どんなにか壊れた斧で 叩き切るんだか、どんな斧で 打つんだか、

tɔi sisawa-tanii tɔi-tənii sisa-tanii nai kərkiči səə,  
その大理石を、 その 大理石を人が 叩くと、赤く、

səəksə jurrrr jur xəjəə undə tɔi-tənii tui lur xəjəini-goani,  
血が ダラダラと 流れ出す という、そいつは そうして タラタラ 血が流れるのだ、

tɔi sisawa nai duktəini, yʒe nailčinqini-goani.  
その大理石を 人は 叩く、 もう 人間となっていたのだ。

əŋ tui duktəəmbəri duələni undiisi tawa iwaŋkiči undiisi  
そうして 叩いた その末に、 火を 焚いた、

tɔi-tənii tawa iwaŋgojjiari gəsə undiisi, tɔi tokondolani,  
彼らは 火を 焚くと すぐに その 真ん中に

tɔi sisawa-tanii xəm tawa, tawa osiŋjiani iwaŋkiči,  
その 大理石を 全て 火に、 火に なるように 燃やした、

kəəndəli-də, boəcaan-maa-da nai.  
周りにはぐるりと、島のようにある、人々が。

tɔi-tənii amini-tanii undiini-goani, ”am ičəguruu~,” undii,  
その 父は 言うのだ、「娘よ、」と 言う、



”mii-lə simbiə-lə, tui tājaraa-m əciə murčijə”-m,  
「私は おまえが こんな風に するだろうとは思わなかったよ、」と、

”ə~ŋ baljiori, piktəjjə-m kairami ətəxixəmbi-goani,” undiini,  
「生きて行くようにと、私の子供なんだと 哀れんで 見守り育ててきたのだ、」と言う、

”simbiə tui ərdələjərə-m əciə murčijə”-m.  
「おまえが このような 恐ろしい魔法を使うとは思わなかった、」と。

”ə~ŋ əsi mənə orkinčiji mənə songōjjaāci-ma,” undiini-goani.  
「今 自らの 悪行のせいで 自ら 泣くことになるだろう、」と言うのだ。

əlčiusəl-tənii ʃapaʃjari gəsə undiisi, təŋ tokon, tawala naŋgalaxači.  
奴隷たちは つかむやいなや、 ちょうど真ん中に、火の中に 投げた。

ə~ŋ təi-tənii xai-daa boāčiani gilakom ʃəgdii-goani, təi arčokaan tawani-tanii-da.  
それは あらゆる 場所に 火の粉を散らして燃えるのだ、その 娘の 燃える火は。

ə~ŋ təi-tənii čado-tanii xə~m nai sisa uundiijjəni iwačiori-daa  
それは そこで 全て 人が大理石が溶けてしまうほど火を焚くことも

ʃəə bii ʃaka-noo. ə~ŋ tui iwačixači.  
並み だろうか (並みの強さの火ではない)。 そうして 燃やした。

təi-tənii nai [очер(едь)]lamaari dolbo ini iwačigoxači čawa.  
その 人々は列を作って、 夜も 昼も 燃やし続けた、それを。

əŋ təi surəwə-lə ʃapaqoxan gurun-tənii təi tawačiani-tol  
その 斧を 手に取り戻した人々は その 火の中へ突っ込んで

taŋtamaari surəwəri tagoi gurun tagoi taxači.  
鉄を鍛えて自分たちの斧を直す、人々は直したりもした。

ə~ŋ tui taraa-la undiisi, tawaŋki-la ʃjui-goani,  
そうしてから そこから 戻るのだ、

əsi, mərəŋ əsi ŋaar osiogoxa~n tui baljii-goani.  
今、ムルグンは今 ゆったりと落ちつくこととなった、 そうして暮らすのだ。

əsi uiji            ɲələuri.                    tɔi   piktəni-dəə xəm waagoxan.  
今 誰のことを恐がる必要がある。あの子供も      全部 殺した。

əsi tui      bii-goani                    čado,    goroa    bičə~,    j̄jjaa    bičə~,    ələə.  
今 そうして暮らしているのだ、そこで、長いこと暮らした、短いこと暮らした、終り。

xurmikuukəəni-goani.  
短い話なのだ。

1999年8月24日 ダエルガ村にて録音

N. B. Gejker 氏 口述

7. əm mærgən əmučkəə~n baljixani

一人のムルグンが一人きりで暮らしていた

ə~ŋ undiisi əm joo doolani əm mærgən əmučkəə~n baljixani.

ある家の中に一人のムルグンが一人きりで暮らしていた。

təi-lə mærgən-gulə tui baljia undə, tui baljii~ tui bii

そのムルグンはそうして暮らしているという、そうして暮らしている、そうしている、

dolbo-gdal əugurəə dolbo-gdal tookoraa

夜に山から下りてきて、夜のうちにはもうまた山の方へ上って、

bəjumbə bəičii toowa toikandii taa undə. ə~ŋ gasawa garalii-da.

獣に狩りしたり、ヘラジカを叩いて獲ったりするという。水鳥も獲る。

tui baljimi~ tui bimi-lə əm modan-gola undiisi

そうして暮らしていて、そうしていてある時に、

ə~ŋ murčixəni, "ənəuri-ə nai albambani."

考えた、「行ってみるべきだ、人々の間に。」

ə~ŋ tui taraa-la əŋ čimania-la undiisi ŋaar indəxəni undiisi

そうしてから次の日はゆつたりと一日狩りを休んだ、

tui taraa əŋ baarəjigoxani~ tawaŋki-la ənəpsiqkini.

そうしてから身支度をした、そこから出発した。

ə~ŋ maŋbo xəji ənəini-goani, tui ənəmi~ goro ənəkə jija ənəkə undiisi,

大河を下流へ行くのだ、そうして行って~遠く行った、近く行った、

ə~ŋ əm irgəmbə baaxani. təi irgəmbə baaxandoani-la undiisi

ある村を見つけた。その村を見つけた時に

ə~ŋ əjən xaandola tooraa uikələ jəparaa iixəni.

主たる長の所に上ってから戸をつかんで入った。

iixəni-lə undiisi ə~ŋ ilaa~n pūjin biə undə, nakandoači.  
入った、 三人の プジンがいる という、彼らのオンドルに。

ə~ŋ ilaan pūjin malodo əmu~n puksundu gilondo-da.  
三人の プジンが、真ん中の席に一人、 右の席に (一人)、左の席にも、だ。

əŋ təi gilon kərkičəduəni pūjin-gulə~ undiisi, baáčixa~n undiisi  
その左の席の側のかまどの横の場所にいる プジンは、 挨拶をした、

ə~ŋ siagoani tuičii taxan undiisi-ə, ə~ŋ tui taraa undiisi čado aongaxan.  
食事を 客に出したりした、 そうしてから そこに泊まった。

ə~ŋ tui taraa undiisi tado ŋaar aonggi-goani.  
そうしてから そこでゆったりと泊まるのだ。

tui taraa~ undiisi tui, ĵia čimania-daa ŋaar indəə undə.  
そうしてから そうして、次の日も ゆったりと出かけないでいる という。

ə~ŋ tui tami undiisi indəguxənduəni čimii-lə ərdə~ sənəxəni.  
そうして、 出かけないでいた時に 朝 早く 目を覚ました。

ə~ŋ gilondo bii mərgəŋji asimolia-la gusəxənduə undə,  
左側の席にいる ムルグンとその妻の二人が話している という、

asini undii, "anda~ mərgən, təi mərgən xaimi ənuəsini," undii,  
妻は言う、「ああ、 ムルグンよ、あのムルグンはどうして去らないのかしら、」と言う、

"ə~ŋ ĵoogdoji xaiwa-daa siagoji baarami,  
「自分の家で何も 食べ物が 得られなくて、

doojoŋkin biəsi-nuu," undiini.  
食事を恵んでもらいに来たんじゃないか、」と言う。

ə~ŋ mərgən-gulə dooni-la gičiak ənəxəni.  
ムルグンは 心中 ムツとなった。

ə~ŋ čimii-la siamaari ənuxəl təi mərgəusəl-gulə undiisi  
朝 食べて 出かけた、その ムルグンたちは、

ə~ŋ əsi-tənii bunjje mərgən-tənii təə~ siun osidala aoxani.  
今 我らが ムルグンは ずうっと高く日が 上るまで 寝た。

təəxəni undiisi baaräjigoxani əsi-tənii undiisi,  
起きた、 身支度をした、今、

ə~ŋ mama, pujinči-lə undiisi siawaanċini tui taraa boaci niəxəni,  
彼らの妻、プジンたちが 食べさせてくれた、そうしてから外へ 出た、

soktakoji-daa jaaroani undiisi, tətugurəə duisi tooxani.  
スキーも持っていたのであろう、 身につけてから山の方へ 上った。

əŋ pujinči tɛi, kərkičədu bii pujinči, taŋgo daa xəwə gəlɛi toogoi.  
プジンへ その、かまどの横の場所にいる プジンへ、百 尋の縄を 求める、上るのに。

ə~ŋ buuxən tɛi pujin, tui taraa ənəni-goani duisi toora undə  
与えてくれた、そのプジンは、そうしてから行くのだ、山の方へ上る という、

tui ənəmi~ ənəxən undiisi tɛi-tənii undiisi-ə, bəjumbə-lə waapsinċini undiisi  
そうして行って、行った、 彼は、 獣を 狩り始めた、

ə~ŋ xai-daa xəm usəltəwəni-lə əċjiwə waaxan tui taraa tɛi-tənii undiisi-ə,  
どんなのも 全ての 毛皮獣を たくさん獲った、そう してから彼は、

xai, xaixani, əċjiwə waaraa-tanii undiisi  
たくさん獲ってから、

ə~ŋ tɛi xəċji-lə irčigomi taŋgo daa xəċji... irčigoa undə.  
その縄で 引きずって、百 尋の縄で 引きずって行く という。

ə~ŋ undiisi tɛi-tənii undiisi tawaŋki-la undiisi xairii-goani,  
彼は それから どうするのだ、

əċjiwə əuwuguxə~n undiisi niəsəŋgi soŋtoola isigoxani.  
たくさん運び下ろして来た、 汗を 珠(霏)のように流して到着した。

əŋ iiguŋji gasə undiisi ə~ŋ pujin-gulə čawa xairiini-goani tɛi,  
入るや いなや、 プジンは それを どうするのだ、その、

kərkičədu puʃin-gulə čaalaxii tai-goani,  
かまどの横の場所にいる プジン は 暖かく迎えたり するのだ、

iiguxənduəni siagoani buuxəni, "siaroo-daa siaroo," undii, siaxan undiisi,  
入って来た時に 食事を くれた、「食べる 食べる、」と 言う、食べた、

əsi-tənii mərən-gulə undiisi siami xōjiijiji gəsə  
今 ムルグン は 食べ 終るや いなや、

gəgdəji~ kəngoroxani, təi puʃindu buuxəni,  
うず高く タバコの葉を巻いた、その プジン に 与えた、

təi kərkičədu bii puʃin dailani gidalaxan kəngororaa,  
その かまどの横の場所にいる プジンの キセルに 突っ込んだ、タバコの葉を巻いてから、

"anda puʃin undiisi, əm xapor tadoraxaari," undii,  
「ああ プジンよ、 急いで休みなく 吸え、」と 言う、

"ōji-dəə, əlkə omira," undii.  
「決して ゆっくり 吸うな、」と 言う。

ə~ŋ kučəəmbi piučimi niəxən boəči niəguxəni undiisi əsi-tənii təi,  
ナイフを 砥石で研いで 出た、外へ 出た、 今 その、

əuwuguxəmbi ʃakawa-tanii xə~m təlgəčiini-goani təi-tənii undiisi-ə,  
運び下ろした 物を 全て さばくのだ、彼は、

nantawani-tanii, ixombi suŋgurəə porondoani looxani.  
毛皮を、 村中を 貫いて 家のでっぺんに 吊るした。

xolqixani undiisi ə~ŋ təi, ʃoogdo-tanii undiisi  
干して乾かした、 その、家には

əm mapa~ əm purəən ambaani xaiwani, loogoxani, tuliəduəni.  
一匹のクマと、 一頭の トラの 毛皮を、吊るした、中庭の所に。

ə~ŋ tui taraa iiguxəni undiisi, uliksəwə-dəə xəm nai taončiani iraso-i-ja.  
そうしてから 家に入った、 肉を 全部 人々の所毎に 運んだ。

təi əgʲiləəni ʲakawa, xai ui piktəni siarini nəə-dəə.  
そんなにたくさんの肉を、 いったい誰のところの子供が 食べるだろうか、 すぐに。

ə~ŋ ixombi suŋgureə uliksəwə irasoxa~n undiisi  
村中 貫いて 肉を 運んだ、

əsi-təni undiisi ʲookči-daa iiwuguxən.  
今 その家へも 運び入れた。

”gəə pujuuruusu,” undii, ”əgʲjikəmbə,” təi puʲjin... xai mərgən təi puʲjinči.  
「さあ、煮ろ、」と 言う、「ややたくさんあるぞ、」と（言う）、ムルグンはそのプジンへ。

ə~ŋ undiisi iiguxən-təni, təni koŋgoroi dolimbani siiguxəni bičini, omimi.  
家に入った、 やつと 巻いたタバコの 半分を 過ぎたところだった、 吸って。

”xai tui turgən... tui əlkə omixasi,” undiini-goani mərgən.  
「何を そんなに ゆっくりと 吸っていたんだ、」と 言うのだ、 ムルグンは。

”ələə əmi-dəə təindəmi lur tadoraja,” undiini təi puʲjin.  
「十分に 休みもせず どんどん 吸っていました、」と 言う、 その プジンは。

”sii xatansi-tanii,” undii, ”əjə, sii-məə xatan nai  
「あなたが 速いんです、」と 言う、「こんなに、 あなたの ように すばやい人を

xaido baəjaaci,” undii, ”xaido-daa baawasi,” undiini.  
どこに見つけられるでしょう、」と 言う、「どこにも 見つけられませんわ、」と 言う。

ə~ŋ undiisi tui taraa-la undiisi tui, xaixan,  
そうしてから そうして、 どうした、

tui tapaari-ə~ siksə~lə əuguxəči undii  
そうして しばらくすると、 夕方 彼らは 下りて来た という、

ə~ ui-dəəde əm xəsəwə-dəə ʲaraliadaasi, xəməə xəməə bii-goani,  
誰も 一 言も 口を開きもしない、 黙って 黙りこくっているのだ、

təi xəsə əŋgoxan gurun-dəə abaa.  
話を する 者も いない。

ə~ŋ tui taraa undiisi ə~ŋ ʃia čimania,  
そうしてから 次の日

čado aongaxan xəmunğujjəni ui-dəə gusəənduədəəsi xairadaasi.  
そこに泊まった、黙っていて 誰も 話もしなければ 何もしない。

tui taraa čimii təəxə~n undiisi təəriijji gəsə təi, pūjimbə,  
そうしてから 朝 起きた、 起きるやいなやその、プジン

əjiwəni-lə undiisi, ʃapami xaiji, guldəxinji-lə xakila  
夫を、 つかんで、 3mほどの干し棒で首の所から

tap tap looraa pəuləndu looxani. ə~ŋ təi mapaačaan-tanii undiini-goani,  
びっしり串で刺して干し棚に 吊るした。 そのじいさんは 言うのだ、

təi malodo bii mərgəmbə təi gilondo bii mərgəmbə asiwani  
その真ん中の席にいる ムルグンも その左側の席にいる ムルグンも その妻も

xəm gidaini-goani, nai məənčiji ʃaraliačini gursəlbə.  
全員 串刺しにするのだ、人は 自分に 話しかけなかった者たちを。

ə~ŋ tui-təni təi mapaačaan-tanii undii,  
そうしてそのじいさんは 言う、

”am ičəguruu, mimbə-lə xooni-daa əji tara,” undii,  
「ああ、私を どうも しないでくれ、」と言う、

”mii-lə, xai-daa umi-daa abaaja,” undii,  
「私は 何の悪口も 言いも しなかった、」と言う、

”gəə sii-təni kaoka əturuu,” undiini,  
「そうか、じゃあおまえは じつと静かに ここで見張りをしている、」と言う、

”təi gurumbə əji ačogoaso,” undiini.  
「あの者どもを決しては はずしては ならんぞ、」と言う。

ə~ŋ tui taraa-la tawaŋki-la, ənəi-goani.  
そうしてから そこから 行くのだ。



tawaŋki tɔi tui ɔrdələpi-mət ɔnəpsinŋin,  
そこから彼はそうして不思議な行ないをし終るとやっとそこで 出発した、

tui ɔnəmi~ ɔnəmi xaisi ɔm irgəmbə baaxani ɔm daai irgən, onimi.  
そうして行って~行って再び一つの村を 見つけた、一つの大きな村、 長い。

ə~ŋ čala-la ɔjən xaandola toora undiisi-ə, iixəni.  
そこから主たる長のところへ 上ってから 入った。

xaisi tado-daa ilaa~n puŋin biə undə. ə~ŋ iirə maloči təxəni.  
再び そこにも 三人の ブジンがいる という。 入ってから 真ん中の席に座った。

ui-dəədə baačiadaasi, ui-dəədə ičəədəəsi ŋoančiani  
誰も 挨拶もしない、誰も 見もしない、彼の方を、

xəmə xəmə tui bii gursəl-maŋa undii, əbəə-məə bii.  
黙って黙って そうしている者たちばかりだ という、唾のよう である。

ə~ŋ tui siksə~lə undiisi ɔm mərəŋ əuguxəni.  
そうして 夕方 一人の ムルグンが下りて来た。

əugumi-lə undiisi, uikəwə iiguŋiji gəsə,  
下りて来て 戸口を 入るや いなや、

kaniči čormoa~k tawaŋki basərəči čormoa~k puikumi-lə bəunčijə~ ɔnuxəni.  
オンドルへ ピョンピョン、そこから 台の方へ ピョンと 飛び跳ねて、自分の場所へ 去った。

ə~ŋ jəraliadaasi xairadaasi. ə~ŋ tui tapi-la undiisi guči,  
口を開きもしないし、何もしやしない。 そうしてしばらくすると また、

guči ɔm mərəŋ əuguxəni undii tɔi-dəə, čormoa~k čormoak  
また 一人の ムルグンが下りて来た という、そいつも、ピョンピョンと

puikunəsimi tui bəunčijə~ təndəguxəni.  
飛び跳ねて そうして自分のいつもの場所へ 行って座った。

ə~ŋ undiisi-ə, tɔi kərkičədu bii puŋin ɔjini-təni siksə~ əuguxəni,  
その かまどの横の場所にいる ブジンの夫は 夕方に 下りて来た、

nai xamio~lani. t̄ai-k̄əə, ə̄ciə puikurə,  
他の人々の 一番後から。そいつだけは、飛び跳ねたりせずに、

bəun̄ci iigurəə bəunduji-mət osiogoi-goani, saġji mapa... saġjilaə bii nai.  
自分の場所へ入って、自分の場所に落ち着くのだ、老いたじいさん、やや年輩の人だ。

ə~ŋ čado-goani, əsi-t̄anii nai siagoari bargii-a~ siariiċi-goani, nai,  
そこでなのだが、今 人々は食事の支度をする、食事するのだ、人々は、

mərgən malodo t̄əsiini-goani. ui-d̄əəd̄ə ʃaraliadaasi,  
ムルグンは真ん中の席に座っているのだが、誰も 語りかけもしない、

ui-d̄əəd̄ə xaiwa-daada siagoani-daa buurəd̄əəsi, m̄əən siariiċi-goani.  
誰も 何も 食べ物を くれもしない、自分たちだけで食べているのだ。

mərgən xəmd̄əni-t̄anii kukur kukur tai,  
ムルグンの おなかは クルクルクルクルと 鳴る、

”ə̄j̄iəə ələə~ ələə nai buurii. ələə~ ələə buurii,” tui undii,  
「ちょっと待て、もうすぐ今にも人はくれるさ。今すぐにもくれるさ、」とそう呟く、

m̄əən doolaji tui undiini-goani xəmd̄əċiji kukurr kukur ʃəmusi,  
自分の心の中で そう言うのだ、自分の腹へ クルクルキュルキュルと ひもじがる、

siagoji gələiwəni. əŋ t̄ai-t̄anii ui-d̄əəd̄ə ə̄ciə-d̄əə buurə  
食べ物を (腹が) 求めるのを (そう言う)。そいつらは 誰も くれなかった、

tui kotaamba-la əsəligurəə xəm apsiŋgoxaċi.  
そうして 皿を 棚にしまって 皆 寝てしまった。

ə~ŋ mərgən tui xomiċimi aorii-goani čado.  
ムルグンはそうしてお腹を空かしたまま 眠るのだ、そこで。

ċimii-d̄ə t̄əp̄əri koataə siaxan, t̄ai mərgən kol kol aorii-goani.  
朝も (彼らは) 起きると 皿の 音がしていた、そのムルグンは黙って 寝ているのだ。

ə~ŋ t̄ai-lə undiisi-ə, xai-daa gilondo bii mərgən-gulə undiini-goani,  
その、 何だか 左側の席にいる ムルグンが 言うのだ、

”ə~ŋ buə ʃookčipoa ʃičin nai~ undiisi, buŋji məljəsilaji ənuəsi-ə,” undiini,  
「我らが家へ 来た お人よ、 我らと 競争せずには 去れないぞ、」と 言う、

”ə~ŋ buŋji məljəmi galiasi osini, buə pondəjoopo surukuguəni oʃaači,” undiini.  
「我らとの 競争を 嫌がる なら、我らが 妹の 召使いに なるだろう、」と 言う。

ə~ŋ undiisi əsi-təni tui ənəxəl, ”bumbiə əji xalačiwaanda,” undiini.  
今 そうして 彼らは かけた、 「我々を 待たせるな、」と 言う。

tooxa~n təi mapaačan-daa xəmə xəməə niəxən, tooxan.  
森へ 上った、 あの じいさんも 黙って 黙って 出て 行った、 上って 行った。

əŋ tui taraa, mərgən-gulə tui aorii-a~ təə siun uisi toowaandaa,  
そう してから、 ムルグンは そうして 寝ている、 ほうれ 太陽も 上へ 上らせて しまって、

baarəjigoraa ənəi-goani, nai ʃaraliasi ui-dəədə.  
準備を してから 行くのだ、 人は 話しかけ かもしれない、 誰も、 だ。

ə~ŋ tui taraa undiisi toorini moolsii močadoari iwačiimaari-a~ biəl undə.  
そう してから 上る、 薪を 採る 所の 奥の 所で、 火を 焚いて いる という。

”ədədə~,” undii, ”xamačaa tami tui aaworini,” undii,  
「ああ、」と 言う、「どう して そんなに のんびりと 寝て いられるんだ、」と 言う、

”bumbiə xalačiwaandiisi,” undii, tado noŋji... ”noŋjilodala-daa.”  
「我らを 待たせたんだぞ、」と 言う、 そこで、 「凍えて きて しまった ではないか。」

əsi-təni təi xailaraa morai... moraktosiini-goani təi mərgəusəl.  
今 そいつらは なんとも、 ロ々に 叫ぶのだ、 その ムルグンたち。

ə~ŋ tawaŋki-la undiisi ənəxən ”əsi məljəuri,” undii  
そこから 行った、「さあ 今 競争を 始める べし、」と 言う、

ənəmi ənəmi ilaan bəjju giu poktowani baaxāči.  
行って 行って、 三本 足の ノロジカの 足跡を 見つけた。

”gəə əiwə xasipolaori,” undii, əsi-təni təi gurun ənəi-ə~  
「さあ こいつを 追跡すべし、」と 言う、 今 その 者たちは 行く、

bai portarigda nai, soktājimaari ənəi-goani, xatan gursəl.  
すばやく、雪煙を巻き上げて人は、スキーで走って行くのだ、俊敏な者たちだ。

əŋ mærgən-gulə ŋanga ənəjjiji gəsə undiisi,  
ムルグンは少し行くやいなや

ʃalandolani-tanii ŋai~s ŋais taa undə.  
膝の関節の所がガクガクするという。

əsi-tanii undiisi otaji ačoŋjiji gəsə əi~ tui sibarixani.  
今 靴を脱ぐやいなや ここんところをこうしてまくりあげた。

əilə tui puktəxəni kučəənji. kučəənji puktəxən-təni čado-tanii  
そこをそうして下から上へ切り裂いた、ナイフで。ナイフで切り裂いた、そこに、

əm čikan saorini agbingoxani nai əktəni takoraxani.  
一つのもつれた球状の削りかすが現れた、誰か女性が(月経の時に)身につけていた物だ。

ə~ŋ čawa-tanii xaiji, ačoraa, bəŋjiji puŋəwəni-təni undiisi ə~ xaiji,  
そいつを、取り除いてから、足の傷を 何で、

inoksāji ʃiloksāji mododaxan kolpalio~ xoogoxani, tui taraa tətuguxəni.  
鼻水で唾で塗った、あつという間に治った、そうしてから再び走り出した。

ə~ŋ əmjiə-dəə tui kaltaliraa tui xaixan čado-daa čikan, xaini saori.  
もう片方もそうして切り裂いてから、そうしてどうした、そこにも球の、削りかすだ。

təi əktəni takoraxani, səəksə. čaa-daa tui silkočigoraa gəə tətuguxəni,  
その、女の人が使っていた、血だ。そいつもそうして洗ってからさあ再び走り出した、

əsi-təni tawaŋki-la, "ə~ŋ mii-dəə undiisi-ə,  
今 そこから、 「私は、

əm porgindo dərəjjigui-kəə əciə baljaaja," undiini mærgən.  
ただの一回だって人に遅れをとるようになんか、生まれなかった、」と言う、ムルグンは。

"mii malōjiala biəci-kəə," undii, "mimbə uŋixən xai, səwəəmbi."  
「私の真ん中の席にいたじゃあないか、」と言う、「私を育ててくれたスウンが。」

əsi-tənii tawaŋki-la tui xəsə angoŋjiji gəsə  
今 そこから そうして言葉を発するやいなや、

tawaŋki-tanii mǝrgən-tənii ənəpsiqkin-tənii pičixilagoini.  
そこから ムルグンは 出発した、 全力で走り出した。

xa~tan ənəini-goani əmutu xai-daa xaiwa-da.  
敏速に 行くのだ、 まるで、嵐か何かのように。

əŋ tui ŋaŋga ənəmi tɛi mapawa baaxan  
そうしてちょっと行って、あの じいさんを見つけた、

tawaŋki ənəmi~ənəmi tɛi juə mǝrgən baaxan,  
そこから行って 行って、その二人の ムルグンを見つけた、

xəm əpu əpu anosiiini-goani tɛi gursəlbə. tɛi, simatači tuurijjəči.  
全てズボズボとなぎ倒すのだ、その者たちを。その、雪の上へ 倒れるように。

tɛi ŋoani piusəŋjijjəni-dəə piusəŋjijjəni-tul tuuriiči bijerəə xainaa-da.  
その彼が 走って猛風が起こったが、その猛風がためにこそ倒れたのだらう、たぶん。

əŋ tawaŋki-tanii mǝrgən-tənii ənəini-tənii əmtu,  
そこから ムルグンは 行く、 まるで、

paŋdo paŋdoini, -maa ənəini-goani, goaŋčok-da, simata ənəijjəni.  
暴風が吹き荒れるかのように、行くのだ、 その行く方向に沿って、雪を 飛ばしながら。

tui ənəmi-ə~ənəmi əm ŋaronči ənəxəni,  
そうして行って、行ってある 沼へ 行った、

ičəini-lə tɛi ŋaron tokombani ələə~isiini bičin, tɛi-lə giukəən-gulə,  
見るに その沼の 真ん中に 今にも着こうとしていた、その ノロジカは、

əusi čormor taosi čormor taa undə.  
こっちをちらりと見、あっちをちらりと見、している という。

mǝrgən-gulə undiisi ənəijjiji gəsə undiisi-ə, paačilaxani.  
ムルグンは 行くやいなや 叩いた。

dəwələni paačilaxan-tanii botorigda tuuxən  
骨盤の所を叩いた、 ぼったりと倒れた、

təi-təni potorimi potorimi-la guči paačilagoičami  
そいつは (立ち上がって) うろうろ、うろうろと歩き、また叩こうとして

ičəguxəni čuŋnurəm abanaxani.  
見ていたが (その目の前から)、パッと消えていなくなった。

ə~ŋ tui taraa-la undiisi-ə, tawaŋki-la pos pos əugui-goani,  
そうしてから、 そこから まっすぐに 下りて来るのだ、

siun tokondo... siiriini isigoxani.  
太陽が正午に、 すぎる頃には着いた。

ə~ŋ iigurəə undiisi-ə, damxi omimi təəsii-goani,  
入ってから、 タバコを 吸いながら 座っているのだ、

nai ui-dəə siagoani-daa tujiədəəsi ʃaraliadaasi-a.  
人は 誰も 食べる物さえも ふるまいもしない、話しかけさえもしない。

ə~ŋ tui taraa-la undiisi-ə,  
そうしてから、

siksə~ʃjuxəəl təi gursəl undiisi ui-dəə ʃilgan-daa anaa,  
夕方 戻って来た、その者どもは、 誰も 声も なく、

tui iiguməəri tui xəmə xəmə apsingoxači.  
そうして入ってきて、そうして黙って黙って横になった。

ə~ŋ təi mapa-tanii ələə giwan, xarəŋgoočiani-mat, isigoxani.  
あの じいさんはもう 夜が明ける頃に、明け方の最も暗くなった頃にやっと、到着した。

iiguʃiji gəsə mərəŋən talgilani ʃoxoraarʃkini.  
入るや いなや ムルグンの 正面に立ってお辞儀をした。

”ə~ŋ aapanɣo, mimbə-lə əʃi orkilara,” undii,  
「ああ、私を 決して悪く思わないでくれ、」 と言う、

”mii-lə bai nai xəşələni daxorsiambi”-m, ”daxorsiasi açaasi,” undii, ”ñoambaçi.”  
「私は ただ人の言葉を信じただけなのだ、信じざるを得なかった、」と言う、「彼らを。」

ə~ tui ñoxoraacıraa bəunçi ənərəə apsiŋgoxani, ui-dædə siaradaasi,  
そうしてお辞儀をしてから自分の場所へ行って横になった、誰も 食べもしなかった、

maŋgalaxaçi. ə~ŋ tui taraa čimii təəriijiji gəsə mərgən-gulə undiisi,  
疲れ切っていたのだ。 そうしてから朝 起きるやいなや ムルグンは、

malodo bii mərgəmbə puǰimbə undiisi təi,  
真ん中の席にいる ムルグンと、プジンと、 その、

gilondo bii puǰimbə mərgəmbə əsi xəm xakilani tap tap gidaxani.  
左側の席にいる プジンと ムルグンを 今 全員 首の所からびっしり 刺した。

ə~ŋ tui taraa pəuləndu looxani.  
そうしてから 干し棚に 吊るした。

təi mapaaçaamba undiini-goani, ”əsi sii ətumi bǰjəçi,” undii,  
その じいさんには 言うのだ、 「今 おまえは見張りをしているがよい、」と言う、

”əidu. ə~ŋ təi mii looxambi ǰakasal ačoi osini-tol  
「ここで。 この私が 吊るした ものたちをはずすならば、

saxarin səəksə naado təəp saasiǰiani buǰjəçi,” undiini.  
黒い 血を 地面に ボタリと 流して 死ぬことになるだろう、」と言う。

”ə~ŋ mii xamasi ǰǰuiduji, xəm, taosanjǰaambi-m saagǰaa-ma”-m-da.  
「私が 後ろへ 戻って来た時に、全部、集めて調べる時にわかるだろうから、」と。

əŋ tawaŋki-la undiisi ənəpsinǰin tui ənəi~goro ənəkə ǰǰja ənəkə undiisi tui,  
そこから 出発した、そうして行く、遠く行った、近く行った、そうして、

əŋ sikse~lə undiisi-ə, xurəəmbə baaxan porondoani-la əm ǰookaa~n biə undə.  
夕方に、 山を 見つけた、頂上には 一つの小さな家がある という。

təi, ǰookaançi-la tooxani undiisi indani-la ǰəu~ waačii-goani.  
その、小さな家へ 上った、 犬が ワオ〜と 吠えるのだ。

ə~ŋ undiisi-ə, tɔi inda mæənçiji waaçii-daa jəŋgur-mæə ʃərgol-maa indasal biçin,  
その犬が自分の方へ吠えるが、狼のような、赤狼のような犬たち だった、

tɔi-tənii čaa əusi taosi gilbirak ənəijiəni, xaŋji, pərbəruuji paaçičixani.  
彼は それを あっちへ こっちへ ひれ伏してしまうように、スキーのストックで叩いた。

ə~ŋ tui taraa-tanii undiisi, uikəduəni ʃaparaa iixəni.  
そうしてから、 戸を つかんで 入った。

əm tənii bəjəguji baarii puŋjin biçin tɔi-tənii undiisi  
一人の たった今 体が できあがった ような プジンがいた、彼女は

ə~ŋ ičəŋji gəsə čəŋsop ilixan tɔi-lə puŋjin-gulə undiisi  
見るや いなや ガバツと 立ち上がった、その プジンは

tui taijiji gəsə tɔi mərgəmbə-lə, ə~ŋ guii-goani saaksako  
そうするや いなや その ムルグンを、 払い落とすのだ、霜がついているから、

saaksa anaa osiogoi, saaksa anaa saaksa osigoi tai-daa, jaoxiini-goani.  
霜が なくなる よう、霜が なく、霜が、 そうなる ようにする、 客を暖かく迎えるのだ。

ə~ŋ əsi-tənii təxən damxiwa-la gogdaji koŋgororaa buuxəni  
今 座った、タバコを うず高く 巻いて キセルに 詰めてから 渡した、

əsi-tənii puŋjin-tənii undiisi xatani, saŋparni biçini.  
今 プジンは 俊敏で、 良く気がついて すばやかかった。

tɔi-tənii undiisi damxiwa omiini, koŋgoroji manaini ʃuliələni undiisi-ə,  
彼が タバコを 飲む、 巻いた葉が 尽きる 前に、

ʃoan xaçimba xaabogoi ʃoan xaçimba xairii iigui tami-la,  
十 種類の料理を すくい、 十 種類の料理を 持って入り、 して、

əm dəredu~ pujuuxəni. ə~ŋ tui taraa undiisi dəredu nəəreə tui-goani.  
一つの 机 いっぱい に 煮た。 そうしてから 机に 置いてから ふるまうのだ。

ə~ŋ əsi-tənii badosal təguxəçi əsi-tənii əi,  
今 机の両側に 座った、 今、 こっちの



arṃačiani t̄ei gidalagoi t̄ei arṃačiani əi gidalagoi tamaari siaxači.  
口へ あつちが差し入れ、あつちの口へ こつちが差し入れ、して 食べた。

ə~ŋ tui taraa undiisi-ə, ə~ŋ xəm oosičigoxan undii,  
そうしてから 全部 片付けた という、

tui taraa aogoani səkčiugurə mərgən, xairidoani əsi,  
そうしてから 布団を 敷いて、 ムルゲンが 今、

damxiwa omiidoani-tol yʁe t̄ei pūjin xəm taini-goani.  
タバコを 吸っている間にもう そのプジン は 全て やってしまうのだ。

ə~ŋ apsiŋgoxa~n apsiŋgoxa~n t̄ei mərgən t̄ei bəunduəni.  
横になった、横になった、そのムルゲンは、その自分の場所に。

ə~ŋ pūjin-gulə t̄ei oosixambi duəduəni undiisi  
プジンは その 片づけを 終らせた末に

xaali-daa gəsə bič̄in-kəəči-ə~ undiisi iigurə apsiŋgoxani.  
ずっといつも一緒に暮らしてきたかのように 布団に入ってから 横になった。

ə~ŋ undiisi tui taraa undiisi tado, əji asi osii-goani nai apsiŋnagoxani,  
そうしてから そこで、夫婦と なるのだ、人が 横になりに来た、

xusənii xai kaoka bigiləi.  
男の人は どうして じっとしているはずが であろうか。

ə~ŋ undiisi tui taraa-la undiisi tawaŋki-la undiisi,  
そうしてから そこから

əŋ ʒja čimania təəxə~n undiisi-ə, xai,  
次の日に 起きた、 いいや、そうじゃなかった、

t̄ei siami xōjipi undiini-goani, apsiŋgoi ʒuliələni, oŋboxan yʁe.  
その 食べ終わると言うのだ、 寝る 前に、 忘れてしまったよ、もう。

”anda~ pūjin undiisi, mimbə, pərgəruu,” undii,  
「ああ、プジンよ、 私のことを 占え、」と 言う、

”ənəgiləi,                    ʃuləsi ənəgiləiwə~,    ə~ŋ    xamasi ʃookčiji,  
「行かねばならない、先へ 行く必要があるのだがその事を、そして後ろへ 家へ戻って、

ʃoogdo-tanii undiisi oŋjar čoŋjar    piktə dərəʃixən,”                    undiini,  
家には    オギャアオギャア言う 小さな子供を残してきた、」と言う、

”xaosi-gdal bii-us    xaosi-gdal bii-us,”                    undiini.  
「どうして いるか、どうして いるか、」と言う。

ə~ŋ təi-lə puʃin-gulə~ undiisi pərgəčii-goani undiisi təi-təni undiisi,  
その プジンは    占うのだ、

təŋ    paačilai kiarii boatoa undiisi  
タンと (タイコを) 叩くと 家の屋根が鳥の羽根のようにバタバタとなり、

xə~i    morapsindii undiisi kūjər nərə~l nərəl    taa undə.  
フーイと 叫び出すと、    家の壁土がボロボロと崩れ落ちたりする という。

ə~ŋ mərgən    murčii, ”ətətə daai                    samamba                    təi.”  
ムルグンは思う、「ああ、なんて偉大な シャーマンなんだ、この人は。」

əŋ tui taraa    undiisi tui                    məurii...    xaixa~n,  
そう してから    そうして シャーマンの祈禱をする、

tui                    pərgəčii pərgəčii tui taraa    undiisi xōjii duəduəni-lə xamasi...  
そうして 占う、 占う、 そう してから    終える その末に、

ənəgiləi poktowani pərgəxə~n undiisi, ə~ŋ undiini, ”anda mərgə~n,”                    undii,  
行くべき 道の事を 占った、    「ああ、ムルグンよ、」と言う、

”sii-lə    ʃičisi-lə    undiisi-ə, garxiangani~ dəiləŋgəni,”                    undiini,  
「あなたは やって来た道中では    殺しまくり、 殺し尽くした、」と言う、

”ʃičisi    garxiangani    mangani,”    undiini.  
「来た道で 殺しまくって来たことは すさまじいほどですね、」と言う。

”joowasi                    pərgəi-kəə    ʃoogdo-kaa oŋjar čoŋjar    piktəkəən abaa,”  
「あなたの家を 占いましたが 家に    オギャアオギャア言う 子供なんか いないわ、」と

uŋkini, "əmučkəə~n baljixasi biəsi-kəə"-m-də.  
言った、「一人きりで 暮らしていたんじゃないんですか、」と。

"ə~ŋ ʃuləsi pərgəxəmbi-təni undiisi,  
「あなたの先へ進む道を 占ってしましたが、

ə~ŋ baigoasi-tanii kətu goro anaa," undii, "əjəəji ənəgiləisi."  
あなたの敵はもうあまり 遠くありません、」と言う、「ここから 行くのに。」

ə~ŋ tui undəə xəjixani.  
そう 言ってから 終えた。

ə~ŋ tui taraa undiisi, tiun tiun xəjii-goani  
そうしてから、 ドンドンと (タイコを叩いて) 終えるのだ、

pərgəçixəni tui tapi-mat apsingoini-goani,  
占った、 そうしたところでやっとな寝るのだ、

apsingoxa~n, əŋ ʃia čimani təxən undiini-goani, ə~ŋ susui-goani,  
寝た、 次の日 起きた、言うのだ、 出発するのだ、

mərgən susuguji bargiidoani pūjin-gulə undiisi ə~ xaixaini,  
ムルグンが 出発の 身支度をしている時に ブジンは どうした、

əm əjəxəkəəmbə buuxəni. ə~ŋ moŋgondolani gidalaini-goani tətuguini,  
一つの守り神の像をくれた。 銀製の像のネックレスを 首にかけるのだ、身につける、

"anda~mərgən undiisi-ə, əŋ əiwə əji-dəə naŋgalara~, əji-dəə orkisira," undiini.  
「ああ、ムルグンよ、 これを決して捨てるな、粗末に扱うな、」と言う。

"əi simbiə bələçii-ə," undiini-goani, "əi mii səwəkəəmbi.  
「これはあなたを助けます、」と言うのだ、「これは私の小さなスウンなんです、」と。

ə~ŋ undiisi xaosi-daa bii-daa mii saajaa-ma," undii,  
「どこに いようと、私はあなたのことを知るでしょう、」と言う、

"joogdo kaoka təəsii-dəə sii xaosi-daa ənəxəmbə,  
「家で 静かに座っていようとあなたが どこへ 行こうと、

sii xooni-daa taiwasi-daa.”  
あなたが どう しているのかを。」

ə~ŋ tawaŋki-la tui ənəi-goani ʃja čimani susui-goani ʃuləsi ənəini.  
そこから そうして行くのだ、次の日 出発するのだ、先へと行く。

tui goro ənəkə~ ʃʃja ənəkə undiisi,  
そうして遠く 行った、近く 行った、

təʃə-dəə bičini kətu goro-daa anaa undiisi ə~ əm irgəmbə baaxani.  
本当だった、あまり遠くも なく、 一つの村を 見つけた。

təi-təni undiisi modamba xoolimi biə undə,  
その村は (長く) はずれの所で川を迂回して伸びている という、

ə~ŋ təi irgəmbə baapi-tanii təi modamba xoolimi biwə-tanii undiisi  
その村を 見つけると、そのはずれの所が迂回しているのを、

mərgən-tanii undiisi, əŋ tooidoani-la undiisi-ə,  
ムルゲンは、 その岸の所にある、

ə~ŋ xai gilawani bojačimi taktoočiraa undiisi əsi-tanii undiisi-ə,  
大船を 壊して 踏みつけてから 今、

tawawa iwandaa morai-goani,  
火を 焚いてから 叫ぶのだ、

”saqjilbia saotaxambi, mapaajija manaxambi undiisi-ə, ə~ŋ masijji əuruu,”  
「私の先祖を滅ぼし、 私の祖父達を 殺し尽くした 強き者なら 下りて来い、」

undiini, ”mangasi xaxaasi ičəgujə.”  
と言う、 「おまえの強さを、おまえの豪なることを、とくと見てやろうではないか。」

ə~ŋ undiisi tui taraa undiisi təi-lə undiisi-ə,  
そうしてから その、

əmə əlci-lə niəkə undə, daai daalpon.  
一人の奴隷が 出て来た という、大きな奴隷の長だ。

ə~ŋ čoomiäcira~ durbiečira~ taa undə, ”ə~jən mǝrgə~ŋ,” undii,  
目を細めて見たり、手をかざして見たりする という、「主たる ムルグン様、」と言う、

”baigoggoji baaxasi-kaa,” undii,  
「敵に 出会いましたね、」と言う、

”čoomiäčimi čoomiäčimi čolčomiaka dailaani,  
「目を細めて見るに目を細めて見るに シジュウカラほどの大きさですね、

durbiečimi durbiečimi duldumiäkä dailaani,” undiini,  
手をかざして見るに手をかざして見るに ゴジュウカラほどの大きさですね、」と言う、

”mii-dəə~ busəsiuri bijərəə,” undii,  
「私でも 敵う相手のようですね、」と言う、

”əŋ simbiə bələčimi-kəə mii-dəə əm xadoa-kaa tugbukəje,” undiini,  
「あなたを 助けて 私も 何人かの敵を 倒してきました、」と言う、

təi daai daalpon. ”əŋ gəə mutəi osini əuruu əuruu,  
その大きな 奴隷の長は。「ほう、じゃあ できる なら、下りて行け、下りて行け、

mii təiŋgui taambi,” undiini. əsi-təni waisi əurii-jə~  
ワシは 休むことにするぞ、」と言う。 今 岸の方へ 下りて行く、

siantoji sibarimi~ sibarimi əurini-goani tooido mǝrgən biičəni.  
拳骨を 振り回して 振り回して 下りて行くのだ、岸辺に、ムルグンが いる所へ。

ə~ŋ isimi mǝrgəmbə siantolaxani əi xaralani xakpar ənəxəni.  
着いて ムルグンに 殴りかかった、その 脇の下の所から 腕がぶつちぎれて すっ飛んだ。

ə~ŋ əsi-təni əŋjiə ŋaala... bəŋji baŋsalaxani, čookin čilixiram ənəxən.  
今 片方の 足で 蹴りかかった、腰の所から ちぎれて すっ飛んで行った。

ə~ŋ mǝrgən-gulə kəčəriguxəni, ”sapanigbani əuxəsi,” undii,  
ムルグンは 振り返った、「くだらないものを 遣しやがって、」と言う、

”əm xadolta baljigilai, ə~ŋ undiisi-ə, əjəmbi gələndəguruu,” uŋkini, xai,  
「数日はまだ 生きられよう、 自分の主人を 呼びに行け、」と 言った、

”xaan bajəjieni xalboroo~, əjən bajəjieni əuruu”-m,  
「長 自ら 来い、 主人 自身が 下りて来い、」と

”xaxaasi mangaasi ičəgujəwə.”  
「おまえの強さを、おまえの豪なることを オレが見てやろうじゃあないか。」

əj tui undəə-lə siantolagoxani jilini-la moļjoram ənəmi-lə undiisi,  
そう 言うてから ぶん殴った、 そいつの頭は ぶちぎれて 飛んで行って、

əj mapaačaan siariini doojočala-la tap iigumi, siariidoani-la undiisi,  
そのじいさんが 食べている その最中の所へ ボタツと 入って来て 食べている所に、

apiini kaltaram toğgalaxani təi,  
首の後ろの所に 裂傷を 作った、 それは、

tawaŋki-tanii bongaliačigdal bəsərə pəgiəčieni tuuxani, jili.  
それから ゴロゴロツと 机の 下へ 落ちた、 頭は、

”ənugbə-nuu~ xai-noo undiisi, xamačaa waakim-daa  
「痛いなあ、 何だ、 何が 殺すだの、

xamačaa manakim-daa undiisi  
何が 殺し尽くすだの 言うておきながら

jəə-dəə ənduəčiuri,” undii, ”xai ənugbə-nuu,”  
ふざけるのもいいかげんにしろ、」と 言う、「何て痛いんだ、」と

jilia kaltaaxambani kapsičiidoji ičəguxəni.  
頭の 切り傷に 包帯をしている時に見た。

”əjən mapa~, əj baigoŋgoji baaxasi-kaa undiisi-ə mənğa~,” undiini,  
「主たる お爺様、 敵に 出会ったのは 手強いはず、」と 言う、

”mii pokto oosindaambi,” undii, ”mii təiŋkindujə təiŋjəəči-ə,  
「私は道を きれいに して来ました、」と 言う、「私が 休んだ所で あなたも 休むだろう、

mii saliakaandoji saliajaəči,” undii,  
私が 弁当を食べた所で あなたも 弁当を食べるだろう、」と 言う、

”ičəisi                    tɔi            masilaaʒi,”                    nai undiini mapaačaan ičəguxəni.  
「見ることでしょう、そいつのなかなか強い事を、」と誰か言う、爺さんは 見た。

ə~ŋ bəsərə pəgiələni ʒilini-maŋa                    ʒaŋgiigan            tɔi            xəsə angoini biini.  
机の 下で、頭だけになったのが、ドーンとあって、それが シャベっている。

”ə~ŋ əlčiusə~l,    naŋgalooso,”    uŋkin,  
「うわあ 奴隷どもよ、捨てろ、」と 言った、

”naŋgalooso kukpun baaro... kukpučənci    naŋgalooso,”    undii,  
「捨てろ、                    ゴミ捨て場へ 捨てろ、」と 言う、

”tɔi    naija gaksowiwani uləsii tɔi,  
「その 人を 呪うのが    好きな その、

čukinduləʒi                    naija            xaŋgisi xaŋgisi                    xəsə angoini,”            undii,  
ろくでもないことから 人のことを ああだこうだ違うことばかり シャベりやがる、」と 言う、

əŋ əlčiusəl            tɔi    ʒiliwa ʒaparaa naŋgalaxan boači-la undiisi  
奴隷たちはその 頭を    つかんで 捨てた、    外へ、

ə~ŋ, mamani                    kəkəčəəni-təni,    ”kairakaan əjju~    kairakaan əjju~,”  
その 奴隷長の 妻の 女奴隷は、            「可哀想な 我が夫よ、可哀想な 我が夫よ、」と

songoa undə,    tulieči niəkə            undə    guʒiələ.  
泣く    という、中庭へ 出て来た    という、かわいそうに。

ə~ŋ undiisi mapaačaan-gola undiisi,    tətuguxəni.  
じいさんは、                    服を着た。

ə~ŋ doola bii            toʒa-ma~maŋa            osiogoxani əsi-təni undiisi  
内側にあるのは 鉛のような服ばかりを 着込んだ、今、

ə~ŋ, omolagoxani undiisi əsi-təni tui    taraa-la niərii-goani            əuri,  
帯を締めた、            今            そうしてから 外へ出て行くのだ、下りて行く、

ə~ŋ mərəŋ-gulə ičəini    tətə~                    mapa-o bičini undiisi-ə,  
ムルグンが 見るに、それはそれは大きくて強そうな じいさんだった、

ə~ŋ čirako masiko-m ičəuri mapaačaan bičini.  
怪力で強そうだと見るべき じいさんだった。

ə~ŋ tui taraa tui əuxə~n əsi-təni jəpanaalii-goani.  
そうしてから そうして下りて来た、今 つかみ合うのだ。

ə~ŋ sorixan sorixan, sorixan sorixan,  
戦った、戦った、戦った、戦った、

əŋ xooni-a-daa sorixan undiisi mərgən-gulə mapawa waaraa xōjixani.  
どんなにか 戦った、 ムルグンは じいさんを 戦って 終えた (倒した)。

ə~ŋ tawaŋki-la toorii-goani. əŋ tooriidoani-la undiisi,  
そこから 上るのだ。 上る時に、

mamani-la əurə undə undiisi-ə, sələmə moljiiwa, əələduji jəjakaaciimi.  
ばあさんが下りて来る という、 鉄製の 棒を 服の裾の下に 隠し持って。

”əni ičəguruu jijuu ojojoi jijuu ojojoi”-m taa undə.  
「息子や、 こっちへおいで、キスしよう、おいで、キスしよう、」と言うという。

ə~ŋ mərgən ičəxəni-təni moljiiwani-la ŋaala-la lop tatagoraa undiisi-ə,  
ムルグンは 見た、 その棒を 手から バツと 奪い取ってから

ŋoambani-la čado-baki ənəjjəni paačilaxani mama budii-goani.  
彼女を もはやそれまで、となるように 叩いた、 ばあさんは 死ぬのだ。

ə~ŋ tawaŋki-la undiisi ə~ŋ tooxani joogdoani  
そこから 上った、その家には、

xai-daa abaani-goani əlčiusəl kəkəəsəl biini-goani.  
何にも 無いのだ、 ただ奴隷たちと 女奴隷たちが いるのだ。

dujəəciəni tooxani dujələni joo biə undə, əi-təni piktəni biini.  
山の方へ 上った、山側の所には家がある という、これは その子供がいるのだ。

əŋ xailoo uləən pujin bičin piktəni-lə undiisi,  
何とも 良い ブジンだった、その娘は、



ə~ŋ nai kaarmaaŋingoani, ʒoa niəučieni, turəksələ bii,  
人の中でも 抜群の美人であることは、夏に外へ出れば、ブーツの傍にある、

ñajaxa xarjmaraa təu, niəučieni, turəksələ bii simata uundə tai pūjin bičini.  
草が 乾き、 冬に外に出れば、ブーツの傍にある 雪が 融けたりする プジンなのだ。

ə~ŋ undiisi təi-tənii undiisi mərgəmbə ičəxənduji-lə,  
彼女は ムルグンを見た時に、

songoilaji-la undiisi songočiiłaji-dəə undiisi ə~ŋ xaira undə,  
泣いていたが、 ずっと泣いていたところだったが、

sələ~ ñoolo ənakə undə, əsi-tənii mərgən-tənii undiini-goani,  
赤くなったり、青くなったり した という、今 ムルグンは 言うのだ、

”anda~ pūjin undiisi, tagdai osini tagdaroo~,  
「ああ、プジンよ、 腹を立てるなら 腹を立てろ、

ajaktalai osini ajaktaloo, undiisi, poloandoji busəsigujəwə.”  
怒る なら 怒れ、 体温のあるうちに、私ができるだけのことをしてやろう。」

ə~ŋ pūjin-gulə undiisi xaaraa~ ənakə undii tui taijji gəsə-də,  
プジンは ちよっと落ち着きを取り戻した、 そうするやいなや、

əŋ daiji-la undiisi, əŋ koojol gogdalaajiani koŋgoroxani undiisi  
パイプに、 舟のマストのように高く タバコの葉を巻いた、

tui taraa-tənii undiisi, buuriini-goani mərgəndu.  
そうしてから、 渡すのだ、 ムルグンに。

ə~ŋ mərgən-tənii ajaktalaxan-daa ʒəə bii-nuu pakaa pakaa biə undə.  
ムルグンが 怒っていたのは 並みの程度ではなく 真っ赤に なっている という。

nai tui ulələə mərgən boikoni osixani.  
人が そうすると やや良い いつものムルグンの 顔色へと 変わってきた。

əsi-tənii pūjin-gulə alooraa... aloočaini-la, ə~ŋ kol kol təsiini-goani  
今 プジンは 手を伸ばし、差し出すが、 黙って 座っているのだ、

ʃapaadaasi. əŋ guupətəi~ taawogoi guči iragoi taa undə  
受け取りもせずに。火が消えてしまう、火をつけ直してまた持って行ったりするという、

tui tami~ udiisi-ə lapoo~ ʃapaxani. əŋ lapoo ʃapaxani undiisi,  
そうして、 ガバツとつかんだ。 ガツとつかんだ、

ʃapaŋji gəsə pūjin-təni undiisi budurii-goani.  
つかむやいなやプジンは さあ急ぐのだ。

ə~ŋ siagoi-la pujuumi-lə mǝrgən-gulə pūjin ičəini-lə,  
食事を 作りながら ムルグンの様子を プジンは見ていると、

əŋ əm modan tataini xaaraa~, ʃia modan tatagoini,  
一度 吸い込むと もっと落ち着いてきて、次にもう一回吸い込むと、

damxiwa tatagoini xaaraa~ biə undə undiisi-ə,  
タバコを吸い込むと 静かに落ち着いてきている という、

əŋ tui damxiwa omimi-la undiisi mǝn boikōjji~ osiogoxani.  
そうして タバコを吸っているうちに、 いつもの 顔色に 戻った。

ə~ŋ undiisi-ə, əŋ pūjin-gulə undiisi təi-lə undiisi,  
プジンは その (食事を)、

tias bargixani dərədu-lə undiisi tui taraa tǝguxəči.  
ぎっしりと 用意した、 机の上いっぱい、 そうしてから 席についた。

badosal tǝguxə~ŋ, əsi-təni xai,  
向かい合って両側に座った、 今、

mǝrgən pūjin aŋmalani gidalai~ sarbialaraa mǝrgəmbə  
ムルグンが プジンの口に 匙を差し込み、 箸で取ってやったり、 ムルグンに、

pūjin aŋmalani gidalai tami siarii-goani,  
プジンが その口に 匙を差し込んだりして 食べるのだ、

”anda~ mǝrgən undiisi miŋji əji ajaktalara,” undii,  
「ああ、 ムルグンよ、 私のことを 怒らないで、」 と言う、

”amaa goro orkin-goani,” undii,  
「(たしかに) 父の方がずっと悪いんです、」と 言う、

”naija manami baljiori əŋ bundui-dəə bundui masi nii biə-tənii-ə”-m,  
「人を殺し尽くして永らえましょうか、我らより 自分たちより 強い人が いるのに、

”ə~ŋ əñəə-lə gujjiələni-goani,” undii, ”əŋ xandami əuxəni”-m, ”tui-də.”  
ただ 母が 可哀想なんです、」と 言う、 「何のために 下りて行ったのか、あんな風に。」

ə~ŋ tui ñoambači-maŋa orkirami xisəngoini təi-lə puŋin-gulə undiisi-ə,  
そうして 彼らのことだけを 残念に 話している、その プジンは、

əŋ siaxači xōjjiini undii, ”anda puŋin undiisi naija daligoro,” undii,  
食べるのも 終ると、言う、「ああ、プジンよ、 人々を引き連れて来い、」と 言う、

ə~ŋ mərgən damxiwa omii, puŋin-tənii undiisi xaiwa,  
ムルグンは タバコを 吸っている、プジンも、

sələmə urəktəwə ʒapagoŋjiji gəsə boāči niəxəni.  
鉄製の 柳の枝をつかむや いなや 外へ 出て行った。

ə~ŋ təi modamba xoolimi bii, ɪrgambə-lə tutuxəni-lə  
その 端が 川に沿って 迂回しているほどの、大きな村を 走り回った、

xəi soli-daa ələ-bəki ʒjuxəni.  
下流も 上流も、すぐにもう 戻って来た。

”ə~ŋ čimana xəm siun tokondo, xairii, xōjijal,” undii, ”əuməəri.”  
「さあ明日 全員 太陽が 南中する時には、 終えます、」と 言う、「岸に下りるのを。」

ə~ŋ əsi-tənii tajjiala ʒia čimania-la undiisi-ə,  
今 それから 次の 日、

əŋ siun tokondo~ siiriini nai xōjixan,  
太陽が 正午の位置を 過ぎる時には、 人々は 完了していた、

əugujjieri əsi-tənii undiisi ñoanči-daa tui əugurəə  
下りることを、今 彼らも そうして 下りてから、

əsi maŋbo paariŋjiani əugui-goani.  
今 大河の水も 蒸発してしまうくらいに たくさんの人々が 岸辺に下りて来るのだ。

ənupsɨŋkini maŋbowa soligo... sologoal undə,  
出発した、大河を 遡る という、

ə~ŋ tui ənəi tui ənəi undiisi-ə, asiji baogoxani-a~,  
そうして 行く、そうして行く、 自分の妻に 再会した、

tawaŋki-la tui ənəəl undə əsi təi, xai, irgəmbə baogoxani, təi irgəmbə,  
そこから そうして 行く という、今 あの、 村を 再び見つけた、その村を、

təi, mapaačaamba-ragda gaājoi-goani,  
その、おじいさんだけを 連れて行くのだ、

ə~ŋ undiisi təi, looxani gursəl kaataa xolgoxači bičɨn  
あの、吊るした者どもは カサカサに 乾いて しまっていた、

kaapii xədundə undə.  
カパカパと 風に揺れている という。

əŋ təi gurumbə-lə undiisi xəm tawawa iwandaa undiisi-ə,  
その者どもを 全部 火を 焚いてから、

xəm tawa baaroani naŋgaačixani.  
全部 火の 方へ 投げ込んでしまった。

ə~ŋ təi irgəmbə-dəə tui daligomaari ənui-goani,  
その村をも、 そうして 率いて 下りるのだ、

tui ənəmi~ ənəmi təi, ənŋimə irgəmbə isigoxani.  
そうして 行って~行って、あの、もう一方の別の村に 着いた。

ə~ŋ undiisi čado-daa, isigoxandoji-daa čado-daa təi, mərgəusəl,  
そこでも、着いた時に そこでも、あの、ムルゲンたちを、

mərgəmbə puŋimbə xaisi, tawawa iwandaa tawači iwačigoini-goani.  
ムルゲンたち、プジンたちを 再び、火を 焚いてから、火の中へ くべてしまうのだ。

ə~ŋ tɔi mapaaçaan-tanii tɔŋ, ŋəəlimbɔni ləkəə əəlɔni-məə-də.

そのおじいさんは ただ、恐れて 矢羽のよう震えているばかりだ。

ə~ŋ undiisi tɔi-təni undiisi-ə, tɔi, paaçilaxani,

彼は 叩いた、

giu paaçilaxan-daa puŋin osigoini-goani, dəwəni, xai,

ノロジカを 叩いたならば、それはプジンになるのだ、 骨盤を叩くと、

piarr piar irçimi pulsiini, çəçindəsuxəni-goani,

跋を引いて足を引きずって歩き回る、小便をしに行ったのだ、

tui taraa çawa-daa waariini-goani, tado gəsə-də xəjə ənəmi-tul-də, xai,

そうしてから そいつも 殺してしまうのだ、そこで 一緒に下流へ 行ってすぐに、

gidəlani. tɔi ʒoogdo-maŋa toinga najja gidaxan-tanii, xaŋci,

槍で刺殺してしまう。その家ばかりで、五人の人間を槍で刺殺した、

guldəxindu looraa, looçaxani-goani, tɔi gurun xəm ʒəçjiçini.

魚干し棚に掛けるため刺しておく棒に下げて、掛けたのだ、 その者どもも皆 焼く。

ʒijumi-dəə tɔi, xamiala bii gurumbə tado tui gaəjoi,

戻って来てその、後ろに いる人々を そこでそうして引き連れて行く、

tui gaəjomi~ ʒoolaji boalaji isigoxa~n əsi-təni undiisi-ə,

そうして引き連れて行って、自分の家へ 自分の根拠地へ着いた、 今、

ʒooni-la ələə~ tuumuləə biə undə.

その家は今にも倒れそうになっているという。

tɔi-lə mərgən-gulə isigoraa undiisi tɔi ʒooji-la baŋsalagoxan,

その ムルグンは 着いてから、 その自分の家を蹴っ飛ばした、

ʒoan daa ʒoo~ xujun daa xurbu osigoxani.

十 尋の家、 九 尋の土小屋となった。

əsi-təni tɔi əçjiləə irgəmbi gaəjoxambi-tanii undiisi,

今 その けっこう大きい村を 引き連れて来たのを、



xamar xamar nirjmaandii-goani.

(忘れて) とばしとばし 物語を語ってしまったねえ。

2000年4月6日 ダエルガ村にて録音  
N. B. Gejker 氏 口述

8. akoáčii arčokaan  
人形で遊ぶ 娘

ə~ŋ undiisi əm, ʃoo doolani-la əm arčokaan əmučkəə~n balʃixan.  
ある 家の中に 一人の 娘が 一人きりで 暮らしていた。

təi arčokaan-tanii tui bii-goani.  
その 娘は そうして 暮らしているのだ。

čimii təəmi, akoambi dəriɡuini-goani,  
朝 起きると (まずする事と言ったら)、自分の人形を 並べるのだ、

puksu kərkičəduəni təpčixəŋji gilon kərkičəčieni siak-da.  
右側の席のかまどの横の所から 始めたら、左側の席のかまどの横の所までだ。

iniə tiap tui kupiini-goani əmučkəən.  
一日中 ずっと そうして 遊んでいるのだ、一人っきりで。

ə~ŋ siksə~ əpsingoidoji xəm oosigoi tui biə undə.  
夕方 横になる時には 全部 片付ける、そうしている という。

əŋ tui bimi-ə tui bimi əm modan-tanii undiisi-ə,  
そうして いて そうして 暮らして いて ある 時に、

tui akoáčii doani toolani-la ʃoor ʃai xaakoa undə.  
そうして 人形で遊んでいる時に 岸の所に ジャリジャリと 小舟が 着岸した という。

əŋ arčokaan-gola undiisi xurməʃi, xaiwa paawaji gidalaraa ičəxəni,  
娘は 針で、 窓を 突き破ってから 見た、

əm mapa bičini. daralapči-daa əmutu~ goɡdalapči-daa əmutu~  
一人のおじいさん だった。(すごいデブで) 横の長さと同じ、 背の高さが 同じ、

daai, saçji mapaačan-gola, ʃaiji xulumi~ biə undə.  
大きくて、年とったおじいさんが、 小舟から 岸へ降りている という。



xulundæ toorami dæruuxæn. tæi-tænii undiisi-æ,  
舟を出てから岸を上り始めた。 そのおじいさんは

činjaktalaa~ duære undæ tæi,  
重すぎて脛の真ん中辺りまで足を地面にめり込ませて歩く というその、

tooiwani-la onomi toora undæ.  
岸の所を 足を引き抜き引き抜きしながら上る という。

æ~ŋ tui tooxani undiisi arčokaan-tanii ælæ uikæwæ iirii  
そうして 上った、 娘は、 今にも戸口を 入って来るというのに

ææ xaido siriori, xaido sirigoji-daa baarasi  
どこに 隠れよう、 どこにも 隠れる場所も 見つけられずに

ʃoo dooni giŋdæ giŋdæ biini-goani,  
家の中には きれいさっぱり何もない状態であるのだ、

tæŋ akoambi gidaloxan... nææuxæn-rægdæ.  
ただ 自分の人形を 懐にしまい始めたり、片付けただけだった。

æsi-tænii tui tami-a-tanii tutumi tutumi kurææmbi,  
今 そうして 走って走って 家の外にある煙道を、

ačoraa čuul, ʃilʃiji gidalaxani, xai, sirixani.  
蓋を開いてまっすぐに、頭から突っ込んだ、 隠れた。

buʃjini kičoiġan-da. æsi-tænii tæi mapaačaan iixæ~n,  
足は 外にはみ出して突き出している。今 その おじいさんは家に入った、

nai palaambani-daa činjakta~ duæreæmi iiriini-goani  
人の(家の)床も 足をめり込ませながら歩いて 入って来るのだ、

lipa~ lipa~ taktoočimi, malöči~ tæændæxæni.  
ベッタリベッタリと踏みしめて、真ん中の席へ 行って座った。

malodoani-tanii, sisima xuæ bičini.  
真ん中の席には、落葉松でできた オンドルの側面壁が あった。

təi-lə sisima xuədulə bolka~ bolka ənəijəni təxəni.  
その 落葉松製の側面壁をグラグラするほどに揺らして座った

ə~ŋ tui taraa-la tui ičəičəi, nai-daa abaa xai-daa abaa,  
そうしてから そうして さがす、人も いなければ何一つとしてない、

təm akoamba dəriuxən-rəgdə bij, palaamba, nakamba kəəndəli-də.  
ただ 人形を 並べてあるだけである、床に、 オンドルに沿って ぐるりと、だ。

əsi-təni undiisi-ə, əŋ alta kombo dailaani, xaiwa,  
今、 金の柄杓ほどの大きさの、

trupkaji aqbimbogoraa~ damxija tias təučirə damxija omii-a,  
パイプを取り出して、 タバコの葉をぎっしりと詰めて タバコを喫う、

goaŋčako~ saŋŋan joo doolani osijjani omixani.  
暗くなるほど家の中いっぱい煙が 家中 満ちるほどに喫った。

ə~ŋ xōjipi-tanii, trupkaji-dəə guiguxən.  
終わると、パイプも 中の灰を叩き出した。

tui taraa tungələguiduji ičəi, ičəičəini-goani, ui-dəədə,  
そうしてから 懐にしまう時に 見る、さがしてみるのだが、誰も、

əjəni iiguŋjə-mə undiini-dəə abaa, iiguədəəsi, tui xalačiini-goani,  
家の主人が入って来るかといってもいない、入って来ない、そうして待っているのだ、

təi akoarŋi kupii, kupixən naija, tui xalačii.  
その 人形で遊ぶ、遊んでいた人間を、そうして待っている。

tui tami~ palaando iligoxani. təsixəŋji, iligoraa~  
そうして 床に 立った。座っていたところから立ってから、

ičəičəini-goani, kəə~ndəli jooowa, ičəičəini,  
さがすのだ、ぐるりと 家中を、さがす、

ičəini xaido-daa sirigoji ui-dəə baarasi, boa.  
見るにどこにも 隠れるような場所は 誰にも 見つけれられない、そのような場所は。

čistəj nai ʒooni doowani. tui taraa~ ičəguxəni,  
きれいさっぱりとしている、人の家の中は。 そうしてから 今度は見た、

kurəən-gulə undiisi, bəǰjini kičoiǰan sirixan bičini,  
煙道には、 足を 逆さに突っ立てて隠れていたのだった、

arčokaan tui taraa, ənərəə~, arčokaamba ʒapagoraa tataǰoxani.  
娘は、 そうしてから、行ってから、娘を つかんでから 引っ張り出した。

arčokaan-tanii ɳəələxən-təni čin̄kii patariini-goani.  
娘が 恐れていたことには、ひどく震えているのだ。

”am ičəguruu~, əǰi ɳəələra,” undii, ”mii simbiə piktəǰuji ɳaanixambi,”  
「娘よ、 恐がるな、」と言う、「私はおまえを子供にしたいと連れて来た、」と

undiini, ”miɳǰi ənuǰuuri,” undiini-goani, čixalai arčokaan.  
言う、「私と 行こう、」と言うのだ、 同意した、娘は。

”nilakon bii-dəə ʒapaisi-noo,” undii, ”ʒapai-goani,” undii,  
「裸だけれども、連れてってくれるの、」と言う、「連れて行くよ、」と言う、

”simbiə ǰaaǰoini, piktəǰuji ǰaaǰoini xəm ʒapaambi,”  
「お前を連れて行く、我が子として連れて行くのだ、何だろうと全て連れて行くさ、」と

undii. əsi-təni tui taraa tawaɳki-la, xairii-goani.  
言う。今 そうしてから そこから、どうするのだ。

təi-lə undiisi arčokaan-gola xə~m akoambi taməǰoxani,  
その 娘は 全ての人形を集めた、

uikəkəənduji nəəkuxəni tui taraa undiisi-ə,  
小箱に しまった、そうしてから、

xəǰiini undiisi arčokaamba-la, uikəkəəmbəni ǰəsə,  
終える、 その娘を、 小箱を、 一緒に、

ʒaparaa~ tuɳǰənduləǰi ǰidalaxani. əsi-təni əuǰuxə~n,  
つかんでから 胸の所に 差した。 今 岸へ下りた、

ǰai anagoraa tui ənəə undə,  
小舟を押してから、そうして行くという、

arčokaan nai tujǰənduəni bii-dəə ičəini-goani,  
娘は 人の 胸の所に いるのだが 見ているのだ、

xai, maŋbo, xəi ənəini bičini.  
大河を、下流へ向かって行っているのがあった。

əŋ təi-lə ǰaiǰi-la undiisi təi-təni,  
その 小舟で 彼女は、

xəmdəni doolani akoáčimi-o~ ənəə undə, tujǰənduəni.  
お腹の所の中でも 人形遊びをしながら行くという、胸の所で。

tui taraa tui ənəmi~ ənəmi-ə-lə ičəini-lə undiisi,  
そうしてから そうして行って~ 行って 見るに、

əm irǰənči~ isiǰoxani tui mapaačaan-gola undiisi,  
一つの村へ 着いた、そうしておじいさんは

ə~ŋ əǰən xaandola xaakoxani~ undiisi,  
主たる 長の岸の所に 着岸した、

tui taraa ǰaiǰi-la tatagoraa tawaŋki tookoi-goani, xumsərəə-də.  
そうしてから 小舟を引き上げてから そこから 上るのだ、舟をひっくり返してから、だ。

ə~ŋ təi-lə undiisi əǰən xaandola, ə~ŋ ǰoola iiguxəni.  
おじいさんは 主たる 長の家の所から、 その家に入った。

ə~ŋ ǰookči iiguxəni undiisi, arčokaamba agbimbogoi-goani,  
家へ 入った、 娘を 取り出すのだ、

akoanǰiani kamor-da. əŋ tui taraa undiisi, xaixani.  
人形と 一緒に、だ。 そうしてから、 どうした。

ə~ŋ undiisi, "mama, piktəguji gaǰoxambi," undiini.  
「ばあさんや、我が子を連れて来たぞ、」と言う。

ə~ŋ əsi-tənii mama-tanii tui bii~ tɔi arčokaan-daa,  
今 おばあさんはそうしている、その娘も、

əŋ xaiwa-daa xəm dəŋsii-goani, nai muəwə muələwəəndiini,  
何でも 全てに良く働くのだ、人が水を 汲みに行かせれば、

muələi, moowa iiwuwəəndiini, iiwui taini-goani.  
汲みに行くし、薪を 家に入れるようさせれば、運び入れたりするのだ。

əŋ siaori-a-gda taasi mama mənə pujuučii siagoji.  
食事の用意だけはしない、おばあさんは自分で煮る、食事を。

əsi-tənii tui bimi~tui bimi əŋ mama-la undiisi-ə,  
今 そうしていて、そうして暮らして、おばあさんは、

iliraa boači niaxən, totapi-o~ iiğuxən,  
立ち上がると外へ 出て行った、しばらくすると 入って来た、

taktočiji pulsixəni bičın, əm tuxiwə, bosowani iiwuguxəni.  
蔵へ 行って来たのだった、一巻きの布を、布を 持って入って来た。

tui taraa~ tɔi-lə bosongoji-la tui, giriktaxani.  
そうしてから その布を、そうして、裁断した。

giriktaraa~ undiisi ə~ŋ arčokaan baaroani jičin,  
裁断してから、 娘の 方へ やって来た、

akoáčimi kupiičieni. "ə arčokaa~n, tətəguji angoroo," uŋkin,  
人形遊びして 遊んでいる所へ。「ああ 娘よ、 自分の服を作れ、」と言った、

"əji xəm-də, uləən ango... ulpiruu"-m-də.  
「これで全部、 良く作れ、縫え、」と。

ə~ŋ tɔi-tənii, arčokaan-tanii xairii-goani,  
その 娘は どうするのだ、

buuxəmbəni-də əsi-tənii mama-tanii tui,  
与えたものを 今 おばあさんはそうして、

əm xadolta bimi ičəjəini-goani.

数日たつ間 見守っているのだ。

təi-tənii arčokaan-tanii, duisi kəčəriɣuxən duisi biini-goani,  
その 娘は 山の方へ 振り返って見ると、山の方にいるのだ、

təi, niŋəəl niŋəəl-dəə tui,  
その子は、手や肩が上下に動いている、そうして、

tui, tui tui čaasoini-goani, xaiwa čaasoini.  
そうして、そうしてそうして細かく切っているのだ、何を切っているのか。

əŋ ɣəkəəl ɣəkəəl-dəə tai-ja, tui taa undə.  
頭が上下に動いたりもしている、そうしているという。

əŋ tui ičəjəini-goani. tui tami-a əm modan ičəndəɣuxəni,  
そうして見守っているのだ。そうして ある時 見に行った、

ulpixəni-nuu-m-də. xərə~ təi arčokaan-tanii  
縫っているかなあと。あれあれ、その娘ときたら、

təi tətuəɣuəni girixambani-daa xə~m saar čaasomi  
その彼女の服にするために裁断してあったものも 全~部 バラバラに細かく切って、

akoanɣoji anɣoxani bičini. tui taraa-tanii,  
自分の人形を作ってしまった。そうしてから、

əsi-tənii mama-tanii pakparimi-la əsi-tənii, paiŋadaxani, apiilani.  
今 おばあさんは怒って 今、 掌で叩いた、首の後ろの所を。

arčokaan-tanii songoi-goani, əsi-tənii songoi-daa songoini-goani,  
娘は 泣くのだ、 今 泣きに 泣くのだ、

təi paiŋa, apiilani nai paačilaxani-kas songoori-goani.  
その掌で、うなじの所を人が叩いたんだもの、泣くのだ。

əsi-tənii mapa-tanii pakparii-goani,  
今 おじいさんは怒るのだ、

”sii toikaambowaangoasi-a~, a mii gaajoxambi-noo,” undii,  
「おまえに叩かせるために ワシは（この子を）連れて来たんじゃないぞ、」と言う、

”ə~ŋ xai tami toikaandiisi, xəmə xəmə biiləji,” undii,  
「どうして叩くんだ、おとなしくしている子を、」と言う、

”xəmə xəmə kupii naija,” arçokaan, xərgəmbə tərūumi songoini-goani,  
「おとなしく遊んでいる者を、」娘は、身も世もなくひどく泣いているのだ、

xəik xəik, xəik xəik, songoini-goani.  
ヒックヒック、ヒックヒック、しゃくりあげて泣いているのだ。

”ə~ŋ uləəsiuri-nuu~,” undiini,  
「好きでいられるでしょうか、」と言う（おばあさんは）、

”tətəuguəni bosowa giriraa buuxəmbiə-təni,  
「服にするための布を 裁断してから私が与えたものを、

xə~m akoamba angoxani,” undiini. mapa-tanii undiini-goani,  
全部 人形を 作ってしまったのよ、」と言う。 おじいさんは言うのだ、

”sii, čaačia biiduji tətəuguji angoxanjjiji oçogoxasi-noo,”  
「おまえは、あんな風に小さかった時に、自分の服なぞ作れるようになっていたのか、」

undiini. ”ə~ŋ xai, xai, mənə angoraa tətəwəemi xairiini-a”-m-da.  
と言う。 「自分で 作ってから 着せてやったら どうなんだ、」と。

”čaači biini xooni angoi-ja,” undiini, ”xai otolira”-m-da.  
「あんな小さいのに どうやって 作れようか、」と言う、「何が わかるものか、」と。

”angomi, tətəwə.” ə~ŋ pakparixan, tui, mapačaan.  
「作ることなど、服を。」 そう言って叱った、そのように、おじいさんは。

əŋ tui taraa čil čil oçogoxan, mama,  
そうしてから 静かに なった、おばあさんは。

arçokaamba-daa tongalaadaasi oçogoxan. tui biiči-goani.  
娘に 手を上げたりもしなくなつた。 そうして暮らしているのだ。

tui bimi~ tui bimi-ə-tənii əm modan-tanii mama-la iligora~  
そうしていて~ そうして暮らしてある時に、 おばあさんは立ちあがって、

guči niəxəni, boāci. ə~ŋ tui taraa undiisi,  
また 出て行った、外へ。 そうしてから、

taktočiji pulsixəni-ə~, əm tuxi bosowani iiwuguxəni undiisi,  
蔵の方へ 行って戻って来た、一 巻きの 布を 持って入って来た、

əsi-tənii undiisi-ə əŋ giriktai-goani arčokaan tətəguəni  
今 裁断するのだ、娘の 服用に、

garoŋgoani pəruəguəni xəm, əŋ tui taraa mənə ulpiluxən,  
すね当て用に、ズボン用に、と 全部、 そうしてから 自分で 縫い始めた、

tui ulpixən xooni-a-daa ulpixən undiisi xōjixani.  
そうして 縫った、どうにか 縫った、 終えた。

ə~ŋ əsi-tənii arčokaamba-la jiliwani,  
今 娘の 頭を、

silkoī siŋjigui taxani undiisi ə~ŋ, əŋ bəjəwəni-dəə silkočii tēi-tənii,  
洗ったり、櫛で梳かしたり、した、 体も 洗う、 おばあさんは、

xai, sikuumbə-məñə tətəguwəŋkini-tənii,  
新しいものばかりを 身につけさせた、

arčokaan-tanii xailoo gučkuli arčokaan osiogoi-goani tēi.  
娘は なんとも 美しい 娘と なるのだ、 彼女は。

ə~ŋ tui taraa undiisi, "gəə mapə~," undiisi, "mənə xairoo," undii,  
そうしてから 「さあ おじいさん、 自分で運べ、」と言う、

əsi-tənii mapaačaan-gola~ əm, mamani, mamači undiini-goani,  
今 おじいさんは、 おばあさんへ 言うのだ、

"mapə~," undii, "mənə taroo," undii, mapə undiini, "iraroo,"  
「おばあさんよ、」と言う、「自分でやれ、」と言う、おじいさんは言う、「運べ、」と



undiini, "piktəčiji. ə~ŋ unxəəri," undii,  
言う、「我が子の所へ。 そうしてから言え、」と言う、

"əiwə galoi osini-la~ undiisi-ə, mənə gələməəčiruu"-m-də.  
「この娘を嫌がるのなら、 自分で探せ、」と。

"mii-tənii~ pərxi namoni pəregduləni, ʃuləxi namoni ʃuugduləni,  
「私は 西の海の 果てを、 東の海の 家を

pulsimi-tənii, əiwə-rəgdə nasaldoji nam ičəxəmbi-ə"-m-də.  
歩き回って、この娘だけが我がメガネに叶う者だったのだ、」と。

"ə~ŋ əiwə galoi-la osini-la mənə, mənə gələməəčiruu"-m,  
「この娘を嫌がるなら、 自分で探せ、」と。

"mii-tənii muəjən-kəəči mukčurəŋgukəi, saŋ-kaəči sagdangokai,"  
「私は 魚を干す竿のように背骨も曲がってしまった、魚を干す台のように老いた、」と

uŋkin, "pulsimi-də mutəəsi ələə osigokaja"-m-da. ə~ŋ tui taraa  
言った、歩き回る事もできなくもはや なってしまった、」と。 そうしてから

mama-la, boəči-la arčokaan ŋaaladoani ʃaparaa niəwuiduəni,  
おばあさんが、外へ 娘の 手を つかんで連れ出す時に、

arčokaan-tanii undiisi, goʃjon puŋəktəŋguji-lə tui tias xoroaləiʃiji gəsə,  
娘は、 かまどの 灰を こうして たっぷりと拳に握ると すぐ、

mama xamialani... xai əlgeiwəni niəgui-goani.  
おばあさんの後ろを、 おばあさんが手をひいて連れて行くので 外へ出たのだ。

ə~ŋ niəgui... boəči niəriŋji gəsə arčokaan-tanii  
出る、外へ 出るや いなや 娘は、

təi puŋəktəriŋji-tənii də~rəgbi-də ʃiliji-daa tətəuji-də mododaxani.  
その灰で 顔も 頭も 服も 塗りたくった。

ə~ŋ tui taraa tawaŋki, toorii-goani, mama toorii,  
そうしてからそこから、 上るのだ、 おばあさんが 上る、

mamāji-xəi galiasini osixani-goani, nekəŋən,  
おばあさんとは力ではかなわないのだ、嫌がり抵抗するのを無理矢理に、

nekəŋən irčimi toorii-goani mamaačaan təi, ə~ŋ arčokaamba.  
無理矢理に引っ張って上って行くのだ、おばあさんはその、娘を。

əjən xaan, təi dujələ biini-goani, piktəči jooŋni daaijakaan.  
主たる長の、その山手の方にあるのだ、彼らの息子の家が、なかなか大きい。

ə~ŋ təi-lə joo uikələni, əj japaraa iixəni mama.  
その家の戸を、つかんで入った、おばあさんは。

ə~ŋ mama-la iimi undiisi-ə, gojondo təxəni undiisi daikaamba,  
おばあさんは入って、かまどの所に座った、キセルを、

omiini-goani tərərə-də, təučičiini.  
吸うのだ、座ってから、タバコの葉を詰めている。

čado-tanii undiisi arčokaan-tanii xučičəŋkudu ilisiini-goani.  
そこで娘は戸の近くの柱の所に立っているのだ。

ə~ŋ təi-lə mama-la tui damxiwa omimi undiini-goani, "əni ičəguruu~,"  
そのおばあさんはそうしてタバコを吸いながら言うのだ、「息子よ、」と、

arčokaan ičəini-goani təi joo doolani,  
娘は見るのだ、その家の中を、

əm naonjokaan-tanii ŋoani-ačia bii bjiərəə, malodo-tanii,  
一人の少年が彼女と同年ぐらいだろう、真ん中の席に、

aisin alčoa~n, məŋgun alčoa~n, alčoačimi kupiini,  
金の鹿の骨製の玩具、銀の鹿の骨製の玩具、それを転がして遊んでいる、

təi-təni arčokaan iiriiduəni-təni ŋoanči iiriiduəni  
彼は娘が入ってきた時に、彼らが入って来た時に

ičəə~ ičəə taxanji-tanii,  
ちらちらと見ていたが、すぐに

jiliji-daa pos gidalagoraa tui alčoačimi tæsiini-goani,  
頭を コクリとうな垂れて そうして 鹿の骨で遊びながら 座っているのだ、

əmučkæən, tawaŋki ičəguədəəsi ņoanči baaroani.  
一人きりで、それからはもう見向きもしない、彼らの方を。

ə~ŋ tæi-təni, mama-tanii undiini-goani, ”əni ičəguruu~,” undiisi,  
その、おばあさんは 言うのだ、 「息子よ、

”amisi uŋkin,” undii, ”ə~ŋ saarj-kaači sagdanjokaja~,  
父さんは言ったわ、」と言う、 「魚を干す台のように ワシは年老いた、

muəjən-kæəči mukčurəŋgukəjə undiisi-ə, ə~ŋ pərxi namoni pərgəduləni~  
魚を干す竿のように 背骨も曲がった、 西の 海の 果てを、

juləxi namoni juugduləni pulsimi undiisi,  
東の 海の 家を 歩き回って、

əiwə~rəgdə nasaljiji nam ičəxəmbi-m-də.  
この娘だけが 目に とまったのだ、と。

sua, galoi osini, mənə gələməəčiruu”-m-də.  
おまえは、この娘を嫌う なら、自分で 探せ、」と。

ə~ŋ undiisi tui taraa undəə~ mama-la iligoraa niəguiduəni  
そうしてから 言うてから おばあさんが 立ちあがってから 出て行く時に、

arčokaan gəšə niəguičəxəni. ”dərəjiguruu,” undiini, ”čado.”  
娘は 一緒に 出て行こうとした。「居残れ、」と 言う、 「そこに。」

mama, tæi arčakaamba, ”čado dərəjiguruu,” undii.  
おばあさんは、その 娘に、 「そこに居残れ、」と 言う。

mama niəguxəni xamialani arčokaan tæi xučəŋkudu ilisiini-goani.  
おばあさんが 出て行った 後、 娘は その 戸の近くの 柱の所に 立っているのだ。

ə~ŋ tæi, puksu kərkičəduəni-təni əm puŋjin tæsixən, ulpimi-ə-də.  
その、右側の 席の 竈の横の所には 一人の ブジンが 座っていた、縫い物をしながら、だ。

ə~ŋ ʒakpadoani-tanii əm mæŋən, aomi-a~ biini-goani,  
そのそばには 一人のムルグンが、横になっているのだ、

xai-daada undəsi, tɔi mæŋən.  
何も 言わない、そのムルグンは。

tɔi pɯjɯn-gulə waisi kəçəriɣuxən tui taraa undiini-goani,  
そのプジン は 川の方へ 振り返った、そうしてから言うのだ、

”ə~ŋ xoma~n durun anaa,” undiini. ”ə~ŋ ilita boiko-daa anaa,” undii,  
「骨髄（色気）も 美貌も 無いわね、」と言う。「可愛さも 色気も 無いわ、」と言う、

”pundə pundə biini,” undiini, tɔi arçokaamba.  
「塵 埃まみれだわ、」と言う、その娘のことを。

”xai, orkimba siariidoji xai, orkimba siariidoji-daa iliwaambori,”  
「悪い物を食べる時にでも まずい物を食べる時にでも 立たせておくべきだわ、」と

undi, ”talɣialaji, uləmbə siariidoji talɣialaji-daa iliwaambowasi,”  
言う、「向かいに、美味しい物を食べる時には向かいにも 立たせるもんじゃないわ、」と

undi, ”əxə pəruuwəni ətəxirəə, orkin pəruuwəni oosiraa tami-ragda-la aja,”  
言う、「悪いズボンを 取っておいたり、悪いズボンを 直したりしとけば いいわ、」と

undiini. ”ə~ŋ durun xoman anaani, anaani-a”-m-da.  
言う。「容貌も 色気も 無いわ、無いのよ、」と。

əsi-təni arçokaan-gola niəɣurəə paɣɣjalagoxani waisi.  
今 娘は 外へ飛び出すと 走り出した、川の方へ。

waisi tutugumi əuguxə~n undiisi, uikəduəni ʒaparaa iimi... mama-la,  
川の方へ 走って 下りた、戸を つかんで入ると、おばあさんは、

”ə~ŋ xandagoxaso,” undiini. ə~ŋ arçokaan-gola gusəɣəxəni,  
「何しに戻って来たの、」と言う。 娘は 話した、

”tui, tui uŋkin”-m-də.  
「あんなことや こんなことを 言ったのよ、」と。

ə~ŋ əsi-tənii mama-tanii tətəwəni xəm ačogoxan,  
今 おばあさんは服を 全部 脱がせた、

məən tətəkəmbi tətugurə tui bii-goani.  
いつもの自分の服を 着て、 そうして過ごしているのだ。

əsi-tənii tui biiduəni əm xadolta~ bipi undiisi  
今 そうしている時に、数日 たってから、

əsi-tənii mamanaa-la~ bargičial undə, "gəə pojango piktəpu jidii~,  
今 おばあさんたちは準備を始めたという、「さあ 末の 子供が 来るよ~、

pojango piktəpu jiiimai, əurii," əsi-tənii undiisi xaiwa,  
末の 子が お客に来る、下りて来る、」と今 何を、

kiajardola kijigui olgiambari waaxa~n əsi-tənii tui taraa-la  
七年養った屋根にもつかえそうな大きな 豚を 殺した、今 そうしてから、

undiisi-ə, xairii-goani, ə~ŋ pujuučii-jə~ mama-tanii,  
どうするのだ、 煮る、 おばあさんは、

xaiwa-la pujuučiasi piktəji jipuguəni, əguəni-tənii undiisi,  
何を 煮ない事があるのか、我が子が 来るのだもの、下りて来るのを歓迎するのに、

bəsərədulə aogoani səkčičəxəni undiisi-ə, ə~ŋ tui taraa iniə~  
机の上に 寝具を 敷いた、 そうしてから 昼に

piktəni əuxən siksəŋgiələ~də, təi naonjokaan bičini.  
子供は 下りて来た、夕方になっても、その少年は いた。

ə~ŋ təi-lə naonjokaan jičinduəni-tənii tui-goani,  
その 少年が 来た時に 御馳走でもてなすのだ、

piktəji siawaandiimi-goani. ə~ŋ təi-lə, siariidoji,  
我が子に 食べさせるのだ。 彼が 食べている時に、

xəəsiquini-goani, "arčokaa~n, siandagoroo," undiini.  
呼ぶのだ、 「娘よ、 食べにおいで、」と言う。

arčokaan j̄juxən siandagoxan nai xəəsiiduəni.  
娘は 戻って来た、食事しにやって来た、人が 呼ぶ時に。

təi-təni undiini xai, arčokaan siandagoroo undiiduəni-təni,  
彼らが、 娘よ 食べに来いと 言う時に、

arčokaan j̄juxən undiisi, təi naonjokaan siami ičəjəini-goani,  
娘は 来た、 その 少年は 食べながら 見ているのだ、

təi arčokaamba-tanii undiisi, ə~ŋ daanini-la undiisi-ə, xai  
その 娘を、 祖母は、 じゃなかった、

ənini-lə undiisi-ə, əm olgian xooroni, əm muksu bodani, buuxəni.  
母は、 豚の 蹄と、 一つの 木の鉢にお粥とを、 与えた。

əŋ čaa-la arčokaan-gola siaraa ənuxəni mənə bəunčiji oosigoraa-da,  
それを 娘は 食べてから 去った、自分の 場所へ、片付けてからだ、

kotaambi. ə~ŋ təi naonjokaan-tanii siami-tanii undiisi-ə,  
自分の食器を。 その 少年は 食べながら、

əŋ puŋkuduji-lə undiisi uləəmbəni, doowani təuči... xukuxəni.  
ハンカチに 美味しい食べ物を、中に 包んだ。

ə~ŋ təi arčokaan dui si təəsiiduəni-lə undiisi,  
その 娘が 山の方の側に 座っている時に、

j̄juləni tuugujiəni naŋgalaxani čawa, xukuxəmbi.  
その前に 落ちるように 投げた、 それを、包んだ物を。

ə~ŋ arčokaan-gola čawa-la j̄japaraa~ siarii-goani,  
娘は それを つかんで、食べるのだ、

təi-təni sinor-daa bii, amtasi-daa bii, gočisi-daa bii bičini.  
それは 脂っこいのもあれば、甘いのも あるし、苦いのも あるのだった。

əsi-məə~ arčokaan-gola ələdələ siaxani.  
今になってやっと、娘は お腹一杯 食べた。

ə~ŋ tui taraa nai xəm apsiŋgoxa~n siksə, siksəguxən,  
そうしてから人は皆 横になった、夕方、日は暮れた、

dolbogoxan undiisi, arčokaan čičindəiduji-lə,  
夜になった、 娘は 小便をしに出る時に、

ə~ŋ naonjokaan xaini, podushkani modandoani nəxəni, nəkuxəni, təi,  
少年の 枕の 端の所に 置いた、置いて返した、その、

xai-ja~ nai, puŋkukəmbəni. əsi-təni niəwəčirəə iigurəə apsiŋgoxani.  
人の、小さなハンカチを。今 トイレに出たり 入ったりしてから 寝た。

aopi-o~ sənəxəni. xəsərəmjis təi naonjokaanji aomi~ biini bičin.  
しばらく眠ると目が覚めた。あれあれあれ、その少年と一緒に寝て いるのだった。

”əi xaandami jičimbi~, təi naonjokaanči, ilamogbani.”  
「これは何しに 私は来てしまったのかしら、この少年の所へ、恥ずかしいわ。」

ə~ŋ əlkə~ iligoraə bəunčiji ənuxəni. ə~ŋ tuiŋkumi guči oŋasagoxani.  
静か~に 立ち上がって自分の場所へ 去った。寝返りを打ってまた 眠り込んだ。

ə~ŋ tui, oŋasagomi tui tapi-o~ guči sənəguxəni.  
そうして、眠り込んで そうしてしばらくするとまた 目が覚めた。

xəsərəjis, əsi xaisi naonjokaan tuŋənduəni aorini bičini.  
あらあら、今度も また 少年の 胸に抱かれて 寝ているのだった。

təi-təni bəgjiiji, bəgjiwəni dəŋ dəŋ kočigoxan,  
彼の 足は、彼女の足を シッカリと 絡み付けて抑えつけていた、

korəŋčilaxan undiisi, ŋaaləji osini dəŋ dəŋ, naamaŋgoxani bičin,  
抑えつけていた、 腕では ガッチリと、抱きしめていたのだった、

ŋoambani. əlkə~ bəgjiiji ačoičaxani dəŋ dəŋ bəgjiiji nəxəni,  
彼女を。 静か~に 足を はずそうとしたが、しっかり その足を 彼は置いていた、

nəərii, ə~ŋ undiisi-ə, xai ŋaalani ačoičaini  
置いている、 手を はずそうとするに、

ŋaalaji baji~ tui naamandiini-goani.  
その手をもっと強くそうして抱きしめてくるのだ。

əŋ tui taraa-tanii undiini-goani naonjokaan jaralixani,  
そうしてから言うのだ、少年は話し出した、

”anda~ puŋin undiisi, xaosi ənəičəisi,” undii,  
「ああ、プジンよ、どこへ行こうというのだ、」と言う、

”xai mæən jicimbi murčiisi-nuu,” undiini.  
「何だ、自分で来てしまったんだと思っているのかい、」と言う。

ə~ əsi-təni čado, gəšə aorii-goani, gusərəəndui tui taraa,  
今そこで、一緒に寝るのだ、話をする、そうしてから

əjiguji baaraa taxan, təi arčokaan təi naonjokaamba čado,  
夫を得ることとなった、その娘はその少年を、その時に、

təi dolbo-tol-da. ə~ŋ undiisi tui taraa čimii ərdə~ bəunči ənui-goani,  
その晩に、だ。そうしてから朝早〜くに自分の場所に戻るのだ、

əŋ čimii siaxa~n xaixan undiisi, xaisi, xaisi xəsiŋuini-goani ənini,  
朝食べた、どうした、また、また呼ぶのだ、母は、

”siandagoroo,” xaisi ičəjəini, əm xooron, əm muksu bodawani buuriini.  
「食べに来なさい、」と、再び見るに、一つの蹄と、一杯の木鉢のお粥を与えた。

xai-daa uliksəwə-dəə buurəsi, xaiwa-daa buurəsi goiwa.  
何の肉も与えない、何もやらない、他の物を。

ə~ŋ naonjokaan-gola undiisi, əŋ siariidoji undiini-goani,  
少年は食べている時に言うのだ、

”amaa~, ” undiisi, ”suə tui xooni baŋjiiso,” undii,  
「父さん、あなたたちはこんな風でよくまあ暮らしていますね、」と言う、

”naija, gaəjoxambari osini, xai, xooni tui nəučəisu”-m-də.  
「人を、連れて来たのなら、なのにどうしてこんな風に養っているんでしょうか、」と。



”ə~ŋ aorii xājon-daa anaa, tətūjī tətū... ao...

「寝具も ないし、

təsčii tətūkəənji dasigoi čado aorii, ə~ŋ jilidoani-daa əm,  
着ている服で 体に掛けてそれで寝ているなんて、 頭の所にも 一つの、

čirəŋkukəən-dəə anaa. xooni tui nəučəurini,” undii,  
枕さえも ないし。 どうしてこんなひどい扱いができるんでしょうか、」と言う、

”naiwa. əñəwə bəlčiini-dəə jəbə biəsi-nuu,” undiini.  
「人を。 母さんを助けているのだから並みじゃないではないですか、」と言う。

”mookaamba-daa taasi-kaa muəkəəmbə-dəə muəlsii-jə,” undii,  
「薪の準備も しないことがあるのか、 水だって 汲みに行くし、」と言う、

”siawaandiisi-kaa-la,” undiini, ”əm xooromba, əm xooromba xərčirəə,  
「あなたたちは食べさせているじゃないか、 一個の豚の蹄を、 一個蹄を 齧ったり

əm muksukəən bodawani omiraa tami xamačaa naini baljiini,”  
一杯の木の鉢の お粥を 齧ったりして どうやって人間が生きていられよう、」と

undiini, aminčiji. amini-tanii undiini-goani, ”am ičəguruu~,” undiisi-ə,  
言う、 自分の父親へ。 父は 言うのだ、 「息子よ、

”təi-lə ənisi taini-tanii,” undii, ”mii saarasimbi,” undii,  
それは母さんがやったんだ、」と言う、「私は知らないよ、」と言う、

”nai xəmə xəmə biwəni, xai umburi,” undii,  
「人は無口で黙っているのだ、 何で言えようか、」と言う、

”mii, saarasimbi-goani,” undii, ”uləən taini-a murčijje,” undiini  
「私は知らなかったんだ、」と言う、「良く してやっていると思ってたんだ、」と言う、

amini. ”təi mama~maña orkini,” undii, ”mama taini-goani.”  
父親は。「あのばあさんばかりが悪いのだ、」と言う、「ばあさんが やったことだ。」

”ərdəŋgə~,” undiini-goani, ”aorii xājokaangoani-daa buurəsisini-nuu,  
「不思議だ、」と言うのだ、 「寝具も 与えなかったなんて、

ənini muəŋguguəni, muəwə moowa taidoani-daa jəbə anaa-noo"-m,  
母さんの水だって、水も 薪も 手伝う事に 不十分だったことがあるのか、

"xamačaa najjani tui siŋgəəkəəčiurini"-m.  
どんな 人を こんな風にいじめることなんかがあるだろうか、と。

əsi-tənii mapaačaan-tanii, mamačiji pakparii-daa pakpariini-goani,  
今 おじいさんは、おばあさんを叱りに 叱るのだ、

əŋ čado-mat tɔi, tətuguəni angoxambi tətəuji-dəə buuguxən,  
その時になってやっとその、服も 作った 服も 与えた、

mamačaan, tətuguguəni. əsi aogoani axoragoani-daa buuxən poltagoani,  
おばあさんは、彼女の服を。今 寝るための物も 与えた、毛布も、

səktəpunguəni, paduuskaguəni-ə-də.  
マットレスも、枕も、だ。

ə~ŋ əsi-tənii, tɔi naonjokaan-tanii  
今、 その少年は

əsi-tənii siksəini taondoani pulsiluguxəni, aondasomi-la.  
今 日が暮れる毎に 忍んで来た、添い寝しに。

ə~ŋ tui tami pūjin... tɔi-lə arčokaan-gola bəjədu osii-goani.  
そうして その娘は 身ごもったのだ。

əsi bəjədu osixa~ŋ, ui-dəə əsi tɔi maməji mapəji,  
今 妊娠した、 誰も 今 そのおばあさんも おじいさんも

saaradaasini-goani, čəəl čəəl osixan.  
気づきもしないのだ、お腹は大きくなった。

əsi-tənii, xai jəbədūəni biuri-ə murčiini-goani,  
今、 どうして普通で いられようかと考えるのだ、

əidu mæn jookčiji ənərəə bii-dəə aja, pūjin osixani-goani.  
ここで、自分の家へ 行っているのも良い、と。もう立派なブジンになっていたのだ。

ə~ŋ baarājigoxani, koaŋ koaŋ-da.  
身支度をした、しっかりとちゃんと、だ。

tui taraa-la undiisi ənəpsinŋkin ʒookčiji, ʒookčiji ənurəə,  
そうしてから 出発した、自分の元の家へ、家へ 去って、

ənurəə goro uləən-m-də. ə~ŋ ʒookčiani-daa dolin,  
帰った方がずっと良いと(考えた)。 自分の家まで 半分の道のりまで来て、

xamasi-daa dolin osixani. əŋ ʒulieləni təi mərəŋ-gula, lur susuəŋguxəni.  
戻るにも 半分という所になった。すると目の前にあの ムルグンが、さっと現れた。

”anda~ puŋin xaosi ənəisi,” undii, ”xaosi ənəisi-ə”-m.  
「ああ、プジンよ どこへ 行こうというのか、 どこへ行くのか、」と(言う)。

”ə~ŋ abaa, xaosi-daa ənəsimbi,” undii, ”ii,” undii,  
「いいえ、どこへも 行きませんわ、」と言う、「そうか!??」と言う、

”mii saarasi-noo,” undii, ”ʒookčiji ənuisi biəsi-kəə,” undiini.  
「オレが知らないとでも!??」と言う、「自分の家へ 去るところじゃないか、」と言う。

”ʒookčiji duərəguisi,” undii, ”xai, saoriŋato gərbəndəi-jə,” undiini,  
「自分の家へ 歩いているんだろ、」と言う、「鉋屑を採る木を探しに行くんです、」と言う、

”ii,” undiini, ”saoriŋato gələndəisi biəsi,” undii,  
「ふうん、」と言う、「鉋屑を採る木を探しに行くんじゃないね(おまえは)、」と言う、

”ʒookčiji ənuisi-ə”-m-də. ”ə~ŋ anda~ puŋin močogoo,  
「自分の家へ 去るところだろう、」と。 「ああ、プジンよ、戻れ、

anda puŋin močogoo,” undii, ”mii-təni, xai, mənə gərbərəə iragoambi,”  
ああ プジンよ、戻れ、」と 言う、「私が、 自分で集めて 運んで来てやるから、」

undiini, ”saoriŋatogoasi.” ə~ŋ undiisi-ə tui, xaixan.  
と言う、「おまえの(出産の) ための鉋屑を採る木を。」 そうして、どうした。

ičəjəmi-tul xamasi kəčəriguwəŋkin. puŋin bəjədu biini-goani.  
睨みつけて後ろへと 振り向かせた。 プジンは身ごもっているのだ。

tui taraa xamasi ʃjuxə~n, xəjomba xəm ačoktaxan,  
そうしてから後ろへと戻った、外出着を全部脱いだ、

ñaar ñaar osigoočiani-la, ə~ŋ mərgən-gulə undiisi xaido,  
ゆったりと落ち着いているところへ、 ムルグンは

paawani boakialani-la goa~r naŋgalaxani, saoriŋato. əuwuguxən.  
窓の外から バラバラと投げ込んだ、鉋屑用の木を。山から持って下りて来た。

”arčokaa~n, saoriŋatogoasi-a,” morami čawa-tanii mapa undiini-goani,  
「娘よ、 おまえのための鉋屑だぞ、」と叫んで それについておじいさんは言うのだ、

”mama, piktə, arčokaan saoriŋatogoani-a~da gərbəndəsuxəni,” undii,  
「ばあさんや、我が子は、娘のための鉋屑を 集めに行って来たのだなあ、」と言う、

”kupiməəri gərbəxəči-tanii-ə~,” undiini.  
「遊びで目的もなく集めたのかなあ、」と言う。

”kupimi pulsimi gərbəxəni,” undiini.  
「遊びで歩き回って集めたんだなあ、」と言う（祖父母は娘の妊娠にまだ気づかない）。

ə~ŋ arčokaan-tanii iniə dolbo saorii-goani čawa-tanii-da,  
娘は 昼も夜も 削り屑を削って作るのだ、それを、

əmučkəən, xai arčokaan birə, puʃin osixani.  
一人っきりで、もう何が娘な ものか、立派なプジンと なっていた。

ə~ŋ tui taraa, piktəguji ər, baarii osixan, baarii-goani.  
そうしてから、子供の 臨月の時、生まれる時となった、生まれるのだ。

əsi xooni taori, təi mapa mama-daa xaiwa-daa saaradaasi,  
今 どう すべきか、そのおじいさんも おばあさんも 何も 知らないのだ、

ərdəŋgəsiədəəsi-ə, təi naonjokaan pulsiiwəni-dəə  
不審にも思わなかった、その少年が 通って来ているのを

təi naonjokaan tu~l tul awandasoini-goani,  
その少年は いつもいつも 寝にやっ来て来たのだ、

təi mærgəkæən, mærgən osixan nai. ini ini awandasoi.  
その小さなムルグン、ムルグンとなったその人は。毎日 添い寝しにやって来ていた。

əsi-tənii təi piktəni, niŋmaaria piktəni xai goidami urəgiləi.  
今 その子供は、民話の中の子供だもの、どうしてゆっくり 育つはずがあろうか。

təi-tənii ambaan daai osixani-goani. muikuluxən. xooni taori,  
その子は けっこう大きくなったのだ。 這い這いし始めた。 どうしたらいいだろうか、

xaido nəəuri, lambaka doolani nəučəmi ūjiini-goani.  
どこに (不義の子を隠して) 置くべきか、袋の 中に 置いて 育てるのだ。

təi-tənii, muikuluxəni lambakāja niərii-goani.  
その子は、 這い這いし始めたので、袋から 出てきてしまうのだ。

əsi-tənii bəjjini, əi bəjjiduəni ŋaaladoani əiduəni ʒolowa uiktəxəni.  
今 足に、 こっちの足に、 手にも、 こっちに 石を 結わえつけた。

əsi-tənii tui bii-goani tui-də, ʒolōji uičəku təi piktə.  
今 そうしているのだ、 そのように、 石で 結わえつけてある、 その子供は。

əŋ tui taraa əsi-tənii əm modan-tanii, muəwə muələmi ənəxəni,  
そうしてから、 今 ある時、 水を 汲みに 出た、

əuxəni-goani waisi. əŋ təi, muələxənduəni-tənii undiisi-ə,  
下りて行った、 川岸に。 彼女が、 水を汲みに行っていた間に、

tookoini uikə daawa ələə isigoini xailaraa təi-tənii,  
上って来て、 戸 口の所に 今 着くという時に、 あれあれその、

əŋ mapāji soii-daa, pakparii-daa taa undə.  
おじいさんと (おばあさんが) 叱りつけたりも 怒鳴りつけたりも する という。

mama-jas xailaraa təŋ piktəni ʒilgani-jas təŋ songoini-daa masilaxan.  
おばあさんも なんとも、 ひどく 子供の 泣き声も、 ひどく 泣くのも いっそう強くなった。

əŋ təi-tənii soiči-goani, "xamačaa naini," undii,  
おじいさんは 叱るのだ、 「いったいどこの 人間が、」 と言う、

”ə~ŋ xamačaa nai əktəni,” undii,  
「いったいどんな人の所の女が、」と言う、

”tui-dəə, piktəji joloji-maŋa naija uŋkičəməəri nəučəiči,” undii,  
「こんな風に、自分の子供を石でなぞ 人が 縛りつけておくだろうか、」と言う、

”ə~ŋ toksawa baaraa, ətəxiini”-məl soiči-goani, ”tui jajakaačimi.”  
「私生児を産んで、世話していたんだな、」と叱るのだ、「こんな風に 隠して。」

əsi-təni undiisi soi-daa soiči-goani, pūjimbə-təni,  
今 叱りに 叱るのだ、 プジン、

əsi-təni, muəŋguji iiwugurəə aksondo nəərəə undiisi  
今 水を 家に運び入れてから 戸口の近くの所に 置いてから

piktəji jəparaa boāči niəxəni. tui taini, ajaktalaxani-goani.  
自分の子をつかんで外へ 飛び出した。そうした、ひどく腹が立ったのだ。

boāči niəərəə undiisi xaido, kupučuudu nəərəə,  
外へ 飛び出して、 家の外の煙道の所に (子供を) 置いて、

moowa jəparaa paačiidoji-la, xa~ončok ənəxəni.  
棒を つかんでいっそ殴り殺してしまうとしたその時、パツタリと 気を失ってしまった。

paačilaxani-os abaa-os piktəji. ə~ŋ tui taraa undiisi-ə,  
殴ったんだか、殴らなかったんだか、我が子を。 そうしてから

tui tapi-ə~ saəgəxani.  
そうしてしばらくすると 気がついた。

jooŋdo əsi təi mərgən jilgani təŋ xoəŋ pakparii~  
家に 今 あの ムルグンの声 が ひどく ワンワンと響いて 叱りつけている、

ənimbi amimbi soi, piktəni jilgani təŋ xoəŋ soŋgoi taa undə.  
母親と父親を叱っている、子供の 声 が ひどく ギャアギャアと 泣いたり するという。

ə~ŋ təi-təni, tui tami morapsirkini, ”anda pūjin iiguu-də, pūjin,  
彼は、 そうすると 叫び出した、「ああ、プジンよ、入って来い、プジンよ、

anda puĵin iiguu, naku maṅgalaxan,” undiċi, ”ĵamusimi.”  
ああ プジンよ 入って来い、子供が 辛がっている、と 彼らは言った、「お腹を空かして。」

ə~ŋ undiisi puĵin-gulə, tui moraini undiisi,  
プジンは、そんな風に 叫んでいるので、

piktəji songoini guĵiəsimi maṅgalaadala  
我が子が 泣いているのを 不憫に思っ、 なにしろひどくしんどくなるまで

taa səŋsəəċimi songoini-goani, piktəji,  
ひどく すり泣いて (泣きすぎて) 泣いているのだ、自分の子は、

xaali songoloxarĵi songoini-os.  
いつ 泣き始めてから 今まで泣きつづけているのか。

təi naija dəluxəni-dəə xai turgən ajanagoi saagogilai.  
この 気を 失っていたのが、 どうして すぐに 良くなったなどと 自分で知り得ようか。

ə~ŋ puĵin-təni iiguxəni, iigurəə undiisi xaixani.  
プジンは 家に入った、入ってから どうした、

piktəji ĵapagoraa kuwuuriini-goani, songomi kuwuurii-goani.  
自分の子を 抱き上げて 乳を与えるのだ、泣きながら 乳を与えるのだ。

undiini-goani, ”kətəələə kətəələə piktəĵiĵə waawaanĵkiso,” undiini.  
言うのだ、「あやうく もう少しで私の子供を 殺させてしまうところだった、」と 言う。

”təi silaan mii dobdagoxambi,” undii,  
「それに すんでのところで オレは 間に合った、」と 言う (ムルグンは)、

”əm inĵi kətəələə piktəĵiĵə waawaanĵkiso,” undii,  
「たった一日で 危うく 私の子を みすみすあなた方のせいで 殺されると こだった、」と 言う、

”təi-lə, piktə buikini osini-la,  
(ムルグンは言う) 「あの、子供が 死んでしまったなら、

sua saxarin səəksə naado təəp bumċəsü,” undii.  
おまえたちは 黒い 血を 地面に ボタリと 落として 死んだことだろう、」と 言う。

mapa mama-daa xaiwa-daa saarasi. əŋ mapa-tanii undii,  
おじいさんも おばあさんも 何も 知らない、わからない。おじいさんは言う、

”mama taini-tanii,” undii, ”mama xaiwa-daa saarasi, xai osira,”  
「ばあさんがした事だ、」と言う。「ばあさんが何も知らないなんて事があり得ようか、」

undii, ”ñoani-maňa argasixani...” ”xooni murčiiso,” undiini,  
と言う、「彼女ばかりが 騙した、」と。「何を 考えているんだ、」と言う (ムルグンは、

”mii, xai turgunduəni tul tul awandasologoxambi,”  
「オレが、(他に) 何の目的があつて いつも 泊まりに来始めたと思つていたんだ、」と

undii, ”əusi tul tul pulsijə”-m, ”inii... dolbo,  
言う、「ここへいつもいつも 通つて来ていたじゃないか、」と、「夜に、

siksə taondoani əusi j̄j̄jurə biəsimbi-kəə,” undiini.  
日が暮れる 毎に ここへ やつて来ていたではないか、」と 言う。

əŋ undiisi t̄i, siawaamaari-daa t̄i piktəwəri, pakparimi...  
その、乳を飲ませながらだ、その 彼らの子供に、叱りながらも、

xəsə angoxan̄j̄j̄ani uləən siawaalogoxači-goani t̄i arčokaamba,  
話をしながらも、良く やつと乳を飲ませ始めたのだ、その 娘に

p̄j̄jkəəmbə. əŋ əsi-təni p̄j̄jin,  
小さなプジンに。 今 プジンを、

mərgən-təni pakparixambi duələni undiisi-ə,  
ムルグンは 叱りつけた 末に

əŋ boāči taktoči ənərəə undiisi-ə, əŋ əm, tuxi,  
外へ、蔵へ 行って、 — 巻きの

bosowani xač̄in boso iiwuguxəni undiisi, ”gəə, anda p̄j̄jin,”  
布を、 いろんな種類の 布を 持って入つて来た、「さあ、ああ プジンよ、」と

undiisi-ə, ”ə məənduji, nəku xəj̄ŋgoani angoroo,” undiini.  
言う、「自分に、と、子供の 衣服を 作れ、」と言う。



ə~ŋ pūjin-gulə undiisi əsi-təniŋ aŋgoi osii-goani, piktəduji,  
プジンは今 作ることとなるのだ、自分の子供に、

boŋgodo aŋgoxani-a~ xəjokaangoani xəm-də.  
初めて 作った、一揃いの子供用の服を、全て、だ。

gəə, ələə tutului osii-goani, piktə.  
さあ、もう着ることとなるのだ、子供は。

muikuxəni xai goidami niŋmaaria piktəni urəgiləi.  
這い這いしていた、どうして長いことかかって民話の中の子供が育つだろうか。

ə~ŋ undiisi tui taraa-la təi-lə undiisi-ə, əŋ tui biiduəni-ə~  
そうしてから彼らが、そうして暮らしている時に

tui oçogoraa uləən oçogoraa bii-goani, tui biiduəni undiisi-ə,  
そうってから、良くなってから暮らしている時に、そうしている時に、

”ə~ŋ akpalo asiko, əŋ piktəpuwə asiwani boājia nai irai-ja~,” undii,  
「長男の所にも妻がいる、我らが息子の妻には天の人を運んで来た、」と言う、

”taosi ənəuri-ə”-m. mapāji~ mamāji-la bajalagomaari dəruuxəci,  
「あそこへ行くべきだ、」と。おじいさんとおばあさんは盛装し始めた。

undiisi, əm čimii təxənduəni.  
ある朝 起きた時に。

tui bajalagoraa, bajalagoxa~n, uləən uləən tətuguxən, ənəxəəl.  
そうして着飾ってから、着飾った、良く良く着た、行った。

tooxaal piktəčəri. ə~ŋ təi xamialani-tanii,  
上った、子供たちの所へ。その後で、

mərgən undiini-goani, ”anda~ pūjin,” undiisi-ə,  
ムルグンは言うのだ、「ああ~ プジンよ、」

”toogoari,” undii, ”taosi ənəguuri.” ”əŋəjə~,” undii,  
「上ろう、」と言う、「あそこへ行こう（我々も）。」「いいえ、」と言う、

”ilamosiambi,” undii, ”xai tami ənəuri,” undii,  
「恥ずかしいわ、」と言う、「どうして行けるでしょうか、」と言う、

”nai mæpi, əkə pəruuwə ətəxirəə, orkin pəruuwə oosiraa taiwani,  
「人は私のことを、悪いズボンを取っておいたり、悪いズボンを直したりと言うのを、

xooni ənəuri,” undii, ”caaci bii jakasalci mii.  
どうして行けるでしょうか、」と言う、「あのようである人たちの所へ、私が。

nai uləən siaridoji-daa talgialaji mimbə iliwaandasiwani.”  
人が美味しく食べている時にも 向かいに私を 立たせてもおかないと言うのに。」

”ə~ŋ aja~,” undii, ”xamačaa gooko gurumbə taisi-a,” undii,  
「大丈夫だ、」と言う、「いったいどんな立派な人たちだって言うんだ、」と言う、

əsi-tənii undiisi-ə, əŋ piktəji-lə undiisi-ə,  
今 自分の子を

ə~ŋ baarəjigowaandaa tooxani, mərgən uuturəə-də.  
身支度させてから 上った、ムルグンが 抱っこして、だ。

”anda pūjin turgun tooxaari, turgun tooxaari,”  
「ああ、プジンよ、早く 上って来い、早く 上って来い、」と

undiini-goani, pūjin-gulə, tooxani xamialani tui bii,  
言うのだ、 プジンは、彼が上った その後に そうしてまだいる、

əsi-ə~ piktəji songoo songolo osixan bijerəə murčixəni-goani.  
今 自分の子供が泣き、泣き出ししたりした だろうなあ、と思ったのだ。

ə~ŋ tui taraa əsi-tənii undiisi-ə, xətər xatar bii amiriwa tətuxəni-ə~  
そうしてから 今、 古い 魚皮服を着た、

tui taraa-tanii undiisi-ə, xaiwa, nuktəji osini sada sada taxani.  
そうしてから、 髪の毛は バサバサにした。

ə~ŋ tui taraa tooxani. ə~ŋ ičəini-lə əjini-lə undiisi-ə,  
そうしてから 上った。 見ると 夫は、

puksu paawani nai ačoxani bičini, ə~ŋ čado-la undiisi,  
右側の席の側の窓を 人が取り払ってあったのだが、 そこに

ilisia undə təi paawadola undiisi-ə~ piktəji uutuačimi~ ilisiini-goani.  
立っているという、その窓の所に、 子供を抱きかかえて立っているのだ。

nai baaroani dooči ičəjəmi ilisiini.  
人の方を 中から見ながら立っている。

piktəni-təni, ənəjji gəsə pujin-gulə xatanji ənəmi  
子供は、 行くやいなやプジンはずばやく行って、

piktəji-lə əjji ŋaalalani loap tatagoraa əguxəni.  
自分の子を 夫の腕から パッと取り上げてから下りて行った。

əŋ əgureə kuwuuriiduəni əjini xamialani əgui-goani,  
下りてから 乳を与えている時に夫が後から 下りて来るのだ、

”anda~ pujin,” undii, ”mii simbiə xaali tui taroo uŋkimbi,” undiini,  
「ああ~プジンよ、」と言う、「私はおまえにいつそんな風にしろと言ったか、」と言う、

”ərdəŋgə xai-daa,” undii, ”xaandami tui, tui ərdələisi-ə”-m-də.  
「不思議だ何とも、」と言う、「何のためにこう、こんな風に妙な行いをするのか、」と。

”sii, xaido, mii tooroo tooroo undəčiji-kəə,” undii,  
「私が上れ、上れ、と言ったではないか、」と言う、

”xaiwani tui taisi-a”-m-da. ”ilamogbani,” undiini-goani,  
「何を こんな風にするのか、」と。「恥ずかしいんですもの、」と言うのだ。

”xai tami mii ənəuri, buəŋjə ambaan nai,  
「どうして私が行くべきでしょうか、我々のような魔物の類の者が、

orkin nai naiči uləən gurunči,” undiisi.  
悪しき者が 人の所へ、良い人々の所へ、」と言う。

ə~ŋ undiisi əsi-təni undiisi-ə, xaixani.  
さあて今 どうした。

ə~si-tənii ičəjəmi-tul, baarəjigooriwa gələini-goani-a~,  
さあ今 目の前ですぐに身支度するよう 求めるのだ、

piktəji mərən uləən baarəjigoxan, əsi-tənii əsiji-tənii nəə,  
自分の子を ムルグンは 良く 着せた、 今 妻は すぐに、

əsi-tənii təi, jiliji čak čak taxambani-tənii  
今 その 頭を バサバサに してしまっていたのを、

siğjiini osixani nəə-də. ə~ŋ pujin undiini, "ača~," undiini-goani,  
梳かすこととなった、すぐに。プジンと言う、「痛い(髪を引っ張られて)。」と言うのだ、

"mii mənəə nuktəji mənəə taambi-ja"-m-da. ə~ŋ əjji,  
「私は自分で、自分の髪のこととは自分で やります。」と。 夫に、

tui xairiidoani-daa nəə bəlcijiani-tol, jiliji siğjiguxəni undiisi  
そう言う時にも すかさず 手助けする、頭を 梳かした、

əsi-tənii undiisi-ə, əŋ siligoxani nuktəji-lə undiisi əsi-tənii undiisi,  
今、 頭を洗った、髪を 今、

gəə, əsi-tənii təŋ uləən tətuəwəni agbimbəni tətuələwəəndiini-goani.  
さあ、今 一番 いい 服を 引っ張り出してきて 着させるのだ。

ə~ŋ təi-tənii, təŋ uləən tətuəwəni tətuguwəəndiini,  
彼は、一番 良い 服を 着させる、

"anda pujin," undii, "uləən uləən təturuu," uŋkini-goani.  
「ああプジンよ、」と言う、「良く 良く 着ろ、」と言ったのだ。

əsi-tənii tətuguxə~n, əsi-tənii juəjəri tooriči-goani, piktəji,  
今 着た、 今 二人で 上るのだ、 自分の子供を、

əjini, tuxisii. ə~ŋ uikələ iixən undiisi ə~ŋ puxsujjələ, xaido,  
夫は、抱きかかえている。 戸から 入った、 右の席の側の、

kərkičəni kiraadoani osixači, ŋəanči.  
かまどの横の場所の縁に 落ち着いた、 彼らは。

əsi-tənii ičəini-lə puĵin ičəini, bunĵiə puĵin ičəini-goani,  
今 見る、プジン は 見る、我らがプジン は 見るのだ、

təi-lə aarĵni asini-la boa nai, əŋ nasani daai~ saxarto~ puĵin bičin.  
その 兄の 妻は 天の人だ、目は 大きく、黒い、プジン だった。

ə~ŋ ĵuə ĵooroktodoani saksii bəĵĵiəktu, xaidoani,  
二つの こめかみには カササギの 足跡の模様が ついている、

pəəjəduəni siun bəəjĵiku bičin, saxarin əktə.  
額には 太陽の 模様が あった、黒い 女。

nasani daaijakaan ĵuərməčĵiku.  
その目は なかなか大きくて 二重目 蓋だ。

ə~ŋ undiisi tui taraa təi xai-tanii,  
そうしてから その、

aarĵni-tanii xairiĵi-a~ xəriĵi-tənii,  
ムルグンの兄は どうする、居合わせた人々たちに 順番に酒を 振る舞う、

asimolia ĵuəĵiəri, ə~ŋ nai ĵičinduəni, ĵiamatāĵi.  
妻と 二人で、人が やって来た時に、花嫁と 一緒に。

əsi-tənii badowani isigoxani nəuĵi ĵakpačiani isigoĵĵi ĵəse,  
今 そばに やって来た、自分の弟の 近くに やって来るやいなや、

undiini-goani, "aapaŋgo~," undiisi,  
言うのだ、 「弟よ、

"aomi~ təəmi xaido baaxasi," undii, "tui bii asigoĵi.  
(ただ) 寝たり 起きたりして いてどこで見つけたんだ、" と言う、「こんな妻を。

ə~ŋ goi nai osini, simbiə waaraa asilagomčaja," undiini.  
別の人だったなら、おまえを 殺して オレが嫁にもらったことだろう、" と言う。

"ə~ŋ mii-tənii xai-daa xəm mədəwə pulsimi əiwə mədə...  
「オレは 何でも 全ての情報を 求めて回ってこの女を

jəbələə bii baaxambi," undiini, tɔi, boar̥ji əktəwəni.  
ややましなのを見つけたんだ。」と言う、その、天からの女のことを。

ə~ŋ undiisi naor̥jokaan-tanii toas ajaktalai-goani, "ərdəŋgə~," unkin,  
少年は カツとなって 怒るのだ、 「不思議だ、」と言った、

"naija ičəməri xooni otoliasiso"-m-də.  
「この人のことを見て どうしてわからないのか、」と。

"suə galoxaso əktə-tənii, arčokaan-tanii," undii,  
「あなた方が嫌った 女じゃないか、 娘じゃないか、」と言う、

"ə~ŋ uləən siariidoari-daa talgialaji iliwaambowasi,  
「良い物を食べている時にも 向かいに 立たせるべきでもない、

sii baar boiko anaa xamačaa-kaa soii-ja undəčisi-kəə," undiini.  
おまえは器量も色気も無ければ何にも無いと罵って言ったじゃあないか、」と言う。

"ə~ŋ əxə pəruuwəni ətəxii, orkin pəruuwəni oosigoi taxan, unkimbəri,  
「悪いズボンを 取っおいたり、悪いズボンを 直したりしたんだわ、」と言ったのを、

əsi xaini ananani baapaari, baapi mimbə waaičaisi," undii,  
今さら何の 妬みや嫉みを抱いて、感じて私を 殺そうというのか、」と言う、

əsi-tənii soriraa, aag̥ji soriraa undiisi əuguxəči piktəji tuxiləguxən,  
今 罵って、兄と 罵り合ってから 下りた、自分の子は抱きかかえていた、

asiji ŋaaladoani ʔapagoraa. ə~ŋ tui taraa tui biiči-goani ʔoogdo.  
妻の手を ひきながら、だ。 そうしてから そうして暮らしているのだ、家に。

xadolta xadolta bipi-o~ ənini amini əuguxən.  
数日 数日 あってから、母と 父とが 下りて来た。

əŋ tui taraa-la tui xairiīči-goani. tui biīči-goani, ʔoogdo.  
そうしてから そうして どうするのだ。 そうして暮らしているのだ、家で。

əŋ tui bimi~ tɔi puʔjin-tənii undiisi ə~ tɔi, akoani-tanii,  
そうして いて、そのプジン、 その彼女の 人形は、

xusēnii tətəguəni aḡgoktaxani xəm xusēnii tətəni očogoxa~n,  
男の人形の服を 作ってあった物は全て男の人間の服と なった、

əktēnii tətəguəni xaiwa-daa aḡgoxani xəm əktēniingī-maḡa osigoxan  
女の 服を 何でも 作ってあった物は全て女の人間の服ばかりになった、

əsi-tēnii undiisi tui bajan osigoraā tui bičini,  
今 そうして豊かになってから そうして暮らした、

pūjin tui bii-goani goro~ bičə~ jija~ bičə ələə.  
ブジンはそうして暮らしているのだ、長いこといた、短いこと いた、終り。

2000年4月8日 ダエルガ村にて録音

N. B. Gejker 氏 口述

9. əm xəɾəjəkəji, əm puʃinʃi balʃixači  
一匹のカエルと 一人のプジンが 暮らしていた

təi-tənii əm xəɾəjəkəji, əm puʃinʃi balʃixači, əm ʃoo doolani.  
それは、一匹のカエルと、一人のプジンが 暮らしていた、ある家の中で。

təi-tənii xəɾəjəkə-tənii~, xəɾəwə piktəguji baaxani tui bimi~da.  
その カエルは、カエルを 自分の子供として 産んだ、そうして暮らしていて、だ。

əsi-tənii puʃin-tənii əm naonʃokaamba baaxani piktəguji. tui bii~,  
今 プジンは 一人の男の子を 産んだ、自分の子供を。そうして暮らしている、

tui bii, əm modan-tanii puʃin moowa moolaxambi xamialani-tanii  
そうしている、ある 時に、 プジンが 薪を 集めに行ったその後で

xəɾəjəkə-tənii, puʃin piktəwəni čoolaraa čočaini-goani.  
カエルは、プジンの子供を 盗んで 逃げ出したのだ。

əsi-tənii təi puʃin-tənii soŋgomi~ tui bii,  
今 そのプジンは 泣いて、そうしている、

gəə təi xəɾəjəkə piktəwəni-dəə uʃiini-goani, xaisi.  
さあそのカエルの子供だけれど 育てるのだ、再び。

tui taraa-tanii, təi naonʃokaan daai urəxə~ŋ, xaiwa-daa xəm waaloxan,  
そうしてから、その男の子は 大きく育った、何でも 全て 狩りして獲り始めた、

tui taraa undiisi, xairiini-goani. əm modan, kupiini-goani.  
そうしてから どうするのだ。ある時、遊んでいるのだ。

xaido, xəɾəjəkə ənini undiini, ”əni ičəguruu,” undii,  
カエルの母親は言う、「ああ息子や、」と言う、

”maŋbo xəi əji pakaalara,” undii, ”adalika ambaaŋko,  
「大河を下流へは決して球遊びをしてはいけないよ、」と言う、「恐ろしい魔物がいて、



adalika ɲəuŋku," undiini, "xəi əji pakaalara"-m-da.  
恐ろしい化け物がいるんだからね、"と言う、「下流へは決して球遊びに行くな、"と。

gəə naoŋjokaan-tanii tui pakaacii pakaacii əm modan-tanii,  
さあ男の子は そうして球遊びをして球遊びをしていてある時、

murčixəni-goani, ii, "xai undiini təi mii, ənimbi,  
考えるのだ、 そう、「何のことを言ってるんだろう、あの僕の母さんは、

xəi əji pakaalara ambaaŋko ɲəuŋku boá"-m-da.  
下流へは決して球遊びをするな、魔物がいる、化け物がいる場所だ、って、"と。

ələə tookoidoji pakaalaini-goani.  
もう家へ上ろうという時に球を打ったのだ、

tui taraa xairiini-goani. pakaalaxan, tui taraa,  
そうしてからどうするのだ。球を打った、そうしてから、

pakaani-tanii boŋgalio~ ənəini-goani,  
球は コロコロッと転がって行くのだ、

tui ənəmi əm ʒoo siinčəni ənəxəni.  
そうして行って、一軒の家の前の川の氷に開けた水汲み穴の所へ転がって行った。

naoŋjokaan-tanii siindulə,  
男の子は 穴の所で

pakaambi ʒaparaa duisi tooriini-goani čala.  
球を つかんでから山の方へと上って行くのだ、その所から。

əmə puŋinʒi, əmə ənini-mə~ bii xərəjəkəji biə undə təi ʒoo doolani.  
一人のプジンと、一匹の母さんそっくりなカエルがいるという、その家の中には、

tui taraa-tanii, əsi-təni puŋin-təni soŋgoini-goani,  
そうしてから、今 プジンは泣いているのだ、

undiisi təi naoŋjokaamba ičərəə, "əni ičəguruu~," undii,  
その少年を 見てから、「ああ、その子供よ、"と言う、

”içæçisi-nuu,” undii, xai, ”əm xərəjəkəji~,  
「見なかったかい、」と言う、 「一匹の カエルと、

əm naonjokaanji kiatawani ui-dæ æçio baara-nuu,” undiini-goani,  
一人の 男の子が 水死しているのを、誰も 見かけなかったかい、」と言うのだ、

”nai mædæwə-dæ xaido-daa doofjaçisi-noo”-m-dæ.  
「人が 話している噂でも どこかで 聞きはしなかったかい、」と。

əj naonjokaan-tanii, ”mii-kæ saarasi,” undii,  
少年は、 「僕が 知っているわけじゃない、」と言う、

tui tami jooŋgoini osixan, ”a~ a~,” undiini.  
そうして 思い出すこととなった、「あ~あ~」と言う。

”balanaa~kaa nai-kaa jōjaxan,” undii,  
「ず~っと前に人が 話していたなあ、」と言う、

”əm xərəji... əm xərəjəkəji əm naonjokaanji, kiatawani nai baaxan,  
「一匹のカエルと 一人の 男の子の、 水死体を 人が 見つけたと、

moo moŋgokto-daa moolsimaari.”  
薪にする 流木が何かでも 集めていて、だ。」

tai-tənii-ə~ daai jilganji songoloxani-goani puŋjin-tənii,  
彼女は、 大きな声で 泣き出したのだ、 プジンは、

”tai piktəjiwə, xərəjəkə çoolaraa ənəxəni,” undiini,  
「その 私の子供を、カエルが盗んで 行ったのよ、」と言う、

”mii moolsiidojija,” songoini-goani,  
「私が 薪を集めに行っている隙に、」と泣くのだ、

tai naonjokaan undiini-goani,  
その 少年は 言うのだ、

”əni-ə~ mii sii piktəsi taambi,” urkini.  
「母さん、僕は あなたの 息子だよ、」と 言った。

ə~ŋ əsi-təni piktəji baogoxa~n ojektai-goani tui,  
今 自分の息子に 再会した、キスするのだ、そして、

naamansii-daa ojektai taini-goani, əŋ siawaŋkin,  
抱きしめもするし、キスもしたり するのだ、 食べさせた、

tui taraa undiisi ə~ŋ tado tui tai,  
そうしてから そこでそうする、

xəŋəŋəkəŋguni-tanii xəmə biini-goani təi əktə xəŋəŋəkə.  
子供のカエルは 黙っているのだ、その女の子のカエルは、

əktəwə baaxani-goani, xəŋəŋəkə.  
女の子を 産んだのだ、 カエルは、

əŋ tui taraa əsi-təni undiisi ə~ xairiini-goani,  
そうしてから今 どうするのだ、

naonjokaan tui gusərəənduxən, tawaŋki ənui-goani.  
少年は そうしてひととおり話をした、そこからいったん去るのだ。

”xəŋəŋəkəmə ənimbī xuədəxən undiini,” undii, ənuxəni.  
「カエルの 母さんは 僕を見失ったと言っているだろう、」と言って、 去った。

təi xəŋəŋəkəmə ənini-təni,  
そのカエルの 母さんは、

təŋ, uikəji daadoani-la laapaasaa~n ilisia undə,  
ずっと、家の戸の戸口の所に 四足の獣が二本足で立つさまで立っているという、

”əni ičəguruu xaosi pulsixəsi-ə, mii xuədəxəmbi-ə.”  
「ああ 息子よ、 どこを ほっつき歩いてたのか、 あたしは見失ってしまったわよ。」

”abaa~ kupixəmbi,” undii, ”pakčiraangoiwani əčə saaraja,”  
「いいや、 遊んでいたんだよ、」と言う、「暗くなっていたのがわからなかったんだ、」と

undiini-goani. əsi-təni tui taraa naonjokaan tui joogbi isigoxa~n,  
言うのだ。 今 そうしてから 少年は そうして家に 着いた、

siarii xairii taxan əsi-tənii undiisi, əŋ axootalami dəruuxəni.  
食べたり 何したり した、今、 狩りを し始めた。

ə~ŋ tui tami undiisi ə~ŋ əm modan-gola undiisi, əm toowa waaxani.  
そうして ある時、 一頭のヘラジカを獲った。

ə~ŋ əwuguxəni. "əñə~," undiisi, "čimana, toowa waaxambi,"  
運んで下りて来た。「母さん、 明日、ヘラジカを僕が獲ったやつを、」と

undii, ñaŋga pinalagoraa əwuguxəni, məən jookčiji.  
言う、少し 背負って 持って下りて来た、自分の家へ

"toowa waaxambi," undiini-goani, "mii.  
「ヘラジカを獲ったんだけど、」と 言うのだ、「僕が。

čimana ŋaani-goisi-noo," undii, "ŋaaniŋaači-noo," undiini-goani,  
明日 取りに行ってくださいか、」と 言う、「取りに行ってくれる？」と 言うのだ、

"duisi." "ŋaaniuri-goani-a~," undiini-goani.  
「山の方へ」「それは取りに行くべきだわ、」と 言うのだ。

əsi-tənii undiisi ə~ŋ jia čimani naonjokaan-gola  
今 次の朝 少年は

tokiwa anjoxan undiisi tawaŋki tooxan undiisi-ə,  
櫓を作った、 そこから上った、

əŋ tokidoani undiisi-ə, ə~ŋ uliksəwə təučixəni  
櫓に 肉を 積むのだったが、

təi tokidoani-la undiisi əsi-tənii undiisi-ə,  
その櫓に 今

too puxinŋjəni-maŋa, irpongoani anjoxani, too puxinŋjəni undiisi-ə,  
ヘラジカの腸ばかりで、 引き綱を作った、ヘラジカの腸で、

təi tokiwa soptanŋgilaxani-a-da. əŋ uliksəwə, xərkəxəni-goani təi ənini.  
その櫓に 荷を縛りつける紐も作った。 肉を 縛りつけたのだ、その母親は。

tui taraa-tanii undiisi ə~ŋ, "gəə, ənuruu," undiini-goani,  
そうしてから 「さあ、戻れ、」と 言うのだ、

"əuguruu," undiini, "mii, uiwə-dəə xaigojja,"  
「下りろ、」と 言う、「私は、誰も 助けを必要としないよ、」と (言う)。

ə~ŋ tɛi-təni, tətəkənji, əm juər, girami ənəini, xətu ənəini-goani,  
その紐は、ほんのちよつと、一歩か二歩か、歩いて行くと、ちぎれてしまうのだ、

xai, too puxini guči xai masiačigilai tɛi əǧjilə uliksəwə əəwugui.  
ヘラジカの腸がさらに何で頑丈だろうか、その沢山の肉を 運ぼうというのに。

naonjokaan-tanii undiisi, uliksəwə-lə uləəmbəni~  
少年は 肉を、 良いのを

doowani-la ti~as pinalaxani tui taraa, too taosi ənəxəni,  
中に ぎっしり 詰めて背負った、そうしてから、ずっと 向こうへと 行ってしまった、

tɛi jułəsi ənəxən čado, moo čiala osiraa~ siriraa biə undə.  
その先へ 行ってしまった、そこで、木の陰になつたり、隠れたりしているという。

čado-tanii dooljiini-goani, "ənəjə~," undii,  
そこで 聞いているのだ、「ああああ、」と 言っている、

"ñoani ənini amini, too puxinjəni, xai, irpoŋkol biiči-nuu,"  
「あの子の母親や父親は、ヘラジカの腸でできた、引き綱を持っていたのかしら、」と

undii, "goinii piktəni goinii-goani-a, mimbə-lə siggəəini-goani-a,"  
言う、「他人の息子は 所詮他人なんだわ、私のことを 苦しめるんだわ、」と

soŋgočia undə, tɛi-lə xəəǧəkə-lə,  
泣く という、その カエルは、

čawa dosjaraa naonjokaan-gola əninčiji ənuxəni.  
それをよく聞いてから 少年は 自分の実の母の所へ 去った。

ə~ŋ əninčiji ənuxən tui taraa undiisi əsi-təni undiisi-ə,  
母の所へ 帰った、そうしてから 今

”ənimbi baogoxan-tanii-a,” undiini-goani,  
（カエルは）「（きっと）自分の実の母親を 見つけたんだわ、」と 言うのだ、

”mimbə siggəriini-ə,” undii.  
「私を いじめるということは、」と 言う。

əsi-tənii tui taraa, əninčiji gaajoxan əsi xaiwa,  
今 そうしてから 自分の母親の所へ 持って行った、今、

uliksəwə əjji gaajoxan, pujin agdaiini-goani-a~  
肉を たくさん 持って行った、プジン は 喜ぶのだ、

piktəji j̄juxəmbəni tui taraa undiisi  
息子が 戻って来たことを、そうしてから、

ə~ŋ uliksənguəni pujuučii siaxa~n, əŋ tui taraa undiisi,  
肉を たくさん 煮た、食べた、 そうしてから、

təi, piktəwəni-lə undiisi ənini baaroani iragoini-goani.  
その、カエルの娘を 母親の方へと 送り届けるのだ。

ə~ŋ isigoxani, təi xərəjəka-tənii dolbo inədələ təi xaiŋgodoji  
到着した、その カエルは 夜から 昼になるまで その 自分の場所で

j̄oboxan-tanii tui taraa undiisi piktəji baogoxani-goani.  
仕事をしていて、そうしてから 自分の子供に 再会したのだ。

ə~ŋ undiisi, ”ənəjə, nai ənimbi baogoxani-a,” undii,  
「ああ、人は 自分の母親に 再会したんだわ、」と 言う、

”əni ičəguruu, sinji minji tui bičin-tənii xai təjə,”  
「娘よ、 おまえと 私とは こうして 暮らしていたとて 何の いい 事があるう、」と

undii. ”daai armiŋgogoari, daai armia baaroani dəriŋguəri-ə,” undii,  
言う。「大きな 湖に、 大きな 湖の 中の方へ 飛び込んでしまおう、」と 言う、

əsi-tənii tooiči ənərəə-lə undiisi,  
今 岸边へ 行ってから、

ə~ŋ daai maŋbo baaroani ʃuəʃiəri puikugurəə xəʃixaci.

大きな大河の方へ 二人して 飛び跳ねて行って 飛び込んで終えた。

goro bičə ʃiŋa bičə ələə.

長いこと暮らした、短いこと暮らした、終り。

2000年4月3日 ダエルガ村にて録音  
N. B. Gejker 氏 口述

10. jurgii murgən  
ユルギー ムルグン

əm ʃoo doolani əikə nəu~ baljixani, xai-ja~ əikə,  
ある家の中に 姉と弟が 暮らしていた、いやそうじゃなかった、

əm murgən, pondəʃooko-da, ʃuəʃjəri.  
一人の ムルグン、妹がいる、二人きりで、だ。

tui baljii~, tui baljii təi-təni aarɲi-tanii,  
そうして暮らしている、そうして暮らしている、その 兄は、

dolbo tookoraa dolbo əugurəə tami, bəjumbə bəičii,  
夜のうちに狩りしに山へ上っては夜遅く下りて来たりして、獣を 獲り、

toowa toikandii, mapawa manai taini-goani.  
ヘラジカを叩き、クマを 獲り尽くしたり、しているのだ。

a nəuni pūjin-təni ʃoogdo-tanii, ə~ŋ ʃaarila ʃapagoi, xai,  
他方妹の プジンは 家において、一番星に 縫い物を手に取ったり、

xosiktala xōjii, əriŋkulə əsəligui tami, tui uiləə undə.  
星に 終えたり、明けの明星に 布をしまったりして、そうして縫い物をするという。

tui biməəri~, tui baljimaari əm modan-gola aarɲi undiini-goani,  
そうしていて、そうして暮らしてある時に 兄は 言うのだ、

”aapəŋgo~,” undii, ”əjə kaltaa-tanii pulsimi-tanii, usəltə-dəə oinaxa~n,  
「妹よ、」と 言う、「このあたりを 歩き回っていて、毛皮獣も 少なくなつたし、

bəjun-dəə xəjinaxan,” undii,  
大型獣も 少なくなつた、」と 言う、

”əsi-təni mii pərxijə kaltaa baaroani ičəndəmi ənəəmbi,”  
「今 オレは 西の側のあたりの方へ 見に行ってみることにするよ、」と



undiini, "ćimana." pondājooni undiini-goani, "aa~, " undii,  
言う、「明日。」 妹は 言うのだ、「兄さん、」と言う、

"taosi-kaa ǽji ǽnǽrǽ, ǽnǽuri-ǽ j̄oombora"-m,  
「あっちへは 決して行かないで、行くことなぞ 思ってもいけないわ、」と、

"tajaa kaltaa baaroani buǽ saǽj̄ilpo ǽnǽxǽni, ǽmun-dǽǽ ǽćia moćogora,"  
「あっちの側の 方へ 私たちの 御先祖様たちが 行って、一人さえも 戻らなかったわ、」と

undiini. "xai nai ǽnǽini taondoani budǽrǽǽ," undiini.  
言う。「なかに、人が行く 毎に 皆死んでしまうわけじゃないさ、」と言う。

tui xisǽngoraa ǽpsingoxan. ǽ~ǽj̄ j̄ia ćimani-la ǽrdǽ,  
そう話してから 横になった。 次の日の 朝 早く、

mǽn tǽrii ǽrilǽni tǽxǽ~n tui taraa-la undiisi  
自分の 起きる 時間に 起きた、そうしてから

ǽsi-tǽnii undiisi-ǽ, puǽjin-tǽnii aagbi siagoani taini osixan  
今 プジンは 自分の兄の 食事の 支度をする こととなった、

ǽsi-tǽnii, tǽi-tǽnii, ǽdǽdǽ xufjuugumi-dǽǽ xufjuuguǽsi,  
今、 彼女は、あれあれ、スープを 温めても 温めはしないし、

tǽi-tǽnii goljondoji tǽǽsiǽ undǽ, nǽuni-lǽ.  
彼女は かまどの所に ただ座っている という、妹は。

ićǽini-lǽ aǽǽni-la baarǽj̄igoxan koǽǽ koǽǽ-da, ǽsi susugui.  
見るに 兄は 身支度した、暖かくしっかりと身支度した、今にも 出発する。

ićǽini-tǽnii tǽi-tǽnii j̄uǽ, mućuukǽmbǽ-tǽnii tui poipogoi,  
見るに 彼女は 二本の、燃えさしを こうして 片方をひっくり返し、

tui poipogoi tami tǽi, komboji, xufjuućiini bićini.  
ああしてもう片方をひっくり返したりして その、柄杓を、温めている のだった。

ǽsi-tǽnii mǽrgǽn-tǽnii ajaktalaxani-goani.  
今 ムルグンは 怒ったのだ。

baŋsalaxani niərii nofjinjiani tɛi kombowani,  
蹴っ飛ばした、出て行く 時に その 柄杓を、

gofjoni xaičiani čuul ənəjjiəni doočiani.  
かまどの火へ まっすぐ突っ込んで行くように、その中へ。

ə~ŋ tui taraa tɛi mɛrgən-tənii tawaŋki susui-goani, boaçi niərəə-də.  
そうしてから その ムルグンは そこから 出発するのだ、外へ 出てから、だ。

nəučiji ajaktalaraa-da. əsi-tənii təə taosi ənəmi  
妹に 腹を立ててから、だ。今 ずっと先へ 行って

lək lək taidoji ičəguxəni, gidadoani-la undiisi, ə~ŋ xamasi,  
後ろへ 引っ張られるのに気づいて見た、 槍の(柄の後ろの)所に、 後ろに

xərə~ nəuni-tənii undiisi, nasal ŋooigan ĵapalaačiini bičini,  
あれあれ妹が、 目を 大きく見開いてつかまっている のだった、

gida duəduəni. əsi-tənii mɛrgən-tənii xəmə biiləji-tənii,  
槍の 端の所に。今 ムルグンは 黙っていたが、

gidaji tui suəkəələguxəni xamasi tui-də.  
その槍を そうして 振って柄の端の先のほうへと投げ飛ばした、後ろへ、そのように、だ。

nəuni-tənii kukpučuudulə pokčoigan tuukə undə, pəruuni.  
妹は ゴミ捨て場に ただ尻の所が丸く見える格好で落ちた という、そのズボンの。

ənəpi-ə~ ičəini xaisi, pəruu ŋoigaa~n aora undə,  
しばらく行って、 見るになおも、ズボンは そのままの格好で寝ている という、

tui čado biə undə.  
そうしてそこにいる という (意識を失って倒れているのか)。

xooni tuuxən xooni-da. tui ənəpi-ə~ ičəini-daa, xaisi, tui bii.  
落っこちたその格好のままで、だ。そうしてしばらく行って見たが、 なおも、そのようだ。

”əədəndəmi~ bəčindəmi nəuji waaxambi-tanii xainaa-da.”  
「バカなことをしてアホなことをして自分の妹を殺してしまったようだ。」

xamasi močogopsinkini. ələə isigoidoji ičəguini-lə undiisi,  
後ろへ 引き返し始めた。もう 着くという時に見ると

nəuni iligoraa~ ələji guičigumi-ə~ biə undə, "aisi,"  
妹が 立ちあがって 裾の 雪を払って いる という、「ちきしょう、」と

ajaktalaraa kur kəčərigumi tawaŋki-la undiisi, ənui-goani.  
怒って サッと 振り向くと そこから 去るのだ。

"əktənii argani~, əktənii muruni əgjiini~,  
「女は ずる賢い、女の 心は さまざまに移ろう、

amanaa təəlungui biəci-kəə"-m-də,  
父さんたちの 話に あったじゃあないか、

"əm tookpon, sarŋičaani taktolaidoji joan murumbə murčii-ja"-m-də.  
(女とは) 一つの 梯子の、梯子段を 踏む毎に 十の 考えを 抱くものだと、」と。

"mimbə argalaxan-tanii," undii, "tui-də."  
「私を 騙したことは、 全くそのようだ。」

ə~ŋ tawaŋki-la təi mərŋən tui ənəxən. təi ənəgui-tənii,  
そこから その ムルグンは そうして 行った。その 行く時に、

susugui-tənii xairiini-goani, joogdo. ʒabdon garpaini-goani, baksači.  
出発する時に、 どうしたのだ、家に。 矢じりの先を 弓で射たのだ、家の真ん中の柱へ。

baksači garpaxan-tanii undiini-goani,  
家の真ん中の柱へ 射た、 言うのだ、

"əi, ʒabdon, səpturəə goar tuurəə tai osini mimbə buikin unxəri"-m-də.  
「この、矢じりが 錆びて ボロリと 落ちたり する なら、私は 死んだものと言え、」と。

ə~ŋ pujiin-gulə ənuxəni xamialani tui bii-goani.  
プジン は 彼の 去った 後で そうして 暮らしているのだ。

əm modan palaamba axirigoidoji lək joongoxan təi ʒabdomba.  
ある 時 床を 掃いている時に ハッと 思い出した、その 矢じりの事を。

ičəxəni-lə undiisi səmji~ osixan bič'in jabdoni ojaani-la undiisi.  
見た、赤〜く なっていた のだった、矢じりの 上は。

əŋ səptumi~ osixani. əsi-təni pūjin-gulə undiisi japagoxani təi,  
錆びが できていた。今 プジンは つかんだ、それを、

jabdomba-la tui taraa xəŋgisi nəəkuxəni undiisi,  
矢じりを、そうしてから 別の所に 置いた、

”ə~ŋ əə, əsi ačaasi əi aɡaa, aja~ biəsi.”  
「ああ、もはや ダメなんだわ、これは、兄さんは、無事じゃないわ。」

ə~ŋ tui taraa undiisi jia čimani təəguxəni  
そうしてから 次の日に 起きた、

əsi-təni undiisi ərdə təəxəni. pūjin-təni undiisi  
今 朝早く 起きた。プジンは

ə~ŋ əi siambi saŋɡawani-daa xoipombi xəm ačogoiŋji ɡəsə,  
この 耳に 開けた穴も、耳飾りを 全部 はずすやいなや、

opawa japaxan tui liparam-da, saŋɡar anaa osiŋjani.  
粉を つかんだ、そうして 塗って塞いだ、穴が 無くなるように。

tui taraa-təni əsi-təni aagbi purəən axorawani tətui-goani.  
そうしてから 今 自分の兄のズボンと 服と道具を 身に着けるのだ。

ə~ŋ xəm tətəguxən, tui təiŋji ɡəsə undiisi boəči niəxəni undiisi əsi,  
全部 身に着けた、そうするやいなや 外へ 出た、 今

ə~ŋ ɡoropči soktakaambani japagoxani undiisi ə~ŋ tui taraa undiisi-ə,  
古い スキーを つかんだ、 そうしてから

pəɡburəwəni japagoxani əsi-təni tawaŋki ənəpsinŋkin əurii-goani,  
ストックを つかんだ、今 そこから 行き始めた、川の方へ降りるのだ、

aagbi poktowani daxami  
兄の 足跡を 追って

poani udəwə saori, poani udəwə saawasi bičin.  
いくつかの場所はわかったが、いくつかの場所はわからない所もあった(足跡が)。

xoombači ənəmi osini kotoloo tami oorji koatatax tuurii~,  
どれほどか行くと、胸を張って反ったりすれば仰向けにドタリと倒れるし、

xuməsi mukčuləə tami xuməsi kubdurəm tuurii, tui taa undə,  
うつ伏せに屈んだりすればうつ伏せにバツタリと倒れるし、そうしているという、

soktaji, əsi-məə tətuxən otoliwasi-goani.  
自分のスキーを、今になってやっと初めて履いた、やり方がわからないのだ。

ə~ŋ tui tami ŋaŋga~ ənəjiji gəsə-lə puĵin-gulə undiisi-ə,  
そうしてほんの少し行くやいなやプジン

əmutu aagbi-mat otolixani.  
まるで兄のようにスキーのやり方を会得した。

aagbi goroči goporoačiraxandolani tərək tərək tərək, tui ənəə undə.  
兄が遠くへ大股で一気に進むのに正確にピツタリピツタリと、そう行くという。

xooni, xooni aapni taktoolaxani xooni ənəluxən təi puĵin-gulə,  
そのように、兄が足跡を踏んで行った、そのように行き始めた、そのプジンは、

tui-tənii čadoi-daa masĵi tui ənəluxən təi-lə.  
そうして、それよりも(兄よりも)強く、そのように行き始めた、彼女は。

poani-daa saori pos tui ənəmi~ ənəmi-ə-lə undiisi,  
ある場所は知っている、まっすぐにそうして行って、行って、

əm daai ŋaronči agbiŋkin təə~s biə undə.  
一つの大きな沼の所へ出た、広々としているという。

tui ŋaronči agbindiĵiji gəsə puĵin-gulə ičəini-goani.  
そうして沼の所へ現れるやいなやプジンは見るのだ。

dolimbani ələə~ isidoji-ja-da. tajaĵjala əsi gada~l gada~l taa undə.  
真ん中辺にもうすぐ着くという時に、だ。向こうで今何かがうごめいているという。

ñoambani ačapči xai ʒaka undiisi, gaakisiraa~  
彼女の方へ向かって何だろうか、カラスだろうかと思ったり、

saksiisiraa tami ičəi tui tami undiisi,  
カササギかなあと考えたりして 見ている、そうして

ə~ŋ nai-noo xamačaa-noo ərdəŋgəsiini-goani pūjin.  
人かなあ、何かなあと 不思議に思っているのだ、プジン

tui lur ənəini-goani, tui xatanʒi.  
そうして サッと行くのだ、そうして 敏捷に。

tui tami ələə isiidoji ičəguxəni aarŋi,  
そうして 今にも 着くという時に見た、彼女の兄が、

təi-təni məəpi-təni bəjəji-təni,  
彼が 自分を、自分の体を、

dəŋ də~ŋ sirpəəji kataragoraa ʒiʒuini bičini.  
ギッチギチに 広葉樹の内皮の繊維で縛って 戻って来ているところだった。

ə~ŋ tui ʒiʒumi əruun bičin... ʒiʒuini.  
そうして 戻って、ひどい状態だった、戻って来る。

əŋ pūjin isiʒiʒi gəsə, əŋ tuŋəpuŋji-lə tui ʒuləsi, xairaa, iligoxani.  
プジンは 着くやいなや、スキーの杖を こうして 前に、突き立てて 立ち止まった。

ə~ŋ undiini-goani, "aapaŋgo~," undiisi, "ərdəŋgə~ xai-daa," uŋkin,  
言うのだ、「妹よ、不思議だ、何とも、」と 言った、

"xaandami ʒičisi," uŋkini. "mii-təni murčixəmbi," undii,  
「何をしに来たのか、」と 言った。「オレは 考えていた、」と 言う、

"xəsəji~ aŋmaji bunindəgumi, ʒoo boa isigoari-a"-m-da.  
「言葉も 口も 黄泉の国へ向かっていようと、我が家の方へ 必ずやたどり着くぞ、と。

"əsi-təni simbiə əidu ičəgurə-dəə əidu burburi biʒə-mə," undiini.  
今 おまえを ここで 見たということは ここで 死ぬということのようだ、」と 言う。

”əŋ mimbiə buikin-dəə əji songora,” undii, əsi-tənii omoldoji bii,  
「オレが 死んでも 決して泣くな、」と 言う、今 自分の帯の所にある、

sitaxawa ačoraa buuxəni, nəuduji.  
銅製のナイフを吊るす穴の開いた帯の下げ飾りを取って 与えた、妹に。

”əiwə-tənii~ bimi-ə baljimi-a əi... əmbə,  
「これを 暮らしていて過ごしていて、 一人でも、

əlc̄iwə-dəə axaawa-daa baarii osini, təšč̄iuxəəri-ə”m-də.  
奴隷でも 女奴隷でも 見つけた なら、身につけさせろ、」と。

ə~ŋ tui umi~ aar̄ni-la buikin.  
そう 言って 兄は 死んだ。

əsi-tənii pujin-tənii əciə-dəə songoa aagbi bukimbəni-dəə əsi-tənii,  
今 プジン は 泣かなかった、 兄が 死んでも、 さあ今

soktani kap nəəriŋji gəsə aagbi tərək nəəmi,  
兄のスキーを (脱がせて) 横に 並べて置く やいなや 兄を その上にきちっと 縛りつけて、

əsi-tənii t̄ei udəwəni-lə, moowa-la, anosii-goani~ tui taraa undiisi,  
今 その場所に、 木々を 押し倒すのだ、 そうしてから

əŋjiwə bargixan moo, tui taraa-tanii, aagbi-tanii korigoani angoxani.  
たくさん 準備した、 木を、 そう してから、 兄を 葬るための小屋を作った。

əm, xai-daa daaliasjiani əm xamačaa-daa iirəsjjəni-də.  
何者も 立ち寄らないようにいかなる者も 入らないように。

tui taraa əsi undiisi xōjixan tawaŋki-la tui ənəpsin̄kini j̄uləsi.  
そう してから 今 終わった、 そこから そうして 出発した、 前へ。

poktowani čuul-da. tawaŋki ənəmi isii-goani, xaiwa,  
兄の足跡を まっすぐに、 だ。 そこから 行って 到着するのだ、

aar̄ni aongakaani bič̄ini.  
兄の 小さな狩り小屋が あった。

ə~ŋ tui taraa puʃin-təni iiriŋji gesə undiisi,  
そうしてから ブジンが 入るやいなや、

ələə siun tuuguini-goani. tawa-daa əciə iwandani xairadaani,  
もう日が落ちるのだ。 火も まだ焚いていない、何もしていないうちに、

tui taraa undiisi-ə, ə~ŋ iixəni aongəčiani  
そうしてから 入った、狩り小屋へ、

tui taraa undiisi, čək-ə~ ʃabdombi nəəkurəə,  
そうしてから きちんと用意しておいた、矢を つがえて、

buriduji čək nəəxən ləkəələurji, tui taraa-tanii,  
弓に きちんとつがえて準備しておいた、すぐ射られるように、そうしてから、

apsiŋkini, aagbi bəunduəni.  
横になった、兄が 寝ていた場所に。

tui aoriidoani-a, ətətə~ ŋəələmi dəruuxəni.  
そうして寝ている時に、ウ〜んととても恐くなり始めた。

xailoo manğa ələə morai-noo~, xailoi-noo osixani xərəktəni.  
なんとも すごく恐くなって今にも 叫び出したいような気持ちになった、鳥肌がたった。

xərəktəji manğaʃi ŋəələini-goani, osixani,  
肌にも ひどく鳥肌がたって 恐ろしいのだ、恐ろしくなった、

xərəktəji baariini-goani. tui tami undiisi-ə,  
鳥肌が たつのだ。 そうして

xai-daa~ largian-daa anaa osiogoxani.  
やっとなんとも 不安な気持ちも 無くなった。

əm xai-daa-da ŋəələdəəsi osiogoxani-goani.  
何も 恐ろしくもなくなったのだ。

tui taraa-tanii tui, xəmə~ aorii-goani čado.  
そうしてから そうして、黙って 寝ているのだ、そこに。



tui tami undiisi, dosjiini-la əm ʒərgulji əm juŋguŋji ʒičin bičin  
そうして 耳を澄ましていると一匹の赤狼と一匹の狼が やって来たのだった、

təi-təni, soŋk soŋk soŋk əusi soŋk soŋk soŋk, puuŋgičial undə.  
そいつらは、ヒタヒタヒタと こっちへヒタヒタヒタと、臭いを嗅ぎ回っている という。

ə~ŋ tui taijiari gəsə undiisi əsi-təni undiisi, təi xai-la,  
そうするやいなや 今 彼女が

ičəini-lə təi-təni xamoroi ʒului iligoxači bičin təi uikəwə, iiməəri.  
見るに そいつらは後ろと 前とに縦に並んで立っていたのだった、その 戸を 入って。

pūjin-təni undiini-goani təi, simuəčiini-goani təi, ʒabdonči,  
ブジン は 言うのだ、 その、 ささやくのだ、 その 矢じりへ、

”ə ʒabdoə~n, sii-təni undiisi-ə, amaa ʒabdon-daa biəsis-i-ə~,  
「ああ、 矢じりよ、 お前は 父さんの 矢じりでもない、

amaa amini, ənini, ɟiamata ʒidiiduji, ʒičini, ʒabdon,  
父さんの 父さんの 所へ、 母さんが、 お嫁に 来る時に、 来た時に、 矢じりを

olibiqkini ʒabdoni taəči,” undiini.  
持って来た その 矢じり なのだ、」 と言う。

”ə~ŋ təi ʒuə gurumbə-təni, əmutu xəngowa siuŋpuləi-məə toikoraa,  
「あの 二匹の 者たちを、 まるで フナを 串刺しにするように 命中して、

əjəə tajaə ooni xəm tui ačagoroo,” uŋkini-goani.  
こっちと あっちの 両端を 全部 こうして 合わせてしまえ、」 と言ったのだ。

ə~ŋ tui umi-lə tas~ ɟarpaxan təi ʒuə gurumbə-lə.  
そう 言って、 パツと 矢を射た、 その 二匹の 獣を。

kamor tui, iixəni-goani, tui ʒuər kap-da, tui-də.  
二匹丸ごと そうして 貫いて、 入ったのだ、 そうして 二匹 はりついてしまった、 そう。

əŋ pūjin-gulə iligoŋji gəsə aagbi ɟidawani ʒapami ɟidaxani.  
ブジンは 立ちあがるやいなや 兄の 槍を つかんで 突き刺した。

gidaidoani gəllll abanagoxači.                      əŋ dolkinjiala~ jaraligoxani.  
槍の下で パツと そいつらは消えていなくなった。 冥界の側から 声が話し出した。

”ə~ŋ anda~ puĵin      undiisi, simbiə-lə tui      argalajaraa~  
「ああ、プジンよ、              おまえが こんなに ずる賢いだろうとは、

tui      tajaraa-m      əčiə murčijəpu,”      uŋkin,      ”əŋ buə-təniĵ murčixəpu~,  
こんなに やるだろうとは思わなかったよ、」 と言った、「オレたちは 考えていた、

undiisi, xaxanii      pondəjooni-daa xaxa~,      masinii      ponjooni-daa masi,”                      undii,  
豪の者の妹は              豪の者で、強者の妹は              強者だろうと、」 と言う、

”buə-təniĵ      sii      aagbasi əidu xəm      mutuučigupi-təniĵ,  
「オレたちは おまえの 兄を      ここで すっかり やっつけてしまったなら、

simbiə      ĵookčiasi                      waandagogoari taxapo”-m-da.  
おまえを おまえの家まで 殺しに行こうと していたのだ、」 と。

”ə~ŋ buə      ĵuə      nai-tanii kap,      toikoxani,”                      undii,      ”ĵabdonsi.  
「オレたち 二匹の 者を ピツタリと、くっつけて 貫いた、」 と言う、「お前の 矢じりは、

təi-təniĵ      ĵuə ooni      xəm      kap      ačagoxan.  
それは 両 端を      共に      ピタツと      合わせてしまった。

kaorii                      waaləĵiani madagoini,”                      undii,  
抜こうにも無理な 太さに      膨れ上がってしまって、」 と言う、

”ambaa~n səwəən,      xoldondoani undiisi,  
「魔物と      スウンの 側に、

xojoadoani                      ĵooĵi      isiĵoori-noo                      abaa-noo,”                      undiini.  
近くで助けを受けて、自分の家へ たどり着けるだろうか、ダメだろうか、」 と言う。

”ə~ŋ burməəri-ə      balĵimaari-o čixaso.”  
「死のうと      行きようと      好き勝手にしろ。」

ə~ŋ təi,      tui taraa      tui      xairii-goani      tui      biiduəni  
彼女は、そうしてから そうして どうするのだ、そうして いるうちに

eləə giwanaloxan dolbo dolin-daa siixəni-goani,  
もう夜が明け始めた、夜の真ん中も過ぎていたのだ、

giwanaloxan əsi-təni ɲəənɲi~ osiini puɲin-gulə, susuguxəni, tajəjia.  
夜が明け始めた、今明るくなる、プジンは、出発した、そこから。

əsi-təni undiisi tui əugui-goani~ siun təə~ uisi osiini, xaiwa,  
今 そうして下りるのだ、太陽はずうっと上へ上がった、

aagbi koriwani baogoxani, isigoxani.  
兄を葬った小屋を見つけた、着いた。

ə~ɲ aagbi koriwani isigoɲɲi gəsə undiisi  
兄を葬った小屋に着くやいなや

əsi-təni xəm ačoktagoɲɲi gəsə aagbi-la,  
今全部脱ぐやいなや(武装を)自分の兄を、

sokta mənɲdæn pinalagoraa tawaŋki tui əupsɲkɲini.  
スキー丸ごと背負ってそこからそうして下り始めた。

əɲ tui əugumi~ goro əuguxən ɲjja əuguxən,  
そうして下りて遠く下りた、近く下りた、

ə~ɲ maŋboŋgočɲi əugui-goani tui taraa ɲookčɲi daogoxani  
自分の所の大河へ下りるのだ、そうしてから自分の家へ渡った、

puɲin-gulə undiisi əsi-təni undiisi-ə,  
プジンは今

sokta mənɲdæn aagbi iiwuguxəni tui taraa ɲirkəguxəni.  
スキー丸ごと自分の兄を家に入れた、そうしてから死者を板の上に置いた。

ɲirkəguɲɲi gəsə undiisi ə~ɲ puɲin-təni undiisi xairi-goani,  
板の上に置くやいなや プジンは どうするのだ、

əɲ xai palaambi-la bəsərəɲi ačoiɲɲi gəsə  
床を、机をどけるやいなや

təi bəsərə pəgiələ xuləluxəni. əŋ xuləxəni-ə~ təi-təni aagbi,  
その机の下の所を掘り始めた。掘った、彼女は兄が、

əiləə waaxani bəjun siŋaktawani-la xə~m təi doočiani nəəxəni  
今までに獲った獣の毛皮を全部その中へ敷いた、

tui taraa aagbi təi doočiani nəəxəni, təi bəjun,  
そうしてから兄をその中へ置いた、その獣の

siŋaktəji-maŋa dorolami. ə~ŋ tui taraa əsi-mət xəm dasigoxani.  
毛皮ばかりで、印として。そうしてから今この時になってやっと全部蓋をした。

tui taraa-tanii xəmə čilpačigoxani, əŋ palaan palaanji osigojiani.  
そうしてから全部塗りこめてしまった、床が元の床となるように。

əŋ tui taraa~ pujin-gulə ələdələ songoi-goani, əsi-mət,  
そうしてからプジンは思う存分に泣くのだ、今になってやっと、

”aqaa~,” undiisi, ”mii, undiiyə əciə agdami ənəxəsi uləən-nuu,”  
「兄さん、私が言ったことを信じないで行ったのだもの、良いわけないわ、」と

undiini. ”sii-kəə aja,” undii, ”amaanaa aŋgoxan joogdo, ŋaājaači-ma”-m-da.  
言う。「あなたはいいわ、」と言う、「父さんたちが作った家で、腐るでしょうから、」と。

”mii-təni, əwəŋki dəlxəpi-təni xai gaakini gaxaraa,  
「私は、ここから分かれて行けば、どんなカラスが飲んでくれたり、

xai saksiiini čəoraraa təjaraa,” undii, ”mimbə.”  
何のカササギがかまってくれたりするだろうか、」と言う、「私を。」

ə~ŋ tui umi~ songomi xəjixani undiisi  
そう言って、泣きやんだ、

tui taraa əsi-təni pujin-gulə baarəjigoxani əktəduji oçogoxani.  
そうしてから今プジンは身支度をした、女性の姿に戻った。

ə~ŋ tui taraa undiisi, uləən baarəjigoini-goani, pujin.  
そうしてから良く身支度をするのだ、プジンは。

ə~ŋ xoŋakaalagoxani sidəriləguxəni xoipolagoxani əsi,  
指輪をした、腕輪をはめた、耳飾りをつけた、今、

əsi-təni undiisi puŋin-gulə undiisi,  
今 プジンは

puri nantəŋiani otalagoxani undiisi əsi-təni undiisi,  
獣の皮で作った靴を履いた、今

əŋ xariji čikiasŋiani tətualuguxəni tawaŋki-la undiisi  
脇の下の所がきつてもうこれ以上着れないぐらいに服を着た、それから

ə~ŋ səjikəm aapombi tətugumi undiisi-ə, boači niəxəni.  
お客に行く時用の帽子をかぶって、外へ出た。

əŋ boači niəxəni uikəji-ə-lə undiisi-ə~ mookaanŋi tuŋuxəni undiisi  
外へ出た、戸を(開かないように)棒でつつかえ棒した、

tawaŋki-la əsi waisi əuxəni. ə~ŋ tooila siin...  
それから今岸の方へ下りて行った。川岸の、

siin kiraawa isixani-a~ əsi-təni murčiini-goani,  
水を汲む氷穴の縁に着いた、今考えるのだ、

”xaosi ənəuri, xəi ənəuri-nuu soli ənəuri-nuu.”  
「どっちへ行くべきだろうか、下流へ行くべきか、上流へ行くべきだろうか。」

tui taraa soli ənəpsinŋin muruni.  
そうしてから上流へ行き始めたのだ、彼女の心は。

tawaŋki-la puŋin-gulə tui duərami ənəi-goani,  
そこからプジンはそうして歩いて行くのだ、

tui ənəmi-ə~ ənəmi-ə-lə, əm xooŋko əuguxəmbəni ičəxəni ʃuliləni.  
そうして行って行って、ある崖が大きく川の方へ下っている場所を見た、前方に。

ə~ŋ təi xooŋko porondoani-tanii əm ʃookaan xəwjeisə~n biə undə,  
その崖のてっぺんの所に一軒の小さな家がひっそりと建っているという、

nučikuu j̄ookaan. ə~ŋ undiisi tui taraa pūjin-gulə taosi-o~  
小さ～な家。 そうしてから プジンは そっちへ

isixani undiisi əsi-tənii siin kiraani isixani.  
着いた、 今 氷の穴の 縁の所に着いた。

ičəini-lə undiisi xai, tuliəduəni-tənii  
見るに 中庭の所には

boačaan dailaani j̄ərgəjiəni tooroko~ tuiḡəku bičini.  
島のような大きさの 一列に並んだ 柱が、 シャーマンの柱があった。

ə~ŋ əsi-tənii siin kiraadoani ŋoxoraŋkini~  
今 氷の穴の 縁の所で お辞儀をした、

tooi tokondoani ŋoxoraŋkini undiisi tawaŋki toomi-la undiisi,  
岸の 真ん中の所で お辞儀をした、 そこから 上って、

ə~ŋ uikəwə nixəlīquidujī ŋoxoraŋkini undiisi ə~ uikəwə nixəlirəə iixəni.  
戸を 開ける時に お辞儀をした、 戸を 開けてから 入った。

ə~ŋ čado-la əm pūjin biə undə, ilixani.  
そこに 一人の プジンがいる という、 立っていた。

”anda, əə j̄ičisi-nuu~ əə isindaxasi-noo,”  
「ああ、姉さん 来ましたか、姉さん 着きましたか、」と

təŋ xaali-daa xopalačaxan-kaači-a tado, kərkīčədu,  
まるで今までずっと 知り合いであったかのように、そこに、 かまどの横の場所には、

puksun kərkīčəduəni-tənii əm mama aora undə ələə~  
右の席の側のかまどの横の場所には 一人のおばあさんが寝ている という、 もう

nakandola iigumi-gulə pūjin-gulə tōi talgialani ŋoxoraŋkini.  
オンドルの所に入って プジンは その 向かい合わせの所に立って お辞儀した。

ə~ŋ tui taraa mama-la kuə~p təxəni. əŋ pūjimbə-lə oʄoi-goani.  
そうしてから おばあさんはむっくりと 起き上がった。 プジンに キスするのだ。

”əni ičəguruu~ undiisi,  
「娘よ、

xai nai biməəri-gdə tui ŋoxoraaciimaari pulsiisu,” undiini.  
いったい誰がいるからってそんなにお辞儀して 周っているのかい、」と言う。

”ə~ŋ təəruu,” undii, ”mədəji gusəragui.”  
「座れ、」と言う、「自分の知っている知らせを話しておくれ、」と。

ə~ŋ tɔi pūjin-təni čaalaxii jaoksiini-goani tɔi mama piktəni.  
そのプジンは 客を明るく 暖かく迎えるのだ、 その おばあさんの 子供は。

ə~ŋ əsi-təni siaxa~n tuičixən undiisi,  
今 食べた、 御馳走を振る舞った、

əsi xəcin ŋakawa pujuučiməəri tui taraa undiisi,  
今 さまざまな物を 煮て そうしてから

pūjin čado-mat siarii-goani, tɔi xado iniwə əčiə siarani-os.  
プジンはその時になってやっと 食べるのだ、 その 数日間 食べていなかったんだろうか。

ə~ŋ pūjin gusərai-goani, aagbi tui tui taxambani.  
プジンは語るのだ、 兄を あのように このように したことを。

ə~ŋ tui taraa undiisi-ə, čado aongii-goani, siksə.  
そうしてから そこに 泊まるのだ、 夕べに。

əŋ siksə-lə mama undiini, ”əni ičəguusu,” undii,  
夕べに おばあさんは言う、「娘よ、」と 言う、

”əsi dolbo, xamačaa siasimbani dooljixan-daa əji əurə, əji niərəsu,”  
「今 この晩に、どんな 物音を 聞いても 決して下りるな、 外に出るな、」と

undii, ə~ŋ undiisi xai, ”əŋ xaosi ənəjəpu, xai niərə,”  
言う、「どこへ 行ったりなぞするでしょう、 何で出たりするでしょう、」と

undiini-goani, tɔi piktəni. ə~ŋ tɔi piktəni undiini,  
言うのだ、 その子供は。 その子供は 言う、

”anda~ minji gəsə aogoari,” undiini.

「友よ、私と 一緒に寝ましょう、」と言う。

xailoo uləən pūjin bičim, tēi piktəni, mama piktəni, pūjin.

どんなにかステキなプジンであった、その子供は、おばあさんの子供の、プジンは。

ə~ŋ undiisi tui taraa undiisi gəsə apsiŋgoxan, xaido,

そうしてから 一緒に横になった、

gilonjia kaltaājiala, tēi juə pūjin.

左側の席の側のあたりに、その二人のプジン。

ə~ŋ tui taraa apsiŋgoxandoani-tanii undiisi-ə,

そうしてから 横になった時に、

aomi-a~ dolbo pūjin-gulə tui joboxani, čomsak oṛasai-goani, siksə.

寝ていて、夜に プジンは そうして 働いたのだからすぐに深く眠り込むのだ、夕べに。

aopi-a sənəxəni dolboa-da.

しばらく寝ていると目が覚めた、夜に。

anana xədun puksiini-tənii maŋga puksinda xədunda undə

あれあれ風が 激しく吹くことは、もうすぐく嵐が吹き、風が吹くという、

kongaraldalda kutərəəldəldə tui tuliəwə-lə, pūjin-gulə čaŋsop təəxəni.

カラカラ、ガタガタ、そんな風に中庭で(音がする)、プジンは ガバッと起きた。

ə~ŋ undiisi-ə, jiani undii, ”anda xaosi ənəisi,” undii,

仲間 は 言う、「友よ、どこへ 行くの、」と言う、

”əñəə xai unkin”-m-də. ə~ŋ tui taraa apsiŋgoxani.

「お母さんが何て言ったか(覚えているでしょ、)」と。 そうしてから 横になった。

ə~ŋ tui taraa undiisi xədun-gulə, jəbələə~ osiini-la undiisi

そうしてから 風は、 ややましになった、

ə~ŋ uikələni kiikoax nai nixəlikə undə.

すると戸の所から ギーッと人が開けた という。



əusi əusi əusi əusi      taosi taosi taosi      nai iiwugwə      unda.  
こっち こっち こっち、あっち あっち あっち、と人が何か運び入れているという。

ə~ŋ tui      tami undiisi-ə, "xaido nəəuri,"      undii,  
そうして      「どこに置くべきだろうか、」と 言う、

"malodo      nəəmi aja bĳərəə"-m undii,  
「真ん中の席の所に置けばいいだろう、」と 言う、

əsi-təniĳ malo      baaroani nəəndəčixən, nəəxəəl      undiisi-ə,  
今      真ん中の席のあたりに置きに行った、彼らは置いた、

əŋ nəəxəmbəri-dəə ĳaaroani undiisi ə~ŋ əi      kətəŋ təi      kətəŋ niəguxəni.  
置いた      ようだ、      そいつがカタン、あいつがカタンと 出て行った。

ə~ŋ mama      undiini, "ixərə taawogooso," undii, ə~ŋ ixərəwə taawogoxan.  
おばあさんが 言う、 「灯りを点けろ、」と 言う、      灯りを 点けた。

"ə~ŋ əni ičəguruu," undii, "ičəruu," undii,  
「娘よ、」と 言う、「見ろ、」と 言う、

"təjə-gdəl aagbasi      gaəjoxači-ə~s,      goi gurun...  
「本当に おまえのお兄さんを 運んで来ただろうか、

goi      naija-gdəl gaəjoxači-os," undiini.  
それとも別の 人間を 運んで来たか、」と 言う。

ə~ŋ undiisi tui taraa-la pūjĳin-gulə ənərəə      ičəi,  
そうしてから プジンは 行ってから 見る、

"uləən jaasiroo,"      uŋkin təi mama.  
「良く くわしく見ろ、」と 言った、その おばあさんは。

pūjĳin-gulə ičəi, jaasiini-la      aəŋni bičĳini.  
プジンは 見る、くわしく見ると、 兄 だった。

ə~ŋ əsi-təniĳ undiisi, "təjə,      tərək gaəjoxani, gaəjoxači,"  
今      「本当だわ、 正確に 運んだ、 彼らは運んで来たわ、」と

undiini-goani pūjin, "aagbi-a"-m-da.  
言うのだ、プジン、私の兄です、と。

ə~ŋ əsi-təni mama-tanii məuuriwə gələluxeŋ.  
今 おばあさんはシャーマンすることを求めた。

təi ʒoo əjəni pūjin, mama piktəni məuri-goani-a~,  
その家の主人のプジン、おばあさんの娘が シャーマンするのだ、

nai məuriini ʒə uləŋ-nuu.  
その人のシャーマンすることといたらまったく並みの良さではない。

ə~ŋ tui xooni-a-daa məuxə~n xooni-a-daa məuxəŋ undiisi əsi-təni undiisi,  
そうしてどんなにか 祈禱した、どんなにか シャーマンした、 今

ə~ŋ mama undiini-goani, "gə, əni ičəguruu, məuruu," undii,  
おばあさんは言うのだ、「さあ、娘よ、おまえもシャーマンしろ、」と言う、

"aagbi xoriočimi."  
「自分の兄を生き返らせるために。」

"əpə~ daaka, mii baljixanji, məukəčimi-də əčie kupieje,  
「お義母さん、私は生まれてこのかた、シャーマンごっこさえして遊んだこともない、

nai məuriwəni-də əčie ičəje," undiini.  
人がシャーマンするのだって 見たこともないんですよ、」と言う。

"ə~ŋ undiisi, aja," undii, "otoliasi-daa məuruu," undii,  
「大丈夫よ、」と言う、「やり方がわからなくなっちゃって シャーマンしなさい、」と言う、

mama. əŋ tui taraa pūjin-gulə uŋčuxumbə, janpaamba nai uixəŋ,  
おばあさんは。そうしてからプジンに、タイコと、ベルトを 人は結わえつけた、

janpaamba uixəŋ, təi pūjin, ʒoo əjəni pūjin, ŋoani oŋbodoani.  
ベルトを 結わえつけた、そのプジンが、家の主人のプジンが、彼女のお尻の所に。

ə~ŋ uŋčuxumbə ʒapaxani undiisi əsi-təni undiisi,  
タイコを つかんだ、 今

oŋboji tuiŋkuini kaapia kaapia tai-goani, jaŋpaani.  
お尻を振り動かすと ガラガラ、ジャラジャラと 音を立てるのだ、ペルトは。

uŋčuxumbə paačilai, oŋboni-dəə kaōjarai, tui kændəliluxəni.  
タイコを 叩くと、お尻の動きが 止まってしまう、そんな風に下手くそに 回り始めた。

ə~ŋ tui kændəlimi kændəlimi undiisi, gə əsi-təni pūjin-təni,  
そうして 歩き回って 回って舞っているうちに、 さあ 今 プジンは、

uləən məluxən-təni, ə~ŋ tui məuxən məuxən,  
上手に 舞い始めた、 そうして 祈禱した、シャーマンした、

xooni-a-daa məupi-ə pūjin-gulə, tas sirgumusimi~ xōjixani.  
どんなにか シャーマンすると プジンは、ブルツと 激しく震えると 終えた。

ə~ŋ əsi-məə mama, ilii-goani. mama məuri.  
その時になってついに おばあさんが、立ち上がるのだ。おばあさんが 祈禱する。

əŋ mama-təni təpčiuğuxə~n, abaa mama məurəsi,  
おばあさんが 始めた、 いや、じゃなかった、おばあさんは まだシャーマンしない、

”əŋ guči məuruusu,” undiini-goani.  
「また シャーマンしろ、」と 言うのだ。

ə~ŋ əsi-təni təi joo əjəni məluxən təi pūjin.  
今 その家の 主人が シャーマンし始めた、その プジンが。

əŋ təi pūjin məuxən məuxən undiisi-ə, goidami məuxə~n,  
その プジンが 祈禱した、シャーマンした、 長いこと シャーマンした、

xooni-a-daa xado modan kændəlixən əsi əsi-təni buŋjə,  
どんなにか、何 回か 回った、今、今 我らが プジンに、

”gəə, əni ičəguruu, məuruu,” undiini-goani, ”sii.”  
「さあ、娘よ、 祈れ、」と 言うのだ、「おまえが。」

əsi-təni pūjin-təni əsi guči məluxən.  
今度は プジンが 今また 祈禱し始めた。

əsi-tənii puĵin-tənii məumi məumi jaajai morai taloxani.  
今 プジンは 祈って 祈って 謡い、叫び、し始めた。

ə~ŋ jaajai morai taloraa xōjixani.  
謡い、叫び、し始めてから 終えた。

ə~ŋ tui taraa undiisi ə~ əsi-məə mama ĵapagoini-goani, məuguji.  
そう してから 今になってやっとおばあさんがつかんだのだ、 祈るために。

əsi-tənii mama-tanii, paačilai, "xə~i xəi," moraini-la  
今 おばあさんが、(タイコを) 叩く、「フ～イフイ、」と 叫ぶと、

kiājir nəptəə~ nəptəə taa undə undiisi,  
屋根が 羽根のようにバタバタする という、

ə~ŋ tuəŋ paačilaini kuĵur bootoa tuurii undə,  
ターンと 叩くと、 壁が ボロボロと 崩れ落ちる という、

əŋ tui taraa undiisi-ə, əsi-tənii mama-tanii,  
そう してから 今 おばあさんは、

jaajai-ja, jaajai-ja, undiisi, tui taraa undiini-goani,  
謡いに 謡う、 そう してから 言うのだ、

"əni iĉəguruu~, " undiisi, "məumi otoliasimbi-a~ uŋkisi-dəə,  
「娘よ、」と 言う、「シャーマンは できないと 言っておきながら、

məumi-dəə otolixasi... otoliisi biəsi-kəə," undii,  
祈禱も できないと言っていて、できる じゃあないの、」と 言う、

"jaajami otoliasimbi uŋkin-dəə jaajami otolixasi-a"-m.  
「謡うことは できないと言ったけれども 謡うことも できるじゃないの、」と。

"sii-kəə nai əəmi osiidoji, siksə buikin nai-daa ĉimii xorigōĵaaĉi~,  
「おまえこそ 立派に成長したあかつきには、 夕方 死んだ 人も 朝には 生き返らせ、

ĉimii buikin nai-daa siksə xorigōĵaaĉi-a-m jaaini-goani."  
朝 死んだ 人も 夕方 生き返らせるだろう、」と 言うのだ。

əŋ əsi-təni mama-tanii masilaxa~n, əsi-təni məuri-də məuri,  
今 おばあさんはいっそう強くした、今や 祈りに 祈る、

məuri-də məuri, tui tami, piktəčiji undiini-goani,  
祈りに 祈る、そうして、自分の娘に言うのだ、

”təməriuu,” undii, ”polombixan-noo abaa-noo”-m-da.  
「ちょっと触ってみろ、」と言う、「体温が戻ったか、そうでないか、」と。

əsi-təni undiisi ə~ŋ piktəni-lə, ənərə təmərixəni, ”əñə~,” undii,  
今 娘は、行ってから触ってみた、「母さん、」と言う、

”bul talogoxa~n,” undii, ”polonko osilogoxan,” undii,  
「温かく、だんだんなってきたわ、」と言う、「体温があるようになってきたわ、」と言う、

əsi-təni mama-tanii masilai-ja~ tui jaajami, tui məurə undə.  
今 おばあさんはいっそう強くして、そうして 譚い、そうして 祈禱するという。

tui məuriini, məuriini-təni əsi-təni əmutu~,  
そうして シャーマンする、シャーマンすると今 まるで、

garmakta-maa jangarai-maa~ ərdələəsi,  
蚊のように 蚊がなくように 不思議な行ないをするではないか、

jilganjo osiloxani əsi tui tami-a-tol, kəičəkəən, piktə...  
声を 取り戻し始めた、今 そうして、生まれて数ヶ月の子犬か、子供の様な声になり、

”əñə amaa, pəiŋənčəni, tərək təndəguxən bičini,” undii,  
「母さんと父さんの膝の上に、きちんと生き返って座ったのだったか、」と言う、

”ə~ŋ xusə osini amaa osiroo~, əktə osii, əñə osiroo,” unki.  
「男 なら、父さんになってくれ、女 なら、母さんになってくれ、」と言った。

ə~ŋ nəuni-təni, ”aqaa~ təi, səŋgə əñə xorigoxani-daa  
妹は、 「兄さん、この、スング 母さんが生き返らせてくれたのよ、

səŋgə əñə xorigoxani-daa,” gəə, əsi-təni mərgen-təni,  
スング 母さんが救ってくれたのよ、」と（言うど）、さあ、今 ムルグンは、

əŋ ñoxoraáčii-goani, xaido-gdal baaxači-a,  
お辞儀するのだ、どこで 見つけてきたんだか、

xoogoari t̄ai mama baaroani ñoxoraáčii-goani tado.  
酒の徳利を、その おばあさんの方へ お辞儀して注ぐのだ、そこで。

əŋ ɔ̄si-məə tui siaxa~n, arkikaačixaal apsiŋgoxaal.  
今になってやっとそこで そうして 食べた、 お酒も少し飲んだ、横になった。

əŋ t̄ai, mama-tanii undiini-goani,  
その、おばあさんは 言うのだ、

”čixalai osini mii pikt̄əjjij̄ə mamalagoraa biruu,” undiini-goani,  
「同意する なら 私の 子供で 妻として 娶って 居ろ、」と 言うのだ、

”gəə osiŋgoraa-da,” t̄ai m̄ərgənči.  
「いっしょになってから、だ、」と その ムルグンへ (言う)。

gəə, m̄ərgən asiŋgoji baarii-goani čado, xoragoxa~n, asiŋgoji baaxan.  
さあ、ムルグンは 自分のための妻を見つけるのだ、そこで、生き返った、妻を 得た。

əŋ ɔ̄ čado tui bii-jə, əm xadolta~,  
そこで そうしている、 数日

tui j̄iimasomi t̄ai p̄j̄in-daa tado bii gəə əsi-tənii,  
そうしてお客となってその プジンも そこに いる、 さあ 今、

aap̄ni osini t̄ai, m̄əəpi xaixan,  
兄 は その、自分を ひどいめに 遭わせた、

ambaangoji t̄ai j̄abdombi gaājoxambani gələndəguini.  
魔物を、 あの 矢じりを持って 行ってしまったのを探しに行く。

a p̄j̄in-tənii j̄ookčiji ənuini-goani, nəŋj̄imə.  
他方 プジンは 自分の家へ 去るのだ、 妹の方は、

əŋ p̄j̄in j̄ookčiji ənuiduəni-tənii mama undiini-goani,  
プジンが 自分の家へ 去るときに おばあさんは 言うのだ、

”əni ičəguruu,” undii, ”xaiwa, kirgian buučumbə gaājoroo,” undii,  
「娘よ、」と 言う、「キルギアンブーチュン (掌大のスウン) を持って行け、」と言う、

”jiagoji. ə~ŋ ənučkəən biisi paixapsi-tanii-a”-m-da.  
「仲間として。 一人きりでいたら さびしいだろう、」と。

ə~ŋ gə əsi kirgian buučukəəmbə gaājomi ənui-goani.  
さあ今 キルギアンブーチュンを連れて 去るのだ。

ə~ŋ jooji isigoxa~n, jooji isigoxan... əsi-təni,  
自分の家に着いた、 家に着いた、 今、

təi kirgian buučun-təni, jəə mərgən.  
そのキルギアンブーチュンは、並みの良さの ムルグンではない。

ələə-dəə moo ŋaanixani, ələə-dəə moowa iiwuguxəni,  
たっぷりと薪を取って来た、十分にたくさんの薪を 運び入れた、

pūjin-təni, bəliičul siaoriwa pujuurii, ələə.  
プジンは、もう男の仕事はきちっと全部されているので、食べ物さえ煮れば、終わりだ。

xaiwa-daa taadaasi. təi aldandoani-tanii,  
何も することはない。その 間には、

təi xamačaa nai jaajaiwani amdaasi, xamačaa nai,  
ブーチュンは どんな 人の 謡うのだから 真似できないことはなく、どんな 人の

jariwani amdaasi təi, kirgian buučun-təni jəə jənuə, jiagoji,  
歌でも 真似できない事がない、そのブーチュンは 並みの愉快さの 仲間だろうか、

jiagoji baaxani. əŋ tui bimi-ə~ tui bimi-ə əm modan-gola  
そんな楽しい仲間を得た。 そうして、 そうして ある 時、

kirgian buučun-gu-la soxiak soxiak songoa undə.  
キルギアンブーチュンが シクシク シクシク 泣く という。

”ə~ kirgian buučun xooni taisi, xooni taisi,  
「ああ、キルギアンブーチュンよ、 どうしたの、 どうしたの、

xai mædə osixandoani songgoisi," undii. "əgə~, " undiisi,  
何の知らせがあつて 泣いているの、" と言う。「姉さん、

"sii-kæ saariisi-noo abaa-noo," undiini,  
あなたは知っているのか、知らないのか、" と言う、

"səŋgə əñə-təni, jurbu... jurgii mǝrgənji xaixani-a," undiini,  
「スング 母さんが、 ユルギー ムルグンと 戦つて、」 と言う、

"dabdaxani," undiini. "əsi jurgii mǝrgən,  
「負けた、」 と言う。「今、ユルギームルグンは

səŋgə əñəwə waandagoji-a," undiini.  
スング 母さんを もうあととは殺すだけというところまで来た、" と言う。

"waandagoini-maŋa osixan," undiini.  
「もう殺すばかりとなった、」 と言う。

"ə~ŋ gə ənuu mǝngə ənuluxəni osini, əsi ənuu ənuu."  
「さあ 行け、 ひどく 母さんが苦しんでいるというのなら、 すぐに行け、 行け。」

əsi-təni təi-təni ənuxən.  
今 キルギアンブーチュンは 去つた。

pūjin-təni baarājigojiji gəsə təi,  
プジン は 身支度をするやいなや その、

aagbi soktawani xaiwani tətugūjiji gəsə tui, dui tooxani.  
自分の兄の スキーを ストックを 身に着けるやいなや そうして、 山の方へ 上つた。

ə~ŋ moolčii močawa siixən, tawaŋki tui ənə undə,  
いつも 薪を集める 場所のはずれも すぎた、 そこから そうして 行く という、

əŋ aagbi poktawani čuul, tui ənəmi ənəmi-ə-lə undiisi,  
兄の 道に沿つて まつすぐに、 そうして 行つて 行つて、

əm too təni~ ŋəni poktawani čalixambani baaxani, ʒulələni ənəxəni.  
一匹のヘラジカが たつた今 彼の 足跡を 横切つたものを見つめた、 先へと 行つていた。



ə~ŋ tɔi čala ŋaŋga ənəŋji gəsə, ičəxəni toowa. ənərəə waaxani.  
そのそれに沿って少し 行くやいなや見た、ヘラジカを。行ってから獲った。

əŋ tɔi toowa-la waaraa~ čado təsɔsɔ undə.  
そのヘラジカを 獲ってから、そこに座っているという。

ə~ŋ čado təsɔsiiduəni-ə~ undiisi,  
そこに座っている時に、

toŋgoji ojalani-tol təəgʊrəə təsɔsiini-goani, pʊŋin.  
ヘラジカの上に 腰を降ろしてから 座っているのだ、プジンは。

əŋ tui tami-a dosʃiini-goani damixiwa omimi təsɔsiiduəni.  
そうして 耳にするのだ、タバコを 吸いながら 座っている時に。

jur jur jur jur siasin biə undə, kŋŋgokto siasini.  
リンリンリンリンと音が するという、鈴の 音が。

”əi xajala ʃidiini~, əijə jurgiwə, xajǎjia jurgiini.”  
「あら どこから 来るのかしら、この 鈴の音は、どこから 来るのかしら。」

əŋ tui tami~ ičəgʊxəni, xəsərənʃis əm mərəŋ ʃidiini bičɪn,  
そうして、見た、 あれあれ 一人の ムルグンが やって来るのだった、

tɔi too pŋktowani čuul-də.  
このヘラジカの足跡に沿って まっすぐに、だ。

ə~ŋ tɔi soktani-tanii əi, kændəli xəm kŋŋgoktowa nai nəxən  
そのスキーは、その、周りにぐると全部 鈴が 飾り付けられている、

tɔi inda, nai nəəčiuri kŋŋgoktowa nəxən.  
その 犬に、人が 普通首につけておくような 鈴を つけてあった。

əŋ čalani xuisiini-təni jur jur jur jur.  
そこから 音を出している、リンリンリンリン、と。

ə~ŋ undiisi pʊŋin ʃakpadoani iligoxan,  
プジンの そばで 立ち止まった、

talgialani tæsiini talgialani.  
向かい側に 座っている (プジン)は、その向かいに。

ə~ŋ tuñəpuŋji-lə tui toigomi iligoxani.  
杖で そうして プレーキをかけて 止まった。

ə~ŋ undiisi, "anda pūjin," undiisi, "xaigoji waaxasi," undii,  
「ああ、プジンよ、 何のために殺したのか、」と 言う、

"mii, toongoja." "mii saarii, too, ui toongoni-noo"-m-da.  
「私のヘラジカを。」「私が なぜ知っていなければならないのよ、誰のヘラジカかなんて。

"pulsimi, bəjun pulsimi ičəxəni, waajaa-ma," undiini-goani.  
歩き回っていたら、獣が 歩き回っているのを見たら、獲るでしょうよ、」と 言うのだ。

"ə~ŋ mii toongoja," undiini. undiini-goani,  
「オレのヘラジカだ、」と 言う。 言うのだ、

pūjin undiini, "gəə, uliksəwəni jəpagoo,  
プジンは 言う、「ほれ、じゃあ肉を取れ、

mii nantawani jəpagogojija." "gələəsimbi," undii,  
私が 毛皮を 取るから。」 「要らねえよ、」と 言う、

"əktə nai tæsixəmbəni." "gəə sii nantawani jəpagoo,  
「女の人が 上に座っていたものなんて。」「あらそう、じゃああなたが 毛皮を 取りなさい、

mii uliksəwəni jəpagogojija," tui undiini-goani pūjin.  
私が 肉を 取るから、」と そう言うのだ、 プジンは。

əsi-təni tui tamaari sorii, pakparimaari dəruuxəni.  
今 そうして 喧嘩する、怒り 始めた。

pūjin undii, "mii saarii-noo," undii,  
プジンは 言う、「私が どうして知っていようか、」と 言う、

"sii toongosi-noo ui toongoni-noo, bəjun pulsii jəkawa."  
「あなたのヘラジカだろうが、誰のヘラジカだろうが、獣が 歩き回っているものを。」

əsi-tənii undiisi-ə, "xai tui taisi-da, xai tui tai."  
今、 「何をそんなことを言うのか、何 そんなこと言ってるのか、」と

pūjin undiisi, pakparii, pakparimaari sorimaari dəruuxən,  
プジン は 怒る、 怒って 喧嘩し 始めた、

tui tami undiisi, pūjin undii, "əji manga morara," undiini-goani.  
そうして プジンは言う、「そんなにひどく大声で叫ぶな、」と 言うのだ、

"mii saarasimbi"-m, "ui toongoni-noo, xai tooni pulsiini-us."  
「私の知ったことじゃないわ、誰のヘラジカか、何のヘラジカが歩き回ってるかなんて。」

ə~ŋ undiisi-ə, "uləən baarasisi," undii,  
「(おまえが) よく 見つけられないのがいけないのだ、」と 言う、

"mii simbiə, səŋgə əñəə tooro-a, porončiani,  
「私はあなたを、スング母さんの シャーマンの柱の てっぺんのところへ、

səsxələji tap ənəjjiasi naŋgaləjaambi," undii.  
顎の所で プランと引っ掛かるように 投げてしまうわよ、」と 言う。

"ii, təi masilaasi undiisi čukinduləji," undii, "əktələji-də."  
「ほほう、そんな強くもないのに、弱いくせに、女のくせに何を言う。」

əŋ pūjin-gulə tui undiuduəni ʒapaŋjiji gəsə  
プジンは そう そいつが言うときに、 ひつつかぬや いなや

xaariakalaxani jurrrr xaosi ənəxən-us xaosi ənəxən-us.  
ぶん投げると ヒュルルルルルッ と どこへ行ったんだか、どこへ飛んで行ったんだか、

əŋ tui taraa təi toowa-daa əčə-dəə xooni-daa tara əuguxəni.  
そうしてから そのヘラジカも そのまま どうにも しないで下りてきた。

əugurə~ ʒoogdo biiduəni undiisi-ə, ə~ŋ ʒijuxəni.  
下りてきてから 家に いるところへ 戻って来た。

əsi kirgian buučun inəktəmi-ə~, "əgə~," undiisi,  
今 キルギアンブーチュンが 笑いながら、「姉さん、

”jurgii-kæ saman-tanii, buæ ʒoogdo əñəkəərŋi,  
ユルギー ムルグンときたら、私たちが 家で、母さんと、

səŋge əñə biidupuwə, jurrrr, xajaāji ʒičini-os,” undiini,  
スング 母さんといるところへ、ヒュルルルルッと、どこから 飛んで来たんだか、” と言う、

”əñə, tooroni porondolani təŋ əiləni tui,  
「母さんの、庭のシャーマンの柱の てっぺんのところに、ぴったり その所に こうして、

xaŋgandolani tui looktaxan,” undiini,  
喉のくぼみのところで こうして 引っ掛かったんですよ、” と言う、

”čado, tui. čawa-tanii, əñə uŋkin,” undii,  
「そこに、そうして。それについて、母さんは 言いました、” と言う、

”simbiə, taxani, simbiə naŋgalaxani-a ŋoambani.”  
「あなたが やったのだと、あなたが 投げたのだと、奴を。」

ə~ŋ undiisi, ”gəə, əsi-təni čado tui budiini-goani,  
「さあ、今 そこに そうして 死んでいます、

sokta-daa məŋdəən xaosi əŋəgiləi.” ə~ŋ tui taraa~ tui biə undə.  
スキーも 丸ごと、どこへ 逃げられましようか。」 そうしてから そうしている という。

əsi xaisi mənə ərdəŋŋi jənuələi~, tui kupiə undə,  
今 再び 自分の芸で 楽しませてくれる、そうして 遊ぶ という、

tui ʒarii-daa xairii taa undə.  
そうして 歌ったり、何かしたり するという。

ə~ŋ tui tami tui tami-a-la əm modan-gola xaisi təi,  
そう して そう して ある 時に 再び その、

kirgian buučuŋuni-lə soxiak soxiak taa undə.  
キルギアンブーチュンが シクシク シクシク 泣く という。

”xaimi guči songočisi, xai mədəwəni,” puŋin undiini.  
「どうしてまた 泣くのか、何の 知らせか、” とプジン と言う。

”əgəə~,” undiisi, ”saami-kaa biisi-nuu, saarami-kaa biisi-nuu,” undii,  
「姉さん、 知って いますか、まだ知らずにいますか、」と 言う、

”aaksi-tanii nai masiani baaxani,” undiini, ”naiji, məlfəmi.  
「あなたのお兄さんは人の強いのに 出会いました、」と 言う、 「人と、競争して、

ə~ŋ sii əjiguəsi, məənčiji tərən naija gələmi pulsixən.  
あなたの 夫となる人を、自分の所へ 同年齢の 人を 求めて 歩き回りました。

garalaxani,” undii, ”naiwa. əsi-təni, mangawa baaxani,”  
道中たくさん制裁しました、」と 言う、「人々を。今、ピンチに 陥っています、」と

undiini. ”noani-daa, noambani waaičami čilaxan,  
言う。 「その男を やっつけようとしたがダメでした、

təi nai-daa aagbasi waarasi,” undiini-goani, ”tərek, tərɪxəči,” undiini.  
その人の方も お兄さんを 倒せない、」と 言うのだ、「ちょうど力は拮抗した、」と 言う。

ə~ŋ əsi-təni pūjin-təni, təəsiləji apii tas paačilajiji  
今 ブジンは、座ったままで 首の後ろのところを パチンと 叩くやいなや

gasa osiraa dəgdəxəni. əŋ čooŋkola niərii-goani.  
水鳥と なってから 飛び立った。 天窓から 出て行くのだ。

tui taraa~ maŋbo soli ənəə undə, tui ənəmi~ ənəmi-ə-lə təi,  
そうしてから 大河を上流へ行くという、そうして行って、行って、 その

xurəən poroŋgoani mamangoji, pəuləənduəni dooxan,  
山の 頂上の、おばあさんの、魚干し棚に 降りた、

təi səŋgə əñəə tuliəduəni.  
あの スング 母さんの 中庭のところに。

təi-lə mama-la undiisi ə~ŋ əsi, dooriini undiisi-ə xai,  
その おばあさんは 今、彼女が降りると、

səəŋkura, poəŋkiraa poiŋaoo~ niəwukə undə.  
イソツツジを、焚いて モクモク煙を出して 持って出て来た という。

pūjin pəgiələni nəəxəni. tui taraa undii, "əni ičəguruu~,," undiisi,  
プジンの下に 置いた。そうしてから言う、「ああ娘よ、

"jəə-dəə ədəkəəčixəəri-ə," undii, "jəə gaksiandaxaari-a"-m,  
決して バカなことをするでないぞ、"と言う、「相手を倒してしまおうなどとするな、

"jəə, jəə-lə~ taxaari-a," undii,  
ずるいことを しようとしたりするな、"と言う、

"ə~ŋ aagbi, maŋgalaxambani ičəguxən-dəə-də. ui orkini," undii,  
「自分の兄が 苦しんでいるのを見たとしても、だ。誰に罪があろう、"と言う、

"aaksi sii əjiguəsi gələmi, məənčiji tərən naija gələmi, xaixani,"  
「おまえの兄が おまえの夫を 探して、自分に 同年輩の人を 求めて、行って、"と

undii, "əsi, tərixəni," undii,  
言う、「今、力の均衡した (者と出遭ったのだ)、"と言う、

"noani-daa waarasi, əusi taosi tui, maŋgalaxači," undii, "sorimaari."  
「その者も 倒すことはできなくて、互いに傷つけ合い、難儀している、"と言う、「戦って。」

ə~ŋ pūjin-gulə tawaŋki tui ənəxən.  
プジンは そこから そうして行った。

tawaŋki dəgdəgureə ənəi-goani, tui ənəmi~  
そこから 飛び上がって 行くのだ、そうして 行って、

goro ənəkə jija ənəkə undiisi, dooljiini-goani  
遠く 行った、近く 行った、 聞こえるのだ、

nai siasin jəə bii-nuu. iinguə~ soria undə.  
人のたてている 物音のなんと並みでないことか。 グワ〜ンと音を轟かして 戦う という。

tui ənəmi~ ənəmi undiisi, əm irgən xaiwani, isixani.  
そうして 行って 行って、 一つの村に 着いた。

təi irgəndu soriiči bijəə, əjən xaan wəjalani.  
その村で 戦っている ようだ、主たる 長の 川岸のところだ。

wajalanə~ŋ puŋin-gulə undiisi tɔi əjən xaan, pəulənduəni dooxani.  
プジンはその主たる長の、魚干し棚に降りた。

ə~ŋ aapni-daa maŋgalaxani, tɔi mɛrgən-dəə xai, bičini.  
彼女の兄も疲れ果てていた、その相手のムルゲンも疲れて、いた。

puŋin-gulə, "agaa~, " morapsiqkini.  
プジンは、「兄さん、」と叫び出した。

"ə~ŋ xəsə nəku jičini," taa undə aapni.  
「ああ、弟が来た、」と言うという、兄は。

"agaa~, " undiisi, "xamačaa čituməəčimi naiji soriisi," undii,  
「兄さん、何を奪い合って人と争っているのか、」と言う、

"xai isiasi-daa soriisi-a"-m-da.  
「何が不足で戦うのか、」と。

"xəxəi, nəuji jičini, əə aapaŋgoa,  
「おお、妹が来たか、ああ妹よ、

mii sii əjiguəsi gələmi məənčiji tərən nai gələxəmbi-ə," undiini.  
オレはおまえの夫を探して自分に同年代の人を求めているのだ、」と言う。

"xəjiiroo," undii, "əji sorira"-m-da.  
「止めて、」と言う、「争わないで、」と。

"sii-dəə ŋoambani waarasi, ŋoani-daa simbiə waarasi," undii,  
「兄さんも彼を倒せないし、彼も兄さんを倒せないわ、」と言う、

"gəə ələə tərixəsə-goani xooni."  
「さあ、もう十分、力が釣り合ってしまったのに、(これ以上) どうしようというの。」

puŋin-tənii ičəini-goani, xailawaadas uləən mɛrgən bičin.  
プジンは見るのだ、何ともステキなムルゲンだった。

tas nasaldolaji, tolpami~ ičəxən tɔi mɛrgəmbə, uže vlyubilasʹ.  
パツとその目に映った瞬間に、一目惚れして見た、そのムルゲンを、もう恋に落ちた。

tui taraa tawaŋki-la, ənui-goani dəgdəguraə aagbi xōjiwaandaa-da sorii.  
そうしてから そこから 去るのだ、飛んで、 兄を 止めさせてから、喧嘩しているのを。

ə~ŋ ʒookčiji ʒjuxən, ʒoogdoji tui bii-goani.  
自分の家へ 戻った、自分の家で そうして 過ごしているのだ。

tui biiduəni-ə~ aarŋni-la, irgəmbi daligomi ʒjui-goani.  
そうしている時に、 兄が、 自分の村を 率いて 戻って来るのだ。

ə~ŋ tooido, isigojiji gəsə, aarŋni-tanii undiisi-ə, xaiji,  
岸辺のところに、 着くや いなや、 兄は、

goaŋji suəkələgumi tooi tokondolani tuuguxəni-ə~  
舟の竿で 強く 突いて 棒高跳びのように 岸の 真ん中の所に 飛び降りた。

əsi-təni xəi kəčərigui barŋsalai,  
今 下流の方へ 振り向いてから 蹴っ飛ばし、

soli kəčərigui barŋsalai taxan undiisi,  
上流の方へ 振り向いてから 蹴っ飛ばしたり したら、

təi ʒiakta-tanii-a tuŋmui-mə ənəxəni-goani,  
その 土の ついた 草の 根っ子が 四方に飛び落ちるようになった、

modamba xoolimi əsi-təni irəgəmbə-təni əusi taosi tutuxən.  
崖を 巻いて 今 村の場所を定め、 こちらへ あちらへと 走り回った。

ʒoo osixan. daai giranŋkin daai ʒoo, nuuči giranŋkin nuuči ʒoo osixani,  
家ができた。大きく 跨ぐと 大きな家が、 小さく 歩いたら 小さな家が 建った。

”gəə,” waisi əugurəə, ”gəə, oi gurun nuuči ʒookči,  
「さあ、」と 岸辺に 下りてから、「さあ、 少ない 家族は 小さい家へ、

əjji gurun daai ʒookči, tooraa baljiiso,” unŋkini.  
たくさんの 家族は 大きな家へ、 上って 暮らせ、」と言った。

ə~ŋ əsi-təni, baŋiājia kaltaājiala-daa əm irgən təəxən,  
今、 向う岸の 側にも 一つの村が 落ち着いた、



təi mərgən ʃjuxəni, aagʃiani gəsə-də. ə~ŋ tui taraa~ tui bii-goani.  
あのムルグンがやって来た、兄と いっしょに、だ。そうしてからそうしているのだ。

tui xadolta~ bipi undiisi, tajaajjala təi mərgən daorii-goani.  
そうして数日 すると、 向う側から そのムルグンが渡ってくるのだ。

ə~ŋ mədəwə gələndəmi asigoji. əŋ əsi-tənii mədəwə gələxə~n nai,  
情報を 求めて、 自分の妻のことについて。 今 情報を 求めた、 人は、

nəuji əjiguji gələmi məjxəni, buurii-goani, xai osisigilai.  
妹の夫を 求めて力比べしたのだから、 勿論与えるのだ、 どうして嫌がることであろう。

ə~ŋ təi mərgən-də undii, "mii-dəə pondəjooji əmukəkəkəni," undii,  
そのムルグンも 言う、「私にも 妹が 一人きりいる、」と 言う、

"əusi taosi ʃuəmburi," ʃuəndūjiji~  
「お互いに交換婚すべきだ、」と 交換婚することで

gusəərənduxən əsi-tənii undiisi-ə, əŋ tui bičín,  
話し合って話をつけた、 今 そうしていた、

"əsi-tənii giamata iraori-a," undii, "əusi taosi-da."  
「今 花嫁を 運ぶべきだ、」と 言う、「こちらへ、そしてあちらへと。」

əsi-tənii tui əm xadolta, mənə giamata iramaari dəruuxə~n,  
今 そうして 数日、 それぞれ自分たちの花嫁を 運び 始めた、

pūjin xəjombani xəm təučixən undiisi tooiči, gilači.  
プジンの家財道具や服を 全て 積んだ、 岸辺へ運んで、大船に。

əsi-tənii təi-lə, maŋbongoari xəi soli giolipaari-a~ mərgən,  
今 その、大河を 下流へ上流へと 漕いで行くとムルグンは、

tooila xaaxāči. əsi-tənii undiisi-ə,  
岸に 接岸した。今、

tajaajja-daa čado arkiwa omixa~n xadolta xadolta tui tapaari undiisi  
向う側でもそこで酒を 飲んだ、 数日 数日 そうしてしばらくしていると、

tajaǎjia-daa irai-goani tǝi giamatangoari nǝuwǝri.  
向う側からも運ぶのだ、その彼らの花嫁を、彼らの妹を。

tǝi-dǝǝ xǝi soli giolipaari undiisi-ǝ, mǝrgǝn tooila xaaxa~n,  
それも下流へ上流へと漕いで、 ムルグンは岸に着岸した、

čawa-daa tui, giamata jǝčinduǝni, arkiwa omii-daa omii taxa~n,  
それも そうして、花嫁が やって来た時に、酒を 飲みに 飲み、した、

tui taraa-la undiisi ǝsi-tǝnii undiisi-ǝ,  
そうしてから 今

ǝj tui mǝǝn mǝǝn boǝči ǝnurǝǝ tui baljii-goani ǝsi-tǝnii undiisi,  
そうして 各々の 地へ 去って、そうして暮らしているのだ、今、

ini siaxambi isǝlǝǝnǝji, siksǝ siaxambi siǝgǝrǝǝji,  
昼に食べた物はトカゲで、夕方 食べた物はネズミで、

čimii siaxambi čičǝonǝji, irasomaari baljiloxǝči, ǝlǝǝ.  
朝 食べた物はセキレイで、運んで 暮らすようになった、終わり。

2000年4月3日 ダエルガ村にて録音

N. B. Gejker 氏 口述

11. əm mærgən baljixani  
一人の ムルグンが 暮らしていた

xaido, əm irgən baljixani, əm mærgən, pondəjooko~da.  
ある 村に 暮らしていた、一人の ムルグンが、妹 (同族の女) がいるのだ。

ə~ŋ pondəjooŋi-tanii, joo dujələni biini-goani.  
妹は、 彼の家の 山側の所に いるのだ。

tui bii~, tui bii undiisi, tui biiduəni əm modan-gola undiisi  
そうしている、そうしている、 そうしている時に、ある 時に、

pūjin-gulə siksə boāci niəxəni.  
プジン は 夕方 外へ 出た。

bagiala jooŋdo-tanii lə~igən biəl undə, aarŋnaadoani.  
川の側の 家の中から 明るくにぎやかに話し声がしている という、兄たちのところで。

ə~ŋ tui taraa undiini-goani, iiguxəni kəkəŋgukuni-goani,  
そうしてから 言うのだ、 家に入って来て、女奴隷がいるのだが、

kəkəci undiini-goani, "əŋ kəkə~, " undii,  
女奴隷へ向かって 言うのだ、「ああ、女奴隷よ、」と 言う、

"aarŋnaado-kaa nai jilgani~ bii," unkin, "goi nai jilgani biini-ə"-m-də.  
「兄さんたちの所で人の声が する、」と言った、「よその人の声が するわ、」と。

kəkə-lə piar piar piar piar, "ičəndəruu," undiuduəni paŋjalaxani.  
女奴隷は パタパタパタと、「見にお行き、」と言うときに 駆け出していった。

əŋ tui tapi-ə~ tookoxani, xalakto~ omiaktə~ jijuxən.  
そうしてしばらくすると 上って来た、酔っ払って、飲んでしまつて、戻って来た。

omiaktəni dabii maŋgāji. "əjən pūji~n," undiisi-ə,  
飲みすぎているのはかなり ひどくだった。「主たる プジンさま、

”əjən mærgən-tənii əjiguəsi baaxani,” undii,  
主たる ムルグンは あなたの夫を見つけました、と言う、

”təi-tənii undiisi, xooni-a əjiləguji taisi-a~,” undii,  
「その人は、 どうして 夫になんぞできましようか、」と言う、

”təi mærgən-tənii undiisi, koi~, inoksa~, čaki~,” undiini.  
「その ムルグンときたら、 耳くそ垂らして、 鼻水垂らして、 片目が白目ですよ、」と言う。

”nai xoto~,” undiini-goani, əjənčiji. ”čixani,” undii,  
「人はハゲです、」と言うのだ、 主人に。「放っておきましょうよ、」と言う、

”əjən puĵin, miĵimə sii orondolasi osiĵai-tanii,” undiini.  
「主たる プジンさま、 私めを あなたの身代わりにさせて下さいな、」と言う。

ə~ŋ əsi-tənii puĵin tətuwəni təturə, puĵin čixalaxani, ĵuəciuri.  
今 プジンの服を着た、 プジンは賛成したのだ、服を交換することに。

tətuwəni təturə, xairii, puĵin-tənii apiji tas paačilaraa,  
服を着て、 プジンは 首の後ろをパチンと叩いて変身してから、

xaido nəxəni, pulə xoipokaambi tətuwəŋkin-goani ŋoambani.  
どこに置いたか、余った耳飾りは 身につけさせてやった、彼女(女奴隷)に。

əsi-tənii puĵin orondolani kəkə, kərkičədu təsii-jə,  
今 プジンの代わりに 女奴隷は、かまどの横の場所に座っている、

tui təsiiduəni-ə-lə, wajala lə~igən toora undə.  
そうして座っている時に、川の側から 楽しげに明るい声が上って来る という、

aarŋi ĵilgani gusəəndui. tui tami puĵin čooŋkola ičəi-goani,  
兄の 声が 話している。そうして プジンは 天窓の所で 見ているのだ、

čooŋko, doosiini, ĵəwən osiraa-da.  
天窓の所に、とまっている、蜂に なって、だ。

təi-tənii, xai bičini, xailoo uləən mærgən bičini-ə~ puĵin-gulə,  
その人は、 どうだったか、 何ともステキな ムルグンだった、 プジンが(見るに)、



aarņi tui taraa ənuxən, tui dujələ lur-də, kəkə ʒaŋgiaraidoani.  
兄は そうしてから 去った、そうして 山の方へ まっすぐに、女奴隷が 言い出した時に。

ə~ŋ tui taraa-la əsi puʒin-gulə undiisi-ə, čado təəsiini-goani,  
そう してから 今 ブジンは、 そこに 座っているのだ、

təi-təni undiisi-ə, aagbi ənuiʒiəni gəsə undiisi xai,  
女奴隷は 兄が 去るや いなや、

puʒin xəʒombani səkčieguʒiʒi gəsə,  
ブジンの 寝具を 敷くや いなや、

təi mərəŋŋi apsiŋgoxani naiwa-xa siawaandadaasi.  
その ムルグンと一緒に 横になった、客人を 食べさせもせずに。

tui taraa undiisi ə~ŋ čimii təəxən undiisi,  
そう してから 朝 起きた、

təi mərəŋən undiini-goani, ”anda puʒin undiisi,  
その ムルグンは 言うのだ、 「ああ ブジンよ、

aakčiji mədəsinderuu,” undii, ”ə~ŋ iragoi-kaa taisi-noo,  
お兄さんの所へ 訊きに行け、」 と言う、「(花嫁を) 運ぶのは あなたがするのか、

mimbie-kəə gaəʒowaangoi taisi-kaa-noo”-m-da.  
私に 連れて行かせる おつもりなのか、と、」と (言う)。

ə~ŋ əsi-təni ləəmiləmi, paʒiialaka undə,  
今 スリッパを履いたまんまで、 駆け出して行った という、

isixan-os abaa-os bəktəkəən bimi tookoxani.  
着いたんだか、 どうしたんだか、 ほんのしばらく あってから 上って来た。

”aa unki-ʒə~,” undii, ”ui irasogoani-a,  
「兄さんは 言いました、」 と言う、「誰が 運んだりするだろうか、

əŋ buŋiə korpiasimbi mii irasomi, mənə gaəʒoro”-m-da.  
我々は ヒマがないのだ、私が 運ぶなんて、自分で 連れて行ってくれ、」と。

ə~ŋ tui taraa əsi-tənii undiisi, puŋin aorii xajombani,  
そうしてから今、 ブジンの 寝 具を、

ulpisuu xukuəmbəni ʒapaxani-a tui, tui taraa undiisi,  
裁縫袋に 刺繡袋を つかんだ、そうして、そうしてから

moriŋko bičin tɔi mɔrgən, gə tɔi səjəənduəni təəgʊrə  
馬を持っていたの だったが、その ムルグンは、さあ その 馬車に 座ってから

tui ənəpsinʒini. ə~ŋ puŋin-tənii ənəiduəni-tənii tui gəsə ənəi-goani  
そうして 出発した。 ブジンは 彼らが行く時に そうして 一緒に 行くのだ、

ujələni, ʒəwəŋji-tul-də. tui ənəmi-ə~ ənəmi, xai osixani,  
その上を、 蜂の姿のままで。そうして 行って、 行って、何に 変身したか、

xai~loo uləən siŋasoo osixani, xusə nai siŋasooni.  
何とも ステキな 削り用ナイフになった、 男の 人が使う 削りナイフだ。

osiraa ʒuliələni tuuxəni, tɔi mɔrgən-gulə lak ičəxəni.  
変身してから 彼の前に 落ちた、その ムルグンは パツとすぐに見つけた。

”xərə~ wakaji-da.” ”xaigoji baaxasi.”  
「おお、 幸運なことだ。」 「何を 見つけたんですの。」

”siŋasoogoji baaoxani,” uŋkin,  
「削りナイフを見つけたよ、」 と 言った、

”tɔi, əiwə-lə xuədəxən nai-la xooni-a~ kairasii,” undiini.  
「その、これを 失くした 人は どんなにか 残念がっていることだろう、」 と 言う。

”ə~ŋ anda~ mɔrgən ičəguji gaajoo, ičəguji gaajoo,” taa undə,  
「ああ ムルグンよ、 見たいから 持って来て、私が見るから 持って来て、」 と 言う という、

tɔi-tənii, əsi-tənii tɔi, siŋasoowa-la ʒapaŋji gəsə,  
彼女は、今 その、 削りナイフを つかむやいなや、

kəəndəlimi jaarsiŋji gəsə naŋgalaxani, tɔi kəkəŋguni.  
ひっくり返して よく見て調べるやいなや ぶん投げてしまった、その 女奴隷は。

ə~ŋ tui taraa əsi-təni tui ənəi~, tɔi ənəmi undiisi,  
そうしてから今 そうして行く、彼らは行って、

”anda pūjin, xaigoji naŋgalaxasi, kairambani,  
「ああプジンよ、どうして投げてしまったのか、もったいないことを、

tɔi uləələə kučəəmbə,” kairasini tɔi mərgən.  
あんななかなか良いナイフを、と残念がる、そのムルグンは、

əŋ tawaŋki tui ənəmi~ ənəmi-ə-lə paalima pado osixani-goani.  
そこからそうして行って、行って、刺繍のある紐で締める煙草入れになったのだ。

paalima pado osiraa~ ʒuliələni tɔi mərgənʒiəni,  
刺繍の 煙草入れに なってから、彼の目の前に、そのムルグンの、

kaltaəjiani tuuriini-goani. ”gəə~ gəə,”  
側に 落ちるのだ。「おお、おお、」と

bai ičəmi, lak ʒaparaa tuŋgələguxən, tɔi mərgən.  
すぐに見つけて、パッとつかんで懐に入れた、そのムルグンは、

”wakəji-a xai-daa, əi-lə tuŋbuxən nai-la xooni-a kairandii,” undii, mərgən.  
「幸運だな 何とも、これを 落とした人は どんなに 残念だろう、」と言う、ムルグンは、

ə~ŋ undiisi tui-dəə, ”anda mərgən xai ʒaka, anda xai ʒaka,  
そうしていたが、「ああムルグンよ、何ですか、ねえ 何ですか、

anda mərgən xai ʒaka,” undii,  
ねえ ムルグン、何を見つけたんですか、」と言う、

əsi-təni aksakaačii soŋgoičaini osii tami,  
今 怒るふりをしたり、泣きそうに なったりして、

”mimbə ičəguji gaəjoo”-da. ə~ŋ ”buurii-goani,” undiini-goani,  
「私が 見るから 持って来てちょうだい、」と言う。「もしお前に渡したら、」と言うのだ、

”naŋgalagoasi. ə~ŋ paalima pado.”  
「投げてしまうじゃあないか。 この刺繍付きの 煙草入れを。」



əsi-tənii tui aksakaacıi songoıçai-daa xairii-daa taidoani  
今 そうして怒るふりをしたり、泣きそうにも 何しそうにもなったりする時に、

təi-lə mǝrgən-gulə undiisi, ičəwəŋkini aliame-a-da.  
その ムルグンは 見せた、 しつこいのに耐えられなくなって、だ。

əsi-tənii ʃapaijiji gəsə, kəə~ndəli poipoačimi jaarsiijiji gəsə,  
今 ひつつかむやいなや、ぐるぐるとひっくり返して詳しく見るや いなや、

sučurəmi tataraa naŋgalaxani təi paalima padowa.  
引き裂いて 引き抜いて 投げてしまった、その 刺繍つきの 煙草入れを。

”anda~ puʃin,” undiisi, ”xaigoji naŋgalaisi”-m-da,  
「ああ、プジンよ、 どうして 投げてしまったのか、

”kairambani. mii uləen takoragoi taxambi-goani,” undiini, ”čawa.”  
もったいない。私が 大事に 取っておこうとしていたのに、」と言う、「あれを。」

”ə~ŋ mindu~ xaosi-daa xəm bii, pado bii~, uləen ʃaka-daa bii,  
「私には どんなのでも 全てありますもの、煙草入れもあるし、良い 物も あるし、

xaosi, orkin-da-kaa, ulpıçəku-dəə bii,” undii,  
どんなのだって、悪い物でしょうか、刺繍をした物だってありますわ、」と言う、

”čukimbəni-dəə, xai tagoji gələuri,” undiini təi, kəkə.  
「あんなろくでもない物なんか、何のために必要でしょう、」と言う、その、女奴隷は。

saaxani-goani, əʃəni tui ənəiwəni, ŋəanʃiani gəsə-də.  
気づいたのだ、主人が そうして ついて来ていることを、彼女と 一緒に、だ。

ə~ undiisi tui taraa tui ənəməəri isigoxan əm irgənči  
そうしてから そうして行って 着いた、ある 村へ、

xailoo daai irgən bičini.  
何とも大きな 村 であった。

ə~ŋ nai iigui niəgui tailani-la, puʃin-gulə undiisi-ə,  
人々が 家に入ったり 出たり しているところから、プジンは、

inda, wəçəən osiraa nai bəǰjiləni čuul iixəni.  
犬に、雌犬に なってから、人の 足の間にまぎれてするりと家に入った。

tui taraa bəsərə pugjələni apsiŋkini.  
そうしてから 机の 下に 寝そべっていた。

ə~ŋ əsi-tənii kəkə-tənii gəə, tanŋo naiji-daa takoramjiko osixa~n,  
今 女奴隷は さあ、百人の人間をも 下僕として使うようになった、

iimi-da. palaamba-daa pulsias-i-ə, əm əlci ŋoambani morilaxan.  
家に入って、だ。床さえも 歩き回ることがない、一人の奴隷を、彼を 馬に使った。

əsi-tənii inokoko, topikoko osixan tado, isimi-da.  
今や 王様の様に奴隷達を叱りつけ、唾を吐きつける様になった、そこに着いてから、だ。

ə~ŋ undiisi čado-la undiisi, tui tami ičəguxən, "anda~ mərgən," undiisi,  
そこで、 そうして 見た、「ああ、ムルグンよ、

"əŋ xai umbuwəčiməəri indawa nəučiiisu~," undii,  
いったい誰に何て言われて 犬を 飼っているのよ、」と言う、

"joogdo-a. əŋ xai, ərdəŋgeni ʒakasalbani baara," undii,  
「家の中に。 いったい何のおかしな習慣だか、物だかを 得て、」と言う、

"suə-lə indəji kamor baljiiso-tanii," undii.  
「あんたたちは犬と 一緒になって暮らしているのかしら、」と言う、

"ə~ŋ xaido biini," undii, "inda," mərgən.  
「何だ、どこにいるって、」と言う、「犬が、」とムルグン (は言う)。

"təi biəsi-kəə," undii, "bəsərə pagjələ aorasi-kaa"-m-da.  
「あれがそうじゃないの、」と言う、「机の 下に 寝そべってるじゃないの、」と。

əsi-tənii undiisi gəə, mərgən-tənii, "puŋnəguusu," undiini-goani,  
今 さあ、ムルグンは、「追い出せ、」と言うのだ、

"inda, xaigoari iiwuxəsu"-m-də.  
「犬なんか、何のために入れたんだ、」と。

əsi-tənii, nai puṅnəguiduəni-lə, "taax, taax," nai morapsindii t̄ai-lə,  
今、 人が 追出すときに、「シッ、シッ、」と人が 叫び出すときに その、

ui-dəə paačilami-daa korpiasiijiani puḷjin-gulə niəguxəni t̄ai, wəçəən.  
誰も 叩くにも 間を与えないようにすばやく プジン は 外へ出た、その、雌犬は。

tui taraa~ ənəə undə too~ xəjje duəni, irgən xəjje duəduəni biə undə,  
そうしてから、行くいう、ほうれずうっと 下流の 端に、村の 下流の 端に ある という、

əm nučikuu~ jookaan, ləudəə dailaakaani.  
一軒の 小さ~な 小屋が、ちんまりとした 大ききなのだ。

ə~ŋ t̄ai tuliəçieni ənərəə~ aora undə, kupçuəduəni-də.  
その 中庭の所へ 行って、寝そべっている という、ゴミ捨て場の所に。

əŋ čado kupçuəduəni aoriidoani-a, əm mama niəxəni.  
そこに、ゴミ捨て場のところに寝そべっているときに、一人の おばあさんが 出て来た。

xailoo uləən mama bič̄in,  
何とも 良い おばあさん だった、

t̄ai-lə č̄iəçirəə iligoidoji-la t̄ai wəçəəmbə ič̄əxəni.  
彼女は 小便をしてから 立ち止まったときに、その 雌犬を 見た。

"gəə~ indagoji baaoxan, wakāji-a xai-daa," undii,  
「ああ、犬を 見つけたわ、幸運だわ、何とも、」と 言う、

"əi-lə xuədəxən nai-la xooni-a-daa, kairasiasi," undii,  
「これを見失った人は どんなに 残念がっていることだろうか、」と 言う、

"əi xajājia j̄ič̄in wəçəən," undiini, pali~ pali saxarin.  
「これはどこから 来た 雌犬だろうか、」と 言う、 真っ黒な、黒々とした 犬だ。

əsi-tənii t̄ai mama-tanii, j̄apagoraa iiwuguxəni, xərsiədəəsi,  
今 その おばあさんは、つかんで 家に入れた、犬は唸りもしないし、

xairadaasi-a-da. iiwuguxən mapaačaan-da, "mapa~, ič̄əruu,"  
何も しない。 家に入れた、おじいさんもいて、「おじいさん、見なさいな、」と 言う、

mapaji mamaji juerkæen bičin bičin, tæi joo.  
おじいさんとおばあさんの二人きりでいたのだった、その家には、

”mapa~,” undii, ”icæruu~,” undii, ”indagoji baaxambi,” undii,  
「おじいさん、」と言う、「見ろ、」と言う、「犬を見つけたわ、」と言う、

”tæi-tænii ulæni~,” undiini, ”jæ ulæn inda-noo,” undiini,  
「これは良い、」と言う、「並みの良さの犬だろうか、」と言う、

”æiwæ-læ xuædæxæn nai-la xooni-a~ kairasiasi-a,” undiini.  
「これを見失った人はどんなにか残念がっていることだろうか、」と言う。

æsi-tænii tui siaraa xõjixan undiisi, undii,  
今 そうして食べ 終えてから、 言う、

æsi-tænii siagoani-la dalomba buuxæni, inda dalombani.  
今 食べ物に 犬の餌を 与えた、犬の 餌を。

aliokaan nærææ, inda aliодоani nærææ-dæ.  
小さな皿にのせて、犬用の皿に のせて、だ。

æ~ŋ tæi inda-kas puuŋguji, naini xai siagilai dalomba.  
その犬なんぞの匂いがする物を、人間が どうして 食べるはずが であろうか、犬の餌を。

æ~ŋ siarasini-goani. ”mapa~ siarasi,” undii, ”ærdõŋgæ, xamaçaa xai.”  
食べないのだ。「おじいさん、食べませんよ、」と言う、「不思議だ、いかなる犬か。」

mapani undiini, ”pærgæmi mææn siarii, mææn siarii çoolõŋgoji,  
おじいさんは言う、「試しに自分が食べている、自分の食べるスープを、

silia soosiraa næruu,” undiini-goani, ”aliodo næruu,  
皿に 掬って 置け、」と言うのだ、「小さな皿に 置け、

mææn siarii kotando næruu,” undii.  
自分が 食べる 食器に 置け、」と言う。

æ~ŋ undiisi tui taraa undiisi, mama-la mapaji xæsæwæni daxorasimi-la,  
そうしてから、 おばあさんはおじいさんの言う事を 守って、

siliado nɛərɛ      undiisi-ə, ʒuliəlɛni nɛəxɛni.  
皿に 盛ってから、      その前に置いた。

xə~m iləçigumi siaka undə, tɛi-lə wəçɛən-gulə.  
ぜ〜んぶ舐めて 食べた という、その 雌犬は。

”gəə~,” undiini-goani, ”ɛi uləən nai indani, uləən nai uʒixɛni inda,”  
「さあ、」と言うのだ、 「これは良い 人の犬だ、 良い 人が育てた 犬だ、」と

undii, ”nai dalomba-daa əçie siawaanda ʒaka,” undii mapa.  
言う、「人は犬の餌も 食べさせなかったのだ、」と言う、おじいさんは。

əsi-tɛnii tui, agdanasimaari tui apsiŋgoxaa~l tui siksəguxən,  
今 そうして、喜んで そうして横になった、 そうして日も暮れた、

dolbogoxan. əŋ çimii sənəxəçi-tɛnii xərə~ tɛi-kəə inda,  
夜になった。 朝 目が覚めた、あれあれ、あの 犬は、

malo nakandoani-la xərə~ uləəmbə puʒimbə aora undə tɛi-tɛnii,  
真ん中の席のオンドルに、 すばらしく美しい プジンとなって寝ている という、それは、

nuktɛni-tɛnii əmutu tɛi inda saxarin-maa, pakaa pakaa bii toojomba,  
その髪は まるであの犬の黒さのごとく、黒々と している、髪を巻いたものは、

inda toojɔŋkini-maa biə undə, apiidoani-la.  
犬が丸くなって寝ているようである という、うなじの所に。

ə~ŋ mapaji-la sərɛuɣuxɛni undiisi,  
おじいさんを 揺り起こした、

”mapa~ piktəɣuəri baaxapo, boa borixani, akpoa aisilaxani,” undii,  
「おじいさん、娘を 見つけた、天が分けて下さった、天が 恵んで下さった、」と言う、

”piktə anaadopoa piktəɣupua, ʒia anaadopoa ʒiagopoa.”  
「子供がいない私たちに、子供を、 仲間のいない私たちに仲間を。」

əsi-tɛnii agdanasimaari mapaji mamaji-la tɛi-tɛnii,  
今 喜んで おじいさんと おばあさん、彼らは、

naamanindamaari ənəxəci aoriiwani-tanii mapa ənjiə  
抱こうとして 行った、寝ているところへ、おじいさんが片側から、

mama ənjiə, xəə~, pujin-təni olokpaami-tanii,  
おばあさんがもう片側から、さあ、プジンはびっくりして、

sikuləguxəni mapāji mamāji xuŋ pos, iŋgurigdə tuurii-goani.  
足で突き飛ばしてしまった、おじいさんと おばあさんを ボンッと、ドタ〜んと 倒れるのだ。

čəŋsop təəxəni pujin-gulə undiisi,  
パッと 起き上がった、プジンは、

”əñə ajasi-noo, ama ajasi-noo,” undii-goani. ”ajapo~,” undii,  
「お母さん大丈夫ですか、お父さん大丈夫ですか、」と言うのだ、「大丈夫よ、」と言う、

”ajapo.” gəə, mapa-tanii ojektai, mama-daa ojektai,  
「大丈夫だ、」と。さあ、おじいさんはキスする、おばあさんもキスする、

”ə~ŋ boa borixani, akpa aisilaxani,” undii,  
「ああ、天が分けて下さった、天が 恵んで下さった、」と言う、

”buə-təni nai, naija laōjilami biurini,” undii,  
「私たちは（老いてしまって）、人が、誰か 働いてくれる人が必要だった、」と言う、

”xaimi-daa mutəəsi osigora-da.”  
「どうにも 何もできなくなってしまっていたから。」

ə~ŋ tui aqdanasimaari tui xaixan.  
そうして 喜んで そうして どうしたか。

tui taraa undii čimii təəxən undiisi, mama-tanii undiini-goani,  
そうしてから言う、朝 起きた、 おばあさんは言うのだ、

”əni ičəguruu,” undii, ”buə əjəmbəri, asigoji baaxambani,  
「ああ娘よ、」と言う、「私たちの 御主人様が、奥様を 娶ったことをお祝いして、

siagoani pujuundəəmbi,” undiini mama.  
食事を 作りに行くてくるよ、」と言う、おばあさんは。

”mapa-tanii mookaamba iiwuini,” undiini, ”pujuugujijə.”  
「おじいさんは薪を 家に運び入れるのよ、」と言う、「私が料理するための。」

ə~ŋ tui taraa mapāji mamāji ənuxən, tui.  
そうしてからおじいさんとおばあさんは出かけた、そうして。

siksə~ j̄jjuiči-goani, čimii təəmæəri ənui.  
夕方 戻って来るのだ、朝 起きると出かける。

əŋ tui tami-a undii-goani, pūjin undiini,  
そうして 言うのだ、ブジンは言う、

”ə~ŋ ba~lana baaxani, asigoji.” ”abaa~,” undii, ”əsi baaxani,” undii,  
「ずいぶん前に得たの、奥方を。」「いや、」と言う、「つい今しがた得た、」と言う、

”goidaasi,” undii, ”ə~ŋ təi asini-tanii~, j̄jə bii-nuu,” undii,  
「まだ長いこと経ってない、」と言う、「その奥方ときたら並みだろうか、」と言う、

”ilaan nai-daa inokoko~, toingga nai topikoko,” undii,  
「三人の人をも 怒鳴りつけ、五人の人をも 唾を吐きかける、」と言う、

”ə~ŋ əm əlčiji singər moriŋko,” undii, ”palaamba-daa taktolaasi-a”-m-da.  
「一人の奴隷でずうっと馬にしている、」と言う、「床も 踏みさえしない、」と。

əŋ pūjin-gulə dooni gičiak ənəi-goani,  
ブジンは 心中 嫌～な気分になったのだ。

čukinduləji dəgdəpsin̄kimbəni kəkəŋguji.  
ろくでもない者が すっかり舞い上がってしまったことに、それも自分の女奴隷が。

”ə~ŋ əsi ənəpəri unxəərsu,” undii,  
「今 行ったらば言って下さい、」と言う、

”mii piktəji, kupiguji j̄iagoji gələxəni,” undii,  
「私のところの 娘が 遊ぶ 仲間を 求めています、」と言う、

”j̄iduu j̄iduu unduu”-m, ”kupiguuri.” ə~ŋ undiisi,  
「来て下さい、来て下さいと言って下さい、遊びましょう、」と。

mamaačaanaa ənuxə~n tui tapaari-la undiisi, xai, "unxəəri," undii,  
おばあさんたちは出かけた、そうしてしばらくすると、 「言つて下さい、」と云う、

"piktəji budii, budii budii taiwani  
「子供が生まれては死に、生まれては死に、 していたのを、

iliočaxapo  
魔物を退けるために巫者を呼び異常な名をつけ男の子の服を着せ親戚に預けたりしていたら、

piktəpu j̄juxəni, xaigoxani, agbimbogoxapo-m-da".  
我らが子供が戻つて来た、 私たちは我が子を現れ出させたのです、と。」

ə~ŋ tui taraa tui ənuxən, tui tapaari-a,  
そうしてから そうして出かけた、そうしてしばらくすると、

ə~ŋ siun tokondo~ j̄juxəci, mapāji mamāji.  
太陽が正午にさしかかる頃、戻つて来た、おじいさんと、おばあさんは、

"ə~ŋ čimana j̄idii-ja," undii, "nai. čimana.  
「明日 来るそうだ、」と云う、「人は、明日。

bua-təni nai j̄ipuguəni, j̄oo doowani oosigoji,  
私たちは人が来るのに備えて、家の中を 片づけよう、

siagoji bargii tandagoapo," undiini. puŋin undiini,  
食べ物も準備 しに行つて来よう、」と云う。 プジンは云う、

"amaa əñə, xaigoji baargičiiso, mii mənə xəm taambi,  
「お父さん、お母さん、何のために準備しようとするんです、私が自分で全部 やります、

xəm-dəə oosigoambi." ə~ŋ puŋin-gulə nai j̄oowani-la,  
全て 片づけます。」 プジンが人の家を、

paiŋaji taas paačilaxani əm, xai-maa osigoxani,  
掌を パチンと叩いたらば、まるで、何のようになったらうか、

aisin mənŋgun muŋjəni ñuləčəku očogoxan,  
金と 銀の 水が流れる 飾りに飾られた家となった、



mapa mama j̄ooni-la undiisi,  
おじいさんと おばあさんの 家は、

ə~ŋ palaando taktoolami boldor ənəini-goani,  
床を 踏めば ツルリと滑りそうになるほどなのだ。

nai palgan, palaani osigoxani ñuləçəku-məə-də.  
人の 足は、床に 映るほどピカピカになった、飾りつき、だ。

ə~ŋ əsi-təni undiisi, mapa, mama-tanii bāji-tanii  
今 おじいさんと、おばあさんは もっと

gəə puǰimbə oǰoktai-daa oǰoktai, "gəə, wakājia~, piktəguji baaxoxani,"  
さあ プジンに キスする、さらにキスする、「ああ、幸せだ、 子供を 得た、」と

undii, "tui bimi." ə~ŋ j̄ia čimani-a-la undiisi, ini-ə~ siun tokon...  
言う、「こうして暮らしていて。」 次の日、 昼に、太陽が南中すると、

ə~ŋ undiisi, "xooni taxaso~, xooni taxaso, tongalaxapo,"  
「どう なさいましたか、 どう しましたか、 どうかへぶっつけましたか、」と

undii, "ə~i ə~i ə~i," songoa undə əsi-təni tui tamaari,  
言う、「おお痛い、 ああ痛い、」と 泣く という (女奴隷は)、今 そうして、

uikəwə nixəlii əusi əusi kəkəŋguni-lə undiisi təi-lə,  
戸を 開けた、こっちよ、こっち、と 女奴隷は (指示する)、 その、

əm əlčiji morin bičini. ə~ŋ uikəwə nixəlixən undiisi təi-lə,  
一人の 奴隷が馬に されていた。 戸を 開けた、 女奴隷は、

milax ənəxən təi kəkə-lə undiisi songoxambi-la undiisi,  
ハッと 驚いて色を失った、その 女奴隷は、 泣いていたのだが、

əǰəmbi ičəguxən taakoi-goani. ə~ŋ əsi-təni undiisi-ə xairii-goani,  
主人を見た、 識っているのだ。 今 どうするのだ、

təi morimbi-la anaxani undiisi, əlčinguji tuuriǰəni.  
その馬を 押しやった、 奴隷が 倒れるように。

”ə~ŋ mənə iirəmbi,” undiini, ”xai tagoji čindaxaso,” undii,  
「自分で 入るわ、」と言う、「何のために 放したのか、」と言う、

əjini-lə moraa undə, ”xai tagoji.” ”ñoani mimbə anaxani,” undii,  
夫が 叫ぶ という、「何のために。」「彼女が 私を 押しやったんです、」と言う、

”mæn duəragui taambi-a”-m-da. əsi-təni undiisi iixə~n tui,  
「自分で歩いていくことにする、」と。 今 入った、そうして、

duərəmi iixən, pujin jakpačiani jījuxən undii,  
歩いて 入った、プジンの側に やって来た、言う、

”gəə anda~ kupiguuri,” undii, əŋ pujin undiini-goani.  
「さあ 友よ、 遊びましょう、」と言う、 プジンは言うのだ。

”ə~ŋ balanaa~ baljiidoji-kaa~,” undii, ”mii-dəə kupii bičəjə~,”  
「昔 暮らしていた時に、」と言う、「私も 遊んでいたものだわ、」と

undii əsi-təni, aŋmaji-la čooko~ čooko jiloksajiji tai,  
言う、今、 口の中をグチュグチュと 唾で 漱ぐ、

taijiji gəə, ”gəə, sii ərdələrūu,” undiini-goani, kəkəwə.  
そうするやいなや、「さあ、あなたも 面白い行ないをしなさいよ、」と言うのだ、 女奴隷に。

kəkə-lə topiŋkin tui ərdələrə-də. tōjakaasa~l, toxolgokaasal agbiŋkini.  
女奴隷は唾を吐いた、その様に 魔力を使って、だ。鉛だの 錫だのが 現れた。

ə~ŋ undiisi-ə, ə~ŋ əsi-təni əlčiusəl tēi, uməkəəŋguəri, xaigoani,  
今 奴隷たちはそれを、釣竿の錘に、何かを使うのに、

tamai-ja tēi tōjasalba. əsi-təni pujin-gulə undiisi  
拾い集めるのだ、その鉛などを。今 プジンは

čooko~ čooko jiloksaji aŋmadoji taraa undiisi topiŋkini.  
グチュグチュと 唾を 口に 溜めてから、 唾を吐いた。

ə~ŋ aisin məŋgun pasini-la, bootoa tuuxən gəə,  
金や 銀の 欠けらが、バラバラと 飛び散った、さあ、

əlciusəl-dəə sidəriguəri gələi gurun,  
奴隷たちも、腕輪にしようと求める者、

tamačaa xamačaagoji ĵapai gurun tamaxaal.  
あんなのや、いろんな物にしようと取る者たちが、拾い集めた。

”ə~ŋ əsi ələə-nuu,” undii pūjin, ”ərdənsi.”  
「さあ、今もうそれまでかしら、」と言う、プジン、あなたの魔法は。」

ə~ŋ əsi-təni undiisi ”xaiori,” undii, gəə, nuktəri xaixa~n,  
今、 「どうしよう、」と言う、さあ、自分たちの髪で競った、

kəkə nuktəni xurmikuukəəni-goani.  
女奴隷の髪は とっても短いのだ。

ə~ŋ laxa googaktakaani bii nuktəkəəmbi-lə, gurəlixəni-ə~,  
ナマズのヒゲの ような髪のを、 ほどいた、

tui taraa-la siġġipunġġi-lə, siġġiə undə.  
そうしてから、櫛で 梳かすという。

təi-təni undiisi-ə, siŋgəəkəəəsə~l, ulgikəəəsə~l tuuxəni.  
それは、 ネズミたちだの、アナグマだのになって落ちてきた。

ə~ŋ əsi-təni əlciusəl xəm waaktaxan təi tuuxəmbəni-lə undiisi.  
今 奴隷たちは全部 獲った、 その落ちてきたのを。

əsi-təni pūjin-təni undiisi nuktəji-lə undiisi dolimpaalaa~  
今 プジンは その髪を 真ん中のところから、

tango daa nuktəji, gurəliġġi gəə undiisi ə~ŋ nuktəji-lə,  
百 メートルの髪を、 ほどくやいなや、 自分の髪を、

xaixani paačičixani. xərə~ təi-təni, səəpə-dəə, gormaxon-daa,  
何度か叫いた。さあ、それは、クロテンも、ウサギも、

solikaan-daa, xulu-dəə agbiŋkin-təni təi-təni ĵoo dooni-təni  
キツネも、 リスも 現れた、 それを家の 中では

naisal xasasii-goani əsi-təni puĵin undii-goani,  
人々が追いかけてまわすのだ、今 プジン は 言うのだ、

”gəə kəkə, xoəŋkisi~, dəgdəxəsi duəni modani isigoxan,”  
「さあ女奴隷よ、自惚れていたのも、舞い上がっていたのも その末に 終りが 来たのよ、」

uŋkini. əŋ tui iċəi, undiini-lə kəkə-lə paġĵialagoka undə~  
と言った。 そうして見るに、そう言うと、女奴隷は 走って逃げ出した という、

əsi-təni puĵin-dəə xasipoalaxani xamialani,  
今 プジンも 追いかけて走り出した、 その後ろから。

ə~ŋ əĵən xaan siimbəni isiini ċiirigdə ʒapaxani.  
主たる 長の家の前の 水汲み用の氷穴のところに 着いた、 ガッチリと 捕まえた。

ə~ŋ undiini-goani, ”gəə, xoəŋkisi, modani,  
言うのだ、 「さあ、おまえがいい気になっていたのも、 これで終りよ、

dəgdəxəsi duəni isixani,” undiini-goani, puĵin.  
舞い上がっていたのも その終りが 来たのよ、」 と言うのだ、 プジンは。

ə~ŋ puĵin-gulə undiisi, siandoani bii xoipombani-la  
プジンは、 女奴隷の耳に ある 耳飾りを

səŋ səŋ tadorəgəiĵi gəsə tuŋguləni gidəlagoxani undiisi,  
サッサッと 引き抜くや いなや懐に 差し入れた、

ə~ŋ ʒəkpəsi iċəguxəni əŋ, tooi, nai tooini baaroani iċəguxəni,  
岸の方を見た、 岸の、人の岸の方を見た、(すると)

xərə~ tsi-məə əĵini mərgən-gulə undiisi ə~ŋ goloŋkoĵi uikəduəni,  
ああ、 その時まさしく 夫の ムルグンが 自分の家の垣根の 戸口のところで、

goloŋkodoĵi ilisimi iċəĵəə undə.  
垣根のところに立って 見ている という。

”anda~ mərgən undiisi, ə~ŋ əjaktalai osini əjaktalaroo,  
「ああ、 ムルグンよ、 怒る なら 怒れ、

čigjii osini čigjiruu,” uŋkin, ”mii mənə əlčingujji,  
腹を立てるなら 腹を立てろ、”と 言った、「私が自分のところの 奴隷を、

kəkəŋguji wəaxambi-la, uidu daaŋjiko,” uŋkini.  
女奴隷を 殺したなら、それがいったい誰に 関係があろうか、”と 言った。

tui umi-lə undiisi, ʒapagoijji gəsə-lə undiisi  
そう 言って、 つかみ直すやいなや、

siindulə-lə ʒiljiajiani pos gidalaxani.  
氷の穴に 頭の側から まっすぐ 突っ込んだ。

ə~ŋ tui taraa-la mama baaroani ənui-goani.  
そう してから おばあさんたちの家の方へ 立ち去ったのだ。

ənuxə~n iiguxən undiisi,  
帰った、家に入った、

əsi-tənii puŋin-tənii paatoa baarājigoi-goani tətueləgumi,  
今 プジンは 急いで身支度をするのだ、服を着替えて、

xai tətə bigiləi.  
いったいどんなまじな服が あるというのだろうか (もちろん無い)。

ə~ŋ təsčixəmbi tətəəsəlbi tətuguxəni, ama,  
いつも着慣れている 服を 着た、 父さんも、

”xaosi ənəisi,” əñə, ”xaosi ənəisi”-də,  
「どこへ行くんだ、」と (訊く)、母さんも、「どこへ 行くの、」と (訊く)、

”əñə ama, mii boəčiji ənujə”-m undii,  
「お母さん、お父さん、私は自分の土地へ 去ります、」と 言う、

ə~si-tənii mapāji mamāji soŋgoloxani,  
今 おじいさんと おばあさんは 泣き出した、

”ənənə, aɡdanasixani piktəguji baaoxan tui-goani,  
「ああ、喜んでいたので、自分の子供を見つけたと思っていたのに こういうことなんだ、

andaxa aṅdii nai aṅdii-goani, goi nai goi-goani"-mal songoal undə.  
お客は、他所の人は所詮他氏族の者なんだ、他人はやはり他人なんだ、と泣く という。

"əñə, ama," undiisi, "əji songoaso," undii,  
「お母さん、お父さん、泣かないで、」と言う、

"mii xaido bičin-dəə sumbiə xəm taosəŋgəjaambi"-m-da.  
「私はどこにいても あなた方のことを全て 知るでしょう、」と。

"əji songomaari biəsə," undii, "mimbiə əji kisiakowa baawaandaaso"-m.  
「泣かないで いて下さい、」と言う、「私を 不幸な目に 遭わせないで下さい、」と。

ə~ŋ tui taijji gəsə pujin-gulə duərəpsingoxan  
そう言うやいなや プジンは 歩き出した。

təi nai morini gaəjoxan poktowa čuul biiwəni,  
その人の 馬が 運んで来た 足跡が 真っ直ぐに 続いているのを (ついて行けば)、

xai moxogilai ənumi. tui duərəmi ənəmi-ə~ ənəmi-ə-lə undiisi  
何の 面倒な事があろう、帰るのに。そうして 歩いて 行って、 行って、

ə~ŋ təi mərəŋ-gulə undiisi ʒuliələni jəpurrr susuəŋkini.  
あの ムルグンが 前に シュルシュルと 進み出て来た。

əsi-təni undiisi ə~ŋ təi-təni, taisi ənəičəini talqjalani xaktai,  
今 彼は、 岸から離れてあっちへ行こうとすれば、 山側に 立ちふさがり、

ʒakpasi ənəičəini ʒakpialani xaktai ʒuliəwəni xaktakaəcia undə.  
岸の方へと 行こうとすれば 岸辺の側に 立ちふさがって、 前を 遮ろうとする という。

ə~ŋ xəməŋgūjjiəni ʒaraliadaasi,  
黙っていて 話し出しもしない、

ʒilgandaasi tui tami pujin undiini-goani, "anda~ mərəŋ," undiisi-ə,  
声もなく、そうして、 プジンは言うのだ、「ああ、 ムルグンよ、

"kəkəŋgūjjiə aoxasi kəkətəri-ə~, axəŋgōjjiə aoxasi adada," uŋkin,  
女奴隷と 寝たあなたは臭いわ、 女奴隷と 寝たあなたは 汚いわ、」と言った、

”mæpi silkondagoroo”-m. ə~ŋ tui taraa-la kəkə-lə,  
「自分の体を洗いに行つて来なさいよ、」と。 そうしてから、

xai mærgən-gulə ənuxəni,  
ムルグンは 立ち去つた、

tawaŋki-la tui duəragumi j̄jumi j̄jumi undiisi,  
そこから そうして 歩いて、 戻つて 戻つて、

ə~ŋ mæən irgəmbi isigoxani. ə~ŋ əsi-təni aaglaji isigoxan...  
自分の村に 着いた。 今 自分の兄のところへ 着いた、

aagbi j̄oolani isigoi-goani.  
兄の 家に 着くのだ。

ə~ŋ iiguxə~n aapni-tanii undii,  
家に入った、兄は 言う、

”əje, aapan̄go~ xaido biiji j̄juxəni,  
「あれあれ、妹よ、 どこに いたところから 戻つて来たのか、

əi maŋga gorōjia duəraxəni bičini taa saañakto isindagoxan.”  
これはひどく 遠い所から 歩いてきた ようだ、 すっかり 霜だらけで 到着したものだな。」

ə~ŋ puŋjin-təni əsi-təni xəm xājombi ačoktagoxan,  
プジン は 今 全ての 装束を 脱いだ、

ñaar ñaar əsi malodo osiowaan̄kin, əsi-təni undiisi,  
ゆつたりと 今 真ん中の席に 落ち着いた、 今

siaori ərin isixan, siaridoji ə~ŋ undiini-goani,  
食事の 時間になつた、 食べる時に 言うのだ、

gusəraguini-goani, tui tui bičimbi, tui tui j̄juxəmbi,  
物語るのだ、 これこれしかじかだったと、 あれこれああしてこうして 戻つて来たど、

kəkə tui tui mæpi argasixambani-da.  
女奴隷が ああしてこうして 自分を 騙した事を。

”ə~ŋ čiiil kaatoli baŋjioxan,” undii, ”dərəgbəči, waaori-goani”-daa,  
「あの（女性性器）野郎め、」と言う、「ちつきしょう、ぶっ殺せ、」と（言う）。

”waaxambi-a,” undii, ”siindulə gidalakai,” undii,  
「殺しました、」と言う、「氷の穴に突っ込んでやりました、」と言う、

”əjiwəni-təniij ŋkəjə,” undii,  
「その夫には 言ってやりました、」と言う、

”anda mərəgən ajaktalai osini ajaktaloo,  
「ああムルグンよ、怒る なら 怒れ、

čiqjii osini čiqjiruu”-m-da.  
腹をたてる なら 腹をたてろ、」と。

”məne kəkəŋguji, əlčiqguji waaxambi-la xai papon ɔjaraa”-m-da.  
「自分のところの女奴隷を、奴隷を 殺したとて、何を禁止されることになろうか、」と。

”tui undəə siindulə gidalexambi,” undiini-goani.  
「そう 言ってから 氷の穴に突っ込んでやりました、」と言うのだ。

”xooni tui argapo-tanii-a~,” undii,  
「どんなにか そいつは ズルイ奴だったことか、」と言う、

”ərdəŋgə, mii-dəə ərdəŋgəsixəmbi,” undii.  
「なんか変だなあと、私も 不思議に思っていたんだ、」と言う。

”ə~ŋ tui taraa simbiə, bii-jə, ənuxə~n murčixəmbi,”  
「そうしてから おまえは、あちらにいと、嫁に去ってしまったものと思っていた、」と

undiini. ”jijjuaðəsi-ə-də. ərdəŋgə, təi, ləkə əələni-kəə,  
言う。「戻って来るわけではない。変だとは、あの、矢羽のようにせわしなく動いて、

xisanqoiwani-tanii ərdəŋgəsixəmbi,” undii,  
話をしていたのを 不思議には思ったのだ、」と言う、

”əi mii nəuji xooni tui xisanqoini uilə-bəki uilə-bəki mii undiijə,  
「これは私の妹はなんでこんな風に話すのか、上の者に向かって、私が話してるのに、



tui taraa niəguxəmbi,” undii, ”əčičə ərdəngəsəjə,” undiini-goani,  
そうしてから外へ出た、”と 言う、「それ以上不審に思わなかった、”と 言うのだ、

”ərdəngəsixəmbi,” undiini. ”simbiə-m əčičə murčičə...,  
「変だとは思った、”と 言う。「おまえだと思っていた、

sii tui xisaŋgoisi-a-m murčixəmbi, murčimi-dəə, murčixəmbi,” undii,  
おまえが ああ 話しているのだ と思っていた、そうは思ったが、思ったのだが、”と 言う、

”xaimi tui, tui xisaŋgoini mii undiijə, ujəktələ ujəktələ,”  
「どうして、ああ、あんな風に話すのか、私が話しているのに、上の者へ向かって、”と

tui, tui mərgən undiini.  
そう、そう ムルグン は 言う。

”tui taraa, andaxəji ilamosimi xəmə niəguxəmbi,” undiini-goani.  
「そうしてから、客人に対して 恥ずかしく なって 黙って 出てきたんだ、”と 言うのだ。

”ə~ŋ undiisi waaxan, waaxambi ojačiani waoxan osini aja bič’in”-m  
「殺したか、殺した 上に 殺しても 殺し足りないくらいだ、”と

pakpariini-goani aəŋni, aəŋni-tanii undiisi-ə.  
腹をたてるのだ、兄は、兄は。

əŋ tui taraa čado tui biə undə. tui biiduəni-ə~  
そうしてから そこで そうしている という。そうして いる 時に

əsi mərgən jičini. əjini jījuxəni.  
今 ムルグン が やって来た。夫が 戻って来た。

əsi-təni jījuxə~n aəŋnaal biini, pūjin biiduəni əsi.  
今 戻って来た、兄たちがいる、プジンが いるところへ、今。

isigoxan čado-tanii əsi-təni, ə~ŋ toriko~ jan,  
到着した、そこに、今、花嫁の身請け金を持って来た、中国の貨幣、

siaŋsa arkini, kagba arkini olbimi jičini. əjini-lə undiisi-ə,  
箱詰めの酒、土瓶入りの酒を 持って やって来た。夫は、

əsi-məə~ goidamaari čado arkiwa omimaari tui bičə~  
今度こそは、長いこと　そこで酒を　飲んで　そうしていた、

xado xado aongamaari, əŋ tui taraa ənuiduji undiini-goani,  
幾晩か幾晩か泊まって、　そうしてから　去る時に　言うのだ、

”anda~,” undiisi, ”asijja turgəsuən iraxaarso,” undiini.  
「友よ、　私の妻を　なるべく早く　運んで来てくれ、」と言う。

ə~ŋ undiisi təi, aənŋi undiini, ”gəə, iragoi-kol-daa ilalta bĭjəə-mə,  
その、兄は　言う、「さあ、運ぶのに　三日は　かかるだろう、

narasimi-kol-daa nadalta biuri bĭjəə-mə,” undiini.  
別れを惜しむのに　七日は　かかるだろうが、」と言う。

”nai, nai asiwani-daa xai goidamaari ĵapačĵaapo”-m-da.  
「人の　妻を　どうして　長いこと　留めておいたりするだろうか、」と。

ə~ŋ əsi-tənii puĵin xăjombani-tanii xə~m əəwuguxəči.  
今　プジン　は　家財道具や衣類を　全部　岸辺へ　持って下りた。

xə~m əəwuguxə~n, tui taraa čawa-tanii, xairiini-goani.  
全部　持って下りた、　そうしてから　それを、　どうするのだ、

tooiči, gila, əəwui-goani, nai-tanii undiisi,  
岸へ、大船に、運び下ろすのだ、人が、

əŋ puĵin əi-lə uiləxəni ĵakasal oi-noo. ə~ŋ koojol,  
プジンが　その　縫い上げた物の量は　少ないわけがない。　マストの帆の

gogdalaani ĵərgəĵieni puĵin xăjombani, tami,  
高さぐらゐまで　ほとんど達するくらいに　プジンの衣類や家財道具を、運んで、

kampixa~n tawaŋki-la undiisi, ənəi-goani.  
積み上げた、それから、　行くのだ。

irgəmbə isiiči-la undiisi əĵini-lə undiisi,  
村に　着くと、　夫は、

aisima ajamji aňaňko~, mæŋgumæ kryškako~ açaňkini, tooiči.  
金の スウンの首飾りで飾りを着け、銀製の 盃を持ち、 出迎えた、岸辺の所で。

əlčisəl-dæ əgji-ə, kəkəsəl-dæ əgji-ə,  
奴隷たちも たくさん、 女奴隷たちも たくさんいる、

təi amini ənini-dæ təi mapa mama-daa čado bii-jə.  
あの 父 母も、 つまりあの おじいさん おばあさんも そこにいる。

əsi-tənii pūjin-tənii undiisi-ə, ə~ŋ xulundii-goani,  
今 プジンは、 船から岸へ下ろすのだ。

nai əgjiini-tul, açaňkimbani, xəjombani tooboiči-goani.  
人が たくさん、 迎えに来てくれていた者たちが、 服や家財道具を 運び上げるのだ。

təi-tənii pūjin-tənii nai xəjomba tooboxan gurun-tənii,  
その プジンは、 人に、 その服や家財道具を 運び上げてくれた 人たちに、

əm nai-daa əčio booloani, xəm nai taondoani pulə xəjokaasalbi,  
ただの 一人さえも 渡し忘れることなく、 全ての 人 毎に 余った 物を

sijaa bii ĵakasalba buuktəxəni-də. ə~ŋ undiisi nai taondoani.  
新品同様の中古品である 物を 与えてもらった。 全ての 人 毎に。

əŋ təi amini ənini ənilexəni mapa mama-da bii-goani,  
あの 父と 母が、 実の親とも思う おじいさんと おばあさんが いるのだ、

təi mapəji maməji agdanasimaari baogoi-goani,  
その おじいさんと おばあさんが 大喜びで 再会するのだ、

təi piktəwəri ĵjuxəmbəni. əsi-tənii~ undiisi  
その 自分たちの娘が 戻って来たのを。 今、

xadolta xadolta əniniəni, əi aarŋnaani, arkiwa omii-ja~  
数日 数日 母たち、 この 兄たちで、 酒を 飲む、

tui bipəəri undiisi-ə, ənui-goani. ə~ŋ ənuxəni xamialani-la undiisi  
そうして しばらくいたのちに、 去るのだ。 去った 後で、

ə~ŋ puʃin-gulə undiisi, tɔi mapawa mamawa-la undiisi  
プジン は、 その おじいさんと おばあさんを

mænčiji gaəjoxani-a~ gilonjiala očogowaŋkini undiisi,  
自分のところへ連れて行った、左側の席の側に 落ち着かせた、

kəkə, əlci dəŋsi-jə undiisi. mapa mama-tanii undiisi,  
女奴隷と 奴隷が 仕える。 おじいさんと おばあさんは、

waisi kəčərigupi siunpuu~n, duisi kəčərigupi siunpuun  
川の方へ 振り向けば 肉の串焼きがあつて、山の方へ 振り向いても 肉の串焼きがあつて、

siamaari baljiloxači, əsi-təni, ə~ŋ aakčiji-tanii puʃin-tanii,  
いつも十分に食べて 豊かに暮らすようになった、今、 兄のところへ プジンは、

siksə siaxan singərəəji~, ini siaxan isələŋji,  
夕方 食べた物は ネズミで、 昼に 食べた物は トカゲで、

čimii siaxan, čičoonji irasomaari baljiloxan.  
朝に 食べた物は、セキレイで 運んで 暮らすようになった。

goro bičə~jja bičə, ələə.  
長いこと いた、短いこと いた、 終り。

2000年4月7日 ダエルガ村にて録音

N. B. Gejker 氏 口述

12. əm puʃinʃi kəkəʃi balʃixani  
一人のプジンと女奴隷とが暮らしていた

ə~ŋ undiisi əm ʃoo doolani əm puʃinʃi~ kəkəʃi balʃixani.  
ある家の中に 一人のプジンと女奴隷とが暮らしていた。

təi kəkəŋguni-tənii ko~li anaa dəŋsisuni-tənii~,  
その女奴隷は 並みはずれたよく気がつく働き者で、

dəŋsii təi, puʃin-tənii tul tu~l ənusiini-goani,  
仕えている、その、プジンの方は いつもいつも病いに臥せているのだ、

aomdo tui biə undə.  
寝たきりでそうしているという。

tui bimi~ tui bimi xaimi-daa mutəəsi osixani.  
そうして、そうして暮らしていて、どうにも何もできなくなってしまった。

”əŋ kəkə~,” undiisi, ”mii xəurgujijə angoroo,” undii.  
「ああ女奴隷よ、 私の 棺桶を 作っておくれ。」と言う。

”ə~ŋ təə~ sapsi kiraəciani, əəwureə undəxəkəən,  
「ほうれずつとあの川岸の所へ、 運び下ろしてから、板を、

xaijal-gəs undəxəkəənʃijəni angoroo,” undii,  
どんなのでもいいから 板で 作っておくれ。」と言う、

”xəurgujijə, muə-dəə iirəsʃijəni-də.”  
「私の棺桶を、水も 入って来ないように。」

əsi-tənii kəkə-tənii əjəni tui uŋkin-tənii  
今 女奴隷は 主人が そう言ったものだから、

soŋgomi-a~ angoini-goani, xəurbə.  
泣きながらも作るのだ、 棺桶を。



əsi-tənii kəkə-tənii songoi-daa songoini-goani.

今 女奴隸は 泣きに 泣くのだ。

nai ujunduləni xəur doolani nəəuri.

人を まだ生きている間に 棺桶の 中に 入れるのなもの。

”əŋ tui taraa taisi anaroo,” undiini-goani, ”mimbie.”

「そうしてから 川の中の方へ 押せ、」と 言うのだ、 「私を。」

əsi-tənii pūjimbə-tənii undiisi-ə təi,

今 プジンを、 その、

təi xəurni doočiani silaa~n kəkəŋguni oowoxan undiisi

その 棺桶の 中へ 何とかしてやっこさ女奴隸は 乗せた、

əsi-tənii tui taraa undiisi, uləən dasigoxani,

今 そうしてから よく 蓋を閉めた、

əsi-tənii tui songomi-la kəkə-lə təi,

今 そうして泣きながら 女奴隸はその、

əŋ komtaambani-la paačilagoxani, tui taraa undiisi,

棺桶の蓋を 打ち付けた、 そうしてから

xəurbə-lə undiisi taisi anaxani.

棺桶を 川の中の方へ 押した。

ə~ŋ təi xəurbəni ilgalaxan-tanii ĵəə bii-nuu,

その 棺桶を 彫って模様をつけたことは 全く並み じゃない、

gasa bii-dəə, ələə dəgdəmulə~, gasa bii-dəə ələə moramola biijjəni,

水鳥があれば、今にも 飛び立ちそうで、水鳥があれば、今にも 鳴き出しそう なぐらいいに、

ilgalaxani, təi kəkə. əŋ tui taraa-o~ anaxani.

上手に模様を彫った、その 女奴隸は。 そうしてから 押した。

təi-tənii xəjədu xəjəxən, xəjami ənəə undə təi-lə,

それは 流れに 流れて行った、流れて 行く という、その、

majbo tokombani tui taisi čisaxani gəə,  
大河の真ん中を そうして川の中の方を よりまん中の方へと進んだ、さあ、

xəur tui ənəə undə. tui ənəiduəni-ə～  
棺桶はそうして行くという。そうして行くときに、

ənəiduəni undiisi, əm kəkū-lə ojaalani čakorčia～ dooxani.  
行くときに 一羽の カッコウが その上に フワリと 舞い降りた。

”kəkū, kəkū,” moraxani. ”ə kəkū mərəgə～n,” undiisi-ə,  
「カッコウ、カッコウ、」と鳴いた。 「ああ、カッコウの ムルゲンよ、

”ə～ŋ xai, əji čokira,” undii, ”čokičiraa moraraa tui, əji morara～,”  
突つくな、」と言う、「突ついたり鳴いたり そんな風に、鳴くな、」

undii, ”əji xəurbə poldoliačia”-m-da. ə～ŋ təi-təni kəkū-təni,  
言う、「決して棺桶に 穴を開けるな、」と。 そいつは、カッコウは、

tuək tuək, tuək tuək, čokiraa gəə, ”anda～ pūjin,” undiisi,  
トウツク トウツク、トウツク トウツク、と突ついてさあ、「ああ～ プジンよ、

”xai-daa ərdəŋgəni, ə～ŋ xaila-daa undiisi, aɡbindii osini,  
「何とか うまい方法で、 どこからか 蘇って現れたなら、

xai-daa əriinduəni əusi, kiirigoi osini,  
いつの 時にか こちらへ、立ち寄るなら、

mindulə kiirixaari,” umi～ dəgdəguxəni. ə～ŋ tawarŋki tui ənəə undə.  
私の所へ立ち寄ってくれ、」と言って飛び去った。 そこからそうして行くという。

tui ənəmi-ə～ ənəmi-ə-lə əm boado-la undiisi,  
そうして行って、 行って、 ある 場所で、

əŋ saksii saman, talgiawani-a～ irgəni talgiawa xəjəə undə.  
カササギの シャーマンの、向かいの所を、その村の 向かいの所を 流れて行くという。

tui taraa saksii saman dəgdərəə əsi dooxani.  
そうしてから カササギの シャーマンが 飛んできて 今 とまった。



”saak saak saak, tuak tuak tuak,” čokia undə.  
「サーク サーク サーク、トゥック トウック トウック、」と突つつくという。

”əə saksii sama~n,” undiisi-ə, ”xəurbiwə poldoliači-a əji čokira,”  
「ああ、カササギのシャーマンよ、 私の棺桶に穴を開けるな、突つくな、」と

uŋkini. ə~ŋ təi-lə, lərguə~ ʃaralixani, ”anda~ pūjin,” undiisi,  
言った。 そいつは、はっきりと話し出した、「ああ、 プジンよ、

”əŋ xai-daa boa-daa boa bojalani boʃaagoi-daa~,  
「どこでも どの場所でも 天の 穴から 現れるのであっても (何でもよいから)、

xai-daa ərinuəni tui kəəndəliɡui-dəə, ə~ŋ xəikuxəəri, kiirixaari,”  
いつの 時にか、 そうして 戻って来たならば、 立ち寄れ、 立ち寄れ、」と

umi~ dəgdəguxəni, xusə mərgən, xusəni ʃilɡani bičin.  
言って 飛び去った。 男の ムルグンだ、 男の人の 声で あった。

tawaŋki-la tui ənəə undə, tui ənəmi~, ənəmi-ə-lə,  
そこから そうして 行くという、 そうして 行って、 行って、

pūjin-ɡulə tui aorii-goani, xai udəwə ənəini-us, xai udəwə ənəini-us  
プジンは そうして 寝ているのだ、 どんな 所を 行くのやら、 どんな 場所を 行くのやら、

tui tami undiisi, əm boala-la ʃoo~r xaara undə,  
そうして、 ある 所で ジャリジャリと 接岸する という、

xəurni-lə əmutu nai oɡdawa tataini-mat, duisi ənəə undə.  
棺桶は まるで 人が 舟を 引き寄せたように、 岸の上へと 行くという。

tui tami undiisi, kolom osiini undiisi,  
そうして、 静かになると、

nai ɡəmur ɡəmur ɡəmur ɡəmur nai taa undə.  
人 (の音が) モゴモゴ、 モゴモゴと 人が 話している という。

təi-təni əsi-təni, komtaambani-la kuəp dəgbəlixəni.  
彼らは 今、 棺桶の蓋を バツと 開いた。

ə~ŋ xamačaa-daada nai-daa anaa xai-daa anaa bičín,  
いかなる 人も いない、何も なかった、

pūjin ičəini-lə undiisi, silaa~n tajǎjiala agbiŋkini.  
プジンが見るに。 やつとのもので その棺桶の中から 外に出た (プジンは)。

ičəini-lə əm xurəən xooŋkoni bičín.  
見るに、一つの丘の 崖が あった。

təi-lə xurəən xooŋkoni ojalani paka~ paka bii,  
その丘の 崖の 上は (山火事ですっかり焼けて) 黒々と している、

ə~m moo-daa anaa, xəm paka paka ʒəgdəktu-maŋa.  
一本の木さえもなく、すっかり 黒々と 焼け跡ばかりになってしまっている。

ə~ŋ čado-la ičəguini biəsi, təi təə dujələlə biə undə,  
そこで 見るに、 そのずっと 川から離れた側の方にある という、

əmə ʒookaan, nučikuu ʒookaan.  
一軒の 小屋、 小さ～な 小屋。

əŋ təi-lə ʒookaan paawalani undiisi, ə~ŋ ʒabjaan-noo xai-noo undiisi,  
その 小屋の 窓の所から、 ヘビだか、 何かか、

kianjasaa~n boaci agbiŋka biə undə ʒilini-la.  
鎌首をもたげて 家の外へ 姿を現していたのである という、その頭を。

əsi-təni pūjin-təni undiisi čala-daa agbiŋgoraa tawaŋki-la,  
今 プジンは 棺桶から 出てから そこから、

toopsiŋkini, mikugurəə~, čaawogoraa tami ŋoxoraaciimi toora undə.  
上り始めた、 這ったり、 這いつくばったり、 して お辞儀をしながら 上る という。

əŋ toopi-a ŋoxoraaciiraa toopi-a ŋoxoraaciiraa taa undə.  
しばらく上ると お辞儀をして、 またしばらく上ると またお辞儀をしたりする という。

təi-təni mikurəə čaaworaa təi xurəəmbə uisi tooxani.  
彼女は 這って 腹這いになって その丘を 上へと 上った。

silaa~n isixani. ə~ŋ uikə daadoani, ŋoxoraŋkini-a~  
やっとのことで 着いた。 戸口の所で、お辞儀をした、

tui tapi kəndərximbə iigupi ŋoxoraŋkini bičini.  
そうすると 階段つきの張り出し玄関を 入ると お辞儀をしたのだった。

əŋ čado-la undiisi, puimur-gulə biə undə.  
そこに ヘビが いる という。

təi-təni undiisi-ə, daai puimur-nuu xamačaa-noo ʃabjaan-noo olgomi-os,  
そいつは、 大きなヘビだか、 何だか、 ヤマカガシだか、 ツチノコだか、

təi-təni undiisi, paawala-la gurpučičə undə.  
そいつは、 窓の所から じっと睨んでいる という。

ə~ŋ puʃin-gulə undiisi ə~ŋ təi-lə ʃiliji boāči  
ブジンを、 そいつは、その鎌首を 外へもたげて、

gəmur gəmu~r gəmur gəmur xai uŋkini-us xai uŋkini-us.  
モゴモゴ、 モゴモゴと 何を呟いたのか、何を言ったのか。

əsi-təni undiisi ə~ŋ čado-la əm, nučikuu~ xai biə undə,  
今 そこに 一匹の、小さな あれがいる という、

indakaan, alxa kəičəkəən.  
子犬が、 ぶちの子犬が。

”ə~ŋ əgəə əusi ʃʃjuruu,” undiini, təi kəičəkəələji ʃaralixani.  
「ああ、姉さん、こっちへ来い、」と言う、 それは 子犬なんだけれども 話し出した。

ə~ŋ tui taraa xəəsiiduəni aksondolani-la  
そうしてから その呼ぶ所には 戸口に近い所に

əm siŋgərə omokaani-maa biə undə.  
一つのネズミの 巣のような小さな穴がある という。

”əidu ʃiliji nəəruu,” undii, ŋoani-daa čala iixəni təi kəičəkəən.  
「ここに自分の頭を置け、」と言う、 そいつ自身も そこへ 入った、その子犬は。

ə~ŋ pūjin-gulə čado~ jiliji nəxəni. xao~nčok ənəxəni.  
プジン は そこに 頭を 置いた。 気を 失ってしまった。

ə~ŋ tɛi-lə undiisi, xaixani. xaončok ənəxəni undiisi,  
彼女は どうした。 パツタリ 気を失ってしまった、

əm joo tuliəduəni ilisiələjijə saagoxani.  
一軒の家の 中庭の所に 立っている自分に 気がついた。

ə~ŋ tɛi-lə, joo tuliələni-lə undiisi  
その、家の 中庭の所で、

ə~ŋ uikəduəni japaraa~ iixəni undiisi-ə.  
戸を つかんで、 入った。

əŋ iirə ičəmi əm pūjin-gulə čənsop ilijiji gəse  
入ってから 見ると、一人のプジンが ガバツと 立ちあがるやいなや、

kərkicəjje ilimi jičini, "əgəe jicisi-nuu,  
かまどの横の場所から 立ちあがって やって来た、「姉さん 来ましたか、

əi-lə əgəe gujijələni," ə~ŋ əsi-lə tɛi-lə pūjin-gulə pūjimbə-lə undiisi,  
これは 姉さん、お可哀想に、」と 今 その プジンは プジンを

japaraa~ undiisi, nakan baaroani nəxəni undiisi tui taraa undiisi,  
つかんで、 オンドルの方へ 寝かせた、 そうしてから、

xaiji-gdal silkočixan-os xaiji-gdal silkočixan-os undiisi  
何で 洗ったんだか、 何で 洗ったのか、

ə~ŋ pūjin-gulə čado tui aorii-goani.  
プジンは そこに そうして 寝ているのだ。

ə~ŋ siagoani buuriini-dəe siami-daa ačaasi, tui aoriini,  
食事を 与えてくれるのだが、 食べようにも ダメだし、 そうして 寝ている、

tui aomi-a~ aomi-a-la, əŋ pūjin-gulə undiisi ə~ŋ saagoxani.  
そうして 寝ていて、 寝ていて、 プジンは 気がついた。

xailoo ulæen osigoini bičin, bəjeji-dæ ulæen, tuiŋkuini-dæ aja bičin.  
何とも体の具合が良くなっているのだった、体も 良い、動くのも 大丈夫だった。

əsi pūjin-təni čāji aomi ajanagoxani. ə~ŋ tui taraa undiisi  
今 ブジンは それで寝ていて良くなった。 そうしてから、

ə~ŋ tɔi-lə təni bəjəguji baarii pūjin bičini čado.  
それはたった今体が できあがったようなブジンであったのだ、そこにいたのは。

”əñə~,” undiisi, ”xooni ərdəŋji isindaxasi,” undii, ”əusi.”  
「姉さん、 どんな 方法で やって来たんですか、」と 言う、「ここへ。」

”əəpaŋgoa~,” undiisi, ”mii-lə,  
「妹よ、 私は、

xaosi-daa jičimbi-daa saarasimbi-a,” undiini.  
どこへ 来たのかも さっぱりわからないのよ、」と 言う。

”baŋjixanŋiji tu~l tul ənusijə,” undii,  
「生まれてこの方いつもいつも 病いに臥せていたのよ、」と 言う、

”tui taraa kəkəŋguji xəurbə anaraa, aŋgoraa mimbə čindaxani,” undiini,  
「そうしてから 女奴隷が 棺桶を押してから、作ってから私を 送り出したの、」と 言う、

”əi muəwə, əi, tui xəjəmi jičimbi,” undii.  
「この川を、 これを、 そうして流れて やって来たのよ、」と 言う。

”ə~ŋ əi tooidoasi-tanii joor nai tataini-mat tooxambi,”  
「この あなたの岸の所に ジャリジャリと 人が引っぱったかの様に 上陸したのよ、」と

undii, ”xai, xəur tooxani, xaaxani,” undii,  
言う、「棺桶が 上ったら、接岸したら、」と 言う、

”tui taraa-tanii xaini-gdal dəgbəlixəni-us,  
「そうしてから いったい何が 蓋を開けたのかしら、

xai gəm gəm gəm gəm gəm nai jilgan taxan,” undii,  
何か モゴモゴ、 モゴモゴと 人の 声が していたわ、」と 言う、

”xai-daa nai jilgambani-daa əciə taakoaji,” undii,  
「何だか人の声なんだかもわからなかったわ、」と言う、

”xai-daa undiiwəni-dəə, əciə otoliaji,” undii.  
「何を言っているのかも、わからなかったわ、」と言う。

”ə~ŋ nai nixəlixəni,” undii, ”tui taraa-tanii undiisi-ə,  
「人が開けたの、」と言う、「そうしてから、

əŋ silaa~n iliraa niəxəmbi,” undii,  
やっとの思いで立ちあがって外へ出たわ、」と言う、

”nai-daa abaa xai-daa abaa bičini,” undii, ”içəxəmbi,” undii,  
「人もいないし、何もなかったわ、」と言う、「そして見たの、」と言う、

”xurəŋgusi-təni, pakaa~ pakaa jəgdəktuni,” undii,  
「あなたの丘が、黒々と すっかり焼け跡になっているのを、」と言う、

”tui taraa içəguxəni-təni, jookaamba içəxəmbi,” undii,  
「そうしてから さらに見た、小さな小屋を見たわ、」と言う、

”tui taraa, muikumi tooxambi-a~,” undii,  
「そうしてから、這って 上った、」と 言う、

”təi paawa-la-tanii, jabjaan-noo~ olgomi-noo gurpučiini,”  
「その窓の所には、ヤマカガシだか、ツチノコだかか鎌首をもたげている、」と

undiini-goani, ”tajala, mongoni taa, agbičiini-a”-m,  
言うのだ、「そこから、首を 出しているのよ、」と、

”kianjaigan, čawa-tanii tui ñoxoraačimi tooxambi,” undii,  
「鎌首をもたげて、それを そうしてお辞儀をして上って来たのよ、」と言う、

”silaa~n uikələni iirəə, ə~ŋ dookiači iiriijwə,  
「やっとのことで戸の所から 入ってから、 家の中へ 入った私に、

təi-təni gəm gəm taxan,” undii, ”čado təi kəičəkəən iraxani,”  
そのヘビはモゴモゴと言ったわ、」と言う、「そこであの子犬が 運んでくれたのよ、」と

undiini, "gəə, əusi." əsi-təni gəə tɔi pɯjin-təni, tɔi pəjimbə,  
言う、「さあ、ここへ。」今 さあ そのプジン、そのプジンに、

"gəə, gəə, əgəə~, " undiisi-ə, "mii amimbija~, " undii,  
「ああ、ああ、姉さん、 それは私の父なんです、」と言う、

"tɔi, tɔi, amaa ərgəni kəəndəliɡuini-təni, " undiisi-ə,  
「それは、そのへビは、父の 魂が さまよい回っているんです、

"xamačaa-daa biəsi, " undii, "moo-daa jəgdəi,  
他の何者でもない、」と言う、「木も 燃えてしまう、

xamačaa-daa xəm jəgdəi, " undiini, "tui tami biini, " undii,  
どんな物でも 全て 燃えてしまう、」と言う、「そうしている、」と言う、

"əi xurəəndu əm moo-daa abaa, əm xamačaa-daa abaa, " undii,  
「この丘には 一本の木さえもない、たった一つの何さえもない、」と言う、

"əm jolo-ragda-la, " undii, "əm nəjaxa-daa anaa paka paka,  
「ただ 石だけだ、」と言う、「一本の草さえもなく 真っ黒けだ、

xurəən ojani xəm jəgdəktu.  
丘の上は 全て 燃えてしまった。

ə~ŋ amaa tɔi tɔj uləəmbəni dobdaxasi-a~, " undii,  
父さんが その一番 落ち着いている良い時に あなたの来るのは間に合った、」と言う、

"kəsikusi, " undiini-goani. ə~ŋ tui taraa tui gusəəndui,  
「あなたは幸運だね、」と言うのだ。 そうしてから そう 話す、

tui bii~ tui biini, tɔi pɯjin-gulə mədəsəxəni,  
そうしている、そうしてしばらく過ごしていると、そのプジンが 訊いた、

"anda~, " undiisi, "suə, biiduəsə xooni bii-jə, " undiini,  
「友よ、 あなた方の いる所は どのなですか、」と言う、

"buə biipu-lə uləəni-goani-a, " undiini,  
「私たちの いる所は いいわよ、」と言う、

”moo-daa bii, muə-dəə bii maŋbo-daa bii,” undiini-goani.  
「木も あるし、水も ある、大河も あるわ、」と言うのだ。

”bundu-təni-ə, tu~l tul ənusixəmbi,” undiini-goani,  
「ただ私たちの所にいた時には、いつもいつも 私は病気していたのだから、」と言うのだ、

”baŋjixanŋijija, tui bičimbi,” undii,  
「生まれてこのかた、そうして暮らしてきたのよ、」と言う、

”əŋ ʒiakosi bičisi-nuu, əikəkusi-nuu,” undii mədəsiini-ə,  
「同居していた人はいたの、お姉さんは？」と言う、訊ねる、

”əikə-dəə anaajija,” undii, ”nəu-dəə anaajija əktəji,  
「姉も いないわ、」と言う、「下の兄弟も いないわ、女でも、

əktəji nəu-dəə anaajija, xusəji-dəə nəu-dəə anaa ŋaəjakta-daa anaa,” undii,  
女の 兄弟も いないし、男でも 弟も いないし、男の兄弟も いない、」と言う、

”təŋ kəkəji bičimbi, kəkəji ʒuərukəən,  
「ただ 女奴隷と いたのよ、女奴隷と 二人っきりで、

kəkəŋguji-dəə tui soŋgomi dərəjixə~n,” undii,  
女奴隷の方も そうして泣いて 居残ったのよ、」と言う、

”əsi xooni bii-us xooni bii-us-də.”  
「今 どうしているかしら、どうしているのかしら、」と。

əŋ tui tami undii, ”anda~,” undiisi,  
そう して 言う、「友よ、

”əŋ suə, baŋjiiso boawa ičəndəgumi ənəmi aja~,” undiini-goani,  
あなた方が 生まれた 土地を見に 行くべきだわ、」と言うのだ、

”gəə, ənuɠuuri, ənuɠuuri,” undiini-goani, buŋjə puŋjin.  
「ええ、行きましょう、行きましょう、」と言うのだ、 我らが プジンは、

gəə tui puŋjin-dəə čixalai. ə~ŋ mədəsiini-goani,  
さあ その プジンも 同意する。 訊くのだ、



”nəu, xusə nəukusi-nuu~”-m xaisi mədəsiini-goani.  
「弟さんがいるんじゃないの、」と再び 訊くのだ。

”xusə-dəə abaa,” undii, ”aakosi-noo, nəukusi-nuu.”  
「兄も弟も いないわ、」と 言う、「お兄さんか、弟さんがいるんじゃないの。」

”xai-daa anaajija,” undiini-goani.  
「誰も いないのよ、」と 言うのだ。

”ə~ŋ əktəji-dəə nəu anaasi-noo.” ”abaa~,” undii,  
「女の 年下の兄弟は いませんか。」 「いないわ、」と 言う、

”təŋ kəkəji ʃuərukəən balʃixapo,” undiini-goani pūjin.  
「ただ 女奴隷と 二人つきりで 暮らしていたのよ、」と 言うのだ、 プジンは

ə~ŋ gəə ənəini osixa~n undiisi-ə, tui taraa pūjin undiini-goani,  
さあ 行くこととなった、 そうしてから プジンは 言うのだ、

nəučiji kəičəkəən simuəčiini-goani siamaari tui taraa ənuxən.  
すると自分の妹へ (兄である) 子犬が ささやくのだ、 食べて、そうしてから 出て行った。

tui tapi-o~ kəičəkəən ʃjuxən. ə~ŋ undiisi, ”amaa čixalaxan,”  
そうしてしばらくすると 子犬が 戻って来た。 「父さんは 同意したよ、」と

undii, ”ənuiwəsi.” gəə əsi-təni ʃuəjieri waisi əuguxə~n,  
言う、「おまえが行ってしまうことに。」 さあ、今 二人で 川岸の方へ 下りた、

ʃajji-ja-daa baaxambari ʃaaroani undiisi,  
小舟でも 見つけたのだらう、

ə~ŋ ʃajji-la ʃuəjieri təəgurəə soiramaari tui soloal undə.  
小舟で 二人で 座って 二本のオールで漕いで、そうして 川を遡った という。

”ə~ŋ xəjəpči ʃičimbəsi tami soli soloori-goani,” undiini-goani,  
「下流へ流れて あなたは来たと言っただもの 上流へ 遡るべきだわ、」と 言うのだ、

tui ənəmi tui tami-a~ goro ənəkə ʃjja ənəkə,  
そうして行って、そうして 長いこと 行った、短いこと 行った、

tui solomaari undiisi, xai, əm ʃuər maŋbo ʃaaorbani isixači,  
そうして川を遡って、 ある二つの大河の合流地点に着いた、

ənʃjə maŋbo səəǰən muə xəjəi, ənʃjə maŋbo ʃaaǰjan muə xəjəi.  
片方の大河には赤い水が流れ、もう一方の大河には白い水が流れている。

”anda~,” undii, ”suə muəŋgusi xawoini-a,” undii,  
「友よ、」と言う、「あなたがたのところの水はどっちなの、」と言う、

”əi səəǰən muələ-kəə soloori-noo,  
「この赤い水に沿って遡って行くべきなのか、

ʃaaǰjan muələ-kəə soloori-noo,” undii.  
白い水に沿って遡って行くべきなのか、」と言う。

”ui saariini-a~,” undiini puǰin,  
「誰がそんなこと知っているの（私が知るはずがないでしょ、）」と言う、プジンは。

”xawoi-daa muələ ʃičimbi-dəə saarasimbi”-m.  
「どちらの水の方から来たかもわからないもの、」と。

”a ʃoogdo muəwə omiiso xooni, xooni bii muə bičin,”  
「でも家で水を飲んでいた時はどうだったの、どんな水だったの、」と

undiini-goani, əŋ təi andaxa puǰin.  
言うのだ、そのお客に来るプジンは。

”buə omiori muə gəŋgən bičin-goani,” undiini-goani,  
「私たちの飲む水は澄んだものだったわ、」と言うのだ、

”gəə əi gəŋgən muəwə solomi aja,” undiini-goani,  
「さあ、この澄んだ水を遡って行けばいいんだわ、」と言うのだ、

tui ənəmi, tui ənəmi~ənəmi,  
そうして行って、そうして行って、行って、

əŋ saksii saman irgambəni isigoxači undiisi, ə~ŋ ʃala-la xaarii-goani.  
カササギのシャーマンの村に着いた、そこに着岸するのだ。

ə~ŋ pūjin tooxan, tooxaal tɔi pūjiusəl  
プジン は 上った、上った、その プジン たちは、

tɔi saksii saman mɔrgən, ʃəə jaoksiini tɔi pūjiusəlbə-lə.  
その カササギの シャーマンの ムルグンは すごく 歓迎する、その プジン たちを。

ə~ŋ čado-la ŋaŋga naija jaoxixandoani,  
そこで ちょっとの間 人が もてなしてくれた時に、

tui ŋaŋga bičəəl tawaŋki tui susuguməəri tui ənəi,  
そうして 少しの間 留まった、そこから そうして また 出発して そうして 行く、

tui ənəmi~ənəmi undiisi, kəkuu mɔrgən irgəmbəni isigoxači.  
そうして 行って、行って、 カッコウの ムルグンの 村に 着いた。

əŋ tɔi-lə kəkuu mɔrgən irgəmbəni, əŋ əjən xaambani ələə isiidoači-la,  
その カッコウの ムルグンの 村に、 その 主たる 長の所に もう 今にも 着くという時に、

əm, tənii bəjəguji baarii naonjokaan-gola tutumi əurə undə,  
一人の、 たった 今 体が できあがったばかりのような 少年が 走って 下りて来る という、

wajaa... dujəəjia-lə. "əgəə ʃjuxəsi-nuu," undii,  
山の側から。「姉さん、戻ってきましたか、」と 言う、

"əgəə, isindagoxasi-noo," undii, tɔi-lə undiisi-ə,  
「姉さん、着きましたか、」と 言う、その 少年は、

ə~ŋ xə~p pūjimbə-lə naamaŋkini, tɔi naonjokaan undiisi,  
ガバッと プジン を 抱きしめた、その 少年は、

"əgəə~," undiisi-ə, "ə~ŋ mii-tənii, simbiə gasai," undiini-goani,  
「姉さん、 僕は、 あなたのことを 悲しんでいました、」と 言うのだ、

"əgəə," tui taraa undiisi-ə,  
「姉さん、」と、 そう してから、

"ə~ŋ əi kəkuu saman-tanii mimbiə ūjixəni," undiini-goani.  
「この カッコウの シャーマンが 僕を 育ててくれました、」と 言うのだ。

gəə əsi-təni nəuji                   baoxan,   təi pūjin.  
さあ今       自分の実の弟を 見つけた、その プジンは。

andaxa pūjin,       "ɡəə,"       undii, "nəuji anaajija       undəčisi-kəə,  
お客の プジンは、「ほうら、」と言う、「弟は いないわ、って言っていたじゃないの、

mii xusə nəu anaajija-m,   baoxasi   biəsi-kəə,"       undiini.  
私は男の兄弟は いないわって、見つかったじゃないの、」と言う。

ə~ŋ əsi-təni undiisi, nəuni-daa, totapi   ənuini       osixan.  
今                   弟も、       そうしてしばらくしてから 帰ることになった。

"əwəŋki   jīja,"       undii,   "jookčiji."  
「ここからは近い、」と言う、「家へは、」

əŋ tui   taraa   juəjiəri tawaŋki sologomaari ənəgui,  
そう してから 二人で そこから 上流へ遡って行く、

tui       ənəməri~ ənəməri mæn   jookaambi baogoxani.  
そうして行って、 行って、自分の 小屋を 見つけた。

əŋ tooilaji   xaakoini   undiisi ə~ŋ kəkəŋguni songgomi əugukə   undə.  
岸辺の所に 接岸すると、                   女奴隷が 泣いて 下りて来た という。

təi-təni songgomi songgomi, əikəji naamandii...  
彼女は 泣いて 泣いて、

təi pūjimbə naamandiijiji gəsə   təni   bəjəguji baarii   pūjin   očogoxani.  
その プジンを 抱きしめるやいなや、 たった今 体が       できたような プジンに 変身した。

əŋ gəə, əsi-təni agdaxan-tanii jəə-nuu,                   undiini-goani,  
さあ、今       喜んだことは 並みだろうか、 言うのだ、

"xai, anda~," undii, "undəčisi-kəə,"                   undii,  
「友よ、」と 言う、「言ったじゃあないの、」と 言う、

"əktə-dəə nəukujə undiisi,                   nəuji   olbimbori   bičin-goani-a~,"  
「女の 兄弟もこうしているとすれば、 うちの弟も 連れて来るべき だったのに、」と

undiini-goani. "ə~ŋ sii xooni saarasi biəčisi-kəə," undii,  
言うのだ、 「あなたは どうして 知らなかったのよ、」 と 言う、

"əsi-kəə, nəuguji-dəə baogoxasi biəsi-kəə," undii,  
「今こそ、年下の兄弟に 出会ったじゃあないの、」 と 言う、

"əktə-dəə nəuku, xusəji-dəə nəuku očogoxasi biəsi-kəə."  
「女の 兄弟(妹) もいるし、男でも 兄弟(弟) がいるようになったじゃないの。」

"anda~ xooni saaori," undii,  
「友よ、 どうやって そんなことを あらかじめ 知り得ようか、」 と 言う、

"mii baljixanjiiji tul tul ənusii bičimbi, nai ʒaparaa ūjixəmbəni."  
「私は 生まれて以来、 いつも 病んでいたんだから、 人が 連れて行って 育てていた事など。」

təi nəuwəni-dəə nai ʒaparaa ūjixəni.  
その 弟は 人が 連れて行って 育てていた。

təi kəkuu mərgən ʒaparaa ūjiini-goani,  
その カッコウの ムルグンが 連れて行って 育てるのだ、

ñoanʒiani asigoji, saiini.  
その姉である彼女を 自分の妻にしようと考えて、 目星をつけておいたのだ。

ə~ŋ undiisi əsi-təni čado-la, əm xadolta bičin,  
今 そこで、 数日 経った、

təi nəuni-dəə ʒjuxə~n undiisi-ə,  
その 弟も やって来た、

əŋ təi kəkuu mərgən-dəə pujiŋji asilandagoxan undiisi.  
あの カッコウの ムルグンも プジンと 結婚するために やって来た。

əsi-təni undiisi-ə, əŋ tui bii-goani.  
今 そうしているのだ。

tui bimi əm xadolta... ʒarğa biŋji gəsə undiisi, ə~ŋ xaixani.  
そうして 数日、 ちょっとするやいなや、 どうした。

təi nəuʒi-tənii təi məənʒi ʒjuxən puʒimbə asilagowaŋkini.  
その自分の弟にその自分と一緒に戻って来た プジン を 娶らせた。

əŋ tui taraa tado tui bii-goani, təi,  
そうしてからそこでそうしているのだ、その、

kəkə bičɪn puʒin-gdal əʒi anaani-goani.  
女奴隷だった プジン には 夫が いないのだ。

ə~ŋ əsi-tənii tui tami-a-la təi-lə puʒin-gulə undiisi  
今 そうして その プジンは

əsi-tənii undiisi-ə, naawa xulumi dəruuxən əsi soŋtəʒi undiisi,  
今 地面を 掘り 始めた、今 深く、

”anda~,” undiisi, ”xai tami xuluisi,” ”anda~,” undii,  
「友よ、 どうして 掘っているの。」 「友よ、」と 言う、

”amaa ərguni kəəndəlɪi-ʒə,” undiini.  
「父さんの 魂が さまよい回っているのよ、」と 言う。

”ə~ŋ amaa ərguni kəəndəlɪi-tənii ilələ bii ʒaka-tanii,  
「父さんの 魂が 動き回れば 地上にいるものは、

xamačaa-daa baʒjasi,” undiini-goani,  
どんな者だって 生き残ることはできない、」と 言うのだ、

”moo-daa bii, moo-daa ʒəgdəi, xai-daa xəm ʒəgdəi,” undii,  
「木も あれば、木も 燃えてしまう、何でも 全て 燃えてしまう、」と 言う、

”nai-daa ʒəgdəi”-m-də. ə~ŋ tui taraa naa doola sirixači,  
「人も 燃えてしまう、」と。 そうしてから 地面の中へと 彼らは隠れた、

ʒoogoari taosi iiwugurəə sirixači-daa xainaa-da.  
自分たちの家を そっちへ 運び入れて 隠れたのだろう、たぶん。

əŋ tui bipi-ə tui puʒin-gulə undiisi, agbingoxani.  
そうして しばらくすると、そうして プジンは、 外に現れた。

”ə~ŋ amaa əčiə əiwə isiani,” undii. ”xaigoxan,” undii,  
「父さんはついにここに到着しなかったようだ、」と言う。「ああした、」と言う、

”močogoxan,” undiini, ”bumbiə gələgumi moxoraa-daa.  
「戻った、」と言う、「我らを探して見つけれなくて、

ə~ŋ undiisi əsi amaa xaali-daa əusi isindagoasi,” undii.  
もはや父さんは永遠にここへやって来ることはないだろう、」と言う。

”bortii nai ənuxən,” undii, ”bumbiə ʒəgdəxən  
「すっかり完全に人は去ってしまった、」と言う、「我らを焼いた、

murčiini,” undiini, təi puʒin, samani biʒərəə.  
と思っているようだ、」と言う、そのプジン、きっとシャーマンなのだろう。

ə~ŋ tui taraa undiisi ə~ŋ əsi-tənii puʒin-gulə undiisi təi,  
そうしてから 今 プジンは 彼女は、

koəŋ koəŋ baarəʒigoʒiʒi gəsə undii,  
しっかりと身支度を整えるやいなや言う、

”amaa, nəku-tənii~ mimbə gələndəgumi ʒiʒupi-tənii, amaa ərguwəni,  
「父さん、弟は、私を探しに 戻って来た時に、父さんの魂が、

ərguwəni kəəndəliiduəni ʒəgdəxəni,” undii, ”buikin.”  
魂が さまよひ回っている時に 燃えてしまったわ、」と言う、「死んだ。」

əŋ tas soŋgočimi-la ənuxən undiisi tui ənəmi ənəmi, ənəxə~ŋ,  
ワツと泣いて 出かけた、 そうして行って 行って、行った、

čado xailaa ənəxəŋi puʒin-gulə undiisi,  
その時に、どんなにか行ってから プジンは、

ə~ŋ putuləgurəə ʒiʒuxən nəuʒi girmaksakaambani-la  
スカートに掛けて運んで戻って来た、自分の弟の骨を

otkoo baogoxani, xəm ʒəgdəxəni kəpuu kəpuu-də.  
わずかに 見つけた、全て焼けてしまっていた、コポコポに、だ。

əŋ čaa-la~ əsi-təni opāji-la undiisi,  
それを、今 粉で、

əm dalian opawani iiwugukəpəəri ŋoxoi-goani undiisi,  
一袋の粉を 家に運び入れると 練るのだ、

tui ŋoxoxambari duələni undiisi naija aŋgomi dəruuxən,  
そうして捏ねたものを、その末に 人間を 作り 始めた、

təi puŋjin-gulə undiisi. əŋ, mərgəmbə aŋgoxan bičin naonjokaamba.  
そのプジンとは、 ムルグンを作ったのだった、少年を。

ə~ŋ tui taraa əsi-təni təi puŋjin-təni məuriini-təni ʃəə-nuu,  
そうしてから今 そのプジンが シャーマンをすることといたら並みだろうか、

”ə~ŋ anda~ məuruusu,” undii, təi ʃuə, kəkə bičin puŋjinji,  
「ああ、友よ、 シャーマンしろ、」と言う、その二人の、女奴隷だったプジンと、

təi buŋjiə puŋjinji-təni məuməəri-dəə otoliasiči-goani.  
その我らがプジンとは、 シャーマンしても、やり方がよくわかっていないのだ。

tui tamaari-a~ xai-daa uləən məuluxəəl undiisi,  
そうして、 何とか 良く シャーマンのカムラーニエをし始めた、

təi kəkūu saman mərgən-dəə ʃjuxən, əŋ tui, məumi,  
あのカッコウのシャーマンの ムルグンも 戻って来た、 そうして、シャーマンして、

məurii tui xōjičiči təi puŋjin-gulə undiisi ə~ŋ məuriini-təni,  
シャーマンする、そうして 終える、そのプジンが シャーマンを行なうのは、

əŋ uŋčuxumbə paačilaidoani undiisi,  
タイコを 叩く時には、

kuijūr boatoa~ xə~i morapsikinduəni kiājar nəṛə nəṛə taa undə.  
壁が ボロボロと崩れ落ち、ホ~イと 叫び出した時には、屋根が 羽根の様に 動く という。

əsi-təni tui məurii~ tui xooni-a-daa məupi tui-dəə undii,  
今 そうしてシャーマンする、そうして どんなにか 舞うと、そうして 言う、



”anda~ tæmæriuu,” undii, ”polonaxan-noo abaa-noo.”  
「友よ、触って調べてみよ、」と言う、「温かくなってきたかどうか。」

æsi-tænii undiisi, ”anda~ xulll tami polonko osixan,” undii,  
今 「友よ、じんわりとして温かみがあるようになってきたわ、」と言う、

æŋ æsi-tænii æsi-tænii čadoi-daa masilaxan, xujun modan,  
さあ 今 それより 強くシャーマンを行った、 九回、

kæpugui, xujun modan jantogoi, tami tui, xaira undæ.  
タイコを叩き、 九回 ベルトをガチャガチャ鳴らし、して、そうしてする という。

nijmaačia undæ tæi puŋin-gulæ, jaajai-daa jaajaini-goani,  
シャーマンを行なう という、そのプジン、シャーマンの謡を謡いに謡うのだ、

tæi-tænii æsi-tænii tui tami-a undiisi, æŋ tæi-læ mærgæn,  
彼女は、今 そうして、 その ムルグン、

naonjokaan-gola undiisi, æŋ miŋgučimi~ bongodo,  
少年は、 唸って、 最初には

garmakta-maa~ jilgani-maa ærdælæxæn.  
蚊のような 声のようなものを出し始めた。

tui tapi-tanii miŋgučiluxæn undiisi, æsi-tænii undiisi,  
そうしてしばらくすると 唸り始めた、 今、

æŋ palaando puæ~r puikuguxæni. ”xære~,” undiisi,  
床に スタツと跳ね起きて立った。「ああ、

”æŋ daamanaa daaħanaa tuŋgænčæni tændæxæmbi bičin,” undii,  
ああ、御祖父さん達、御祖母さん達の 胸に 戻って来たのか、」と言う、

”ui amaado ui æñædu xoragoari-a.”  
「誰の父の所に、誰の母の所に 生き返ったのだろう。」

”gæ, æikæsi xorigoxani-a”-mal tæi puŋiusæl xairaa,  
「さあ、おまえの姉さんが 救ってくれたのよ、」とそのプジンたちが 言う、

təi ʃuə pʊʃin. ə~ŋ undiisi əsi xorigoxa~n, əsi-təni undiisi-ə,  
その二人の プジンが。 今 生き返らせた、今

əŋ nəuʃi-lə undiisi nəə təi nuučiʃimə, kəkə bičin pʊʃin,  
自分の弟を すぐに その小さい方の、女奴隷 だった プジンと、

nuuči pʊʃin-goani, čuu nai pojaŋgoni.  
小さい プジンなのだよ、一番 人の中で 末っ子だ。

ə~ŋ čəʃi nəuči asilagoxan tui taraa tado tui bii-goani,  
彼女と、弟とが 結婚した、そうしてから そこでそうしているのだ、

tui bii-goani təi, kəkūu saman-daa ʃiʃuxən,  
そうして 暮らしているのだ、あの、カッコウの シャーマンも やって来た、

irgəmbi gaʃjomi tado tui bii, osigoraa~ tui biči-goani,  
自分の村を 引き連れて そこに そうしている、居を定めてから、そうして 暮らすのだ、

goro-a bičə~, ʃiʃa~ bičə ələə.  
長いこと いた、短いこと いた、終り。

1. инда хочиани

э~н ундииси эикэ нэу~ балзихач(и), туй тараа-ла туй биэл ундэ,  
туй балзимаари-а~ туй бими, бимээри ундииси, ини ини гаактава,  
эм най тоокой эм най тоокой там(и) тамаал ундэ.  
туй там-а~ эм модан-гола ундииси эикэни зугухэни.  
эикэни тамандагохан, нэуни индэхэн.  
эикэни-лэ сиксэ зугу(хэн) хэрэ~ кiarбар бисэ нээлэ...  
"хайзи нээлэхэси эгээ, хайзи олохаси," ундии, "хоон(и) тахаси."  
"аја~, " ундииси, "гусурууу"-дээ "гусуру(руу)."  
"абаа~ мии-тэнии сиариидоји-дээ гусурузээ-мэ,  
апсиңгоидоји-даа гусурузээ-мэ."  
"абаа~, гусурууу"-дээ "гусурууу," ундии,  
э~н туй тараа ундииси пузин-гулэ ундииси,  
эң нэун(и)-тэнии гусурууриwэ гэлэи-дээ гэлэи  
эикэн(и)-тэнии осисиин(и) гусурууриwэ нээ-дээ.  
э~н туй тараа-ла ундииси хаихани, сияхан хаихан хозихан  
"гээ, эгээ гусурууу," ундии, эң улпим(и) тээгүхэн хаиси, "эгээ гусурууу,"  
ундии, "эпаңгоа~ эси мимбиэ гусурухэн-дээ  
элээ сии тао(си) энээээчи-мэ," ундиини.  
"э~н ундииси мии-тэнии тул ту~л тамаор(и) ньарокаамба,  
дүжээчиэн(и) тоохамби," ундиин(и), "хазинахани," ундии,  
"тэи тамаор(и) ньарокаан...  
дүжээчиэн(и) тоохам(би)-тэнии зээ бии-нуу~, " ундии,  
"гаак(та) даани, улээни, чадо тамаидоја-тэнии,  
эм такаа(н), тасо~ туухэни," ундии,  
"кираллаји, тэи-тэнии эм наонзокаан агбиңкини,

"эгээ энүү"-дээ "энуу, инда хочиани поктони эи дуэлэ(ни) исиндаи,  
 тургэн энүү, тургэн энүү," гээ чадо эбэ саб(а) чочагохамби-а~,,"  
 ундиин(и)-го(ани) тээ-дээ эикэни тамахан гаактаңгони-ла дааисал,  
 улээсэл бичини. "э~н эи~ эи~ энэрэ~, эи тоора"-м, "сии таоси."  
 "аја~ нээлээр(и) жакала, хаи энэээмби," ундиини.  
 э~н туи тараа эикэн(и)-тэнии, уикэвэ ниедэлэ жиа чимања,  
 уикэвэ ниедэлэ кэкчэин(и)-гоани, "эи энэрэ~," ундии,  
 "таос(и) эи энэрэ"-м-дэ. "сии эрдэнгэсим(и) энэини осизаачи-ма," ундиини.  
 "абаа~, эгээ хаи-даа энэээмби," ундии,  
 "оркин жака, нээлэн жакава доолжихандоји."  
 э~н ундииси туи тараа-ла ундииси таванки-ла, уикэвэ ниедэлэ~ энэ...  
 уикэвэ дасигодала кэкчэхэни эикэни-лэ туи тараа энэхэн, пужин.  
 тооха~н тээ-дээ бичин жоанчи тул тул тамаи жарокааңгодоачи  
 гаакта-даа асо~ бааваси, нуучикээсэлни осигохани.  
 э~н эикэн(и) поктоани-ла дуиси сиур энэхэни бичин  
 чава эикэји поктован(и) тоом(и) тоохани, ам(дами), дахам(и) тоохани.  
 тээ-дээ бичин горо-даа анаа тајаазиа, эм жарон бичин дааи жарон.  
 тэи-тэнии гаактани эгжини, дааини, бичини.  
 чадо-ла~ пужин-гулэ хооптаңка тамаини-ла туи тамаидоани-ла ундииси,  
 тасо~ жичэ ундэ тээ-дээ бичин, эм такаа(н) тууриини, осиини,  
 эм наонжокаан агбиңгохани пака пака бии наонжокаан.  
 "э~н эгээ энүү"-дээ "эгээ энүү, элээ исии-дээ, инда хочиани элээ исии"-дээ,  
 "эи инда хочиа поктони"-даа ундиин(и), "гээ, энүү"-м.  
 туи-лэ патарии туи мораи доолан(и)-тол абагдал осигоини ундииси  
 э~н исика ундэ, наи-каа наи, ичэурини, наи.  
 ундиини, "анда~ пужин," ундии, "хаи, жилиас(и) гэлэгитэ," ундиини.  
 "абаа~," ундии, "мии жилидоји чиктэ-дээ анаа хуукту-дээ абаа," ундиини.  
 "аја~," ундии эс(и)-тэнии пужин жилиан(и)-та(нии) жапарaa жигдаин(и)-го(ани),  
 жилиани нээ гэлэини осини. э~н ундииси эси-тэнии,  
 туи суилим(и) суилим(и) лаапоо~ жапаини осика ундэ,

туи тараа ундии, "гээ, абаа~ ундэс(и)-кээ, хамачаа-даа анаа"-м-даа.  
"чиктэ-дээ анаа хуукту анаа тэи хооњаа дааи чиктэ," ундиини,  
"наадо... хородоја нээруу," ундиини, "хоро-даа~ хэтээс(и)," ундиини,  
"хаи, наадо нээм(и) хаириин(и), тэи моодо," "моо-даа хэтээс(и)," ундии,  
"гээ хамачаа чиктэ осихани-а," ундиини.  
"сиңмуји, сиңмуји агбимбороо," ундиини. ундиин(и),  
пузін ундиини, "эдэдэ хоро-даа хэтээси хаидо наа-даа хэтээси,  
сиңму-мэ(т) хоон(и) хэтэини," ундиин(и)-гоан(и),  
"хамачаа чиктэ осихани-а"-м-да. сиңмуји њаңга иин тахани.  
тэи-тэнии "абаа," ундии, "мас(и)таа~-да," ундиини.  
эң туи мас(и)таа сиңму осиини тэи-тэнии, чопкоалайзији гэ(сэ)...  
жапаији гэсэ лоп(то) татахани пузимбэ-лэ, сиңмувэни.  
эс(и) пузін-тэнии эбээ осии-гоан(и), наса(л)ни-мања киалоң киалоң-да.  
туи тами абанагока ундэ тэи, сиңму(вэ) татаији гэсэ абанагохани.  
эс(и)-тэнии пузін-тэнии~ таванк(и) эугуи-гоани, эугухэ~н, зоо,  
тулиэ(вэ) исигоини зикэн(и) ниэхэни.  
"хоон(и) тахаси хоон(и) тахаси," ундии,  
нэуни баар боико-даа анаани-гоани киарбар бии,  
жаралипочин-даа жаралиадааси, аңма нихэлихэни, а сиңму чуңнурэм абаа.  
луңтурэм бии. туи тараа-ла эси кэүзэм(бэ) ваараа ундииси,  
сиңмуни ачораа, хаихани, нэу, аңмачиани гидалахани.  
тэи сиңмуни бэунду(эни) тэрэк осихани хисаңгои талогохани.  
"эрдэңгэ~ хаи-даа," ундиини зикэн(и), "мии хооњаа уңкэјэ, уикэ ниэдэлэ-дэ.  
уикэ дасигодала кэкчээчији-кээ," ундии, "эји энэрэ-м, ундэчис(и)-кээ," ундии,  
"энээсимби, энээсимби, хамачаа там(и) энэхэси," ундиини,  
"синду эрдэңгэни-гоани," ундии, "эси туи осигои... осихан биžэрээ,"  
ундиини, "хаинаа-да, мии мурум(би) энээсији осими, ачааси-м мурчим(и),"  
эс(и)-тэнии, "гээ хооњаа, хоони амбааңгоји баахам(би),"  
соңгоин(и) зикэни. эс(и)-тэнии њоан(и)-даа соңгои-гоани,  
туи соңгоидоачи-а-л(а) ундииси э~ң эм мама иихэни.

колиан суэксэни куки, коондаа~ иикэ ундэ сагзио~ мамаача(н),  
хоориандола хонтаха ваалаани~,  
хэңэни-лэ хэси ваалаани омонгича-ла оза ваалаани бичини.  
хаини, колиан суэксэни лундээ~ иирэ ундэ, сиңмур туңэпуңку-дэ.  
э~н тэи-лэ мама-ла ундииси-э, иихэни-э~ тэи,  
пузимбэ зуэтуңэ эси эивэ чава хэм озоктахани ундиин(и)-го(ани),  
"эрдэңгэ~ хаи-даа ундииси ээпаңго, тэи наи-ма(т),  
туи патариидоани ундиидуэни, энүхэн оси(ни) хаи туи омча-м-да.  
эси энээсис(у) ачаасин(и)-гоани," ундии, "хаи-даа маңга баап(и) энуури-э"-м.  
"мии ирахамби," ундиини, илаан забдом(ба) буухэни.  
илаан забдом(ба) буухэни тэи мама,  
"эивэ, маңгава баариидоји зочова баариидоји эивэ, хаихаари-а," ундии,  
"наңгалахаари," ундии, "илаан тооро осизараа," ундиини.  
"тээ боакиала бии," ундии, "тулиэду нээхэмби," ундии,  
"моримба. тэи моримба-танин, соактачи пајактачи уихээри," ундиини,  
"тэи морин симбиэ мэнээ олбиндии," ундиини,  
"тэи-тэнии хаихаари-а," ундии, "исипи-танин, тэи наи биилэни,  
исипи хаихаари," ундии,  
"индаји... хаи моримби туи пајактачи соактачи уирээ иихээри," ундии,  
"туи тараа унхээри-э," ундии, "эңпэнээ аңпанаа хэм боачи ниэрүүсу мии,  
хаигоија, оосигоија паламба, боңгодо сиягоачи пујуухээри," ундии,  
"чадо бии-ја," ундии, "музи, чава-та(нии) нуучихээри," ундии,  
"нуучиизији гэсэ, пујуухээри," ундии, "эңуэчиэчи иирээ-дээ.  
хао(си)-даа пујуури-дээ ајани," ундии, "тургэн пујууруу,  
китаало осихан-даа аја," ундии, "котамбачи гэлэрээ, хэм,  
соосираа-та(нии) палам(ба) ахириини осихаари," ундии,  
"һоамбачи хэм боачи пуңнэруу," ундиини,  
"зоок(чи)-та(нии) зээ бии-нуу," ундии,  
"наи зооң(ни). туи тараа хаихаари," ундии, "малодо биијэ," ундии,  
"тэң гусиэ тооро бадодоани, уилэ тахи, илаан тахи,

токи хаидо илаа(н) силиа хумсэчэку,  
 токонд(о) бии силиа(до) сии сиңмуси," ундии,  
 "тургэнгузиэ(ни) чава жапагораа лунбэгүхээри," ундиини,  
 "мээңги, инда сиңмувэ(ни) тао(си) нээкурээ-дэ.  
 туи тараа-та(нии) эилэ тала наи кукпумбэ(ни) путулэрээ боачи ниехээри,"  
 ундиини, "гээ иигуусу-э-м хэм ние...  
 хаи нангалаидоја хаи иирии котанчиас(и) кукпун ииријэ"-м-дэ.  
 "гээ чадо иигуидуэни тэи эзиңэтуси-э, унзээ-мэ," ундии,  
 "тэи, чуу~ хамилала иигуи-ја," ундии,  
 "тэи уикэни, дасиини тургэнгузи(эни) моринчи, оогораа чочароо," ундиини,  
 "хаңгиси." гээ эси-тэнии пузін-тэнии, соңгои-гоани~,  
 эикэзиэн(и) тэи мама туи алоосираа абанагохан.  
 туи тараа тэи-тэнии~ туи наамансимаар(и) соңгораа~ тэи,  
 мэрхэвэ~ сигзипумбэ жапаин(и)-гоани пузін,  
 хукуэкээмби, гирсоокаамби туңгэлэхэн.  
 туи тараа-тании ундииси э~ң таванқи-ла ундииси пиивээји жапаи,  
 туи хаиха~н туи тараа эси-тэнии, эси-тэнии,  
 пузін морин(до) тээриини морин уис(и) хор дэгдэгүхэни.  
 туи тараа~ таванқи-ла туи энэрэ ундэ туи энэми~ уипэ энэми,  
 "эээ(н) пузи~н ундииси, наја, хаңгиавани-каа энэ...  
 хаи-а туи энэми энэми эчиэ-дэ наи хаңгиа...  
 энэми энэми поосии~ поосии туухэни эм, эм зоо тулиэчиэни.  
 тулиэчиэн(и) туухэн пузін-гулэ ундииси-э,  
 э~ң ичэини-лэ хамачаа гооко гурун тулиэни-м ичэхэни.  
 тэи-тэнии соактачи пајактачи, морим(би), кочираа иихэни.  
 иихэн-тэнии хаилараа эгзи гурун биэ ундэ тэи, инда хочиани гурсэл.  
 наи-каа наи, хуигуни инда, оңбодоани. инда, хуигуку.  
 тэи-тэнии ундиин(и)-гоан(и), "гээ гээ гээ гээ гээ бую ором(пу) зичини."  
 пузін-гулэ иими наи чадо биэ ундэ  
 далиан хаидо музи чава-тании нуучиэ ундэ

нуучирээ-тэнии хао(си)-даа биги(ни) нуучирээ, хаидоани,  
эньуэдүэчи иирээ пујууухэни. пујуурээ-тэнии, ундиин(и)-гоан(и),  
"котамбар(и) бууруусу," ундии, пилаароо осихан-ос хао(си) осихан-ос.  
эс(и)-тэнии най таони, "гээ гээ гээ буэ ором(по) йичин туи-гоани-а," ундии,  
"хооһаа улээн нии эси най сияго(ани) мэнээ пујууухэн."  
эси-тэнии тэи дааи гурсэл тэи, мало,  
гуусиэ торадоан(и) бии бадодоан(и) бии най-та(нии)  
чуу хамиала ирахан тэи ньоан(и) сиңмувэ татахан най бичини.  
тэи, асигоји саихан туи-дэ, най сиңмувэн(и) татами.  
"эси-тэнии буэ оромпо," ундии, "туи-гоани,"  
агданасимаар(и) туи котаангоачи соосихани, нуучи нии-даа бии,  
дааи най-даа бии дааи най дааи котаан, нуучи нии нуучи котаан бичин.  
най таондо(ани) хэм соосихани, тэи най-ла чуу хамиала, хаихани, ирахани.  
чадо соосиини боачи ниэриини уикэвэ ниэриини  
тургэнгузи(эни) энэрээ тэи, тахидо бии,  
токонд(о) бии силиава запараа нихэлихэни ньоани сиңмун(и) бичи(н)  
чава Запагоији гэсэ аңмалаји татами тэи, инда сиңмувэ,  
бэунду(эни) нээкурээ, мэн сиңмуји луңбэгүхэни.  
туи тараа-тан(ии) боач(и), эилэ чала наиду тэң оном(и) бичин най,  
палани кукпуни. чава-тани эилэ чала туи купумбэ-лэ туи тэучији гэсэ,  
ниэгуи-гоани, "эңпэнээ, аңпанаа хэм иигүэсу," ундии,  
"эи мии кукпум(бэ) наңгалаи суэ котаанчиасо хуэдуури-јэ"-м.  
"гээ гээ гээ гээ гээ гээ, буэ ором(по) туи-гоани"-м иигүкэл ундэ,  
тэи-лэ чуу~ хамиала иигуин(и) уикэвэ хаириини-ла пузин-гулэ  
наңгалаији кукпумбэ наңгалаији гэсэ  
чуу~ боңго моринчији чэңгэл пуикурээ ундииси морим(би),  
уиси хор дэгдэин(и) кирим энэкэ ундэ морин-гола тэи-тэнии ундииси-э,  
тэи-лэ инда хочиани-ла дэң дэң жапахани бичини, хуигүдүэни.  
күчээнзи, хаини, гисооји агбимбоији гэсэ чиир чаалихани,  
тиэс туугуи-гоан(и) наачи. таванк(и) хоргигда уиси дэгдэхэни.



"сактаини-а~ хооњаа дэгдэхэн-дээ, хооњаа хаихан-даа-каа мии,  
 хаңгиачиа-к(аа) хао(си)-даа~ энээсиси," уңкини,  
 тэи-лэ туи олгалигда морам(и) дэрузигухэн,  
 наад(о) дэрэзигухэн, тэи пузимбэ.  
 туи энээ ундэ туи горо энэхэ~н жи́за энэи туи уипэ энээ ундэ,  
 чадо ундиин(и)-го(ани) инда... морини, "э́э(н) пу́зи~н, ундииси,  
 наила-каа энэур(и)-нуу~, наи бичээсини боала-каа энэур(и)-нуу," ундии,  
 "э~н наи удэвэни энэи-дээ ајани-гоани," ундиини пу́зин.  
 туи горо энэкэ~ жи́за энэкэ эси эм иргэндүлэ~ туухэни.  
 э~н моримби-ла ундииси э~н наи пајактачи соактачи, хаираа иихэни.  
 эм мапа~ мама бичини тэи жоо доолани-л(а) э́э(н) хаандоани.  
 хаи, малодоачи-та(нии) хусэ нии жапаини хэзон-мања  
 таванқ(и) эктэ нии-кээ абаа. гээ мамази мапази-тании пу́зимбэ-лэ,  
 хаали-даа ичэ́э́хэн-кээчи-э о́жоктамаари-ла улээсилухэчи.  
 "гээ, ам ичэгуруу~ ундииси э́и-дээ энурэ аоңга(ми) аја  
 хао(си) энэизији хао(си) пулсиизији таиси-а," ундии, "кирихаси-а"-м.  
 "э~н хао(си) энэи энээмби-э-м ун́ээ́мби,  
 хао(си) пулси пулсиэмби-э-м ун́ээ́мби," ундии,  
 "э~н амбаан хасоваандоан(и) пулсијэ," ундиини.  
 "аја~," ундиин(и)-го(ани), "аоңгароо," ундиини,  
 эң сиксэ~лэ ундииси јэпу́ррр эс(и) жи́зүкэ ундэ.  
 э~н иигухэн тиа тиа мэргэмбэ бичин пу́зин ичэини-лэ.  
 "э~н анда~ пу́зин баачигоапо~," уңкин, "баачигоапо," уңкин пу́зин-гулэ.  
 э~н амини энини-тэнии тэи-тэнии пиктэчији-лэ таа ундэ,  
 "ам ичэгуруу"-м, "тэи-лэ пу́зимбэ-лэ хоон(и) уикэлэ ниэгүвээмбури," ундии,  
 энин(и)-дээ туи ундии, амин(и)-даа туи ундии тэи пу́зимбэ.  
 ичэмээри улээсилухэчи. э~н нээ аоңгаваандии-го(ани) мапаанаа-ла ундииси  
 тэи пу́зимбэ-лэ мээ́н жа́кпадоари апсимбовааңкичи.  
 эң долбоа~ла тэи мэргэн жоанчиани апсиндахани.  
 "э~н анда~ пу́зин," ундии, "аја~," ундии,

"э~н гэсэ осираа бипугуэри-э~," ундии, "амбааңгоји исиичиани бируу,"  
 ундии, "аја"-м-даа. э~н тэи эс(и)-тэнии,  
 тэи мэргэнзи эзилэрээ тахан тэи пузін туи тараа~ тадо бие ундэ.  
 эң туи бии~ бии пузін-гулэ ундииси-э, эң бэјэду осихани.  
 э~н элээ элээ биин(и)-го(ани), пиктэгуји элээ элээ баарии эс(и)-тэнии  
 эзин(и)-тэнии ундииси, ниморсиаси туи тээсииси, туи тараа-ла тэи,  
 элээ элээ пиктэгуји баариин(и)-го(ани) тэи-тэнии ундии(си)  
 эс(и)-тэнии ундииси хаандамаар(и) энэхээ~л,  
 горочи ахооталандаичи-гоан(и), ундиин(и),  
 "анда~ пузін морим(би) бууруу," ундии,  
 "анда пузін морим(би) бууруу," ундии.  
 "ачааси-а~," ундии, "мии нээлээмби, морим(би) буум(и) ачааси," ундии,  
 "эң мии морим(би) буу(рээ)... э~н мии мээнзији мээн дэнсисиемби," ундии,  
 "буэ хоон(и) сааори-а"-м-да. "э~н аја~," ундии,  
 "мии оркин боадо-даа нээрэсимби," ундиини.  
 "э~н мии морим(би) буум(и) ачааси," ундиини-гоан(и),  
 "э~н сии дааи моочи уиучиэс(и) хоон(и) хоони," ундиини,  
 "э~н пајактачи~ соактачи кочиори," ундии, "тэи моримба."  
 э~н эси-тэнии пузін-гулэ ундииси, эң туи наамбичаани чихалахани,  
 олбимпоговани. э~н туи тараа тэи-лэ пузін-гулэ туи энэхэни хами(а)ла(ни)  
 туи бии-гоани туи тами ундииси э~н пузін-гулэ,  
 эң пиктэгуји баахани, хусэвэ.  
 эс(и)-тэнии хусэвэ баахан туи хаирии,  
 горочи энэхэчи-тэнии эзини хаинаа-да.  
 эң туи бии~ пиктэни хаилоо гучкуликээни-гоани хусэ,  
 ниңмаан пиктэни-кээ хаи гоидам(и) урэгилэи.  
 э~н ундииси эс(и)-тэ(нии) мапаачан-тэнии,  
 э~н эси-тэнии элчивэ улээмбэни,  
 тоңдовани сонзоха~н эси-тэнии эйичиэни энэвээндиин(и)-го(ани) бичхэ,  
 ираваандиин(и) пиктэгуји баахамби.

э~н ундииси эс(и)-тэнии ундииси-э,  
тэй-лэ элчи-лэ бичхэ ираини энэи энэи  
бичхэ отоливар(и) жааро(ани) ниручиэл-тэнии.  
эң туи тараа ундииси энэми~ энэми ундииси-э,  
тэй элчи-лэ энэми энэми-э-лэ ундииси хаири-гоан(и),  
иргэн дуэвэни исиини гокчоа~н гокчоан эурэ ундэ эм мэргэн-гулэ.  
"э~н элчи-э, хао(си) энэиси," ундии, "хао(си) энэи, мии эзэнчији энэи.  
эзэмби-тэнии, ундииси э~н пиктэгуји баахани," ундии,  
"эң хаи, эзэн мапа-тани пиктэгуји хусэвэ баахамбани агдараа, хаихани,"  
ундии, "бичхэ ниру... энэвээндиини-э"-м. "хаидо," ундии, "мии ичэгујэ."  
гээ эс(и)-тэнии, "эзэнс(и) гоидаи асигоји баахани,"  
"гоидам(и), амбаан гоидаи-а," ундии, э~н ундииси  
мэдэвэ гэлэин(и)-го(ани) туи тараа тэй бичхэвэн(и) жапахани.  
эң бичхэвэн(и) жапараа-ла холараа гудэчихэни,  
"эрдэңгэ хаигоји гудэлииси," ундиин(и),  
"мии эзэн баарони энэгуји-тэ(нии)."  
"абаа~," ундиини, "сии... мии турим(би) буурэмби," ундиини,  
"эзэн мапачи энэхээр(и), хамаси мочогороо," ундии, "эзи энэрэ," ундиини.  
э~н ундииси, ала боал(а) балзихан(и), баахам(би) асиси... асији,  
э~н хаи, ала боадо баахаси асиси инда пиктэни бааха(н)-м нирухэни, тэй,  
инда хочиани. туи тараа "энэруу," ундиини, гээ,  
энэхэ~н тэй-тэ(нии) элчи-тэнии энэхэн, эзэм(би) исихан.  
эзэн(и)-тэнии ниругухэни-гоан(и), "инда бими-о~ хамачаа бими-о~  
хоон(и)-даа таасо, мии исиаси... исиңгоасилајива-да.  
э~н хоон(и)-даа таивар(и) осини мии исигоочи(ајива) сахар(ин) сээксэ тээс,  
наа тээп энээсизиэн(и) бузээсу-э"-м-дэ.  
э~н элчи зизуи-э, туи зизуми~ зизуми хаис(и) зизуиду(эни)  
хаис(и) гокчоа~н гокчоан эугуэ ундэ,  
"э~н ундииси эси-тэнии гээ элчивэ тоокогоари," ундии,  
эси-тэнии "хаи мэдэ, хаи мэдэ," ундии, гээ, эс(и)-тэнии ундииси-э,

"эзэн уңки(н)," ундиини, "эзэн ниругухэни," ундии,  
эси-тэнии ундииси э~нэ жапараа холахани.  
туи тараа мэнэ тэи бичхэни гудэчирээ ниругухэни.  
"хаи, эси нээ пуннэгүэсу-э-м, мии зйзуэси,  
мии зйзуи зулиэлэ(ни) пуннэгүэси оси(ни),  
сахар(ин) сээксэ наадо тээп энээсизиэн(и) бузээсу"-м-дэ.  
энэнэ тэи-тэнии таванқи-тэнии тэи элчи зйзүхэн, мападо буури-го(ани),  
мапа-ма~ тэи бичхэвэ баараа холам(и) соңгоин(и)-гоан(и).  
"эрдэнгэ хаи-даа, хаи мурумбэн(и) баап(и) туи нирухэни"-м,  
"мии зйзуи зулиэлэн(и) будэ... исигоидала нэүчэ... эзи нэүчэуусу,  
мии исигоочиажива сахар(ин) сээксэ тээп,  
наадо тээп энээсизиэн(и) бузээсу"-м, "боачи анагоосо, боачи бодогоосо"-м,  
эзиси туи нирухэни," ундии, э~си-тэнии мапа-даа соңгои мама-даа соңгои,  
пузін-тэнии ундии,  
"эрдэнгэ хаи-даа туи тагоји мии моримбивэ олбиңкин(и)-ноо," ундиини.  
э~нэ эси-тэнии ундииси хаихан,  
соңгоми-ла пузін-гулэ пиктэји баргигои-гоани,  
хукучигуи-дээ таванқи-ла ундииси, пиналагораа пиктэји туи энуй-гоан(и),  
хаос(и) энүүри, тооичи зүрээ  
мапа мама туи озоктамаар(и) соңгочимаар(и) дэрэзигу(эни)  
хуигэсэгүэ(ни) нээри-дээ пузін-гу(лэ) жапааси, хаива-даада гэлээси,  
э~нэ тэи хукуэндуји бии забдомби, хаи-каа наңгалааси туи энээ ундэ.  
хаива-ла исиини-ла эси-тэнии ундииси-э, тэи, хаива~,  
иргэн дуэвэни исиини-ла ундииси, гокчоа~н гокчоан эүгүэ ундэ  
тэи-лэ хаини, инда хочиангони-ла,  
"гээ~ эси-кээ хао(си) энээээчи," ундии,  
пиктэји уутурээ туи пагзиалаин(и) пузін-тэнии ундиси,  
ичэми тутум(и) энэин(и)-гоани туи-дээ элээ бурмулэ.  
эң хаи тутуиси, наи... ньоани пиктэји пинасии, наи, гиагдаа энэи-дээ хаи,  
хаспоалаини. э~нэ элээ жапаи элээ жапаи тэи,

мэрхији наңгалаин(и) чичичип сию осии,  
хаис(и) пагзиалаи хурмэвэ наңгалаи хаис(и), наңгалаи,  
туи наңгаачии-го(ани) туи тами-а туи тами пузин-гулэ зооңгохани,  
хэрэ~ тэи, пинур биин(и)-гоан(и),  
тэи илаан пинурби-лэ жапаижи гэсэ наңгалаи, "ээ пину~р, хаила, эээн,  
эргэңгуји гэлэи осини-ла балзироо"-м, "хаи осироо"-м-да,  
тэи-тэ(нии) наңгалахан-та(нии) илаан тооро илихани, сэлэмэ.  
тэи-тэнии пузин-тэнии энэи доолан(и)-тол тутуидуэн(и)  
тэи порончиа(ни) пуикухэни, эси-тэнии порончиан(и)-та(нии),  
"ичэиси ичэиси тэи эктэ, эктэ нии эрдэңгэни, асини аргаңгани,  
жочоан(и)-гоани," ундии, хаизи-гда эрдэлэини-ус, хаизи-гда эрулэи-ус,  
эс(и)-тэнии тэи, тоорони моданчи(ани) исихан эс(и)-тэнии  
хэрчим(и) дэруухэн, сэлэ, кэркэркээ~р, кэркэр хэрчиэ ундэ.  
э~ң пиктэји соңгоивани-ла кууичэхэни ачааси,  
элээ киңдаарии туури пузин-тэнии моринчији соңгои-даа боа наава,  
хээсим(и) туи соңгоа ундэ~ туи соңгои туи тараа жуэжэчиэ,  
элээ пэңгэлиидуји жуэжэчиэ порончиа(ни) пуикугухэни.  
э~ң тэи-тэ(нии) јаолиг(да) тууриидуэни-лэ ундииси-э,  
суэнчизэни энэхэни абаа, туи тами ичэгухэни мурумбэ...  
уилэ бими-э биз ундэ, "ии ии ии тэи арганси~, тэи хаини,  
хооњаа хаирии-даа мии хуктэјижэ илхимбијэ хангиачиани-каа энээсиси,  
э~ң элээ дуэку (осигожаа-ма) дуэжээ-мэ тэи, порончиани энэхэн-дээдэ."  
эс(и)-тэнии гучи хэрчиэ ундэ туи хэрчии хэрчии тэи-тэнии  
хуктэлэн(и) сээксэ хэјэм(и) туи хэрчиэ ундэ тэи-лэ, сэлэлэ тэи,  
э~ң моринзији соңгои-даа соңгои,  
пиктэји соңгоивани куурии туи тээсиин(и)-го(ани),  
тэи порондоан(и)-тол-да. куурии хукугуи тухилэгуи,  
туи соңгоидоани-ла ундииси хаилан(и) сиасин(и) ниргии-ус  
хаи сиасин ниргии-дээ доолзивадаасин(и)-го(ани) туи соңгоа ундэ  
пузин-гулэ, моринзији-мања хэсэји,

моринзији-мања аңмазији морам(и) соңгоа ундэ, туи таи,  
элээ туиңкулухэн тэи хаи, тээсиини эси-тэнии илиачиа элээ.  
эс(и)-тэнии илиачиа баарон(и) пуикугухэни. туи тараа тэи,  
пуикугуини јамолигда энэидуэни-лэ, хаичи, суэнчиэни энэхэни абаа, пузин.  
эс(и)-тэнии ундииси э~ң пузин-гулэ таванки-ла ундииси туи,  
соңгои-гоани ундииси-э, элээ бурбухэн, тэи,  
туухэн осин(и)-тол хао(си) энэин(и) пузин хао(си)-даа энэгуји-дээ  
поктогоји-даа баараси тэи-тэнии наи,  
хуктэлэни сээксэ хэјэм(и) туи хэрчиэ ундэ  
эс(и)-кээ маңгалахани бизэрээ хоон(и)-даа бии-дээ  
тэймпи-э~ хэрчирээ тэймпи-э хэрчирээ таа ундэ.  
туи тараа-тэнии хаихани, элээ-кээ долимбани исихан туи тами-а~  
туи ниргиивэни ичэээми ичэээми ичэгухэни-лэ хэрэ~ морини-ла ундииси  
хаи-даа дааилаан(и) патава-ла кутучим(и) зијуэ ундэ,  
эң чала ниргиини чала иңгуриини пузин-тэнии эси-тэнии  
моринзији-мања Зилганзи, моринзији-мања хээлээнзи соңгоми  
тадо тээсиз ундэ туи таидоани ундииси элээ хэтэури элээ киңдаарии,  
туи тами исиндагоидоани пузин-гулэ ундииси э~ң моримба-ла ундииси-э,  
исигоизиан(и) гэсэ тэи-дээ, хаивани-ла чир чаалихани.  
тэи таптоңгоани уихэн таптоңгоани чиир чаалиини ундии  
тиэс туугуи-го(ани) тэи пузин-тэнии тэи, хаичи,  
морим(би) ојаачи(ани) пуикугухэни,  
пуикугум(и)-тул чаалии хооњаа-даа сампар эктэни.  
э~ң морин уиси хор дэгдэгуи-гоан(и) тэи хаи осини,  
тоорон(и) туухэн наачи. "э~ң ии~ хооњаа~ хаирри-даа, мии хуктэји,  
илхимби хангиачиани-каа энээсиси," ундии,  
эң пузин-тэнии ундииси таванки-ла, иијэмсэктэ энэи-гоани,  
хао(си) энэхэ(н)-у~с хао(си) энэхэ(н)-ус туи энээ ундэ  
горо энэкэ зија энэкэ эси, эң поосии~ поосии~ моол(а) хаи,  
морини-ла туугухэни. э~ң ундииси, "эзэ~н, эзэ(н) пузи~н ундииси,

мии-тэ(нии) маңгалахамби," уңкин, эм оникаанчи туухэни бичи(н), они,  
 эң ньулбу~ ньулбу хаи бичини, наани.  
 "гээ элээ," ундии, "мии эилээ симби(э) силаан олбиңкимби," ундии,  
 "э~н хаи, тэи эзиси, хаивани, соңгоиси Зилгамбани баланаа~ доолзихамби,  
 наи зоолани сусугуиси-дэ. э~н мии-тэнии ундииси,  
 хоон(и) хоо~н(и) чиилахамби," ундии, "тадорами. э~н ундииси баланаа,  
 хаи осини, наа боа дуэчиэни ирамчаја," ундии, "симбиэ.  
 э~н ундииси эси-тэнии эиду алдаксилаор(и)-гоани-а," ундии,  
 "мимбиэ буикин-дээ эзи~ соңгора," ундии, "мии-тэнии эси будэмби," ундии,  
 "эң мии бурбучијэвэ-тэ(нии) нантаји ачораа кумэлихээри," ундии,  
 "ваам(и) ваам(и) гирмаксаји-тании зоо торани, эиду осии,  
 эиду осии нээхээри," ундии, "насалби-а-тании эи,  
 эњуэ туи-э~ биэ-тэнии осиија"-м, "нээхээри," ундии,  
 "туи тараа кумэлирээ апсинхаари," ундии, "нэкузији гэсэ-дэ."  
 э~н пузин-гулэ туи уми~ морин будиини наамандаа~ элэдэлэ соңгохани.  
 э~н соңгоидоани пиктэн(и)-дээ гэсэ-кээ соңгоин(и)-гоани.  
 э~н туи тараа морини уңкини-мээ ундииси, хаихани-а~ пуихэни ундииси,  
 гирмакса, дааи дааи гирмаксасалбани э~н зоо торани эиду  
 туи ода-тании-м нээктэхэни ундииси-э~ тэи хаисалбани,  
 насалбани осин(и) туи эиду-дээ эњуэ ода-тании-м нээхэни ундииси-э~  
 туи тараа ундииси-э, хаихани.  
 эң тэи ундиини-мэ(т) кумэлирээ апсиңгохани.  
 э~н туи тапи-о~ сэнэгүхэни пэку-э-м-дэ.  
 эң хаилоо улээн зоо доола(ни) аориини бичини.  
 э~н тава-јас... јасиаңкаачи бии.  
 э~н зоогдоан(и)-та(нии) малодо-тании ундииси-э,  
 жуэ мапакаан пиктэни биэ ундэ. купилээндүмээри-э биэ ундэ, эң уичэку.  
 эң эси-тэнии ундииси э~н пузин-гулэ ундииси тэи-лэ,  
 пиктэни-гдэ~л тэи мапакаан пуригзиэни-лэ туи купиз ундэ.  
 э~н хамачаази-даа синэзиэдээси тэи-лэ пузин-гулэ туи биэ ундэ,

сиаор(и) загази-даа синээйэси туи бии~ туи балзиал ундииси  
 туи тами-а туи тами пиктэни боап(а) купии,  
 ниэчээкээм(бэ) ваарии талохани.  
 эң ниэчээкээм(бэ) ваахамбан(и)-даа хэм болачим(и) туи сиарии  
 пиктэји ваахамба, эмбэ-дээ наңгалаадааси.  
 эң туи тами ундииси эм модан иикэ, "эни эни амбаан зидии"-дэ,  
 "эни эни амбаан зидии"-дэ, эң валиаха-гоан(и) амбаан зидии, эң паава,  
 эң хурмэзи гидалараа ичэхэн тээ-дээ бичини амбааңгони-ла  
 гокчоа~л гокчоал тоора ундэ. э~ң уикэвэ нихэлихэни ундииси,  
 э~ң хаихани, "эиду~ биису, мимбиэ гэлэгүвээндиису."  
 э~ң ундииси эс(и)-тэнии ундииси-э, эң нээлэми-лэ гилонзиал(а)~ тээхэни.  
 э~си-тэнии тэи мапакаан пуриң(ни)-тэнии сиасисии-даа сиасисии таа ундэ,  
 пузин-гулэ нээлэи дабами-ла энэми чиир чир чаасохани уичэвэни.  
 тэи-лэ энэйиэр(и) гэсэ гүдэчимээр(и) ваахачи.  
 э~ң чаа-ла ундииси, эм боачи нээвүрээ~, ваахамбачи-ла ундииси-э,  
 сиалт(а)ка пуниктэ осигои́зи хэм ивачим(и) зэгзичихэни пузин-гулэ ундииси  
 эс(и) туи тараа~ туи бии-го(ани) эс(и)-тэнии туи биэл ундэ.  
 эң тэи-лэ ундииси туи биидуэни ундииси э~ң купие ундэ пиктэ  
 туи тами-а-ла ундииси-э, эң иигүхэни, "эни эни амаа зидии-јэ," ундии,  
 "амаа исиндахан(и) исии-јэ"-м. "хаидо биини," ундии,  
 "амиси. амиңкози туи биурини буэ, туи-дэ. туи мээп(и) эрулэури-нуу,"  
 ундии. "абаа~ амаа," ундии, "мии амимби," ундиин(и), "зидиини," ундии,  
 "элээ исии-јэ," ундии, "элээ иири-јэ," ундии, "тооила хаахан," ундиини.  
 пузин-гулэ ичэхэни эзин(и) бичин(и), заидо бичини.  
 э~ң ундииси туи тараа-ла ундииси-э, пузин-гулэ ундииси пиктэји-лэ ундииси  
 тухилэрээ дэң дэң уикэји катарараа аосиңкини. э~ң тэи-тэнии,  
 "анда~ пузин, уикэвэ нихэлируу минчи-лэ хоон(и) таичи аксаиси," ундии,  
 "мии-лэ хаива-даа саарасимби"-м-да,  
 "э~ң амаанаа-мања ачиндахан-тани-а"-м-да.  
 э~ң туи наамбичаа ундэ эси-тэнии тэи пиктэн(и)-тэнии



"ам ичэгуруу уикэвэ нихэлируу," ундии, наонзокаамба, наонзокаан-танин,  
сиасисии-даа сиасисии-тан(ии) амбаан дааи наонзокаан осихани,  
хоони галииси њаалаји мултурэм энэхэни.  
умурудуэн(и) запачихан-танин умуруни хэтурэм энэхэн тэи наонзокаан.  
эҗ туи тараа-танин наонзокаан-та(ниин)  
кучээм(бэ) гэлэгуми баогораа ундииси кучээнзи, чиир чаалим(и) ачохани,  
эним(би) гирсоозиан(и)-тол-да. э~җ туи тараа иигухэни ундии  
иигуми наонзокаамба, хаириин-гоани озоктаи-гоани,  
"гээ~ мии пиктэји биэсини, мимбиэ туи таилаји-ноо," ундиини,  
"э~җ амаа мимбиэ хаи таиси-а"-м-да, "энивэ-кээ улээлэгуруу,"  
ундии наонзокаан. гээ~ эс(и)-тэниин, "анда пузин," ундии,  
"минчи хаичи, аксаиси," ундии, эҗ пузин ундиини, "хаи тагоји,  
мимбиэ туи эрдэлэхэси-э~," ундиини, "миин симби(э) хаи уҗкэҗ,  
миин мээнзији җээлээмби"-м-дээ.  
"э~җ мии пиктэји инда пиктэни-гоани, ундии,  
хаи там(и) мимбиэ гэлэгуми-э"-м-дэ, "нирухэси биэс(и)-кээ," ундиини.  
"энээ пуҗнэгуусу, пуҗнэгуусу, ала боал(а) баахам(би) асији,  
гэлээсимби хэм пуҗнэгуусу-м, пиктэзији камор-да."  
"анда~ пузин ундииси, амбаангоси-манья эрдэлэхэн-тэниин," ундии,  
"элчи, элчивэ-дээ ваакаи, амаава эьээвэ-дээ хэм ваакаи," ундиини.  
э~җ ундииси эси-тэниин ундииси-э,  
эс(и)-тэниин туи наамбичаи~ туи наамбичаи туи тамаари,  
"амаа, эьээ амаази улээлэгу"-дээ, "амаа хаи-даа саарасини"-даа,  
"ундэси-кээ"-дээ наонзокаан-танин амим(би) каанзоин(и)-гоани, хусэ пиктэ,  
хусэни-гоан(и). эҗ туи тараа-ла ундииси улээлэгухэ~н эси-тэниин ундииси  
тадо туи биин-гоани, эҗ туи биидуэн(и), туи тамин~ тэи-лэ буҗкээсэ(л),  
купиикээни-лэ уи-дээдэ улээн-дээ сиарадааси-а~ оркилаа~ биэл ундэ.  
"хаимаар(и) осихасо," ундии, э~җ пузин ундиин(и)-го(ани),  
"эҗ хаимаар(и) туи осихасо," ундиин(и)-гоан(и) мапакаасал пиктэҗгучији,  
"эҗ хаира~," ундии, "аја~," ундэс(и)-кээ,

"эң эји-дээ баогохан амимбар(и)-даа баогохан,  
 э~н амбаангоас(и)-даа буэ ваакапо," ундии,  
 "эси, э~н улээн балзиоосо," ундии,  
 "буэ, баи сэвээни, амзиани хоон(и) балзиори-а," ундии,  
 "сунду. э~н мии... бумбиэ-тэ(нии) энугуэр(и) таапо," ундии, "буэ."  
 "эң аја~ чимана энүңэс(и)-тэнии," ундии,  
 эс(и)-тэ(нии) чимана энэңэс(и)-тэ(нии), туи биэ ундэ.  
 эң туи тамаари ундииси-э, гээ эс(и)-дээ чимана энэңэс(и)-тэ(нии)  
 пузин-тэнии улээн сиагоани пујуучихэн ундииси  
 амимбаар(и)-даа баохан, пиктэ, эң амбаангон(и)-даа абанахан.  
 эс(и)-тэнии ундииси-э, зиа чиманиа-ла ундииси-э,  
 элэдэлэ сиавандаа сусуучигум(и) ниэхэчи.  
 э~н закпадоа(ни) илисимаар(и) чуң(ну) хуэдэхэчи, хао(си)-даа ичэичэй-дээ,  
 туи тами уиси ичэгүхэчи.  
 эң тэвэкэ ојалани тоокомаари-о~ биэл ундэ тэи, мапакаасал-гола.  
 гээ~ туи тараа пузин-гулэ ньохораачии-гоани,  
 "гээ ајази балзиваандоо, буэ пиктэживэ, бумбиэвэ туи."  
 э~н эс(и)-тэнии туи тараа туи бии-го(ани) чадэ.  
 эси-тэнии туи бими~ мэргэн ундии, "анда~ пузин," ундии,  
 "зоокчи(ји) энугуури," ундии, "э~н эси-лэ хаи,  
 хаи ваандагораа эси-кээ, амбаангоар(и)-даа ваакасо."  
 э~н ундииси эси-тэнии ундииси таванки-ла, "хоони энугуури."  
 э~н мэргэн-гулэ ундииси, хаидо баахан, хаи, мэргэн-дээ мохогилаи,  
 э~н огдагоар(и) баахачи туи тараа таванки-ла энэпсиндии-гоан(и),  
 ваиси эгүхэн ундиин(и)-го(ани) пузин, э~н туи, тооичи эгүиизи гээ,  
 хамаси кэчэригүхэн пузин-гулэ пайнаји таас паачилахани.  
 э~н зоо-даа абаа хаи-даада абаа пурээн наа очогохани.  
 гадарак бии гаоњаакаан кумурэп бии кумчиэкээн таванки-ла,  
 туи энэхэ~н энэмээри~ энэмээри-э, энэмээри,  
 горо-даа анаа бичин тэи-лэ, маңбочи ниэгүхээл энэйичи-лэ тэи, иргэнчи.

э~н ундииси туи тараа зооји исигоха~н, мапа мама-ла ундииси-э,  
 баалан(а) буикин нии-лэ ииринэмээри бии-гоан(и), купчунду.  
 "э~н хаигоји ваактахаси-а," ундиин(и)-го(ани),  
 "гузиэлэгбэчэ, мэнэ хоон(и)-даа таиси тароо," ундиини-го(ани), эзичији.  
 тэи-лэ мэргэн-гулэ ундииси амимби энимби бэгзидуэн(и)  
 жапам(и) наңгаачигохани, мапа~ мама хэм хорагохачи.  
 эс(и)-тэнии чиак-даа анаа хаи-даа анаа иигүхээл, зоокчи.  
 гээ пиктэвэр(и)-тэнии хаилараа тэи пиктэчиэр(и) тэи,  
 аңаакааңгоар(и)-тэнии озоктаи-даа бээлгэсии-дээ таи-гоани,  
 тэи аңаакааңго(чи)-даа дааи осихани, пиктэчији-дээдэ.  
 туи тараа туи балзйи-го(ани) туи бими~ туи балзйими-а-ла ундииси  
 эси-тэ(нии) пузин-тэнии соңгои-гоан(и).  
 сиксэ~ эзији абаадо соңгои, зйзуучиэни хозйи, туи бие ундэ.  
 эң туи тами ундиин(и)-го(ани) мэргэн, "анда~ пузин," ундиин,  
 "хаим(и) соңгоиси туи-дэ." "э~н анда~ мэргэн," ундиин,  
 "мии-дээ эикэку бичэи," ундиин, "эгээ-тэ(нии) буики(н)-у~с, ују(н)-ус," ундиин,  
 "мимбиэ гасами-маңа." э~н ундииси-э, "гээ энэм(и) хаириини," ундиин,  
 "эикэчиэс(и)-дэ, эвэңк(и) горо анаа бизээрэ," ундиини.  
 эң таванки-ла туи,  
 элчиусэлзи хаисалзи гиолимзйиар(и) энэи-гоани иргэңку наи.  
 эң туи энэмээри~ энэмээри,  
 горо энэкэ зйза энэкэ эикэвэни баогои-гоан(и).  
 э~н эикэни-лэ тооила хаариичи-ла ундииси тэи-тэнии,  
 бипи-э поиңар бипи-э поиңар таа ундэ.  
 иихэчи-тэнии тэи-тэнии, зйилган-даа анаа~  
 соңгоми-маңа осихани эикэн(и)-тэнии-дэ.  
 "энэнэ~," пузин-гулэ эикэји-лэ хэ~п наамаңгоми агдаи-гоани-а,  
 "э~н ээпаңгоа~." "эгээ мии таамби"-м, "зичимби," ундиин,  
 "буикимбэси-гдэл таи-ноо, паңаамбаси-гдал таи-ноо," ундиини эикэни.  
 "ујумби-э пиктэкуји, эзикуји," ундиин(и)-гоан(и),

"эң кэтэлээ-дээ бурбухэн," ундиини.

эң туи тараа~ тэи-тэ(нии) баогохан-даа соңгохачи-ла,

зикэн(и) соңгохан дааи бира~,

нэуни соңгохан нуучи бира осихан тулиэду бии аор-даа хэжи-гоан(и).

э~ң эси-лэ зикэжи-лэ хориаңгоји жапагои-гоан(и).

туи тараа~ чадол-ла хэзокаамбани хэм тэучигухэ~н

огдациар(и) таванки-ла туи энуй-гоани, тоичи эугурээ,

хаиси паиңаји паачилахан зоо-даа абаа хаи-даа абаа

баи гаоњаакаан осюгои-гоан(и).

туи тараа энурээ~ туи балзии-гоан(и) элээ. кэту горо биэси.

1996 III 10. в Даерге, Ниэсулта Борисовна Гейкер

2. эруэ пасини

э~ң ундииси эм зоо доолани, эм эруэ пасини эмучкээ~н балзихани.  
туи бии~ туи бии туи тами-а мурчиини-го(ани),  
"мии-кээ~ наи алдамбани наисамбори." эси-тэнии боачи ниэхэни.  
боачи ниэхэн-тэ(нии) хэдун хэдундиин(и)-гоан(и), эси-тэнии,  
боачи ниэхэн-кээ ниэхэн,  
хэдун хэдукпилэидуэн(и)-тэнии пукчээриу~ уипэ хуэдуури,  
хэдуни тороңкиариидоан(и)-тэнии саакса алдандоани энэрээ~  
туи хэдумбуури таа ундэ.  
хэдун пуужэлэгуиду(эни) хаис(и) пукчээриу~ уипэ хуэдуури.  
тороңкиариидо(ани) хаис(и) туугурээ саакса алдандоан(и)  
туи лаптаа лаптаа хэдумбууриин(и)-гоан(и).  
туи энэми-э~ энэми-э-лэ, эм зоо бичини, тулиэдуэн(и)-тэнии, тактоко-да.  
тэи наи тактони эрчэнчизэн(и) ээс хуэдуухэни.  
туи тараа~ чадо туи хэдумбуум(и) биэ ундэ.  
туи биидуэни-э~лэ эм пузин-гулэ урэктэмику~ зичини.  
тактоји тоокпомбан(и) нээрээ тоохани. ичэхэни,  
тэи эруэ пасиван(и) тэрэк-дэ, "вакази-а~ хаи-даа," уңкини,  
"эи-дэмээ," унди, "эи улээн пасива-даа,  
уи улээн пасин(и) тугбухэни~, качамагоји бааохан ваказиа."  
эси-тэнии ундииси хаихани, урэктэмидуји нээрээ, такточиви иихэни,  
такточив(и) иихэндуји-тэнии огасам(ба) запараа  
тэи ојаалани нээкурээ иивугухэни. зоокчи(и) иивугухэн.  
хаизи, пуксу кэркичэдуэн(и) хаңанчији наңгалахани.  
туи тараа оңбохан туи биэ ундэ пузин-гулэ эмучкээ~н туи бии-го(ани),  
туи бими~ туи бими-э-тэнии, бэјэду осихани.

бэјэду осихан-ма(т) саагохани-го(ани), эрдэнгэсиин(и)-го(ани),  
"эи мии балзиханзија наива эчиэ ичээи, хаим(и) бэјэду осихамби эи."  
туи эрдэнгэси туи тами туи тами-а-танин,  
пиктэгуји баахани хэрэ~ улээмбэ хусэ пиктэкээн бичини, тэи-тэнии ундииси,  
соиракта насаңгаа, хаизи, субэхэзи нуктэнгээ зэргэзиэни, тэи пиктэни.  
чава-танин~ этэхие ундэ тэи пиктэји-тэнии-дэ пиктэгуји баахан-даа  
хаизи ээври эмуэ-дээ анаа дури-дээ анаа.  
эс(и)-тэнии бээлгэзи, эмуэзи, бээлгэзи дуризи туи пиктэји узиэ ундэ.  
тэи-тэ(нии) пиктэгуји бааханзиани-а-танин,  
наи-ла тул тул соар соар соар-даа поориа, соар соар соар соар,  
тоибандии, сиасин биэ ундэ малодо.  
тэи-тэнии, тоибамса пуртуни агбиндии, моо пасисални агбиндии таа ундэ.  
тул тул ини ини оосиа ундэ чаа-ла хэмэ~-дэ.  
туи тами-а-ла эм модан-гола ахириа ундэ, "эрдэнгэ~ хаи-даа,  
эи хаи нии бим(и) кукпум(бэ) аңгоини," ундии,  
"балзиханзиа~ хусэ нии~, эчиэ ичэм(и) балзираја.  
нэу-дээ анаји ааг(би)-даа анаји хусэзи уивэ, кукпум(бэ) аңгогилаи наи.  
эси модан ахиригоидоји-ла дэрэгбэчэ эи удэвэн(и) дуктэури,"  
уңкин моова жапараа-да. э~ң туи соим(и) ахиригохани.  
туи тараа жиа чиманиа-ла абаа, тэи, чадо бичини.  
ујэлэни-лэ соар соар-даа тајо. чоир чоир-даа наи,  
тоибандиини аноси сиасин биэ ундэ  
туи~ биэ ундэ туи тами~ эм модан-гола,  
пиктэји-лэ тухилэгурээ аол(и)каачим(и),  
доочи кэчэригурээ аол(и)каачиидоани-ла ундииси, э~ң мало,  
накани ујээлэни эриэ~х така ундэ, туи таијији гэсэ ундэ сээксэ-лэ тэң,  
чичикээлэм(и) хэјээ ундэ уисилээ тэи накан ојаачиа(ни) сакта ојаачиани-ла  
пузин-гулэ, туи тами заралихани, "анда~ пузин," уңки(н),  
"сии-мээ ээдэн нии абаани-а"-м-да. "э~ң эмучкээн бим(и),  
чико осин(и)-даа пуңтум(и) пиктэгуји баазаачи-ма(т)," ундиини,

"эң наини-ла жиа анаа хаи баара"-м-да.  
"хоон(и) оңбохаси-а~," ундиини, "эруэ пасивани этэхихэм(би),  
эруэ пасини эзиси таамби-э"-м-дэ. "э~ң мии-тэнии эс(и)-тэнии  
амбаа~н сэвээн хојаадоани зооји исигоор(и)-ноо абаа-ноо,"  
ундии, "э~ң пиктэгуји хусэвэ баараа~ чаа-тани ундииси-э,  
хотоа илгазиани илгалам(и)-тани, эмуэгуэни кээндэли чуктулихэмби-э,"  
ундии, "эси-тэнии эи, бэгзиэиэлэни эм паиңаоо осигохани"-м,  
"эи, чава чуктулигуидуји пакчии биини, пакчиива лиа(с) чуктулим(и)-тэнии,  
коороава баахан маңгани," ундиини, "амбаан сэвээн хорон..  
хојаадоан(и) зоо исигоор(и)-ноо абаа-ноо алдалаји-гда алдаксилаор(и)-ноо,"  
уңкини. э~ң туи таиэији гэсэ тэи-лэ,  
тэи сээксэ ојаачиан(и) киңгиригдэ эмуэ туугухэни.  
тэи-тэнии чэк тоңмаако~ чэк бичин жапами апсимбоваамбор(и) пиктэвэ.  
тэи-тэнии хаива, тээ-дээ бичини эмуэ жэримбэн(и)-тэнии  
кээндэли наи хотоа илгазиан(и) чуктулим(и) илгалахани бичини.  
бэгзиэ калтаазиан(и)-та(ни) эи эм паиңа даралаазиани эчиэ хожиани.  
э~ң эси-тэнии пуэин-тэнии соңгоми-ла  
тэи сээксэвэ-лэ хаихани-а~ пуниктэни пирпэлихэни-э  
тэи сактан(и) сээксэвэн(и)-тэнии муэзи туи пис(и)чим(и) хаочигохани,  
туи соңгоми-ла ээидуји-дээ ээиэији соңгоа ундэ. соңгоин(и),  
пиктэји соңгои-даа соңгои тэи, эс(и)-тэнии ундииси пиктэји-лэ оовогохани,  
тэи эмуэвэ жапагораа-да. эси-тэнии туи бии-го(ани),  
туи соңгом(и) туи бии-го(ани), эм модан-гола ундииси туи бими ундииси-э,  
э~ң чимии кукпум(бэ) ахиригораа боачи наңгаландахани  
кукпум(бэ) купчуучији. купчуучији, кукпунгуји наңгалараа-ла чиэчихэни,  
купчуундуји тээсим(и) досоэиини-ла, хажала-ноо хажала-ноо наи соңгоа ундэ,  
"каиракаа(н) асији пиктэји, поиңаоо~ таини-а," ундиин(и),  
"э~ң каиракаан асији пиктэји," соңгоа ундэ, хусэнии жилгани.  
туи тами-ла таах таах таидоани-ла ичэгухэни,  
кээндэли ичэичэин(и)-го(ани) хаидо-даа абаа наи, наи хаидо-даа абаа,

солиазиа-даа абаа хэзиэзиэ-дээ абаа.  
 хоон(и)-даа туи-тэ(нии) улээн досозии уилэ бии сиа(син)...  
 наи соңгоин(и) зилган туи тараа ичэгүхэни уиси,  
 элээ бадовани исихани бичини, тэи сисим(а) зуэлини, амин(и)-танин, хаичи,  
 ираини бичини буни баароани эзивэни.  
 эси-мээ ичэхэни, эзији, тэи-тэ(нии) улээн наи бичин  
 тэи-тэниин туи дарапсингораа тээсим(и) соңгоа ундэ,  
 "каиракаа(н) асији пиктэји, поиңаоо дэрэзиичи-э"-э-м-дэ.  
 э~с(и)-тэниин пузин-тэниин купчуундулэ пуэсэм(и) соңгои-го(ани)  
 эзији-дээ эзији. э~ң эси-мээ ичэхэн наи, наи балзихамбани,  
 тэи мапэји балзихамбани. купчуу(нду) пуэсэм(и) соңгоа ундэ  
 туи соңгоидоани-а пиктэн(и)-тэниин зоогдоји со~ңгои-даа соңгои,  
 иигүхэн-тэниин пиктэн(и)-тэниин валии валии јадам(и) соңгохани, соңгоини.  
 жапагораа куумбэ гидалагораа соңгочиин(и)-го(ани), соңгоин(и)-гоани,  
 "эни ичэгүруу, эзи соңгора," ундиин,  
 "эвэңк(и) амимба хаал(и)-даа баогоасиси-а"-м,  
 "э~ң сисим(а) зуэли буничи ирахан," ундиини, "амимбаси."  
 туи соңгои-го(ани). туи тараа туи пиктэји хаигоми хозихан,  
 соңгои туи тараа куучигүхэн, оосичигохан, туи тараа туи биичи-гоан(и).  
 э~ң туи бими-э~ туи бими пузин-гулэ дуиси тоохани.  
 э~ң дүжээчи-э тоохани ундииси эси-тэниин поңдава-танин чапчилохани.  
 э~ң пурээн тэтуэји, пурээн хазомби хэм тообохани-гоан(и),  
 горопчи тэтуэсэлби.  
 отава, гаро(н), хаи-даа хэм тэсичэур(и) закасал тообораа  
 поңдава чапчиин(и)-го(ани) наива аңгом(и).  
 эси-тэниин поңда, тэи наи осиха~н уже чапчим(и)-тол аңгохани  
 туи тараа-танин, тэтуэји-лэ хэм тэтувээңкини.  
 туи тараа ундиин(и)-го(ани), "э~ поңда~, ундииси, наи осигилаи,  
 наи осии осини мии баароји инэктэми кэчэригүзээчи-э"-м,  
 "амбаан осигои осини) коло коло чиа(и) кэчэризээчи"-м.



эси-тэ(нии) пузін-гулэ ундииси, тэи пондава тэтувээңкимби-лэ, Запараа,  
наива-ла аңгохам(би) тэтувээңким(би) Запараа  
порон дабал наңгалахани хамаси.

туи тараа ичэгүхэн тэи-тэнии хиз хиз хиз хиз хиз инэктэми-ла  
ньоани баароа(ни) кэчэригүхэни, хаилоо улээн пузін бичини.

"эгээ~ мимибиэ хаигоји гэлэхэси"-дээ "мимбиэ хаигоји гэлэхэси"-дээ ундии.  
"гээ нэку зиагоан(и) гэлэи-гоани," ундиин(и).

эс(и)-тэнии инэктэмээр(и) туи эугуи-гоан(и) тэи, наи хаи, наиңгозији,  
э~ң туи тараа туи бичин,  
эугүхэн-тэнии гээ тэи пиктэкээнзиэн(и)-тэнии купиин(и)-тэнии,  
э~с(и)-тэнии пиктэн(и)-тэ(нии) соңгоадааси осихани-го(ани) эикэгуји баахан.  
эс(и)-тэнии туи бии~ туи бими-э ундиин(и)-го(ани) эси-тэнии пузін-тэнии,  
моова-ла э~гзи моо чапчими-ла зоокчи(ји) аксом(ба) ти~ас иивүхэни.  
гилонзиа калтаа накандоји-даа тиас иивүхэни, моова.

э~с(и)-тэнии сиаори-а Закава-тэнии э~гзивэ аңгохани-го(ани),  
эм дүжээни-дээ тахидо-даа тиас осиизиан(и) бусэрэду-дээ нээктэм(и).  
эс(и)-тэнии хаидо, аксондоји-тэнии јаама хулэлүхэни.  
хулэхэн чадотэнии тэи, ундиин(и)-го(ани),  
"ээпаңгоа~ ундииси, мии анаадоји эзи~ эзи боачи-даа ниэвээчиэсу,  
каока зоогдо эи јаама доочиани чизчичии амочичии тамаар(и) биуусу,"  
ундиини. "нэкувэ-дээ эзи боап(а) пулсии... олбиачира"-м-да.  
"эи мии пујуухэм(би) Зака-даа исии," ундии, "мии зизуичижэвэ-дэ."  
э~ң эси-тэнии пиктэји хээсигүхэни ундииси ундии(си) озоктаини-гоан(и),  
"эни ичэгүруу~, ундииси, мии-тэнии амимбаси гэлэндэгуји таамби," ундии,  
"сии каока, эзи соңгора," ундии, "эикэси симбиэ мэнэ-дээ этэхии-јэ"-м,  
"мэнэ этэхии-јэ"-м-дэ. эси-тэнии пузін-тэнии туи тараа, э~ң хаихани,  
бааразигохани чимии зиа чимани-а тээхэни ундии(си) эрдэ,  
туи тараа бааразигороа ундииси боачи ниэрии-гоан(и).  
э~ң боачи ниэми пагзиалам(и) энэхэни.  
хээзиэ хооңкоңгоји исигом(и) бээрүм(и)-дээ илигохани ундиини,

"ээдэ~н хаи-даа пиктэји, поңдадо наңгалараа энэи,  
 э~н хоон(и) мурчим(и) энэини, хоон(и) таи-хаи сааваси."  
 эси-тэнии пузин-тэнии ундииси хаихани. пагзиалагохани хамаси.  
 хамаси пагзиалап(и) сиин кираачиани исигораа ундииси-э э~н хаи,  
 таванқи-ла бэичим(и) тоокохани зоокчији. паавала-ла аксон паавалани,  
 э~н сиңмузи голкалираа ичэхэни, пиктэни сэнэгүхэни бичини.  
 тэи-тэнии бээ бээ бээ бээ бээ аргасиа ундэ, "эзи соңгора," ундии,  
 "эниси-тэнии, ундииси амимбаси гэлэндэгүхэни"-дээ, "эзи соңгора"-даа,  
 "хамачаа-каа"-даа жаңгиараа ундэ,  
 э~н пиктэн(и)-тэ(нии) хэмэ~ очогохани бичини.  
 эси туи таи нии-каа хоон(и) тара мурчиини-го(ани) пузин-гулэ  
 туи тараа таванқи-ла ундииси-э, э~н элкээзи эугурээ,  
 сиин кирава исигоми пагзиалагом(и) энэи-го(ани)  
 таванқи-ла туи энэи~ энэи,  
 эң сиксэ~ ао(рии) эриндуэни эм зоокчи~ исихани.  
 э~н тулиэлэни, тулиэдуэни сикү~н калтаа бичин наива нээүхэн.  
 э~н туи тараа ундииси ихэни уи-дээдэ абаа.  
 хусэ нии жапаини хазон-рагдал биэ ундэ.  
 эс(и)-тэнии ундии хумэчэвэн(и) дэгбэлирээ~ дамхива омим(и) тээсиэ ундэ.  
 эс(и)-тэнии туи тээсиидуэни-лэ лэлэ~ лэлэ~ наи зилгани биэ ундэ.  
 тэи-тэнии ундиин(и)-го(ани) хаи, "хамачаа жака," ундии,  
 "мии эи-лэ~ бим(и) хумэчэји эчиэ дэгбэрэ," ундии,  
 "амбаан осин(и) нээ дээмбису~, наи осини эзи оркисира," ундиини,  
 "эси~ туи оркиачиохан жака."  
 эси-тэнии туи пакпарим(и) эугуэ, пузин-гулэ ундииси,  
 качамаји жапагороа ниэгүхэни боачи. эң тулиэлэ исигохани.  
 "анда~ мэргэн ундииси, мии-кээ эсиэни-кээ, наи таамби-а," ундии,  
 "амбаан-каа биэси-мэ." "анда пузин иигуу, анда пузин иигуу,  
 эмүчкээн биури хумэчэји дэгбэхэмбэни эрдэңгэси-гоани," ундии,  
 "хаали-даа эчиэ туи биэ." э~н туи мэргэн таини иигүхэни.

э~н эси-тэнии ундииси-э тэй-лэ мэргэн-гулэ хаи,  
 уликсэвэ иивугухэн пузін-тэнии чава-тании чаасом(и) пујуурии-гоан(и).  
 э~н пујуухэни ундииси эс(и)-тэнии ундииси-э,  
 э~н хаабогехани котаамбани жапахани ундииси кэрчихэни.  
 тиас чокчолім(и) кэрчирээ буухэни. тэй-лэ мэргэн-гулэ ундииси,  
 эн туи јэјэм-кээчи соңгом(и) бии-дээ, пузін кэрчихэмбэни-лэ хэм сияхани.  
 э~н туи та(раа) пузінчи ичээзи, котаанчи ичээзи таа үндэ.  
 эн пузін-гулэ котаамба жапагораа эси долиндола кэрчихэни.  
 э~н чава сиариидо(ји) ундиин(и)-го(ани),  
 "мии-тэнии ээдэ~н хаи-даа," үңкини, "андахаңгоји мэдэвэни-хэй гэлээ...  
 мэдэвэ хао(си)-даа энэм(и) пулсим(и) хэйкуивэни-кээ мэдэсиэсилэји,  
 сияор(и)чи-мања, хоокпаамбохани," ундиини,  
 "ээдэмби-э"-м-дэ. э~н пузін-гулэ ундиин(и)-гоан(и),  
 "хао(си) энэй энээм(би) үнзээмби~, хао(си) пулсии пулсиэм(би) үнзээмби,"  
 ундии, "эн эзији-тэнии ундииси, кооро(ва) баараа буикини-э," ундии,  
 "пиктэгуји баараа эмүэгуэн(и) аңгом(и), эн чава жаанигоја"-м,  
 "пањаамбани буничи." эси-тэнии мэргэн-гулэ куңгилигдэ~ соңголока үндэ,  
 "эн буэ-дээ најјааңкаачи бии осини) асији гэлэндэгуур(и)-гоани," ундии,  
 эс(и)-тэнии туи соңгоидо(ни) пузін ундиин(и)-гоан(и),  
 "гээ хоон(и) там(и) буикини," ундии, "асиси."  
 "э~н хоон(и) там(и) будэ~, " ундии,  
 "хаи, пиктэгуји хаива~, эм модан-тании мэнэ бии мэнэ, гэхэдэй~,  
 мэнэ бии мэнэ пуксиндии~ эрдэлэини," ундиини,  
 "чава-тании хаива-ноо жапаидоји-тании, ээлэлэн(и) тэс тоңгалахани,"  
 ундиини, "эси-тэ(нии) боачи ниэрээ мээп(и) тактодо, пасихани," ундиини,  
 "э~н тэй калтаани," ундии, "тээ тулиэду." туи соңгоа үндэ,  
 "буэ најјааңкаачи бии осин(и) буэ-дээ гэлэндэгуур(и)-гоани асији.  
 анда~ пузін асијија гааэзохаари-а, хоони~-даа гааэзохаари-а," ундиини.  
 э~н туи соңгоха~н, туи, тэй мэргэн туи соңгоин(и)-гоан(и).  
 эн туи тараа-ла ундииси-э, жаа чимани сусуи-гоани чимии.

эс(и)-тэнии уикэвэ ниегу(иду) луктуулэ~ туи мэргэн,  
 кэкчэм(и) туи дэрэзигүхэн, эң пузін-гулэ ундииси таванки-ла  
 туи энэи-го(ани) туи тутуи дуэрэи там(и) туи энэи-го(ани),  
 туи энэми~ хоони энэхэн сиксэ~ эм иргэм(бэ) исихани.  
 э~н иргэ~н токондолани-ла ундииси эзэ(н) хаандолани тоохани.  
 таараа уикэдуэн(и) запараа иихэни.  
 чадол-ла ундииси эм мапа~ мама биз ундэ.  
 пуксузие калтаазиала, мападо-даа эм паъоо,  
 мападо-даа эм паъоо биз ундэ. э~н зоогдо кэркичэ пуксузи...  
 хаидо гилонзиал(а)-та(нии) кэкэнээ элчиусэл биини.  
 э~н мападо бии паъоодо-тани ундииси,  
 эктэ нии запаин(и) зака~-мања биз ундэ западаан(и) нэучиини.  
 эң наонзокаан хаи, хусэ нии запаин(и) зака-та(нии)  
 тэи мападо бии паъоодо биини, западаан(и) бии паъоодо.  
 эси-тэнии~ чава-тани туи хаихан, мапа-тани ундиин(и),  
 хаидо пузін-гулэ ундииси мамачи, мамачи мапачи ьохораачии-гоани.  
 "э~н хаини-гдал пурин(и) бимээри-э, ьохораачиисо," ундии,  
 "эни ичэгуруу," мапази мапази озоктахан пузимбэ-лэ ундииси,  
 "э~н хаи баитадоани-ла кээндэлим(и) бундулэ кириисо," ундии, "буэ."  
 э~н пузін-гулэ туи туи баитадо(ји) энэм(и) хэйкухэмби." эс(и)-тэнии,  
 "хаи соңгои-го(ани), буэ-дээ найјааңкаачи бии осини),  
 пиктэји гэлэндэгуурин(и)-гоани"-м,  
 э~н чадол-тани гусэрэин(и)-гоан(и), мапаачан,  
 "ам ичэгуруу," ундии, "эи зоа-тани купихэчи маңгани," ундии,  
 "муэзи, огдази, эң тэи-тэнии ундииси эикэ нэу~-дээ энэи-гоани," ундии,  
 "элчиусэл пуригзиэни туи купимээр(и)-тэнии, нэүзимэ окалинкини," ундии,  
 "муэчи, огдази(чи), чава-тани эикэн(и) запагом(и)-тани, нэүзији гэсэ,  
 окалиндаа зуэтуңэ буикичи-э," ундиини, тэң хаимаар(и) соңгои-гоани,  
 "э~н буэ-дээ найјааңкаачи осини) пиктэји гэлэндэгуур(и)-гоани," ундэ,  
 соңгоал ундэ. "эң ам ичэгуруу буэ пуригпүвэ гаазохаари-а"-м

соңгоин(и)-го(ани) мапаачан. э~н эс(и)-тэнии хаириин(и)-гоан(и),  
туи тараа-ла ундииси эси-тэнии чимии тээхэн-дээ соңгои~  
тэи мапа~ мама-та(нии), "ам ичэгуруу,  
буэ пуригпувэ-дээ хоон(и)-даа гааэзохаари-а," ундин(и)-гоан(и).  
эң пуэин-тэ(нии) эңэжэ-дээ эчиэ ундэни,  
гээ-дээ эчиэ ундэни тэи-тэнии ундииси-э,  
э~н жиа чиманиа тээхэн таванки-ла ундииси-э эң сусугуи-гоан(и), таванки.  
эси-тэнии тэи иргэндүлэ-тэнии по~с дуиси тоохани.  
туи энэми тооми~ тооми-а-тани ундииси-э,  
хурээн тэхэчиэни~ исихани эм хурээнчи.  
тэи хурээн, тэхэдуэн(и)-тэнии эм сисим(а) зуэли илисиа ундэ.  
эң тэи сисим(а) зуэли бэгзидуэн(и)-тэнии  
сиңгэрэ омон(и) даилаазиани саңга(р).  
э~н пуэин-гулэ исиэжи гэсэ ундииси, хаидо-гдал баахани-ос  
ниэптэнгивэ сианто даилаавани ундииси  
туңгэндүлэжи агбимбогоиэжи гэсэ ундииси-э  
э~н тэи сисим(а) зуэли аңмавани мододахани.  
тэи-лэ эус(и) там там-а~ таос(и) там там-а луңбэкэ ундэ,  
"э~н ам ичэгуруу~ ундииси, эмэчээ жакава  
буэ сияханжи-та(нии) хооњаа гоидаорини," ундиини,  
"э~н хаи жалапч(и) сияхам(би) жака эси-мээ амталагоорини"-м-да.  
э~н пуэин ньохораачиин(и)-гоани.  
"ам ичэгуруу ундииси, ньохораачиивас(и) хоон(и) тажаамби," ундии.  
"э~н хаи, кэту-дээ жаа осини сии ээс(и), эниндуэи аминдоэи осигохан,"  
ундиини. "энэжээчи-мэ," ундии, "поктова чуул-да.  
э~н ээжи эривэн(и) жапаго... татагораа жижухээри," ундии,  
"тургэнгуэиэни мочогохаари," ундиини.  
э~н пуэин-гулэ таванки-ла ундииси, "эи, эи саңга(р)до жилиэи нээруу,"  
уңкини. э~н тэи хурээн саңгардоани жилиэи нээриэжи гэсэ  
хаончок энэхэни пуэин-гулэ.

эң буни доован(и) тутуилэжи-э~ саагохани. таванқи-ла туй энээ ундэ.  
тутуми-э~ энээ ундэ, туй энэми энэми-э-лэ,  
эм пузим(бэ) баахани тэи-тэ(нии) кээр каар кээр каар эрсие ундэ,  
такто ирчиини бичини, э~н ундииси, "анаки-а~ хаи-даа," уңкин,  
"наи-ла тутуми-э энэини-э"-м,  
"мии ээји-тэнии минчи чуурсиини байгоачими-тэ(нии)  
эи тактова-даа эчиэ ачоан(и)-танин," ундиини.  
"э~н буэ-тэ(нии) хаали, исиорини-м энэи боава." э~н пузин ундии,  
"анда~, ундииси, пањаан туй осихан-танин"-м,  
"тэи тактози пасихаси. эң ээиси-лэ симбиэ хаи туй нэучэрэ"-м-дэ.  
"баалан(а) тактовас(и)-даа хэм зэгзичигухэ(н)"-м-дэ.  
э~н ундииси таванқи-ла туй тутум(и) энэи-гоани, зүлэси энэи-го(ани),  
туй тутум(и) энэми-э энэми баахани,  
эм арчокаан бичини эм наонзокаанзи-да.  
ээлэлэчи-лэ тээп тээп тээп тээп муэ сабдаа ундэ.  
тэи-тэнии дуривэ эмуэвэ тухисие ундэ, тэи арчокаан-гола.  
тэи дуривэ эмуэвэ тоотаичи ирахан,  
тэи наонзокаан нэүји њаанираа туй энээ ундэ.  
наонзокаан зүлэси ирай, эмуэвэ дуривэ њаанигои туй, соңгоа ундэ.  
"эрдэңгэ~ ундииси, анаки хаи-даа тутуми-э~ энэини," ундии,  
тэи арчокаан. "амаази энээзи-тэнии буэ хаали исигопо,  
эи эмуэвэ дуривэ нээхэчи-э," ундиини, соңгоин(и)-го(ани) тэи арчокаан.  
эс(и)-тэнии пузин-тэнии энэи нолзинзиа(ни)-л(а)  
тэи эмуэвэни дуривэни кап тухилэйији гэсэ таванқ(и) туй капчираа  
туй тутум(и) энээ ундэ. эң туй энэп(и) дуэдуэ(ни),  
"хаи эчигбэни, хаи там(и) тухисивээндиини, горочи энэхэн-тэнии,  
наңгалахани хао(си) хаарианқи(н)-ос таванқ(и) туй энээ ундэ.  
туй энэми-э~ энэми эм боачи~ исихан, эм њулбу~ њулбу боа бичин.  
э~н хомараа(н)-ос хаија-ос биэ ундэ.  
чал(а) исихан-танин тэи-лэ хомаран тулиэдуэни-лэ ундииси

ээини-лэ тээсими-э~ биэ ундэ,  
 э~н пузимбэ-лэ ичэйижи гэсэ атаригда~ заралика ундэ,  
 "анда~ пузин, ундииси, эң хаандам(и) зичиси," ундии,  
 "э~н симбиэ-лэ туи зэйүрэ-м эчиэ мурчија," ундии,  
 "эң нэку хоон(и) балзйи-ја," ундиин(и), "сии анаадоаси."  
 "анда~ мэргэн," ундии, "мии-дээ буиким(би)-тэнии," ундии,  
 "эң сисим(а) зүэли-м амиси зэйүми мимбиэ кэркилэхэни," ундиин(и)-гоан(и).  
 "абаа," ундии, "сии ујунси," ундии, "хандахаси," ундии,  
 "э~н пиктэ хоон(и) балзйгоани."  
 эси-тэнии ундииси-э хисаңгои доолан(и)-тол,  
 "анда мэргэн зиливас(и) гэлэгуивэ," ундии.  
 "мии зилидоји чиктэ-дээ анаа хуктэ-дээ анаа," ундии,  
 "сисим(а) зүэли амимби хэм мии зилија сигзигухэ~н," ундии,  
 "улээнгузиэни, эс(и) зилидоји(ва) чиктэ-дээ абаа хуктэ-дээ абаа," ундиини.  
 "ја~ мии пэргэм(и) гэлэгујэвэ," ундиини.  
 эси-тэнии ундииси-э, хаира ундэ,  
 нээ зигдаижи гэсэ зиливани гэлэини осихани.  
 дүлэлэни-лэ ундииси-э эң мораа ундэ,  
 "эни ичэгуруу~ сиандагороо," ундии,  
 "хамачаа эктэвэни баараа гүрээндуйсу," умбувээндии, ундиичи.  
 э~н эси "баала сиандагороо"-м мама зилгани хээсиэ ундэ.  
 эси-тэнии ундииси пузин-гулэ эилэ чала суилими-лэ ундииси,  
 тэи эривэни ичэйичин(и)-тэнии, хайдо-даа биивэни.  
 э~н туи тами ичэгухэни, эривэн(и) ичэгуижи гэсэ  
 лопто татагоми пагзиалагохани. туи тутугум(и) зйзуин(и)-го(ани),  
 тэи-тэ(нии) хамиалан(и)-тэнии ээин(и)-тэнии,  
 хас(а)сигоин(и)-го(ани) зилгани тул тул сиандоан(и) бии  
 хамаси-даа ичэгуэсин(и)-го(ани) пузин зүлэси-гдэл тутуи,  
 "анда пузин эријивэ буугуу, анда пузин эријивэ буугуу," ундии,  
 "эрдэңгэ~ хай-даа ундииси-э, э~н хоони,

сисим(а) зуэли амаа зэгзичиидуэни хаизи, саормасиори-а," ундии,  
"эриwэ Запагохамбаси. э~н эрдэнгэ хаи-даа хаигожи Запахаси-а"-м.  
эс(и)-тэнии хачингози(ани) пузимбэ соини аргани аргана...  
эктэнии эрдэнгэкуни, асини аргабатони туи биин(и)-тэнии ундии, э~н туи,  
сиандоа(ни) лур ньоан(и) зилгани-мања соин(и) зилган(и)-мања биэ ундэ  
пузин-тэнии, туи тутугум(и) зйзүхэни.  
зйзүми зйзүми тэи арчокаам(ба) баогохан наонзокаам(ба) тухисии...  
пинасиивани, уутуэчиивэни. "эгээ-кээ анаки-а~ хаи-даа," ундии,  
"хамаси мочогоми-а бии элээ."  
э~н пузин-гулэ тутуилэжи бээрүм-дээ илигохани.  
"э~н эпаңгоа~, ундииси, хоипокаам(би) бууруу," ундии.  
"гээ," ундиин(и)-го(ани), "аминаадоас(и) мии буугугүжэ."  
пиктэкээм(бэ), нэудуэни ичэхэни, хаикаани,  
эи гаикоандоан(и)-та(нии) наи хаикаам(ба) нээхэни бичин  
хаи хоњакакаамба. чава Запагохан. тэи-тэ(нии) хаивани, мэнэ ачоктахани.  
сиандоан(и) бии хоипокаамбани эжэ тајавани.  
туи тараа чава-тании Запагоизији гэсэ туңгэлэгүм(и) пагзиалагохани.  
таванқ(и) туи зйзүи~ туи тутугуи туи тутугуи туи тами-а,  
баогоин(и)-го(ани) тэи эктэ. такто иричи эктэwэ.  
ундиин(и)-гоа(ни), "анаки-а~ хаи-даа," ундии,  
"наи элээ мочогоми биини," ундии, "эң мии-тэнии хаали-а~ исиори," ундии,  
"эи-тэ(нии) модамби, мии-лэ мапаји-ла ээдэни~," ундиини,  
"элээзиэн(и) чуурсиэм(би)-дээ, баигоачиам(би)-даа," ундииси-э.  
"хаивани, ачоми-даа аја, тактова." э~н туи хисаңгоидоји,  
"анда~ ундииси эи чуу~ увүји хоипокаам(би) бууруу," ундии,  
"эзидуэси мии буугугүжэwэ, эмбэ элчикээмбэ,  
эмбэ кэкэкээмбэ асигоји баап(и) тэсчигүэни.  
э~н туи тараа-та(нии) эси-тэнии ундииси, "гээ," ундии,  
"гээ," ундиидуэни энэм(и) ачохани, сиандоан(и) биивэн(и), хоипомбани,  
эжэ тајалани биини.



эс(и)-тэнии таванки-ла туй жапагоми чала тутугуин(и)-гоан(и),  
туй энэми~ энэми-э-лэ, хаончок энэхэндүлэји хаончок энэи-гоан(и).  
тэи сисим(а) жуэли хаидоани, бэгзиду(эни) аориилаји сэнэгүхэни.  
тэи-тэнии, эжин(и)-дээ жакадоани аоми~ биэ үндэ.  
туй тараа зугуи-гоани жуэзиэр(и) гүсэрээндүмээри-э~ зугуичи-гоан(и).  
зүгүхэн, тэи иргэндүлэ исигои-го(ани) зүгүмээр(и).  
эси-тэнии мапази мамази соңгои-гоани, "наи-каа анаки-а~, " ундии,  
"эзији гаазо... баогои, хоригои-гоани"-мал соңгоа ундии,  
"буэ-тэ(нии) найјааңкаачи пиктэји гэлэндэгуур(и)-гоани"-м.  
эс(и)-тэнии асоо-даа жаралимосиасиал, сиаваяңкил,  
туй тараа сиксэ апсиңгоидоачи-тани, пузин,  
мападо-тани тэи хоњакакаам(ба) буури-гоан(и),  
"эпээ даака, эивэ тунгэндүји нээрээ апсиңгороо," ундии,  
"пиктэси уигүгүхэни-э"-м.  
эң пузин хэсэвэн(и) дахорсим(и) тунгэндүји нээкүхэни мапа,  
пиктэји хоњакакаамбани, хүсэ пиктэңгији.  
мамадо-тани тэи хоипокаамбани буухэни,  
"эпээ даака эивэ тунгэндүји нээрээ апсиңгороо, нэку уигүгүхэмбэни."  
эс(и)-тэнии тэи, туй тараа~ апсиң(кичи)...  
малодо сэкчичэхэчи-го(ани) аогоачи.  
туй тараа чадо апсиңгороа~ досожиичи-го(ани), гүсэрээндүмээри,  
эси-тэнии ъаңга аомаари энъээлэји пиктэји-дээ, амаала пиктэји-дээ,  
соңгомаар(и)-ла ихэрэвэ таавогоха~л, пиктэчи-лэ хэм хорагохани бичини,  
тэи жуэ пиктэкээн.  
гээ эси-тэнии долбо-тол пиирэ(пир) осии-гоан(и) тэи наи.  
мапаачан-тани нээ, хаиха~н, агдахан ундиини-го(ани),  
арки оминасии-го(ани), јаохии пиктэји баохандоји, ундиин(и)-го(ани),  
"ам ичэгуруу~, ундииси, агдахан-гола маңгани-гоани," ундии,  
"пиктэји туй баогоори-м эчиэ мурчиэ"-м.  
"хаи, аисим(ба) гэлэиси мэнгүм(бэ) гэлэиси осини

полго(н) полгонзиан(и) баарамби," ундии, маңга бајан мапа.  
"полго(н) полгонзиан(и) баарамби," ундии,  
"тэвэ сияор(и) закава гэлэйси осини, маимандо-даа баарамби," ундиини,  
"сияор(и) зака, буурэси осини." пузин-тэнии хэмэ~ бирээ,  
ундиин(и)-го(ани), "эпээ даака," ундии,  
"аисим(ба) мэнгумбэ-дээ буэ хаи такорам(и) отолии гуру(н) гэлэрэ,"  
ундиини. "сияор(и) закава баахан-даа, дуэкуни мањаазаа-ма"-м.  
"аси пиктэси, уи-дээ эчиэ пэргэчиэ-нуу," ундиини,  
"эчиэ наи пэргэчиэ осини) чава-каа нэучэруу," ундиин(и)-гоан(и).  
"тэй-лэ аја-гоани," ундии, "эчиэ наи пэргэчирэ," ундиин(и), "пиктэјиэ."  
гээ мапа-та(нии) агдаха~н, гээ нээ пиктэји, аси пиктэји нэучэур(и)зији-дэ.  
эс(и)-тэнии туи аркива омихаал туи тараа апсиңго(и),  
чимии тээмээри туи энэпсиңкин.  
туи энэмээри~ энэмээри хаис(и) сиксэ~ исигохачи, тэй мэргэн баароани.  
эс(и)-тэнии тэй мэргэн пузим(бэ) ичэгүхэн,  
тэй мэргэн гааžo... эјији гааžoини.  
эс(и)-тэ(нии) куиңгилигдэ~ соңгоа ундэ.  
"буэ-дээ најааңкаачи бии осин(и), мамаји наанигоор(и)-гоани"-м-да.  
эс(и)-тэнии хаиха~н, чадо хажал хажал сиаваяңки~н мэргэн, буухэн.  
туи тараа чадо апсиңгохаал уже,  
апсиңгоидоан(и)-тэнии пузин-тэнии мэргэн бааро(ани), ирагоин(и)-го(ани),  
тэй хоипомбани. "анда~ мэргэн ундииси эи,  
мамаји хоипокаамбани, буугүхэни-э," ундиини, "уигүгүхэни-э"-м,  
"хаи, уијэн-дээ кэкэңгүэни улчиңгүэни баапи, тэсчигүэни... тэтувээндүү"-м.  
"эси-тэ(нии) мээпи ичээзи-кээчи ичээзэруу"-м, "тэтугүвээндээ-дэ."  
эс(и)-тэнии мэргэн-тэнии, соңгочими~, "түңгэндүји нээрээ апсиңгороо,"  
уңкин-го(ан) тэй хоипокаамба. эс(и)-тэнии пузин хэсэвэн(и) дахорасим(и)-ла,  
түңгэндүји нээрээ апсиңгохани мэргэн.  
эс(и)-тэ(нии) чиил чил аории-гоани хэмэ~ апсиңгохачи.  
њаңга аориизији гэсэ, гээ, э~си-тэнии соңгомаар(и) тээгүкэл ундэ-дээ,

"асији"-даа "асији," "эзији"-дээ "эзији," соңгоал ундэ асини хорагохан.  
 гээ, туй тараа-танин эс(и)-тэнии, нээ долбо-тол гучи пиирэ аңгохаал,  
 эс(и)-тэнии ундиини, "анда~ пузин," ундии, "мии-тэнии ундииси,  
 синчи-тэнии ундииси, бэјэзи энүзээмби-э," ундиини,  
 "будэлэ гэсэ балзигоји, гэсэ, гэсэ~ бипугуји~"-дэ.  
 "мии-тэ(нии) хаи-даада анааја," ундии, "нэу анаадоји нэулэрээ,  
 пондазоо анаала пондазоолараа тагои, там(и) бипугуи энүзээмби," ундии,  
 "синзи, гэсэ бипугуји. мии-тэнии хамачаава-даа баарасимби"-м,  
 "синду буугуји-дээ агдахан-даада. бэјэзи энурээ гэсэ балзијаамби"-м,  
 "зоагоочиани." "сии-лэ мурунси-э," ундии,  
 "мимбиэ энүхэн-дээ наи хэтэхэни далихани-дээ ундэси-э," ундиини.  
 "боавани улээсим(и) боарохан-каачи-а-да бизээ-мэ"-м тэи мэргэн.  
 гээ пузин ундии, "сии мурунси," ундиини-гоан(и),  
 "мии симбиэ гэлээдээсимби, зидуу-дээ ундэдээсимби," ундиини-гоан(и).  
 "сии мурунси, мэнээ чихалаиси зизээчи-э"-м-дэ.  
 эси-тэнии нээ зивур(и)зи туй хаихан,  
 чимии тээхэн хаилаа јаохиин(и)-гоани эс(и)-тэнии-дэ,  
 чимии тээхэн-дээ ундии, "нээ зивур(и)зи... энур(и)зи, зоагоочиани энуичи,  
 нуктэгуичи." э~ң туй тараа таванки зизүхэн зизүхэн зоовар(и) исигохан.  
 хаива, хэзиэ хооңкоңгоар(и) исигохачи.  
 чала хооңкогом(ба) исигоми ичэичэи-го(ани),  
 хэрэ~ тэи, пондам(а) эктэңгун(и)-тэнии тэи, хаизи,  
 пиктэзиэни-лэ токикаанзи сусуэкээчиэ ундэ  
 пакаарио~ пакаарио сусуэкээчиэл ундэ.  
 эси-тэнии пузин-тэнии тэи хооңкоңгоји исигоијији гэсэ  
 апији тас паачилахани.  
 мапа, пурээн мапани осиијији гэсэ хоңморам(и) энэи-гоан(и).  
 эзин(и)-тэнии ундии, "анда~ пузин," ундии,  
 "тэи-лэ пиктэвэ-лэ хоон(и)-даа таи осин(и)  
 сахар(ин) сээксэ наад(о) тээп энээсизизэн(и) бузээчи," ундиини.

эс(и)-тэнии пузін-гулэ ундииси-э~ туи хоҗморам(и) энэи-го(ани),  
 пиктэн(и)-тэнии, сусуэкээчихэн-дээ эним(би), элээ исиидоани-тании,  
 мапа исиидоан(и)-тании илигохани, сусуэҗкинзији.  
 туи таизији гэсэ ундииси, коол коол. илисиа ундэ  
 пузін-гулэ тап тап энэин(и)-гоани пиктэчији.  
 эс(и)-тэнии зуэ(р) сиани алдамбани ичэээкэп сиантолахани, энимби.  
 тэи-хэи ундиин(и)-гоа(ни), "ии," ундии, "масини осихани," ундии.  
 "мии даа(и) осипи-а мэнээ эниэ, амаава җаанигогилахамби-а,  
 энэрээ масини осираа эндүэчиини," ундии, "энимби."  
 тэи-тэнии энин(и)-тэнии инэктэми пузіндуји осигогои-гоан(и),  
 тэи сиантова баараа-да. гиалби~га(н) энэизи(эни) сиантолахани наи,  
 тэҗ зуэ сиани алдамбани ичэээкэп-дэ.  
 э~җ пиктэвэр(и)-лэ җапагораа амини уутугухэн, озоктаи туи,  
 тэи поңдам(а) эктэҗуји-дээ пузін озоктаи-гоани агданасим(и).  
 э~җ таванҗи-ла туи, хаигохан, туи тоокоха~н эси-тэнии туи биичи-гоа(ни).  
 гээ эси пиктэн(и)-тэнии хаи, "поңда эгээ поңда эгээ,  
 поңда эгээ поңда эгээ," туи хаириини-гоан(и), хас(а)сиини,  
 туи купиичи, тэи поңда эикзији.  
 туи тараа-ла туи бии~ туи бии эс(и)-тэнии җоагохан.  
 җүкэвэ-дээ эгзівэ тообохани-го(ани) тэи поңда-тании, боал(а) бии дэсиучи.  
 җүкэ-тэнии уулухэн, тээп тээп сабдаини-го(ани) муэвэ уулухэн хэм-дэ.  
 э~җ хаи-даа, моо-даа хэм чипурэк,  
 хабдата агбиңгохан поочика(почка) анаини-гоан(и).  
 туи ос(и)ни... элээ элээ хабдата дэптээри,  
 эси-тэнии сохиа~к, сохиак соҗгоа ундэ, сиксэ-лэ,  
 поңданҗони, голзо(н) кираадо(ани) тээгүрээ-дэ.  
 пузін ундиин(и)-го(ани), "ээпаңго~ хаим(и) соҗгоиси," ундии,  
 "хаи, буэ-кээ хаи-каа уҗкиси-нуу,  
 э~җ уи-дээ, уи-дээ хаи-даа уҗкимбэни оркисииси-ноо," ундии,  
 эҗ соҗгоа ундэ, туи. туи тами ундиини, "абаа~, " ундии,

"мимбиэ уи-дээ хаи-даа эчиэ ундэ," ундии,  
"нэку-дээ, тул тул эгэлиилэи мимбиэ хаи ундэ"-м, "э~н мии-тэнии зүкэ,  
тообохам(би)-даа хэм уундиийэ~, зисилби-дээ поңда,  
урэктэсэл-дээ хэм, элээ наи, јаогигда хэдулугујэ," ундиини,  
"мии баи поңдани, симбиэ гузиссим(и) осираа хоон(и) биури-э"-м.  
"мимби(э) ирагороо," ундии, "мии бааро... тэхэчијіјэ.  
мии, мимбиэ чапчихан тэхэчи." "э~н гээ аја энуги ос(ни) энүзээчи-мэ,  
хоон(и) таори, бируу ум(и)-дээ ачааси,  
баи мимбиэ гузиссим(и) туи осихамбас(и) хоон(и) таори."  
эс(и)-тэнии нээ~ пузін-тэнии, "чимана~ ирагоам(би),  
"чимана~ ирагоам(би) туи, хадолта хадолта бичи(н) тэи,  
поңдангон(и)-тан(и) будуриин(и)-го(ани) энугчэм(и) соңгочи.  
"аја, ээпаңго чимана ирагоам(би)," ундии, туи тараа эм,  
чимани-ла тээхэни-э~ хачин закава пујуухэни пузін-тэнии ундииси,  
"гээ эиниэ-кээ нээ ирагоори аја." эс(и)-тэнии ундииси-э тэи, хаива-ла,  
элэдэлэ~ поңдангоји сивааңкини таваңки-ла, поңдангони-ла,  
пиктэвэни тухисии-дээ, эргэ, уутуэчи-дээ,  
о́октаи-даа там(и) туи тоории-гоани.  
гээ дуиси тоокоизији-го(ани), илаанзиари.  
э~н тэи, поңдангони-ла тэи мээн тэхэдуји-лэ тэрэк илигохани.  
"эгээ~ ундииси-э, эи суэмбиэ чаалихам(ба)-тэнии порондоја нээкуруу,"  
ундии. эс(и)-тэнии, порондоан(и) нээкуизији гэсэ тэи-лэ ундииси  
э~н јаогигда~ хэдулугухэни. эң туи тараа ундиин(и)-го(ани),  
пи~ктэн(и)-тэнии соңголохан симата ојава наа ојава пуэсэми-лэ,  
"поңда эгээ"-дээ "поңда эгээ"-дээ соңгоа ундэ.  
"эгээ~, ундииси нэку, энугувээндэчи-э," ундии, "эзи соңговаанда"-м,  
"чуу~ пэгиэ гаракаамби-а чаалираа, нэкуду бууруу," ундии,  
"эи эикэси-э"-м-дэ. э~н эси-тэнии туи тараа пузін-гулэ  
поңдангон(и) хэсэлэ(ни) чуу пэгуи гаракаамбани чаалихан,  
туи тараа бууриин(и) тэи-тэнии,

пондаон(и)-танин понда хангиактолани понда,  
хадата хангиактолани хадата, осигохани-го(ани) тэи-тэни,  
ториши хадатаңга~ хайши конгоктож(и) чимчиктэнгэ~ зэргизиэни  
наи жаогигда~ хэдум(и) туй дэрэзигухэн, пушин,  
"гээ эи эикэси," унжин,  
эси-тэни чава-ла, пиктэни-лэ ту~л тул туй этэхие үндэ тэи моо...  
гаракаамбани-ла "эгээ эгээ, эгээ эгээ," туй этэхие үндэ,  
эң туй бими-э~ пиктэ-дээ дааи осии-гоан(и),  
э~ң най, амбаан дааи осихани. гээ эси энээр(и)-гоан(и).  
тэи ньоанчи, ньоанчиан(и) жиэуи гурун-дээ исигоха~н, тээ зул(илэ), уикэчи,  
тоиңкоаси-гдал... тоиңкоаси-гдал зэргэзиэн(и) зоокааңгоар(и) аңгогохачи.  
э~ң таванжи-ла ундииси туй,  
гиолимаари-о~ энэи-гоани мапанаа баароани зоагохан заароан(и).  
туй тараа исиха~н иргэндулэни ундииси-э исихандоан(и)-танин  
ундиин(и)-гоан(и), хаи, хаива,  
э~ң мапа мама-ла хаилараа-го(ани) жаохиичи тэи,  
пуэиунээ исихамба(чи) пиктэвэр(и) олбимаар(и).  
эс(и)-тэни~ ундииси пиктэжи-тэни хаихани.  
нээ, буурии-гоани~, иргэмби-дээ ундииси, токон калтаа, хаирии,  
пиктэдуји полаи, э~ң ундиин(и)-гоа(ни),  
"мии хаи-даа бии-дээ, буэ, хайзаамби-а," ундиини,  
"суэ саазаасо-ма будиижэ, эм будиидуји улээн үндэхэнжи будээ,  
улээн эсэлим(и) баахан осини элээ," ундиини,  
"хаива-даа гэлээсимби, торива-даа гэлээсимби хаива-даа гэлээсимби,  
хооњаа бии агдапсиини," ундии, "пуригбивэ хоригохаси."  
э~ң эси-тэни нээ, пиктэвэр(и) асигоан(и) гаажом(и)... гаажои-гоани,  
эиа чиманиа жиэуи-гоан(и). хадолта хадол(та) бии-гоан(и) чадэ,  
эиа чиман(и) жиэуэс(и), хадол(та) хадол(та) бипээри жиэуин(и)-гоа(ни).  
э~ң пиктэни, иргэмбэни калтаавани най пиктэдуји полаха~н,  
чава гаазомаар(и) туй зоокчиар(и) жиэухэн ундииси,

э~н эус(и) таос(и) тээвээнкин калтаа иргэнзи пиктэвэр(и).  
э~н туи тараа~ туи балзйи-гоан(и) горо бичэ зйза бичэ,  
сиксэ сияхам(би) сиңгэрээзи, чимии сияхам(би) чичоонзи,  
ини сияхам(би) исэлээнзи, мапанаа бааро(ани) ирасомаар(и) балзйилогахачи,  
элээ.

3. эикэ нэу балзихани

э~н ундииси эм зоо доолани эикэ нэу~ балзихани.  
туи тараа~ туи балзиал ундэ.  
нэуни нучикуукээни-гоани, эикэн(и)-тэнии зээ улээн эктэ-нуу,  
хаидо-даа тэи-мээ бии улээн арчокаан... эктэ.  
э~н туи балзиал ундэ. мэнээ нэүји хэмээ этэхиин(и)-гоани,  
туи биини-э~ туи балзими-а-ла, эң нэуни амбаан дааикаан осихан.  
ундиин(и)-гоан(и), эикэни, "мии энээмби-э~" ундиини,  
"наи балзиивани ичэндэми. гулиалаин(и)-танин." нэуни ундиини,  
"эгээ~," ундии, "мии дааи урэучи(эживэ) ниэ...  
эси мутээсим(би)-тэнии," ундии, "хаива-даа там(и) хоон(и) биури,  
мии энэхэси хамиала(ни) эмучкээн-дээ.  
э~н мии дааи осини мас(и)таа урэучи(эживэ) энэңэси-тэнии"-м-дэ.  
эс(и)-тэ(нии) нэүји туи умбувээндээ хозихани.  
туи бии~ туи бии эм модан-гола, зоонгохани, "энээмби,"  
ундии хаис(и) чадод-даа нэуни ундиин(и)-го(ани), "һаңга бируу," ундиини,  
"аја," ундиини, "мии дааи осичиа(жива) энэңэси-тэнии."  
эс(и)-тэнии, туи тараа-ла эси-тэнии ундииси-э,  
эң нэуни-лэ ундииси хаихани,  
туи бии~ туи бии, нэуни эси дааи эктэ осихан, улээн.  
ичэини эикэни коли анаа улээн, эктэни-гоани,  
уи-дээдэ наи ичэм(и) улээсиини эктэ.  
э~н туи тараа эси-тэнии ундиин(и)-го(ани),  
"гээ эгээ, энэгуэси. энэгуэси, моова тандагоари," ундии,  
"мии, энэучиэс(и) эмучкээн моова, хоон(и) таори"-м-да.  
эс(и)-тэнии ундииси гээ,



тооха~н ундиис(и) эси-тэ(нии) моонгоји моолсии-гоани,  
моова поории-даа, кампии-даа калталаи-даа таичи-гоан(и) эгзивэ.  
эгзивэ туи бэлиихэ~н, хэм моонгоји хэм чапчигохан,  
нээкухэн эс(и)-тэнии ундииси тэн эм чурка солоогохани.  
э~н туи тараа ундиин(и)-го(ани) эикэчији, "эгээ," ундии,  
"сии эи җаалаји, 3уэ җаалаји нээруу," ундии, тэи чурка ојалан(и) гэсэ~-дэ.  
эикэн(и)-тэнии нээхэни хэсэвэн(и) дахорсими.  
тэи-тэнии нээриини-тэнии сурэ нээхэмбэни эчиэ ичэгуэн(и)-тэнии  
3апахамбани нэуји. тэи-тэнии 3уэ җаалани-ла комбиондолани  
мокторам энэйзиэн(и) чапчилахан(и) нэуни.  
э~си-тэнии тэи эктэ-тэнии эи нэун(и)-тэ(нии)... туи тараа энүхэн,  
сурэји пиналагораа ваиси зугухэни җоан(и)-тэнии,  
эс(и) "энуруу," ундиин(и)-го(ани), "хао(си) чихалам(и) хао(си)," эикэчији.  
э~си-тэнии соҗгом(и) энэй-гоани таванки-тэнии ундии(си),  
эикэн(и)-тэнии туи энэй~, туи соҗгом(и) энэй, хао(си)-даа энэй-дээ саараси.  
туи соҗгом(и) энэми энэми-тэнии ундииси, эм боала~ исихани.  
наи амтака тарихани эгзи, хотон боакиани.  
эс(и)-тэнии~ 3эмусиини-гоан(и), җаала анаа.  
тэи амтака-тэнии ундииси, пэгийэ... сунгурээ биэ ундэ пэйс(и)...  
локчаа локчаа наи амтакаҗгон(и) бал3ихан. чава-тэнии тэи-тэнии,  
аҗмаји аандиивани туи хэрчим(и) сиариин(и)-го(ани) уиси,  
тэи-тэ(нии) амтака-тэнии эм3иэ калтаани эм3иэ калтаани осиин(и)-гоан(и).  
туи тамы-а~ ундииси тэи-тэнии чава, 3обои нии 3и3үхэн, эрдэнгэсим(и),  
"эи хаи 3ака сиариини туи-дэ." эс(и)-тэнии э3энчи энэхэни-гоан(и).  
э3энчи энэрээ гусэрэин(и)-го(ани) э3эн, э3эн саадаани бизээрээ хаинаа-да.  
э3энчи энэрээ ундиин(и)-гоан(и), туи туи биийэ-м хамачаа 3ака сиариини-ос  
хаи 3ака сиариини-ос, амтака. эм3иэ калтаавани, чуңну хэрчиктэ-м-дэ.  
эс(и)-тэнии, "гээ индава чиндоосо," ундии, э3эн-дээ 3ичи ичэндэми.  
э3эн 3ичи ичэин(и) тэ3э, тэи арчокаан-та(нии) сирихани-гоан(и), җаала анаа.  
эс(и)-тэнии индако баогои-гоан(и), эс(и)-тэнии,

тэй арчокаан-та(нии) соңгоин(и)-гоан(и). эзэн ичэхэн,  
ньоанчи хотондоани хайдо-даа абаа тэй-мээ гучкули паталаакаан.  
ичэини наалани эжэ тајани абаа. эси-тэнии мэдэсиин(и)-гоан(и).  
тэй-кээ соңгом(и) гусэрэин(и)-гоан(и).  
эзэн-тэнии ичэм(и) улээсиин(и)-гоан(и) тэй арчокаамба.  
ундиин(и)-гоан(и), мээнчији гаазохан тэй арчокаам(ба) эзэн.  
эси-тэнии пиктэји асигоани, жапахани.  
э~н ундииси туи тараа-тэнии ундииси,  
эс(и)-тэнии пиктэн(и)-дээ чихалахан, улээн гучкули арчокаани-гоани,  
наи мэнэ лаозинкони хаи.  
эс(и)-тэнии ноамбан(и) туи наи мэнээ лаозин этэхэини тэй арчокаан.  
наи сиавандии мэнээ. силкочии, хаилаваадаас эзэн,  
пиктэзиэни эзигуји баахан. э~н тэй асини,  
эзэни энин(и)-тэнии ноанчиани асо улээсиэси.  
наала анаа наи хаи наи улээсигилэи.  
эс(и)-тэнии туи бии-гоан(и) чази эзилэрээ туи наи мэгдэ...  
мээн дэнсиизэни. тэй аңпани эзэн(и)-дээ улээси ноамбани.  
э~н туи тами-а-ла ундииси эзэни-лэ ундииси-э,  
э~н тул тул хаи бигилэи зоогдо,  
энэини осихан наи-а тачиочиндами гои боачи, эң заңгиан осигогоачи.  
э~н тэй хамиалани-ла ундииси-э  
э~н бэјэду бии осихани-го(ани) тэй арчокаан.  
э~н туи тараа-ла ундииси-э, эзэни-лэ энэхэн,  
энэхэни хамиалани-ла пиктэгуји баахани хусэкээмбэ,  
туи тараа~ тэй пиктэн(и)-тэнии гучкулини наонзокаан.  
эс(и)-тэнии аңпан(и)-тэнии ту~л тул, тэй пиктэзи балзиин-го(ани) улээсими.  
тэй энэкээн-тэнии улээсидээси, туи тами бичхэ нирухэни,  
бичхэ нируини осихани эзичиэни.  
эс(и)-тэнии туи тапи-о ундииси эң бичхэ, баогоха~н.  
эс(и)-тэнии нирухэн-тэнии, "мии гэлээсимби"-м,

"асигоји җаала анаа найја, инда пиктэвэни баахан-даа,  
хаја~ наңгалоо... пуңнэгуусу"-м-дэ. "эзи нэучуусу"-м, "зоогдо."  
тэи, эктэ-тул нирухэни. туи тараа,  
тэи мапаачаам(ба) ичэвээндиин(и)-го(ани) эээмбэ,  
"мии зижуи зулиэлэн(и) пуңнэгуусу"-м-дэ. "эзи нэучуусу"-м "зоогдо."  
э~с(и)-тэнии тэи, гээ эс(и)-тэнии сонгои-гоани арчокаан.  
хоони таор(и) пиктэји, эси-тэнии аңпан(и)-та(нии)  
соңгои~ хуигэсэгуэн(и) баргихаал.  
эс(и)-тэнии пинагоани баргиин(и)-го(ани) даа~и, коаңса, аңгохачи.  
эс(и)-тэнии тэи коаңса доолан(и)-тэнии, хуигэсэвэни, пиктэни хазокаамбани,  
тэучихэчи. туи тараа тэи эктэвэ, пиналаговааңкичи, пинагоани баргихачи.  
э~н ундииси эс(и)-тэнии ундииси-э, пиналоаңкин эс(и)-тэнии тэи,  
эктэкээн-кээ соңгои-гоани хао(си) энэурини, җаала анаа.  
эс(и)-тэнии най пуңнэгууни энэи-гоан(и) най, эзин(и) нирухэни.  
зижууни алдандо(ани) пуңнэгуусу"-м-дэ. эс(и)-тэнии туи соңгом(и),  
пиктэни пиналоаңкин, аңпани. аңпани-ас гэсэ гэсэ сонгоин(и)-гоан(и).  
тэи эктэкээн соңгоидоан(и),  
пиктэји озоктаха~н эс(и)-тэнии, хаичи, хотон дуэчиэни ирачагохани.  
энимбэни улээн пиналоаңкин, тэи, коаңсава, пиктэвэн(и) доола нээрээ-дэ.  
э~н тэи коаңсава пинасим(и) туи энэи-гоан(и) тэи эктэ-тэнии ундии(си)  
туи соңгом(и) энэи-го(ани) пиктэн(и)-дээ,  
туи энэми-э~ энэми пиктэн(и)-дээ,  
оңасаханзији сэнэгухэн эси-тэнии туи пинасии-го(ани)  
пиктэн(и)-дээ соңгои җоан(и)-даа соңгои туи энээл ундэ.  
җоан(и)-даа маңгалахан туи пинасим(и) энэм(и), хоони,  
ачом(и) ачааси җаала анаа хоон(и) таини. туи соңгом(и) энэи-го(ани),  
туи энэми-э~ энэми-э-лэ ундииси-э,  
пиктэн(и)-тэнии јадапи-а оңасагороа туи тараа сэнэгупи туи соңгоа ундэ  
туи энэми энэми, эм биракаам(ба) баахани. биран(и) хэјэгуивэни.  
хаилоо холгомо осихани-го(ани) маңгалахани-гоан(и).

тэй-тэнии чадод-танин, хоон(и)-даа поос осин(и)-даа ачааси.  
пэиңэпсим(и)-даа ачааси муэ омигои.  
туи пэргэкээчими-э~ ундииси, омиаси ачаасин(и)-го(ани) муэду.  
мурчиини, туи тараа тэй эм боадо хаи-даа улээн ичэини.  
чадо-ла ундииси-э, хумэси. э~н ундииси туи тараа-ла тэй-лэ,  
хумэси-тэнии осиичакхани оми... муэ омигои.  
хэрэ~ пиктэни-лэ муэ баароани та~псиак туухэни.  
э~си-тэнии хэ~и морами-ла пиктэји туухэмбэни  
запагом(и) соңгом(и) туи запаидоани-ла,  
лапатак жапахани жаалани эжэ тажаани очогохани.  
эс(и)-тэнии пузин... тэй эктэ-тэнии эси-мэт агдаха~н  
соңгоин(и)-го(ани) пиктэји жапагохан.  
туи тараа-танин ундииси-э, пиктэји жапагороаа хажомбани хэм ачоктагохан  
наи нээхэмбэни хаигохан, хукугухэн. туи тараа куучивээндии-гоани,  
ажаака нии(ва). туи тараа-танин ундииси  
чадо-даа жоан(и)-даа тэиндii-гоан(и),  
эс(и) жаалани осии... жаалако очогохан наи агдахан.  
э~н туи тараа тэй пузин, тэй эктэ-тэнии ундииси тэй, хаива,  
пиктэји элэдэлэ~ туи хаихани, купивээнкини, туи тараа жапачихани,  
туи тараа ундииси хукугурээ пиналагахани.  
эс(и)-тэнии туи энэи-го(ани), туи энэми~ энэми-э-лэ ундииси,  
эм, жоо тулиэлэни~ энэм(и) тэңһэрку жоо бичини.  
э~н хаилоо улээн жоо. чадод-ла ундииси, тулиэлэни энэидуэни эм эктэ,  
пузин... ниекэ ундэ. ичэйижи гэсэ ундэ-тэ(нии),  
э~н жидиижи тэй эктэвэ-лэ ундииси тэй арчокаамба-ла ундиин(и)-гоани,  
"хэйкуу-дээ хэйкуу, ийгугуэри-дээ нэку маңгалахан-даа,"  
эс(и)-тэнии жоокчи иивугухэни ундииси э~н эс(и)-тэнии пиктэвэн(и)-тэнии,  
мэнэ бэйжи хэм ачоктагохани эс(и)-тэнии, нээ элбэсивээнкини.  
эс(и)-тэнии туи тараа ундииси-э,  
жоамбан(и)-даа нээ хажомбани хэм ачоктахан тэймбувээндiiн(и)-гоан(и),

"улээн тэиндуу," ундии, "маңгалакаси," ундиини.  
"хаос(и) энэгуји таиси," ундиини. ундиини,  
"хао(си) энэрэ~,," ундиини, "эзичи энээи," ундиини.  
"энэнэ хоон(и) энэгуји таиси," ундиини, "эзичи.  
эзис(и) балзиин(и) гои боа, горо~,," ундиини,  
"горо~,," ундиини, "намова даом(и) энэури," ундиини,  
"сии хоон(и)-даа энэм(и) мутээси." "будии-дээ энэи, балзии-даа энэи,"  
ундиин(и)-гоан(и), "хаидо бипугуји биурини," ундии.  
"э~н эс(и)-тэнии аонгароо," ундиини, "ачааси, элээ сиун туугуи."  
эс(и)-тэнии пиктэвэн(и)-тэнии, мэнээ этэхим(и) дэруухэ~н, пиктэ,  
ньоан(и)-даа элбэсихэ~н тадо. улээн сияхан, эси-тэнии, гои,  
гиалако-даа апсиндии-гоан(и), апсимбовааңки(н) ундии(си) эси-тэнии  
тэи эктэ-лэ пиктэвэни-лэ мэнээ этэхими,  
"эзис(и) чуу дааи эикэн(и) таамби," ундиини.  
"э~н эзис(и) хаи-даа боадоан(и) биини, хоон(и) ниручэини," ундиин(и),  
"туи-дэ. э~н тэи, буэ эникэпу," ундиини.  
"эзис(и) хаива-даа саараси," ундии, "горо~,," ундии,  
"намова даом(и) энэури-э"-м-дэ.  
"буэ энипу ос(и)ни) хаал(и)-даа туи тааси-а," ундиини.  
"амаа, хаихани," ундии,  
"ньоанчиани, хаи эрдэңгэји саавааңкини-ос туи энухэмбэчи, ньоанчи.  
э~н ундииси туи тараа ундииси "амаа саавааңкини," ундии,  
"симбиэ туи энэхэ-м нэку, пиктэји пинасим(и)."  
э~н ундииси туи тараа тэи-тэнии ундииси, энэи-гоан(и),  
"будии-дээ энэи балзии-даа энэи," ундии,  
"эвэңк(и) энэми-э~ энэми баазаачи," ундии,  
"эи-мээ бии зоо, мии, хаи пэгиэлэјэ бии, эктэ. буэ илаан эктэпу," ундиини.  
"чуу нэупу-тэнии тэи, эзиси," ундиини.  
хаилоо улээни-гоани эзэн пиктэни сарганчокаан зээ улээн эктэ-нуу.  
э~н таваңк(и) туи сусуэчигухэн тэи эктэ-дэ, эң таваңки-ла туи энэи-гоани.

туи энэми~ туи энэми-э-лэ ундииси, туи энээ сиксэ~ хаи сиун моригохан.  
туи энээ ундэ,  
туи энэидуэни-э~ тээ-дээ баахан тэи-мээ бии зоо бичин, дааи зоо.  
э~н тэи-лэ ундииси, чала-ла ундииси, хаис(и) эктэнии агбиңгохан,  
тэи-мээ бии эктэ бичини. хаилоо улээн сарганчоо-гоани, наи.  
э~н ундииси чадотани ундииси, э~н ундии(си) тэи-тэнии ундииси,  
эими~ хээп наамнжин тэи-лэ эктэвэ-лэ ундииси э~н ундиин(и)-го(ани),  
"нэку маңгалаха~н"-даа, пиктэвэн(и) жапахан,  
коаңсаван(и) туи тараа иивугухэн зоокчи ундииси,  
эс(и)-тэнии ундииси, ундиин(и)-гоани, хаи,  
хаиси тэи-дээ ундииси пиктэвэни мэнээ этэхии-гоани,  
сиагоани хачин жакава агбимбоха~н, пужуури, чадотани  
"њаар туи аоңгароо," ундиини, "хоон(и) энэгуи таиси-а~," ундиини,  
"ээис(и) горола бии-жэ"-м-дэ, "наија тачиочим(и).  
сии хоон(и)-даа энэм(и) мутээсиси," ундиини,  
"намова даом(и) хаизи энэиси-э"-м-дэ.  
э~н ундииси, "будии-дээ энэи балзии-даа энэи," ундиин(и)-гоан(и),  
"хаидо биури"-м, "энээси осини) ньоанчиани энүэси осини) буэ,  
наи пуңугухэмбэни." э~н ундииси эс(и)-тэнии ундииси, тэи-лэ,  
э~н туи тараа-ла ундии(си) тэи-лэ пузин-гулэ ундииси,  
тэи эктэлэ чадотани аоңгаха~н тэи долбони-а-даа,  
пиктэ анаа-каа аорини-гоани-а-м хаива-даа саараси, наи мэнээ этэхии.  
э~н куучигуэни, пиктэни куучигуэни ирагои,  
куучим(и) хожиини мэнэ жапагои там(и), туи этэхихэн тэи-лэ эктэ-лэ,  
долбо инэдэлэ-дэ. э~н туи тараа-ла ундииси, чадотани ундииси,  
эи чимани тээхэн, "будии балзии энээ-мэ," ундиини.  
"эвэңк(и) энэми-э~ энэми намо кираавани исижаачи," ундии,  
"чадотани мии нэуји биижэ," ундии, "намо кираадоани.  
э~н тэи ньоани гусэрээ-мэ," ундии, "хоон(и)-даа энэуриэ.  
эң таваңки-ла. э~н ундииси тэи-тэнии, тэи эктэ-лэ ундииси хаирини-гоан(и),

намо кираадоан(и), энэи-дээ энэин(и)-гоан(и),  
 сусугурээ чимии тээгүхэн-дэ. туи энэми хаихан, энэми~ энэми элээ,  
 элээ сиунгун(и) туугуи-го(ани), туи пиналагораа пиктэји туи энэи,  
 туи тами исиин(и)-гоан(и), намо кираа... намо ичэин(и)-го(ани) энэми энэми,  
 намо кираавани исихан. э~н ундииси тэи-тэнии,  
 хаис(и) тэи-мээ~ бии зоо бичини.  
 хаис(и) тэи эктэ жичин тэи-кээ нуучи эктэ, ньоан(и) тэрун-нуу хаи-ноо-даа.  
 тэи-тэнии ундииси гээ эс(и)-тэнии хаис(и) тэи пиктэвэни нээ хукчуи-гоани  
 наи пиктэвэни-мээ улээсиини. э~н туи тараа-ла ундииси,  
 тэи пиктэји-лэ ундииси-э, тэи пиктэни-лэ ундииси тадо аонгии-гоани-а~  
 тэи-дээ пиктэвэн(и) туи улээсии мэнээ этэхиин(и)-гоани тэи эктэ-дээдэ.  
 тэи ньоан(и)-тэнии пиктэ анаа-ма(т) туи аориини-го(ани) чадо.  
 эн туи тараа-ла ундииси-э, чимии тээхэ~н, тэи эктэ ундиини,  
 "хоон(и) энэгуи таиси-а," унди, "будии-дээ энэи балзии-даа энэи," ундиини.  
 эс(и)-тэнии ундиини, "эм аиңанидо тэң модан энэијэ," унди,  
 "порохоодо таоси даории-ја"-м-да, "ньоанчи баароани.  
 эи намова даораси, ачааси," ундиини.  
 "эси-тэ(нии) кэсикувэр(и) осини исижаасо," ундиини.  
 "таја калтаазиазиа, гуси даавачи," унди, "дааи гуси. хаигоји,  
 сиягоји гэлэндэсуи," унди,  
 "эуси. сиун токон элээ~ исиидоани даогои... даории," ундиин(и).  
 "тэи-тэнии сиягоји хаива-даа хэм жапараа даогоини," унди,  
 "наи таоси. дааи гуси-э~," ундиини-гоан(и).  
 "тэи чази, нэку-дээ иин тахан осин(и)-та(нии) валиаха~," ундиини,  
 "намо токондо сумбиэ, наңгалаини осин(и)-та(нии) хоон(и) исигоар(и) таисо,  
 хоон(и) энэгуэр(и) таисо, будиису-рэгдэни-гоани."  
 э~н ундииси эс(и)-тэнии ундииси, эм матраасава буухэн, тэи эктэ.  
 э~н тэи матрааса-маа бии сомалаани-го(ани) дааи.  
 э~н тэи коаңса чикиин(и). эн тэи-тэнии ундииси эс(и)-тэнии ундииси-э,  
 хаихани, ундиин(и)-го(ани), "кэс(и)-дээ жаа-даа," унди,

"тэи, нэку эм сэнээми биини осин(и) тэи доолани.  
 улээн нэкувэ куувээрээ апсиңговаандаа мэнэ,  
 тэи коаңсаји доолан(и) гэсэ тээгурээ, хаироо," ундиини,  
 "куумбэ гидалараа даохаари," ундиин(и), "тээсихээри," ундиини,  
 "тэи гуси-тэнии, сиун токон исиидоани даопи-танин,  
 сумбиэ жапагораа энүзэрээ," ундиини.  
 э~н ундииси тэи-тэнии ундииси, хаири-го(ани), намо кираани-гоан(и),  
 сия~н-маһаани-гоан(и), муңгэн, дарамизи.  
 э~н ундииси, эс(и)-тэнии ундииси тэи, пузин-тэнии ундииси-э,  
 эүхэ~н ундииси пиктэји, хаирии туи тээсивээнди,  
 жапачаи тахани гоидам(и). "элээ~ сиун токон исији, элээ исији,"  
 ундиидуји-лэ ундииси э~н пиктэји-лэ ундииси, улээнгузиэни хаихани,  
 улээнгузиэни тэймбувээңкини-э~ жапачаи-ла ундииси эси-тэнии ундииси,  
 туи тараа-ла ундииси хаихани, э~н ундииси, туи тараа-ла ундииси,  
 тэи матрааса коаңса доолан(и), коаңсадо нээкухэ~н пиктэји улээн тээгүхэн,  
 мэнэ-дээ тэи доолан(и) тээрээ,  
 матрааса тэи коаңса доочиани иирээ ундииси э~н туи тараа, хаихани.  
 тэи ихэм(би) саңгарба... хаи матраас, аңмаван(и)-танин,  
 тиак тиак доокиазиа уихэни, бомбими.  
 э~н туи тараа-ла ундииси хаири-гоан(и), тээгурээ~ тээсиэ ундэ,  
 туи тээсиидуэни, хуур хуур хуур дааи гаса сиасин бичин.  
 э~н туи тами, тээ~ жапдоа(ни) доохани сиасини.  
 э~н туи тараа-ла ундииси-э,  
 эс(и)-тэнии тэи удэвэ(ни) соар соар соар соар пулсиэ ундэ.  
 эң туи тами ундии(си) зичэ ундэ.  
 э~н зидиизији гэсэ ундии(си) ньоамбачи-ла,  
 чавакталагораа-о~ даогосиңкин туи, намова даогоа ундэ,  
 тэи эктэ-тэнии куум(би) гидалараа тээсиин(и)-го(ани) туи-дэ.  
 э~н пиктэни эс(и) хаилоо улээн аории, эмээвивээндиин(и).  
 эси-тэнии ундииси, туи тараа~ла ундииси,



ичэини-лэ тэи матраас сэжээ-дээдэ биин(и) Жааро(ани) ичээ-тэнии.  
 тэи намон(и) дарамини~ ваатан(и)-даа жээ бии-нуу,  
 эси-тэнии ундии(си) туи тээсиз ундэ,  
 эриси-нуу абаа-ноо жэргэжизэн(и) нээлэчими.  
 эң туи тами-а-ла ундииси э~н пэжилэ~ осим(и) энэм(и) дэруукэ ундэ.  
 эң туи тами ундииси, наава ичэхэни, моосалба ичэхэни.  
 э~н тэи наа бадовани исиини-лэ, пужин-гулэ, хаихани, жилганжини,  
 тэи-тэнии олом(и)-тании наңгалагохани, наачи тээс туугуижизэни.  
 тээ наа жакпалани энэхэн-тэнии, жижаккоокаан наал(а) осихани.  
 э~н туи тараа, гасаңгони хаңгиси энухэн.  
 тэи эктэ-тэнии таванжи-тании ундииси ниэгухэн.  
 "эи хао(си) энэури," хоон(и)-даа мурчиин(и)-дээ, маңбова бодом(и),  
 соли энэур(и) бизэрээ, мурчиин(и).  
 туи тараа энэури, пэргэчикэ~п энэхэни.  
 э~н наи, поктомбани баахани. пиктэжи пиналагораа энэи-гоан(и).  
 тэи хотон дуэвэни исиха~н эси-тэнии ундииси-э,  
 эң тэң дуэдуэн(и) бичини эм, жоокаан,  
 поктончи амбаан горо. исихан-тании ундииси  
 э~н чуу, дуэду(эни) бии жоола иихэни. эм мапа~ мама~ бичини.  
 э~н тэи-тэнии ундииси, ундиин(и)-го(ани),  
 "мии, баи баң бипугужэвэ," ундиин(и)-го(ани), тэи эктэ.  
 "баи баң биэмби-э," ундии, "эм хадолта)... аоңгами."  
 гээ чихалахан ундииси,  
 эс(и)-тэнии тэи мапа мама-тании тэи пиктэкээмбэни улээсимээр(и) дэруухэн.  
 "э~н тэиндуу-дээ, хажажи жичиси-дээ, хоон(и) исиндахси-даа,"  
 мэдэсиин(и)-го(ани), "буэ, буэ боаңкампо-каа биэсиси," ундии.  
 э~н ундииси туи тараа тэи эктэни мэдэвэ гэлэини-го(ани),  
 "эиду наи тачиочии наи бии-нуу эи хотондоасо."  
 "бии-жэ," ундиичи, "наи жаңгиан осигоан(и) тачиочии-жа,  
 эң сиксэ~ сиксэ наи тачиочии-жа," ундиини.

э~н эс(и)-тэнии чихалахан.  
арчокаан мурчиин(и)-го(ани) энзури эи, сиксэ.  
сиксэгүхэ~н ундииси, хаи гоидами сиксэгүгилэи.  
эс(и)-тэнии, биази илгако-мања тэтуэји тэтухэни.  
э~н туи тараа-ла энэхэни. энэхэни.  
хотончи иихэ~н хотон дүлэлэни биин(и)-гоан(и) наи,  
тачиочиини ээин(и) зилган(и) лээ~игэн тэи удэ(вэни), хисаңгоа ундэ,  
э~н ундииси, туи тараа-ла ундии(си) исихани.  
ирии-го(ани) хаи-даа ларгиан-даа анаа, наија тачиочиичиани иирээ,  
уикэ даадо(ани) илихани. э~зини-лэ ичээээ ундэ,  
"эрдэңгэ хаи эктэн(и) зичини, биази-мања тэтуэку."  
э~н хаал хаал осини, ньоанзиани насалзији биини, ичэээини,  
ньоани асини, дуруң(ни) балзихани тоочи биин(и)-го(ани) наса(ни)... асини,  
туи там(и) њаалако, эје тајалани, ньоани асини њаала анаа.  
э~н туи эрдэңгэсими ичэээин(и) хэмэ хэмэ-дэ.  
э~н тэи-лэ наи тачиочииван(и) туи ичэээпи-э,  
хэмээңгүзији илисин(и)-го(ани), иихэн нии. эң туи тараа энүхэни.  
энүхэ~н туи тараа энүхэни хамиалан(и)-тании ундииси-э,  
энүхэн зоокчи туи тараа, "пиктэни эчиэ соңгора," ундии,  
"аја~," ундиини. туи тараа-ла тэи арчокаан-гола чадо,  
аоңгаха~н зиа чиманиа ундииси хаис(и) сиксэ~ энэи-гоан(и).  
ундиин(и)-го(ани), "гучи гулиаландагоамби,"  
ундиин(и)-го(ани) тэи эктэ сиксэ. "энэруу," ундии, "аја," ундиини,  
"нэку, соңгоаси," ундиини. эс(и)-тэнии энэхэ~н пиктэји куурээ-дэ.  
эң эс(и)-тэнии сиунзи илгако~мањ(а) тэтуэвэ тэтугүхэн тэи пузин.  
э~н исихан ундииси-э, тэи зоола ирии-го(ани),  
иими уикэ даадо(ани) илихани. уикэ даадо(ани) илираа илисин(и)-го(ани).  
э~н ээини эс(и) хаис(и) ньоанзиани-мања насалзији бии.  
эрдэңгэ эмуту ньоани асини-маа бии. туи. тами гои гои тэтуэлэгуи, а хаи,  
ньоани асин(и) њаала анаа. эси-тэнии ундииси э~н ундиин(и)-гоан(и),

эс(и)-тэ(нии) тачиочим(и) хозиха~н, хисаңгохан,  
туи тараа ундиин(и)-го(ани) ээини, "чимана, эиду бии гурун,  
хэ~м балзиханзијијэ эи иничиэ бичим(би) хэм гусэрэури," ундиини.  
э~н туи тараа энухэни. туи тараа хозихачи.  
туи тараа-танин ундииси э~н чава досиэараа энухэни.  
эиа чиманиа-танин, эиа чимани сиксэ-тэни тэи эктэ-тэни,  
мээн тэтуэји мээн тэтугурээ энэхэни. энэхэ~н чадэ,  
иихэ~н наи, тачиочии нии тачиочии-гоан(и) хажал хажал-да.  
ээини иириидуэни хисаңгохам(би) дуэдуэни, "гээ тэпчиуруусу," ундии,  
эмум(бэ) мэдэсиин(и), тэи эмун гусэрэхэ~н,  
балзиханзији хао(си)-даа бичим(би), эс(и)-тэни таванжи,  
тэи тажаалан(и) тэи тажаалан(и) гусэрэичи-го(ани), наи амбаан эгэи,  
наи тачиочиини наи.  
э~н наи хэм гусэрэхэн, эс(и) тэи эктэ оочэр(эи)ни осихан.  
эс(и)-тэни тэи эктэкээн гусэрэини-гоан(и), мээн балзихамби.  
хэм гусэрэхэн дуэдуэни ундиин(и)-гоан(и), хао(си)-даа балзихамби,  
туи наала анаа бичимби, эус(и) хоон(и)-даа эрдэнэи исихамби,  
хэм гусэрэин(и)-го(ани). хозии дуэдуэн(и)-тэни ундиини-гоан(и), хай,  
"инда пиктэвэни олбими исиндахамби-э"-м, "ичэндэруу"-м-дэ.  
туи ундиизији гэсэ, пагэиалагохан.  
пагэиалагом(и) энэхэн ээин(и)-тэни хамиала(ни) хасипоалагохан.  
туи тараа хамиалани хасисии хүсэ нии хатан-го(ани) тутуини,  
туи тараа исигохан. хамилан(и)-го(ани) чуул иихэни-го(ани) ундии(си).  
гээ эс(и)-тэни ундииси пиктэји ичэхэн хаилараа агдахани,  
тэи-тэни пиктэји-тэни оэоктаи-даа оэоктаи, тэи мапаанаа-танин,  
хаал хаал осихан. хаилаваадаас эаңгиан чуул иихэни ньоанчиачи,  
тэи пиктэји оэоктаи, тухисии-дээ таи. э~н туи тараа ундиин(и)-гоан(и),  
"э~н инда пиктэни, пуңнугуусу-м нирухэси биэчи-кээ," ундиин(и)-гоан(и),  
"амиси бумбиэ пуңнугухэни-гоани"-м, "сии зизуп(и) аминаяи ваарии."  
"мии эчиэ туи нируэјэ~," ундии,

"минчи хамачаа-даа бичхэн(и)-дээ 3идэси," ундиини,  
"эиду, эуси, мии хаива-даа саарасимби"-м, "тэи эникэжэ-маңа тахани-а,"  
ундиин(и)-гоан(и), "хоралсими, чадо симбиэ най этэхиивэни галоми.  
хаи сорихамби, аксагилаи." э~н э3ини-лэ ундииси, пиктэ3и аси3и 3апагораа,  
мэнэ бии боачи гаа3ои-гоани. эс(и)-тэнии чадо бии~,  
туи бии~ 3оагохан, туэгүхэн,  
тамаари, пиктэн(и)-дээ амбаан дааикаан осихан.  
э~н эси-тэнии ундиини, "гээ элээ, эс(и) хо3иори-а," ундии,  
"тачиочими. эс(и) мээнчи3и энүүри," ундиини, "3оокчи3и."  
тэи эктэ ундиини, "эиду бал3им(и) хаириини," ундии,  
"энүхэн-дээ хоон(и) бал3иори," ундии,  
"тэи хаичи, най пуңнүхэнчи хоон(и) энүүри," ундиини, "иламогбани."  
энүхэчи-тэнии тэи-тэнии ундииси, исигохан, порохоод даогомаари.  
исигоха~н эси-тэнии ундииси,  
эикэнэ3и-дээ хэм баогоха~н, тэи наон3окаан.  
эс(и)-тэнии ундииси тэи-тэнии энүхэни дуэдуэн(и)-тэнии ундииси,  
эң 3оова исигохан, аминаани. амин(и)-даа соңгом(и) агдаи-гоан(и),  
тэи пиктэ3и баогохандо3и.  
э~н тэи эникээн-тэнии ундииси, хао(си) энэхэ(н)-ус,  
хао(си) энэхэ(н)-ус, хэмээ-дэ.  
э~н мээп(и) ваахани-ос, хоон(и) тахани-ос, эң туи.  
эс(и)-тэнии туи тараа-ла ундииси тэи-лэ ундииси-э, туи бии-гоан(и).  
туи бал3ии~ туи бии туи тами, э3ичи ундии-гоан(и),  
"мии-дээ нэүкүжэ~," ундиини, "буэ 3уэркээн бии... бал3иохан,  
хоони мимбиэ 3оани, мохоолим(и) 3аала3и чапчилахан-даа  
мии 3оамбани 3ооңгоорин(и)-гоани," ундии, "ичэндэм(и)-мээ а3а," ундиини.  
э3ини ундиини, "гээ энэгуури. сии кол кол бииси, мии, хаи саара;"  
ундиин(и)-го(ани).  
гээ эс(и)-тэнии, хаиха~н, сэээм(бэ) баргихан ундииси эс(и)-тэнии,  
пиктэку~, э3и3и энэи-гоан(и).

туи энэми-э энэми-э-лэ ундииси исигохани, зоокаамби.  
э~н зооңни-каа бии, э~н тулиэни удэн(и)-дээ хаилоо улээн.  
исиго(хан)... уикэдуэн(и) запараа иихэни.  
нэуни-лэ ундииси, соңгочими-а~ тээсии-го(ани).  
э~н гээ эикэји ичэгүхэндуји-тэнии агдахан, нэун(и)-дээ соңгои,  
эикэн(и)-дээ соңгои тамаар(и) агдахачи.  
эң баогохамбар(и) жив здоров. туи тараа-танин,  
"эгээ~, " ундиин(и)-го(ани),  
"эи-мээ бии мурун оси(ни), хоон(и) мии туи эрдэлээмби," ундиини,  
"хао(си) осивоааңкимби," ундиини. "боа туи осивоааңкин-танин," ундии,  
"мимбиэ, туи тааси ачаасиэи." э~н ундииси,  
ичээни эикэји баогоини эикэји наалако осигохани-гоан(и).  
э~н туи тараа ундии, эикэни ундииси хоони, "ээигүји-дээ эчиэ баарани,  
сии хоон(и) туи бипугуи таиси-а," ундиини, "энугуури," ундиин(и)-го(ани),  
"бунчи." ээин(и)-дээ ундии, "гаазоори," ундии.  
эс(и)-тэнии ундииси гааэом(и) эиэхэ~н, туи тараа-ла эиэхэрээ ундииси-э,  
хаи, тэи пэгийэлэји бии эаңгиан асигоани буухэн, тэи нэувэни,  
асилаговааңкин, туи горо бичэ эиэа бичэ элээ. хурмикуукээн.

4. 3уэ мэргэн балзихани

э~н ундииси-э, эм 3оо доолани-ла 3уэ мэргэн балзихани.  
аан(ни)-тани асико~, нэузимэ-тэнии аси-даа анаа туи балзиал ундэ.  
долбо-гда(л) тоокораа~ долбо-гда(л) зугурээ~ ундииси,  
ваачамаар(и) балзиал ундэ.  
эң туи пулсимээри~ туи пулсимээри ундииси эм модан-гола ундииси-э,  
э~н чимии тээхэчи. зукэн(и)-тэнии сиягоји-даа пујуурэдээси...  
хулзуурэдээси-э пэксээдээси бие ундэ, туи тами ундиин(и)-гоан(и),  
"анда~ мэргэн ундииси, мии эи долбониа орким(ба) толкичикаја~," ундии,  
"индэусу," ундиини. "абаа~, " ундии, "индэвэси," ундии ээини.  
ундиини, "хаи тэээку," ундии, "эктэнии толкиини.  
орким(ба) толкичип(и) оркимба... орким(ба) сияп(и) орким(ба) толкичiori,  
улээм(бэ) сияп(и) улээм(бэ) толкичiori," ундиини, ээини.  
"ачааси," ундии, "индэм(и)." нээ тоокоини осиха~(н), бааразигои,  
пузин-тэнии сиягои хулзууриини осихан комбози.  
эс(и)-тэнии туи хулзуум(и) тээсиэ~ голзо(н) кираадо(ани)  
эс(и)-тэнии туи-лэ ундииси-э, эң нэун(и)-тэ(нии) Һаар Һаар бие ундэ.  
эс(и)-тэнии туи мэргэн-тэнии бааразигом(и) хозихам(би) дуэдуэни ундииси  
э~н ниэрэ ундэ, ајакталахани асичији,  
эс(и)-тэнии ичэини тэң 3уэ моози,  
эус(и) поипогои тао(си) поипогои там(и) хулзууриин(и) бичин тэи,  
комбокаамби. эси-тэнии, ниэри нолзинзиани тэи-лэ,  
комбовани-ла баңсалахани, голзон доочиан(и) чуул иириизиэни.  
э~н туи тами ниэриидуји(-лэ) ундииси, хамас(и) кэчэригуи аакчи(ји) ундии,  
"гээ сии, дэрэзируу," ундиини, "каока тэиндуу," ундиини,  
"эктэ нии хэсэвэн(и) дахорасими." э~н туи уми дасигохани.

э~н нэүзимэ мэргэн-гулэ,  
 паатаа бааразигоизији гэсэ ааг(би) хамиалани энэхэни, тоокохан.  
 эс(и)-тэнии туи тоокоха~н туи дуипэ пулсии тэи-тэнии,  
 энүхэчи хамиалан(и)-тэнии ундииси, э~н хаирии-гоан(и),  
 иниэ тиाप пулсии-го(ани), тэи-тэнии ундииси пузин-тэнии ундииси-э,  
 хоон(и) таха-ос, хоон(и) таха-ос тэи зоогдо,  
 хаива-даа саарадааси тэи гурсэл,  
 туи вааичамаар(и) пулсии-го(ани) туи тараа ундииси,  
 э~н зугуи-гоан(и), нэуни-кээ ваахан бэјум(бэ),  
 туи тараа чава пинасигом(и) зугуми-лэ, поктоји закпарбани иси...  
 Зааворбани исигохани, ааңни эчиэ жијуэни.  
 хамас(и) абаа поктони, зүлэси тоохани-рагда-ла.  
 э~н чаала~ дамхива омим(и) тээсиэ ундэ пинаји нээрээ тээсиидуэни,  
 ааңни исиндагохани. э~н ичэини-лэ ааңни јадахан бичини.  
 э~н ундииси чадó дамхираа зүэзиэр(и) гусэрэндуй-гоани,  
 "аапаңго~, ундииси, зүкэнси бай,  
 индэучииду(эни) индэхэн ос(и) аја бичи-а,"  
 ундиини, "мии-тэнии эиниэ пулсэхэм(би)-тэнии,  
 э~м сингэрэ поктован(и)-даа эчиэ баараја, эм хулу,  
 хуэл пуикухэмбэн(и)-дээ эчиэ баараја," ундиини,  
 "эм чоолчоикаа(н) чормоак энэхэмбэн(и)-дээ эчиэ баараја,  
 эм гормахон гопороаңкимбан(и)-даа эчиэ баараја"-м-да.  
 "хамачаа поктон(и)-даа абаа," ундиини,  
 "эи долбо хамачаа-даа эчиэ пулсиэни"-м-дэ.  
 "э~н ундииси индэхэн-дээ ај(а) бичи~," ундиини,  
 э~н нэуни-кээ ваахан, уликсэ пинасигоини.  
 э~н таванки-ла ундииси-э, хаирии-гоан(и), зугухэ~н, иигу(и)... тоокои...  
 зугумээр(и) ичэичэи-лэ моо, моолоачии мочар(ба) исигомаар(и) ичэхэчи,  
 зоокчи-ла ундииси, эң пакчи~ пакчи биэ ундэ.  
 "ии ичэйси ичэуу, тэи ээдэмбэни зүкэнси.

э~н эм(и)-дээ, ихэрэвэ-дээ таавогоами биини," ундиини.  
 э~н эс(и)-тэнии туи зуэзиэр(и) эугуи.  
 эс(и)-тэнии тулиэчи исигоми голоңколаји-ла ундииси, эм моова-ла ундииси,  
 масиңпочими-а~ жапахани. туи тараа иигүхэни.  
 "эиду~ аора-тани-а"-м паачилахани.  
 э~н ундииси тэи-лэ ундииси ааңни-ла ундииси,  
 тэи мооңгози(ани) паачилахани.  
 тэи-тэнии энээдээ-дээ абаа хаи-даа  
 тэкпуэ~с энэхэни-го(ани) паачилаидоани.  
 туи тараа-тани хаихани, ихэрэвэ нэуни иигүрээ таавогохани.  
 зүкэни-лэ чуңну абаа бичини.  
 ихэ(рэ)... хаи-даа улпихэни жо́птомзи биэ ундэ, тэрэмзи-дээ.  
 э~н ааң(ни)-тани ундииси паачилахан-тани,  
 пэдэүскэвэ мокторам энэизиэн(и) паачилахани мооңгозији.  
 э~н ааңни-ла ундииси, логлоиган тээгуи-гоан(и). асини чуңну абаа.  
 эс(и)-тэнии ихэрэ таавогохачи тэи-тэнии, гэпчэлл гэпчэл таа ундэ.  
 туи тамаари ичэгу(хэчи) тэи-тэнии ундииси э~н хаичи, чооңкочи,  
 писоан(и) туи биин(и)-го(ани) туи-дээ, эи туи,  
 туи биин(и)-гоан(и) писоан(и).  
 эи, эини, эидуэн(и) бии хаини, чуңнурэм луңтурэм абаа бичини.  
 э~н гээ элээ. э~ пэргэчиичи хаи-даа гаа́жои-даа гаса гаа́зохани.  
 эс(и) гэлэндэгум(и) ај(a)-гоа(ни) хасипоаламаари хао(си) энэури-ус  
 хао(си) энэури-ус.  
 э~н туи гусэрээндүмэ(эри) ааң(ни)-тани ундииси, улээн-дээ сиараси.  
 э~н туи тараа ундииси, жиа чима(ниа) тээхэ~н, сиягоар(и) хаиха~н,  
 сияха~н таванки-ла ундии(си) пујуурээ-дэ.  
 эс(и)-тэнии ундииси-э, тооичи зүхэ(чи) сиин кираачиани.  
 э~н нэуни ундиин(и)-го(ани) сиин кираала исихан  
 зуэзиэр(и) као́зарахачи хао(си)-даа сусуури-э мурчимээри.  
 нэуни ундии, "агаа~ ундииси-э,



буэ эси зуэзи(эри) гэсэ эмзиэчи-маңа энэм(и) ачааси," ундии,  
 "эму нии хэжи~, эму нии солии энэм(и) аја," ундиини,  
 "буэ зуэ нии хэжи, хэжи энэпи, солиазиала эгээ... эукэвэ ваазараа~, " ундии,  
 "э~н ундииси зуэ нии соли энэпи хэзиэзиэлэ ваарии"-а ундиини,  
 "эси мии хэжи энээмби," ундии, "сии соли энэруу"-м-дэ.  
 э~н таванки-ла ундииси-э, сусухэн нэуни хэжи~ ааңни соли-да.  
 туи энээ ундэ туи энэми~  
 тэи нэузимэ мэргэн-гулэ туи энэми горо энэкэ~ зижа энэкэ ундииси-э,  
 эң сиксэ~-лэ эм хаива, эм хурээн порондоани зоокаам(ба) баахани.  
 эң тэи зоокаанчи-ла~ ундииси, тоохани.  
 э~н јунгум жаргоми индани-ла вэи~ јэу~ ваачиа ундэ,  
 эус(и) таас таос(и) таас таа ундэ доокиазиала таа таа мораа ундэ.  
 уикэдуэн(и) жапараа иихэни эм пузин бичин,  
 ојаани ичэм(и) сама~-м гэјэ-м ичэур(и) пузин бичини.  
 э~н чадол-ла мэргэн-гулэ ундииси-э,  
 эң аоңгии-гоани њаар њаар эс(и) тэи пузин-тэнии ундииси,  
 э~н эс(и)-тэнии ундии,  
 эњуэји-лэ жоан муэ(зи) силкохани-а~ жоа(н) хачим(ба),  
 иихэни эњуэчији жоа(н) хачим(ба) хаабохани пујуучихэни  
 эм дэрэду~ там(и) пујуухэни.  
 эң тэи пујуугуи, даи, дамхива коңгорораа буурии-јэ-м  
 чава дабадала энэхэн. э~н ундии мэргэн-гулэ, даи,  
 манам(и)-хэи эчиэ омиа пузин элээ хэм хозихан пујуу(рии),  
 "этэтэ хатамба пузимбэ," мурчиини мэргэн.  
 э~н ундииси туи тараа-ла, хаирии-гоан(и).  
 эс(и)-тэнии сиягои дэрэду~ нээхэни  
 эс(и)-тэ(нии) бадосал(до) тээгуиэиэр(и) гэсэ сиариин(и)-гоани ундииси  
 э~н мэргэн аңмалани пузин гидалаи,  
 пузин аңмалани мэргэн гидалаи тамаар(и) сияхачи.  
 э~н туи тараа ундииси-э~ пузин хаирии-гоани,

пузін-гулэ, мэргэн ундиин(и)-го(ани),  
 "анда~ пузін ундииси,  
 самам заароани~ ундииси, тоороко туигэку биэс(и)-кээ," ундии,  
 "эң саман-гола хаи сама(н), гэжэн-гулэ хаи гэжэ(н)," ундиини,  
 "э~нгу тулиэ удэни-кээ дүнсиэмби," ундиин(и) пузін.  
 "э~нгу тэи пэргэруу," ундии, "мии, энэижэвэ гооја."  
 э~нгу ундииси эс(и)-тэнии ундииси-э, "уңчухэм(би) жапандароо," ундиини,  
 "таатакан курэнду бии-жэ"-м. эс(и)-тэнии мэргэн-тэнии энэхэни  
 хаидо-даа уңчухэн-дээ абаа гисил-даа абаа.  
 "эң хаидо биини," ундиини. "э~нгу чадо биижэ," ундии,  
 эм муру муру бии золо, эм онимпаали бии золо-даа.  
 э~нгу тэи-тэнии курэмбэни куэп куэп энэижээн(и) золова таодаа...  
 тадорам(и) ичэичэини-го(ани) уңчухумбэ.  
 э~нгу пузін-гулэ ундииси, энэрээ уңкини,  
 "эижэм чава голзон бааро(ани) наңгаачироо"-м-да. э~нгу эс(и)-тэнии ундииси,  
 пузін-гулэ хаива тахан-ноо кэркичэдуји эс(и)-тэнии туи тайзији гэсэ,  
 "анда мэргэн, уң, уңчухун калтаахан," ундии  
 эси чаңсоп илигоижи гэсэ энэми татагохани уңчухумбэ, эм уңчухун бичин.  
 тэи-тэнии таң тоа~н элээ калтаамула силихэни, эң гисилби-дэ.  
 гээ пэргэи-го(ани), эс(и)-тэнии тэи-лэ,  
 пузін-гулэ ундииси уңчухум(бэ) паачилаини-ла ундииси  
 киадар нэрээ~ нэрээ таа ундэ,  
 хээи морапсиндии ундииси, кузур боотоа туурэ ундэ.  
 э~нгу мэргэн-гу(лэ) мурчиини, "этэтэ дааи самамба, тэи, пузін."  
 э~нгу эс(и)-тэнии туи жааи~ зоовани туи жааихан,  
 "э~нгу аакс(и)-каа гасианга~," ундии,  
 "соли дуэ(чиэни) энэхэни аагзим(а) мэргэн,"  
 э~нгу ньоанчиани хаигои хожиидоји жааигоин(и)-гоан(и), "эукэмбэс(и)-тэнии~,  
 эи маңбо хэзиэлэни балзии сэлкии саман, пукчуухэни," ундиини.  
 "э~нгу чиман(а) сиун токон ээрдүэни~кээ исигои бижэрээ," ундии,

"моонгоји эвэн(ки) горо анаа," ундии, тэи ньоани моонгони.  
"э~н жапам(и) жапон тэйлэ~, наамам(и) надан тэйлэ," ундии,  
"ваами моо, бийжэ," ундиини, "эң тэй моан...  
моонгоји исигоижи гэсэ чадо сиариини," ундии, "туи наја, жаанкоми.  
э~н ундииси хатан энэи осини исизаачи-а, элкээ энэи осини добдаасиси,"  
ундиин(и), "тэй исигоивани."  
э~н туй тараа~ унчухумби хаираа курэн бааро(ани) наңгаачигохани.  
э~н жолодоји осигохани унчухуни гисилни-дээ.  
эси-тэнии чадо-ла аории аонгии-гоани, тэй пузимбэ асигоји баахан.  
э~н ундииси туй тараа жиа чиманиа-тани тээхэ~н мэргэн энэи-гоани,  
хаи сиягои, сияхан сусуи-гоан(и), чимии.  
эң сусуидуэн(и)-тэнии эм эзэхэкээм(бэ) ањаалавааңкини.  
"эң хаигои буурииси, хаигои-даа ањаалаор(и)-а"-м-да."  
"аја~, " ундии, "эи симби(э) мэнээ бэлчијэ," ундии пузин.  
э~н ундииси таванки-ла мэргэн-гулэ туй энээ ундэ ундииси-э,  
эң туй энэми~ энэми ундииси эчиэ доо... туй энээ ундэ,  
хаидо-гдал баахачи-ос соктагоји туй энэми энэми ундииси э~н хаива,  
тэээ-дээ бичини, даа~и моо бичини,  
ичэини сиунгуни эчиэ тооко~а ээр ундииси-э,  
эң тэй-тэнии ундии(си) дааи моо бичин,  
ваа~ми моони-гоани тэээ-дээ бичин наамам(и) надан тэйлэ~,  
жапон... жапам(и) жапон тэйлэ ундии моо.  
тэй моо тэхэдуэн(и)-тэнии ундииси, тиас наи биэс(и)-кээ,  
наи нуктэн(и) тэгэјум тэгэјум бий~, наи гирмаксани,  
нии наи жилини жаңгар бий таа ундэ,  
тэй-тэ(нии) наи гирмаксани-мања сийзоаром бий.  
"эң хаидо сириори тэй," хаидоани сирихани.  
хаидоани баахани сиригоји чадо. э~н туй тараа~ чадо биэ ундэ,  
элээ сиун токон исиидоани-а~  
доолжиини зукэн жилгани соңгораа~ морараа таа ундэ.

эң аагзиан(и) тэлчиугурээ~ мэргэн... нэулэ(ни) хозираа,  
нэулэн(и) тэлчиугурээ ааглан(и) хозираа там(и) соңгоа ундэ.  
э~ң туи хээсим(и) соңгохам(би) дуэлэни тэи-тэнии ундииси тэи,  
"эрдэнгэ~ ваарииси ваароо, сиарииси сиароо," ундиини,  
э~ң энимбэни амимбани итэрим(и) соиа ундэ...  
соиа ундэ итэриин(и)-гоан(и), хачиңгозиани.  
э~ң ундииси тэи-тэнии ундии, "синори-а~ хаи-даа," уңкин,  
"эң мии-лэ, хаи нии... хамачаа нии-даа хэм јаакоамби," ундии,  
"мимбиэ наи эчиэ туи соира," ундии, "симбиэ-мээ~ бааохан," ундии,  
"мээпи туи итэрии наива, хачиңгозиани.  
э~ң элээ исигоамби," ундии, "мооңгоји. эзиэнэ," ундии,  
"элээ исигоамби"-м.  
эс(и)-тэнии тэи эукэн(и)-тэнии Зилган-тании тас хаиха~н,  
мораи-даа мораи, соңгои-даа соңгои,  
ньоамбачи хээсии-дээ хээсии эси-тэнии ундии тэи,  
гасаңгоји соии-даа соии, "ниморилохан... маңгалахамби, ниморилохамби,"  
ундии, "сиарии оси(ни) сиароо, ваарии оси(ни) ваароо," ундиини.  
"элээ~ мооңго(ји) исигоамби," ундиини, "эзиэнэ-э"-м-дэ.  
э~ң ундииси туи тами ундииси исигохани ундииси тэи-лэ ундииси,  
эң чуу~ хаидо, долиндо бии гарадола доогохани.  
э~ң тэи-тэ(нии) кумбирчиз~ тахани. эукэни-лэ кираадо бии,  
гарачи-ла оонзи тэрэк туи тээхэн ээс-дэ.  
э~ң ундииси эс(и)-тэнии, эукэни баароа(ни) ньоңол ньоңол тахани.  
хэрэ~ ундииси, эукэн(и) тохони-ла боор тууриивэни  
хороји алихани хэм хороочиани туухэни. э~ң мурчиини-го(ани),  
эи туи ичэээи... туи эрдэнгэсими ичэээми ун(дииси),  
эукэм(би) ваадала~ эрдэнгэсим(и), хаи эрдэнгэни баахани ээдэн.  
э~ң мэргэн морапсиңкини, "ээ сэлкии сама~н ундииси,  
эукэмбиэ сиягои там(и)-даа, улээ(н) ичэгуруу," ундии,  
"эуси. эң мимбиэ, саарасижи долбалахани унэээчи-мэ"-м-дэ.

"элэ-дээ~ исихасо," ундиини. "э~н ундииси ээиэнэ," ундии,  
"мии тэтуксэгугүжэ"-м-дэ. тэи-тэнии,  
муңгии муңгии муңгии муңгии бэјэји туи гаса-ла туи туиңкуэ ундии  
тэи-тэнии ундииси-э, э~н мэргэн ичэини-лэ чилу~ чилу сэлэ-мања,  
"гээ, ичэгуруу." "ичэгуэмби," ундии, эси улээңгузиэни.  
ньоани баароан(и)-та(нии) насаји ньоои(ган)...  
сооига(н) ичэгүхэн тэи гаса-тании-да. элээ пукчуи-нуу хаи-ноо-да.  
"э~н ичэгуруу," ундиини, э~н ичэгүхэн тэи-тэнии ундииси-э хаи,  
мэргэн ичэин(и)-тэнии эи хоориандо... эи хоориандолан(и)-тании,  
тэң тоңгилианда ундэ, туи тараа уңкини,  
"ээ забдоа~н ундииси сии,  
мии амим(би) забдон-даа биэсиси-э~, энимби-тэнии,  
заб... олбиңкин-даа биэсиси," ундии,  
"амим(би) энин(и)-тэнии, гиамат(а) зизуидо олбиңкини-а," ундии,  
"мии-лэ, олбиңкин забдон таачи-а"-м-да.  
"тэи тоңгилиандалани, тап иирээ, оңболани агбиңгораа зуэ хаини,  
эини эини туи, туи ачагоидоани хоигороо"-м-да.  
э~н туи уми ньоочаал(ахани), хаи-та(нии)... ньоочаа(лахани)... лэкээлэхэни.  
тэи-тэнии тас~ гарпаини тэи-лэ ундииси, поңгалиачиг туукэ ундэ,  
э~н ундииси-э, наачи туухэндуэн(и)-тэнии энэизији гэсэ ундииси  
э~н гидази-ла гидачихани, эң гэл абанахан,  
туи тараа эси хаигока ундэ, доркинзиала-о~ заралигохани,  
"э~н мии-лэ~ ундииси-э,  
симбиэ-лэ туи мээп(и) долбалазараа~-м эчиэ мурчија," ундии,  
"э~н амбаа~н сэвээн хојодоан(и) зооји~ тээји исигоор(и)-ноо абаа-ноо,"  
уңкин, э~н ундииси, туи та(раа)  
"бурми-о~ балзими-о уи даалзикосо," туи уңкин, туи уңкиндүэни.  
эси-тэ(нии) зүкэн(и) хоон(и) тугбугуури тооми кэту-дээ ваами,  
хоон(и) тугбугуури тао(си) тоопи. э~н хаила,  
забдом(би) нэүчэи-дээ јаасигохани алиокаамбани чадот-тании ундииси,

э~н эм биактаакаам(ба) баaxани.  
э~н туи тараа буридуји туи нээкүхэн лэкэкээмбэ-лэ ундииси,  
"ээ биактаа~ ундииси,  
эүкэмби чуңну~ эуси тугбугуруу," уми хаихани, лэкээлэхэни.  
эүкэн-тэнии ундииси, туи хоон(и) биизи хоон(и) биизи~ туи гааžo...  
туугүхэни, жакпачији, гээ эс(и)-тэнии эүкэн-тэнии наамаңка~п соңгои-гоани  
эс(и)-тэнии, э~н ундииси-э, эс(и)-тэнии хоони, эүкэни, тэтуэни осини  
хэм тохон анаа нэрэ нэрэ осиха~н, э~н ундииси хай,  
лээмикээнзи отажи, чаракон-маа биин(и)-гоани бай,  
жоог(до) тэсичэй лээмикээни отани. э~н ундииси, тэй биактаадоји-та(нии),  
"эүкэн, эи биактаакаан ојалани тээрүу," унди, "хоон(и) тээрүу," унди,  
"туи нэмдэ." "аја~, тээрйи-мэ(т) осироо," унди,  
"мэнээ эи ээ биакта~ ундииси, мии асичијија эүкэн,  
эүкэм(би) ирагороо," уңки(н),  
"э~н эм пурум(сэ) пурум(сэ)-дээ эзи гохолоанда,  
эм урэктэкээм(бэ)-дээ эзи дапсикаалоанда," уңкин,  
"эң тэрэмзи улээнзи ирагороо"-м, "эүкэн, асичијија."  
эң туи уми лэкээлэхэни. э~н эс(и)-тэнии ундииси энэй-го(ани) жулэси.  
эси-тэ(нии) таваңки-ла энэпсиңкини-э~  
маңбочи эугупи туи энэми энэми ундииси маңбочи исигохани ундииси,  
таваңки-ла туи энэми~ энэми, хаилоо дааи иргэн бичин  
мода(би) хоолим(и) биэ ундэ ундииси э~н тэй-лэ,  
эзэ~н хаандоани-ла ундииси, эң жоан нии иигүи~,  
жоан нии ниэгуи таа ундэ мэргэн-гулэ тоохани, мэдэсиини,  
"э~н эзэн мапа маңга, эзэн мапа элээ будийэ," унди, "маңгани-а"-м-да.  
э~н уикэду хай-даа таңто анаа ихэни, нихэли(рээ)... татарраа-да.  
наи паламбани такточим(и) ийри-го(ани) лур-дэ.  
эң эриэ~х эриэх миңгүчиэ ундэ,  
пүксу(н) накан токондоани-ла ундииси жаңпам(ба) чиахачи.  
эң мэргэн-гулэ ийрижији гэсэ ундииси э~н жаңпанчи ийри,

иими ундииси э~н тэй лэкээји туи очогохандоан(и)-танин Запагоизији гэсэ,  
 туи туи туи јэујэуми-лэ, лоап татагохани.  
 э~н сэлкии саман будээ хозихани.  
 э~н эс(и)-тэни асини-ла соңгои-гоани.  
 э~н мэргэмбэ-лэ, "эни озогоија, эни озогоија," ундии,  
 тэй-тэни сэлэмэ молзиива-танин эи ээлэји доолан(и) Зајакаачиини бичини.  
 эң мэргэн-гулэ ундии, һаала(ни) лоап татаизији гэсэ  
 һоамба(ни) паачила(ини) чадобак(и) энэизиэни.  
 э~н туи тараа ундииси таванк(и) ниэгүхэни ундии(си) тээ дүжэлэни-лэ  
 эм зоо бичини. эң дааија~ зоо ундииси-э,  
 эң тао(си) тоохани уикэдуэн(и) Запараа иихэни.  
 тэй сэлкии саман пузини-лэ ундииси  
 э~н хаилоо улээн пузин бичини ундииси,  
 эң наи каармаазин нэучэин(и) туи-гоан(и), тэй-тэни ундииси-э, хаи, хаи,  
 тэй-тэни мэргэм(бэ) ичэизији гэсэ ундииси,  
 сээлэ~ һооло энэхэни соңгочихани, доола боала биз үндэ соңгохани-ла.  
 эң мэргэн-гулэ ајакталахани, "анда~ мэргэн ундииси,  
 ајакталаи осини) ајакталароо~, чигзиин осини) чигзируу," уңкин,  
 "полоандоји бусэсигүжэвэ." эң тэй-лэ пузин гурсул,  
 эң туи хаараа осигоиизији гэсэ эс(и)-тэни ундииси-э, хаи-даа,  
 гогдалаазиини-ла хаива,  
 коңгороа коңгоролахани-а~ даргоан онилан(и) даидоји-ла ундииси-э,  
 э~н гогдази коңгоролараа буухэни ундииси, ираин(и)-гоан(и). Запаадааси,  
 тэй мэргэн-тэни пакаа~ пакаа ајакталахани бичин тэй пузин баароани.  
 эң пузин ичэини пакаа пакаа биин(и)-гоан(и).  
 э~н Запаадааси колоо колоо го... гуэптэини гучи таавогораа гучи ирагои,  
 э~н илаачији модан ирагоочиани мэргэн-гулэ лапоа~ Запахан даивани.  
 эң Запаизиан(и) гэсэ пузин-гулэ ундииси энүэчији энэми эс(и)  
 котаригда зобой-гоани, эң силкочигойи-даа, эң зоан муэ силкохани,  
 зоан муэзи, хаи, силкохани тэй-тэни ундииси эм,

зоан хачим(ба) хаабо(и)... иигуи,  
 зоан хачим(ба) хаабогои там(и) дэрэду~ хаихани.  
 эң пузін ичэини тэи мэргэн ајакталахан-тании тэи дамхија, омиин(и)-тании,  
 эм модан татаини хаараа~, зиа модан татаини хаараа~ осиигохани.  
 эс(и)-тэнии мээн мурун, мээн боикозији очогохани,  
 пака пака биини хэм абанагохан бичини.  
 э~ң туи тараа тэи пузін-тэнии ундииси тэи мэргэмбэ,  
 сиягоани хаирии-гоани, эс(и)-тэнии хаигои,  
 "анда~ мэргэн ундииси, эзи минзи ајакталара," ундиин(и)-го(ани),  
 "эзи оркисира"-м-да, "э~ң амаа эньээ буикимбэни,  
 гузиэсим(и) соңгочихам(би)-тании," ундии,  
 "амаа-ла мэнэ оркиндоји мэнэ будэи-гоани," ундиини,  
 "эң найзи уликсэңгузи, найзи хаиңгози бэјуңгузи балзиор(и),  
 эмбээ нии бундуи маси-даа озаа-ма"-м-да.  
 "э~ң эньээ гузиэлэн(и)-тэнии," ундиини.  
 э~ң эс(и)-тэнии ундииси бадосал тээгүкэп сиарии-гоани,  
 сиами(и) хозиизији гэсэ, эң мэргэн ундиин(и)-го(ани),  
 "гээ далигороо," ундии, "найја, гээ сиандагороо-м энугуури."  
 эң пузін-гулэ ундииси  
 э~ң сэлэмэ урэктэ жапагоизији гэсэ боачи пагзиалахан.  
 эси-тэнии ундииси-э, пузін-гулэ хэјији солији  
 сэлэмэ урэктэзи тутухэни-э~ сиксэ~ исигохани иигүхэни.  
 иигүизији гэсэ хаиси сиягои пујуухэ~н, эс(и)-тэнии ундииси-э,  
 "эң чимана, сиун токондо хэм наи зум(и) хозији-ја," ундии,  
 э~ң тајаала эси эси-лэ ундии(си)  
 сияго(и) пујуухэ~н элээ сиксэгүхэн ундииси ихэрэ таавогохан,  
 эс(и)-тэнии сияхаал ундииси, бадосал тээгүпээр(и) сиарии-гоани,  
 мэргэн, аңмала(ни) пузін гидалаи,  
 пузін аңмалани мэргэн гидалаи тамаар(и) сияхачи.  
 э~ң сиксэгүхэн тэи-мэ(т) пузін-гулэ хаал(и)-даа эзилээчихэмби-эчиэ,



аогоа(ни) сэкчиугуиџији гэсэ чимичимиа џакпачи апсиндагохани.  
 э~н џиа чимани њаа~р аохаал, туи тараа наи, сияха~н хаихан,  
 сиун токон элээ исии,  
 эс(и)-тэнии ундииси таванки-ла ундииси џиџуи-гоани хамаси.  
 тэи иргэм(бэ) далигомаар(и) туи гааџои-гоани~,  
 туи џиџумээр(и) џиџумээр(и) ундииси,  
 эн тэи хурээн порондоан(и) бии асији баогоха~н ундииси  
 таванки-ла ундииси тэи пуџин, тэи-дээ пуџин-дээ ундииси  
 э~ тэи хурээн бичин-тэнии иргэн бичини. иргэм(бэ) џаичахани.  
 иргэм(би) агбингохани ундииси таванки-ла ундииси-э,  
 эн чава туи далигомаар(и) џиџуи-гоани.  
 э~н туи џиџуми~ џиџуми џооји исигохани. ааџни-ла абаа.  
 эси-тэнии ундииси џооји-тэнии баџсалахан  
 џоан даа џоо хујун даа хулбу осигоиџиани.  
 э~н хэји сол(и) наава-ла баџсачихан-тэнии,  
 џиакта-тэнии туи эмуту туи тујмур-мэ энэхэни  
 хэјији солији-даа модам(ба) хоолим(и).  
 эс(и)-тэнии мэргэн-тэнии тутуи-го(ани) дааиџи гираџкин дааи џоо~,  
 нуучиџи гираџкин нуучи џоо осихан.  
 туи тараа ундииси тооичи эугурээ унди... мораини-гоан(и),  
 "гээ~ гэрэн гурсэл ундииси, тоороосо," уџкин,  
 "эгџи нии~ дааи џоокчи, ои нии нуучи џоокчи тоороосо," ундиин(и).  
 э~с(и)-тэнии элчиусэл-тэ(нии) агдахачи џээ-нуу,  
 "эи-тэнии эээн мэргэн-тэнии эзэ~н ундииси, буэ-тэнии џимээр(и) гасахапо,"  
 унди, "хаали џоогоји аџгоори-а, элээ бологои."  
 э~н эс(и)-тэнии, чадо эм хадолта џоогдоји бичин.  
 эс(и)-тэнии ааџни хаис(и) абаа. "ааг(би) гэлэндэгум(и) аја," унди,  
 "хаи удэвэ наиџи сорим(и) пулсиини-у~,  
 хаидо наи удэвэ наи сорим(и) пулсиини-ус."  
 эс(и)-тэнии таванки-ла маџбо соли энэпсиџкини мэргэн-гулэ.

туи энэми~ энэми боа боадои иргэм(бэ) хэтэми энэхэни бичини  
хадо хадо иргэм(бэ) ааңни-ла ундииси найја ваам(и) гаралами-ла,  
асији гэлэгум(и).

эң туи энэми~ энэми-лэ баариини эси ааңни най сорими~ бие ундэ,  
исиха~н ундииси-э, э~н тэи-тэнии ундииси-э,  
тэи найја ваариин(и)-го(ани), элээ ваариини, най сории нии.

"агаа~ ундииси эукэ(вэ) баогокаја," ундии,  
"зоог(до) бии-јэ"-м-дэ. "гээ, элээ, энугуури," ундии,  
"хаи найјани малжалаорини," ундиин(и)-го(ани).

эс(и)-тэнии таванк(и) хамас(и) зижуи-го(ани) хаи,  
зоокчији-а тэи иргэм(бэ) далигомаар(и) туи зижуи~ туи зижуи ундииси,  
зоо(ји) боарба(ни) исигоха~н эс(и)-тэнии ундииси-э,  
эң тэи гаазохамба(ни) иргэм(би)-тэ(нии) дүжээ зэргиду осивоааңкин ундииси  
тадо-даа туи, баңсачии-гоани тэи нэун(и) туи, наава.

туи тараа тутухэндуэ(ни) зоо осихан.

эс(и)-тэнии хаиси, туи балзии~,  
"эгзи гурун зоо, дааи зоок(чи) тоороосо~,  
ои гурун нуучи зоокчи тоороосо"-м морахани-гоан(и).

хэм тоохан, эс(и)-тэнии туи балзии-гоан(и),  
эс(и)-тэнии туи ваачамаар(и) балзии~ тэи-тэнии, хаи,  
туи балзиидоани ундииси э~н ааң(ни)-даа бэјум(бэ) ваарии,  
элчиусэл-тэнии туэгуучиэни ундииси, пара, пиахани мањаариизиани~,  
зоагоочиан(и) согдатава ваахамбачи осини,  
тэтуэвэри хэм аалиизиани туи тообоичи-го(ани),  
гэрэ~(н) элчиусэл, сиягоан(и) туи ваамаар(и) туи балзилохан  
горо~ бичэ~ зија~ бичэ~ элээ. элээ-гоан(и).

5. 3уэ наон3окаан бал3ихачи

э~н ундииси эм 3оо доолани 3уэ наон3окаан бал3ихачи.  
си~нэ3иичи-гоани амин(и)-даа анаа энин(и)-дээ анаа аңга 3ака.  
туи тараа~ туи бизл ундэ.  
сиагоар(и)-даа баараси-а~, туи эруулэмээр(и) биичи-гоан(и).  
туи бимээри-э амбаан дааикаанчи-го(ани) урэхэчи.  
эси-тэнии, ааңни ундиини нэучији, "мимбиэ ваараа сиароо,"  
ундиин(и)-гоан(и). нэуни ундиини, "хоони сиасори," ундиини,  
"аагби. мии-кээ ваарасимби," ундии, ундиини,  
"сии мимбиэ ваарасиси, мии симбиэ ваа3аамби," ундиини ааңни.  
эс(и)-тэнии туи тараа сиксэ апсингоидо(ји) ундии, "ваахаари,"  
ундиин(и)-го(ани), "мимбиэ, эс(и)-тэ(нии) мии оңасачији."  
наон3окаан-танин, чимии тээхэн, хаис(и) ујуукээн тээгүхэчи-гоани,  
туи эруулэичи-го(ани), хаива-даа сиагоар(и)-даа баараси,  
хаива сиамаар(и) биичи-ус. э~н эс(и)-тэнии туи, 3уэ модан уңкин,  
уже туи хаис(и) ујуукээн чимии тээгүхэн.  
эси илаачии сиксэ ааңни ундиин(и)-го(ани),  
"эси чимии тээгүм(и) ујуун осини, мии симбиэ ваа3аамби," ундиини.  
эс(и)-тэнии тэи ваагоји хаигоји-даа кучээңгүји-дээ чэк нээхэн, ааңни.  
чэк нээхэни-гоан(и), "уликсэвэ, ңаала бэг3ивэ чаасораа, уликсэвэ сиасори-а,"  
ундиини, "аја"-м-да. нэуни ундии, "хоон(и) ваасори," ундии,  
"мээн аагби. хоон(и) уликсэвэ сиасори," ундиин(и)-го(ани),  
"ваараа-да. мии-кээ ачааси," ундиин(и)-го(ани),  
"мии симбиэ ваам(и) мутээсимби, ааг(би) хоон(и) ваасори."  
эс(и)-тэнии туи (с)поорилахан, туи тараа апсингохачи-гоан(и).  
наон3окаан-танин аагби оңасачи-танин

эс(и)-тэнии ва~иси пагзиалахани-го(ани) муэ баароани.  
туи тутум(и) энэхэн, муэ(чи) тапоригда тоо... иихэн, эс(и)-тэнии элбусим(и),  
паорим(и) отолиаси утонул, хоон(и) тахани-ос хоон(и) тахани,  
хаончок энэхэни. туи тапи-о~ саагохани-гоан(и) наонзокаан,  
эм, боадо~ сапси кираадо аориилаји-а-да.  
бэјэји хэм туиңкуини хэм аја, нормальнаяй.  
зилин(и)-даа аја, ңаалан(и)-даа аја, бэгзин(и)-дээ аја.  
тээгурээ ичэин(и) тээ дүјэлэ эм зоо биини. тэи зоокчи иихэни.  
гиңдэ гиңдэ биин(и) хаи-даада абаа.  
пала(н) токондоан(и)-тани, эм дэрэ, зүэ бандаан.  
чадо-тани зүэ кочи, эм тукуру-ус, хаи араки, хоо аракини-да.  
"хаидо сириори," мурчиин(и)-го(ани) тэи наонзокаан, хаи-даада бааваси,  
чистыйн(и)-го(ани) наи зоондоани хамачаа-даа абаа  
хаидо сиригуји-дээ бааваси.  
эс(и)-тэн(ии) дэрэ пэгиэлэн(и) апсиңкин наонзокаан хумэсикээ~н аориогоји,  
"бии осин(и)-тэ(нии) мэдэвэ доолзиори-а," мурчиини.  
туи аориидоани-а~-ла сиксэ~-лэ, эм моңоо зйзүхэн.  
туи аориидоани~ эм хаи зйзүхэни, эм мапа, пурээн мапани.  
эс(и)-тэнии туи хаирии~, гусэрээндуй гэсэ ундиини, пуңгичиичи,  
"наи пууни," ундиини. "хаи нии зичини пуун(и)," гучи ичэгүхэн.  
"хаидо-даа абаа," ундиичи. "хаи-даа абаа."  
туи тараа тэи мэдэсиин(и)-го(ани), тэи аакчији нэу, тэи зүэ нии,  
"анда~, " ундии, "сии зиниэ пулсим(и) хаи-даа доолзиачис(и)-ноо," ундии,  
"тэи, мии доолзиха~н," тэи эмзиңэ ундии, тэи эмзиңэ-тэнии,  
"мии-дээ доолзиха~н."  
"эи маңбо хэзиэлэни бии-јэ," ундии, "эм хотон, наини.  
элээ муэзи, хакомаар(и) будии-јэ," ундии,  
"муэ хасо~ хасо абаани, ундии, хаидо-даа муэ абаани-а"-м-да.  
"наи-тани муэвэ гэлэмээр(и) пулсиичи-э~, " ундии,  
"чава бааор(и) хаи маңга," ундиини. "тэи хотон дуэдуэни бии-јэ," ундии,

"эм биран, холгохани. чава чуул тоом(и)-танин, бии," ундии,  
"эм дааи сиси илисиини," ундии, "тэн тэи биран токондоани.  
үжэ дуэдуэни." "чава хоон(и) таори-а," ундиин(и)-го(ани), "чадо."  
тэи ундиин(и)-гоан(и), "эм хоо аракини, хаива нээури," ундиини,  
"илаан кочи нээури," ундии, "туи тараа чадо нээрээ, чава-танин хулуури,"  
ундиини. "тэи, каила бии-гоани. туи, наа хулуур(и) эака.  
тамачаази хулуури," ундиини. "баи эаа," ундиин(и), "чава хулуур(и)-дээдэ.  
тэи-тэни хулуидуэн(и)-тэни тэи хэм муиктэни хэм, лоптоариизиан(и) гэсэ,  
тэи моо-та(ни) хуэдэптэи-э," ундиини.  
"туи тараа ундиин(и)-го(ани) тэи хаидоан(и)-та(ни) хаириини," ундии,  
"хуэдэптэхэн, чала-танин муэ-тэни туи посками агбим(и)-танин  
тиас муэ осигои," ундии, "маңбо." гээ досиэхан наонзокаан.  
"тэи-дээ туи бигини," ундии, тэи эмэинэ.  
"эс(и)-тэни мии доолэихам(би)-танин эи солиал(а) бии," ундии,  
"увуи хотондо, эээн пиктэни, элээ будии-жэ," ундии,  
"эктэ. тэи-тэни хамачаа доңгор доңгордааси,  
хамачаа паңга паңгааси," ундии, "хамачаа октова отолии ни окчиаси,"  
ундии, "чиилахачи," ундии, "тэи пиктэ, сарганчоо элээ будии," ундии,  
"чава хориор(и) хаи маңга," ундиин(и). тэи эиани ундиини,  
"хоон(и) хориор(и) эакани," ундиин(и).  
"чава-танин, аминдоани бии," ундии,  
"алха инда. долинэиани, хаи, эулэси туи сиңакта, хамаси туи сиңакта,"  
ундиин(и)-го(ани), "эуси таоси туи. гүжэру, инда гэрбуни.  
чава-танин, моңгомбани чаалими, тэи индази-лэ хуэдэптэи," ундиини.  
"чава-танин тэи сээксэзи мододаи~,  
тэи уликсэвэ сиавандии таор(и) осин(и) тургэн улээн осигои-жа," ундиини. "  
чава-танин туи тагои, паэзикаан эм, комнатадо нээури," ундиини,  
"ньоамбачи. уи-дээ тоңгала(аси)... уи-дээ иирэсиэзэни, чадо осираа тэи,  
чава туи эрдэлэин(и) чава сиавандии,  
тэи сээксэзэни мододачи таин(и)-го(ани), хэрэктэвэни окчичиини.

туи тами улээн хорагои," ундиин(и)-го(ани), "тэи туи туи хорагои-ја,  
улээн осигои-ја," ундии, "ајанагои-ја"-м-да.  
эс(и)-тэнии наонзокаан-та(нии) хэмэ~ туи досозаин(и)-го(ани) чава.  
туи таизији гэсэ тэи гурун, элээ инэидуэни-э~  
туи гусэрээндүхэм(бэри) бэундуэни, тэи дэрэду(эни) кэңкэлэрээ тэи аракиа,  
хоова чичираа эус(и) таос(и) туи буумээр(и) оминасии таичи-гоан(и).  
тэи јунгурчи... хаи-ја~ моңоонзи, хаизи-даа мапази-даа.  
туи тараа кэңкэлэрээ хоор хоор таизији гэсэ  
илигомаар(и) хэм пагзиалагохан.  
гээ наонзокаан-та(нии) агдахани-го(ани),  
эс(и)-тэнии-дэ эс(и)-тэнии, туи тараа, хаириини-гоан(и).  
илигохан, ниегүхэн. эс(и)-тэ(нии) маңбо хэјэ энэин(и)-го(ани),  
тэи муэзи холгои гурум(бэ), боңгодо хориндаори гэлэи-гоан(и).  
тао(си) энэхэ~н, тээ-дээ бичин наи-тани, муэ абаа,  
узин-дээ пэкчэрэк муэзи холгом(и) будии,  
наи-даа маңгаламаар(и) туи хаири тэи,  
муэ хасоо~ хасоо абаа хаидо-даа абаа.  
туи тараа эээн, пэгэ... хотондо туи осихани.  
тэи удэ пулсиини~ тэң эээн,  
тулиэвэни~ энэиду(эни) эээн сэрүүсииду(ји) тэрэк ичэхэн тэи наонзокаамба.  
"э~н наонзокаан," ундии, "зидуу," ундии,  
"эуси. сунiezчи бии гурундулэ хаива-даа хэм сааори," ундиин(и)-гоан(и).  
эс(и)-тэнии, хээсихэн наонзокаан иихэн.  
нохорааңкини-го(ани) наонзокаан тэи эээн баароани.  
"эзи нохораачира," ундии, "сии хаива-даа саарасиси-ноо," ундии,  
"туи туи бии, буэ муэзи мохohan," ундии, "наи хэм, ичээчи-тэнии," ундии,  
"тулиэ удэ(ни) пэкчэрэк бии, наи-даа муэзи маңгалахан,  
узин(и)-дээ хэм будии-јэ," ундии, "муэзи маңгалами-мања."  
эс(и)-тэ(нии) наонзокаан-тани, "мии саа(рамби)... хэмэ~ бирээ, ундии,  
"гээ," ундии, "чаа-каа, таори," ундиин(и)-гоан(и).

"хаива гэлэйси," ундии, "чадо тагои." наонзокаан ундиини,  
"эм каила, илаан кочи, эм хоо аракини-да."  
эс(и)-тэнии сиягоан(и)-даа буурии-гоани-а най сиавандии-го(ани),  
туи бии мэдэвэ доолзихандоји, туи тараа-танин тэи эзэн буухэн,  
чава хэм-дэ, наонзокаан-та(нии) чава запараа-о~ энэин(и)-гоан(и).  
тээ-дээ бичи(н) тэи, хотон солиа дуэдуэн(и)-тэнии, эм хаи бичини, биран,  
соҥта-о~ биран бичин.  
кота кота холгохани, хамачаа-даа маҥбоҥгочи-даа хэм кота кота холгокто,  
муэ анаа. чала дуиси пос тоохани-го(ани), тэи бирам(ба).  
тээ-дээ бичин биран тэҥ хозигойдоан(и)-танин туи эм,  
дааи сиси биэ ундэ илисиини. чава исихан,  
тэи сиси тэхэдуэни кочи нээхэн, аркикаам(ба) нээхэн, сугзихэни-гоан(и).  
туи тараа тэи удэвэн(и) тэи каилази хулэин(и)-го(ани) тэи, хаивани,  
тэи-тэ(нии) бай заа бичин, туи таини, эпэр эпэр эпэр таин(и)-го(ани).  
туи тами тэи-тэ(нии) лопторам энэхэни-го(ани), карчаандолаји,  
чуңну хуэдэхэн тэи моова, хао(си)-даа энэхэмбэ(ни)-дээ эчиг-дээ ичээни-э.  
хао(си)-даа энэхэбэн(и)-дээ саараси наонзокаан.  
чала-танин муэ-тэнии поспом(и)-танин,  
пока тэи наонзокаан хаиридоани-маҥа уже бира(нд)о тиас осихан  
тао(си) маҥбочи хэжэин(и)-гоан(и).  
таваҥк(и) хотон бааро(ани) эугуидуэн(и)-тэнии  
уже хотонқан тоои(до) тиас муэнэхэн.  
э~с(и)-тэнии тэи-тэнии най-танин хэм муэчи-маҥа эухэн най.  
узин-дээ хэм муэду бии~, наисал-даа хэм муэчи-маҥа эухэн.  
эзэн исигохан тулиэчи хаилараа агдахан, эзэн ундиини,  
"хаива гэлэйси-э," ундии,  
"хаи, симбиэ пэгиэлэји бии заҥгиан осиговаандамби-а"-даа  
ундиин(и)-го(ани) наонзокаанчи.  
"хаи, аисин мэңгум(бэ) гэлэи осин(и)-даа буурэмби," ундии,  
"хооҥаа чихалаиси хооҥаа-да." наонзокаан-та(нии),

"хаива-даа гэлээсимби," ундиини-гоан(и), "заңгиан-даа осиисимби," ундиини,  
"энэгуји, мии, корпиасимби," ундиин(и)-го(ани), "хаңгиси энэгуји таамби"-м.  
"аја," ундиини, "мии зизузээмби," ундии, "тотапи-а-да."  
"гээ нээ, зизухээри, бум(биэ) хооһаа хорихан,"  
заңгиан осиигоамбор(и)зи хаириин(и)-гоан(и), тэи заңгиан.  
эс(и)-тэнии, таванк(и) энэпсиңкини увуи хотон баар(оани) тэи,  
сарганчоо, будиивэни хорим(и) аја-гоан(и).  
тао(си) исиха~н тэи, хотомба, тээ-дээ бичин эээн уикэн(и) даадо(ани)...  
докан(и) даадоан(и)-тании наи ти~ас биз ундэ,  
хамачаа доңмор анаа хамачаа лекарь анаа тадо,  
хамачаа окчичии гурун анаа хамачаа нии-даа хэм,  
гадаалаи гурсэл чуңну биин(и)-гоан(и).  
эс(и)-тэнии наонзокаам(ба)-даа эээн хаис(и) лак ичэгүхэни,  
тэи удэвэ пулсиивэни. "наонзокаан зизуруу," ундии,  
"гиохатокаан эу(си) зизуруу," ундии,  
"суниеду бии гурундулэ-мээ~ хаива-даа хэм доолзиори," ундиини, тэи.  
иихэ~н, хаис(и) ньохораандиин(и)-го(ани) наонзокаан.  
ундиини, "мии пиктэји энусиини-э~," ундии,  
"ха~мачаа наи-даа хэм окчии-јэ-дээ, хамачаа нии-дээ хэм паңгаи," ундии,  
"уи-дээ мутээсичи," ундиини. "элээ будии," ундиини.  
наонзокаан-та(нии) хэмээ бирээ ундиини-гоан(и), "синду бии-нуу," ундии,  
"гујэру инда. туй туй бии инда." "бии."  
"гээ бии осиини, пиктэји-тэнии паазикаан эм комнатад(о) нээруу," ундии,  
"уи-дээдэ чала энээсизииэни." эң "гээ," ундии,  
туй тараа даогохан тэи, таоси тэи индава олбиңкин.  
чадо-тании тэи доола(ни) тэи наонзокаанзи,  
тэи паталанзи осиигохачи-гоан(и).  
эс(и)-тэнии тэи наонзокаан-тании тэи, индава ваахан,  
зилиа чаалииизииэн(и) гэсэ, зили чуңну хуэдэптэхэн хаиси.  
туй тараа~ тэи сээксээзиэн(и)



тэи арчокаан бэжэвэни морколаи таи, мододаи,  
 и тэи уликсэвэни пујуучим(и) сиавандии таа ундэ.  
 тэи-тэ(нии) ичээзин(и)-тэнии, зиа,  
 хаңгиси~ хаңгиси~ улээн осигогин(и)-го(ани), улээнэгуи.  
 туи тами гиан гиан аја осигогхан. уликсэ маңахан,  
 ньоан(и)-даа ајанагохан, тэи эктэ, илигохани-го(ани).  
 туи тами амини ичэндэгүхэни. амим(би) уикэлэ иириивэни ичэйзији гэсэ,  
 хаириини-гоан(и), ундиин(и)-гоан(и), ичэм(и) амим(би) ичэйзији гэсэ,  
 тэи амим(би) лохомбани ичэхэни-го(ани),  
 тэи уилэ тэи наонзокаан нээкүхэмбэни.  
 чава жапаизији гэсэ, илигохани. аминчији туи паачилагои,  
 аминчији ундиин(и)-гоан(и), "сии мимбиэ хооњаа, окчичихаси,  
 хооњаа, хаихаси," ундии, "ичэруу," ундии,  
 "тэи наонзокаан гиохатон(и) биэси," ундиини.  
 "гиохатон(и) биэсини," ундии, "энду~р," ундиини.  
 "тэи мимбиэ хооњаа улээн маси осиговааңкини," ундиин(и)-го(ани),  
 "боңгодо бичиндуијэ-дээ улээнзи, мии эзилэгүгуи таамби," ундии,  
 "ньоанзиани. сии осисии осини) симбиэ ваажаамби"-м,  
 "эи, лохонзи чапчилаори-а"-м. амин(и) ундиини,  
 "абаа~," ундии, "мимбиэ эзи ваара, сии муруңси-гоани," ундиин(и)-го(ани),  
 "эзилэгүји-дээ аја-гоани"-м-да, "осисиясимби," ундии,  
 "араз симбиэ наи хорихан, сии эзилэгүэси мии хаи осисияаамби-а"-м-да.  
 эс(и)-тэнии, эс(и)-тэ(нии) эээн пиктэн(и) хорагоха~н ајанагохан,  
 эси-тэнии ањаа одии-го(ани), тэи наонзокаамба-танин,  
 тэи сарганчоо-танин бэжэзији тэи ньоамба(ни) этэхии эктэкээнзи зуэзиер(и)  
 хаидо, элбусивээндиичи-гоани-а~ сидокози сидогои зэргэзиэни.  
 тэи-тэнии жаңгиан осигогхан-гоан(и), тэтугүхэн  
 наи хамачаа гиохатон(и)-даа биэси хаи-даа биэси жаңгиан наи осихани.  
 туи тараа тэи гиохатокаан хажом(ба)-танин, эм боадо хукүрээ нээхэни,  
 асичији ундиин(и)-го(ани) тэи сарганчоочи, "эивэ эзи наңгалара,"

ундиин(и)-го(ани), "мии тэтуэји." "хаи тагоји этэхииси-э"-м-дэ.  
"гэлэури," ундиин(и)-гоан(и). "гэлэгуури," ундиин(и)-го(ани),  
"хаал(и) бичин-дээдэ." пригадяться ундиин(и)-го(ани), туи тараа тэи,  
асини эсэлихэн чава тэтуэвэ нээхэн. туи тараа туи биин(и)-гоан(и).  
Зангиан осигохон хаилоо-гоан(и), эзэн, эзэн хозоо, пиктэзиэни асилагохан,  
эзэ(н)-мээ биини-гоан(и) ньоани. эзэн ундиин(и)-го(ани),  
"мии сагдаңгокаја," ундии,  
"мии орондолаји ньоани мэнээ эзэн биээ-мэ"-м-дэ.  
эс(и)-тэнии уличэвэ~ пулсиини-го(ани),  
туи тами ичэгууни-го(ани) наонзокаан ааг(би) ичэгухэни. "энэнэ~,"  
тэи-тэнии лэр лэ~р пулсиин(и)-го(ани) эруу~н эруун осиханзиа(ни),  
эс(и)-тэнии баачиха~н ундиини, наонзокаан туи хаириини-гоан(и),  
"сии нэус(и) таамби," ундиин(и)-гоан(и).  
"абаа~," ундии, "мии нэүји хаи туи бирэ," ундии,  
"хаи одоолииси," ундии, "мии нэүји баала хуэдэкэжэ," ундиин(и)-го(ани),  
"хаи зангиан бирэ, эзэн бирэ," ундиини-гоан(и). "эзиэнэ," ундиин(и)-го(ани),  
"каока бируу"-м-дэ, наонзокаан. агдааси, "нэүји биэсиси," ундиин(и)-го(ани),  
"эзэн пик(тэ)... эзэн таачи-а"-м-да.  
эс(и)-тэнии наонзокаан-тани энүхэ~н зоокчији,  
асичији гэлэгуин(и)-го(ани), "тэи мии гиохато тэтуэји буугуруу"-м-дэ.  
чава тэтугүхэн, моокааңгози туңэпулэгүрээ эугүхэни.  
гээ ааң(ни) чад-ма(т) таакогөхани нэүји-тэнии.  
э~с(и)-тэнии наамансии тас соңгоин(и)-го(ани), "агаа~," ундиин(и),  
"мии-тэнии симбиэ... сии мимбиэ нээ вааор(и) тахас(и)-гоани," ундии,  
"мээп(и) ваавааңкичам(и) чиилараа-да. мии-тэнии туи энэхэмби,  
туи туи тахамби," хэм гусэрэин(и)-гоан(и). эс(и)-тэнии ааңни ундиини,  
"гээ мии-дээ энэури," ундии тэи-дэ. зоокчи гаазоха~н тэи ааңни,  
"асигөји-даа баахамби," ундиин(и)-го(ани), "эзэн пиктэвэни хорихамби"-м-да.  
эс(и)-тэнии, зоок(чи) зиүхэн мээн зоокчи, туи тараа ааңни-тани,  
асоо-даа хаирасин(и)-гоани, эзэнзи илаазиини-го(ани), наи зангиан,

зоокчиани ииури, эруунзији. туи тараа~ чадод сиаванкин,  
ааг(би) элэдэлэ-дэ, туи тараа-тани, аанни, "энэгуи таамби," унди,  
"ми-дээ пэргэгуи таамби-а"-м-да.  
эс(и)-тэни наонзокаан-тани зоокчи энухэн, тэи аагзима.  
туи тараа нэуји гусэрэхэни-мэ(т) муэчи пагзиалахан,  
элбисим(и) отолиасин(и) будии-гоан(и), утонул,  
туи тараа тотапи-о~ саагохани, тооидо аорилаји-а-да.  
туи тараа тоокохани-го(ани) таоси. тээ-дээ бичин тэи зоо, дүлэни.  
тэи зоо, дүлэни бивэн(и)-тэни, тоохан, иихэн.  
тэи кочи-даа аракива хаива, хэм омихани.  
туи тараа чадод тээсидуэни сиксэ зиуичи-го(ани), тэи гурсэл.  
ундиин(и)-го(ани) хаи, "хамачаа наини бим(и) буэ буэндупуэ тээсииси,"  
ундиини-го(ани) тэи, моһоонзи, хаизи-да, мапази-да. эс(и)-тэни,  
"элээ ваарии-ноо хаи-ноо суэ ми нэујиэ туи туи осиговаанкисо," унди,  
"мимбиэ-дээ туи таосо"-м. тэи гурун ундиини, "абаа," ундиини.  
"буэ, тэң эм наија бэлчијэпу," ундиин(и)-гоан(и).  
"гучи гучи наија бэлчизесипу"-м, "буэ. буэ гиампо туи би-јэ"-м-дэ.  
эс(и) туи (с)поорилаидоачи наонзокаан агбиңгохани хаијазиа зиүхэни-ус  
нэуни, тэи эзэни, эзэн тэтуэзи(эни) исигохани-гоан(и).  
туи тараа-тани, ундиин(и), "ми аагби эзи ваарасо," ундиин(и)-гоан(и).  
"аја"-м-да. "ми мэнэ ноанзиани гусэрэндүэмби," ундиин(и)-гоан(и).  
эс(и)-тэни эчиэ ваара чадод наонзокаан чадод-ма(т) ичэгуин(и)-го(ани) тэи,  
сисиа хуэдэхэн-дээ тэи зоо доолан(и) би~,  
тэи инда зилиани хуэдэхэн-дээ хаиси чадод би, бичини.  
эрдэнгэни-гоа(ни) тэи, хаал хаал ичээхэни, наонзокаан.  
туи тараа наамбичаха~н тадо тэи гурсэл аагбан(и) чиндагохан.  
кэтэлэ ваахачи-гоан(и).  
туи тараа аагби жапагораа таванк(и) энэин(и)-гоан(и), тэи,  
муэ хорихам(би) гурунчи. тао(си) энэхэн-тэни тэи эзэн, буикини.  
тэи пиктэни сарганчоо-рагда биин(и)-гоан(и).

тэй ундиини, "мии, бумбиэ хорихан гиохатокаам(ба) гэлэгуипу,  
халачиипо~, " ундии, "зи́уивэни.

амаа-даа буикин, амаа орондолани очогоо-гоани. тэй хотон жаңгиаңгоани."  
эс(и)-тэнии наонзокаан-танин, аагби, чадо, нээхэн, дэрэзигувээңкин тэй,  
э́ээн пиктэ́зи(эни) ааңни асилагохан.

э́ээн буикини орондолан(и) очогоха~н тэй наонзокаан-танин  
туи тараа мээңчи энэрээ энэин(и)-гоан(и).

туи тараа туи балзиичи-го(ани), элээ.

2000 IV 2. в Даерге, нцэсулта Борисовна Гејкер

### 6. эм пузін балзихани

эм зоо доолани-ла эм пузін балзихани,  
нэуни эм наонзокаан, туи биэл ундэ.  
туи бии~ туи балзии, туи бими~ эм модан-гола  
наонзокаан-гола соңгом(и) дэруухэни боадо купирээ иигурээ,  
"эгээ~ купиндэгуэри, эгээ~ сусуэкээчиндэгуэри," ундиин(и)-го(ани).  
э~с(и)-тэнии туи соңгоин(и)-го(ани), накан(до) пуэсэм(и) соңгоин(и)-го(ани),  
сусуэкээчиндэгуји эикэји зиалсим(и).  
эси-тэнии пузін-тэнии алисами-а-даа бааразигораа~ ниэхэни.  
токи(зи) сусуэкээчии-э~ тоои(до) боалпа.  
сусуэңгуи тоокои сусуэңгуи тоокои тоокои там(и)  
туи тами-а пузін-гулэ ичэгухэни, хэсэрэмзисуэ,  
уиси ичэгухэн-тэнии хаи, уилэ-лэ хосикта јаам бичини.  
"э~нэнэ долбогохан, хоони иигурэ зоокчи."  
эс(и)-тэнии, туи тараа-танин тоокоха~н.  
зоок(чи) уикэ даавани исигоп(и) ундиин(и)-го(ани) нэuji, зоан ачиам(ба),  
туи жапоаңкини нэuji. наонзокаан-танин эикэни, уикэвэ хаихан,  
нихэлигуини доокиазиази хур уикэн(и) доокиа(зи) татагохан, татахан(и).  
наонзокаан жааладо(ани)... эикэни ачиан(и) лопторам энэхэни дэрэзигухэн.  
э~с(и)-тэнии соңгоин(и)-го(ани) "эгээ~ эгээ," соңгоин(и)-танин,  
туи соңгоин(и)-даа бэктэн бипи-э-лэ,  
ңээм ихэрэ таавока ундэ зоогдоан(и) туи таији гэсэ ундииси,  
уикэвэ нихэлихэни ундэ, "ээ ичэзэми, ээ ээ соңгоаси, хаим(и) иигуэсиси,"  
даңсиа ундэ, ичэини-лэ ундии(си),  
хэрэ~ эм амбаариа пузін бичин тэи-тэнии, нуктэни осини садаа садаа бии,  
туи тараа-ла наонзокаан ңээлэрээ хэмэ иигухэни.

иигурээ, апсиндагохани бэунчији.

тэи пуэин-тэнии, голэ(он) кираадоани~ тээсиэ ундэ, туи тами ичэгүхэни,  
наонэокаан туи аоми~ соңгом(и) ичэгүхэн(и)-го(ани) тэи пуэин баароани.

эикэни-лэ жоа~н чумчуэмбэни силохани бичини

эилэ туи гидалараа тэи-тэнии, чумчуэн-тэнии тэи эм гаикокаан-танин,  
туи гадар гадар гадар гадар таа ундэ.

чава-танин, наонэокаан-танин чумчуэмбэ туи~ тахан тэи,  
амбаариа пуэин баароани, муујуу тахани.

тэи-тэнии ундииси гэгпчиэлу~ гэгпчиэлу хэйкучим(и) дэруухэн, "эрдэнгэ~,  
хаим(и) хэйкучивээндиини. хаим(и)-каа аамасиор(и)-ноо."

эс(и)-тэнии, голэом(би) жэринчиэни туи кэңкэлэрэ

соор соор соор соор оңасами хоңчиралохани.

эс(и)-тэ(нии) наонэокаан-та(нии) элкэ~ эүхэни, туи тараа-танин,

тээңкувэ жапараа эикэји чумчуэмбэни-мэ(т) жапагохани энэйији гэсэ

тэи-тул туи чумчуэңкээмбэ туи тараа-танин, хаихани.

тээңкувэ жапараа, ваја тахии бааро(ани) каантачими ааңкини,

тэи талом(а) уикэвэн(и) жапагохани чадо-танин ундииси-э,

э~н сэурэкээсэл босокаасал пасисалн(и) жапагохан ундииси-э,

э~н туи тараа-ла ундииси, хаихани. хамас(и) анагоидоји-ла,

э~н тэи-тэнии, каантачим(и) каантачим(и) тэи-тэ(нии) хаини,

уикэм(бэ) таоси анагои бэгжилэни,

тээңку лопторам паланчи коас таа энэхэни,

"хаив(а) таис(и), хаив(а) таис(и) хаив(а) таис(и)."

"чиэчиндэсурээ иигуидуји баңсалахамби," ундиин(и)-го(ани), "тээңкувэ."

эс(и)-тэнии ундииси тээгүхэни, тэи амбаариа пуэин,

наонэокаан соңгои-даа хөжихан. тэи эикэји хукухэн, хаи,

хаиван(и)-танин улээн хукурээ түңгэндуји нээкухэни, эи чумчуэкээмбэни.

туи тараа~ туи ичэээм(и) тэи туи тами, оңасахани.

чимии эрдэ~ сэнэхэни, наонэокаан-гола чимии эрдэ~ сэнэрээ ундииси

баараэигохани-а~ туи тараа ундииси, энупсиңкини, маңбо хаи,

нааји соли энэин(и)-гоан(и). тоо~ дэрээнчи энэхэни солиала дэрээнчиэни.  
 энэрээ ичэйчэини чад-ла ундииси эм, оңголо моо биэ ундэ тоо~ уилэ.  
 чала-ла мокчакхани. мокчараа тэй,  
 эикэји чумчуэкээмбэни хукучэвэн(и) тэй доочиан(и) гидалараа,  
 таванк(и) эугурээ~ соңгочим(и) соңгом(и) энэи-гоани туи-дэ.  
 энэхэни зооји исигоини, аосин(и) эичини-э~-дэ бичин наанигохани.  
 э~н ундииси тэй-тэнии ундииси иигухэни.  
 "эдэдэ хаоси пулсикхэси," соин(и)-го(ани) тэй наонзокаамба.  
 "хаидо бичиси," ундиини. "мэнэ пулсизээ-мэ," ундиин(и)-го(ани) наонзокаан.  
 "э~н бала," ундии, "энугуури," ундии,  
 "аосис(и) гэлэндэгухэн-тэнии," ундии, "энугуури," ундии,  
 эс(и) наонзокаан... аоси... тэй-тэнии, эикэни аории хазомбани,  
 улпии хукучэмбэни, тухилэ чэк нээхэни, хуэ кираадоани, гааэгоги.  
 эс(и)-тэнии ундииси наонзокаан, "эңэжэ~," ундии, "энээсимби,"  
 ундиини-гоан(и). аосин(и)-тэнии эжэлэ осигои тајал(а) осигои там(и)  
 наамбичаин(и)-го(ани), "энэгуури-э," ундии,  
 "хоон(и) бипугуи таиси-а, эмучкээн эму зоогдо."  
 тэй амбаариа пузин-тэ(нии), "хаи там(и) осисииси, хаилавани энүэрээ,  
 хаилава(ни) амбаароо зоогдо дэрээичэйси-нуу," ундии, "энэгуури," ундии,  
 "гэсэ-дэ." хаилоо наонзокаам(ба) даңсиин(и), даңсиин(и)-гоан(и).  
 эси-тэнии туи аосин(и) наамбичаини-а~ наонзокаан-даа чихалахан  
 даориини осихани-гоани, ньоанчиани энэини осихани.  
 тэй-лэ тээ-кээ эижа бичини, аосинаани биини.  
 э~н туи тараа~ багиа калтаазиал(а) тадо-ла,  
 чад-ла туи бии-гоан(и) наонзокаан-тэнии туи бии~ туи бии,  
 тэй-тэнии ундииси, тэтуэн(и)-дээ хэм лэ~р биин(и)-гоани.  
 аосин(и) тэтуэн(и)-дээ лэ~р энэхэн(и) бичин пэгийэ калтаани-ла.  
 тэй амбаариа пузин-тэнии бэјэду бии, осихани элэ-дээдэ.  
 э~н унди(иси) чээл чээл биини-гоан(и).  
 эң туи тами туи тами баахан пиктэгуји.

эс(и)-тэнии наонзокаан-тании ундииси туи, лэр биин(и)-гоани,  
 нуктэ-дээ нуктэ-нуу~ тэтуэ-дээ тэтуэ-нуу осихан туи тараа-тании,  
 тоо~ наи доолзиасичиани энэрээ пуэсэм(и) соңгоин(и)-гоани,  
 "эгээ~ эгээ, пуэсэм(и) соңгоа ундэ  
 туи валии валии јадам(и) туи наа пуэсэм(и) соңгоидоани ундииси  
 зичини-ла ундииси-э, эң ньоанчи(ани), наазиани-ла ундииси-э,  
 эм гасакаан-гола боңгаари-о~ уипэ дэгдэм(и) зидэ ундэ,  
 э~нэ жакпадоани доохани.  
 э~нэ моңгомби-ла ньоңол ньоңол тахани эикэни осигохани.  
 э~нэнэ эс(и)-тэ(нии) бази-даа агдаи-го(ани) эикэн(и)-дээ  
 соңгои нэун(и)-дээ соңгои-да.  
 "э~нэ ээпаңгоа~," ундии, "хаидо баахаси," ундии,  
 "туи муруңгүжи, тэи мии, гаикоан чумчуэмбэни жапаачис(и) осин(и)-тании,  
 мии-тэнии бортии бурбуримчэ," ундиин(и).  
 "э~нэ тэи гаикоан чумчуэмбэни,  
 гаикоамбиа жапагохаси жааро(ани) хорагохамби-а"-м-да.  
 эс(и)-тэнии~ нэүжи-тэнии жилини хэм сигзихэни ундииси-э~  
 туи тараа ундииси элэдэлэ сиаванкини хаива-гдал олбиңкини-ос пузун,  
 эң элэдэлэ нэүжи сиаванкини-а~ туи тараа-тании хаихани,  
 тэтуэни лэр биэ ундэ хэ~м моли моли осигоизиани пис(а)чигохани.  
 "э~нэ ээпаңгоа~ ундииси тул тул эзи соңгондасора," ундии,  
 "э~нэ тэи амбаариа пузун саарии осин(и) хаилараа," ундии,  
 "хаижаа-ма"-м-да. "боандагои," ундиин(и)-гоан(и).  
 эс(и)-тэнии "хаи пулсиээмби," ундии, "тул тул-да."  
 эс(и)-тэнии туи тараа ундииси наонзокаан-гола,  
 эугухэ~н ундииси туи биэ, эси-тэнии аосин(и) зижухэни-э~ бичини.  
 э~с(и)-тэнии наонзокаамба-та(нии) хас(а)сим(и) дэруухэни,  
 "уи жака улпихэни, уи жака сигзихэни жиливаси," ундии.  
 ундиин(и)-го(ани) наонзокаан ундиини,  
 "зэсисэ жаңгисал пурин(и) гузисимээр(и) улпихэчи," ундиини,



"тэтуэји хэм пис(а)чихачи-а"-м. "хаи, жилији осини, гуучэн хуктэзиэни, сигзипунзиэ(ни) сигзихэчи," ундиин(и)-гоан(и), "гузиэсимээри."

туи ундиин(и) наонзокаан. "абаа~, " ундиини,  
 туи хас(а)сим(и) туи там(и) боачи чочахамбани-ла, аосини,  
 туи боачи чочахамбани-ла туи хамиала(ни) хасипоалахани.  
 туи там-а-ла ундиин(и)-гоан(и), хаи-танин,  
 жапагоин(и)-гоан(и) хаи жапахани-гоан(и) наонзокаам(ба)  
 туи тараа мэдэсиин(и) "гусэрэруу," ундии,  
 "эйкэс(и) хорагохани бизси-нуу," ундии, "суэ буикинзи хорагоиси-ноо,"  
 соңгоин(и)-гоан(и), наонзокаан. "буикин нии хоон(и) хорагои-ја," ундиини,  
 "наи сияхан жака." "э~н эзи аргалара," ундии,  
 хаоли(а)... "гусэрэруу," ундии, эс(и)-тэнии туи хаири-ја ундиин(и)-го(ани),  
 тэи-тэнии, хаихани, гусэрэи-го(ани) наонзокаан тэң ачаичаини-ма(т) таини,  
 "эгээ хорагохани-а~, " ундии, "эгээ улпихэни, эгээ сигзихэни," ундии.  
 "эзи пулсирэ, уңки~н," ундии, "эси тэи пузин жизурээ,  
 ваарии осин(и) хаал(и)-даа хорагоасимби-а"-м.  
 "мии-тэнии ньоан(и) чумчуэкээмбэни, гадал гадал таивани ичэрээ,  
 жаихамби," ундиини-гоан(и), "чала хорагохамби, уңки(н)"-м-дэ.  
 э~н эс(и)-тэнии туи, туи умбувээндээ хозихан.  
 э~н ундииси "эс(и)-тэ(нии) чимана энүүри," ундиини, аосин(и),  
 "чимана энүүри," ундиин(и)-гоан(и).  
 тэи амбаариа пузин-тэнии пиктэкуни, арчокаам(ба) баахани.  
 э~н эс(и)-тэнии ундииси-э, мэргэн-тэнии ундиини-го(ани) хаи,  
 "чимии энүи-гоан(и)." наонзокаам(ба)-даа "туи туи гэсэ энүүруу," ундии,  
 наонзокаан-даа энүхэн. тэи соңгохам(би) боачи.  
 э~н туи тараа наонзокаан-го(ла) соңгои-гоани тадо соңгоидоани  
 гучи эикэни-лэ даогохани. э~н даогоха~н пузиндуји осиигохан гаса.  
 "ээпангоа~ ундииси, хаи там(и) пулсииси," ундии,  
 "эси-тэнии ини ини пулсилухэси-э"-м-дэ.  
 "наи саарии осин(и) мимбиэ бортии ваазараа," ундиин(и)-гоан(и).

э~н ундииси-э,  
"эзи зидэ эзи зидэ ундэсим(би)-кээ наија сааваандачи-а"-м-да.  
э~н наонзокаан-та(нии) хэмэ~ биини-го(ани)  
сиагоани олбиңкимбани асоо-даа сиарадааси-а наонзокаан.  
эң туи тараа ундииси эс(и)-тэнии ундииси "э~ эгээ~ жилиас(и) гэлэгүжэ,"  
ундии, "эгээ жилиас(и) гэлэгүжэ."  
э~н ундииси тэи-лэ, "мии жилидуји чиктэ-дээ анаа хукту-дээ анаа," ундии,  
"хаи-даа абаа," ундии, эс(и)-тэнии наонзокаан-танин  
туи эикэји осисииван(и)-танин жилидоан(и) запараа зигдахани.  
зилэ суилэи, чала суилэи тами-ла, тэи эикэји таңго даа нуктэзиэни...  
нуктэвэни-лэ бэјэ кээндэли хэркэхэни.  
туи тараа-ла дэң дэң катарыхани эикэји жиливани  
туи зуэ(р) наалази запараа, "гээ аоси," уңкини,  
хэрэ~ аосини-ла агбиңгои-го(ани) сиричиханзији.  
э~н туи тараа-та(нии) эс(и)-тэнии пузим(бэ) наамбичагои-го(ани),  
"анда~ пузин ундииси, минзи-лэ хаириизија аксииси-а," ундии,  
"мии хаива-даа саарасимби," ундиин(и)-гоан(и).  
э~н пузин ундиини, "хаи там(и) мимбиэ хаириисо," ундиин(и)-го(ани),  
"эс(и) асис(и) зидии (о)си(ни) мимбиэ бортии ваазаа-ма"-м,  
"саараси," ундиини. "хаи сааваанда," ундиини, "һоамбани."  
эс(и)-тэнии эзији жиливан(и)-даа сигзигухэн. тэтуэ-дээ эчиэ-дээ улпирэ.  
э~н лэр биэ ун(дэ). туи тараа ундииси э~н энуи-гоан(и).  
эс(и)-тэ(нии) таванк(и) энэмээри-лэ ундииси-э~ хаигоани,  
наонзокаан энэи-э купим(и) хаи боала хоолигом(и).  
эң тэи-лэ мэргэн-гулэ энэур(и) нолзинзиа(ни)-ла ундииси  
э~н моова гэрбэхэни ундииси э~н гаазохани,  
пиктэји отоңговани аңгоини осихани.  
э~н пиктэји отоңгони аңгоини осихан тэи зи́зүхэни ундииси тэи-лэ ундииси  
наонзокаан-даа зи́зүхэни аосин(и) зи́зүхэни~ бичини.  
э~н аосини-ла пиктэји отоңгоани, сурэји-лэ тэң пиа пиа,

пиарии-даа пиивэи-дээ там(и), хосактази, дааповааңчиин(и)-ма(т) туй,  
сиручигурээ туй тараа ниегүхэни боачи.

эс(и)-тэнии тулиэдулэ тоа~х тоах чапчия ундэ.

"анда~ мэргэн хаива чапчииси," ундии,

"нэку отоңгоани аңгои-танин," ундиини.

э~ң эилэ чала чапчия ундэ, "анда пузин зйзуруу," ундии,

"моча моњаа(н)," ундиин(и)-го(ани),

"эм, гаксидаан наалази запачам(и) чапчиор(и) сии, хаироо,"

ундиин(и)-го(ани), "запандагороо"-м-да. "абаа~, " ундии,

"наонзокаам(ба) хээсигуруу," ундии, "наонзокаан мэнэ запачижаа-ма,"

ундиини. "э~ң моњаа(н)," ундии,

"наива наи мурундулэн(и) жапааси-а"-м-да.

"элчиусэл-дээ биэс(и)-кээ," ундии,

"тэи пулсии пурин(ни)-дээ тутуэс(и)-кээ," ундии,

"чава-даа хээсируу," ундиини.

э~ң тэи-тэнии уивэ-дээ хээсии-дээ хэм аосини алиаси-а,

"наи мурундулэни наамбоаси-а," ундиини.

"зйзуруу"-м, "сии жапачаис(и)-ма(т) нам биини-гоани-а"-м-да.

э~ң эс(и)-тэнии мэргэн-тэ(нии), "хиэ хиэ хиэ хиэ,"

тэи пузин бааро(ани)... пузин-гулэ энүэ ундэ амбаариа пузин,

"хаи мии жапаи-маа~ тэрэк мурундулэс(и) осии-ноо," ундии,

"хиэ хиэ хиэ хиэ," инэктээ ундэ, эң ундиин(и)-го(ани),

"гээ сии жапаиси-ма(т) тэрэк осин(и)-го(ани), гээ нам нам жапоо,

улээңгүзиэни." э~ң туй мэргэн халзии-ја туй халзиидоани,

"анда~ мэргэн хаи, бочи-а~ анда мэргэн бочи-а," ундии,

"э~ң хаи бочи осира," ундиини, "нам жапароо," ундии,

"туй жапароо," ундиин(и)-го(ани) мэргэн.

э~ң эси-тэнии тэи мэргэн-гулэ ундииси, туй,

хэсэлэн(и) тэи асини-ла киак жапараа туй жапачаин(и)-го(ани) моова.

туй таидоани-ла эилэ чала чапчилаижи гэсэ

бочи бочи ундиин(и) доолан(и)-тол  
 моңгомба пэнгэрэм молзорам чапчилахани.  
 э~н туи тараа эси-тэнии чава-ла ундииси тоо~ дуиси тообохани ундииси  
 моова корихани ундииси, пиктэни аңаака дэрэзии-гоани,  
 амбаан... хаи, тэнии бэгзигуји баахан.  
 эс(и)-тэнии ундииси чава-ла ундииси хаигоха~н,  
 корихани хаи-даа даалиасизиани хаи-даа иирэсизизэни моози, аси,  
 амбаам(а) асији. э~н туи тараа ундииси э~н чадэ тэи доолани нээхэни.  
 туи тараа эикэни һаанигои-гоани, пузимбэ.  
 эң пузин зизухэн эси-тэнии туи бии-гоани.  
 э~н зизуми пузин-гулэ бай чэгдээлуу бэжэду осихани, хаи гоидам(и),  
 ниһмаариа пиктэн(и) балзигилаи.  
 э~н ундииси эс(и)-тэн(ии) пиктэн(и)-тэ(нии) палан паактоачи купии  
 хаилоо заңгиан осихан.  
 эс(и)-тэнии тэи амбаариа пиктэни арчокаан ньоамбани  
 этэхии-э~ уутуэчии купии таа ундэ,  
 зээ улээсии-нуу, тэи нэунгуји баахам(би)-тании-да.  
 э~н ундииси туи тараа-ла, дуиси тоохан, хаириин(и)-гоан(и),  
 эм модан-гола тэи-лэ амбаари(а) арчокаан-гола наонзокаам(ба)  
 купим(и) уутуэчимээр(и) олбиачими-ла дуиси тоопсиңкини.  
 туи тооми тооми эним(би) кориани баахани.  
 э~н наонзокаамба-ла горола иливааңкини, "каока эиду илисироо," ундии.  
 "минчи эзи зидэ," ундии, тэи-лэ арчокаан-гола ундииси  
 э~н тэи эним(би) кориачи(ани) энэрээ соңгоа ундэ,  
 "эньээ~ хораго, эньээ хораго, наи-даа хорагохани биэс(и)-кээ,  
 эньээ~ хораго," соңгоа ундэ.  
 эң туи соңгоидоани-ла тэи-лэ энини-лэ лэргуэ~ заралихани.  
 э~н ундииси, "эни ичэгуруу~ ундииси, эң найја сааваандачи-а," ундии,  
 "мии нуучи пүјји хэм хоогохан, дааи дааи пүјји-рэгдэ осигохан," ундии,  
 "наи саарии оси(ни) мимбиэ эс(и) ваагоочиян(и)-тании,

эң бортии бүзээмби-мээ~,” ундии, ”эзи найја сааваанда,” ундиини,  
энин(и) мораин(и)-го(ани) тајаазиа,  
наонзокаан-та(нии) хэмэ~ досожаини-го(ани) тэи най хэсэ аңгоивачи.  
”эзи соңгондасора,” ундиин(и)-го(ани),  
”найја сааваандачи-а мимбиэ эси най ваагоочиян(и) бортии бүзээмби”-м  
ундии, ”элээ, элээ хоогои-а,” ундиин(и)-гоан(и).  
э~ң ундииси туи тараа наонзокаамба тухилэгүрээ~ зугуи-гоан(и),  
пиналагораа тэи, арчокаан. эс(и)-тэн(ии) жоок(чи) жизухэ~н,  
тэи гилонзиа накан(до) туи купии, алчоакаачии-даа,  
соиракаачии-даа там(и) купие ундэ,  
тэи алчоамби-ла ундиис(и) хао(си)-даа хэм эрдэн(жи) купие ундэ  
тэи арчокаан-гола наонзокаан.  
эң тэи наонзокаан-та(нии), ”эньээ эньээ,” даогоа ундэ.  
”жизуу жизуу жизуу, купигүэр(и) жизуу жизуу,”  
хээсии-гоан(и)-да наонзокаан ньоанчиани энэи.  
ньоанчиани энэрээ, купиини-гоан(и). амин(и)-даа жизухэн, аминчији,  
”амаа амаа,” даории-гоани, палан токомбани исиги(и), ”жизуу, жизуу,”  
хээсигуэ ундэ, ”купигүэр(и) жизуруу,” ундиини.  
хадод-даа модан туи таивани пузин-гулэ жаралихани,  
”хаим(и) осисииси,” ундии, ”даогоивани.”  
”ини тиап биини куумусие-тэнии жэмусие-тэнии,” ундии,  
”жэмулукэ-тэнии-э”-м-дэ.  
э~ң туи тап(и)-маа~ наонзокаан-гола, наонзокаам(ба) даогои... даогохани.  
даогохан-даа-тэнии эси-тэнии, эним(би) куумбэни куучихэ~н,  
туи тараа амимби энимби алдандо тээгүхэни ундииси ундиин(и)-го(ани),  
”амаа~ эньээ ундииси-э,  
эгэкээн-тэнии мимбиэ-тэнии тоо~ дуиси тообохани,” ундии,  
”най кори аңгохандоан(и)-тэнии,  
мимбиэ хангиалаа илгамораа-та(нии) соңгоха~н,” ундии,  
”эньээ~ хораго, эньээ~ хораго,

эң чадотани ундииси энин(и)-тэнии уңкин," унди,  
"элээ хорагоамби-м-да. нуучи пүжэи хэм хоохан,  
эң дааи пүжэи-рэгдэ осигохон, мии хорагоочија-тани, эм нии хэзизэ,  
эм нии солиази найја хэм лүңбулсигуури-э-м-дэ.  
энин(и) туи уңкин," ундиин(и)-гоан(и).  
э~н эс(и)-тэнии амин(и)-тани чансоп илигоизији гэсэ унди(си)  
элчиусэл(бэ) босиариизији гэсэ тэи, дуиси тоохани.  
э~н тоохани-ла ундииси  
э~н кориани-ла хэм ачогои-го(ани) элчиусэл тиас тоохан.  
туи тараа-ла ундииси, тоохандоан(и)-та(нии),  
ачоктагохачи тээ-дээ бичин тэи-лэ ундииси,  
дааи пүжэни-мања ооно очогохон.  
элээ хэм хоогохон толи поли, коли пали-да.  
э~н насал потаң потаң тава ичэээ ундэ.  
эси-тэнии ундииси мэргэн-гулэ ундииси жапагоизиан(и) гэсэ ундииси  
тэи кориамба-ла тиа(с), ивандиизиар(и) гэсэ, чаа-ла ундииси хаихачи.  
тэи тэң томахиндола(ни) наңгалахачи.  
чаа-та(нии) пуниктэ~ сиалта осиизиан(и) эгзихэчи.  
э~н туи тараа~ туи бии-гоан(и), пиктэни ују~н бии.  
амбаан дааикаан осихан тэи наонзокаан(зи) купим(и) пулсии.  
эң туи тами ундииси пиктэн(и)-дээ дааи паталан осиха~н,  
хаива-даа хэм мутэи, моо, моолсим(и)-дээ мутэи,  
муэвэ муэлсим(и)-дээ мутэи осихани.  
туи тамаари ундииси тэи арчокаамба-ла чоп чоп хуэдэлүхэчи.  
э~н хао(си) пулсиини-о~с хао(си) энэини-ус туи тамаари ундииси,  
ихоңкасал-тани чүңну, сурээвэр(и) хуэдэмээр(и) дэруухэн.  
иргэн(ду) бии гурун, эси-тэ(нии) хэ~м наи хуэдэхэн сурээвэ,  
наи уиду сурэ анаа осигохон. эс(и)-тэнии амин(и) такораин(и) сурээкээни,  
зоог(до) бичини, амин(и) сурээни-рэгдэл осигохон,  
зоог(до) такораор(и) сурээ-дээ хуэдэхэн, амин(и) боава пулсиин(и) сурээкээн,

чуң(ну) хуэдэхэн эм чимии.  
 э~ң туи тараа наонзокаан-гола эрдэнгэсичии-го(ани)  
 эи арчокаан хао(си) пулсиини,  
 элкэ~ эрдэнгэсим(и) поктовани асамасиа ундэ туи тараа,  
 энэпсиңкини маңбо дэрээнчиэни.  
 тэи-тэнии энэми-э~ энэми доолзиин(и)-гоан(и),  
 эң чаа~с чаас чапчия ундэ тэи арчокаан чапчиини-ла, э~ң лаң осихани,  
 хэрэ~ энимби-тэ(нии) сисази аңгохани бичини.  
 тэи-тэ(нии) туи чапчиидоани-ла элээ хозихани,  
 эм, эмзиэ җаала-ноо хаи-ноо, эчиэ хозиани.  
 "эни ичэгуусу~, тургэнзи," ундии,  
 "тургэн хатан тароо"-м, "наи(ја) саваандачи-а"-м,  
 "э~ң эси мии хозиизији гэсэ, хозииси, хаиори," ундии,  
 "хэзиэзи солиази хэм наи луңбулсигуури," ундиини.  
 "э~ң пэдэ," ундиини, "пэдэ," пикпуэ ундэ.  
 эң досизараа энухэни наонзокаан зоокчи. аосин(и) зизүхэни-э бичини.  
 "аоси-а~, пиктэс(и)-тэнии эниңгуји сисази аңгохан," уңкини.  
 "элээ хози-ја"-м-да. "энин(и)-тэнии лэ~р заралихани," ундии,  
 "туи туи уңкини"-м гусэрэин(и)-го(ани) тэи.  
 эс(и)-тэнии ихон наива хаирии, тэи чапчиидоан(и)-тании сурээ-дээ  
 чо~кчоиган биин(и)-гоан(и) наонзокаан ичэхэни.  
 эң чава гусэрэгуин(и)-гоан(и), аосичији.  
 эс(и)-тэнии тэи-тэнии, гэрэн ихон наија хэм хаи босиам(и)-тании  
 мэргэн-тэнии туи, туи наадамаар(и) энэичи-гоани хаива,  
 гормахом(ба) саадаи-маа туи-дэ, гэрэ(н) нии туи-дэ.  
 э~ң туи энэмээри доолзиичи-го(ани), чаа~с чаас чапчия ундэ,  
 эң тэи-тэнии ундииси э~ң туи чапчии доолан(и)-та(нии) энини ундиин(и),  
 "пэдэ, эни паңгоа пэдэ, наи элээ исиндаи-а, элээ бумбиэ ваазараа,"  
 хаириин(и)-гоан(и), хэсэ... мораини, пиктэчији.  
 э~ң туи тамаари исиндахан ундииси э~ң арчокаам(ба) жапамаари бокихан.

элчиусэл-тэнии эс(и)-тэнии, "эи мии сүрээји," "эи мии сүрээји," тэи-тэнии,  
сэ~н сэн сэндээ~ кэрмэ кэрмэ~ биэ ундэ, э~н тэи аосини,  
такораи сүрээкээмбэни жапагохани-рагдал,  
тэи-рэгдэл осогохани бичин чапчин(и) чази.  
э~си-тэнии элчиусэл-тэнии хамачаази кэркичиичи-ус хаижи кэркичиичи-ус,  
тэи сисава-тэнии тэи-тэнии сиса-тэнии наи кэркилэи сээр,  
сээксэ jrrrrrrr jur хэжээ ундэ тэи-тэнии туи лур хэжини-гоан(и),  
тэи сисава наи дуктэини, уже наилчиңкини-гоан(и).  
э~н туи дуктэхэмбэр(и) дуэлэни ундииси  
тава иванки(чи) ундииси тэи-тэ(нии) тава ивангоизиар(и) гэсэ ундииси,  
тэи токондолани, тэи сисава-та(нии) хэм тава, тава осиизи(ани) иванкичи,  
кээндэл(и)-дэ, боачаа(н)-маа-да наи.  
тэи-тэнии амин(и)-тэнии ундиин(и)-го(ани), "ам ичэгуруу~, " унди,  
"мии-лэ симбиэ-лэ, туи тажараа-м эчиэ мурчиэжэ"-м,  
"э~н балзио(ри), пиктэјиэ-м каирам(и) этэхихэм(би)-гоани," ундиини,  
"симбиэ туи эрдэлэээрээ-м эчиэ мурчиэжэ"-м.  
"э~н эси мэнэ оркинчији мэнэ соңгозаачи-ма," ундиин(и)-гоан(и).  
элчиусэл-тэ(нии) жапаизиар(и) гэсэ ундииси, тэн токон, тавала наңгалахачи.  
э~н тэи-тэнии хаи-даа боачиан(и) гилаком жэгдii-го(ани),  
тэи арчокаан таван(и)-тэнии-да.  
э~н тэи-тэнии чадо-тэнии  
хэ~м наи сиса ундиизи(эни) ивачиор(и)-даа жээ бии жака-ноо.  
э~н туи ивачихачи.  
тэи-тэнии наи оочерламаар(и) долбо ини ивачигохачи чава.  
эң тэи сүрээвэ-лэ жапагохан гурун-тэнии тэи тавачиан(и)-тол  
таңтамаар(и) сүрээвэр(и) тагои гурун тагои тахачи.  
э~н туи тараа-ла ундииси, таванки-ла жиэуи-гоани, эси,  
мэргэн эси наар осогоха~н туи балзии-гоани. эси уйзи нээлээр(и).  
тэи пиктэн(и)-дээ хэм ваагохан. эс(и) туи бии-гоани чадо,  
гороа бичэ~, жижаа бичэ~, элээ. хурмикуукээни-гоан(и).



7. эм мэргэн эмүчкээн балзихани

э~н ундииси эм зоо доолани эм мэргэн эмүчкээ~н балзихани.  
тэи-лэ мэргэн-гулэ туи балзиа ундэ,  
туи балзии~ туи бии долбо-гда(л) эугурээ  
долбо-гда(л) тоокораа бэјум(бэ) бэричи тоова тоикандии таа ундэ.  
э~н гасава гаралии-да. туи балзими~ туи бими-лэ  
эм модан-гола ундииси э~н мурчихэни, "энэури-э наи алдамбани."  
э~н туи тараа-ла эң чиманиа-ла ундииси њаар индэхэни ундииси  
туи тараа эң бааразигохани~ таванки-ла энэпсиңкини.  
э~н маңбо хэји энэин(и)-го(ани),  
туи энэми~ горо энэкэ ѓи́за энэкэ ундииси, э~н эм иргэм(бэ) баахани.  
тэи иргэм(бэ) баахандоани-ла ундииси  
э~н э́ээн хаандола тоораа уикэлэ Запараа иихэни.  
иихэни-лэ ундииси э~н илаа~н пу́зин биэ ундэ, накандоачи.  
э~н илаан пу́зин малодо эму~н пуксунду гилондо-да.  
эң тэи гилон кэркичэдуэн(и) пу́зин-гулэ~ ундииси, баачиха~н ундии(си)  
э~н сиягоан(и) туичии тахан ундииси-э,  
э~н туи тараа ундииси чадэ аоңгахан.  
э~н туи тараа ундииси тадо њаар аоңгии-гоани.  
туи тараа~ ундииси туи, ѓиа чиманиа-даа њаар индээ ундэ.  
э~н туи тамы ундииси индэгүхэндуэни чимии-лэ эрдэ~ сэнэхэни.  
э~н гилондо бии мэргэнѓи асимолиа-ла гусэрээндуэ ундэ, асини ундии,  
"анда~ мэргэн, тэи мэргэн хаим(и) энүэсини," ундии,  
"э~н зоогдоји хаива-даа сиягоји баарам(и), доојоңкин биэси-нуу," ундиини.  
э~н мэргэн-гулэ доони-ла гичиак энэхэни.  
э~н чимии-ла сиамаари энүхээл тэи мэргэүсэл-гулэ ундииси

э~н эс(и)-тэний бунзиэ мэргэн-тэний тээ~ сиун осидала аохани.  
 тээхэни ундииси бааразигохани эс(и)-тэний ундииси, э~н мама,  
 пузінчи-лэ ундииси сиаванкини туи тараа боачи ниэхэни,  
 соктакоји-даа жаароани ундииси, тэтугурээ дуиси тоохани.  
 эн пузінчи тэи, кэркичэду бии пузінчи, таңго даа хээвэ гэлэи тоогои.  
 э~н буухэн тэи пузін, туи тараа энэин(и)-го(ани) дуиси тоора үндэ  
 туи энэми~ энэхэн ундииси тэи-тэний ундииси-э,  
 бэжүмбэ-лэ ваапсиңкини ундииси  
 э~н хаи-даа хэм үсэлтэвэни-лэ эгзівэ ваахан  
 туи тараа тэи-тэний ундииси-э, хаи, хаихани, эгзівэ ваараа-тэний ундииси  
 э~н тэи хээзи-лэ ирчигом(и) таңго даа хээзи... ирчигоа үндэ.  
 э~н ундииси тэи-тэний ундииси таванки-ла ундииси хаирии-гоан(и),  
 эгзівэ эувугухэ~н ундииси ниэсэң(ги) соңтоола исигохани.  
 эн иигуижи гэсэ ундииси э~н пузін-гулэ чава хаириин(и)-го(ани) тэи,  
 кэркичэду пузін-гулэ чаалахи таи-гоани,  
 иигүхэндүэ(ни) сиягоан(и) буу(хэни), "сиароо-даа сиароо," унди,  
 сияхан ундииси, эс(и)-тэний мэргэн-гулэ ундииси  
 сиама(и) хозиижи гэсэ гогдази~ коңгорохани, тэи пузінду буухэни,  
 тэи кэркичэду бии пузін даилани гидалахан коңгорораа,  
 "анда пузін ундииси, эм хапор тадорахаари," унди,  
 "эзи-дээ, элкэ омира," унди.  
 э~н күчээмби пиичими ниэхэн боачи ниэгүхэни ундииси эс(и)-тэний тэи,  
 эувугүхэм(би) жакава-тэний хэ~м тэлгэчиин(и)-го(ани) тэи-тэний ундииси-э,  
 нантаван(и)-тэний, ихом(би) сүңгүрээ порондоа(ни) лоохани.  
 холгихани ундииси э~н тэи, жоогдо-тэний ундииси  
 эм мапа~ эм пүрээ(н) амбаани хаивани, лоогохани, тулиэдүэни.  
 э~н туи тараа иигүхэни ундииси,  
 уликсэвэ-дээ хэм наи таончи(ани) ирасои-ја.  
 тэи эгзилээн(и) жакава, хаи уи пиктэн(и) сиариини нээ-дээ.  
 э~н ихом(би) сүңгүрээ уликсэвэ ирасоха~н ундииси эс(и)-тэний ундииси

зоокчи-даа иивугухэн. "гээ пужууруусу," ундии, "эгзикээм(бэ)," тэи пузин...  
хаи мэргэн тэи пузинчи. э~н ундииси иигухэн-тэнии,  
тэнии коңгорои долимбани сиигухэни бичини, омими.  
"хаи туи тур(гэн)... туи элкэ омихаси," ундиин(и)-гоан(и) мэргэн.  
"элээ эм(и)-дээ тэиндэми лур тадораја," ундиин(и) тэи пузин.  
"сии хатанс(и)-танин," ундии, "эжэ, сии-мээ хатан наи хаидо баазаачи,"  
ундии, "хаидо-даа бааваси," ундиини.  
э~н ундииси туи тараа-ла ундииси туи, хаихан,  
туи тапаари-о~ сиксэ~лэ зугухэчи ундии  
э~ уи-дээдэ эм хэсэвэ-дээ Заралиадааси,  
хэмээ хэмээ бии-го(ани), тэи хэсэ аңгохан гурун-дээ абаа.  
э~н туи тараа ундииси э~н зиа чиманиа,  
чадо аоңгахан хэмунгузи(эни) уи-дээ гусэрээндүдээси хаирадааси.  
туи тараа чимии тээхэ~н ундииси тээриизији гэсэ тэи, пузимбэ,  
эзивэни-лэ ундииси, Запами хаизи,  
гүлдэхинзи-лэ хакил(а) тап тап лоораа пэулээн(ду) лоохани.  
э~н тэи мапаачаан-танин ундиин(и)-гоан(и),  
тэи малодо бии мэргэмбэ тэи гилондо бии мэргэмбэ асивани хэм  
гидаини-гоан(и), наи мээнчији Заралиачин(и) гурсэл(бэ).  
э~н туи-тэ(нии) тэи мапаачаан-танин ундии,  
"ам ичэгуруу, мимбиэ-лэ хоон(и)-даа эзи тара," ундии,  
"мии-лэ, хаи-даа ум(и)-даа абаја," ундии, "гээ сии-тэнии каока этуруу,"  
ундиини, "тэи гурумбэ эзи ачогоасо," ундиини.  
э~н туи тараа-ла таванки-ла, энэи-гоани.  
таванки тэи туи эрдэлэпи-мэ(т) энэпсиңкин,  
туи энэми~ энэми хаис(и) эм иргэм(бэ) баахани эм дааи иргэн, оними.  
э~н чала-ла эзэ(н) хаандола тоораа ундииси-э, иихэни.  
хаиси тадо-даа илаа~н пузин биэ ундэ. э~н иирээ малочи тээхэни.  
уи-дээдэ баачиадааси, уи-дээдэ ичээдээси ньоанчиа(ни)  
хэмэ хэмэ туи бии гурсэл-мања ундии, эбээ-мээ бии.

э~н туи сиксэ~лэ ундииси эм мэргэн эугухэни. эугуми-лэ ундииси,  
уикэвэ иигуижи гэсэ, каничи чормоа~к  
таваңк(и) бэсэрэчи чормоа~к пуикуми-лэ бэунчијэ~ энухэни.  
э~н жаралиадааси хаирадааси. э~н туи тапи-ла ундииси гучи,  
гучи эм мэргэн эугухэни ундии тэи-дээ,  
чормоа~к чормоак пуикунэсим(и) туи бэунчијэ~ тээндэгухэни.  
э~н ундииси-э, тэи кэркичэду бии пузин эжин(и)-тэнии сиксэ~ эугухэни,  
наи хамио~лани. тэи-кээ, эчиэ пуикурэ,  
бэунчи иигурээ бэундуји-мэт осигогои-гоан(и), сагзи мапа...  
сагзилаа бии наи.  
э~н чадо-гоан(и), эси-тэнии наи сиягоар(и) баргии-а~ сиариичи-гоан(и),  
наи, мэргэн малод(о) тээсиин(и)-гоан(и).  
уи-дээдэ жаралиадааси, уи-дээдэ хаива-даада сиягоан(и)-даа буурэдээси,  
мээн сиариичи-гоан(и). мэргэн хэмдэн(и)-тэнии кукуур кукуур таи,  
"эзиэнэ элээ~ элээ наи буури. элээ~ элээ буури," туи ундии,  
мээн доолаји туи ундиин(и)-гоан(и) хэмдэчији кукуррр кукур зэмуси,  
сиягоји гэлэивэни. эң тэи-тэнии уи-дээдэ эчиэ-дээ буурэ  
туи катаамба-ла эсэлигурээ хэм апсиңгохачи.  
э~н мэргэн туи хомичим(и) аории-гоа(ни) чадо.  
чимии-дээ тээпээр(и) коатаа сияхан, тэи мэргэн кол кол аориини-гоан(и).  
э~н тэи-лэ ундииси-э, хаи-даа гилондо бии мэргэн-гулэ ундиин(и)-гоан(и),  
"э~н буэ жоокчипоа зичин наи~ ундииси,  
бунзи мэлзээсилаји энүэси-э," ундиини, "э~н бунзи мэлзэм(и) галиаси осини,  
буэ пондажоопо сурукугуэни ожаачи," ундиини.  
э~н ундииси эс(и)-тэнии туи энэхээл, "бумбиэ эзи халачиваанда," ундиини.  
тооха~н тэи мапаачаан-даа хэмэ хэмээ ниэхэн, тоохан.  
эң туи тараа, мэргэн-гулэ туи аории-а~ тээ сиун уиси тооваандаа,  
бааразигораа энэи-гоан(и), наи жаралиаси уи-дээдэ.  
э~н туи тараа ундии(си) тоориини моолсии мочадоари  
ивачимаари-а~ биэл ундэ.

"эдэдэ~, "ундии, "хамачаа там(и) туи ааворини," ундии,  
 "бумбиэ халачиваандииси," ундии, тадо ноңзи... "ноңзилодала-даа."  
 эси-тэнии тэи хаилараа мораи... морактосиин(и)-го(ани) тэи мэргэүсэл.  
 э~н таванки-ла ундии(си) энэхэн "эси мэлзэури,"  
 ундии энэми энэми илаан бэгзику гиу поктован(и) баахачи.  
 "гээ эивэ хасипоалаори," ундии,  
 эс(и)-тэнии тэи гурун энэи-э~ баи поңтаригда наи,  
 соктазимаар(и) энэи-гоани, хатан гурсэл.  
 эң мэргэн-гулэ ньаңга энэйзији гэсэ ундии(си),  
 жаландолан(и)-тании ньаи~с ньаис таа ундэ.  
 эс(и)-тэнии ундии(си) отаји ачоизији гэсэ эи~ туи сибарихани.  
 илэ туи пунктэхэни кучээнзи. кучээнзи пунктэхэн-тэнии чадотании  
 эм чикан саорини агбиңгохан(и) наи эктэни такорохани.  
 э~н чава-тании хаизи, ачораа, бэгзији пүжэвэни-тэнии ундииси э~ хаизи,  
 иноксази зилоксази мододахан колпалио~ хоогохан(и),  
 туи тараа тэтугүхэни.  
 э~н эмзиэ-дээ туи калталираа туи хаихан чадод-даа чикан, хаини саори.  
 тэи эктэнии такорохани, сээксэ. чаа-даа туи силкочигораа гээ тэтугүхэни,  
 эс(и)-тэнии таванки-ла, "э~н мии-дээ ундииси-э,  
 эм поргиндо дэрзэигуи-кээ эчиэ балзааја," ундиини мэргэн.  
 "мии малозиала биэч(и)-кээ," ундии, "мимбиэ ужихэн хаи, сэвээмби."  
 эс(и)-тэнии таванки-ла туи хэсэ аңгоизији гэсэ  
 таванки-тании мэргэн-тэнии энэпсиңкин-тэнии пичихилагоин(и).  
 ха~тан энэин(и)-гоани эмуту хаи-даа хаива-да.  
 эң туи ньаңга энэми тэи мапава баахан таванки энэми~ энэми  
 тэи зүэ мэргэн баахан, хэм эпу эпу аносиини-го(ани) тэи гурсэлбэ.  
 тэи, симатачи тууриизиэчи. тэи ньоан(и) пиусээнзиизиэн(и)-дээ  
 пиусээнзиизиэн(и)-тул тууриичи бизэрээ хаинаа-да.  
 эң таванки-та(нии) мэргэн-тэнии энэин(и)-тэнии эмту,  
 паңдо паңдоини, -маа энэини-гоан(и), гоаңчок-да, симата энэйзиэн(и).

туи энэми-э~ энэми эм ньарончи энэхэни,  
ичээни-лэ тэи ньарон токомбани элээ~ исиини бичин,  
тэи-лэ гиукээн-гулэ, эу(си) чормор тао(си) чормор таа ундэ.  
мэргэн-гулэ ундииси энэйзији гэсэ ундииси-э, паачилахани.  
дэвэлэн(и) паачилахан-тании боториг(да) туухэн тэи-тэ(нии)  
поторим(и) поторими-ла гучи паачилагоичами ичэгүхэни  
чуннүрэм абанагохани. э~н туи тараа-ла ундииси-э,  
таваңки-ла пос пос зугуи-гоани, сиун токондо... сириини исигохани.  
э~н иигүрээ ундииси-э, дамхи омим(и) тээси-гоани,  
наи уи-дээ сиягоан(и)-даа тујидээси Заралиадааси-а.  
э~н туи тараа-ла ундииси-э,  
сиксэ~ зйзүхээл тэи гүрсэл ундииси уи-дээ зилган-даа анаа,  
туи иигүмээр(и) туи хэмэ хэмэ апсиңгохачи.  
э~н тэи мапа-тании элэ(э) гиван, хароңгоочиани-ма(т), исигохани.  
иигүизији гэсэ мэргэн талгила(ни) ньохорааңкини.  
"э~н аапаңго, мимбиэ-лэ эзи оркилара," ундии,  
"мии-лэ бай най хэсэлэн(и) дахорсиамби"-м, "дахорсиаси ачааси," ундии,  
"ньоамбачи." э~ туи ньохораачираа бэунчи энэрээ апсиңгохани,  
уи-дээдэ сираадааси, маңгалахачи.  
э~н туи тараа чимии тээриизији гэсэ мэргэн-гулэ ундииси,  
малоодо бии мэргэмбэ пүзимбэ ундииси тэи,  
гилондо бии пүзимбэ мэргэмбэ эси хэм хакилани тап тап гихахани.  
э~н туи тараа пэулээн(ду) лоохани.  
тэи мапаачаам(ба) ундиин(и)-гоан(и), "эси сии этуми бизээчи," ундии,  
"эиду. э~н тэи мии лоохам(би) жакасал ачои осин(и)-тол  
сахар(ин) сээксэ наад(о) тээп саасиизиан(и) бүзээчи," ундиини.  
"э~н мии хамас(и) зйзуидуји, хэм, таосаңгожаамби-м саагожаа-ма"-м-да.  
эң таванки-ла ундииси энэпсиңкин туи энэй~  
горо энэкэ зйжа энэкэ ундииси туи, эң сиксэ~лэ ундииси-э,  
хүрээм(бэ) баахан порондоани-ла эм жоокаа~н биз ундэ.

тэи, зоокаанчи-ла тоохани ундииси индани-ла јэу~ ваачии-го(ани).  
 э~н ундииси-э, тэи инда мээнчији ваачии-даа  
 јэнгур-мээ Заргол-маа индасал бичин,  
 тэи-тэнии чаа эуси таоси гилбирак энэйзиэни, хаизи,  
 пэрбэруузи паачичихани.  
 э~н туи тараа-тании ундииси, уикэдуэн(и) запараа иихэни.  
 эм тэнии бэјэгуји баарии пузін бичин тэи-тэнии ундииси э~н ичэйзији гэсэ  
 чаңсop илихан тэи-лэ пузін-гулэ ундииси туи таизији гэсэ тэи мэргэмбэ-лэ,  
 э~н гуии-гоани сааксако саакса анаа осигои,  
 саакса анаа саакса осигои таи-даа, јаохиин(и)-гоан(и).  
 э~н эс(и)-тэнии тээхэн дамхива-ла гогдази коңгорораа буухэни  
 эс(и)-тэнии пузін-тэнии ундии(си) хатани, саңпарни бичини.  
 тэи-тэнии ундииси дамхива омиини, коңгороји манаини зулиэлэни ундииси-э,  
 жоан хачим(ба) хаабогои жоан хачим(ба) хаирии иигуи тами-ла,  
 эм дэрэду~ пујуухэни. э~н туи тараа ундии(си) дэрэду нээрээ туии-гоани.  
 э~н эс(и)-тэ(нии) бадосал тээгүхэчи эс(и)-тэнии эи,  
 аңмачиани тэи гидалагои тэи аңмачиа(ни) эи гидалагои тамаар(и) сияхачи.  
 э~н туи тараа ундииси-э, э~н хэм оосичигохан ундии,  
 туи тараа аогоан(и) сэкчиугурээ мэргэн, хаириидо(ани) эси,  
 дамхива омиидоан(и)-тол уже тэи пузін хэм таин(и)-гоан(и).  
 э~н апсиңгоха~н апсиңгоха~н тэи мэргэн тэи бэундуэни.  
 э~н пузін-гулэ тэи оосихам(би) дуэдуэни ундииси  
 хаали-даа гэсэ бичин-кээчи-э~ ундииси иигурээ апсиңгохани.  
 э~н ундииси туи тараа ундииси тадо,  
 ээи аси осии-гоан(и) наи апсиңнагохани, хусэнии хаи каока бигилэи.  
 э~н ундииси туи тараа-ла ундииси таваңки-ла ундииси,  
 эң зиа чиманиа тээхэ~н ундииси-э, хаи,  
 тэи сиа(и) хозип(и) ундиини-гоани, апсиңгои зулиэлэни, оңбохан уже.  
 "анда~ пузін ундииси, мимбиэ, пэргэруу," ундии,  
 "энэбилэи, зулэси энэбилэивэ~, э~н хамаси зоокчији,

зоогдо-танин ундииси оңиар чоңиар пиктэ дэрэзихэн," ундиини,  
"хаоси-гдал биин-ус хаоси-гдал биин-ус," ундиини.  
э~н тэи-лэ пузин-гулэ~ ундииси пэргэчий-гоани ундии(си)  
тэи-тэ(нии) ундииси, тэң паачилаи киарии боатоа ундииси  
хэ~и морасиндии ундииси кузэр нэрэ~л нэрэл таа ундэ.  
э~н мэргэн мурчи, "этэтэ дааи самамба тэи."  
эң туи тараа ундииси туи мэу(риин)... хаиха~н,  
туи пэргэчий пэргэчий туи тараа ундииси хожи дүэдүэни-лэ хамаси...  
энэгилай поктован(и) пэргэхэ~н ундииси, э~н ундиини,  
"анда мэргэ~н," ундии, "сиин-лэ зичисин-лэ ундиисин-э,  
гархиангани~ дэилэнгэни," ундиини,  
"зичис(и) гархиангани мангани," ундиини.  
"зоовас(и) пэргэи-кээ зоогдо-каа оңиар чоңиар пиктэкээ(н) абаа," уңкини,  
"эмүчкээ~н балзихаси биэс(и)-кээ"-м-дэ.  
"э~н зүлэс(и) пэргэхэм(би)-тэнии ундииси,  
э~н байгоас(и)-та(нии) кэту горо анаа," ундии, "эжээзи энэгилайси."  
э~н туи ундээ хозихани. э~н туи тараа ундииси,  
тиун тиун хожиин-гоани пэргэчихэни туи тап(и)-ма(т) апсингоин(и)-го(ани),  
апсингоха~н, эң зиа чимани тээхэн ундиин(и)-гоан(и), э~н сусуи-го(ани),  
мэргэн сусугуи баргииндоани пузин-гулэ ундииси э~ хаихаини,  
эм эзэхэкээм(бэ) буухэни. э~н монгондолани гидалаин(и)-го(ани) тэтугуини,  
"анда~ мэргэн ундиисин-э,  
эң зивэ эзи-дээ наңгалара~, эзи-дээ оркисира," ундиини.  
"эи симби(э) бэлэчий-э," ундиин(и)-го(ани), "эи мии сэвэкээмби.  
э~н ундииси хао(си)-даа биин-даа мии саазаа-ма," ундии,  
"зоог(до) каок(а) тээсин-дээ син хао(си)-даа энэхэмбэ,  
син хоон(и)-даа таивасин-даа."  
э~н таванки-ла туи энэи-го(ани) зиа чимани сусуи-гоани зүлэс(и) энэини.  
туи горо энэкэ~ зиза энэкэ ундииси,  
тэээ-дээ бичини кэту горо-даа анаа ундииси э~ эм иргэм(бэ) баахани.



тэй-тэний ундииси модам(ба) хоолим(и) биэ ундэ,  
э~н тэй иргэм(бэ) баап(и)-таний  
тэй модам(ба) хоолим(и) биивэ-тэний ундииси мэргэн-тэний ундииси,  
эң тооидоани-ла ундииси-э,  
э~н хаи гилаван(и) бојачим(и) тактоочираа ундииси  
эс(и)-тэний ундииси-э, тавава ивандаа мораи-го(ани),  
"сагзилбиа саотахамби, мапаајија манахамби ундииси-э,  
э~н масији зуруу," ундиини, "маңгас(и) хахаас(и) ичэгүжэ."  
э~н ундииси туи тараа ундииси тэй-лэ ундииси-э, эм элчи-лэ ниекэ ундэ,  
даа(и) даалпон. э~н чоомиачира~ дурбиэчирэ~ таа ундэ,  
"э~зэ(н) мэргэ~н," ундии, "баигоаңгоји баахас(и)-каа," ундии,  
"чоомиачим(и) чоомиачим(и) чолчомиак(а) даилаани,  
дурбиэчим(и) дурбиэчим(и) дулдумиэкэ даилаани," ундиини,  
"мии-дээ~ бусэсиур(и) бизэрээ," ундии,  
"эң симбиэ бэлэчим(и)-кээ мии-дээ эм хадоя-каа тугбукэжэ," ундиини,  
тэй даа(и) даа(л)пон. "эң гээ мутэй оси(ни) зуруу зуруу,  
мии тэингуи таамби," ундиин(и).  
эс(и)-тэний ваис(и) зурии-јэ~ сиантоји сибарим(и)~ сибарим(и)  
зуриини-го(ани) тооидо мэргэн биичиэни.  
э~н исими мэргэм(бэ) сиантолахани эи харалани хакпар энэхэни.  
э~н эс(и)-тэний эмэйэ һаа(ла)... бэгзији баңсалахани,  
чоокин чилихирам энэхэн. э~н мэргэн-гулэ кэчэригүхэни,  
"сапанигбани зүхэси," ундии, "эм хадолта балзигилаи,  
э~н ундииси-э, эзэмби гэлэндэгуруу," уңкини, хаи,  
"хаан бэјэзи(эни) халбороо~, эзэн бэјэзи(эни) зуруу"-м,  
"хахаас(и) маңгаас(и) ичэгүјэвэ."  
эң туи ундээ-лэ сиантолагохани жилини-ла молзорам энэми-лэ ундииси,  
эң мапаачаан сиариин(и) доозочала-ла тап иигуми,  
сиариидоани-ла ундииси, апиини калтарам тоңгалахан(и) тэй,  
таваңки-та(ни) боңгалиачигда(л) бэсэрэ пэгиэчиэни туухэни, жили.

"энугбэ-нуу~ хаи-ноо ундииси,  
 хамачаа вааким-даа хамачаа манаким-даа ундииси зээ-дээ эндүэчиури,"  
 ундии, "хаи энугбэ-нуу," зилиа калтаахамба(ни) капсичидоји ичэгүхэни.  
 "эээн мапа~, эң байгоаңгоји баахас(и)-каа ундииси-э маңга~, " ундиини,  
 "мии покто оосиндаамби," ундии, "мии тэиңкиндүжэ тэинзээчи-э,  
 мии салиакаандоји салиазаачи," ундии,  
 "ичэиси тэи масилаази," наи ундиини мапаачаан ичэгүхэни.  
 э~н бэсэрэ пэгиэлэни зилини-маңа зангииган тэи хэсэ аңгоини биини.  
 "э~н элчиусэ~(л), наңгалоосо," уңкин,  
 "наңгалоосо кукпун баа(ро)... кукпучэн(чи) наңгалоосо," ундии,  
 "тэи наија гаксоивани улээсии тэи,  
 чукиндүлэји наија хангис(и) хангис(и) хэсэ аңгоини,"  
 ундии, эң элчиусэл тэи зилива жапараа наңгалахан боачи-ла ундииси  
 э~н, мамани кэкэчээн(и)-тэнии, "каиракаан эзију~ каиракаан эзију~, "  
 соңгоа ундэ, тулиэчи низкэ ундэ гузиэлэ.  
 э~н ундииси мапаачаан-гола ундииси, тэтугүхэни.  
 э~н доол(а) бии тозама~-маңа осигохани эси-тэнии ундииси э~н,  
 омолагохани ундииси эс(и)-тэнии туи тараа-ла низрии-гоани зурии,  
 э~н мэргэн-гулэ ичэини тэтэ~ мапа-о бичини ундииси-э,  
 э~н чирако масико-м ичээр(и) мапаачаан бичин(и).  
 э~н туи тараа туи зүхэ~н эс(и)-тэнии жапанаалии-гоан(и).  
 э~н сорихан сорихан, сорихан сорихан,  
 эң хоони-а-даа сорихан ундииси мэргэн-гулэ мапава ваараа хөзихани.  
 э~н таванки-ла тоорин-гоани. эң тооридоани-ла ундииси,  
 мамани-ла эурэ ундэ ундииси-э, сэлэмэ молзиива, ээлэдуји жајакаачим(и).  
 "эни ичэгүруу зизуу озогои зизуу озогоија"-м таа ундэ.  
 э~н мэргэн ичэхэни-тэнии молзиивани-ла жаала-ла  
 лоп татагораа ундииси-э,  
 ньоамбани-ла чадобак(и) энэизиэ(ни) паачилахани мама будии-гоан(и).  
 э~н таванки-ла ундииси э~н тоохани зоогдоани хаи-даа абаани-гоан(и)

элчиусэл кэкээсэл биини-го(ани). дүжээчигэн(и) тоохани дүжэлэни  
жоо бие үндэ, эи-тэ(нии) пиктэни биини.  
эң хаилоо үлээн пузун бичин пиктэни-лэ ундииси,  
э~н най каармаазиңго(ани), жоа ниэучи(э)ни, түрэксэлэ бии,  
һаажаха ханмараа тэу, ниэучи(э)ни,  
түрэксэлэ бии симата үүндээ таи пузун бичини.  
э~н ундииси тэи-тэнии ундииси мэргэм(бэ) ичэхэндуји-лэ,  
соңгоилаји-ла ундии(си) соңгочиилаји-даа ундииси э~н хаира үндэ,  
сээлэ~ һооло энэкэ үндэ, эс(и)-тэнии мэргэн-тэнии ундиин(и)-го(ани),  
"анда~ пузун ундииси, тагдаи осиг(ни) тагдароо~,  
ајакталаи осиг(ни) ајакталоо, ундииси, полоандоји бусэсигүжэвэ."  
э~н пузун-гулэ ундииси хаараа~ энэкэ ундии туи таијији гэсэ-дэ,  
эң даји-ла ундииси, эң коојол гогдалаазиа(ни) коңгорохани ундииси  
туи тараа-тани ундииси, бууриин(и)-го(ани) мэргэнду.  
э~н мэргэн-тэ(нии) ајакталахан-даа жээ бии-нуу пакаа пакаа бие үндэ.  
най туи үлээлээ мэргэн боикони осигхани.  
эс(и)-тэнии пузун-гулэ алоораа... алоочаини-ла,  
э~н кол кол тээсиин(и)-гоани жапаадааси.  
эң гуупэтэи~ таавогои гучи ирагои таа үндэ  
туи тамиг~ ундииси-э лапоо~ жапахани.  
эң лапоо жапахани ундииси, жапаијији гэсэ пузун-тэнии ундииси  
будурии-гоани. э~н сиягои-ла пујууми-лэ мэргэн-гулэ пузун ичэини-лэ,  
эң эм модан татаини хаараа~, жиа модан татагоини,  
дамхива татагоини хаараа~ бие үндэ ундииси-э,  
эң туи дамхива омими-ла ундииси мээн боикојији~ осигохани.  
э~н ундииси-э, эң пузун-гулэ ундииси тэи-лэ ундииси,  
тиас баргигхани дэрэду-лэ ундииси туи тараа тээгүхэчи.  
бадосал тээгүхэ~н, эс(и)-тэнии хаи, мэргэн пузун аңмалани гидалаи~  
сарбиалараа мэргэмбэ пузун аңмалани гидалаи там(и) сиарии-го(ани),  
"анда~ мэргэн ундииси минжи эжи ајакталара," ундии,

"амаа горо оркин-гоани," ундии,  
 "наија манам(и) балзиори эң бундуи-дээ бундуи маси нии биэ-тэнии-э"-м,  
 "э~ң энээ-лэ гузиэлэни-гоани," ундии, "эң хандам(и) зухэни"-м, "туи-дэ."  
 э~ң туи ньоамбачи-мања оркирам(и) хисаңгоин(и)  
 тэи-лэ пузин-гулэ ундииси-э, эң сияхачи хозиини ундии,  
 "анда пузин ундииси наија далигороо," ундии,  
 э~ң мэргэн дамхива омии, пузин-тэнии ундииси хаива,  
 сэлэмэ урэктэвэ Запагоиизи гэсэ боачи ниэхэни.  
 э~ң тэи модам(ба) хоолим(и) бии, иргэмбэ-лэ тутухэни-лэ  
 хэи соли-даа элэ-бэк(и) зизухэни.  
 "э~ң чимана хэм сиун токондо, хаирии, хозијал," ундии, "эумээри."  
 э~ң эс(и)-тэнии тајазилал(а) зиа чиманиа-ла ундииси-э,  
 эң сиун токондо~ сириини наи хожихан,  
 эгуузиэри эс(и)-тэнии ундииси ньоанчи-даа  
 туи эгурээ эси маңбо паариизи(ни) эгууи-гоан(и).  
 энупсиңкини маңбова солиго... солоогоал ундэ,  
 э~ң туи энэи туи энэи ундииси-э,  
 асији баогохани-а~, таванки-ла туи энээл ундэ эси тэи,  
 хаи, иргэм(бэ) баогохани, тэи иргэмбэ, тэи,  
 мапаачаамба-рагда гааэои-гоани, э~ң ундииси тэи,  
 лоохани гурсэл каатаа холгохачи бичин каапи хэдундэ ундэ.  
 эң тэи гурумбэ-лэ ундииси хэм тавава иванда ундииси-э,  
 хэм тава бааро(ани) наңгаачихани.  
 э~ң тэи иргэмбэ-дээ туи далигомаар(и) энуй-го(ани),  
 туи энэми~ энэми тэи, эмјимэ иргэм(бэ) исигохани.  
 э~ң ундииси чадод-даа, исигохандоји-даа чадод-даа тэи, мэргэусэл,  
 мэргэмбэ пузимбэ хаиси, тавава ивандаа тавачи ивачигоин(и)-гоан(и).  
 э~ң тэи мапаачаан-та(нии) тэң, нээлимбэни лэкээ ээлэни-мээ-дэ.  
 э~ң ундииси тэи-тэнии ундииси-э, тэи, паачилахани,  
 гиу паачилахан-даа пузин осигоин(и)-гоан(и), дэвэни, хаи,

пиарррр пиар ирчим(и) пулсии(ни), чиечиндэсүхэни-го(ани),  
туи тараа чава-даа ваариин(и)-гоан(и), тадо гэсэ-дэ хэжэ энэм(и)-тул-дэ, хаи,  
гидалаини. тэи зоогдо-мања тоиңга наија гидахан-танин, хаичи,  
гулдэхинду лоораа, лоочахани-го(ани), тэи гурун хэм зэгзичиини.  
зиэум(и)-дээ тэи, хамиала бии гурумбэ тадо туи гааэои,  
туи гааэоми~ зоолаји боалаји исигоха~н эси-тэнии ундииси-э,  
зоони-ла элээ~ туумулээ биэ ундэ.  
тэи-лэ мэргэн-гулэ исигораа ундии(си) тэи зооји-ла баңсалагохан,  
жоан даа жоо~ хујун даа хурбу осигохани эси-тэнии  
тэи эгзилээ иргэм(би) гааэохам(би)-танин ундииси,  
эң хэи соли баңсачихани-а~ дуиси ваиси тэи-тэнии ундииси-э,  
э~ң туи тутухэни ундииси ваипа дуипэ,  
модам(ба) хоолим(и) тутухэн тэи-тэнии ундииси-э,  
дааи гираңкин дааи жоо, нуучи гираңкин нуучи жоо осиизиан(и)  
туи тараа-та(нии) тэи дуэдуэн(и)-тэнии мэргэн-тэнии ундиин(и)-го(ани),  
"э~ң гээ~ эгзи гурун дааи жоок(чи) тоори, тоокоосо~ ундииси,  
ои гурун нуучи жоок(чи) тоокоосо," ундии  
эс(и)-тэнии тэи мэргэн-тэнии ундииси туи балэиа ундэ,  
э~ң туэ ос(очи)ани, пара, пиахини мањаарии,  
жоа осочиани элчиусэл муирэни тэтуэни хэм њаарии таи  
согдатава ваариизиани, туэ осини уликсэ ваарииван(и) наи зувуини  
пара пиахини мањаарии туи балэиал ундэ  
гороа бичэ~ зиэаа бичэ~ элээ. хамар хамар ниңмаандии-гоан(и).

2000 IV 6. в Даерге, Ниэсулта Борисовна Гейкер

8. акоачии арчокаан

э~н ундииси эм, зоо доолани-ла эм арчокаан эмучкээ~н балзихан.

тэи арчокаан-тании туи бии-гоан(и).

чимии тээми, акоам(би) дэригуин(и)-го(ани),

пуксу кэркичэдуэн(и) тэпчиухэнзи гилон кэркичэчиэн(и) сияк-да.

иниэ тиап туи купиин(и)-го(ани) эмучкээн.

э~н сиксэ~ апсиңгоидоји хэм оосигои туи биэ ундэ.

эң туи бими-э туи бими эм модан-тании ундииси-э,

туи акоачиидоани тооилани-ла зоор зай хаакоа ундэ.

эң арчокаан-гола унд(ииси) хурмэзи, хаива пааваји гидалараа ичэхэни,

эм мапа бичини. даралапчи-даа эмуту~ гогдалапчи-даа эмуту~

дааи, сагзи мапаачаан-гола, зайзи хулуми~ биэ ундэ.

хулундээ тоорам(и) дэруухэн. тэи-тэнии ундииси-э,

чинзакталаа~ дуэрэ ундэ тэи, тоовани-ла ономи тоора ундэ.

э~н туи тоохани ундииси арчокаан-тании элээ уикэвэ иирии

ээ хай(до) сириори, хайдо сиригоји-даа баараси

зоо доони гиндэ гиндэ биин(и)-гоан(и),

тэң акоам(би) гидалохан... нээухэ(н)-рэгдэ.

эс(и)-тэнии туи тами-а-та(нии) тутуми тутуми курээмби,

ачораа чуул, жилизији гидалахани, хай, сирихани.

бүгзини кичоиган-да. эс(и)-тэнии тэи мапаачаан иихэ~н,

наи палаамбан(и)-даа чинзакта~ дуэрэми иириини-го(ани)

липа~ липа~ тактоочим(и), малочи~ тээндэхэни.

малодоан(и)-тании, сисим(а) хуэ бичини.

тэи-лэ сисим(а) хуэдулэ болка~ болка энэизиэн(и) тээхэни.

э~н туи тараа-ла туи ичэичэй, най-даа абаа хай-даа абаа,

тэм акоам(ба) дэриухэн-рэгдэ бии, палаам(ба), накам(ба) кээндэл(и)-дэ.  
эси-тэнии ундииси-э, эң алта комбо даилаани, хаива,  
трупкаји агбимбогораа~ дамхија тиас тэучирээ дамхија омии-а,  
гоаңчако~ саңһан жоо доола(ни) осиизиа(ни) омихани.  
э~н хожип(и)-тании, трупкаји-дээ гуигухэн.  
туи тараа туңгэлэгуидуји ичэи, ичэичэин(и)-го(ани), уи-дээдэ,  
эзэни иигүзээ-мэ ундиин(и)-дээ абаа, иигүэдээси, туи халачиин(и)-гоан(и),  
тэи акоанзи купии, купихэн найја, туи халачии.  
туи тами~ палаандо илигохани. тээсихэнзи, илигораа~  
ичэичэин(и)-го(ани), кээ~ндэли жоова, ичэичэин(и),  
ичэини хайдо-даа сиригоји уи-дээ баараси, боа.  
чистыј най жоон(и) доовани. туи тараа~ ичэгүхэни,  
курээн-гулэ ундииси, бэгзин(и) кичоиган сирихан бичини,  
арчокаан туи тараа, энэрээ~, арчокаам(ба) жапагораа татагохани.  
арчокаан-тании нээлэхэн-тэнии чиңкии патариини-гоан(и).  
"ам ичэгүруу~, эзи нээлэрэ," ундии, "мии симбиэ пиктэгуји жаанихамби,"  
ундиини, "минзи энугуури," ундиин(и)-го(ани), чихалаи арчокаан.  
"нилаконт бии-дээ жапаиси-ноо," ундии, "жапаи-гоани," ундии,  
"симбиэ гаажоини, пиктэгуји гаажоини хэм жапаамби," ундии.  
эс(и)-тэнии туи тараа таванки-ла, хаириин-гоан(и).  
тэи-лэ ундииси арчокаан-гола хэ~м акоам(би) тамагохани,  
уикэкээндүји нээкүхэни туи тараа ундииси-э,  
хожиини ундииси арчокаамба-ла, уикэкээмбэни гэсэ,  
жапараа~ туңгэндүлэји гидалахани. эс(и)-тэнии зүгүхэ~н,  
жаи анагораа туи энээ ундэ,  
арчокаан най туңгэндүэн(и) бии-дээ ичэини-гоан(и),  
хаи, маңбо, хэи энэин(и) бичини.  
эң тэи-лэ жаизи-ла ундииси тэи-тэнии,  
хэмдэн(и) доола(ни) акоачими-о~ энээ ундэ, туңгэндүэни.  
туи тараа туи энэми~ энэми-э-лэ ичэини-лэ ундииси,

эм иргэнчи~ исигохани туи мапаачаан-гола ундииси,  
э~н эзэ(н) хаандола хаакохани~ ундииси,  
туи тараа Зайји-ла татагораа таванк(и) тоокои-гоани, хумсэрээ-дэ.  
э~н тэи-лэ ундииси эзэ(н) хаандола, э~н зоола иигүхэни.  
э~н зоокчи иигүхэни ундииси, арчокаамба агбимбогои-гоан(и),  
акоанзиани камор-да. эң туи тараа ундииси, хаихани.  
э~н ундииси, "мама, пиктэгуји гаазохамби," ундиини.  
э~н эси-тэнии мама-танин туи бии~ тэи арчокаан-даа,  
эң хаива-даа хэм дэнси-гоани, наи муэвэ муэлэвээндии(ни),  
муэлэи, моова иивувээндиини, иивуи таин(и)-гоан(и).  
эң сияори-а-гда тааси мама мэнэ пујуучии сиягоји.  
эс(и)-тэнии туи бими~ туи бими эң мама-ла ундииси-э,  
илираа боачи ниэхэн, тотапи-о~ иигүхэн,  
такточии пулсихэни бичи(н), эм тухивэ, босовани иивугүхэни.  
туи тараа~ тэи-лэ босоңго(ји)-ла туи, гириктахани.  
гириктараа~ ундииси э~н арчокаан баароа(ни) зичин,  
акоачим(и) купиичиэни. "ээ арчокаа~н, тэтуэгуји аңгороо," уңкин,  
"эйзи хэм-дэ, улээн аңго... улпируу"-м-дэ.  
э~н тэи-тэнии, арчокаан-танин хаири-гоан(и).  
буухэмбэн(и)-дээ эс(и)-тэ(нии) мама-танин туи,  
эм хадолта бими ичээзини-го(ани).  
тэи-тэ(нии) арчокаан-танин, дуиси кэчэригүхэн дуиси биин(и)-гоани,  
тэи, ниңээл ниңээл-дээ туи,  
туи, туи туи чаасоин(и)-го(ани), хаива чаасоини.  
эң гэкээл гэкээл-дээ таи-ја, туи таа ундэ.  
эң туи ичээзин(и)-го(ани). туи тами-а эм модан ичэндэгүхэни,  
улпихэни-нуу-м-дэ. хэрэ~ тэи арчокаан-танин  
тэи тэтуэгүэн(и) гирихамбан(и)-даа хэ~м саар чаасом(и)  
акоаңгоји аңгохани бичи(ни). туи тараа-танин,  
эс(и)-тэнии мама-танин пакпарими-ла эси-тэнии, паиңадахани, апиилани.



арчокаан-та(нии) соңгои-го(ани), эси-тэнии соңгои-даа соңгоин(и)-го(ани),  
 тэи паиңа, апиила(ни) наи паачилахани-кас соңгоор(и)-гоан(и).  
 эс(и)-тэнии мапа-тании пакпарии-гоан(и),  
 "сии тоикаамбовааңгоаси-а~, а мии гааэохам(би)-ноо," ундии,  
 "э~ң хаи там(и) тоикаандииси, хэмэ хэмэ биилэжи," ундии,  
 "хэмэ хэмэ купии найја, арчокаан, хэргэм(бэ) тэруум(и) соңгоин(и)-го(ани),  
 хэйк хэйк, хэйк хэйк, соңгоин(и)-гоан(и).  
 "э~ң улээсиур(и)-нуу~,," ундиини,  
 "тэтэугуэн(и) босова гирираа буухэмбиэ-тэнии,  
 хэ~м акоам(ба) аңгохани," ундиини. мапа-тании ундиин(и)-го(ани),  
 "сии, чаачиа биидуји тэтуэгуји аңгоханэји очогохаси-ноо," ундиини.  
 "э~ң хаи, хаи, мэнэ аңгораа тэтувээм(и) хаириини-а"-м-да.  
 "чаачи биини хоон(и) аңгои-ја," ундиини, "хаи отолира"-м-да.  
 "аңгом(и), тэтуэвэ." э~ң пакпарихан, туи, мапаачаан.  
 эң туи тараа чиил чил очогохан, мама,  
 арчокаамба-даа тоңгаладааси очогохан. туи биичи-гоан(и).  
 туи бими~ туи бими-э-тэнии эм модан-та(нии) мама-ла илигораа~  
 гучи ниэхэни, боачи. э~ң туи тараа ундииси,  
 такточии пулсихэни-э~, эм тухи босовани иивугухэни ундииси,  
 эси-тэнии ундииси-э эң гириктаи-гоани арчокаан тэтуэгуэни  
 гароңгоани пэруугуэни хэм, эң туи тараа мэнэ улпилухэн,  
 туи улпихэн хоони-а-даа улпихэн ундииси хозихани.  
 э~ң эс(и)-тэнии арчокаамба-ла эиливани,  
 силкои сигэигуи тахани ундииси э~ң, эң бэжэвэн(и)-дээ силкочии тэи-тэнии,  
 хаи, сикуумбэ-мэньэ тэтугүвээңкин(и)-тэнии,  
 арчокаан-та(нии) хаилоо гучкули арчокаан осигогои-гоан(и) тэи.  
 э~ң туи тараа ундииси, "гээ мапа~," ундииси, "мэнэ хаироо," ундии,  
 эси-тэ(нии) мапаачаан-гола~ эм, мамани, мамачи ундиини-гоан(и),  
 "мапа~," ундии, "мэнэ тароо," ундии, мапа ундиини, "ирароо," ундиини,  
 "пиктэчији. э~ң унхээри," ундии,

"эивэ галои осини-ла~ ундииси-э, мэнэ гэлэмээчируу"-м-дэ.  
"мии-тэнии~ пэрхи намон(и) пэрэгдүлэни, зүлэхэ намон(и) зуугдүлэни,  
пулсим(и)-тэнии, эивэ-рэгдэ насалдоји нам ичэхэмби-э"-м-дэ.  
"э~н эивэ галои-ла осини-ла мэнэ, мэнэ гэлэмээчируу"-м,  
"мии-тэнии муэзэн-кээчи мукчурээңгүкэи, сааң-каачи сагдаңгокаи," уңкин,  
"пулсим(и)-дээ мутээси элээ осигокаја"-м-да. э~н туи тараа мама-ла,  
боачи-ла арчокаан ңааладоа(ни) җапараа ниевуидуэн(и),  
арчокаан-тании ундииси,  
голзон пуңьэктэңгуји-лэ туи тиас хороалаиҗији гэсэ,  
мама хамиалан(и)... хаи элгэивэни ниегуи-гоан(и).  
э~н ниегуи... боачи ниэрииҗији гэсэ арчокаан-та(нии)  
тэи пуңьэктэнзи-тэн(ии) дэ~рэгби-дээ җилији-даа тэтуэји-дээ мододахани.  
э~н туи тараа таванк(и), тоории-го(ани), мама тоории,  
мамази-хэи галиасини осихан(и)-го(ани), нэкэңэн,  
нэкэңэн ирчими тоории-го(ани) мамаачаан тэи, э~н арчокаамба.  
эзэ(н) хаан, тэи дүжэлэ биин(и)-го(ани), пиктэчи җооңни дааијакаан.  
э~н тэи-лэ җоо уикэлэни, эң җапараа иихэни мама.  
э~н мама-ла иими ундииси-э, голзондо тээхэни ундииси даикаам(ба),  
омиин(и)-гоани тээрээ-дэ, тэучичиини.  
чадо-тании ундииси арчокаан-тании хузиэңгүду илисиин(и)-гоан(и).  
э~н тэи-лэ мама-ла туи дамхива омими ундиин(и)-гоан(и), "эни ичэгуруу~,"  
арчокаан ичэин(и)-го(ани) тэи җоо доолани,  
эм наонзюкаан-тании ңоани-ачиа бии бизэрээ, малодо-тании,  
аис(ин) алчоа~н, мэңгу(н) алчоа~н, алчоачим(и) купиини,  
тэи-тэнии арчокаан иириидуэн(и)-тэнии ңоанчи иирииду(эни)  
ичээ~ ичээ таханзи-тании,  
җилији-даа пос гидалагораа туи алчоачим(и) тээсиин(и)-го(ани),  
эмучкээн, таванки ичэгуэдээси ңоанчи баароани.  
э~н тэи-тэнии, мама-тании ундиин(и)-гоан(и), "эни ичэгуруу~," ундииси,  
"амиси уңкин," ундии, "э~н сааң-каа(чи) сагдаңгокаја~,"

муэзэн-кээчи мукчурээңгукэжэ ундииси-э, э~н пэрхи намон(и) пэрэгдулэни~  
 зулэх(и) намон(и) зуугдулэни пулсим(и) ундииси,  
 зивэ~-рэгдэ насалзији нам ичэхэмби-м-дэ.  
 суэ, галои осин(и), мэнэ гэлэмээчируу"-м-дэ.  
 э~н ундииси туи тараа ундээ~ мама-ла илигораа ниэгуидуэни  
 арчокаан гэсэ ниэгуичэхэни. "дэрэзигуруу," ундиин(и), "чадо."  
 мама, тэи арчакаам(ба), "чадо дэрэзигуруу," ундии.  
 мама ниэгүхэни хамиала(ни) арчокаан тэи хузиэңкүду илисиини-гоан(и).  
 э~н тэи, пуксу кэркичэдүэн(и)-тэ(нии) эм пуэин тээсихэн, улпими-э-дэ.  
 э~н эападоан(и)-тании эм мэргэн, аоми-а~ биин(и)-го(ани),  
 хаи-даада ундэси, тэи мэргэн.  
 тэи пуэин-гулэ ваис(и) кэчэригүхэн туи тараа ундиин(и)-гоан(и),  
 "э~н хома~н дурун анаа," ундиини. "э~н илта боико-даа анаа," ундии,  
 "пүндэ пүндэ биини," ундиини, тэи арчокаамба.  
 "хаи, орким(ба) сиариидоји хаи, орким(ба) сиариидоји-даа иливаамбори,"  
 ундии, "талгиалаји, улээмбэ сиариидоји талгиалаји-даа иливаамбоваси,"  
 ундии, "экэ пэруувэни этэхирээ, оркин пэруувэни оосираа тами-рагда-ла аја,"  
 ундиини. "э~н дурун хоман анаани, анаани-а"-м-да.  
 эс(и)-тэнии арчокаан-гола ниэгурээ пагзиалагохани ваиси.  
 ваиси тутугум(и) эугүхэ~н ундииси, уикэдүэн(и) эапараа иим(и)... мама-ла,  
 "э~н хандагохасо," ундиини. э~н арчокаан-гола гусэрэхэни,  
 "туи, туи уңки(н)"-м-дэ.  
 э~н эс(и)-тэнии мама-тан(ии) тэтуэвэни хэм ачогохан,  
 мээн тэтуэкээм(би) тэтугурээ туи бии-гоан(и).  
 эс(и)-тэнии туи биидуэн(и) эм хадолта~ бипи ундииси  
 эс(и)-тэнии маманаа-ла~ баргичиал ундэ, гээ појаң(го) пиктэпу эидии~,  
 појаң(го) пиктэпу эиимаи, эурии, эс(и)-тэнии ундииси хаива,  
 киаэардола кизигуи олгиамбар(и) вааха~н  
 эс(и)-тэнии туи тараа-ла ундииси-э,  
 хаирии-гоани, э~н пујуучии-јэ~ мама-тании,

хаива-ла пујуучиэси пиктэји зипугуэни, зугуэн(и)-тэнии ундииси,  
бэсэрэдүлэ аогоан(и) сэкчиэхэни ундииси-э, э~н туи тараа иниэ~  
пиктэни эухэн сиксэңгизлээ~дэ. тэи наонзокаан бичини.  
э~н тэи-лэ наонзокаан зичиндүэн(и)-тэ(нии) туии-гоани,  
пиктэји сиавандиин(и)-гоан(и). э~н тэи-лэ, сиариидоји,  
хээсигуин(и)-го(ани), "арчокаа~н, сиандагороо," ундиини.  
арчокаан зизухэн сиандагохан наи хээсиидуэни.  
тэи-тэнии ундиини хаи, арчокаан сиандагороо ундиидуэн(и)-тэнии,  
арчокаан зизухэн ундииси, тэи наонзокаан сиами ичэээини-гоан(и),  
тэи арчокаамба-танин ундииси, э~н даанини-ла ундииси-э,  
хаи энини-лэ ундииси-э, эм олгиан хоорони, эм муксу бодани, буухэни.  
эң чаа-ла арчокаан-гола сираа энухэни мэнэ бэунчији оосигораа-да,  
котаамби. э~н тэи наонзокаан-та(нии) сиами-танин ундииси-э,  
эң пуңкудуји-лэ унди(иси) улээмбэни, доовани тэучи... хукухэни.  
э~н тэи арчокаан дуиси тээсиидуэни-лэ ундииси,  
зулиэлэни туугуизиз(ни) наңгалахани чава, хукухэмби.  
э~н арчокаан-гола чава-ла запараа~ сиарии-гоани,  
тэи-тэнии синор-даа бии, амта(си)-даа бии, гочиси-даа бии бичини.  
эси-мээ~ арчокаан-гола элэдэлэ сияхани.  
э~н туи тараа наи хэм апсиңгоха~н сиксэ, сиксэгүхэн,  
долбогохан ундииси, арчокаан чиечиндэидуји-лэ,  
э~н наонзокаан хаини, подушкани модандоани нээхэни, нээкүхэни, тэи,  
хаи-ја~ наи, пуңкукээмбэни. эс(и)-тэнии ниевээчирээ иигүрээ апсиңгохани.  
аопи-о~ сэнэхэни. хэсэрэмзис тэи наонзокаан(зи) аоми~ биин(и) бичи(н).  
"эи хаандам(и) зичимби~, тэи наонзокаанчи, иламогбани."  
э~н элкэ~ илигораа бэунчији энухэни. э~н туиңкуми гучи оңасагохани.  
э~н туи, оңасагоми туи тапи-о~ гучи сэнэгүхэни.  
хэсэрээсис, эс(и) хаис(и) наонзокаан туңгэндүэни) аориини бичини.  
тэи-тэнии бэгзији, бэгзивэн(и) дэң дэң кочигохан,  
кораңчилахан ундииси, һаалази осин(и) дэң дэң, наамаңгохани бичин,

ньоамбани. элкэ~ бэгзији ачоичахани дэң дэң бэгзији нээхэни,  
нээрии, э~ң ундииси-э, хаи җаалани ачоичаини  
җаалаји бази~ туй наамандиини-гоан(и).  
эң туй тараа-тании ундиин(и)-го(ани) наонзокаан җаралихани,  
"анда~ пузин ундииси, хаос(и) энэичэйси," ундии,  
"хаи мээн җичимби мурчииси-нуу," ундиини.  
э~ эси-тэнии чадод, гэсэ аории-гоани, гусэрээндуй туй тараа,  
эзигуји баараа тахан, тэи арчокаан тэи наонзокаам(ба) чадод,  
тэи долбо-тол-да. э~ң ундииси туй тараа чимии эрдэ~ бэунчи энуй-гоани,  
эң чимии сияха~н хаихан ундииси, хаис(и),  
хаис(и) хээсигоини-го(ани) энин(и), "сиандагороо," хаис(и) ичээзини,  
эм хоорон, эм муксу бодавани бууриини.  
хаи-даа уликсэвэ-дээ буурэси, хаива-даа буурэси гоива.  
э~ң наонзокаан-гола ундииси, эң сиариидоји ундиин(и)-гоан(и),  
"амаа~," ундииси, "суэ туй хоон(и) балзиисо," ундии,  
"наија, гаазохамбар(и) осини, хаи, хоон(и) туй нэучэйсу"-м-дэ.  
"э~ң аории хэзон-даа анаа, тэтуэзи тэту... ао...  
тэсчии тэтуэкээнзи дасигои чадод аории, э~ң җилидоан(и)-даа эм,  
чирэңкукээн-дээ анаа. хоон(и) туй нэучэурини," ундии,  
"наива. энъээвэ бэлчин(и)-дээ јэбэ биэси-нуу," ундиини.  
"моокаамба-даа таас(и)-каа муэкээмбэ-дээ муэлсии-јэ," ундии,  
"сиаваандиис(и)-каа-ла," ундиини, "эм хооромба, эм хооромба хэрчирээ,  
эм муксукээн бодавани омираа там(и) хамачаа наин(и) балзиини," ундиини,  
аминчији. амин(и)-тании ундиин(и)-го(ани), "ам ичэгуруу~," ундииси-э,  
"тэи-лэ эниси таин(и)-тании," ундии, "мии саарасимби," ундии,  
"наи хэмэ хэмэ биивэни, хаи умбури," ундии,  
"мии, саарасим(би)-гоани," ундии, "улээн таини-а мурчијэ," ундиини амини.  
"тэи мама~-мања оркини," ундии, "мама таин(и)-гоани."  
"эрдэңгэ~," ундиин(и)-го(ани), "аории хэзокаангоан(и)-даа буурэсиси-нуу,  
энин(и) муэңгугуэни, муэвэ моова таидоан(и)-даа јэбэ анаа-ноо"-м,

"хамачаа найжан(и) туи сингэрэкээчиурини"-м.

эс(и)-тэнии мапаачаан-танин, мамачији пакпарии-даа пакпариини-гоани,  
 эң чадо-ма(т) тэи, тэтугуэни аңгохам(би) тэтуэји-дээ буугухэн,  
 мамаачаан, тэтуугуэни. эси аогоани ахорагоан(и)-даа буухэн полтагоани,  
 сэктэпунгуэни, падуускагуэни-э-дэ.

э~ң эс(и)-тэнии, тэи наонзокаан-та(нии)

эс(и)-тэнии сиксэин(и) таондо(ани) пулсилугухэни, аондасоми-ла.

э~ң туи тами пузин... тэи-лэ арчокаан-гола бэјэду осии-гоан(и).

эс(и) бэјэду осиха~н, уи-дээ эс(и) тэи мамази мапази,  
 саарадаасини-гоан(и), чээл чээл осихан.

эс(и)-тэнии, хаи јэбэдуэн(и) биури-э мурчиин(и)-го(ани),  
 эиду мээн зоокчији энэрээ бии-дээ аја, пузин осихани-гоан(и).

э~ң бааразигохани, коаң коаң-да.

туи тараа-ла ундииси энэпсиңкин зоокчији, зоокчији энурээ,  
 энурээ горо улээ(н)-м-дэ. э~ң зоокчиан(и)-даа долин,  
 хамаси-даа долин осихани. эң зулиэлэни тэи мэргэн-гулэ, лур сусуэнгухэни.

"анда~ пузин хао(си) энэиси," ундии, "хао(си) энэиси-э"-м.

"э~ң абаа, хао(си)-даа энээсимби," ундии, "ии," ундии,  
 "мии саараси-ноо," ундии, "зоокчији энуиси биэс(и)-кээ," ундиини.

"зоокчији дуэрэгуиси," ундии, "хаи, саориңато гэрбэндэи-јэ," ундиини,  
 "ии," ундиин(и), "саориңато гэлэндэиси биэси," ундии,  
 "зоокчији энуиси-э"-м-дэ. "э~ң анда~ пузин мочогоо,  
 анда пузин мочогоо," ундии, "мии-тэнии, хаи, мэнэ гэрбэрээ ирагоамби,"  
 ундиини, "саориңатогоаси." э~ң ундииси-э туи, хаихан.

ичэээм(и)-тул хамаси кэчэригүвээңкин. пузин бэјэду биин(и)-гоан(и).

туи тараа хамаси зйзүхэ~н, хазом(ба) хэм ачоктахан,  
 њаар њаар осигоочиани-ла, э~ң мэргэн-гулэ ундииси хаидо,  
 паавани боакиалани-ла гоа~р наңгалахани, саориңато. зувугухэн.

"арчокаа~н, саориңатогоаси-а," морам(и) чава-танин мапа ундиин(и)-го(ани),  
 "мама, пиктэ, арчокаан саориңатогоани-а~-да гэрбэндэсүхэни," ундии,

"купимээр(и) гэрбэхэчи-тэнии-э~, " ундиини.  
"купим(и) пулсим(и) гэрбэхэни," ундиини.  
э~н арчокаан-танин иинэ долбо саори-го(ани) чава-танин-да,  
эмучкээн, (хаи) арчокаан бирэ, пузин осихани.  
э~н туи тараа, пиктэгуји ээр, баарин осихан, баарин-гоан(и).  
эс(и) хоон(и) таори, тэи мапа мама-даа хаива-даа саарадааси,  
эрдэнгэсидээси-э, тэи наонзокаан пулсиивэн(и)-дээ  
тэи наонзокаан ту~л тул авандасоин(и)-го(ани),  
тэи мэргэкээн, мэргэн осихан наи. ини ини авандасои.  
эс(и)-тэнии тэи пиктэни, ниңмаариа пиктэни хаи гоидам(и) урэгилэи.  
тэи-тэнии амбаан дааи осихани-гоан(и). муиклухэн. хоон(и) таори,  
хаидо нээури, ламбака доолани нэучэм(и) узиин(и)-гоан(и).  
тэи-тэнии, муиклухэни ламбаказиа ниэри-гоан(и).  
эс(и)-тэнии бэгзини, эи бэгзидуэни нааладоани эидуэни Золова уиктэхэни.  
эс(и)-тэнии туи бии-гоан(и) туи-дэ, Золози уичэку тэи пиктэ.  
э~н туи тараа эси-тэнии эм модан-танин, муэвэ муэлэм(и) энэхэни,  
эухэни-го(ани) ваиси. э~н тэи, муэлэхэндүэн(и)-тэнии ундииси-э,  
тоокоини уикэ даава элээ исигоини хаилараа тэи-тэнии,  
эң мапази соии-даа, пакпарии-даа таа ундэ.  
мама-јас хаилараа тэң пиктэн(и) Зилгани-јас тэң соңгоин(и)-даа масилахан.  
э~н тэи-тэнии соиичи-гоани, "хамачаа наини," ундии,  
"э~н хамачаа наи эктэни," ундии,  
"туи-дээ, пиктэји Золози-мања наија уңкичэмээр(и) нэучэйчи," ундий,  
"э~н токсава баараа, этэхиини"-мэл соиичи-го(ани), "туи Зайакаачим(и)."  
эс(и)-тэнии ундииси соии-даа соиичи-го(ани), пузимбэ-тэнии,  
эс(и)-тэнии, муэңгуји иивугурээ аксондо нээрээ ундииси  
пиктэји Запараа боачи ниэхэни. туи таин(и), ајакталахани-гоан(и).  
боачи ниэрээ ундииси хаидо, купучууду нээрээ,  
моова Запараа паачиидоји-ла, ха~ончок энэхэни.  
паачилахани-ос абаа-ос пиктэји. э~н туи тараа ундииси-э,

туи тапи-о~ саагохани.

Зоогдо эси тэи мэргэн Зилган(и) тэң хоаң пакпарии~

энимби амимби соии, пиктэн(и) Зилгани тэң хоаң соңгои таа ундэ.

э~ң тэи-тэнии, туи там(и) морапсиң(кини), "анда пузін иигуу-дэ, пузін, анда пузін иигуу, нэку маңгалахан," ундиичи, "зэмусими."

э~ң ундииси пузін-гулэ, туи мораини ундииси,

пиктэји соңгоин(и) гузиэсими маңгалаадала

таа сэңсээчим(и) соңгоин(и)-го(ани), пиктэји,

хаали соңголоханзи соңгоини-ос.

тэи найја дэлүхэни-дээ хаи тургэн ајанагои саагогилаи.

э~ң пузін-тэ(нии) иигүхэни, иигүрээ ундииси хаихани.

пиктэји Запагораа кувууриин(и)-го(ани), соңгом(и) кувуурии-гоан(и).

ундиин(и)-го(ани), "кэтээлээ кэтээлээ пиктэјијэ ваавааңкисо," ундиини.

"тэи силаан мии добдагохамби," ундии,

"эм инизи кэтээлээ пиктэјијэ ваавааңкисо," ундии,

"тэи-лэ, пиктэ буикини осини-ла,

суэ сахар(ин) сээксэ наад(о) тээп бумчэсу," ундии.

мапа мама-даа хаива-даа саараси. эң мапа-тании ундии,

"мама таин(и)-тании," ундии, "мама хаива-даа саараси, хаи осира,"

ундии, "њоани-мања арга(сихани)... хоон(и) мурчиисо," ундиин(и),

"мии, хаи тургундуэн(и) тул тул авандасологохамби," ундии,

"эус(и) тул тул пулсијэ"-м, "инии... долбо,

сиксэ таондо(ани) эус(и) зијурээ биэсим(би)-кээ," ундиини.

э~ң ундииси тэи, сиаваамаар(и)-даа тэи пиктэвэр(и), пакпа(рими)...

хэсэ аңгоханзиани улээн сиаваалогохачи-гоан(и) тэи арчокаам(ба),

пузикээм(бэ). э~ң эс(и)-тэнии пузін,

мэргэн-тэнии пакпарихам(би) дуэлэни ундииси-э,

эң боачи такточи энэрээ ундииси-э, э~ң эм, тухи,

босовани хачин босо иивугүхэни ундииси, "гээ, анда пузін,"

ундииси-э, "ээ мээндуји, нэку хэзоңгоани аңгороо," ундиини.



э~н пузін-гулэ ундииси эс(и)-тэнии аңгои осии-гоани, пиктэдуји,  
 боңгодо аңгохани-а~ хазокааңгоани хэм-дэ.  
 гээ, элээ тутулуи осии-го(ани), пиктэ.  
 муикухэни хаи гоидам(и) ниңмаари(а) пиктэн(и) урэгилэи.  
 э~н ундииси туи тараа-ла тэи-лэ ундииси-э, эң туи биидуэни-э~  
 туи очогораа улээн очогораа бии-гоани, туи биидуэни ундииси-э,  
 "э~н акпало асико, эң пиктэпувэ асивани боазиа наи ираи-ја~," ундии,  
 "тао(си) энэури-э"-м. мапази~ мамази-ла бајалагомаар(и) дэруухэчи,  
 ундииси, эм чимии тээхэндуэни.  
 туи бајалагораа, бајалагоха~н, улээн улээн тэтугухэн, энэхээл.  
 тоохаал пиктэчиэр(и). э~н тэи хамиалан(и)-тании,  
 мэргэн ундиин(и)-гоан(и), "анда~ пузін," ундииси-э,  
 "тоогоари," ундии, "таос(и) энэгуури." "эңэјэ~," ундии,  
 "иламосиамби," ундии, "хаи там(и) энэури," ундии,  
 "наи мээп(и), экэ пэруу(вэ) этэхирээ, оркин пэруувэ оосираа таивани,  
 хоони энэури," ундии, "чаачи бии жакасалчи мии.  
 наи улээн сиариидоји-даа талгиалаји мимбиэ иливаандасивани."  
 "э~н аја~," ундии, "хамачаа гооко гурумбэ таиси-а," ундии,  
 эс(и)-тэнии ундииси-э, эң пиктэји-лэ ундииси-э,  
 э~н бааразиговаандаа тоохани, мэргэн уутурээ-дэ.  
 "анда пузін тургун тоохаари, тургун тоохаари,"  
 ундиин(и)-го(ани) пузін-гулэ. тоохани хамиала(ни) туи бии,  
 эси-э~ пиктэји соңгоо соңголо осихан бизэрээ мурчихэни-гоан(и).  
 э~н туи тараа эс(и)-тэнии ундииси-э, хэтэр хатар бии амирива тэтухэни-э~  
 туи тараа-тании ундииси-э, хаива, нуктэји осини сада сада тахани.  
 э~н туи тараа тоохани. э~н ичзини-лэ эзини-лэ ундииси-э,  
 пуксу паавани наи ачохани бичини. э~н чадолэ ундииси,  
 илисиа ундэ тэи паавадола ундииси-э~  
 пиктэји уутуэчими~ илисиини-гоан(и).  
 наи баароани доочи ичээми илисиини.

пиктэн(и)-тэнии, энэйижи гэсэ пузін-гулэ хатанзи энэми  
 пиктэји-лэ эјији җаалала(ни) лоап татагораа зугухэни.  
 эҗ зугурээ кувууриидуэни эјини хамиалани эугуи-го(ани),  
 "анда~ пузін," ундии, "мии симбиэ хаали туи тароо уҗкимби," ундиини,  
 "эрдэҗгэ хаи-даа," ундии, "хаандам(и) туи, туи эрдэлэиси-э"-м-дэ.  
 "сии, хаидо, мии тоороо тоороо ундэчији-кээ," ундии,  
 "хаиван(и) туи таиси-а"-м-да. "иламогбани," ундиин(и)-го(ани),  
 "хаи там(и) мии энэури, буэнзиэ амбаан наи,  
 оркин наи наичи улээн гурунчи," ундииси.  
 э~җ ундииси эс(и)-тэнии ундииси-э, хаихани.  
 э~с(и)-тэнии ичэээм(и)-тул, бааразигоорива гэлэин(и)-гоани-а~,  
 пиктэји мэргэн улээн бааразигохан, эс(и)-тэнии асији-тании нээ,  
 эс(и)-тэнии тэи, җилији чак чак тахамбан(и)-та(нии)  
 сигзиини осихани нээ-дэ. э~җ пузін ундиини, "ача~," ундиин(и)-го(ани),  
 "мии мэнээ нуктэји мэнээ таамби-ја"-м-да. э~җ эјији,  
 туи хаириидоани-даа нээ бэлчиизиан(и)-тол, җилији сигзигухэни ундииси  
 эс(и)-тэнии ундииси-э, эҗ силигохани нуктэји-лэ ундииси эс(и)-тэнии ундииси,  
 гээ, эс(и)-тэнии тэҗ улээн тэтуэвэни агбимбом(и) тэтуэлэвээндиин(и)-гоан(и).  
 э~җ тэи-тэнии, тэҗ улээн тэтуэвэн(и) тэтугүвээндиини,  
 "анда пузін," ундии, "улээн улээн тэтуруу," уҗкин(и)-гоан(и).  
 эс(и)-тэнии тэтугүхэ~н, эс(и)-тэнии җуэзиэр(и) тоориичи-го(ани), пиктэји,  
 эјин(и), тухисии. э~җ уикэлэ иихэн ундииси э~җ пүксузиэлэ, хаидо,  
 кэркичэни кираадоани осихачи, җоанчи.  
 эси-тэ(нии) ичэини-лэ пузін ичэини, бунзиэ пузін ичэин(и)-го(ани),  
 тэи-лэ ааҗни асини-ла боа наи, эҗ насан(и) дааи~ сахарто~ пузін бичин.  
 э~җ җуэ җоороктодоа(ни) саксии бэгзиэкту, хаидоани,  
 пээјэдуэ(ни) сиун бэрээзику бичин, сахарин эктэ.  
 насан(и) дааијакаан җуэрмэчикту.  
 э~җ ундииси туи тараа тэи хаи-тании,  
 ааҗ(ни)-тании хаириичи-а~ хэриичи-тэ(нии),

асимолиа зуэзиэр(и), э~н най зичиндуэни, гиаматази.  
эс(и)-тэнии бадовани исигохани нэуји закпачиа(ни) исигоижи гэсэ,  
ундиин(и)-го(ани), "аапанго~, " ундииси,  
"аоми~ тээми хаидо баахаси," ундии, "туи бии асигоји.  
э~н гои най осини, симбиэ ваараа асилагомчаја," ундиини.  
"э~н мии-тэнии хаи-даа хэм мэдэвэ пулсим(и) зивэ мэдэ...  
јбэлээ бии баахамби," ундиин(и), тэи, боанзи эктэвэни.  
э~н ундииси наонзокаан-та(нии) тоас ајакталаи-гоани, "эрдэнгэ~, " ункин,  
"наија ичэмээр(и) хоон(и) отолиасисо"-м-дэ.  
"суэ галохасо эктэ-тэнии, арчокаан-танин," ундии,  
"э~н улээн сиариидоар(и)-даа талгиалаји иливаамбоваси,  
сии баар боико анаа хамачаа-каа соии-ја ундэчис(и)-кээ," ундиини.  
"э~н эхэ пэруувэни этэхии, оркин пэруувэни оосигои тахан, ункимбэр(и),  
эси хаини ананани баапаар(и), баап(и) мимбиэ ваачаиси," ундии,  
эси-тэ(нии) сорираа, аагзији сорираа ундииси эгүхэчи пиктэји тухилэгүхэн,  
асији нааладоан(и) жапагораа. э~н туи тараа туи биичи-го(ани) зоогдо.  
хадолта хадол(та) бипи-о~ энини амини эгүхэн.  
эң туи тараа-ла туи хаириичи-гоан(и). туи биичи-гоан(и), зоогдо.  
эң туи бими~ тэи пузин-тэнии ундииси э~ тэи, акоан(и)-танин,  
хусэнии тэтуэгүэни аңгоктахани хэм хусэнии тэтуэни очогоха~н,  
эктэнии тэтуэгүэни хаива-даа аңгохани хэм эктэнииңги-мања осигохан  
эс(и)-тэнии ундииси туи бајан осигораа туи бичини,  
пузин туи бии-гоан(и) горо~ бичэ~ зиза~ бичэ элээ.

9. эм хэрэээкэзи, эм пузінзи балзихачи

тэи-тэнии эм хэрэээкэзи, эм пузінзи балзихачи, эм зоо доолани.  
тэи-тэнии хэрэээкэ-тэнии~, хэрэвэ пиктэгуји баахан(и) туи бими~-дэ.  
эс(и)-тэн(ии) пузін-тэнии эм наонзокаам(ба) баахани пиктэгуји. туи бии~,  
туи бии, эм модан-та(нии) пузін моова моолахам(би) хамиалан(и)-тэнии  
хэрэээкэ-тэнии, пузін пиктэвэни чоолараа чочаин(и)-гоан(и).  
эс(и)-тэнии тэи пузін-тэнии соңгоми~ туи бии,  
гээ тэи хэрэээкэ пиктэвэн(и)-дээ узиин(и)-го(ани), хаис(и).  
туи тараа-тэнии, тэи наонзокаан дааи урэхэ~н, хаива-даа хэм ваалохан,  
туи тараа ун(дииси), хаириин(и)-гоан(и). эм модан, купиин(и)-гоан(и).  
хаидо, хэрэээкэ энин(и) ундиини, "эни ичэгуруу," ундии,  
"маңбо хэи эзи пакаалара," ундии, "адалика амбааңко,  
адалика нэуңку," ундиини, "хэи эзи пакаалара"-м-да.  
гээ наонзокаан-тэнии туи пакаачии пакаачии эм модан-тэнии,  
мурчихэни-го(ани), ии, "хаи ундиини тэи мии, энимби,  
хэи эзи пакаалара амбааңко нэуңку боа"-м-да.  
элээ тоокоидоји пакаалаин(и)-гоан(и).  
туи тараа хаириин(и)-гоан(и). пакаалахан, туи тараа,  
пакаан(и)-тэнии боңгалио~ энэин(и)-го(ани),  
туи энэми эм зоо сиинчизэни энэхэни.  
наонзокаан-тэнии сииндулэ,  
пакаам(би) жапараа дуиси тоориин(и)-го(ани) чала.  
эм пузінзи, эм энини-мэ~ бии хэрэээкэзи биэ ундэ тэи зоо доолани.  
туи тараа-тэнии, эс(и)-тэнии пузін-тэнии соңгоин(и)-гоани,  
ундии(си) тэи наонзокаам(ба) ичэрээ, "эни ичэгуруу~," ундии,  
"ичээчис(и)-нуу," ундии, хаи, "эм хэрэээкэзи~,

эм наонзокаанзи киатавани уи-дээ эчиэ баара-нуу," ундиин(и)-го(ани),  
 "наи мэдэвэ-дээ хайдо-даа доолзиачис(и)-ноо"-м-дэ.  
 эң наонзокаан-танин, "мии-кээ саараси," ундии,  
 туи тами зоонгоин(и) ос(и)хан, "а~ а~," ундиини.  
 "баланаа~-каа наи-каа зоохаан," ундии,  
 "эм хэрэзи... эм хэрээкэзи эм наонзокаанзи, киатаван(и) наи баахан,  
 моо моңгокто-даа моолсимаари."  
 тэи-тэнии-э~ дааи зилганзи соңголохани-гоани пузин-тэнии,  
 "тэи пиктэживэ, хэрээкэ чоолараа энэхэни," ундиини,  
 "мии моолсиидојија," соңгоин(и)-го(ани),  
 тэи наонзокаан ундиин(и)-го(ани),  
 "эни-э~ мии сии пиктэс(и) таамби," уңкини.  
 э~ң эс(и)-тэнии пиктэжи баогоха~н озоктаи-гоани туи,  
 наамансии-даа озоктаи таин(и)-гоани, эң сиаванкин,  
 туи тараа ундииси э~ң тадо туи таи,  
 хэрээкэнгуни-тэ(нии) хэмэ биин(и)-гоан(и) тэи эктэ хэрээкэ.  
 эктэвэ баахани-го(ани), хэрээкэ.  
 эң туи тараа эси-тэнии ундииси э~ хаириин(и)-гоан(и),  
 наонзокаан туи гусэрээндүхэн, таванки энүи-гоан(и).  
 "хэрээкэмэ эним(би) хуэдэхэн ундиини," ундии, энүхэни.  
 тэи хэрээкэмэ энин(и)-тэнии,  
 тэң, уикэжи даадоани-ла лаапаасаа~н илисиа ундэ,  
 "эни ичэгуруу хао(си) пулсикэси-э, мии хуэдэхэмби-э."  
 "абаа~ купихэмби," ундии, "пакчираангои(вани) эчиэ саараја,"  
 ундиин(и)-гоан(и). эси-тэнии туи тараа наонзокаан туи зоогби исигоха~н,  
 сиарии хаирии тахан эси-тэнии ундииси, эң ахооталам(и) дэруухэни.  
 э~ң туи тами ундииси э~ң эм модан-гола ундииси, эм тоова ваахани.  
 э~ң ээвугүхэни. "эньэ~," ундииси, "чимана, тоова ваахамби," ундии,  
 ньанга пиналагораа ээвугүхэни, мээн зоокчији.  
 "тоова ваахамби," ундиин(и)-го(ани), "мии.

чимана њаанигоиси-ноо," ундии, "њаанизаачи-ноо," ундиин(и)-го(ани),  
"дуиси." "њааниур(и)-гоани-а~, " ундиин(и)-гоан(и).  
эс(и)-тэнии ундииси э~нэ зиа чимани наонзокаан-гола  
токи(ва) аңгохан ундииси таванки тоохан ундииси-э,  
эң токидоа(ни) ундииси-э, э~нэ уликсэвэ тэучихэни  
тэи токидоани-ла ундии(си) эси-тэнии ундииси-э,  
тоо пухинзие-мања, ирпоңгоани аңгохани, тоо пухинзие-ни ундииси-э,  
тэи токива соптаңгилахани-а-да. эң уликсэвэ, хэркэхэни-го(ани) тэи энини.  
туи тараа-тани ундииси э~нэ, "гээ, энурру," ундиин(и)-го(ани),  
"эугуруу," ундиини, "мии, уивэ-дээ хаигоија,"  
э~нэ тэи-тэнии, тээтэкэнэ, эм жуэр, гирам(и) энэни, хэту энэин(и)-гоан(и),  
хаи, тоо пухин(и) гучи хаи масиачигилаи тэи эгзилэ уликсэвэ ээвугуи.  
наонзокаан-тани ундииси, уликсэвэ-лэ улээмбэни~  
доовани-ла ти~ас пиналахани туи тараа, тоо таос(и) энэхэни,  
тэи жулэс(и) энэхэн чадо, моо чиала осираа~ сирираа биэ ундэ.  
чадо-тани доолзие(и)-гоани, "энэжэ~, " ундии,  
"њоани энини амини, тоо пухинзие-ни, хаи, ирпоңгол биичи-нуу," ундии,  
"гоини пиктэни гоини-гоани-а, мимбие-лэ сиңгэрэин(и)-гоани-а,"  
соңгочиа ундэ, тэи-лэ хэрэээкэ-лэ,  
чава досизараа наонзокаан-гола энинчији энухэни.  
э~нэ энинчи(ји) энухэн туи тараа ундииси эси-тэнии ундииси-э,  
"эним(би) багохан-тани(и)-а," ундиин(и)-гоан(и),  
"мимбие сиңгэрэини-э," ундии.  
эси-тэнии туи тараа, энинчији гаазохан эси хаива,  
уликсэвэ эгэи гаазохан, пузин агдаин(и)-гоани-а~  
пиктэји зиезүхэмбэн(и) туи тараа ундииси  
э~нэ уликсэңгу(эни) пујуучии сияха~н, эң туи тараа ундииси,  
тэи, пиктэвэни-лэ ундииси энин(и) бааро(ани) ирагоин(и)-гоан(и).  
э~нэ исигохани, тэи хэрэээкэ-тэнии долбо инэдэлэ тэи хаиңгодоји  
зобохан-тани туи тараа ундии(си) пиктэји багохани-гоан(и).

э~н ундииси, "энэжэ, най эним(би) баогохани-а," ундии,  
"эни ичэгуруу, синзи минзи туи бичин-тэ(нии) хаи тэээ," ундии.  
"дааи армиангогоар(и), дааи армия баароан(и) дэрингугуэри-э," ундии,  
эс(и)-тэнии тооичи энэрээ-лэ ундииси,  
э~н даа(и) маңбо баароа(ни) жуэзиэр(и) пуикугурээ хожихачи.  
горо бичэ зиза бичэ элээ.

10. жүргии мургэн

эм зоо доолани эикэ нэү~ балжихани, хаи-ја~ эикэ,  
эм мэргэн, пондазооко-да, зуэзиэри.  
туи балзии~, туи балзии тэи-тэнии ааң(ни)-тании,  
долбо тоокораа долбо эугурээ там(и), бэјум(бэ) бэичии,  
тоова тоикандии, мапава манаи таини-гоан(и).  
а нэуни пузин-тэнии зоогдо-тании, э~ң Заарил(а) Запагои, хаи,  
хосиктала хоэии, эриңкулэ эсэлигуи там(и), туи уилээ ундэ.  
туи бимээри~, туи балзимаари эм модан-гола ааңни ундиини-гоан(и),  
"аапаңго~, " ундии, "эјэ калтаа-тании пулсим(и)-тании, усэлтэ-дээ оинаха~н,  
бэјун-дээ хаэинахан," ундии,  
"эс(и)-тэнии мии пэрхиэиэ калтаа баароа(ни) ичэндэм(и) энээмби,"  
ундиини, "чимана." пондазооони ундиини-го(ани), "аа~, " ундии,  
"таос(и)-каа ээи энэрэ, энэури-э зоомбора"-м,  
"тајаа калтаа баароан(и) буэ сагзилпо энэхэни, эмун-дээ эчиэ мочогора,"  
ундиини. "хаи наи энэин(и) таондо(ани) будэрээ," ундиини.  
туи хисаңгораа апсиңгохан. э~ң эиа чимани-ла эрдэ,  
мээн тээрии эрилэн(и) тээхэ~н туи тараа-ла ундииси  
эс(и)-тэнии ундииси-э, пузин-тэнии ааг(би) сиягоан(и) таини осихан  
эси-тэнии, тэи-тэнии, эдэдэ хулэуугум(и)-дээ хулэуугуэси,  
тэи-тэнии голзондоји тээсиэ ундэ, нэуни-лэ.  
ичэини-лэ ааңни-ла баараэигохан коаң коаң-да, эси сусугуи.  
ичэин(и)-тэнии тэи-тэнии зуэ, мучуукээм(бэ)-тэ(нии) туи поипогои,  
туи поипогои там(и) тэи, комбоји, хулэуучиини бичини.  
эс(и)-тэнии мэргэн-тэ(нии) ајакталахани-гоан(и).  
баңсалахани ниэрии нолэинэиан(и) тэи комбовани,



голзон(и) хаичиани чуул энэйзиэн(и) доочиани.  
 э~н туй тараа тэй мэргэн-тэний таванки сусуи-гоани, боачи ниэрээ-дэ.  
 нэучији ајакталараа-да. эс(и)-тэ(нии) тээ таос(и) энэми  
 лэк лэк таидо(ји) ичэгүхэни, гидадоани-ла ундииси, э~н хамаси.  
 хэрэ~ нэун(и)-тэний ундииси, насал ьооиган жапалаачиин(и) бичин,  
 гида дуэдуэни. эси-тэний мэргэн-тэний хэмэ биилэји-тэний,  
 гидаји туй сүэкээлэгүхэни хамаси туй-дэ.  
 нэун(и)-тэний ку(к)пучуудулэ покчоиган туукэ ундэ, пэрууни.  
 энэпи-э~ ичэини хаиси, пэруу ьооигаа~н аора ундэ, туй чадо биэ ундэ.  
 хоон(и) туухэн хоон(и)-да. туй энэпи-э~ ичэин(и)-даа, хаиси, туй би.  
 "ээдэндэми~ бэлчиндэми нэүји ваахам(би)-тэний хаинаа-да."  
 хамаси мочогопсиңкини. элээ исигойдоји ичэгүини-лэ ундииси,  
 нэуни илигораа~ ээлэји гуичигүми-э~ биэ ундэ, "аис(и)," ајакталараа кур кэчэригүми таванки-ла ундииси, энуй-гоани.  
 "эктэний аргани~, эктэний муруни эгэини~, аманаа тээлуңгуи биэчи-кээ"-м-дэ,  
 "эм тоокпон, саңгичаан(и) тактолаидоји зоан мурум(бэ) мурчи-јэ"-м-дэ.  
 "мимбиэ аргалахан-тэний," ундии, "туй-дэ."  
 э~н таванки-ла тэй мэргэн туй энэхэн. тэй энэгүи-тэний,  
 сусугүи-тэний хаириини-гоан(и), зоогдо. забдон гарпаини-гоан(и), баксачи.  
 баксачи гарпахан-тэний ундиин(и)-гоан(и),  
 "эй, забдон, сэптүрээ гоар туурээ таи осини мимбиэ буикин унхээри"-м-дэ.  
 э~н пузин-гу(лэ) энүхэни хамиала(ни) туй би-гоани.  
 эм модан палаам(ба) ахиригоидо(ји) лэк зооңгохан тэй забдомба.  
 ичэхэни-лэ ундииси сээмзи~ осихан бичин забдони ојаани-ла ундииси.  
 эң сэптүми~ осихани. эси-тэний пузин-гулэ ундииси жапагохани тэй,  
 забдомба-ла туй тараа хангиси нээкүхэни ундииси,  
 "э~н ээ, эси ачааси эи агаа, аја~ биэси."  
 э~н туй тараа ундииси зиа чимани тээгүхэни  
 эс(и)-тэний ундииси эрдэ тээхэни. пузин-тэний ундииси

э~н эи сиама(би) саңгаван(и)-даа хоипом(би) хэм ачогоиэији гэсэ,  
опава жапахан туи липарам-да, саңгар анаа осииэиа(ни).  
туи тараа-тани эс(и)-тэнии ааг(би) пурээн ахораван(и) тэтуи-гоани.  
э~н хэм тэтугүхэн, туи таиэији гэсэ ундииси боачи ниэхэни ундииси эси,  
э~н гороп(чи) соктакаамбан(и) жапагохани ундииси  
э~н туи тараа ундииси-э,  
пэгбурэвэн(и) жапагохани эси-тэ(нии) таванж(и) энэпснжин зурии-гоани,  
ааг(би) поктован(и) дахам(и)  
поани удэвэ сааори, поани удэвэ сааваси бичин.  
хоомбачи энэм(и) осини котолоо там(и) оонэи коататах туурии~,  
хумэси мукчулээ там(и) хумэс(и) кубдурэм туурии, туи таа ундэ,  
соктажи, эси-мээ тэтуэхэн отоливас(и)-гоан(и).  
э~н туи там(и) ньанга~ энэиэији гэсэ-лэ пуэин-гулэ ундииси-э,  
эмуту ааг(би)-ма(т) отолихани.  
ааг(би) горочи гопороачирахандо(лани) тэрэк тэрэк тэрэк, туи энээ ундэ.  
хоони, хоони аанни тактоолахани хоони энэлүхэн тэи пуэин-гулэ,  
туи-тэ(нии) чадои-даа масиэи туи энэлүхэн тэи-лэ.  
поан(и)-даа сааори пос туи энэми~ энэми-э-лэ унди(иси),  
эм дааи ньарончи агбиңкин тээ~с биэ ундэ.  
туи ньарончи агбиндиэиэији гэсэ пуэин-гулэ ичэини-гоан(и).  
долимбани элээ~ исиидоэи-ја-да. тажааэиала эси гада~л гада~л таа ундэ.  
ньоамбани ачапчи хаи жака ундииси, гаакисираа~  
саксиисираа там(и) ичэи туи тами ундииси,  
э~н наи-ноо хамачаа-ноо эрдэнгэсиини-го(ани) пуэин.  
туи лур энэин(и)-го(ани), туи хатанэи.  
туи тами элээ исиидоэи ичэгүхэни аанни,  
тэи-тэнии мээп(и)-тэнии бэјэи-тэнии,  
дэн дэ~н сирпэээи катарагороа эиэуин(и) бичини.  
э~н туи эиэум(и) эруун бичи(н)... эиэуини.  
эн пуэин исиэиэији гэсэ, эн туэпунэи-лэ туи зулэс(и), хаираа, илигохани.

э~н ундиин(и)-го(ани), "аапанго~, "ундииси, "эрдэнгэ~ хаи-даа," ункин,  
 "хаандам(и) эичиси," ункини. "мии-тэнии мурчихэмби," ундии,  
 "хэсэји~ аңмаји буниндэгуми, зоо боа исигоари-а"-м-да.  
 "эс(и)-тэнии симбиэ эиду ичэгүрээ-дээ эиду бурбур(и) бижээ-мэ," ундиини.  
 "эң мимбиэ буикин-дээ эзи соңгора," ундии, эс(и)-тэнии омондоји бии,  
 ситахава ачораа буухэни, нэудуји.  
 "эивэ-тэнии~ бими-э балзими-а эи... эмбэ,  
 элчивэ-дээ ахаава-даа баарии осини, тэсчиухээри-э"-м-дэ.  
 э~н туи уми~ ааңни-ла буикин.  
 эс(и)-тэ(нии) пүзин-тэнии эчиэ-дээ соңгоа ааг(би) букимбэни-дээ эс(и)-тэнии,  
 соктани кап нээриизији гэсэ ааг(би) тэрэк нээми,  
 эс(и)-тэнии тэи удэвэни-лэ, моова-ла, аноси-гоани~ туи тараа ундииси,  
 эгэивэ баргихан моо, туи тараа-тани, аагби-тани коригоани аңгохани.  
 эм, хаи-даа даалиасиэиани эм хамачаа-даа иирэсиэиэни-дэ.  
 туи тараа эси ундииси хозихан таванки-ла туи энэпсиңкини зулэси.  
 покован(и) чуул-да. таванк(и) энэми иси-гоани, хаива,  
 ааңни аоңгакаани бичини.  
 э~н туи тараа пүзин-тэ(нии) иириизији гэсэ ундииси,  
 элээ сиун туугуин(и)-го(ани). тава-даа эчиэ ивандани хаирадаани,  
 туи тараа ундииси-э, э~н иихэни аоңгачиани  
 туи тараа ундииси, чэк-э~ забдом(би) нээкурээ,  
 буридуји чэк нээхэн лэкээлэур(и)зи, туи тараа-тани,  
 апсиңкини, ааг(би) бэундуэни.  
 туи аориидоани-а, этэтэ~ нээлэм(и) дэруухэни.  
 хаилоо маңга элээ мораи-ноо~, хаилои-ноо осихани хэрэктэни.  
 хэрэктэлэји маңгази нээлэин(и)-гоан(и), осихани,  
 хэрэктэји баариин(и)-го(ани). туи тами ундииси-э,  
 хаи-даа~ ларгиан-даа анаа осигохани.  
 эм хаи-даа-да нээлээдээси осигохани-гоан(и).  
 туи тараа-тани туи, хэмэ~ аории-гоан(и) чадо.

туи тами ундииси, досиѝини-ла эм зэргулѝи эм јунгурѝи зичин бичин  
 тѝи-тѝнии, соңк соңк соңк эус(и) соңк соңк соңк, пуңгичиэл ундѝ.  
 э~н туи таиѝиар(и) гэсѝ ундииси эс(и)-тѝнии ундииси, тѝи хаи-ла,  
 ичѝини-лѝ тѝи-тѝнии) хаморои зулуи илигохачи бичин тѝи уикѝвѝ, иимѝѝри.  
 пуѝин-тѝнии ундиин(и)-го(ани) тѝи, симуѝчиин(и)-го(ани) тѝи, забдончи,  
 "ѝѝ забдоа~н, сии-тѝнии ундииси-ѝ, амаа забдон-даа биѝсиси-ѝ~,  
 амаа амини, энини, гиамата ѝидиидуѝи, зичини, забдон,  
 олибиңкини забдони таачи," ундиини.  
 "ѝ~н тѝи зуѝ гурумбѝ-тѝнии, эмуту хаңгова сиңпули-мѝѝ тоикораа,  
 ѝѝѝ таѝаа оони хѝм туи ачагороо," уңкини-гоан(и).  
 э~н туи уми-лѝ тас~ гарпахан тѝи зуѝ гурумбѝ-лѝ.  
 камор туи, иихѝни-гоан(и), туи зуѝр кап-да, туи-дѝ.  
 ѝн пуѝин-гулѝ илигоиѝиѝи гэсѝ ааг(би) гидаван(и) жапами гидахани.  
 гидаидоани гѝлллл абанагохачи. ѝн долкинѝиала~ жаралигохани.  
 "ѝ~н анда~ пуѝин ундииси, симбиѝ-лѝ туи аргалаѝараа~  
 туи таѝараа-м ѝчиѝ мурчиѝѝпу," уңкин, "ѝн буѝ-тѝнии мурчихѝпу~, ундииси,  
 хахани пондаѝоони-даа хаха~, масини понѝоони-даа маси," ундии,  
 "буѝ-тѝнии сии аагбас(и) ѝиду хѝм мутуучигуп(и)-тѝнии,  
 симбиѝ ѝоокчиас(и) ваандагогоар(и) тахапо"-м-да.  
 "ѝ~н буѝ зуѝ наи-тании кап, тоикохани," ундии, "забдонси.  
 тѝи-тѝнии зуѝ оони хѝм кап ачагохан.  
 каории ваалаѝиа(ни) мадагоини," ундии,  
 "амбаа~н сѝвѝѝн, холдондоани ундииси,  
 хоѝоадоан(и) ѝооѝи исигоор(и)-ноо абаа-ноо," ундиини.  
 "ѝ~н бурмѝѝри-ѝ балѝимаари-о чихасо."  
 э~н тѝи, туи тараа туи хаирини-гоан(и) туи биидуѝни  
 ѝлѝ гиваналохан дол(бо) доли-даа сиихѝни-го(ани),  
 гиваналохан эс(и)-тѝнии нѝѝмѝи~ осини пуѝин-гулѝ, сусугухѝни, таѝаѝиа.  
 эс(и)-тѝнии ундииси туи зуѝгуи-гоани~ сиун тѝѝ~ уиси осини, хаива,  
 аагби кориховани баогохани, исигохани.

э~н ааг(би) коривани исигоиџији гэсэ ундииси  
эс(и)-тэнии хэм ачоктагоиџији гэсэ аагби-ла,  
сокта мэндээ(н) пиналагораа таванк(и) туи эупсиңкини.  
эң туи эугуми~ горо эугухэн џиџа эугухэн,  
э~н маңбоңгочији эугуи-гоан(и) туи тараа жоокчији даогохани  
пуџин-гулэ ундииси эс(и)-тэнии ундииси-э,  
сокта мэндээн аагби иивугухэни туи тараа џиркэгүхэни.  
џиркэгүиџији гэсэ ундииси э~н пуџин-тэнии ундииси хаирии-гоан(и),  
эң хаи палаамби-ла бэсэрэји ачоиџији гэсэ  
тэи бэсэрэ пэгиэлэ хүлэлүхэни. эң хүлэхэни-э~ тэи-тэнии аагби,  
эилээ ваахани бэјун сиңактавани-ла хэ~м тэи доочиани нээхэни  
туи тараа аагби тэи доочиан(и) нээхэни, тэи бэјун,  
сиңактаџи-мања доролам(и). э~н туи тараа эси-мэ(т) хэм дасигохани.  
туи тараа-та(нии) хэм чилпачигохани, эң палаан палаанџи осигоиџиани.  
эң туи тараа~ пуџин-гулэ элэдэлэ соңгои-го(ани),  
эси-мэт, "а(г)аа~," ундииси,  
"мии, ундије эчиэ агдам(и) энэхэс(и) үлээн-нуу," ундиини.  
"сии-кээ аја," унди, "амаанаа аңгохан жоогдо, џааџаачи-ма"-м-да.  
"мии-тэнии, эвэңк(и) дэлхэп(и)-тэнии хаи гаакин(и) гахараа,  
хаи саксиин(и) чаорараа таџараа," унди, "мимбиэ."  
э~н туи уми~ соңгом(и) хөжихани ундииси  
туи тараа эс(и)-тэнии пуџин-гулэ баараџигохани эктэдуји очогохани.  
э~н туи тараа ундииси, үлээн баараџигоин(и)-гоани, пуџин.  
э~н хоникаалагохани сидэрилэгүхэни хоиполагохани эс(и),  
эс(и)-тэнии ундииси пуџин-гулэ ундииси,  
пури нантаџи(ани) оталагохани ундииси эси-тэнии ундииси,  
эң харији чикиасиџиани тэтуэлуғүхэни таванки-ла ундииси э~н  
сэџикэм аапом(би) тэтугуми ундииси-э, боачи ниэхэни.  
эң боачи ниэхэни уикэји-э-лэ ундииси-э~ моокаан(џи) түзүхэни ундииси  
таванки-ла эси ваис(и) эүхэни. э~н тооила сиун...

сиин кираава исихани-а~ эс(и)-тэнии мурчиин(и)-гоани,  
 "хао(си) энэури, хэи энэур(и)-нуу соли энэур(и)-нуу."  
 туи тараа соли энэпсиңкин муруни.  
 таванки-ла пузин-гулэ туи дүэрэм(и) энэи-гоани,  
 туи энэми-э~ энэми-э-лэ, эм хооңко эугухэмбэни ичэхэни зулилэни.  
 э~н тэи хооңко порондоан(и)-тании эм зоокаан хэвјэйсээ~н биэ ундэ,  
 нучикуу зоокаан. э~н ундииси туи тараа пузин-гулэ таоси-о~  
 исихани ундииси эс(и)-тэнии сиин кираани исихани.  
 ичэини-лэ ундииси хаи, тулиэдуэн(и)-тэнии  
 боачаан даилаан(и) зэргэзиэни тоороко~ туигэку бичини.  
 э~н эси-тэнии сиин кираадоан(и) ньохорааңкини~  
 тоои токондоани ньохорааңкини ундииси таванк(и) тооми-ла ундииси,  
 э~н уикэвэ нихэлигуидуји ньохорааңкини ундииси  
 э~ уикэвэ нихэлирээ иихэни.  
 э~н чад-ла эм пузин биэ ундэ, илихани.  
 "анда, ээ зичиси-нуу~ ээ исиндахас(и)-ноо,"  
 тэң хаал(и)-даа хопалачахан-каачи-а тадо, кэркичэду,  
 пуксу(н) кэркичэдуэн(и)-тэ(нии) эм мама аора ундэ элээ~  
 накандола иигуми-гулэ пузин-гулэ тэи талгиалан(и) ньохорааңкини.  
 э~н туи тараа мама-ла куэ~п тээхэни. эң пузимбэ-лэ озои-гоан(и).  
 "эни ичэгуруу~ ундииси,  
 хаи наи бимээр(и)-гдэ туи ньохораачимаар(и) пулсиису," ундиини.  
 "э~н тээрру," ундии, "мэдэји гусэрэгуи."  
 э~н тэи пузин-тэнии чаалахии јаохиин(и)-го(ани) тэи мама пиктэни.  
 э~н эси-тэнии сияха~н туичихэн ундииси,  
 эс(и) хачин жакава пујуучимээр(и) туи тараа ундииси,  
 пузин чад-ма(т) сиарии-го(ани), тэи хад-инивэ эчиэ сиарани-ос.  
 э~н пузин гусэрэи-гоани, ааг(би) туи туи тахамбани.  
 э~н туи тараа ундииси-э, чад-аоңгии-го(ани), сиксэ.  
 эң сиксэ-лэ мама ундиини, "эни ичэгуусу," ундии,

"эси долбо, хамачаа сиасимбан(и) доолзихан-даа эзи зурэ, эзи ниэрэсу,"  
ундии, э~н ундииси хаи, "эң хао(си) энэзэпу, хаи ниэрэ,"  
ундиин(и)-гоан(и), тэи пиктэни. э~н тэи пиктэни ундиини,  
"анда~ минзи гэсэ аогоари," ундиин(и).  
хаилоо улээн пузін бичин, тэи пиктэни, мама пиктэни, пузін.  
э~н ундииси туи тараа ундииси гэсэ апсиңгохан, хаидо,  
гилонзиа калтаазиала, тэи зүэ пузін.  
э~н туи тараа апсиңгохандоан(и)-тани ундииси-э,  
аоми-а~ долбо пузін-гулэ туи зобохани, чомсак оңасаи-гоани, сиксэ.  
аопи-а сэнэхэни долбоа-да.  
анана хэдун пуксин(и)-тэни маңга пуксинда хэдунда ундэ  
коңгаралдалда кутэрээлдэлдэ туи тулиэвэ-лэ, пузін-гулэ чаңсоп тээхэни.  
э~н ундииси-э, зиани ундии, "анда хаос(и) энэиси," ундии,  
"эньээ хаи уңкин"-м-дэ. э~н туи тараа апсиңгохани.  
э~н туи тараа ундииси хэдун-гулэ, жэбэлээ~ осиини-ла ундииси  
э~н уикэлэни киикоах наи нихэликэ ундэ.  
эус(и) эус(и) эус(и) эус(и) таос(и) таос(и) таос(и) наи иивугуэ ундэ.  
э~н туи тами ундииси-э, "хаидо нээури," ундии,  
"малодо нээм(и) аја бизэрээ"-м ундии,  
эс(и)-тэни мало баароани нээндэчихэн, нээхээл ундииси-э,  
эң нээхэмбэр(и)-дээ заароани ундииси э~н эи кэтэң тэи кэтэң ниэгүхэни.  
э~н мама ундиини, "ихэрэ таавогоосо," ундии, э~н ихэрэвэ таавогохан.  
"э~н эни ичэгуруу," ундии, "ичэруу," ундии,  
"тэээ-гдэл аагбас(и) гаазохачи-о~с, гои гурун...  
гои наија-гдал гаазохачи-ос," ундиини.  
э~н ундииси туи тараа-ла пузін-гулэ энэрээ ичэи,  
"улээн јаасироо," уңкин тэи мама.  
пузін-гулэ ичэи, јаасиини-ла ааңни бичини.  
э~н эс(и)-тэни ундииси, "тэээ, тэрэк гаазохани, гаазохачи,"  
ундиин(и)-го(ани) пузін, "аагби-а"-м-да.

э~н эс(и)-тэнии мама-танин мэууриwэ гэлэлүхэн.  
тэй зоо эзэни пузін, мама пиктэни мэурии-гоани-а~,  
наи мэуриини ээ улээн-нуу. э~н туи хоони-а-даа мэхэ~н  
хоони-а-даа мэхэн ундииси эс(и)-тэнии ундииси,  
э~н мама ундиини-гоан(и), "гээ, эни ичэгуруу, мэуруу," унди,  
"ааг(би) хориочим(и)."  
"эпээ~ даака, мии балзиханзији, мэкээчими-дээ эчиэ купизэ,  
наи мэуриwэн(и)-дээ эчиэ ичээжэ," ундиини.  
"э~н ундииси, аја," унди, "отолиаси-даа мэуруу," унди, мама.  
эң туи тараа пузін-гулэ уңчухумбэ, јаңпаамба наи уихэн,  
јаңпаам(ба) уихэн, тэй пузін, зоо эзэни пузін, ньоан(и) оңбодоани.  
э~н уңчухумбэ жапахани ундииси эс(и)-тэнии ундииси,  
оңбоји туиңкуини каапиа каапиа таи-гоан(и), јаңпаани.  
уңчухум(бэ) паачилаи, оңбон(и)-даа каоэараи, туи кээндэлилүхэни.  
э~н туи кээндэлими кээндэлими ундииси, гээ эси-тэ(нии) пузін-тэнии,  
улээн мэулүхэн-тэнии, э~н туи мэхэн мэхэн,  
хоони-а-даа мэупи-э пузін-гулэ, тас сиргумусими~ хозихани.  
э~н эси-мээ мама, илии-гоан(и). мама мэурии.  
эң мама-та(нии) тэпчигүхэ~н, абаа мама мээрэси,  
"эң гучи мэуруусу," ундиин(и)-гоан(и).  
э~н эс(и)-тэнии тэй зоо эзэни мэулүхэн тэй пузін.  
эң тэй пузін мэхэн мэхэн ундииси-э, гоидам(и) мэхэ~н,  
хоони-а-даа хадэ модан кээндэлихэн эс(и) эс(и)-тэнии бунзиэ,  
"гээ, эни ичэгуруу, мэуруу," ундиин(и)-го(ани), "сии."  
эс(и)-тэ(нии) пузін-тэнии эс(и) гучи мэулүгүхэн.  
эс(и)-тэ(нии) пузін-тэнии мэуми мэуми јаајаи мораи талохани.  
э~н јаајаи мораи талораа хозихани.  
э~н туи тараа ундииси э~ эси-мээ мама жапагоин(и)-гоан(и), мэугүји.  
эси-тэнии мама-танин, паачи(лаи), "хэ~и хэй," морайни-ла  
киазир нэптээ~ нэптээ таа ундэ ундииси,



э~н туэң паачилаини куузур боотоа туурии ундэ,  
эң туи тараа ундииси-э, эс(и)-тэнии мама-танин,  
јаајаи-ја, јаајаи-ја, ундииси, туи тараа ундиин(и)-гоа(ни),  
"эни ичэгуруу~, " ундииси, "мэум(и) отолиасимби-а~ уңкис(и)-дээ,  
мэум(и)-дээ отолихаси... отолииси биэс(и)-кээ," ундии,  
"јаајам(и) отолиасимби уңкин-дээ јаајам(и) отолихаси-а"-м.  
"сии-кээ наи ээрни осиидоји, сиксэ буикин наи-даа чимии хоригожаачи~,  
чимии буикин наи-даа сиксэ хоригожаачи-а-м јааин(и)-гоан(и)."  
эң эс(и)-тэнии мама-танин масилаха~н, эси-тэнии мэурии-дээ мэуриин,  
мэуриин-дээ мэуриин, туи тамин, пиктэчији ундиин(и)-гоан(и),  
"тэмэрируу," ундии, "поломбихан-ноо абаа-ноо"-м-да.  
эс(и)-тэнии ундииси э~н пиктэни-лэ, энэрээ тэмэрихэни, "эньэ~, " ундии,  
"бул талогоха~н," ундии, "полоңко осилогохан," ундии,  
эси-тэнии мама-танин масилаи-ја~ туи јаајам(и), туи мэурэ ундэ.  
туи мэуриини, мэуриини-тэ(нии) эси-тэнии эмуту~,  
гармакта-маа Заңгараи-маа~ эрдэлээси,  
зилгаңко осилохани эси туи тамин-а-тол, кэичээкэ(эн), пиктэ...  
"эньээ амаа, пэинэңчиэн(и), тэрэк тээндэгүхэн бичини," ундии,  
"э~н хусэ осини амаа осироо~, эктэ осии, эньээ осироо," уңкини.  
э~н нэун(и)-тэнии, "агаа~ тэи, сэңгэ эньээ хоригохани-даа  
сэңгэ эньээ хоригохани-даа," гээ, эс(и)-тэнии мэргэн-тэнии,  
эң ньохораачии-гоани, хаидо-гдал баахачи-а,  
хоогоар(и) тэи мама баароа(ни) ньохораачии-гоани тадо.  
э~н эси-мээ туи сияха~н, аркикаачихаал апсиңгохаал.  
эң тэи, мама-танин ундиин(и)-гоан(и),  
"чихалаи осини) мии пиктэзијиэ мамалагороа бируу," ундиини-гоан(и),  
"гэсэ осиигороа-да," тэи мэргэнчи.  
гээ, мэргэн асигоји баарии-гоан(и) чадо, хорагоха~н, асигоји баахан.  
э~н чадо туи бии-јэ, эм хадолта~,  
туи зиимасом(и) тэи пузин-даа тадо бии гээ эс(и)-тэнии,

ааңни осин(и) тэй, мээп(и) хаихан,  
амбааңгоји тэй җабдом(би) гааҗохамбани гэлэндэгуини.  
а пуҗин-тэнии җоокчији энуйн(и)-гоан(и), нэузимэ.  
эң пуҗин җоокчији энуйдуэн(и)-тэнии мама ундиин(и)-гоан(и),  
"эни ичэгуруу," ундии, "хаива, киргиан буучум(бэ) гааҗороо," ундии,  
"җиагоји. э~ң эмучкээн бииси паихапси-тании-а"-м-да.  
э~ң гээ эси киргиан буучукээм(бэ) гааҗом(и) энуй-гоани.  
э~ң җооји исигоха~н, җооји исиго(хан)... эс(и)-тэнии,  
тэй киргиан буучун-тэнии, җээ мэргэн.  
элээ-дээ моо ңаанихани, элээ-дээ моова иивугухэни,  
пуҗин-тэ(нии), бэлиичул сияорива пуҗуури, элээ.  
хаива-даа таадааси. тэй алдандоан(и)-тании,  
тэй хамачаа най җааҗаивани амдааси, хамачаа най,  
җаривани амдааси тэй, киргиан буучун-тэ(нии) җээ јэнуэ, җиагоји,  
җиагоји баахани. эң туи бими-э~ туи бими-э эм модан-гола  
киргиан буучунгу-ла сохиак сохиак соңгоа ундэ.  
"э~ киргиан буучун хоон(и) таиси, хоон(и) таиси,  
хаи мэдэ осихандоа(ни) соңгоиси," ундии. "эгэ~," ундииси,  
"сии-кээ саарииси-ноо абаа-ноо," ундиини,  
"сэңгэ эңээ-тэнии, јурбу... јургии мэргэнҗи хаихани-а," ундиин(и),  
"дабдахани," ундиини. "эси јургии мэргэн,  
сэңгэ эңээвэ ваандагоји-а," ундиини.  
"ваандагоини-маңа осихан," ундиини.  
"э~ң гээ энуй маңга энулухэни осини, эси энуй энуй."  
эси-тэнии тэй-тэнии энухэн.  
пуҗин-тэнии баараҗигоиҗији гэсэ тэй,  
ааг(би) соктавани хаиван(и) тэтугуиҗији гэсэ туи, дуиси тоохани.  
э~ң моолчии мочава сиихэн, таванҗ(и) туи энээ ундэ,  
эң ааг(би) поктован(и) чуул, туи энэми энэми-э-лэ ундииси,  
эм тоо тэнии~ ңоани поктовани чаалихамбани баахани,

Зулиэлэни энэхэни.

э~н тэи чала ньаңга энэйзији гэсэ, ичэхэни тоова. энэрээ ваахани.

эң тэи тоова-ла ваараа~ чадэ тээсиэ ундэ.

э~н чадэ тээсиидуэни-э~ ундииси,

тооңгоји ојалани-тол тээгурээ тээсиин(и)-го(ани), пузін.

эң туи тами-а досизиин(и)-го(ани) дамихива омими тээсиидуэни.

јур јур јур јур сиасин биэ ундэ, коңгокто сиасини.

"эи хажала Зидиини~, эијэ јургивэ, хажазиа јургиини."

эң туи тами~ ичэгүхэни, хэсэрэмзис эм мэргэн Зидиин(и) бичи(н),

тэи тоо поктован(и) чуул-дэ.

э~н тэи соктан(и)-тани эи, кээндэли хэм коңгоктова наи нээхэн тэи инда,  
наи нээчиур(и) коңгоктова нээхэн.

эң чалани хуисиин(и)-тэни јур јур јур јур.

э~н ундииси пузін Закпадо(ани) илигохан,

талгиалани тээсиин(и) талгиалани.

э~н туңэпунзи-лэ туи тоигом(и) илигохани.

э~н ундииси, "анда пузін," ундииси, "хаигоји ваахаси," ундии,

"мии, тооңгоја." "мии саарии, тоо, уи тооңгон(и)-ноо"-м-да.

"пулсим(и), бэјун পুলсим(и) ичэхэни, ваазаа-ма," ундиин(и)-го(ани).

"э~н мии тооңгоја," ундиини. ундиин(и)-го(ани),

пузін ундиин(и), "гээ, уликсэвэн(и) Запагоо,

мии нантаван(и) Запагогојија." "гэлээсимби," ундии,

"эктэ наи тээсихэмбэни." "гээ сии нантаван(и) Запагоо,

мии уликсэвэн(и) Запагогојија," туи ундиин(и)-го(ани) пузін.

эс(и)-тэни туи тамаар(и) сории, пакпаримаар(и) дэруухэни.

пузін ундии, "мии саарии-ноо," ундии,

"сии тооңгоси-ноо уи тооңгон(и)-ноо, бэјун পুলсии Закава."

эс(и)-тэни ундииси-э, "хаи туи таиси-да, хаи туи таи."

пузін ундииси, пакпарии, пакпаримаар(и) соримаар(и) дэруухэн,

туи тами ундииси, пузін ундии, "эзи маңга морара," ундиин(и)-гоан(и).

"мии саарасимби"-м, "уи тоонгони-ноо, хаи тоони пулсиини-ус."  
 э~н ундииси-э, "улээн баарасиси," ундии,  
 "мии симбиэ, сэңгэ эньээ тооро-а, порончиани,  
 сэхсэлэји тап энэизиэси наңгалажаамби," ундии.  
 "ии, тэи масилааси ундииси чукиндулэји," ундии, "эктэлэји-дэ."  
 эң пузин-гулэ туи ундиидуэни жапаизији гэсэ  
 хаариакала(хани) јурррррр хао(си) энэхэн-ус хао(си) энэхэн-ус.  
 эң туи тараа тэи тоова-даа эчиэ-дээ хоон(и)-даа тара эугухэни.  
 эугурээ~ зоог(до) биидуэни ундииси-э, э~н зизухэни.  
 эси киргиан буучун инэктэми-э~, "эгээ~, " ундииси,  
 "јургии-кээ саман-танин, буэ зоогдо эньээкээнзи,  
 сэңгэ эньээ биидупуэ, јурррррр, хажаази зичини-ос," ундиини,  
 "эньээ, тоорони порондола(ни) тэң эилэн(и) туи,  
 хаңгандолан(и) туи лооктахан," ундиин(и),  
 "чадо, туи. чава-танин, эньээ уңкин," ундии,  
 "симбиэ, тахани, симбиэ наңгалахани-а ньоамбани."  
 э~н ундииси, "гээ, эси-тэнии чадо туи будиин(и)-го(ани),  
 сокта-даа мэндээн хао(си) энэглэи." э~н туи тараа~ туи биэ ундэ.  
 эс(и) хаис(и) мэнэ эрдэнзији јэнуэлэи~, туи купиеэ ундэ,  
 туи жарии-даа хаирии таа ундэ.  
 э~н туи тамн туи тамн-а-ла эм модан-гола хаис(и) тэи,  
 киргиан буучуңгуни-лэ сохиак сохиак таа ундэ.  
 "хаим(и) гучи соңгочиис(и), хаи мэдэвэни," пузин ундиини.  
 "эгээ~, " ундииси, "саам(и)-каа бииси-нуу, саарам(и)-каа бииси-нуу," ундии,  
 "аакси-танин наи масиани баахани," ундиини, "наизи, мэлзэми.  
 э~н сии эзигуэси, мээнчији тэрун наија гэлэм(и) пулсихэн.  
 гаралахани," ундии, "наива. эси-тэнии, маңгава баахани," ундиини.  
 "ньоан(и)-даа, ньоамбани вааичам(и) чиилахан,  
 тэи наи-даа аагбаси ваараси," ундиин(и)-гоан(и),  
 "тэрэк, тэрихэчи," ундиини.

э~н эси-тэ(нии) пузін-тэнии, тээсиилэји апи тас паачилайзији  
 гаса осираа дэгдэхэни. эң чооңкола нээрри-гоан(и).  
 туи тараа~ маңбо соли энээ ундэ, туи энэми~ энэми-э-лэ тэи,  
 хурээн пороңго(ани) мамаңгоји, пэулээндүэни доохан,  
 тэи сэнгэ энээ тулиэдүэни.  
 тэи-лэ мама-ла ундииси э~н эси, доориини ундииси-э хаи,  
 сээнкүрэ, пооңкираа поиңаоо~ ниевүкэ ундэ. пузін пэгийэлэни нээхэни.  
 туи тараа ундии, "эни ичэгуруу~, " ундииси,  
 "зээ-дээ ээдэкээчихээри-э," ундии, "зээ гаксиандахаари-а"-м,  
 "зээ, зээ-лэ~ тахаари-а," ундии,  
 "э~н аагби, маңгалахамбани ичэгүхэн-дээ-дэ. уи оркини," ундии,  
 "аак(си) сии ээигүэс(и) гэлэм(и), мээнчији тэрун найја гэлэм(и), хаихани,"  
 ундии, "эс(и), тэрихэни," ундии,  
 "һоан(и)-даа ваараси, эуси таоси туи, маңгалахачи," ундии, "соримаари."  
 э~н пузін-гулэ таванки туи энэхэн.  
 таванк(и) дэгдэгүрээ энэи-го(ани), туи энэми~  
 горо энэкэ зија энэкэ ундииси, доолзиин(и)-го(ани)  
 най сиасин зээ бии(-нуу). ииңгүэ~ сориа ундэ.  
 туи энэми~ энэми ундииси, эм иргэн хаиван(и), исихани.  
 тэи иргэнду сориичи бижээ, эзэ(н) хаан вайалани.  
 э~н пузін-гулэ ундииси тэи эзэн хаан, пэулээндүэни доохани.  
 э~н ааң(ни)-даа маңгалахани, тэи мэргэн-дээ хаи, бичини.  
 пузін-гулэ, "агаа~, " морапсинкини.  
 "э~н хэсэ нэку зичини," таа ундэ ааңни.  
 "агаа~, " ундииси, "хамачаа чиитүмээчим(и) най(зи) сорииси," ундии,  
 "хаи исиаси-даа сорииси-а"-м-да.  
 "хэхэи, нэүји зичини, ээ аапаңгоа,  
 мии сии ээигүэс(и) гэлэм(и) мээнчији тэрун най гэлэхэмби-э," ундиини.  
 "хоэйроо," ундии, "эзи сорира"-м-да.  
 "сии-дээ һоамба(ни) ваараси, һоан(и)-даа симбиэ ваараси," ундии,

"гээ элээ тэрихэсу-гоан(и) хоони."

пуэин-тэнии ичэини-го(ани), хаилаваадас улээн мэргэн бичин.

тас насалдолаји, толпами~ ичэхэн тэи мэргэм(бэ), уже влюбилась.

туи тараа таванки-ла, энуй-гоани дэгдэгурээ аагб(и) хозиваандаа-да сории.

э~н жоок(чији) зижухэн, жоогдо(ји) туи бии-гоани.

туи биидуэни-э~ аанни-ла, иргэм(би) далигом(и) зизуи-гоан(и).

э~н тооидо, исигоиэији гэсэ, ааң(ни)-тании ундииси-э, хаизи,

гоаонэи сукээлэгум(и) тоои токондола(ни) туугухэни-э~

эси-тэнии хэи кэчэригуи баңсалаи,

соли кэчэригуи баңсалаи тахан ундииси,

тэи зиакта-тании-а туңмуи-мэ энэхэни-го(ани),

модам(ба) хоолим(и) эс(и)-тэнии ирэгэм(бэ)-тэ(нии) эус(и) таос(и) тутухэн.

жоо осихан. дааи гираңкин дааи жоо, нуучи гираңкин нуучи жоо осихани,

"гээ," ваиси эугурээ, "гээ, ои гурун нуучи жоокчи,

эгэи гурун дааи жоокчи, тоораа балэиисо," уңкини.

э~н сии-тэнии, багиаэиа калтаэиала-даа эм иргэн тээхэн,

тэи мэргэн зижухэни, аагэиани гэсэ-дэ. э~н туи тараа~ туи бии-го(ани).

туи хадолта~ бипи ундии(си), тажааэиала тэи мэргэн даории-гоани.

э~н мэдэвэ гэлэндэм(и) асигэи. эң эс(и)-тэнии мэдэвэ гэлэхэ~н наи,

нэуэи ээигуэи гэлэм(и) мэлээхэни, буурии-гоан(и), хаи осисигилаи.

"э~н тэи мэргэн-дээ ундии мии-дээ пондажооэи эмукээкээни," ундии,

"эус(и) таос(и) жуэмбу(ри), жуэндэуэиэи~

гусэрээндухэн эс(и)-тэнии ундииси-э, эң туи бичин,

"эс(и)-тэнии гиамата ираори-а," ундии, "эус(и) таос(и)-да."

эс(и)-тэнии туи ам хадолта, мэнэ гиамата ирамаар(и) дэруухэ~н,

пуэин хэжомбани хэм тэучихэн ундииси тооичи, гилачи.

эс(и)-тэнии тэи-лэ, маңбоңгоар(и) хэи сол(и) гиолипаари-а~ мэргэн,

тооила хаахачи. эс(и)-тэнии ундииси-э,

тажааэиа-даа чадэ аркива омиха~н хадолта хадол(та) туи тапаари ундииси

тажааэиа-даа ираи-гоан(и) тэи гиаматаңгоар(и) нэувэри.

тэй-дээ хэи сол(и) гиолипаари ундииси-э, мэргэн тооила хааха~н,  
чава-даа туи, гиамата žичиндуэни. аркива омии-даа омии таха~н,  
туи тараа-ла ундииси эси-тэнии ундииси-э,  
эң туи мээн мээн боачи энурээ туи балžiи-го(ани) эси-тэнии ундииси,  
ини сияхам(би) исэлээнži, сиксэ сияхам(би) сиңгэрээži,  
чимии сияхам(би) чичоонži, ирасомаар(и) балžилохачи, элээ.

11. эм мэргэн балзихани

хаидо, эм иргэн балзихани, эм мэргэн, пондазооко~-да.  
э~н пондазоон(и)-тани, зоо дүжэлэни биини-гоан(и).  
туи бии~, туи бии ундииси, туи биидуэни эм модан-гола ундииси  
пузін-гулэ сиксэ боачи ниэхэни.  
багиала зоогдо-тани лээ~игэн биэл ундэ, ааңнаадоани.  
э~н туи тараа ундиин(и)-гоан(и), иигүхэни кэкэңгукун(и)-гоан(и),  
кэкэчи ундиин(и)-гоан(и), "эң кэкэ~, " унди,и,  
"ааңнаадо-каа наи зилгани~ бии," ункин, "гои наи зилгани биини-э"-м-дэ.  
кэкэ-лэ пиар пиар пиар пиар, "ичэндэруу," ундиидо(ани) пагзиалахани.  
эң туи тапи-о~ тоокохани, халакто~ омиакто~ зизүхэн.  
омиактони дабии маңгази. "эзэ(н) пузи~н," ундииси-э,  
"эзэн мэргэн-тэни эзигүэс(и) баахани," унди,и,  
"тэи-тэни ундииси, хоони-а эзилэгүји таиси-а~, " унди,и,  
"тэи мэргэн-тэни ундииси, кои~, инокса~, чаки~, " ундиини.  
"наи хото~, " ундиин(и)-го(ани), эзэнчији. "чихани," унди,и,  
"эзэ(н) пузін, миизимэ сии орондоласи осинаи-тани," ундиини.  
э~н эс(и)-тэ(нии) пузін тэтуэвэн(и) тэтурээ, пузін чихалахани, зүэчиури.  
тэтуэвэн(и) тэтурээ, хаири, пузін-тэ(нии) апији тас паачилараа,  
хаидо нээхэни, пулээ хоипокаамби тэтувээңкин-го(ани) ньоамбани.  
эс(и)-тэ(нии) пузін орондола(ни) кэкэ, кэркичэ(ду) тээсии-жэ,  
туи тээсидуэни-э-лэ, вајала лээ~игэн тоора ундэ.  
ааң(ни) зилгани гусэрээндүи. туи тами пузін чооңкола ичэи-гоан(и),  
чооңко, доосини, зэвэн осираа-да.  
тэи-тэни, хаи бичини, хаилоо улээн мэргэн бичини-э~ пузін-гулэ,  
э~н кадал-даа калтаако, золо-даа зораңко,



хаи-даа калтаа-даа анаа зоран-даа анаа, насал толпами ичэхэн,  
тэи мэргэм(бэ). э~н гусэрээндүмээр(и) тоора ундэ.  
туи тараа ундииси э~н,  
иихэн ундииси хаилараа кэкэ-тэнии хаириин(и)-гоан(и).  
"а(г)аа тээрүү-дэ, а(г)аа тээрүү-дэ."  
э~н таа ундэ, туи тараа тэи-лэ мэргэнзи-лэ ундииси,  
э~н тэн лэкээ ээлэни-мэ ааңни ундииду(эни) хаириин(и)-гоани,  
"аапаңго," ундииси, "наија ханаловаандачи улээн аохаари," ундиин(и).  
эс(и)-тэнии пузин, таду тээ..., чуур(ик)пээчии-гоани, тээгум(и)-даа ајан(и).  
чадо ичэээини-го(ани), туи тараа ундииси эс(и)-тэнии ундииси э~н хаихани.  
ааңни-ла, "наи ханаловаандаси, ханаловаандаси, улээн аохаари,"  
ундиин(и)-го(ани), "наи." "аја~, " ундии, "улээн ааваанзаамби"-да,  
"њамази апсиңговаанзаамби"-да туи заңгиараи, туи тараа ундииси,  
ааң(ни) туи тараа энүхэн, туи дүјэлэ лур-дэ, кэкэ заңгиараидоани.  
э~н туи тараа-ла эси пузин-гулэ ундииси-э, чадо тээсиин(и)-гоани,  
тэи-тэнии ундииси-э, ааг(би) энүизиэ(ни) гэсэ ундииси хаи,  
пузин хазомбани сэкчизгуизији гэсэ,  
тэи мэргэнзи апсиңгохани наива-ха сиаваандадааси.  
туи тараа ундииси э~н чимии тээхэн ундииси,  
тэи мэргэн ундиин(и)-го(ани), "анда пузин ундииси,  
аакчији мэдэсиндэруу," ундии, "э~н ирагои-каа таиси-ноо,  
мимбиэ-кээ гаазовааңгои таис(и)-каа-ноо"-м-да.  
э~н эс(и)-тэнии лээмилэми, пагзиалака ундэ,  
исихан-ос абаа-ос бэктэкээн бими тоокохани.  
"аа уңки-јэ~, " ундии, "уи ирасогоани-а,  
эң бунзиэ корпиазимби мии ирасоми, мэнэ гаазороо"-м-да.  
э~н туи тараа эси-тэнии ундииси, пузин аории хазомбани,  
улписуу хукуэмбэни жапахани-а туи, туи тараа ундииси,  
мориңко бичин тэи мэргэн, гээ тэи сээээндү(эни) тээгурээ туи энэпсиңкини.  
э~н пузин-тэнии энэидуэн(и)-тэнии туи гэсэ энэи-го(ани) ујэлэни,

Зэвэнзији-тул-дэ. туи энэми-э~ энэми, хаи осихани.  
 хаи~лоо улээн сиңасоо осихани, хусэ наи сиңасоони.  
 осираа зулиэлэн(и) туухэни, тэи мэргэн-гулэ лак ичэхэни.  
 "хэрэ~ вакази-да." "хаигоји баахаси."  
 "сиңасоогоји бааохани," уңкин,  
 "тэи, эивэ-лэ хуэдэхэн наи-ла хоони-а~ каирасии," ундиини.  
 "э~ң анда~ мэргэн ичэгуји гаазоо, ичэгуји гаазоо," таа ундэ,  
 тэи-тэнии, эс(и)-тэнии тэи, сиңасоова-ла жапаизији гэсэ,  
 кээндэлим(и) јаарсиизији гэсэ наңгалахани, тэи кэкэңгуни.  
 э~ң туи тараа эс(и)-тэнии туи энэи~, тэи энэми ундииси,  
 "анда пузин, хаигоји наңгалахаси, каирамбани,  
 тэи улээлээ кучээмбэ," каирасиин(и) тэи мэргэн.  
 эң таванки туи энэми~ энэми-э-лэ паалим(а) падо осихани-гоан(и).  
 паалим(а) падо осираа~ зулиэлэни тэи мэргэнзиа(ни),  
 калтаазиа(ни) тууриин(и)-го(ани). "гээ~ гээ,"  
 баи ичэми, лак жапараа туңгэлэгүхэн, тэи мэргэн.  
 "вакази-а хаи-даа, эи-лэ тугбүхэн наи-ла хоони-а каирандии," ундии, мэргэн.  
 э~ң ундииси туи-дээ, "анда мэргэн хаи жака, анда хаи жака,  
 анда мэргэн хаи жака," ундии,  
 эс(и)-тэнии аксакаачии соңгоичаини осии там(и),  
 "мимбиэ ичэгуји гаазоо"-да. э~ң "бууриин-го(ани)," ундиин(и)-го(ани),  
 "наңгалагоаси. э~ң паалим(а) падо."  
 эс(и)-тэнии туи аксакаачии соңгоичаи-даа хаириин-даа таидо(ани)  
 тэи-лэ мэргэн-гулэ ундииси, ичэвээңкини алиами-а-да.  
 эс(и)-тэнии жапаизији гэсэ, кээ~ндэли поипоачим(и) јаарсиизији гэсэ,  
 сучурэм(и) татараа наңгалахани тэи паалим(а) падова.  
 "анда~ пузин," ундииси, "хаигоји наңгалаиси"-м-да,  
 "каирамбани. мии улээн такорагои тахам(би)-гоани," ундиин(и), "чава."  
 "э~ң минду~ хао(си)-даа хэм бии, падо бии~, улээн жака-даа бии, хао(си),  
 оркин-да-каа, улпичэку-дээ бии," ундии,

"чукимбэни-дээ, хаи тагоји гэлэури," ундиин(и) тэи, кэкэ.  
саахани-го(ани), эзэн(и) туи энэивэни, ьоанзиани гэсэ-дэ.  
э~ ундииси туи тараа туи энэмээри исигохан эм иргэнчи  
хаилоо дааи иргэн бичини.  
э~н най иигуи ниэгуи таилани-ла, пузин-гулэ ундииси-э,  
инда, вэчээн осираа най бэгзилэни чуул иихэни.  
туи тараа бэсэрэ пугиэлэни апсиңкини.  
э~н эс(и)-тэнии кэкэ-тэнии гээ, таңго найзи-даа такорамзико осиха~н,  
ими-да. палаамба-даа пулсиэси-э, эм элчи ьоамбани морилахан.  
эс(и)-тэнии инококо, топикоко осихан тадо, исими-да.  
э~н ундииси чадол-ла ундииси, туи тами ичэгу(хэн),  
"анда~ мэргэн," ундииси,  
"эң хаи умбувээчимээри индава нэучиису~," ундии,  
"зоогдо-а. эң хаи, эрдэңгэн(и) закасалбани баара," ундии,  
"суэ-лэ индази камор балзиисо-танин," ундии.  
"э~н хайдо биини," ундии, "инда," мэргэн.  
"тэи биэс(и)-кээ," ундии, "бэсэрэ пэгиэлэ аорас(и)-каа"-м-да.  
эс(и)-тэнии ундииси гээ, мэргэн-тэнии, "пуннэгуусу," ундиин(и)-го(ани),  
"инда, хаигоар(и) иивухэсу"-м-дэ.  
эс(и)-тэнии, най пуннэгуидуэни-лэ, "таах, таах," най морасиндии тэи-лэ,  
уи-дээ паачилам(и)-даа корпиаиизиа(ни) пузин-гулэ ниэгүхэни тэи, вэчээн.  
туи тараа~ энээ ундэ тоо~ хэзиэ дуэ(ни), иргэн хэзиэ дуэдуэни биз ундэ,  
эм нучикуу~ зоокаан, лэудээ най лакаани.  
э~н тэи тулиэчиэни энэрээ~ аора ундэ, купчуэдуэни-дэ.  
эң чадол купчуэдуэни аориидоани-а, эм мама ниэхэни.  
хаилоо улээн мама бичин,  
тэи-лэ чиэчирээ илигоидо(ји)-ла тэи вэчээм(бэ) ичэхэни.  
"гээ~ индагоји бааохан, вакази-а хаи-даа," ундии,  
"эи-лэ хуэдэхэн най-ла хоони-а-даа, каирасиаси," ундии,  
"эи хажазиа зичин вэчээн," ундиини, пали~ пали сахарин.

эс(и)-тэнии тэи мама-танин, жапагораа иивугухэни, хэрсидээси,  
 хаирадааси-а-да. иивугухэн мапаачаан-да, "мапа~, ичэруу,"  
 мапази мамази жуэркээн бичин бичин, тэи жоо.  
 "мапа~, "ундии, "ичэруу~, "ундии, "индагоји баахамби," ундии,  
 "тэи-тэнии улээни~, "ундиини, "жээ улээн инда-ноо," ундиини,  
 "эивэ-лэ хуэдэхэн наи-ла хоони-а~ каирасиаси-а," ундиини.  
 эс(и)-тэнии туи сиараа хожихан ундииси, ундии,  
 эс(и)-тэнии сиягоани-ла далом(ба) буухэни, инда даломбани.  
 алиокаан нээрээ, инда алиодоан(и) нээрээ-дэ.  
 э~н тэи инда-кас пуунгуји, наини хаи сиягилаи даломба.  
 э~н сиарасин(и)-гоан(и). "мапа~ сиараси," ундии, "эрдэнгэ, хамачаа хаи."  
 мапани ундиини, "пэргэм(и) мээн сиарии, мээн сиарии чоолонгоји,  
 силиа соосираа нээрүү," ундиин(и)-го(ани), "алиодо нээрүү,  
 мээн сиарии котан(до) нээрүү," ундии.  
 э~н ундииси туи тараа ундииси, мама-ла мапаји хэсэвэн(и) дахорасими-ла,  
 силиадо нээрээ ундииси-э, жулиэлэни нээхэни.  
 хэ~м илэчигум(и) сияка ундэ, тэи-лэ вэчээн-гулэ.  
 "гээ~, "ундиин(и)-го(ани), "эи улээн наи индани, улээн наи ужихэни инда,"  
 ундии, "наи даломба-даа эчиэ сияваанда жака," ундии мапа.  
 эс(и)-тэнии туи, агданасимаар(и) туи апсиңгохаа~л туи сиксэгүхэн,  
 долбогохан. эң чимии сэнэхэчи-тэ(нии) хэрэ~ тэи-кээ инда,  
 мало накандоани-ла хэрэ~ улээмбэ пузимбэ аора ундэ тэи-тэнии,  
 нуктэн(и)-тэнии эмуту тэи инда сахарин-маа, пакаа пакаа бии тоојомба,  
 инда тоојонкини-маа биэ ундэ, апиидоани-ла.  
 э~н мапаји-ла сэруугүхэни ундииси,  
 "мапа~ пиктэгуэр(и) баахапо, боа борихани, акпоа аисилахани," ундии,  
 "пиктэ анаадопоа пиктэгүпүэ, жиа анаадопоа жиагопоа,"  
 эс(и)-тэнии агданасимаари мапази мамази-ла тэи-тэнии,  
 нааманиндамаар(и) энэхэчи аорииван(и)-танин мапа эмјиэ мама эмјиэ,  
 хэрэ~, пузин-тэнии олоклаам(и)-танин,

сикүлэгүхэни мапази мамази хуң пос, иңгуриг(дэ) туурии-гоан(и).  
чаңсop тээхэни пузин-гулэ ундииси,  
"эньэ ајаси-ноо, ама ајаси-ноо," ундии-го(ани). "ајапо~, " ундии, "ајапо."  
гээ, мапа-тании озоктаи, мама-даа озоктаи,  
"э~н боа борихани, акпа аисилахани," ундии,  
"буэ-тэнии наи, наија лаозилам(и) биурини," ундии,  
"хаим(и)-даа мутээси осигораа-да."  
э~н туи агданасимаар(и) туи хаихан.  
туи тараа ундии чимии тээхэн ундииси, мама-тании ундиин(и)-гоан(и),  
"эни ичэгуруу," ундии, "буэ эзэмбэр(и), асигоји баахамбани,  
сиагоан(и) пујуундээмби," ундиини мама.  
"мапа-тании моокаам(ба) иивуини," ундиини, "пујуугујијэ."  
э~н туи тараа мапази мамази энүхэн, туи.  
сиксэ~ зизуичи-гоан(и), чимии тээмээр(и) энүи.  
эң туи тами-а ундии-гоан(и), пузин ундиини,  
"э~н ба~лан(а) баахани, асигоји." "абаа~, " ундии, "эси баахани," ундии,  
"гоидааси," ундии, "э~н тэи асин(и)-тании~, зээ бии-нуу," ундии,  
"илаан наи-даа инококо~, тоиңга наи топикоко," ундии,  
"э~н эм элчији сиңгэр мориңко," ундии, "палаамба-даа тактолааси-а"-м-да.  
эң пузин-гулэ доони гичиак энэи-го(ани),  
чукиндулэји дэгдэпсиңкимбэни кэкэңгуји.  
"э~н эс(и) энэпээр(и) унхээрсү," ундии,  
"мии пиктэји, купигуји зиагоји гэлэхэни," ундии,  
"зидуу зидуу ундуу"-м, "купигуури." э~н ундииси,  
мамаачаанаа энүхэ~н туи тапаари-ла ундииси, хаи, "унхээри," ундии,  
"пиктэји будии, будии будии таивани илиочахапо пиктэпу зизүхэни,  
хаигохани, агбимбогохапо"-м-да.  
э~н туи тараа туи энүхэн, туи тапаари-а,  
э~н сиун токондо~ зизүхэчи, мапази мамази.  
"э~н чиман(а) зидии-ја," ундии, "наи. чимана.

буэ-тэнии най зипугуэни, зоо доовани оосигоји,  
 сиягоји баргии тандагохапо," ундиини. пузин ундиини,  
 "амаа энъээ, хаигоји бааргичиисо, мии мэнэ хэм таамби,  
 хэм-дээ оосигоамби." э~н пузин-гулэ най зоовани-ла,  
 пайнаји таас паачилахани эм, хаи-маа осигохани,  
 аисин мэңгун муузиэни ньулэчэку очо(гохан),  
 мапа мама зоони-ла ундииси,  
 э~н палаандо тактоолам(и) болдор энэин(и)-го(ани),  
 най палган, палаани осигохани ньулэчэку-мээ-дэ.  
 э~н эси-тэнии ундииси, мапа, мама-та(нии) бази-танин  
 гээ пузим(бэ) озоктаи-даа озоктаи, "гээ, ваказиа~, пиктэгуји бааохани,"  
 ундии, "туи бими." э~н зиа чимани-а-ла ундииси, ини-э~ сиун токон...  
 э~н ундииси, "хоон(и) тахасо~, хоон(и) тахасо, тоңгалахапо," ундии,  
 "э~и э~и э~и," соңгоа ундэ эс(и)-тэнии туи тамаари,  
 уикэвэ нихэлии эус(и) эус(и) кэкэңгуни-лэ ундииси тэи-лэ,  
 эм элчији морин бичини. э~н уикэвэ нихэлихэн ундииси тэи-лэ,  
 мила энэхэн тэи кэкэ-лэ ундииси соңгохамби-ла ундииси,  
 эээм(би) ичэгүхэн таакои-гоан(и). э~н эс(и)-тэнии ундииси-э хаирии-гоани,  
 тэи моримби-ла анахани ундииси, элчигү(ји) тууриизиэни.  
 "э~н мэнэ иирэмби," ундиини, "хаи тагоји чиндахасо," ундии,  
 ээини-лэ мораа ундэ, "хаи тагоји." "ньоани мимбиэ анахани," ундии,  
 "мээн дуэрэгуи таамби-а"-м-да. эс(и)-тэнии ундииси иихэ~н туи,  
 дуэрэм(и) иихэн, пузин закпачиан(и) зиžүхэн ундии,  
 "гээ анда~ купигуури," ундии, эң пузин ундиин(и)-гоан(и).  
 "э~н баланаа~ балзиидоји-каа~," ундии, "мии-дээ купии бичэжэ~,"  
 ундии эс(и)-тэнии, аңмаји-ла чооко~ чооко žилоксазији таи,  
 таизији гэсэ, "гээ, сии эрдэлэруу," ундиин(и)-гоа(ни), кэкэвэ.  
 кэкэ-лэ топиңкин туи эрдэлэрээ-дэ. тозакааса~л, тохолгокаасал агбиңкини.  
 э~н ундииси-э, э~н эси-тэнии элчиусэл тэи, умэкээңгүэр(и), хаигоани,  
 тамаи-ја тэи тозасалба. эс(и)-тэнии пузин-гулэ ундииси

чооко~ чооко зилоксаји аңмадоји тараа ундииси топиңкини.  
э~ң аисин мэнгун пасини-ла, боотоа туухэн гээ,  
элчиусэл-дээ сидэригуэр(и) гэлэи гурун,  
тамачаа хамачаагоји Запаи гурун тамахаал.  
"э~ң эс(и) элээ-нуу," ундии пузін, "эрдэнси."  
э~ң эс(и)-тэнии ундииси "хаиори," ундии, гээ, нуктээр(и) хаиха~н,  
кэкэ нуктэни хурмикуукээни-гоани.  
э~ң лаха гооактакаани бии нуктэкээмби-лэ, гурэлихэни-э~,  
туи тараа-ла сигзипунзији-лэ, сигзиэ ундэ.  
тэи-тэнии ундииси-э, сиңгэрэкээсэ~л, улгикээсэ~л туухэни.  
э~ң эс(и)-тэнии элчиусэл хэм ваактахан тэи туухэмбэни-лэ ундииси.  
эс(и)-тэнии пузін-тэнии ундииси нуктэји-лэ ундииси долимпалаа~  
танго даа нуктэји, гурэлиизији гэсэ ундииси э~ң нуктэји-лэ,  
хаихани паачичихани. хэрэ~ тэи-тэ(нии), сээпэ-дээ, гормахон-даа,  
соликаан-даа, хулу-дээ агбиңкин-тэнии тэи-тэнии зоо доон(и)-тэнии  
наисал хасасии-гоан(и) эс(и)-тэнии пузін ундии-го(ани),  
"гээ кэкэ, хоаңкиси~, дэгдэхэси дуэни модани исигохан," уңкини.  
эң туи ичэи, ундиини-лэ кэкэ-лэ пагзиалагока ундэ~  
эс(и)-тэнии пузін-дээ хасипоолахани хамиалани,  
э~ң эзэ(н) хаан сиимбэни исиини чииригдэ Запахани.  
э~ң ундиин(и)-го(ани), "гээ, хоаңкиси, модани,  
дэгдэхэси дуэни исихани," ундиин(и)-го(ани), пузін.  
э~ң пузін-гулэ ундииси, сиандоани бии хоипомбани-ла  
сэң сэң тадорагоиизији гэсэ тунгулэн(и) гидалагохани ундииси,  
э~ң закпаси ичэгүхэни эң, тоои, наи тооин(и) бааро(ани) ичэгүхэни,  
хэрэ~ тэи-мээ ээини мэргэн-гулэ ундииси э~ң голоңкоји уикэдүэни,  
голоңкодоји илисими ичээээ ундэ.  
"анда~ мэргэн ундииси, э~ң ајакталаи оси(ни) ајакталароо,  
чигзии оси(ни) чигзируу," уңкин, "мии мэнэ элчигүји,  
кэкэнгүји ваахамби-ла, уиду даалзико," уңкини.

туи уми-лэ ундииси, жапагоизији гэсэ-лэ ундииси  
 сииндулэ-лэ жилизиазиа(ни) пос гидалахани.  
 э~н туи тараа-ла мама баароа(ни) энуй-гоани.  
 энухэ~н иигухэн ундииси,  
 эс(и)-тэ(нии) пузін-тэ(нии) паатоа бааразигои-го(ани) тэтуэлэгум(и),  
 хаи тэтуэ бигилэи.  
 э~н тэсчихэм(би) тэтуэсэл(би) тэтугухэни, ама,  
 "хао(си) энэиси, энъэ, "хао(си) энэиси"-дэ,  
 "энъэ ама, мии боачији энүжэ"-м ундии,  
 э~си-тэнии мапази мамази соңголохани,  
 "энэнэ, агданасихани пиктэгуји бааохан туи-гоани,  
 андаха агзии най агзии-гоани, гой най гой-гоани"-мал соңгоал ундэ.  
 "энъэ, ама," ундииси, "эзи соңгоасо," ундии,  
 "мии хаидо бичин-дээ сумбиэ хэм таосаңгозаамби"-м-да.  
 "эзи соңгомаар(и) биэсу," ундии, "мимбиэ эзи кисиакова бааваандаасо"-м.  
 э~н туи таизији гэсэ пузін-гулэ дуэрэпсиңгохан  
 тэи най морини гаазохан поктова чуул биивэни, хаи мохогилаи энуми.  
 туи дуэрэм(и) энэми-э~ энэми-э-лэ ундииси э~н тэи мэргэн-гулэ ундииси  
 жулиэлэни јэпуррр сусуэңкини.  
 эс(и)-тэнии ундииси э~н тэи-тэнии, таиси энэичэин(и) талгиалани хактаи,  
 жакпас(и) энэичэин(и) жакпиала(ни) хактаи жулиэвэни хактакаачиа ундэ.  
 э~н хэмэңгузиэн(и) жаралиадааси,  
 жилгандааси туи тамы пузін ундиин(и)-гоан(и), "анда~ мэргэн," ундииси-э,  
 "кэкэңгузијэ аохас(и) кэктэри-э~, ахаңгозија аохас(и) адада," уңкин,  
 "мээп(и) силкондагороо"-м. э~н туи тараа-ла кэкэ-лэ,  
 хаи мэргэн-гулэ энухэни,  
 таванки-ла туи дуэрэгум(и) жиэуми жиэуми ундииси,  
 э~н мээн иргэмби исигохани. э~н эс(и)-тэнии ааглаји исиго(хан)...  
 аагби жоолани исигои-гоани.  
 э~н иигухэ~н ааң(ни)-тании ундии,



"эжэ, аапаңго~ хаидо биизи зйзүхэни,  
 эи маңга гороэиа дуэрэхэни бичини таа сааһакто исиндагохан."  
 э~н пуэин-тэнии эс(и)-тэнии хэм хэз(ом(би) ачоктагохан,  
 һаар һаар эс(и) малодо осивоааңкин, эс(и)-тэнии ундииси,  
 сияор(и) эрин исихан, сиариидожи э~н ундиин(и)-гоан(и),  
 гусэрэгуин(и)-гоан(и), туи туи бичимби, туи туи зйзүхэмби,  
 кэкэ туи туи мээп(и) аргасихамбани-да.  
 "э~н чиил каатоли балзйохан," ундии, "дэрэгбэчи, вааор(и)-гоани"-даа,  
 "ваахамби-а," ундии, "сииндулэ гидалакаи," ундии,  
 "эзйвэн(и)-тэнии уңкэжэ," ундии,  
 "анда мэргэн ајакталаи ос(и) ајакталоо,  
 чигэи ос(и) чигэируу"-м-да.  
 "мэнэ кэкэңгуји, элчингуји ваахамби-ла хаи папо(н) оэараа"-м-да.  
 "туи ундээ сииндулэ гидалахамби," ундиин(и)-го(ани).  
 "хоон(и) туи аргапо-тани-а~," ундии,  
 "эрдэңгэ, мии-дээ эрдэңгэсйхэмби," ундии.  
 "э~н туи тараа симбиэ, бии-јэ, энухэ~н мурчйхэмби," ундиини.  
 "зйзүэдээси-э-дэ. эрдэңгэ, тэи, лэкэ ээлэни-кээ,  
 хисаңгоивани-та(нии) эрдэңгэсйхэмби," ундии,  
 "эи мии нэуји хоон(и) туи хисаңгоини уйлэ-бэк(и) уйлэ-бэк(и) мии ундиийэ,  
 туи тараа ниэгүхэмби," ундии, "эчиэ эрдэңгэсйэјэ," ундиин(и)-го(ани),  
 "эрдэңгэсйхэмби," ундиини. "симбиэ-м эчиэ мур(чиэ)...,  
 сии туи хисаңгоиси-а-м мурчйхэм(би), мурчим(и)-дээ, мурчйхэм(би)," ундии,  
 "хаим(и) туи, туи хисаңгоини мии ундиийэ, ујэктэлэ ујэктэлэ," туи,  
 туи мэргэн ундиин(и).  
 "туи тараа, андахэзи иламосим(и) хэмэ ниэгүхэмби," ундиин(и)-гоан(и).  
 "э~н ундииси ваахан, ваахам(би) ојачиа(ни) вааохан ос(и) аја бичи(н)"-м  
 пакпариин(и)-го(ани) ааңни, ааң(ни)-тани ундииси-э,  
 эң туи тараа чадэ туи биэ ундэ. туи биидуэни-э~ эси мэргэн зичини.  
 ээин(и) зйзүхэни.

эс(и)-тэнии зйзүхэ~н ааңнаал биини, пузін биидуэни эси.  
исигохан чадотэнии эс(и)-тэнии, э~н торико~ жан, сияңса аркини,  
кагба аркини олбим(и) зичини. ээинилэ ундииси-э,  
эси-мээ~ гоидамаар(и) чадотэнии аркива омимаар(и) туи бичэ~  
хадотэнии аоңгамаар(и), эн туи тараа энудиуји ундиин(и)-го(ани),  
"анда~," ундииси, "асијија тургэсу(эн) ирахаарсо," ундиини.  
э~н ундииси тэи, ааңни ундиини, "гээ, ирагои-кол-даа илалта бизээ-мэ,  
нарасим(и)-кол-даа надалта биур(и) бизээ-мэ," ундиини.  
"наи, наи асиван(и)-даа хаи гоидамаар(и) жапачажаапо"-м-да.  
э~н эс(и)-тэнии пузін хазомбан(и)-тэнии хэ~м ээвугухэчи.  
хэм ээвугухэ~н, туи тараа чава-тэнии, хаириини-гоан(и).  
тооичи, гила, хаи каапараани ээвуи-гоани, наитэнии ундииси,  
эн пузін эилэ уилэхэн(и) жакасал оиноо. э~н коојол,  
гогдалаан(и) зэргэзиэни пузін хазомбани, там(и),  
кампиха~н таванки-ла ундииси, энэи-гоани.  
иргэм(бэ) исиичи-ла ундииси ээинилэ ундииси,  
аисим(а) ајам(и)зи ањаңко~, мэңгум(э) крышкако~ ачаңкини, тооичи.  
элчисэл-дээ эгди-э, кэкэсэл-дээ эгзи-э,  
тэи амини энэни-дээ тэи мапа мама-даа чадотэнии биийэ.  
эс(и)-тэнии пузін-тэнии ундииси-э, э~н хулундии-гоани,  
наи эгзин(и)-тул, ачаңкимбани, хазомбани тоооичи-го(ани).  
тэи-тэнии пузін-тэнии наитэнии хазомба тооохан гурун-тэнии,  
эм наитэнии эчиэ боолоани, хэм наитэнии таондо(ани) пулэ хазокаасалби,  
сиийаа биийэ жакасалба бууктэхэни-дэ. э~н ундииси наитэнии.  
эн тэи амини энэни энэлэхэни мапа мама-да биийэ-го(ани),  
тэи мапази мапази агданасим(аари) баогои-гоан(и),  
тэи пиктэвэр(и) зйзүхэмбэни. эси-тэнии~ ундииси  
хадолта хадолта энэни, эи ааңнаани, аркива омиийэ~  
туи бипээри ундииси-э, энэи-гоани. э~н энэхэни хаиалани-ла ундииси  
э~н пузін-гулэ ундииси, тэи мапава мапава-ла ундииси

мээнчији гааџохани-а~ гилонџиала очоговааңкини ундииси,  
кэкэ, элчи дэңси-јэ ундииси. мапа мама-тании ундииси,  
ваис(и) кэчэригуп(и) сиуңпуу~н, дуис(и) кэчэригуп(и) сиуңпуун  
сиамаар(и) балџилогохачи, эс(и)-тэнии, э~н аакчији-тании пуџин-тэнии,  
сиксэ сияхан сиңгэрээџи~, ини сияхан исэлээнџи,  
чимии сияхан, чичоонџи ирасомаар(и) балџилохан  
горо бичэ~ џиџа бичэ, элээ.

1996 IV 7. в Даерге, Ниэсулта Борисовна Гейкер

12. эм пузінзи~ кэкэзи балзихани

э~н ундииси эм зоо доолани эм пузінзи~ кэкэзи балзихани.  
тэи кэкэңгун(и)-тэнии ко~ли анаа дэңсисуни-тэнии~,  
дэңсии тэи, пузін-тэнии тул ту~л энусиин(и)-го(ани),  
аомдо туй биэ ундэ.  
туй бими~ туй бим(и) хаим(и)-даа мутээси осихани.  
"эң кэкэ~, " ундииси, "мии хэургујіэ аңгороо," унди.  
"э~н тээ~ сапси кираачиани, ээвурээ ундэхэкээн,  
хајал-гэс ундэхэкээнзиэни аңгороо," унди,  
"хэургујіэ, муэ-дээ иирэсизиэни-дэ."  
эс(и)-тэ(нии) кэкэ-тэнии эзэн(и) туй уңкин-тэ(нии)  
соңгоми-а~ аңгоин(и)-го(ани), хэурбэ.  
чуким(би)-даа маңга пакси кэкэ бизэрээ  
тэи-тэнии ундииси-э хэурбэ аңгохани.  
муэ-дээ иирэсизиэни, хоон(и) эрдэнзи аңгохани ундииси  
эс(и)-тэнии ојааван(и)-тэнии ундииси, эң илгалагохан-тэнии зээ бии-нуу,  
хамачаа-даа хэм илгазиани. эң туй соңгоа ундэ.  
туй тараа хаихан, тоокохан, "эээ(н) пузи~н, хозихамби," ундиини.  
э~н эси-тэнии пузін-тэнии унди, "гээ, мии эи аорија,  
сэктэхумбивэ полтајива ээвурээ тэи доолани нээрру," ундиини.  
э~н тэи хэурбэ-тэнии, кэкэ-тэнии муэду нээхэни. муэ-дээ иирэдээси.  
туй тараа-тэнии тэи тэтуэвэ, аории ахоравани,  
тухилэрээ ваиси эурээ ундииси э~н тэучихэни-э,  
туй тараа тэи пузим(бэ), ээвухэни ундииси, тэи доолан(и) тэучихэни-гоан(и).  
"улээ~н дасигороо," уңкин, "кэкэ, э~н эзи-дээ соңгора," унди,  
эси-тэ(нии) кэкэ-тэнии соңгои-даа соңгоин(и)-гоани.

наи ујундулэни хээр доолани нээури.  
"эң туи тараа таис(и) анароо," ундиин(и)-гоан(и), "мимбиэ."  
эс(и)-тэнии пузим(бэ)-тэнии ундииси-э тэи,  
тэи хэурн(и) доочиа(ни) силаа~н кэкэнгуни оовохан ундииси  
эс(и)-тэнии туи тараа ундииси, улээн дасигохани,  
эс(и)-тэнии туи соңгоми-ла кэкэ-лэ тэи,  
эң комтаамбани-ла паачилагохани, туи тараа ундииси,  
хэурбэ-лэ ундииси таис(и) анахани.  
э~ң тэи хэурбэни илгалахан-тэнии зээ бии-нуу,  
гасаи бии-дээ, элээ дэгдэмүлэ~, гаса бии-дээ элээ морамола биизиэн(и),  
илгалахани, тэи кэкэ. эң туи тараа-о~ анахани.  
тэи-тэ(нии) хэјэду хэјэхэн, хэјэм(и) энээ ундэ тэи-лэ,  
маңбо токомбан(и) туи таиси чисахани гээ, хээр туи энээ ундэ.  
туи энэидуэни-э~ энэидуэни ундииси,  
эм кэкуу-лэ ојаалани чакорчиа~ доохани.  
"кэкуу, кэкуу," морахани. "ээ кэкуу мэргэ~н," ундииси-э,  
"э~ң хаи, эзи чокира," ундии, "чокичираа морараа туи,  
эзи морара~," ундии,  
"эзи хэурбиэ полдолиачиа"-м-да. э~ң тэи-тэнии кэкуу-тэнии,  
туэк туэк, туэк туэк, чокираа гээ, "анда~ пузин," ундииси,  
"хаи-даа эрдэнгэни, э~ң хаила-даа ундииси, агбиндии осини,  
хаи-даа эриндуэ(ни) эуси, киригои осини,  
миндулэ кирихаари," уми~ дэгдэгүхэни. э~ң таванк(и) туи энээ ундэ.  
туи энэми-э~ энэми-э-лэ эм боадо-ла ундииси,  
эң саксии саман, талгиавани-а~ иргэни талгиава хэјээ ундэ.  
туи та(раа) саксии саман дэгдэрээ эси доохани.  
"саак саак саак, туэк туэк туэк," чокиа ундэ.  
"ээ саксии сама~н," ундииси-э,  
"хэурбивэ полдолиачи-а эзи чокира," уңкини.  
э~ң тэи-лэ, лэргүэ~ заралихани, "анда~ пузин," ундииси,

"эң хаи-даа боа-даа боа бојалани болзаагои-даа~,  
хаи-даа эриндуэни туи кээндэлигуи-дээ, э~ң хэйкухээри, кирихаари,"  
уми~ дэгдэгүхэни, хүсэ мэргэн, хүсэни Зилгани бичин.  
таваңки-ла туи энээ ундэ, туи энэми~, энэми-э-лэ,  
пузин-гулэ туи аории-гоани, хаи удэвэ энэини-ус, хаи удэвэ энэини-ус  
туи тами ундииси, эм боала-ла зоо~р хаара ундэ,  
хэурни-лэ эмуту наи огдава татаини-ма(т). дуис(и) энээ ундэ.  
туи тами ундииси, колом осиини ундииси,  
наи гэмур гэмур гэмур гэмур наи таа ундэ.  
тэи-тэнии эси-тэнии, комтаамбани-ла куэп дэгбэлихэни.  
э~ң хамачаа-даада наи-даа анаа хаи-даа анаа бичин,  
пузин ичэини-лэ ундииси, силаа~н тајазиала агбиңкини.  
ичэини-лэ эм хурээн хооңкони бичи(н).  
тэи-лэ хурээн хооңкони ојалани пака~ пака бии,  
э~м моо-даа анаа, хэм пака пака зэгдэку-мања.  
э~ң чад-ла ичэгуин(и) биэси, тэи тээ дүјэлэлэ биэ ундэ,  
эм зоокаан, нучикуу зоокаан.  
эң тэи-лэ зоокаан паавалани ундииси, э~ң забзаан-ноо хаи-ноо ундииси,  
киаңасаа~н боачи агбиңка биэ ундэ зилини-ла.  
эс(и)-тэнии пузин-тэнии ундииси чала-даа агбиңгораа таваңки-ла,  
тоопсиңкини, микугурээ~, чаавогораа там(и) Һохораачим(и) тоора ундэ.  
эң тоопи-а Һохораачираа тоопи-а Һохораачираа таа ундэ.  
тэи-тэ(нии) микурээ чаавораа тэи хурээмбэ уиси тоохани.  
силаа~н исихани. э~ң уикэ даадоани, Һохорааңкини-а~  
туи тап(и) кэндэрхимбэ иигуп(и) Һохорааңкини бичини.  
эң чад-ла ундииси, пуимур-гулэ биэ ундэ.  
тэи-тэнии ундииси-э, дааи пуимур-нуу хамачаа-ноо забзаан-ноо олгоми-ос,  
тэи-тэнии ундииси, паавала-ла гурпучиэ ундэ.  
э~ң пузин-гулэ ундииси э~ң тэи-лэ зилији боачи  
гэмур гэму~р гэмур гэмур хаи уңки(ни)-ус хаи уңки(ни)-ус.

эс(и)-тэнии ундииси э~н чад-ла эм, нучикуу~ хаи биэ ундэ,  
индакаан, алха кэичэкээн.  
"э~н эгээ зу(си) зйзуруу," ундиини, тэи кэичэкээлэжи заралихани.  
э~н туй тараа хээсиидуэни аксондолани-ла  
эм сиңгэрэ омокаани-маа биэ ундэ.  
"эиду зилији нээруу," ундии, ньоан(и)-даа чала иихэни тэи кэичэкээн.  
э~н пузін-гулэ чад~ зилији нээхэни. хао~нчок энэхэни.  
э~н тэи-лэ ундииси, хаихани. хаончок энэхэни ундииси,  
эм зоо тулиэду(эни) илисиилэјіјэ саагохани.  
э~н тэи-лэ, зоо тулиэлэни-лэ ундииси  
э~н уикэдуэн(и) запараа~ иихэни ундииси-э.  
эң иирээ ичэми эм пузін-гулэ чаңсоп илиијији гэсэ  
кэркичэзиэ илими зичини, "эгээ зичиси-нуу, эи-лэ эгээ гузиэлэни,"  
э~н эси-лэ тэи-лэ пузін-гулэ пузимбэ-лэ ундииси,  
запараа~ ундииси, накан баароа(ни) нээхэни ундииси туй тараа ундииси,  
хаизи-гдал силкочихан-ос хаизи-гдал силкочихан-ос ундииси  
э~н пузін-гулэ чад туй аорин-гоан(и).  
э~н сиягоани бууриин(и)-дээ сиам(и)-даа ачааси, туй аорин(и),  
туй аоми-а~ аоми-а-ла, эң пузін-гулэ ундииси э~н саагохани.  
хаилоо улээн осигоин(и) бичин, бэјэји-дээ улээн, туйңкуин(и)-дээ аја бичин.  
эси пузін-тэнии чази аоми ајанагохани. э~н туй тараа ундииси  
э~н тэи-лэ тэнии бэјэгуји баарии пузін бичини чад.  
"эньээ~," ундииси, "хоон(и) эрдэнзи исиндахаси," ундии, "эуси."  
"ээпаңгоа~," ундииси, "мии-лэ,  
хао(си)-даа зичим(би)-даа саарасимби-а," ундиини.  
"балзиханзији ту~л тул энусијэ," ундии,  
"туй тараа кэкэңгуји хэурбэ анараа, аңгороа мимбиэ чиндахани," ундиини,  
"эи муэвэ, эи, туй хэјэм(и) зичимби," ундии.  
"э~н эи тооидоас(и)-тэнии зоор наи татаини-ма(т) тоохамби," ундии,  
"хаи, хэур тоохани, хаахани," ундии,

"туи тараа-та(нии) хаини-гдал дэгбэлихэ(ни)-ус,  
хаи гэм гэм гэм гэм гэм наи зилган тахан," ундии,  
"хаи-даа наи зилгамбан(и)-даа эчиэ таакоаји," ундии,  
"хаи-даа ундиивэн(и)-дээ, эчиэ отолиаји," ундии.  
"э~н наи нихэлихэни," ундии, "туи тараа-тани ундииси-э,  
эң силаа~н илираа ниехэмби," ундии,  
"наи-даа абаа хаи-даа абаа бичини," ундии, "ичэхэмби," ундии,  
"хурээнгус(и)-тэнии, пакаа~ пакаа зэгдэктуну," ундии,  
"туи тараа ичэгүхэни-тэнии, зоокаам(ба) ичэхэмби," ундии,  
"туи тараа, муикум(и) тоохамби-а~," ундии,  
"тэи паава-ла-тани, забзаан-ноо~ олгоми-ноо гурпучиини,"  
ундиин(и)-го(ани), "тајала, моңгон(и) таа, агбичиини-а"-м,  
"киаңаиган, чава-тани туи ньохораачим(и) тоохамби," ундии,  
"силаа~н уикэлэни иирээ, э~н доокиачи ииријивэ,  
тэи-тэнии гэм гэм тахан," ундии, "чадо тэи кэичэкээн ирахани," ундиин(и),  
"гээ, эуси." эс(и)-тэнии гээ тэи пузін-тэнии, тэи пузимбэ,  
"гээ, гээ, эгээ~," ундииси-э, "мии амимбија~," ундии,  
"тэи, тэи, амаа эргэн(и) кээндэлигуин(и)-тэнии," ундииси-э,  
"хамачаа-даа биэси," ундии, "моо-даа зэгдэи,  
хамачаа-даа хэм зэгдэи," ундиини, "туи тамы биини," ундии,  
"эи хурээндү эм моо-даа абаа, эм хамачаа-даа абаа," ундии,  
"эм золо-рагда-ла," ундии, "эм ньазаха-даа анаа пакаа пака,  
хурээн оја(ни) хэм зэгдэктү.  
э~н амаа тэи тэң улээмбэни добдахаси-а~," ундии,  
"кэсикуси," ундиин(и)-гоан(и). э~н туи тараа туи гусэрээндүи,  
туи бии~ туи биин(и), тэи пузін-гулэ мэдэсихэни,  
"анда~," ундииси, "суэ, биидуэсу хоон(и) бии-јэ," ундиини,  
"буэ биипу-лэ улээни-гоани-а," ундиини,  
"моо-даа бии, муэ-дээ бии маңбо-даа бии," ундиин(и)-го(ани).  
"бунду-тэнии-э, ту~л тул энүсихэмби," ундиин(и)-го(ани),



"балзиханзија, туй бичимби," ундии,  
"эң зиакос(и) бичиси-нуу, зикэкуси-нуу," ундии мэдэсиини-э,  
"эикэ-дээ анаајија," ундии, "нэу-дээ анаајија эктэзи,  
эктэзи нэу-дээ анаајија, хусэзи-дээ нэу-дээ анаа ыаазакта-даа анаа," ундии,  
"тэң кэкэзи бичимби, кэкэзи зүэрүкээн,  
кэкэнгуји-дээ туй соңгом(и) дэрэзихэ~н," ундии,  
"эс(и) хоон(и) бии-ус хоон(и) бии-ус-дэ."  
эң туй тами ундии, "анда~," ундииси,  
"эң суэ, балзиисо боава ичэндэгум(и) энэм(и) аја~," ундиин(и)-го(ани),  
"гээ, энугуури, энугуури," ундиин(и)-го(ани), бунзиэ пузин.  
гээ тэи пузин-дээ чихалаи. э~ң мэдэсиин(и)-го(ани),  
"нэу, хусэ нэукуси-нуу~"-м хаис(и) мэдэсиин(и)-гоан(и).  
"хусэ-дээ абаа," ундии, "аакоси-ноо, нэукуси-нуу."  
"хаи-даа анаајија," ундиин(и)-гоан(и).  
"э~ң эктэзи-дээ нэу анааси-ноо." "абаа~," ундии,  
"тэң кэкэзи зүэрүкээн балзихапо," ундиин(и)-го(ани) пузин.  
э~ң гээ энэини осиха~н ундииси-э, туй тараа пузин ундиин(и)-го(ани),  
нэучији кэичэкээн симуэчиин(и)-го(ани) сиамаар(и) туй тараа энүхэн.  
туй тапи-о~ кэичэкээн зйзүхэн. э~ң ундииси, "амаа чихалахан," ундии,  
"энуивэси." гээ эси-тэнии зүэзиэр(и) ваис(и) зүгүхэ~н,  
зайји-ја-даа баахамбар(и) зяароани ундииси,  
э~ң зайзи-ла зүэзиэр(и) тээгурээ соирамаар(и) туй солоал ундэ.  
"э~ң хэјпчи зичимбэс(и) там(и) соли солоор(и)-гоани," ундиин(и)-го(ани),  
туй энэм(и) туй тами-а~ горо энэкэ зйза энэкэ,  
туй соломаари ундииси, хаи, эм зүэр маңбо зяаорбани исихачи,  
эмзиэ маңбо сээгзэн муэ хэјэи, эмзиэ маңбо чаагзан муэ хэјэи.  
"анда~," ундии, "суэ муэңгуси хавоини-а," ундии,  
"эи сээгзэн муэлэ-кээ солоор(и)-ноо,  
чаагзан муэлэ-кээ солоор(и)-ноо," ундии.  
"уй саарини-а~," ундиин(и) пузин,

"хавои-даа муэлэ зичимби-дээ саарасимби"-м.  
 "а зоогдо муэвэ омиисо хоон(и), хоон(и) бии муэ бичи(н)," ундиин(и)-го(ани),  
 эң тэи андаха пузин.  
 "буэ омиор(и) муэ гэнгиэн бичин-гоани," ундиин(и)-гоан(и),  
 "гээ эи гэнгиэн муэвэ соллом(и) аја," ундиин(и)-го(ани),  
 туи энэми, туи энэми~ энэми,  
 эң саксии саман иргэмбэни исигохачи ундии(си),  
 э~ң чала-ла хаарии-гоани.  
 э~ң пузин тоохан, тоохаал тэи пузиусэл тэи саксии саман мэргэн,  
 жээ јаохиини тэи пузиусэлбэ-лэ.  
 э~ң чадо-ла ньаңга наија јаохихандо(ани),  
 туи ньаңга бичээл таванк(и) туи сусугумээр(и) туи энэи,  
 туи энэми~ энэми ундииси, кэкуу мэргэн иргэмбэни исигохачи.  
 эң тэи-лэ кэкуу мэргэн иргэмбэни, эң эзэн хаамбани элээ исиидоачи-ла,  
 эм, тэнии бэжэгуји баарии наонзокаан-гола тутум(и) эурэ ундэ,  
 вајаа... дүжээзиэ-лэ. "эгээ жиүхэси-нуу," ундии,  
 "эгээ, исиндагохаси-ноо," ундии, тэи-лэ ундииси-э,  
 э~ң хэ~п пүзимбэ-лэ наамаңкини, тэи наонзокаан ундииси,  
 "эгээ~, " ундииси-э, "э~ң мии-тэнии, симбиэ гасаи," ундиин(и)-го(ани),  
 "эгээ," туи тараа ундииси-э,  
 "э~ң эи кэкуу саман-тэнии мимбиэ узихэни," ундиин(и)-гоан(и).  
 гээ эс(и)-тэнии нэүји баохан, тэи пузин.  
 андаха пузин, "гээ," ундии, "нэүји анаајија үндэчис(и)-кээ,  
 мии хусэ нэу анаајија-м, баохаси биэс(и)-кээ," ундиини.  
 э~ң эс(и)-тэнии ундииси, нэун(и)-дээ, тотапи энуйни осихан.  
 "эвэңк(и) жија," ундии, "зоокчији."  
 эң туи тараа жуэзиэр(и) таванк(и) соллогомаари энэгуи,  
 туи энэмээри~ энэмээри мээн зоокаам(би) баогохани.  
 эң тооилаји хаакоини ундииси э~ң кэкэңгуни соңгом(и) эугукэ ундэ.  
 тэи-тэнии соңгоми соңгоми, зикэји наамандии...

тэй пузим(бэ) наамандиизи гэсэ тэнии бэжэгуји баарии пузин очогохани.  
эң гээ, эс(и)-тэнии агдахан-тэнии ээ-нуу, ундиин(и)-гоан(и),  
"хаи, анда~,," ундии, "ундэчис(и)-кээ," ундии,  
"эктэ-дээ нэукужэ ундииси,  
нэуји олбимбори бичин-гоани-а~,," ундиин(и)-гоани.  
"э~ң сии хоон(и) саараси биэчис(и)-кээ," ундии,  
"эс(и)-кээ, нэугуји-дээ баогохаси биэс(и)-кээ," ундии,  
"эктэ-дээ нэуку, хусэзи-дээ нэуку очогохаси биэс(и)-кээ."  
"анда~ хоон(и) сааори," ундии,  
"мии балзиханзији тул тул энусии бичимби, наи Запараа узихэмбэни."  
тэй нэувэн(и)-дээ наи Запараа узихэни.  
тэй кэкуу мэргэн Запараа узиини-го(ани),  
һоанзиани асигоји, саиини.  
э~ң ундииси эс(и)-тэнии чадолта бичин,  
тэй нэун(и)-дээ эиэхэ~н ундииси-э,  
эң тэй кэкуу мэргэн-дээ пузинзи асиландагохан ундииси.  
эси-тэнии ундииси-э, эң туи бии-го(ани).  
туи бими эм хадолта)... һаңга биизији гэсэ ундииси, э~ң хаихани.  
тэй нэуји-тэнии тэй мээңзи эиэхэн пузим(бэ) асилаговааңкини.  
эң туи тараа тадо туи бии-го(ани), тэй,  
кэкэ бичин пузин-гдал эзи анаани-гоан(и).  
э~ң эс(и)-тэнии туи тами-а-ла тэй-лэ пузин-гулэ ундииси  
эс(и)-тэнии ундииси-э, наава хулум(и) дэруухэн эси соңтази ундииси,  
"анда~,," ундииси, "хаи там(и) хулуи(си)," "анда~,," ундии,  
"амаа эргуни кээндэлии-жэ," ундиини.  
"э~ң амаа эргуни кээндэлии-тэнии илэлэ бии Зака-та(нии),  
хамачаа-даа балзиаси," ундиин(и)-го(ани),  
"моо-даа бии, моо-даа эгдэи, хаи-даа хэм эгдэи," ундии,  
"наи-даа эгдэи"-м-дэ. э~ң туи тараа наа доола сирихачи,  
зоогоар(и) таоси иивугурээ сирихачи-даа хаинаа-да.

эң туи бипи-э туи пузін-гулэ ундии(си), агбингохани.  
 "э~н амаа эчиэ эивэ исиани," ундии. "хаигохан," ундии,  
 "мочогохан," ундиини, "бумбиэ гэлэгум(и) мохораа-даа.  
 э~н ундииси эс(и) амаа хаали-даа эуси исиндагоаси," ундии.  
 "бортии наи энухэн," ундии, "бумбиэ зэгдэхэн мурчиини," ундиини,  
 тэи пузін, самани бизэрээ.  
 э~н туи тараа ундииси э~н эс(и)-тэнии пузін-гулэ ундииси тэи,  
 коаң коаң бааразигоизији гэсэ ундии,  
 "амаа, нэку-тэнии~ мимбиэ гэлэндэгум(и) зизупи-тэнии,  
 амаа эргувэни, эргувэни кээндэлиидуэн(и) зэгдэхэни," ундии, "буикин."  
 эң тас соңгочими-ла энухэн ундииси туи энэми энэми, энэхэ~н,  
 чадо хаилаа энэхэнзи пузін-гулэ ундииси,  
 э~н путулэгурээ зизухэн нэји гирмаксакаамбани-ла откоо баогохани,  
 хэм зэгдэхэни кэпуу кэпуу-дэ.  
 эң чаа-ла~ эси-тэнии опази-ла ундииси,  
 эң далиан опавани иивугукээпээр(и) ньохои-гоани ундииси,  
 туи ньохохамбар(и) дуэлэни ундииси найја аңгом(и) дэруухэн,  
 тэи пузін-гулэ ундииси. эң, мэргэмбэ аңгохан бичин наонзокаамба.  
 э~н туи тараа эс(и)-тэнии тэи пузін-тэнии мэуриин(и)-тэнии зээ-нуу,  
 "э~н анда~ мэуруусу," ундии, тэи зүэ, кэкэ бичи(н) пузінзи,  
 тэи бунзиэ пузінзи-тэнии мэумээр(и)-дээ отолиасичи-гоан(и).  
 туи тамаари-а~ хаи-даа улээн мэулухээл ундии(си),  
 тэи кэкуу саман мэргэн-дээ зизухэн, эң туи, мэум(и),  
 мэурии туи хозиичи тэи пузін-гулэ ундииси э~н мэуриин(и)-тэнии,  
 эң уңчухум(бэ) паачилаидоани ундииси,  
 кузур боатоа~ хэ~и морапскиндуэни киазар нэрэ нэрэ таа ундэ.  
 эс(и)-тэнии туи мэурии~ туи хоони-а-даа мэупи туи-дээ ундии,  
 "анда~ тэмэриуу," ундии, "полонахан-ноо абаа-ноо."  
 эс(и)-тэнии ундииси, "анда~ хулл там(и) полоңко осихан," ундии,  
 эң эс(и)-тэнии эс(и)-тэнии чадои-даа масилахан, хујун модан,

кээпугуи, хујун модан јантогой, там(и) туи, хаира ундэ.  
ниңмаачиа ундэ тэи пузин-гулэ, јајаи-даа јајаин(и)-гоани,  
тэи-тэ(нии) эс(и)-тэнии туи там-а ундииси, эң тэи-лэ мэргэн,  
наонзокаан-гола ундииси, эң миңгучими~ боңгодо,  
гармакта-маа~ зилгани-маа эрдэлэхэн.  
туи тап(и)-тании миңгучилухэн ундииси, эс(и)-тэнии ундииси,  
эң палаандо пуэ~р пуикугүхэни. "хэрэ~, " ундииси,  
"эң дааманаа дааһанаа туңгэнчиэ(ни) тээндэхэмби бичин," ундии,  
"уи амаадо уи энээду хорагоари-а."  
"гээ, эикэси хоригохани-а"-мал тэи пузиусэл хаираа, тэи зуэ пузин.  
э~ң ундииси эси хоригоха~н, эси-тэнии ундииси-э,  
эң нэүји-лэ ундииси нээ тэи нуучизимэ, кэкэ бичин пузин,  
нуучи пузин-го(ани), чуу наи појаңгони.  
э~ң чази нэучи асилагохан туи тараа тадо туи бии-го(ани),  
туи бии-го(ани) тэи, кэкуу саман-даа зизүхэн,  
иргэм(би) гаазом(и) тадо туи бии, осигораа~ туи биичи-го(ани),  
горо-а бичэ~, зиза~ бичэ элээ.

既 刊

- 『ソロン語基本例文集』 朝 克、津曲敏郎、風間伸次郎 編  
文部省科学研究費補助金（国際学術研究：63041002）研究成果報告書  
北海道大学文学部、1991年3月
- 『ツングース言語文化論集 1』 黒田信一郎、津曲敏郎 編  
文部省科学研究費補助金（国際学術研究：63041002）研究成果報告書  
北海道大学文学部、1991年12月
- 『ナーナイの民族遊戯』（ツングース言語文化論集 2）  
ボンサ K. キレ著／佐々木史郎、匹田剛、津曲敏郎 編訳  
小樽商科大学言語センター、1993年3月
- 『朝克著「エウンキ語基礎語彙集」索引』（ツングース言語文化論集 3）  
津曲敏郎 編、小樽商科大学言語センター、1993年6月
- 『ナーナイ語テキスト』（ツングース言語文化論集 4）  
風間伸次郎 採録・訳注、小樽商科大学言語センター、1993年7月
- 『ナーナイの民話と伝説』（ツングース言語文化論集 5）  
風間伸次郎 採録・訳注、小樽商科大学言語センター、1995年2月
- 『鄂温克語三方対照基礎語彙集』（ツングース言語文化論集 6）  
朝 克 採録・著、津曲敏郎 編、小樽商科大学言語センター、1995年3月
- 『オロチ語基礎資料』（ツングース言語文化論集 7）  
風間伸次郎 採録・訳注、鳥取大学教育学部、1996年3月
- 『ナーナイの民話と伝説2』（ツングース言語文化論集 8）  
風間伸次郎 採録・訳注、鳥取大学教育学部、1996年3月
- 『ウルチャロ承文芸原文集1』（ツングース言語文化論集 9）  
風間伸次郎 採録・訳注、鳥取大学教育学部、1996年3月
- 『ナーナイの民話と伝説3』（ツングース言語文化論集 10）  
風間伸次郎 採録・訳注、東京外国語大学、1997年3月
- 『中国ツングース諸語対照基礎語彙集』（ツングース言語文化論集 11）  
朝克 採録・著 津曲敏郎 補訂・編、小樽商科大学言語センター 1997年8月
- 『ナーナイの民話と伝説4』（ツングース言語文化論集 12）  
風間伸次郎 採録・訳注、千葉大学、1998年3月
- 『Эвенские народные песни 〈エウエンの歌〉』（ツングース言語文化論集 13）  
Bokova, E. P. 著・Z. I. Babceva 露訳・A. B. Dorzheev 英訳・風間伸次郎編
- 『ナーナイの民話と伝説5』（ツングース言語文化論集 14）  
風間伸次郎 採録・訳注、東京外国語大学、2000年4月

## ツングース言語文化論集 15

### ナーナイの民話と伝説 6

2001年3月 発行

採録・訳注 風間伸次郎

発 行

印 刷

ナーナイの民話と伝説 6 (ツングース言語文化論集 15)  
(「環太平洋の言語」 成果報告書A2-005)

**Nanay Folk Tales and Legends 6 (Publications on Tungus Languages and Cultures 15)**  
**(ELPR Publications Series A2-005)**

発行日 平成13年 3 月 30 日  
刊行責任者 大阪学院大学情報学部  
文部省科学研究費補助金「特定領域研究 (A)『環太平洋の  
「消滅に瀕した言語」にかんする緊急調査研究』」  
領域代表 宮岡伯人  
〒564-8511 吹田市岸部南 2 丁目36-1  
TEL: 06-6381-8434 (代表)  
編集 風間伸次郎  
印刷 中西印刷株式会社  
〒602-8048 京都市上京区下立売通小川東入  
TEL: 075-441-3155 (代表)

Published: March, 2001

Project Director: MIYAOKA, Osahito

Grant-in-Aid for Scientific Research on Priority Areas (A)  
The Japan Ministry of Education, Science, Sports and Culture  
Endangered Languages of the Pacific Rim  
Faculty of Informatics, Osaka Gakuin University,  
2-36-1 Kishibe Minami, Suita, Osaka 564-8511, JAPAN  
TEL: +81-6-6381-8434 (extension: 5555)  
E-mail: elpr@utc.osaka-gu.ac.jp

Editor: KAZAMA, Shinjiro

Printed by Nakanishi Printing Co.,Ltd.

Shimotachiuri Ogawa Higashi, Kamikyoku, Kyoto 602-8048  
TEL: +81-75-441-3155

ISSN 1346-082X

Copyright is held by the author.